CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection
ebook

T53n2121

經律異相

梁 寶唱等集

中華電子佛典協會

目次

- 編輯說明
- 章節目次
  - 序
  - 天地部
    - 1 天部上(一)
      - 1 三界諸天
        - 1 欲界六天
          - 1 四天王天
          - 2 忉利天
          - 3 炎摩天
          - 4 兜率天
          - 5 化樂天
          - 6 他化自在天
          - 7 魔天
        - 2 色界二十三天
          - 1 梵身天
          - 2 梵輔天
          - 3 梵眾天
          - 4 大梵天
          - 5 光天
          - 6 少光天
          - 7 無量光天
          - 8 光音天
          - 9 淨天
          - 10 少淨天
          - 11 無量淨天
          - 12 遍淨天
          - 13 嚴飾天
          - 14 少嚴飾天
          - 15 無量嚴飾天
          - 16 嚴飾果實天
          - 17 無想天
          - 18 不煩天
          - 19 無熱天
          - 20 善見天
          - 21 大善見天
          - 22 色究竟天

        - 23 摩醯首羅天
      - 3 無色四天
    - 2 三界成壞
      - 1 三小災
      - 2 三大災
    - 3 劫之修短
    - 4 日
    - 5 月
    - 6 星
    - 7 雷
    - 8 電
    - 9 雲
    - 10 風
    - 11 雨
- 2 天部下(二)
    - 1 帝釋從野干受戒法
    - 2 帝釋受不報戒修羅攻之繫以五縛
    - 3 帝釋應生驢中歸依三寶從胎而殞還依本身
    - 4 悉鞞梨天子先身布施
    - 5 日天王問日月往行
    - 6 忉利天將終七瑞現遇佛得生人中
    - 7 天人手出甘水濟五百賈人
    - 8 三十三天應生猪中轉入人道
    - 9 天女坐花資生之具盡從花出
    - 10 天寶女口密
    - 11 天女聞鹿牛彈琴下悉謌舞
- 3 地部(三)
    - 1 閻浮提
      - 1 國封所產
        - 1 閻浮提內方圓近遠及所出有
      - 2 精舍
        - 1 迦蘭陀長者施佛精舍事
        - 2 須達多買園以立精舍
      - 3 山
        - 1 崑崙寶山為五百羅漢所居
        - 2 閻浮提十大山
        - 3 地大動有八種緣
      - 4 樹
        - 1 千光明國樹出法音
        - 2 神藥樹
        - 3 大藥樹
        - 4 五面益物大樹

        - 5 大象藏香
        - 6 牛頭栴檀香
        - 7 須彌南樹
        - 8 毒樹
      - 5 河海
        - 1 四大河
        - 2 五大河
        - 3 大海有八德
      - 6 寶珠
        - 1 明月摩尼珠
        - 2 生寶珠
        - 3 光明大寶
      - 7 人飲乳多少及形壽不同
    - 2 譬單曰
- 佛部
  - 1 應始終佛部(四)
    - 1 得道師宗
    - 2 現生王宮
    - 3 現迹成道
    - 4 阿難問葬法
    - 5 現般涅槃
    - 6 摩耶五衰相
  - 2 應身益物佛部(五)
    - 1 胸萬字放光發音
    - 2 三種密
    - 3 受阿耆請三月食馬麥
    - 4 與五百僧食馬麥緣
    - 5 現鐵槍報
    - 6 化四梵志掩耳不受但各聞一句得道
    - 7 化作梵志度多味象王
    - 8 化盧至長者改兵杖為雜花
    - 9 化作沙門度五比丘
    - 10 現為沙門化慳貪夫婦
    - 11 化屠兒及諸梵志令得道迹
    - 12 化大江邊諸無信人
    - 13 濟五百賊出家得道
    - 14 吹香山藥入五百盲賊眼中還得清眼
    - 15 化作執著婆羅門子令其父母還得本心
    - 16 化婬女令生厭苦
    - 17 現五指為五師子
    - 18 以足指散巨石
  - 3 現涅槃後事佛部(六)

- 1 天人龍分舍利起塔
- 2 阿育王造八萬四千塔
- 3 阿難問八萬四千塔因
- 4 弗沙蜜多羅王壞八萬四千塔
- 5 天愛帝須王起塔請舍利及菩提樹
- 6 迦羅越比丘共人起塔獨加供養故手雨七寶
- 7 須達起髮爪塔
- 8 身去影存仙人從化起髮爪塔
- 9 天起牙及缺瓮塔
- 10 幼童聚沙為塔
- 11 獼猴起土石塔
- 12 天上四塔
- 13 人中四塔
- 14 摩訶薩埵餘骨起塔
- 15 佛現菩薩時舍利塔
- 16 禁寐王為迦葉佛起塔
- 17 治迦葉佛故塔
- 18 德主王起五百塔
- 19 踊出寶塔
- 20 諸佛舍利在金剛塔
- 21 起塔中悔後生為大魚
- 22 造佛形像第
  - 1 優填王造牛頭栴檀像
  - 2 優填王造金像
  - 3 波斯匿王造金像
  - 4 波斯匿王造牛頭栴檀像
  - 5 善容王造石像
  - 6 佛影
- 23 法滅盡

- 4 諸釋部(七)
  - 1 釋氏緣起
  - 2 淨飯王捨壽
  - 3 摩耶生忉利天
  - 4 大愛道出家
  - 5 羅睺羅處胎六年
  - 6 羅睺出家
  - 7 羅云受佛戒得道
  - 8 難陀出家
  - 9 調達出家
  - 10 阿那律出家
  - 11 跋提出家
  - 12 琉璃王滅釋種

- 13 五百釋女欲出家投請二師
- 14 佛奴車匿馬揵陟前世緣願

- 菩薩部
  - 1 自行菩薩部(八)
    - 1 薩陀波崙為聞法賣心血髓
    - 2 藥王今身捨臂先世燒形
    - 3 淨藏淨眼化其父母
    - 4 曇提和山居遇於國王之所割截
    - 5 無言受天戒誨依義思惟獲得四禪
    - 6 常悲東行求法遇佛示道
    - 7 善信東行為求半偈履泥不溺
    - 8 一切世間現為師婦所愛違命致苦
    - 9 燄光行吉祥願遇女人退習家業
    - 10 題耆羅那賴提者二人共爭令五日闇冥
    - 11 樂法菩薩捨寶飾以易一偈
    - 12 為聞半偈捨身
    - 13 久修忍辱割截不憂
    - 14 賣身奉佛聽涅槃一偈割肉無痍
    - 15 為聽法華經大地震裂踊現空中
    - 16 為王採花遇佛供養
    - 17 持戒發願防之
    - 18 初發心便勝二乘
    - 19 三小兒施佛二發小心一發大心
    - 20 幼年為鬼欲所迷
  - 2 外化菩薩部(九)
    - 1 文殊變金光首女令成醜壞
    - 2 文殊現身諸剎取鉢弘教
    - 3 普賢誓護五種法師
    - 4 淨精進化功德財久忍眾苦
    - 5 樹提摩納手出龍象
    - 6 普施求珠降伏海神以濟窮乏
    - 7 重勝王與女人一處為阿難所譏
    - 8 大薩他婆渡海船壞殺身濟眾
    - 9 菩薩端坐山中鳥孺頂上子未能飛不捨去
    - 10 入海採珠以濟貧苦
    - 11 坐海以救估客
    - 12 從地踊出現長舌相
    - 13 牧牛小兒善說般若義弘廣大乘
  - 3 隨機現身菩薩部(一〇)
    - 1 能仁為帝釋身度先友人
    - 2 能仁為婬女身轉身作國王捨飴鳥獸
    - 3 釋迦為薩婆達王身割肉貿鷹

        - 4 文殊為年少身化上金光首
        - 5 一切妙見為盲父母子遇王獵所射
        - 6 曠野等為殊形化諸異類
        - 7 婆藪為仙人身度六百二十萬估客
        - 8 轉輪王身發願布施
        - 9 為國王身以眼施病人
        - 10 為國王身治梵志罪
        - 11 為國王身捨國城妻子
        - 12 現為國王身化濟危厄
        - 13 為蓮華王太子身以髓施病人
        - 14 為王太子身出血施病人
    - 4 隨機見身菩薩部(一一)
        - 1 先給四仙人後世為國王
        - 2 為伯叔身意不同故行立殊別
        - 3 為肉山以施眾生
        - 4 為大理家身濟鼈及蛇狐
        - 5 為師子身與獼猴為親友
        - 6 為白象身而現益物
        - 7 昔為龍身勸伴行忍
        - 8 為熊身濟迷路人
        - 9 為鹿王身代懷妊者受死
        - 10 為威德鹿王身落羅網為獵師所放
        - 11 為九色鹿身以救溺人
        - 12 為雁王身獵者得之而放求國報恩
        - 13 為鸚鵡現身救山火以申報恩
        - 14 為雀王身拔虎口骨
        - 15 為大魚身以濟飢渴
        - 16 為鼈王身化諸同類活眾賈人
    - 5 出家菩薩部(一二)
        - 1 無垢山居女人庇雨其舍眾仙稱穢升空自證
        - 2 慧王以百味飯化人入道
        - 3 上首受恒伽貨身施食
        - 4 須摩提始是八歲女轉身為男出家說法
        - 5 摩訶盧讀大乘經為聖所導
        - 6 善慧得五種夢請佛解釋
        - 7 女人高樓見佛化成男子出家利益
        - 8 女人在胎聽法轉身為丈夫出家修道
        - 9 沙門慈狗轉身為人立不退地
- 聲聞部
    - 1 聲聞無學僧部(一三)
        - 1 迦葉身黃金色婦亦同姿出家得道
        - 2 迦葉從貧母乞食

- 3 迦葉結集三藏黜斥阿難使盡餘漏
- 4 迦葉結法藏竟入鷄足山待彌勒佛
- 5 大迦葉賓頭盧君屠鉢歎羅云不般涅槃至佛法滅盡
- 6 賓頭盧以神力取樹提鉢被擯拘耶尼
- 7 憍陳拘隣等五人在先得道二緣
- 8 鬻鞞羅那提伽耶三迦葉受佛化悟道
- 9 須菩提前身割口施僧得生天上
- 10 須菩提初生及出家
- 11 阿那律端正或謂美女欲意往向自成女人
- 12 阿那律化一婬女令得正信
- 13 阿那律先身為劫以箭挑佛燈得報無量
- 14 阿那律前生貧窮施緣覺食七生得道
- 15 阿那律等共化跋提長者及姊

- 2 聲聞無學僧部(一四)
  - 1 舍利弗退大乘而向小道
  - 2 舍利弗從生及出家得道
  - 3 舍利弗請佛制戒
  - 4 舍利弗受灌園人浴令生天上
  - 5 舍利弗化人蟒令生天上
  - 6 舍利弗入金剛定為鬼所打不能毀傷
  - 7 舍利弗性慳難求
  - 8 舍利弗先佛涅槃
  - 9 舍利弗目連角現神力
  - 10 目連使阿耆河水漲化寶橋渡佛
  - 11 目連為母造盆
  - 12 目連為魔所嬈
  - 13 目連勸弟施并示報處
  - 14 目連伏菩薩慢
  - 15 目連以神力降化梵志
  - 16 目連化諸鬼神神自說先惡
  - 17 目連現二神足力降二龍王
  - 18 目連遷無熱池現金翅鳥
  - 19 目連三觀事不中其心皆實
  - 20 目連心實事虛
- 3 聲聞無學僧部(一五)
  - 1 優波離為佛剃髮得入
  - 2 迦旃延教老母賣貧遂得生天
  - 3 難陀得柰女接足內愧閑居得道
  - 4 難陀有三十相與佛相似
  - 5 畢陵伽婆蹉以神足化放牧女人
  - 6 跋難陀為二長老分物佛說其本緣
  - 7 迦留陀夷非時教化致喪其命

    - 8 阿難與佛先世為善友
    - 9 阿難奉佛勅受持經典供給左右
    - 10 阿難七夢佛為解說
    - 11 阿難為旃陀羅母以呪力所攝
    - 12 阿難乞牛乳佛記其方來
    - 13 阿難化波斯匿王施
    - 14 阿難試山向比丘并問阿育王
- 4 聲聞無學僧部(一六)
    - 1 末田地龍興猛風不動衣角變火山為天花
    - 2 舍那婆私變雷電器仗為優鉢羅花
    - 3 優波笈多出家降魔
    - 4 優波笈多不化犯重人令眷屬滅憍慢
    - 5 優波笈多付囑法藏入於涅槃
    - 6 優波笈多化諸虎子捨身得道
    - 7 羅旬踰乞食不得思惟結解食土入泥洹
    - 8 羅旬踰為乞食難得佛為分律以為五部
    - 9 童子迦葉從尼所產八歲成道
    - 10 末闡提降伏惡龍
    - 11 摩哂陀化天愛帝須王
    - 12 分那先為下賤善知方宜遇佛得道
    - 13 摩訶迦天時熱現涼風細雨
    - 14 願足化一餓鬼說其往昔惡口
    - 15 沙曷降惡龍
    - 舍那婆私欲降伏二龍王
- 5 聲聞無學僧部(一七)
    - 1 僧大不納其妻出家山澤賊害得道
    - 2 金天前生與婦共以水物施僧今身得井出物如意
    - 3 阿娑陀為尼所悟得道度於商主
    - 4 脩羅陀在胎令母性溫和精進得道
    - 5 差摩因疾說法心得解脫
    - 6 拘提六反退定害身取證
    - 7 摩訶盧惜義招鈍改悔得道
    - 8 槃特誦掃忘箒誦箒忘掃
    - 9 朱利槃特誦一偈能解其義又以神力授鉢
    - 10 鴦崛鬘暴害人民遇佛出家得羅漢道
    - 11 蜜婆和吒等有習氣
    - 12 兄弟爭財請佛解競為說往事便得四果
    - 13 常給事眾僧飲食衣服得道
    - 14 見羅剎出家得道
    - 15 有人避災出家見佛成道
    - 16 羅漢與象先身兄弟行善不同
    - 17 五百盲兒崎嶇見佛眼明悟道

- 18 旃陀羅兒被佛慈化悟道
- 19 獵師捨家學道事
- 6 聲聞無學僧部(一八)
  - 1 重姓魚吞不死出家悟道
  - 2 二十耳億精進大過
  - 3 賴吒為父所要
  - 4 金財以兩錢施佛僧今生手把金錢
  - 5 華天先世採花供養今天雨其花
  - 6 寶天前身以一把石擬珠散僧故生時天雨七寶
  - 7 少欲知足比丘聞法成道
  - 8 工巧比丘思惟成道
  - 9 賊作比丘遇佛悟道
  - 10 貪食比丘觀察得道
  - 11 乞兒比丘現神力入祇陀宮
  - 12 四比丘說苦遇佛得道
  - 13 四比丘說樂佛謂是苦心悟得道
  - 14 比丘拔母泥犁之苦
  - 15 比丘從師教得道
  - 16 比丘白骨觀入道
  - 17 比丘自恣受臘得道
  - 18 比丘憙眠佛樂宿習得道
  - 19 比丘好眠見應化深坑懼而得道
  - 20 比丘多食得羅漢道
  - 21 比丘久病佛為湔浣聞法捨命得無餘泥洹
  - 22 比丘因怖得道
  - 23 比丘與女戲有惡聲自殺天神悟之精進得道
  - 24 比丘在俗害母為溥首菩薩所化出家得道
  - 25 比丘貧老公垂殞佛說往行許其出家
  - 26 比丘見一須陀洹先作維那今獲苦報畏故得道
  - 27 二比丘所行不同得報亦異
  - 28 沙門樹下坐貪想不除佛化身說法得羅漢道
  - 29 沙門飯僧污手拭柱柱為之裂
  - 30 沙門小便不彈指尿漬鬼面
  - 31 沙門開戶五指火出
- 7 聲聞不測淺深僧部(一九)
  - 1 伊利沙四姓慳貪為天帝所化
  - 2 貧人婦掃佛地得現世報終至得道
  - 3 毘羅斯那微善出家生天得道
  - 4 跋[王*虎]就鳥乞羽龍乞珠
  - 5 耶舍因年飢犯欲母為通致佛說往行
  - 6 難提比丘為欲所染說其宿行并鹿斑童子
  - 7 闡陀昔經為奴叛逮從學教授五百童子

- 8 二摩訶羅同住和合婚姻佛說其往行
- 9 常歡嫉於無勝佛說往緣梅沙生墮阿鼻
- 10 持戒堅固生天因緣
- 11 滿願問餓鬼夫入城久近并答江岸七反成敗
- 12 比丘遇劫被生草縛不敢挽斷
- 13 比丘夜不相識各言是鬼
- 14 比丘遇王難為山神所救
- 15 比丘誦經臨終見佛闍維舌存
- 16 比丘居深山為鬼所嬈佛禁非人處住
- 17 比丘失志心生惑亂
- 18 珍重沙門母為餓鬼以方便救濟
- 19 沙門入海龍請供養得摩尼珠
- 20 沙門煮草變成牛骨
- 21 沙門行乞主人有珠為鸚鵡所吞橫相苦加忍受不言
- 22 沙門遇鬼變身乍有乍無
- 23 沙門得鬼抱安心說化鬼辭謝而去
- 24 道人度獵師
- 難提犯波羅夷

- 8 聲聞學人僧部(二〇)
  - 1 選擇遇佛善誘捨於愛欲得第三果
  - 2 須陀洹婦病於從事一悟得
  - 3 比丘自誓入定經時既久出定便死
  - 4 比丘坐禪為毒蛇害生天見佛得道
  - 5 比丘遮國王著巾屣禮佛聽法
  - 6 比丘修不淨觀得須陀洹道
  - 7 盲比丘倩人祇聞法得道
  - 8 三藏比丘著弊服常飢好衣得食
  - 9 族姓子出家佛為欲愛證賢聖明法
  - 10 旃陀羅七子為王逼殺失命
- 9 聲聞現行惡行僧部(二一)
  - 1 調達與佛結怨之始
  - 2 調達欲害佛及佛弟子
  - 3 調達博學兼修神足止要利養
  - 4 調達拘迦利更相讚歎
  - 5 調達就佛索眾不得翻失眷屬
  - 6 調達先身為野狐
  - 7 調達欲侵陵拘夷身入地獄
  - 8 提婆達多昔為野干破瓶喪命
  - 9 提婆達多昔為獼猴取井中月
  - 10 提婆達多先身殺金色師子
  - 11 提舍等四比丘受罪輕重
  - 12 善星比丘違反如來謗無因果

- 10 聲聞無學沙彌僧部(二二)
  - 1 雙德雙福二沙彌遇佛成道
  - 2 須陀耶在塚生長遇佛得道
  - 3 均提沙彌出家并前身因緣
  - 4 沙彌救蟻延壽精進得道
  - 5 沙彌推師倒地而亡以無惡心精進得道
  - 6 沙彌早夭生天失善師友憤念詣佛得分別聖諦
  - 7 純頭沙彌為鬼所敬用須跋外道自然降伏
  - 8 沙彌隨聖師入山得四通知為五母所痛念
  - 9 沙彌護戒捨所愛身
  - 10 沙彌於龍女生愛遂生龍中
  - 11 沙彌愛酪即受蟲身
- 11 聲聞無學尼僧部(二三)
  - 1 跋陀羅自識宿命遇佛成道
  - 2 叔離以氈裹身而生出家悟道
  - 3 跋陀迦毘羅為王所逼其心無染
  - 4 華色得道後臥婆羅門竊行不淨
  - 5 蓮華婬女見化人聞說法意解
  - 6 五百婆羅門女聞法開悟
  - 7 婆羅門尼請優陀夷慢不聞法
  - 8 差摩蓮華遇強暴人脫眼獲免
  - 9 毘低羅先慳貪從佛受化悟道
  - 10 婆四吒母喪子發狂聞法得道
  - 11 孤獨母女為王所納出家悟道
  - 12 尸利摩忘飢贍僧
  - 13 暴志前生為鼈婦
  - 14 暴志謗佛
- 國王部
  - 1 轉輪聖王諸國王部(二四)
    - 1 劫初人王始原
    - 2 大王致輪之初
    - 3 金輪王王化方法
    - 4 燈光金輪王捨臂
    - 5 蓋事金輪王有大利益
    - 6 轉輪王為半偈剜身然千燈
    - 7 摩調金輪王捨國學道
    - 8 無諍念金輪王請佛僧
    - 9 堅固金輪王失輪出家
    - 10 文陀竭金輪王遊四天下
    - 11 頂生金輪王愛別離苦
    - 12 阿育四分王始終造業
  - 2 行菩薩道諸國王部(二五)

- 1 虔闍尼婆梨王為聞一偈剜身以然千燈
- 2 毘楞竭梨王為請一偈以釘釘身
- 3 大光明王捨頭施婆羅門
- 4 尸毘王割肉代鴿
- 5 慧燈王好施捨身血肉
- 6 大力王好施不恪肌體
- 7 慈力王刺血施五夜
- 8 須陀須摩王為鹿足王所負聽還布施事畢獲免
- 9 薩埵檀王以身施婆羅門作奴
- 10 衢樓婆王為聞一偈捨所愛妻子
- 11 善宿王好施令鬼王移信

- 3 行菩薩道諸國王部(二六)
  - 1 悋黑王因母疾悟道大行惠施
  - 2 二王以袈裟上佛得立不退之地
  - 3 薩和達王布施讓國後還為王
  - 4 日難王棄國學道濟三種命
  - 5 仙豫王護法殺婆羅門
  - 6 普明王誦般若偈得免班足王害
  - 7 阿闍世王從文殊解疑得於信忍
  - 8 大光明王始發道心
  - 9 多福王事梵志增福太子奉佛兩師角術
- 4 行聲聞道諸國王部(二七)
  - 1 波羅奈王得辟支佛
  - 2 月氏王造三十二塔成羅漢道
  - 3 摩訶劫賓寧王伐舍衛遇佛得道
  - 4 有德王擁護弘法法師失命為佛弟子
  - 5 功德莊嚴王請佛得道
  - 6 藍達王因目連悟道
  - 7 普安王化四王聞法得道
  - 8 婆羅門王捨於國俸布施得道
  - 9 摩達王從羅漢聞法得道
  - 10 乾陀王捨外習內得須陀洹道
  - 11 普達王遇佛得道
- 5 行聲聞道諸國王部(二八)
  - 1 橫興費調為姦臣所殺鬼復為王
  - 2 感佛聞法得須陀洹道
  - 3 波斯匿王後園生自然甘蔗粳米
  - 4 波斯匿王請佛解夢
  - 5 波斯匿王求贖女命
  - 6 波斯匿王遊獵遇得末利夫人
  - 7 好信王發願灌佛
  - 8 耆域藥王請僧佛

        - 9 瓶沙王有四種畏
        - 10 瓶沙王樂食而死生四天王天
        - 11 瓶沙王與弗迦沙王親厚更獻珍異
        - 12 赤馬天子問佛無生死處
        - 13 多智王佯狂免禍
    - 6 行聲聞道諸國王部(二九)
        - 1 鏡面王欲起新殿
        - 2 不梨先泥王請佛解夢
        - 3 惡少王遶塔散寇
        - 4 難國王因兒婦得解
        - 5 阿質王從佛生信
        - 6 優填王請求治化方法
        - 7 優填王惑於女人射其正后矢不能傷
        - 8 檀那王國遭暴水蛇遶其城為二比丘所救
        - 9 國王酒獵聞之修福
        - 10 國王臨死藏珠髻中
        - 11 有王遇伐不拒
        - 12 國王試一智臣
        - 13 驢首王食雪山藥草得作人頭
        - 14 不眠王殺睡左右
    - 7 諸國王夫人部(三〇)
        - 1 阿育王夫人受八歲沙彌化
        - 2 王后生肉棄水遂生二兒為毘舍離人種
        - 3 拘藍尼國王后悟法
        - 4 末利夫人持齋
        - 5 優達那王妻學道生天
        - 6 國王大夫人與一賢者共王造寺
- 太子部
    - 1 行菩薩道諸國太子部(三一)
        - 1 乾陀尸利國王太子投身餓虎遺骨起塔
        - 2 曇摩紺為法燒身火坑變為花池
        - 3 忍辱為父殺身
        - 4 智止以血肉施病比丘
        - 5 月光破身出血髓救病人
        - 6 須闍提太子割肉供父母命
        - 7 須大拏好施為與人白象詰擯山中
        - 8 祇域為梌女所生捨國為醫
    - 2 行菩薩道諸國太子部(三二)
        - 1 能施王子入海採寶緣
        - 2 善友好施求珠喪眼還明
        - 3 長生欲報父怨後還得國
        - 4 遮羅國儲形醜失妃運智還得

        - 5 慕魄不言被埋後言得修道
        - 6 薩埵王子捨身
        - 7 人藥王子救疾
        - 8 有一王子聞宿命事怖求以還佛
        - 9 無畏王子耆婆學術
    - 3 學聲聞道諸國太子部(三三)
        - 1 均隣儒悟世無常得羅漢道
        - 2 帝須出家得羅漢道
        - 3 祇陀太子捨五戒行十善請佛聞法得初道果
        - 4 鳩那羅失肉眼得慧眼
        - 5 諸太子問佛已等有出家者佛出所更皆悉悟道
        - 6 最勝王子植德堅固終不可移
    - 4 諸國王女部(三四)
        - 1 波羅奈王女金色女求佛為夫
        - 2 波斯匿王女金剛形醜以念佛力立改姝顏
        - 3 波斯匿王女喪婿更於樹下復得後夫
        - 4 安息國王女先從狗來
        - 5 波羅奈國王七女與帝釋共語
        - 6 波斯匿王女金剛為火所焚
        - 7 國王女見水上泡起無常想
        - 8 摩閣尼為婆羅門所嫉
        - 9 國王女狗頭感捕魚師述婆伽
- 長者部
    - 1 得道長者部(三五)
        - 1 寶稱長者出家見佛悟道
        - 2 守籠那足下生毛苦行得道
        - 3 最勝難降染化成道
        - 4 福增百歲出家見其本骸心曉見道
        - 5 須達多崎嶇見佛時獲悟道
        - 6 須達七貧後得食併奉佛僧倉庫自滿
        - 7 最勝魔嬈不移
        - 8 申日為佛作毒飯火坑自皆變滅
        - 9 辯意請佛僧有二乞兒一死一為王
        - 10 曇摩留支先身為大魚
        - 11 慳長者入海婦施佛絹眾商皆死唯己獨存
        - 12 毘羅陀請佛僧食而庫藏自滿
        - 13 婆世蹟染欲危身為目連所救
        - 14 長者新生一子即識本緣求母請佛甘味自下
        - 15 阿那邠邸七子為財受戒聞法離垢
    - 2 雜行長者部(三六)
        - 1 流水救十千魚
        - 2 樹提伽身生人中受天果報

- 3 迦羅越手能雨寶
- 4 迦羅越以飽食施鳥令出腹中珠
- 5 忽起經暫貧客作設會即獲華報
- 6 無耳目舌先世因緣
- 7 音悅今身受先世四種報
- 8 鳩留飢遇樹神因得信解
- 9 日難財富巨億慳惜不施後生貧盲
- 10 長者發菩薩心將諸貧人取得珍寶
- 11 長者後貧舉金供施耕遇千鼎用之不盡
- 12 香身長者婦為國王所奪
- 13 長者婦懷妊口氣香
- 14 慳財生號哭地獄
- 15 以擣衣石施人起塔生天
- 16 須達三子事窮方信
- 17 須檀子貪財殺弟
- 18 梨耆彌
- 19 癡子賣香遲燒之為炭以求速售

- 優婆塞優婆夷部
  - 1 優婆塞部(三七)
    - 1 沙門億耳入海見地獄
    - 2 優婆塞持戒鬼代取花
    - 3 優婆塞為王厨吏被逼殺害而指現師子
    - 4 優婆塞被魔試
    - 5 清信士嫁女與事鬼家
    - 6 清信士始精進未懈後生慚愧鬼不能害
    - 7 清信士臨亡夫妻相愛生為婦鼻中虫
    - 8 薄拘羅持一戒得五不死報
    - 9 持戒誦經續明供養鬼不能害
    - 10 執持求還佛戒口中諸鬼出打其身
    - 11 不信罪福夢鬼取之令其受戒後壽百年
    - 12 家有六人割口施僧同受富樂
    - 13 有人路行遇見三變身行精進
    - 14 有人命終十日還生述所經見
  - 2 優婆夷部(三八)
    - 1 優波斯那割肉救病比丘
    - 2 阿凡和利至心請佛庫中自然備
    - 3 蘇曼女產十卵卵成十男并其往緣
    - 4 孤母喪子遇佛慈誘厭愛得道
    - 5 婦人喪失眷屬心發狂癡
    - 6 提韋婆羅門女無子自焚遇辯才沙門聞法悟解
    - 7 女人懷妊願得出家母子為道皆得成立
    - 8 難陀燃燈聲聞神力共不能滅

        - 9 善信女少悟無常秉志清白為天帝所試
- 外道仙人部
    - 1 外道仙人部(三九)
        - 1 外道立異見原由
        - 2 六師共誓伺欲降佛累遣覘觀皆從佛化
        - 3 六師與佛弟子捵道力
        - 4 以鑠鑠腹頭上戴火自顯雄異
        - 5 智幻國人事烏與孔雀
        - 6 富蘭迦葉與佛捵道不如自盡
        - 7 羼提仙人修忍行慈為迦利王所割截
        - 8 螺文仙人造書風雨不能飄侵
        - 9 四仙人得道緣
        - 10 仙人失通生惡道
        - 11 諸仙人見聞女人色聲皆失神通
        - 12 化足手著王女生愛後興惡念墮墜阿鼻
        - 13 提波延那聞舍芝聲起愛
        - 14 雪山仙人與虎行欲生十二子
        - 15 撥劫仙人見王女發欲失通
        - 16 獨角仙人情染世欲為婬女所騎
    - 2 梵志部(四〇)
        - 1 超術師又從定光佛請記
        - 2 寶海梵志述其所夢
        - 3 須頊梵志聞法憂解
        - 4 摩因提梵志將女妻佛
        - 5 梵志喪兒從闍羅乞活詣佛得道
        - 6 梵志諂施比丘說一偈能消
        - 7 梵志奉佛鉢蜜眾食不減施水中眾生
        - 8 梵志遠學值五無反復
        - 9 梵志兄弟四人同日命終
        - 10 梵志棄端正婦於樹上愛著鄙婢後悔無益
        - 11 梵志夫婦採花失命佛為說其往事
        - 12 梵志失利養殺女人謗佛
    - 3 婆羅門部(四一)
        - 1 檀膩騎身獲諸罪
        - 2 阿耆尼達多在胎令母能論議
        - 3 鷄頭以身質錢欲飯佛僧帝釋所助乃及於王
        - 4 老乞婆羅門誦佛一偈兒子還相供養
        - 5 散若學射得妻
        - 6 婆羅門以納施佛得聞記
        - 7 婆羅門以餅奉佛聞法得道
        - 8 拔抵婆羅門瞋失弟子生惡龍中為佛所降
        - 9 婆羅門入定三百餘年

        - 10 婆羅門兒婦信向見其後報
        - 11 婆羅門從佛意解
        - 12 婆羅門持一齋不全生為樹神能出飲食施諸餓者
        - 13 婆羅門夫婦吞金錢為糧身壞人取為福即得道迹
        - 14 婆羅門生美女佛言不好
        - 15 大鬘與瓦師子為善知識共相勸信
        - 16 婆羅門婦事佛為婿所患投河水竭婿方醒悟
    - 居士庶人等部
        - 1 居士部(四二)
            - 1 瑕茶財食自長聞法悟解
            - 2 郁伽見佛其醉自醒受戒以妻施人
            - 3 魚身得富緣
            - 4 闍利兄弟以法獲財終不散失
            - 5 居士子大意求明月珠
        - 2 賈客部(四三)
            - 1 波利得海神瓔珞上王王及夫人共以獻佛
            - 2 善求惡求採寶經飢樹出所須
            - 3 師子有智免羅剎
            - 4 彌蓮持齋得樂蹋母燒頭
            - 5 優波斯納兄妻後悔為道兄射殺弟矢反自害
            - 6 薩薄然臂濟諸賈客
            - 7 薩薄欲買取五戒羅剎不能得侵
            - 8 商人共鵠生子子皆得道
            - 9 眾賈飢渴天人指間降八味水
            - 10 商人驅牛以贖龍女得金奉親
            - 11 賈客為羅剎所縛
            - 12 賈客採寶救將死人
            - 13 二賈客採寶貪者沒命廉者安全
            - 14 賈人害侶獨取珍寶大哀殺此凶人
            - 15 五百賈人值摩竭魚稱佛獲免
            - 16 賈人為友逼飲酒犯戒父母擯出遠國尚為鬼所畏
        - 3 男庶人部(四四)
            - 1 颰陀以化城請佛及見佛欲滅化不能
            - 2 阿難邠坻井出珍寶
            - 3 賢直竊珠不欵獲賜
            - 4 慈羅放鼈後遇大水還濟其命
            - 5 千那傭畫得金設會為婦所訟
            - 6 神識還摩娑故身之骨
            - 7 木巧師與畫師相誑
            - 8 醫治王病差獲王報殊常
            - 9 破齋猶得生天
            - 10 耕夫施僧一訶梨勒果後生為兩國太子

- 11 供養沙門心有善惡獲報不同
- 12 舅甥共盜甥黠慧後得王女為妻
- 13 羅閱國男子與耆闍崛國女人宿世有緣
- 14 夫婦約不先語見偷取物夫能不言
- 15 婦人鼻醜夫割他好者以易之
- 16 賃人善解鳥語
- 17 溺人憑鳳獲全附鸕鷀殞命
- 18 有人買智慧得免大罪
- 19 有人張鬼免害
- 20 有人為兩婦所惡以至於死
- 21 有人遠求仙水主人惡心使登樹得仙
- 22 有人使鬼得富後害其兒
- 23 有人富王責條疏已用物王乃覺悟
- 24 有人為罪王令割肉五斤
- 25 有二人共誓以胎中兒共為婚姻
- 26 大姓二兒大子失財被念小子得財獲罪
- 27 三人共施僧一錢後身獲自然之金
- 28 貧人供僧報致富
- 29 貧人得伏藏為王所治
- 30 貧人買斧不識是寶
- 31 貧老夫妻三時懈怠
- 32 窮人違樹神誓還為樹枝所殺
- 33 人遇象逐墮深谷際天降甘露遂得昇天
- 34 五百幼童聚沙興塔命終生天
- 35 童子施佛豆生天後作轉輪王
- 36 牧牛小兒取華上佛牛觸而死即生天
- 37 小兒先身以三錢施今解鳥語遂得為王
- 38 諸劫分物不識好者

- 4 女庶人部(四五)
  - 1 長髮女人捨髮供養佛
  - 2 獨母見沙門神足願後生百兒
  - 3 母人懷妊遇佛願以兒為道
  - 4 老母慳病時見地獄婢行善覩有天堂
  - 5 母人為比丘起屋壽終生天手出眾物
  - 6 母二兒溺死哭知浮者
  - 7 婦人化婿戶上懸鈴使聞聲稱佛後免地獄
  - 8 瞻婆女人身死闍維於火中生子
  - 9 摩那祇女懷杆謗佛地即震裂身陷地獄
  - 10 婬蕩婦人苦一沙門沙門心至火變為水
  - 11 童女火氣入身懷妊生端正子
  - 12 女人懷妊口常誦經生兒多智為眾人所宗
  - 13 女人懷妊生四種異物

- 14 女人心緣丈夫誤繫兒入井
- 15 換貸自取多還少命終為犢
- 16 青衣割食施辟支佛立改醜顏得為夫人
- 17 醜婢臨水見他影謂其端正

- 鬼神部
  - 1 鬼神部(四六)
    - 1 阿修羅
      - 1 羅呵王瞋忉利諸天行其頭上興兵大戰
      - 2 毘摩質多有女以妻帝釋為女嫉興兵
      - 3 往昔阿修羅與天戰見帝釋迴車而散
      - 4 羅睺羅有女帝釋強求起兵攻戰
      - 5 阿修羅先身厭為水漂願得長大形
    - 2 乾闥婆
    - 3 緊那羅
    - 4 雜鬼神
      - 1 鬼神皆依所止為名
      - 2 餓鬼果報
      - 3 鬼沽酒語主人令湖中取死人金銀
      - 4 金床女裸形著衣火然
      - 5 二鬼負屍拔出手足頭脅從人易之形改心存遇佛得道
      - 6 金色神指流為甘露并資生物以給行人
      - 7 毘沙惡鬼食噉人民遇佛悟解
      - 8 鬼子母先食人民佛藏其子然後受化
      - 9 屈摩夜叉請佛設房及燈明
      - 10 魔王嬈目連為說先身為魔事
      - 11 鬼得他心害怨女人
      - 12 波旬嬈固文殊
      - 13 餓鬼請問目連所因得苦
      - 14 惡鬼見帝釋形稍醜滅
      - 15 鬼還鞭其故屍
- 畜生部
  - 1 雜獸畜生部(四七)
    - 1 師子
      - 1 師子王為獼猴欲捨命
      - 2 師子王有十一勝事
      - 3 師子食象哽死木雀為拔得蘇後忘恩
      - 4 師子有二子為獵者所殺同生長者家得道
      - 5 師子王墮井為野干所救
      - 6 師子虎為善友野干兩舌分身喪命
      - 7 師子等十二獸更次教化
    - 2 象
      - 1 象王供養佛

- 2 善住象王為轉輪王寶
- 3 象子生而失母為仙人所養
- 4 象獼猴鷄共為親友
- 3 馬
  - 1 婆羅醯馬王為轉輪王寶
- 4 牛
  - 1 大牛被賣走趣如來佛說往緣死得生天
  - 2 水牛王忍獼猴辱
  - 3 二牛挽力牽載
  - 4 迦羅越牛自說前身負一千錢三反作牛不了
- 5 驢
  - 1 有驢挽車日行五百里
  - 2 驢効群牛為牛所殺
- 6 狗
  - 1 狗乞食不得詣官訟主人
  - 2 狗子被殺時見沙門命終生豪貴家
  - 3 白狗生前世兒家被好供給浮出先身所藏之物
  - 4 弊狗因一比丘得生善心
- 7 鹿
  - 1 鹿母落弶乞與子別還來就死
  - 2 鹿王遭捕殺身以濟群眾
- 8 銘陀
  - 1 銘陀獸剝皮濟獵師命
- 9 野狐
  - 1 野狐從師子乞食得肥後為師子所食
- 10 狼
  - 1 狼得他心害怨女嬰兒
- 11 獼猴
  - 1 獼猴等四獸與梵志結緣
  - 2 獼猴奉佛鉢蜜
  - 3 獼猴為五百仙人師
  - 4 五百獼猴効羅漢起佛圖
  - 5 獼猴學禪墮樹死得生天上
  - 6 獼猴與婢共戲
- 12 兔
  - 1 兔王依附道人投身火聚生兜率天
- 13 猫狸
  - 1 猫狸呑鼠鼠食其藏
- 14 鼠
  - 1 鼠濟毘舍離命
  - 2 鼠偷蘇身長器中
- 2 禽畜生部(四八)

- 1 金翅
  - 1 生住所資
  - 2 正音王死相
- 2 千秋
  - 千秋生必害母
- 3 雁
  - 1 金羽雁猶愛前生妻子日與一毛
  - 2 五百雁為獵所殺以聞佛法生天得道
  - 3 雁遇王羅不食得出
- 4 鶴
  - 1 常吐根力八道之音
- 5 鴿
  - 1 鴿鳥捨命施飢窮人
  - 2 鴿被鷹逐遇佛影則安弟子影猶戰
- 6 雉
  - 1 雉救林火
- 7 烏
  - 1 烏王甘蔗所須四烏使至沙竭國
  - 2 赤[口*(隹/乃)]烏與獼猴為親友
  - 3 烏與鷄合共生一子

- 3 蟲畜生部(四八)
  - 1 龍
    - 1 生住資待
    - 2 娑竭龍王為五百鬼神所護
    - 3 眷屬先少後多
    - 4 龍持戒至死不破
    - 5 四大龍王患金翅請佛
  - 2 蛇
    - 1 毒蛇捨金設會生忉利天
    - 2 一蛇首尾兩諍從尾則亡
    - 3 蛇龜蝦蟇遭飢相語
  - 3 龜
    - 1 盲龜值浮木孔
  - 4 魚
    - 1 百頭魚為捕者所得聞其往緣漁人悟道
    - 2 三魚隨濤流入小涇二強得反一羸被縶
  - 5 蛤
    - 1 蛤聞甘露死生天上見佛得道
  - 6 穀賊
    - 1 穀賊天金藏以報穀主
  - 7 蟲
    - 1 [泳-永+狂]中大蟲先世業緣

        - 8 虱
            - 1 虱依坐禪人約飲血有時節
    - 地獄部
        - 1 地獄部上(四九)
            - 1 閻羅王等為獄司往緣
            - 2 閻羅王三時受苦
            - 3 閻羅王問罪人
            - 4 十八地獄及獄主名字
            - 5 三十地獄及獄主名字
            - 6 五官禁人作罪
            - 7 始受地獄生
            - 8 應生天墮地獄臨終有迎見善惡處
            - 9 八王使者於六齋日簡閱善惡
            - 10 寒熱邊地地獄
            - 11 金剛山間八大地獄各有十六小獄
            - 12 金剛山間別有十地獄
        - 2 地獄部下(五〇)
            - 1 阿鼻地獄受諸苦相
            - 2 十八小地獄各有十八獄圍繞阿鼻
            - 3 六十四地獄舉因示苦相
            - 4 五大地獄示受苦相
- 卷目次
    - 1
    - 2
    - 3
    - 4
    - 5
    - 6
    - 7
    - 8
    - 9
    - 10
    - 11
    - 12
    - 13
    - 14
    - 15
    - 16
    - 17
    - 18
    - 19
    - 20

- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46
- 47
- 48
- 49
- 50

- 贊助資訊

編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2019.Q2」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

No. 2121

經律異相卷第一

梁沙門僧旻寶唱等集

序

如來應跡投緣。隨機闡教。兼被龍鬼。匪直天人。化啟憍陳。道終須跋。文積巨萬簡累大千。自西徂東固難得而究也。若乃劉向校書。玄言久蘊。漢明感夢。靈證彌彰。自茲厥後傳譯相繼。三藏奧典雖已略周。九部雜言通未區集。

皇帝同契等覺比德遍知。大弘經教並利法俗。廣延博古旁採遺文。於是散偈流章往往而出。今之所獲蓋亦多矣。

聖旨以為。象正浸末信樂彌衰。文句浩漫鮮能該洽。以天監七年。

勅釋僧旻等。備鈔眾典。顯證深文控會神宗。辭略意曉。於鑽求者已有太半之益。但希有異相猶散眾篇。難聞祕說未加標顯。又以十五年末。

勅寶唱鈔經律要事。皆使以類相從。令覽者易了。又

勅新安寺釋僧豪。興皇寺釋法生等。相助檢讀。於是博綜經籍擇採祕要。上詢神慮取則成規。凡為五十卷。又目錄五卷。分為五秩。名為經律異相。將來學者。可不勞而博矣。

天部上

- 三界諸天一
- 二界成壞二
- 劫之修短三
- 日四
- 月五
- 星六
- 雷七
- 電八
- 雲九
- 風十
- 雨十一

三界諸天第一

- 欲界一
- 色界二
- 無色界三

欲界六天第一

- 四天王一
- 忉利二
- 炎摩三
- 兜率四
- 化樂五
- 他化六
- 魔天七

四天王天一

四天王居須彌四埵。皆高四萬二千由旬(大智論云須彌四邊有山。悉名遊乾陀。各高四萬二千由旬。四天王治化其上)東方天王。名提頭賴吒。城號上賢。南方天王。名毘婁勒。城號善見。西方天王。名毘婁博叉。城號周羅(或作周罷未詳得失)。

北方天王。名毘沙門。凡住三城。一號可畏。二名天敬。三名眾歸。四王身長皆半由旬。衣長一由旬。廣半由旬。其重二分。天壽五百歲。少出多減。以人間五十歲。為天一日一夜。亦三十日為一月。十二月為一歲也(五百歲即人間九萬歲也)食淨揣食洗浴衣服為細滑食。男娶女嫁身行陰陽一同人間。以昔三業善今生為天。自然化現在天膝上。形之大小如人間兩歲(別記云。男坐父膝上。女坐母膝上)兒生未久便自知飢。七寶妙器盛百味食。若福多者飯色自白。若福中者飯色自青。若福少者飯色自赤。兒食消化化後若渴。寶器甘露如食之色。飲不留停如蘇投火。身體長大便與天等入池沐浴。詣香樹下枝條垂曲。取香塗身衣莊嚴具。華鬘寶器果實樂器各有樹出。遍往詣之隨意所取(樓炭經說。大同小異文多不載)入諸園林無數天女鼓樂絃歌語笑相向。深生染著。視西忘東。當其戲樂忘其初生所念識知。承先世善得生天上(樓炭經略同)池沼清澄華果榮茂。其城七重皆廣六千由旬。欄楯羅網宮牆行樹皆悉七重。毘沙門王。常有五大鬼神。一名那閣婁。二名檀陀羅。三名醯摩拔陀。四名提偈羅。五名修逸路摩。常隨侍側。半月三齋。八日十四日十五日。四天王常以八日勅諸使者。汝等案行世間觀察人民。孝父母敬沙門及婆羅門長老。受持齋戒布施者不。使者奉教具啟善惡。聞惡不悅言善則喜。十四日四王常遣太子案行天下。十五日四天躬自履歷。然後詣善法殿具啟帝釋。聞惡則憂言善則樂。說偈歎受持齋戒人與我同行(出長阿含經第二十卷又出大智論婁炭經)。

忉利天第二

忉利天居須彌山頂。有三十三天宮。王名釋提桓因(梁言能作天王)身長一由旬衣長二由旬。廣二由旬衣重六銖。壽天千歲少出多減。若欲終時有五相現。一者衣裳垢膩。二者頭上華萎。三者身體臭穢。四者腋下汗流。五者不樂本座。見五事時心大苦惱如地獄苦。飲食嫁娶猶如四天。身體相近以氣成陰陽(出三法度經云行欲如人)以身口意善生忉利天。自然化現在天膝上如三歲兒。天即認言。是我男我女。自識前世布施持戒。欲得飲食隨滿金器。福有深淺食有優降。如四天王天。城縱廣八萬由旬(樓炭經云。廣長三百二十萬里)其城七重。九百九十九門。門有六十青衣夜叉守之(長阿含經云。高六十由旬。相去五百由旬。有一門門有五百鬼神守衛)三十三天。金城銀門銀城金門。如是七寶互為城門。樓閣臺觀周匝圍繞。園林浴池寶花間雜。寶樹行列華果繁茂。香風四起悅可人心。異類奇鳥無數和鳴。其四園中各有二石垜。各各縱廣五十由旬。七寶所成軟若天衣(樓炭經說相似文多不載)麁澁園盡樂園中間有難陀池。縱廣百由旬其水清澄。七重寶塹生四種華。青黃赤白紅縹雜色。香氣普熏聞一由旬。根如車轂汁白如乳味甘如蜜。復有雜園大歡喜園。中間有樹名晝度。圍七由旬高百由旬。枝葉四布五十由旬。其香逆風百由旬內。忉利殿南又有一樹。名波質拘耆羅。高四千里。枝葉分布二千里。風吹花香逆風行聞二千里。當樹花時諸天共坐樹下以為歡樂。經遊天一百二十日。帝釋有三十二大臣。故言三十三天也。各有宮皆在城內。遊戲園中必經七日。麁澁者入此園時身體麁澁。晝者入此園時。身體自然種種晝色以相悅樂。雜者常以月八日十四日十五日。放諸婇女與諸天子雜遊。獨與舍脂共在一處名為雜。大喜者入此園時心大歡喜(出長阿含經第二十卷。又出樓炭。大智論。華嚴。涅槃)。

炎摩天第三

炎摩(梁言時)天宮。風輪所持在虛空中。王名善時(大智論云妙善)身長二由旬。衣長四由旬廣二由旬。衣重三銖從樹而出。明淨光曜有種種色。身體光明不須日月。身口意善。或以燈燭明珠等施。持戒禪定等業生炎摩天。壽天二千歲少出多減。食飲婚欲猶如忉利天(三法度經云以染著意相抱成欲若不深著不成歡樂耳)初生之形如人間四歲。忉利天光明所不能及(出長阿含經第二十卷又出樓炭經大智論華嚴)。

兜率天第四

兜率(梁言知足)天宮。風輪所持在虛空中。王名善喜。後邊身菩薩多生此天。下天放誕上天闇鈍故生此天(出大智論云下地結使厚濁。上地結使利。唯兜率天。不厚不利。智慧安隱。又下地命短終時佛未出世。上地命長壽未盡佛復過去兜率天時命等故。又佛常居中道兜率天於六天為中)身長四由旬。衣長八由旬。廣四由旬。衣重一銖半。壽天四千歲少出多減。食同下天。亦有嫁娶執手成欲。其天初生如人五歲。自知前世所作布施持戒等事。食自然飲食衣冠歌舞。身有光明勝於炎摩(出長阿含經第二十卷又出華嚴涅槃樓炭大智論)。

化樂天第五

化樂天宮。亦為風輪所持在虛空中。王名善化。自化五塵以自娛樂。身長八由旬。衣長十六由旬。廣八由旬。衣重一銖。壽天八千歲少出多減。食與下同。亦有嫁娶熟相視成欲(三法度經云。以深染污心。與天女共語成欲若一不染不成。但樂而已)其天初生如人六歲。自光明殊勝兜率(出長阿含經第二十卷。又出樓炭華嚴)。

他化自在天第六

他化自在天宮。亦為風輪所持在虛空中。王名自在。轉集他所化以自娛樂也。名愛身天。於欲界中獨得自在。身長十六由旬。衣長三十二由旬。廣十六由旬。衣重半銖。壽天萬六千歲少出多減。食如下天。亦有婚姻暫視成欲(樓炭經云。但念便成三法度經云。共女各深染著相視成欲。若一不染不成但樂如人間相抱持耳。如見他人所化故言他化也)其天初生如人七歲自知宿命。以布施持戒棄惡故。自然飲食衣服玉女事並同前。光明有勝化樂(出長阿含經第二十卷。又出華嚴大智論。樓炭經)。

魔天第七

魔天宮在欲色二界中間。魔者譬如石磨。磨壞功德也。縱廣六千由旬。宮牆七重。一切莊嚴猶如下天。並有十法。一者飛去無限數。二者飛來無限數。三者去無礙。四者來無礙。五者天身無有皮膚骨髓筋脈血肉。六者身無不淨大小便利。七者身無疲極。八者天女不產。九者天目不眴。十者身隨意好青則青好黃則黃好赤白眾色隨意而現。此是天十法。又有持十事持。一者飛行無極。二者往還無極。三者諸天無盜賊。四者不相說身善。亦不說他人惡。五者無有相侵。六者諸天齒等而通。七者髮紺青色滑澤長八丈。八者天人青色髮者。身亦青色。九者欲得白者身即白色。十者欲得黑色身即黑色(出長阿含經第十八第三十卷又出樓炭大智論)。

色界二十三天第二

- 梵身天一
- 梵輔天二
- 梵眾天三
- 大梵天四
- 光天五
- 少光天六
- 無量光天七
- 光音天八
- 淨天九
- 少淨天十
- 無量淨天十一
- 遍淨天十二
- 嚴飾天十三

- 少嚴飾天十四
- 無量嚴飾天十五
- 嚴飾果實天十六
- 無想天十七
- 不煩天十八
- 無熱天十九
- 善見天二十
- 大善見天二十一
- 色究竟天二十二
- 摩醯首羅天二十三

梵身天第一

梵身天宮。宮純黃金。身白銀色(色界皆爾)衣金色衣。行禪離欲修習火光三昧。故身出妙光勝於日月。非男非女。以禪悅為食。壽命一劫或有減者。身長半由旬。壽半劫(出長阿含經第二十卷)。

梵輔天第二

梵輔天(數云富婁)與前天同。若修中禪是貴梵生處。身長一由旬壽一劫(出長阿含經第二十卷)。

梵眾天第三

梵眾天。與前天同。若修下禪諸小梵生處。身長一由旬半。壽一劫半(出長阿含經第二十卷)。

大梵天第四

大梵天王。名曰尸棄(梁言火已)與前天同。若修上禪則生此也。於梵眾中發大音聲。一切大眾無不知者。梵身諸天各自念言。大梵天王唯與我語不接餘人。我自然得無所承受。於千世界最得自在。富有豐饒能造化萬物。我是一切眾生父母。後來諸梵第一尊重。顏如童子。名曰童子。擎鷄持鈴捉赤幡騎孔雀。初禪名曰梵迦夷。有宮去於他化自在宮。由旬一倍(出長阿含第二十卷花嚴樓炭大智論雜阿毘曇心云色界十七居止下三禪各有三天四禪有九天應有十八謂初禪下天是諸梵奴故不數也初禪無梵身二禪無光三禪無淨)。

光天第五

光天。以禪味為食。壽命二劫或有減者(出長阿含第二十卷)。

少光天第六

少光。略與前同(出長阿含經第二十卷毘依品云語言時口出少光)。

無量光天第七

無量光。略與前同(出長阿含經第二十卷依品云語言時口出多光)。

光音天第八

光音天(依品云光燿天語言口出淨光無邊)王名樂光(樓炭經云阿披附天菩薩又名光念又名光音聲)觀閻浮提臭穢惡氣。上熏七千萬里。是以菩薩不生光音(長阿含云天上百由旬遙聞臭氣甚於廁溷)二禪通名光音。有宮去於梵迦夷宮由旬一倍(出長阿含經第二十卷又出華嚴大智論菩薩處胎經)。

淨天第九

淨天。以禪樂為食。壽命三劫或有減者(出長阿含經第二十卷)。

少淨天第十

少淨。略與前同(出長阿含經第二十卷依品云三天同習覺無患樂相應禪生是三種天以少方便相應禪生少淨天受樂亦少)。

無量淨天第十一

無量淨。略與前同(出長阿含經第二十卷依品云以中方便生此天)。

遍淨天第十二

遍淨天(梵言韋細依品云以上方便生此天)王名淨智。四臂捉具持輪。御金翅鳥。三禪通名遍淨。亦名首陀斤。有宮去於光音宮由旬一倍(出長阿含經第二十卷又出樓炭大智論)。

嚴飾天第十三

嚴飾天。以禪悅為食。壽四萬劫或有減者(出長阿含經第二十卷)。

少嚴飾天第十四

少嚴飾。粗與前同(出長阿含經第二十卷)。

無量嚴飾天第十五

無量嚴飾。粗與前同(出長阿含經第二十卷)。

嚴飾果實天第十六

嚴飾果實天。王名法華光四禪通名果實。有宮去於遍淨宮由旬一倍(出長阿含第二十卷又出華嚴)。

無想天第十七

無想天(樓炭經云無人想)以禪樂為食。壽五百劫。或有減者。猶色界數。光明勝於果實。外道謂為涅槃(出長阿含經第二十卷依品云滅想生無想唯有色陰行陰少入生想便死)。

不煩天第十八

不煩天(長阿含云無造樓炭經云阿比披)以禪樂為食。壽命千劫。或有減者。光明勝於無想(出長阿含經第二十卷)。

無熱天第十九

無熱天。身長四千由旬。細軟委地不能自立。若下見佛變為麁形。以禪為味。天壽二千劫。或有減者。光明勝於不煩(出長阿含經第二十卷)。

善見天第二十

善見(華嚴云善見樓炭云須陀栴)身長四千由旬。亦以禪樂為食。壽三千劫(三乘名數經云壽四千劫)或有減者。光明勝於無熱(出長阿含經第二十卷)。

大善見天第二十一

大善見(華嚴云善見樓炭經云須彌栴尼)身長八千由旬。亦以禪樂為食。壽命四千劫(三乘名數經云八千劫)或有減者。光明有勝善見(出長阿含經第二十卷)。

色究竟天第二十二

色究竟天(華嚴經同樓炭經云阿迦膩吒)身長一萬六千由旬。亦以禪樂為食。壽五千劫(三乘名數經云一萬六千劫)或有減者。此五天通名淨居。諸那含所止。光明最勝(出長阿含第二十卷又出樓炭華嚴大智論)。

摩醯首羅天第二十三

摩醯首羅天(梁言大自在)又名淨居。過五淨居而有八處皆悉虛寂。是十住大士之所住處。法雲菩薩多作此天王。形有八臂三眼騎大白牛。大雲降雨雨大千界。一切眾生無能知數。唯此天王獨能知之(涅槃經云如人供養摩醯首羅當知是人已供養一切諸天樓炭經云光音天以上無有王出大智論第二卷)。

無色四天第三

無量空入處。或云空處智天。壽萬劫。或有小減(出雜阿含經樓炭經云虛空智天)。

無量識入處。或云識處智天。天壽二萬一千劫。或復小減(出雜阿含經樓炭經云識知天)無所有入處。或云無所有處智天。或云不用處。有優踰藍。不受佛化而自命終。佛記此人生不用處。若復捨身為邊地王傷害人民。後生地獄中。天壽四萬二千劫。或有小減(出長增一二阿含經樓炭云阿竭若然天)。

非想非非想入處。或云有想無想天。有弗羅勒迦藍。不受佛化而取命終。佛記當生有想無想天。後當復為著翅惡狸。飛行走獸無脫之者。命終生地獄中。天壽八萬四千劫。或有小減(出雜增一二阿含樓炭經云上有天名無有非想思亦有思想天)。

三界成壞第二

- 三小災一(又名三小劫又名三中劫)
- 三大災二(又名三大劫)

三小災第一

劫初時人壽四萬歲。後轉減促止於百年。漸復不全乃至十歲(雜心同小劫經抄云十二餘歲)女生五月皆已行嫁。十歲之時謂三小劫。一刀兵。二肌餓(出長阿含經云穀貴)三疾病。刀兵劫者。人多貪麁行十惡法。若行一善眾共[言*形]笑。推以為愚爭共陵滅。相敷作惡無一善人。五穀不生美味消滅。繒絹劫貝自然而盡。但食稊稗織草為衣。七寶沈沒沙石充遍。地生荊棘枝葉大小皆是刀劍拱木倒壞。地盡溝坑涌波崩岸。江河稍廣平地漸滅。刀兵一起經七日中。手執草木瓦石悉成刀劍。更相劫奪懍懍恐懼但欲相殺。猶如獵師遇見群鹿。中有智者遠藏山谷無人之處。食果飲水以盡十年(長阿含云自在七日更出人間)相殺盡者生地獄中。名刀兵劫。

飢餓劫者。人多非法愚癡邪見。慳貪嫉妒守財不施。水旱不節田種無收。米穀轉盡食粒驚貴。掃擇粃糠街巷落葉以目連命。粃葉既盡穿鑿地下食草木根。不能與者在先而死。刳剔死人復共食噉。噉之轉竭於屠殺之處。乃至塚間拾諸骸骨。煮汁飲之以此自活。飢死盡者生餓鬼中。名飢餓小劫。疾病劫者。人皆正見修行十善。疾病眾多無他方計少有醫藥。雖行眾善不能攘逆。薄福德故遇病輒死。神共來侵嬈撾打杖捶。使其心亂接其精神殺之將去。人命既終皆生天上。名疾病劫。若能一日一夜持不殺戒。終不生刀兵劫中。若以一呵梨勒果施僧。終不生疾疫劫中。若一食施僧。終不生飢饉劫中。此閻浮提惡劫互起餘方則少。此間刀兵劫起彼惟重瞋。此疾疫劫起彼惟氣力羸劣。此間飢饉劫起。彼但小渴乏耳(出長阿含經第二十二卷又出三小劫經抄又出雜心第十四卷)。

三大災第二

天地始終謂之一劫。劫盡壞時火災將起。一切民人皆背正向邪競行十惡。天久不雨所種不生。諸水泉源。乃至四大駛河皆悉枯竭。久久之後風入海底。取日上大城郭。於須彌山邊置本道中(雜心曰劫滅之時有七日輪住由乾陀山從彼而出又說分一日為七日也又說從阿鼻地獄出眾生業力致也)一日出時。百草樹木一時彫落。二日出時。四大海水從百由旬。乃至七百由旬內。水自然枯涸。三日出時。四大海水千由旬。乃至七千由旬內。水展轉消竭。四日出時。四大海水深千由旬。五日出時。四大海水縱餘七百由旬。乃至竭盡。六日出時。此地厚六萬八千由旬皆悉煙出。從須彌山。乃至三千大千剎土。及八地獄。靡不燒滅煙燼無餘。人民命終皆依須彌山。五種諸天。三十三天。炎天乃至他化自在天。皆悉命終宮殿皆空。一切無常不得久住。七日出時。大地須彌山漸漸崩壞。百由旬永無遺餘。金銀銅鐵之類皆悉流鑠。消就枯竭山皆洞然。諸寶爆裂崩[山/陀]砰礧煙炎振動至于梵天。一切惡道及阿修倫皆悉蕩盡。罪終福至皆集第十五天上。十四以下盡成炎墨。新生天子未曾見此普懷恐懼。舊生天子各來慰勞。勿生恐怖終不至此。人民命終生光音天以念為食。光明自照神足飛行。或生他土若生地獄。地獄罪畢亦生天上。若罪未畢亦生天上。若罪未畢復移他方無日月星宿亦無晝夜。唯有大冥謂之火劫火災。因緣果報致此壞敗。劫欲成時火乃自滅。更起大雲漸降大雨滂如車軸。是時此三千大千剎土。水遍其中乃至梵天(雜心曰水災所壞至第二禪水從第三禪降雨熱灰水又說水輪出也)謂為水劫水災。復有四風持水不散。一名住。二曰助。三曰不動。四曰堅。經數千億萬歲。水上泡沫化作千第十四天宮皆悉眾寶。水漸減隨嵐吹鼓。次第轉作天下諸天及日月宮殿。次作千須彌山。次第乃至千四天下地。山河城池水上清潔。初作天宮眾寶所成。光明最勝轉減轉濁。諸天宮殿七寶光明漸下漸劣。地欲露時水沙流急。隨下爭赴遂成川河流入于海海深八萬四千由旬。其廣無邊(樓炭經云深八百四十萬由旬)須彌山在於海中。出海又八萬四千由旬。水味醎苦。劫初成時自然雲起至光音天。周遍降雨洗濯天宮。滌蕩萬物諸不淨汁。下流入海令為醎苦。又有大仙人。呪使醎苦令人不飲。又有雜類眾生居之。便利其中故成醎苦。謂為風劫風災(雜心云風災所壞至第三禪百億四天下一時俱壞)此三及地為四災四劫。除地餘三說為大劫。過地種劫者。劫壞所及。唯未曾至第四禪。為淨居天故。無上地可生。即於彼處涅槃亦不下生。非數滅故變成天地。天地更始盪盪空虛。了無所有亦無日月。地涌甘泉味如蘇蜜。時光音諸天。或有福盡來生。或樂觀新地性多輕躁以指嘗之。如是再三轉得其味。食之不已漸生麁肌。失天妙色神足光明冥然大闇。後大黑風吹彼海水飄出日月。置須彌邊安日道中。繞須彌山照四天下。時諸人輩見出則歡見入則懼。自茲以後晝夜晦朔。春秋歲數。忽然復始。食之多者轉生醜顏。飡之少者尚遺妙色。美惡好醜漸漸而生。憍慢嫉妬次第而起。忿結諍競相續不絕。甘泉自涸地上生肥。其味香美有若甘露。時諸眾生復共食之。食之多者頓失威光體重生骨。食之少者身輕無累尚能飛行。重者見之皆大號哭。稱我窮厄住此世間。是非諍訟倍劇前法。資食地肥相看顏色。

欲心多者變成女人。共相愛著遂行婬欲。如是流布。餘光音天見諸天子皆悉墮落。共來訶罵曰。汝等何為行不淨行。地肥轉入土中自生粳米。鮮淨無皮既香且美。食者肥白朝採暮生。人漸懈怠并取多日。極情恣欲無有時節。女懷胎孕復生眾生。餘人見之即加驅擯。遣出人外三月聽還。知生慚愧共作方宜。取諸草木起立宮舍。覆藏形體使人不見。習翫婬欲如是轉增。多取糧粒以為資儲。如是相學粳米荒穢。轉生糠糠刈已不生。眾生見此心大憂惱。世有大災粳米復不如本。各自念言。我本生時以念為食。神足飛行光明自照。住此懈怠乃至如今。復相謂言。今共分地別立標記。封疆邊畔於是為始。自藏己分竊他禾米。米主見之曰。今恕汝罪後莫復為。如是轉多倍加呵責。呵責不已以手加之。以告眾人云。此人為盜。盜者又言。此人打我。眾人見此憂愁不樂。皆共集會議曰。眾生轉惡此是生老病死之原。煩惱苦報墮三惡道。由有田地致此諍訟。今者寧可共立聰明高才一人為主。以法理之可護者護。可責者責。應遣者遣。當共集米以相供給。選擇賢明形體端正有威德者。而語之言。汝為我等作平等主。善言慰勞眾皆歡喜。即共稱言。善哉大王。即以正法治民。名為剎利。皆是舊法。後人侵他物者即取懲罰。及重犯之便造督遮。鞭杖猶不能止又作牢獄刀杖等物。考楚殺戮令懷畏懼。時有一人念家多患猶如毒刺。棄捨妻兒獨處山林。起立草菴靜攝其志。修習梵行名婆羅門。後婆羅門有不樂閑靜坐禪思惟者。便入人間誦習為業。又自稱言。我是不禪人。於是世人號之為不禪婆羅門。時眾生中有人。好營居業多積財寶名為居士。又有多好機巧。名首陀羅。又有自厭世法剃除鬚髮法服修道。名曰沙門。時人心懷殺盜。又失粳米。立五種子。一者根子。二者葉子。三者華子。四者果子。五者莖生及餘種子。是謂五種之子。皆是風吹他方剎土種子來濟此國眾生。如此之瑞。有生老病死。有五盛陰。不盡苦際。水劫末時光音諸天入水澡浴。四大精氣入其身內。體生觸樂精流水中。八風吹盪墮淤泥中。自然成卵經八千歲。其卵乃開生一女人。其形青黑猶如淤泥。有九百九十九頭。有千眼九百九十九口。一口四牙牙上出火狀如礮礰。二十四手手中皆捉一切武器。其身高大如須彌山。入大海中拍水自樂。有旋嵐風吹大海水。水精入體即便懷任。經八千歲然後生男。身體高大四倍勝母。兒有九頭頭有千眼口中出火。有九百九十九手有八脚。於海水中自號。我是毘摩質多羅阿修羅王。唯噉淤泥及藕。地劫初成變易如是(出增一阿含經第三十二卷又出長阿含經第六卷又小品劫抄又出觀佛三昧第二卷)劫燒盡時一切皆空。眾生福德因緣力故。十方風至風風相次能持大水。上有一千頭人二千手足。名為違紐是人臍中生千葉金色蓮華。其光大明如萬日照。花中有人結跏趺坐。此人復有無量光明。名為梵天王。正生八子。八子生天地人民。是梵天王。婬瞋已盡坐蓮花上。諸佛隨俗現寶蓮花上。結跏趺坐說六波羅蜜。聞此法者。必至阿耨多羅三藐三菩提(出諸雜譬喻第六卷)。

劫之修短第三

佛言。設方百由旬城滿中芥子。有長壽人百歲。取一芥子都盡。劫猶不

盡。又如方百由旬石。持迦尸輕軟疊衣。百年一拂此石脫盡劫猶不盡。謂之大劫也。又言。方一由旬高下亦然。鐵城滿中芥子。百年取一盡為一劫。又方一由旬石山。士夫以迦尸衣百年一拂。拂之不已石山鎖盡。劫猶未竟。六十念中之一念。謂極小劫也(出大智論第三十六卷又出增一阿含第三十一卷又出第二十八卷又出雜阿含第三十四卷)。

日四

日城郭。方正二千四十里。其高亦然。光射人眼見之若圓。宮城純金七寶瑩麗無諸瑕。為五風所持。一持。二養。三受。四轉。五調。日王座方二十里。身出光明照耀宮殿。宮殿之光照於城郭。城郭之光下臨下土。無數天神前後導從。音樂自娛無有休息。林觀浴池如忉利天。天壽五百歲。子孫相襲以竟一劫。日城繞須彌山。東方日出。南方望。西方夜半。北方日入。如是右旋更為晝夜。復有長短。日行稍南南方漸長。經六十里。一百八十日北方稍短。復行稍北北方稍長。一百八十日南方稍短(出長阿含經第二十二卷又出樓炭經)。

月五

月城郭。廣長一千九百六十里。其高亦然。儼然方正遠見故圓。二分天銀一分瑠璃。內外清徹光明遠照。為五風所持。月王坐方二十里七寶宮殿。無量天神光明妓樂前後導從。園池等玩如忉利天。天壽五百歲。子孫相襲以竟一劫。月有虧滿。缺者一角行夜稍稍隱側故見缺減。又云。月城邊有天。其色正青衣服亦青。所在之面青光照城故缺減也。滿者月行稍轉向正。又青色天十五日轉入月城與王遇會。又須彌山南地有大樹。樹名閻浮提。高四千里枝蔭二千里影現月中(出長阿含經第二十二卷又出樓炭經)。

日月蝕

阿修倫天王名羅呼。其體高二萬八千里。以月十五日立海中央。海水裁至其臍。低頭[門@視]須彌羅寶。忝山及四方上鎮。以指覆日月天下晦冥。或覆日以晝為夜。所謂日月蝕時危光明也(出樓炭經第五卷)。

星六

星宿城郭。天神之舍也。以水精為城七寶為宮。懸在空中大風持之猶如浮雲。隨日運行為眼所見。大者七百里。中者五百里小者百二十里。宮室園池如四天王天。壽命亦爾(出樓炭經第六卷又出長阿含)。

雷七

虛空雲中。有時地大與水相觸。有時與火風等大相觸。水火風大更互相

觸。皆生虛空雲中雷聲(出長阿含經第二十卷)。

電八

電有四種。東方名身光。二南方名難毀。西方名流炎。北方名定明。何以虛空雲中有此電光。四方之電又共相觸。有此光起(出長阿含經第二十卷)。

雲九

雲有四種。一白。二黑。三赤。四紅。白者地大偏多。黑者水大偏多。赤者火大偏多。紅者風大偏多。去地或十里。或二十三十。乃至四十里。除劫初時上至光音天(出長阿含經第二十卷)雲有四色。一青。二赤。三黃白。四黑。青者中有水界大多。赤者中有火界大多。黃白者中有地界大多。黑者中有風界大多(出樓炭經第四卷)龍氣為雲(出長阿含經)。

風十

世界壞時有大風起名曰壞散。悉能吹壞摩滅大千世界。金剛鐵圍山等一切萬物。時大千世界外。復有風起名障壞散。能隔風災得至餘方。若無此障風。十方無量阿僧祇世界。無不散滅(出華嚴經第三十卷)。

雨十一

相師占雨。有五因緣不可定知。使占者迷惑。一者雲有雷電占謂當雨。以火大多燒雲不雨。二者雲有雷電占亦謂雨。有大風起吹雲四散入諸山間。三者雲有雷電占亦謂雨。時阿修羅攬接浮雲置大海中。四者雲有雷電占亦謂雨。而雨師放誕婬亂竟不降雨。五者雲有雷電占亦謂雨。而世間眾生非法縱盪污清淨行。慳貪嫉妒所見顛倒。故使天不降雨。以此五事相不定知(出長阿含第二十卷樓炭同)。

阿耨達龍王興大重雲。滿閻浮提並降大雨。百穀草樹皆悉滋長。江河川沼一切盈滿。此大雨水從龍王身心中出而能饒益無量眾生。摩那斯龍王將欲降雨。先興重雲彌覆虛空。慈悲心故凝停七日。先令眾生究竟諸業。漸降微雨普潤大地(出長阿含經第二十卷)。

經律異相卷第一

經律異相卷第二(欲色天人天部下)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 帝釋從野干受戒法一
- 帝釋受不報戒修羅攻之繼以五縛二
- 帝釋應生驢中從胎而殞還依本身三
- 悉鞞梨天子先身布施四
- 日天王問日月往行五
- 忉利天命將終七瑞見遇佛得生人中六
- 天人手出甘水濟五百賈人七
- 三十三天應生猪中轉入人道八
- 天女坐花資生之具盡從花出九
- 天寶女口密十
- 天女聞鹿牛彈琴下悉謌舞十一

帝釋從野干受戒法一

昔比摩國從陀山有一野干。為師子所逐墮一丘野井。已經三日開心分死。自說偈言。

一切皆無常　恨不飯師子　奈何罪厄身　貪命無功死　無功已可恨
復污人中水　懺悔十方佛　願垂照我心　前世諸惡業　現償皆令盡
從是值明師　修行盡作佛

帝釋聞之。與八萬諸天追尋所在飛到井側。曰不聞聖教久幽冥無導師。向說非凡語願為宣法教。答曰。天帝無教訓。大不識時宜。法師在下自處其上。初不修敬。而問法要。帝釋垂天衣接取野干叩頭懺悔。天帝言曰。憶念我昔曾見世人欲聞正法。先敷高坐莊飾清淨後請法師。諸天即各脫天寶衣積為高座。野干昇座曰。有二大因緣。一者說法開化天人福無量故。二者為報施食恩故豈得不說。天帝白曰。得免井厄功報應大。云何說法報恩不及此耶。答曰。生死其宜。各有其人。有人貪生。有人樂死。有愚痴人。不知死後更生。違遠佛法。不值明師。殺盜婬欺。惟惡是與。如此之人。貪生畏死。死墮地獄。有智慧人。奉事三寶。遭遇明師。改惡修善。孝養父母。敬事師長。眷屬和從。謙敬下物。如斯之人。惡生樂死。死生天上。

帝釋曰。如尊所誨。全其軀命。無功夫者。願聞施食施法。野干答曰。布施飲食。濟一日之命。施珍寶物。濟一世之乏。增益生死。繫縛因緣。說法教化。名為法施。能令眾生出世間道。一者得羅漢。二者辟支佛。三者佛道。此三樂人。皆從聞法。如說修行。又諸眾生。免三惡

道。受人天福樂。皆由聞法。是故佛說。以法布施。功德無量。天帝曰。師今此形。為是業報。應化身耶。答曰。是罪業報。非應化也。天人曰。我意謂。是菩薩聖人應現濟物。方聞罪果。未知其故。願聞因緣。野干曰。昔生波羅榇波頭摩城。為貧家子。剎利種姓。幼懷聰朗。特好學習。至年十二。隨逐明師。在於深山。辛苦奉事。翹勤不懈。師亦晨夜。切磋教授。不失時節。經五十年。九十六種。經書讖記論。醫方呪術。瞻相吉凶。災異禍福。靡所不達。高才智慧。名聞四遠。乃自思惟曰。今獲濟拔。皆由和上教化之恩。其功難報。家既貧乏。無可供養。唯當賣身以報師恩。師曰。山居道士。乞食自存。正無所乏。何用毀賣貴身為供我也。子今成就智慧辯才。當轉教化天下人民。為法燈明。教化之功。豈不足報於我之恩。遂住山中。乞食自資。不久國王崩。群臣集國內學士五百餘人。講論七日。勝者為王。是貧家子。享受王位。盡國財力。供養師及父母。後安陀羅國。與摩羅婆耶國。共相誅罰多年不剋。安陀羅王。召其群臣。當作何方。得摩羅婆耶國。諸臣答曰。唯有波羅榇波頭摩國。

王出生寒賤。奉持十戒。不犯外欲。雖有宮女。年並長宿。撿括國中。不問豪賤。選擇名女。足一百人。年少端正。能悅意者。齎持重寶。并諸婇女。以相貢獻。彼若納受。從其借兵。并力攻戰。無往不伏。即隨臣計。時悉獻上。王大歡喜。簡閱強兵百萬。以送助之。百日苦戰。死者過半。摩羅婆王。悉被刑斬。方得乃勝。由此美女。忘失本志。奢婬著樂。不理國政。百官群僚。相與作亂。良民之子。掠為奴婢。風雨不時。飢餓滿道。異方怨敵。遂來侵掠。從是其國。遂致亡沒。生地獄中。受眾楚毒。籍先學慧力。自識宿命。心自悔責。改往修來。須臾捨壽。生餓鬼中。復加懺謝。修念十善。須臾捨壽。受野干身。猶識先緣。復行十善。近逢師子。墮此井中。開心分死。冀得生天離苦受樂。由汝接我。違失本願。方經辛苦。何時當免。是故我說。汝濟我命。無功夫也。

吾所以入衣得出者。一不違天志願。志願不遂。生大苦惱。施人苦惱。在在所生。求願不得。二為諸天欲得聞法。若人恪法。世世所生。聾盲喑啞。諸根閉塞。生於邊地。癡騃無知。若生好處。情識闇鈍。所學不成。自致苦惱。三為通法化。開悟天人。即為法施。法施之利。能令眾生知死有生。作善獲福。為惡受殃。修道得道。轉身所生。智慧明了。常識宿命。若生天上。為諸天師。若生人間。為金輪王。十善化世。智慧光明漸漸增長。成菩薩行。至無生忍。財施如燈。但明小室。法施若日遠照天下。時天帝釋與八萬天從受十善法。先以十方便調伏諸根。謂六波羅蜜慈悲喜捨。時天問曰。今還天宮。和上何時捨此罪報得生天上。野干曰。剋後七日當捨此身生兜率天。汝等便可願生彼天。多有菩薩說法教化。七日命盡生兜率王宮。復識宿命行十善道(出未曾有經上卷)。

帝釋受不報戒修羅攻之繫以五縛二

過去世時。有天帝釋。白佛言。我今受戒。乃至佛法住世。盡我形壽。有惱我者。要不反報。加惱於彼。時毘摩質多羅阿修羅王。聞天帝釋受如是戒。聞已執持利劍逆道而來。時天帝釋遙見。即遙告言。阿修羅住。縛汝勿動即不得動。帝釋言汝若約誓不作亂者然後當放。阿修羅王即說偈言。

貪欲之所趣　及瞋恚所趣　妄言之所趣　謗毀賢聖趣　我若嬈亂者趣同彼趣趣

釋提桓因復告言。放汝令去隨汝所安。往詣佛所具以白佛。佛言。善哉(出天帝釋受戒經)。

帝釋應生驢中歸依三寶從胎而殞還依本身三

昔者天帝釋五德離身自知命盡。當生陶家受驢胞胎。愁憂自念。三界之中濟人苦厄唯有佛耳。馳往佛所稽首伏地至心歸命佛法聖眾。未起之間其命忽終便入驢母胎中。時驢解走破壞坏器。其主打之尋時傷胎。其神即還入故身中。五德還備。復為天帝。佛讚善哉。殞命之際歸命三尊。罪對已畢不更懃苦。佛為說偈。

帝釋聞之達罪福之變。解興衰之本。遵寂滅之行。得須陀洹道(出法句譬喻經第三卷)。

悉鞞梨天子先身布施四

時悉鞞梨天子白佛言。我自過去世時國王名悉鞞梨。於四城門普施為福。城內交道皆亦布施。時第一夫人言。王大作福德而我先。王言城東門外布施作福悉皆屬汝。諸子復言。城南門外所作施福悉皆屬汝。時有大臣復白王言。城西門外所作施福悉皆屬汝。時諸將士復白王言。城北門外相與。時諸庶民復白王。王答言。於其城內四交道頭所作施福悉屬汝等。爾時國王夫人大臣將士庶民悉皆惠施。於諸功德我先所作。惠施功德於茲則斷。時我所使諸作福者還至我所為我作禮而白我言。大王當知。諸修福處夫人王子大臣將士及諸庶民。各據其處行施作福。大王所施於茲則斷。我時答言。諸方歲輸應入。我者分半入庫半於彼惠施。我先長夜如是惠施常得可愛念可意福報。常受快樂無有窮極。以斯福業果報入大功德聚。譬如五大河合為一流。所謂恒河無有人能量。其河水百千萬億斛斗之數。功德果報不可稱量。悉得入於大功德聚。時悉鞞梨天子聞佛所說。歡喜禮足即沒不現(出悉鞞梨天子諸佛說偈經)。

日天王問日月往行五

日天王與無數天人來詣佛所稽首言。以何等行得為日天炤四天下。復以

何緣而為月天炤除夜冥。佛言。有四事。一常憙布施。二修身慎行。三奉戒不犯。四然燈於佛寺。若於父母沙門道人皆殖光明。又身口意行不殺等十善。佛言。又有四事得為月王。一布施貧匱。二奉持五戒。三恭事三尊。四冥設燈光於君父師寺(出超日明三昧經下卷)。

忉利天將終七瑞現遇佛得生人中六

昔忉利宮有一天。壽命垂盡有七種瑞。一者項中光滅。二者頭上華萎。三者面色變。四者衣上有塵。五者腋下汗出。六者身形變。七者離本坐。即自思惟。壽終之後下生鳩夷那竭國疥癩母腨腹中作豚。甚豫愁苦不知當作何計。有天語言。今佛在此為母說經。唯佛能脫卿之罪耳。即到佛所稽首作禮未及發問。佛告天子。一切萬物皆歸無常。汝素所知何為憂愁。天具白佛。佛言。欲離豚身當誦三自歸。如是日三。天從佛教晨夜自歸。却後七日天即壽盡。下生維耶離國作長者子。在母胞胎日三自歸。始生墮地亦跪自歸。其母勉身又無惡露。母傍侍婢怖而棄走。母亦深怪。墮地即語。謂之熒惑意欲殺之。退自念言。我少兒子。若殺此兒父必罪我。徐白長者殺之不晚。母即收兒往白長者。產男墮地便長跪叉手自歸三寶。闔門怪之謂之熒惑。父言。止止。此兒非凡人。世人百歲不曉自歸三尊。況初墮地而能稱南無佛。好養視之慎無輕慢。兒遂長大年向七歲。與其輩類於道邊戲。遇舍利弗目連。兒前禮之眾聖驚怪小而能禮。兒言。道人不復見識。具說天上遇佛復見識。我本在天上應生惡道。遇佛慈愍教令自歸故得為人。比丘即為呪願言。折梨祇兒語目連等及舍利弗。願以我言因請世尊諸菩薩僧并及仁等也。受而歸去具白父母。願辦其供令具甘美。父母愛之從其所言。異其年幼開發大意。又奇所作探識宿命。為極珍妙盡世名味。供具精細過踰兒意。佛及眾僧各作神足來至兒舍飯。佛為說經。兒及父母內外親屬皆得阿惟越致(出折伏羅漢經)。

天人手出甘水濟五百賈人七

昔有導師。與五百賈人共行作估。到大曠野飢渴困極。歸命世尊及釋梵四王怖懅無計。于時道師登高遠望。見有林木飛鳥往趣冀當有水。俱共犇走不久得至。唯見樹木周匝生草其地清潔。導師故謂賈人等。咸共穿地取水必當可得。適共議已。時有天人遙從天上瞻此導師及五百人困乏水漿。如申臂頃來到其所住于樹上。申其右手從五。指間流出八味甘美之水。供於導師及五百人。各各取用而無窮盡皆得飽滿。所以者何。宿命親親俱種恩福。故使天人念之來下以給美水各得安隱(出譬喻經第三卷)。

三十三天應生猪中轉入人道八

昔三十三天命欲終時。有五瑞應現在前。華萎。衣裳垢穢。腋下汗出。玉女減少。不樂本座。譬如身生疥瘙癰瘡。三十三天有一天子。生五異瑞愁憂呻吟。時帝釋聞之問言。於彼天宮是何等天愁憂呻吟。天子答

言。有一天子現五瑞應。善哉為彼天子。釋提桓因往詣其所語言。何為愁憂呻吟。乃拍髀為答言。有異災怪。釋提桓因為說偈言。

一切行無常　生者必有盡　夫生輒有死　此滅為最樂

天子言。我不聞此。釋提桓因言。一切恩愛皆有別離。天子言。云何而不懷憂。今此天宮種種五欲皆當別離。命終即生羅閱城猪胎。所食者是糞。方為屠膾所殺。我今見此是以懷愁耳。時釋提桓因語天子言。汝今自歸命佛法僧。所以然者。佛說偈言。

諸有歸命佛　不趣三惡道　受福天人間　後逮涅槃界

天子叉手便作是言。世尊一切智。徹視見觀。願見救濟。我今歸命佛歸命法歸命比丘僧。遂不處胎胎。生羅閱祇城第一長者家。見便歡喜不能自勝(出增一阿含第十九卷)。

天女坐花資生之具盡從花出九

有一天女。坐一蓮花上縱廣百由旬。此花獨妙殊於餘者。所欲資生之具隨念皆從花出。進止隨身。目連問言。作何善行受報如此。天女答言。迦葉佛滅度後。遺全身舍利。與佛諸弟子建七寶塔。高廣四十里。時我作女人出見寶塔中像。信敬情發念佛功德。脫頭上花奉獻於像(出雜藏經)。

天寶女口密十

自在天王天有寶女名曰善口。於一語中顯出百千娛樂音聲。於彼一一音聲中。復出百千音聲。佛子當知。一善口聲。出生無量聲。隨其所應悉令開解(出華嚴經第二十九卷)。

天女聞鹿牛彈琴下悉謌舞十一

過去世時。拘薩羅國有人彈琴。名曰鹿牛。行息中野有六廣大天宮。天女來語鹿牛言。阿舅阿舅為我彈琴。我當歌舞。鹿牛鼓琴六天歌舞。第一謌辭曰。

若男子女人　勝妙衣惠施　施衣因緣故　所生得殊勝　施所盡妙物
生天隨所欲　見我居宮殿　乘虛而遊行　天身如金聚　天女百中勝
觀察斯福德　迴向中中最

餘天辭粗相類(文多不載)鹿牛亦禮。禮竟天忽然不現(出過去彈琴人經)。

經律異相卷第二

經律異相卷第三(地部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 閻浮提一
- 鬱單曰二

閻浮提一

- 國封所產一
- 精舍二
- 山三
- 樹四
- 河海五
- 寶珠六
- 人飲乳多少及形壽同異七

閻浮提內方圓近遠及所出有一

閻浮提內。有十六大國八萬四千城八國王四天子。東有晉國天子人民熾盛。南有天竺國天子土地多名象。西有大秦國天子土地饒金璧玉。北有月支國天子土地好馬。八萬四千城中。六千四百種人。萬種音響。五十六萬億丘聚。魚有六千四百種。鳥有四千五百種。獸有二千四百種。樹有萬種。草有八千種。雜藥有七百四十種。雜香有四十三種。寶百二十一種。正寶七種。

海中有二千五百國。百八十國食五穀。二千三百二十國食魚鱉黿。五國王。一王主五百城。第一王名斯梨。國土盡事佛不事眾邪。第二王名迦羅。土地出七寶。第三王名不羅。土地出四十三種香及白琉璃。第四王名闍耶。土地出必鉢胡椒。第五王名那頗。土地出白珠及七色琉璃。五大國城多黑短小相去六十五萬里。從是但有海水無有人民。去鐵圍山百四十萬里。中一八崛摩殺人處在舍衛國東八萬十里。佛所化處亦一處。

拘夷那竭國在迦維羅國之東南一千里。王舍國在迦維羅衛國之東南二千二百里。佛得道處在王舍城東南二百里。

維耶離國在迦維衛國之東一千八百里。楼女國在維耶離城南三里道西。拘睒彌國在迦維羅衛國之西南千二百里。葉波國在迦維羅衛國之東千二百八十里。難國在迦維羅衛國之東三千二百里。

舍衛國在迦維羅衛之西五百里。

波羅榇國在迦維衛國之西九百六十里。佛轉法輪處在波羅榇國之北二十里。樹名香淨。降伏魔處也。

波羅榇私國在舍衛國之南千四百里。中間有恒水東南流。

耆闍崛山有五百岳。佛誦經在中岳。王舍國在中岳之下(出十二遊經)。

問曰。如舍婆提迦毘羅婆。波羅榇城。皆有諸王王舍。何故獨名此城為王舍。答曰。有人言。是摩伽陀王有子一頭兩面四臂。時人以為不祥。王裂其身首棄之曠野。羅刹女鬼名梨羅。還合其身而乳養之。後大成人力并諸國。取萬八千王置名此山五山中。以大力勢治閻浮提。因名此山為王舍城。復次有人言。摩伽陀王先所住城中失火。一燒一作如是至七。國人疲役。王集諸智人問其意故有言。宜應易處。王見此五山周匝如城。即作宮殿於中止住。故名王舍城。復次往古世時。此國有王名婆藪。厭世出家學作仙人。時居家婆羅門與諸出家仙人共論議。居家婆羅門言。天祀中應殺生噉肉。出家仙人言不應。共諍云云。諸出家婆羅門言。此有大王出家作仙人汝等信不。居家婆羅門言。出家仙人言。我以此人為證。後日當問。居家婆羅門先到婆藪所。語婆藪仙人。明日論議。汝當助我。諸出家仙人問。天祀中應殺生噉肉不。婆藪仙人言。應殺生噉肉。此生在天祀中死故得生天上。出家仙人言。汝大不是。汝大妄語即唾之言。罪人滅去。時婆藪仙人。尋陷入地沒踝。是初開大罪門。諸出家仙人言。汝應實語。若故妄語者。汝身當陷入地中。婆藪言。我知為天故殺羊噉肉無罪。即陷至膝。如是稍沒至腰至頸。出家仙人言。汝今妄語得現世報。更以實語雖入地下我能出汝令得免罪。婆藪思惟。我貴重人不應兩種語。又四韋陀法中讚祀天法。我一人死當何足許。一心言。應天祀中殺生噉肉無罪。於是舉身投地。從是以來常用婆藪仙人法。於天祀中殺羊。當下刀時言婆藪殺汝。藪之子名曰廣車。嗣位為王。亦厭世法而不能出家。如是思惟。我父出家生入地中。若治天下復作大罪。我今當何以自處。時空中聲言。汝若行見難值希有處應是中作舍住。未經幾時。王出田獵見有鹿走疾如風。王便逐之百官侍從無能及者。前見五山周匝峻固。其地莊嚴有天華香聞天伎樂。是處希有未曾所見。今我正當此中舍住。即捨本城住此山中。從是已後次第止住故名王舍城(出大智論第三卷)。

精舍二

- 加蘭陀所造竹園緣一
- 須達所造給孤獨園緣二

迦蘭陀長者施佛精舍事一

有豪貴長者。名迦蘭陀。追惜我園施與尼揵。不得奉佛及僧。臥不安席。有大鬼將軍。名曰半師。承佛神旨。即召閱叉推逐尼揵。裸形無恥

不應止此。鬼師奉勅。撾打尼揵拖拽器物。尼揵怖走曰。此何惡人暴害乃爾。鬼師答言。長者迦蘭陀當持竹園作佛精舍。大鬼將軍半師見使逐汝輩耳。明日尼揵共責數長者。長者心悅吾願遂矣。答尼揵曰。此諸鬼神強暴含瞋懼必作害。不如委去更求所安。尼揵忿恨即日悉去。長者修立精舍。僧房坐具眾嚴都畢。行詣樹下請佛及僧。眾祐受施止頓化濟。靡不欣樂(出中本起上卷)。

須達多買園以立精舍二

須達多白佛言。舍衛城中人多信邪。如來大慈唯願顧臨到舍衛城。佛言。彼無精舍云何得去。須達言。弟子營起願見聽許。世尊默然。願遣舍利弗指授摸則。即命共往案行周遍無可意處。唯太子祇陀園其地平正林樹鬱茂遠近得中。須達以白太子。太子笑言。欲用遊戲。慇懃再三。太子言。若能以黃金布地令間無空者便當相與。須達曰。諾謹隨其價。太子祇陀言。我戲語耳。須達言。太子不應妄語即共興訟。時首陀會天化作一人下為評詳言。夫太子法不應妄語。價既已決。不宜中悔。遂斷與之。便使人象負金出。八十頃中。須臾欲滿。殘餘少地(雜阿含經云五百步)須達思惟。何藏金足。祇陀問言。嫌貴置之。答曰不也。祇陀念言。佛必大德乃使斯人輕寶乃爾。即教語須達園地屬卿。樹林屬我。我自上佛(經云我自為佛造立門樓常使如來經行出入)便就施功。六師聞之往白國王。長者須達買祇陀園欲為瞿曇興立精舍。聽我徒眾與共斠術。沙門得勝便聽起立。若其不如不得起也。王召須達而問之言。今此六師云。卿買園欲為瞿曇起立精舍。求共沙門弟子。斠其伎術。若得勝者聽立精舍。苟其不如便不得起。須達歸家著垢膩衣愁惱不樂。時舍利弗明日時到著衣持鉢至須達家。即問之曰。何故不樂。須達具答。此六師輩出家來久精誠有素所學伎術無能及者。我今知尊人伎藝能與斠不。舍利弗言。正使此輩六師之眾。滿閻浮提數如竹林。不能動吾足上一毛。欲斠何等自恣聽之。須達歡喜更著新衣沐浴香水等。即往白王。我以問之恣聽其意。王告六師。今聽汝等共沙門斠術。六師宣告國人。却後七日當於城外與沙門斠術。舍衛國中十八億人。時彼國法擊鼓會眾。若擊銅鼓八億人集。若打銀鼓十四億人集。若振金鼓一切皆集。七日期滿至平博處椎擊金鼓。一切都集。六師徒眾有三億人。是時人民悉為國王及其六師敷施高座。爾時須達為舍利弗而施高座。時舍利弗在一樹下入諸禪定。而作是念。此會大眾習邪來久憍慢自高草芥群生當以何德而降伏之。思惟是已即立誓言。若我無數劫中慈孝父母敬尚沙門婆羅門者。我初入會一切大眾為我作禮。六師見眾已集而舍利弗獨未來到。便白王言。瞿曇弟子自知無術。眾會既集怖畏不來。王告須達。斠時已到。佛弟子宜來談論。時須達至舍利弗所長跪白言。大德大眾已集。願來詣會。時舍利弗從禪定起。更正衣服。以尼師檀著左肩上。徐詳而步如師子王往詣大眾。是時眾人及諸六師忽然起立如風靡草不覺作禮。時舍利弗便昇須達所敷之座。六師眾中有一弟子名勞度差。善知幻術。於大眾前呪作一樹。自然長廣蔭覆眾會枝葉鬱茂華果各異。眾人咸言。此變乃是勞度差所作。時

舍利弗便以神力作旋嵐風。吹拔樹根倒著於地碎為微塵。眾人皆言舍利弗勝。復呪作一池。其池四邊面皆以七寶。池水之中生種種華。舍利弗又化作一大六牙白象。其一牙上有七蓮華。一一華上有七玉女。其象徐詳往詣池邊。并啗其水池即時滅。復作一山。七寶莊嚴眾池樹木華果茂盛。舍利弗又化作金剛力士。以金剛杵遙用指之。山即破壞無有遺餘。復作一龍身有十頭。於虛空中雨種種寶。雷電振地驚動大眾。舍利弗又化作一金翅鳥王。擘裂噉之。復作一牛。身體高大肥壯多力麁脚利角跑地大吼[馬*奔]突來前。舍利弗又化作師子。分裂食之。復變其身作夜叉鬼。形體長大頭上火燃。目赤如血四牙長利口目出火騰躍奔起。時舍利弗自化身作毘沙門王。夜叉恐怖即欲退走四面火起無有去處。唯舍利弗邊涼冷無火。即時屈伏五體投地。求哀脫命辱心已生火即還滅。眾咸唱言。舍利弗勝。勞度差不如。時舍利弗身昇虛空現四威儀作十八變。作是變已還攝神足坐其本座。時會大眾見其神力咸懷歡喜。時舍利弗即為說法隨其福行各得道迹。六師徒眾三億弟子於舍利弗所出家學道。長者須達共舍利弗往圖精舍。手捉繩頭。時舍利弗欣然含笑。須達問言。尊人何笑。答曰。汝始於此經營地。而六欲天中宮殿已成。即借道眼須達悉見。問舍利弗。是六欲天何處最樂。舍利弗言。第四天中少欲知足。恒有一生補處菩薩。來生其中法訓不絕。須達言曰。我正當生第四天中。出言已竟餘宮悉滅。復更捉繩。時舍利弗慘然憂色。即問尊者何故憂色。答言。汝今見此地中蟻子不耶。汝於過去毘婆尸佛。亦於此地為彼世尊起立精舍。而此蟻子猶在此中生。乃至迦葉佛時亦復如是。九十一劫受一種身。起立精舍為佛作窟。以妙栴檀用為香泥。別房住止千二百處。凡百二十處別打揵稚竟。即白王。唯願大王遣使請佛。王即遣使詣王舍城請佛及僧。唯願世尊臨赴舍衛。佛與四眾前後圍繞。放大光明震動天地至舍衛國。所經客舍悉於中止。道次度人無有限量。漸漸來近舍衛城邊。一切大集持諸供具迎待世尊。世尊到國放大光明遍照三千大千世界。足指按地。地皆震動。城中伎樂不鼓自鳴。盲視聾聽啞語僂伸。癃[病-丙+殘]拘癖皆得具足。一切人民男女大小覩斯瑞應。歡喜踊躍來至佛所。十八億人都悉集聚。爾時世尊隨病投藥為說妙法。各得道迹(出賢愚經第十卷雜阿含涅槃中中本起諸律多同)。

山三

- 崑崙寶山為五百羅漢所栖一
- 十大山王二
- 地動八種緣三

崑崙寶山為五百羅漢所居一

崑崙山者。則閻浮利地之中心也。山皆寶石。周匝有五百窟。窟皆黃金。常五百羅漢居之。阿耨大泉周圍山外。山內平地河處其中。河岸有四金獸頭。口流出水。各繞一匝還其四方投入四海。象口所出者。則黃

河是也。其泉方各二十五由延。深二十一里。泉中有金臺。臺方一由延。臺上有金蓮華。以七寶為莖。如來將五百羅漢常以月十五日於中說戒(出興起行經上卷)。

閻浮提十大山二

大地有十大山王。一雪山王。二香山王。三軻梨羅山王。四仙聖山王。五由乾陀山王。六馬耳山王。七尼民陀羅山王。八斫迦羅山王。九宿慧山王。十須彌山王(出華嚴經第二十二卷)。

地大動有八種緣三

佛在舍衛城告諸比丘。有八因緣而地大動。此地深六十八千由延。為水所持。水依虛空。或復是時虛空風動而水亦動。水動地便大動。是初動也。若比丘得神足所欲自在。觀地如掌能使地大動。是二動也。若復諸天有大神足有大威力。能使地勤。是三動也。若復菩薩在兜術天。欲降神下生是時地動。是四動也。若菩薩自知在母胎地為大動。是五動也。若菩薩知滿十月當出母胎地為大動。是六動也。若菩薩出家於道場坐。降伏魔怨終成等覺。地為大動。是七動也。若如來於無餘涅槃界。而般涅槃。是八動(出增一阿含第二十四卷)。

樹四

- 千光明國樹出法音一
- 神藥樹二
- 大藥樹三
- 五面益物大樹四
- 大象藏香五
- 牛頭栴檀六
- 須彌南樹七
- 毒樹八

千光明國樹出法音一

過去有佛號師子吼鼓音王。國名千光明。七寶成樹。樹出空無相無作無生無所有無取相。如是諸法之音(出諸法無行經)。

神藥樹二

有神藥樹。名曰摩陀祇主厭。天下方毒不得妄行。有大神蛇身長百二十丈。蛇行索食。有黑頭蟲身長五丈。蟲行道中與蛇相逢。適欲舉頭前斷大蟲。蛇聞藥香屈頭欲走。蛇身羅藥樹。身即中斷分作兩段。頭半生得走。尾便臭爛。諸毒聞此蛇臭。諸惡毒氣皆消滅(出善信經下卷)。

大藥樹三

雪山頂有藥王樹。名非從根生非不從生。縱廣六百八十萬由旬。下極金剛際。此樹生根時。閻浮提樹一切根生。若生莖時及枝葉華果時。閻浮提樹一切悉生枝葉華果。其樹根能生莖。莖能生根。是故名曰不從根生非不從根。於一切處悉能生長。唯除地獄深坑。及水輪中不得生長耳(出華嚴經第三十卷)。

五面益物大樹四

昔者有王。王名物獵國中有樹名羞波提洹。五百六十里圍。下根周匝八百四十里。高四千里。枝四布匝二千里。樹有五果。道有五面。一面支國王與宮諸伎女共食其果。二面者大臣百官皆共食之。三面者人民共食之。四面者諸沙門道士共食之。五面者飛鳥蟲獸共食之。果皆如二斗瓶。其味如蜜。樹無守者。果分物不相侵。時人皆壽八萬四千歲。時人有九種病。一者寒。二者熱。三者飢。四者渴。五者大便。六者小便。七者愛欲。八者食多。九者年老。女人年五百歲。爾乃行嫁(出阿難念經)。

大象藏香五

人中有香。名大象藏。因龍鬪生。若燒一丸。興大光明細雲覆上。味如甘露。七日七夜降香水雨。若著身者身則金色。若著衣服宮殿樓閣。亦悉金色。若有眾生得聞此香。七日七夜歡喜悅樂。滅一切病無有枉橫。遠離恐怖危害之心。專向大慈普念眾生。我知彼已而為說法。令無量眾生得不退轉(出華嚴經第四十二卷)。

牛頭栴檀香六

牛頭栴檀香。從離垢山生。若以塗身。火不能燒(出華嚴經第四十二卷)。

須彌南樹七

須彌山南有一大樹。高四千里。諸鉢叉鳥恒栖其上。樹常不動。有一小鳥。形類鶉鵪。住止其上。樹輒震撫。鉢叉問樹神言。汝無知。我身重大而自不動。小鳥來時反更震搖。神言。此鳥雖小。從海底食一金剛。金剛為物。所墮之處無不破散。所以大怖不能自安耳(出十卷譬喻經第七卷)。

毒樹八

舍衛國有官園。生一毒樹。男女遊觀停息其下。或頭痛欲裂。或腰脊疼。或於樹下終。守園人。施長柯斧。長一丈有餘。遙斫去之。未經旬日。生已如故。如是多過。枝葉隨後。如舊團圓。樹中之妙。眾人見者。無不歡喜。不知忌諱。皆來遭此。園人宗親。貪樂樹蔭。盡取命

終。園人隻立。晝夜愁憂。號悲行走。有問。智人語之。當盡其根。適欲掘根。復恐定死。進更思惟。出家學道。佛言。

伐樹不盡根　雖伐猶復生　伐愛不盡本　數數復生苦

心寤剋責。即得初果(出斫毒樹經)。

河海五

- 四大河一
- 五大河二
- 大海八德三

四大河一

復有四大河。從阿耨大池出流趣大海。一名[口*恒]伽。二名辛頭。三名蔥叉。四名司陀。彼[口*恒]伽從金象口出。遶池一匝流趣東海。彼辛頭從銀牛口出。遶池一匝流趣南海。彼蔥叉從瑠璃馬口出。遶池一匝流趣西海。彼司陀者從頗梨師子口出遶池一匝流趣北海。彼四大河。各有四河以為眷屬。唯說廣大有名字者。然彼四河各有五百眷屬。合有二千河。終趣大海(出毘婆沙第二卷)。

五大河二

西流者名恒。南流者名耶云。東流者有兩。一名沙陸。一名阿夷越。北流者名墨。皆流澍于海。立天地來雨落河澍水無增減。去其舊名。合為一海水也(出海八德經)。

大海有八德三

佛遊無勝國。常以十五日。為諸沙門說戒坐定。佛默無言。阿難曰。坐定。世尊乃曰。諸沙門中。有心邪行違者。非其下賤所能執行。清濁相違。吾不說也。目連入定觀見。即謂之曰。起非爾俗人所應坐處。不肯時起牽臂使出曰爾無至德。心懷六邪。何敢以臭溷之體。坐天香之座。爾是棄人。非沙門矣。佛告沙門。觀彼巨海有八種德。其廣即汪洋無涯。其深則有不測之底。稍入稍深無前所礙。斯一德也。潮不過期。斯二德也。海含眾寶靡所不苞。死屍臭朽海不容焉。斯三德也。海懷眾珍。無求不得。斯四德也。普天之下有五大河。流入于海。皆去舊名。合為一海。斯五德也。五河萬流雨落恒澍。海中水如故曾無增減。斯六德也。海有眾魚因軀巍巍。第一魚身長四千里。第二魚身長八千里。第三魚身長萬二千里。第四魚身長萬六千里。第五魚身長二萬里。第六魚身長二萬四千里。第七魚身長二萬八千里。斯七德也。海水通鹹邊中如一斯八德也(出海八德經)。

寶珠六

- 明月摩尼珠一
- 大海生寶珠二
- 光明大寶三

明月摩尼珠一

明月摩尼珠。多在龍腦中。若眾生有福德者。自然得之。猶如地獄。自生治罪之器。此寶亦名如意珠。常出一切寶物。衣服飲食隨意所欲。得此珠者。毒不能害。火不能燒。或云。是帝釋所執。金剛與阿修羅鬪時。碎落閻浮提。又言。諸過去久遠佛舍利。法既滅盡。變成此珠以為利益(出大智論第五十九卷)。

生寶珠二

大海中有四寶珠。一切眾寶皆從之生。若無四珠。一切寶物漸就滅盡。諸小龍神不能得見。唯娑伽羅龍王密置深寶藏中。此深寶藏有四種名。一名眾寶積聚。二名無盡寶藏三名遠熾然。四名一切莊嚴聚(出華嚴經第三十卷)。

光明大寶三

大海之中。有四燃熾光明大寶。一名日藏光明大寶。二名離涸光明大寶。三名火珠光明大寶。四名究竟無餘光明大寶。若大海中無此四寶。四域天下金剛圍山。乃至非想非非想處皆悉漂沒。日藏光明。能變海水為酪。離涸光明。能變海酪為蘇。火珠光明。能燃海蘇。究竟無餘光明大寶。能然海蘇永盡無餘(出華嚴經第四十卷)。

人飲乳多少及形壽不同七

閻浮提。兒生墮地。乃至三歲。母之懷抱為飲幾乳。彌勒答曰。飲乳一百八十斛。除母腹中所食四分。東弗于逮。兒生墮地。乃至三歲。飲乳一千八百斛。西拘耶尼。兒生墮地。乃至三歲。飲乳八百八十斛。北欝單曰。兒生墮地。坐陌頭。行人授指唼指。七日便成人。彼土無乳。中陰眾生飲吸於風。閻浮提眾生壽命百歲。東弗于逮眾生壽二百五十歲。西拘耶尼眾生壽命五百歲。北欝單越人壽命千歲。中陰眾生壽命七日。閻浮提眾生人面上廣下狹。東弗于逮人面正圓。拘耶尼人面上狹下廣。欝單曰人面形正方。中陰眾生面狀。如他化自在天也(出眾生未然三界經)。

欝單曰二

北欝單曰天下。周匝廣長。各四十萬里。有種種山。其河兩邊。有種種

樹及種種華。水中有船。以四寶作之。浴池名難陀。其水涼濡。底沙皆金。周匝有陛。四寶作之。金陛銀桄銀陛金桄。琉璃陛水精桄。水精陛琉璃桄。有種種蓮華。華若斷者。汁出如乳味甘如蜜。光照四十里。其香亦聞四十里。池東有河。名已味。池南有河。名修竭。池西有河。名大土。池北有河。名善種。是諸河水皆有華樹。以四寶成。池東有園。名賢上。欄楯行樹亦四寶成。園中香樹出種種香。有衣被樹。有瓔珞樹。出種種衣被瓔珞。有音樂樹。出種種音樂。樹高七里。有高六里五里四里三里二里。池南有園觀。名與賢。池西有園觀。名羅越。池北有園觀。名常有華。諸樹所出。及其高卑。亦如東園。北方天下樹曲交路。天人在上。男女異處。有淨潔粳米。不種自生。出一切味。若欲行婬。意起相視無所言說。男子便前行。女人隨後。至園觀中共相娛樂。或二三日。或至七日。隨意罷去。不相屬也。女人懷妊。七八日便生。持著四徼道中。若有人從四面來者。與指[口*宿]出乳飲之。過七日已。自以福德。即自長大。如閻浮人年二十。若二十五也。周匝四方。有水名阿耨多羅。後夜雲起雨八味水。如人飲食。地若油塗塵土不起。草樹常有。華實皆香。如香熱時。有亂風吹掃上賢園觀。伊蘭風生。吹落華至人膝。此天下人皆入園中遊戲相娛無所係屬。人欲食時。取淨潔粳米。以焰味珠光爨其下。飯熟則四方至隨皆食之。食亦不盡。

有樹名象兜。交曲上合如交落。人民在上止宿。男女異處。人齒髮紺青長八寸。人面色同長短等。皆壽千歲。死生欲界諸天。天壽終。生閻浮提大豪貴家。大小便利。地裂受之受已還合。死時好衣服莊嚴之不啼哭。置四徼道中。鬱遮鳥舉置北方天下外(出樓炭經第一卷)。

經律異相卷第三

經律異相卷第四(應始終佛部第一)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 得道師宗一
- 託生王宮二
- 現迹成道三
- 阿難問葬法四
- 現般涅槃五
- 摩耶五衰相現六

得道師宗一

如來昔在久遠劫時。行菩薩道。為大國王。父母崩亡。讓國與弟。獨行求道。見一婆羅門。姓瞿曇氏。從之受學。因同其姓。入於深山。禪思念道。乞食還國。國人不識。呼小瞿曇。自於城外甘蔗園中。起立精舍。有五百大賊。劫盜官財。經園邊過。明日步蹤遂錄菩薩。以木貫身立大樹下血流於地。大瞿曇氏飛來問曰。有何罪酷乃至爾乎。官人放弩射而殺之。大瞿曇泣下沾棺。取血濕土以為泥團。持還精舍。置左右二器中曰。是道士若至誠者。天神當使血化為人。却後十月左即成男。右即成女。姓瞿曇氏。男名舍夷。賢劫中寶佛時又號釋迦。越壽五百萬歲者是也(出十二遊經)佛在摩竭提界。善勝道場元吉樹下。德力降魔。度二估客。惟定光如來。拜吾佛名云。汝於來世九十一劫。當得作佛。字釋迦文。十號具足。如我今也。吾從是來。積功累行。六度四等修持不勘。功報無遺大願成果(出中本起上卷)。

現生王宮二

究竟菩薩。在兜率天。詰天共議。當使菩薩現生何氏。種英天子問曰。一生補處降神何種。答曰。種姓有六十德者。我當降之(文多不載)唯有釋家久植德本。迦維羅衛人。大小和穆上下相承。國富民樂渴仰一乘。且白淨王性行仁賢。夫人姓瞿曇氏。溫良忠善護身口意。已五百世為菩薩母。王后晏寢。菩薩化乘白象。冠日之精。入于胎中。身心安樂猶如深禪。詣無憂樹下。遣使啟王。時無憂林有十種瑞。一忽然廣博。二土石變為金剛。三寶樹行列。四沈香莊嚴。五華鬘充滿。六眾寶流出。七池生芙蓉。八天龍夜叉合掌而住。九天女恭敬。十一切諸佛放光普照。王大歡喜。后身輕軟。不想三毒。諸有疾者手摩必愈。既滿十月臨產之時。有三十二瑞。一後園林木自然生果。二陸地出青蓮大如車輪。三枯樹生華。四七寶車至。五地中寶藏自然涌出。六名香好華遍布遠近。七雪山五百師子羅住城門。八五百白象皆住殿前。九細雨澤香。十百味飲食給諸飢渴(文多不載與諸本起同)。四月八日夜明星出時。后思園觀遊憐鞞樹下。三千國土六反震動。沸宿隕落樹即屈枝。母即攀執。諸天散華。從

右脇生。身長丈六。即行七步。寶華承足。舉手住而言。天上天下唯我為尊。三界皆苦何可樂者。釋梵奉侍。四王接上金案。龍降香水以充洗浴。五百青衣各生力士。白馬產駒。黃羊生羔(瑞應本起云奴名車匿馬名揵陟諸本起大同細異)。後七日母便命終。生忉利天。太子幼稚應須料理。時有說者。唯大愛道是大子姨母。清淨無夫當能育養。時白淨王。詣大愛道求為乳哺。愛道奉。雪山梵志名阿夷頭耆。見太子悲歎流涕。王問其故。答曰。仰慶大王。生此神人。昨天地大動。其正為此。我之相法。太子有三十二相。一體軀金色。二頂有肉髻。三其髮紺青。四眉間白毫。五頂出日光。六目睫紺色。七上下俱眴。八口四十齒。九齒白齊平。十方頰車。十一廣長舌。十二合滿堂。十三師子膺。十四身方正。十五脩臂。十六指長。十七足跟滿。十八安平正。十九內外握。二十合曼掌。二十一手千輻輪理。二十二足千輻輪理。二十三陰馬藏。二十四鹿腨腸。二十五鉤瑣骨。二十六毛右旋。二十七一孔一毛。二十八皮毛細軟。二十九不受塵水。三十胸有萬字(瑞應同少二)。身有此者。若在家。為轉輪聖王。七寶自至。若出家為自然佛。傷我年已晚暮。不覩佛興。是故悲耳。王厚相賞給。告大愛道。深加敬護(出普耀經第二卷又出釋迦譜第一卷)太子七歲。乘羊車。眾釋導從。往詣書師。師名選友。太子問曰。師有何書見教。答曰。有梵佉留法。可相教也。太子曰。異書有六十四種。何止二耶。師曰。願聞其名。太子答曰。梵書佉留書。護眾書。疾堅書。龍鬼書。乾闥婆書。阿須倫鹿輪書。天腸書。轉數書。觀空書(文多不載)欲以何書而見教耶。師不能解。讚歎而已。太子為諸童子。分別本末。勸發道心(瑞應經云書缺二字以問師師不應達反啟其志)太子年至十七。王為納妃。簡選數千。最後得一小國王。姓瞿曇氏。波須弗(梁言善覺)女名瞿夷。端正無比淨如蓮花。八國爭娉悉未許與。王召現之。今為太子結娉卿女。善覺愁憂。若不許者必見征伐。若許與者八國成怨。女言。白淨王國。武藝最勝。諸國所憚。王勑國內。却後七日。太子現術。能者宜集(長阿含經云執杖釋種女云有術藝者妻之)調達撲殺一象。太子擲出城外。天文地理八萬異術。無有及太子者。調達手搏太子少。太子接擲空中三反不損。復共射鼓。調達射中。四十里鼓不能過難。太子引弓弓皆軟折。問有異弓任吾用者不。王曰。亡祖用弓奇異無雙無能用者。在天寺中。取給太子。一切諸釋無能上者。太子用射中百里鼓。箭沒地中涌泉自出至鐵圍山。三千剎土六反震動。即以瞿夷。為太子第一夫人。隨世習俗現相娛樂(瑞應經云太子納妻久不交接一手指妃腹後乃生男)又取移施長者女。名耶惟檀。為第二夫人。又取釋種長者女。名曰鹿野。為第三夫人。太子當作飛行皇帝。立三時殿。置六萬婇女。羅云從天變沒化現而生。太子後出東城門。王勑嚴治道路。莫令不淨。太子威神之所建立。天化老人。頭白齒落。目冥耳聾。柱杖僂步。太子知而故問。此何人也。御者曰。是名老人。太子曰。人命如流難可得再。非獨為人天下皆爾。迴車還宮愍念不樂。後出城南門。遇見疾人。大腹羸瘦臥于道側。問于御者。答曰。病人。太子曰。萬物無常有身有苦。吾亦當然。即還入宮。後出城西門。見一死人。室家悲哭。御者曰。死人。人生有死。如春有冬。人物一貫。太子曰。夫死痛矣。精神劇矣。吾見死者。形壞體化。而神不

滅。吾不能復以死受生。往來五道勞我精神。迴車而還。復於他日。出城北門。見一沙門。衣服齊整手執法器。御者曰。此名比丘。棄捨情欲。心憙一切。欲度十方。太子曰。善哉。是吾所樂。我不辭王位而出家者。此則不應。即時靜夜入王宮殿。光照遠近。父王覺起。即啟父曰。諸天勸助。今應出家。父王悲泣。何所志願。何時當還。太子欲得四願。一者不老。二者無病。三者不死。四者不別。假使父王與此四願。不復出家。王曰。自古及今無有得者。益大愁悲。即勅五百釋子多勇力者。宿衛四門。城門開閉聲聞四十里。裘夷意疑不離其側。太子念道清淨不宜在家。當處山林研精行禪。時年二十九。以四月七日夜半後。裘夷時得五夢。即便驚覺。太子問之。對曰。夢見須彌崩。明月落地。珠光忽滅。頭髮自墮。人奪我蓋。菩薩知夢為我身耳。曰須彌不崩。明月續照。珠光不滅。頭髮不墮。傘蓋猶存。且自安寐。慎莫憂失。夜觀伎女百節皆空。譬如芭蕉。鼻涕目淚。樂器縱橫。顧視其妻。具見形體。腦髓髑髏心肝腸胃。外是革囊中盛臭穢。猶如假借。當還亦不得久。三界無怙惟道是恃。欲界諸天住於空中。法行天子。遙白太子。時已至矣。佛星適現。喚車匿起。被於揵陟。四天王與無數夜叉龍等。皆被鎧甲。從四方來。稽首致敬。諸天恐有留難。即遣厭神。入宮厭寐。城中男女悉皆寢極。孔雀眾鳥莫不疲臥。車匿悲泣。門鑰不開。四神捧舉馬足。踰出宮城。帝釋前導。放大淨光詣佛樹下(出普耀經第三卷又出第四卷)。

現迹成道三

明晨報問。不知所在。王即追蹤。前至王田。遙見太子。樹為曲枝。隨陰其上。王自驚悟。不識下馬而為作禮。大子拜曰。今一適此。何宜枉駕。追念太子。不捨心懷。還召大臣。卿等弄子抱孫。共相娛慰。吾但一子。見別山居。取卿子弟五人。追而侍之。若中來還。當滅卿族。太子脫寶衣以付車匿。還啟父王。及白裘夷。得道當還。不忘此誓。車匿奉辭。淚下如雨。白馬長跪。舐菩薩足。王都還物。歔欷投地。裘夷抱馬。太子乘汝。何忽獨來。甘果美泉皆無所乏。菩薩自念。欲作沙門至山水邊。天王知心。持刀而下。菩薩自剃頭鬚。帝釋受髮。肉髻獨存。成大沙門。至尼連水邊。寂然閑居。遇一獵師。身著法服狀如沙門。太子問曰。法服何名。答曰袈裟。鹿謂學道。心不恐畏。而來見附。以次殺之。用以自資。太子倍興慈念。求以身衣。從其貿易。獵師曰。王生長深宮。體肉細軟。不更寒苦。恐壞王身。且又不淨。太子曰。此聖賢之摽式。但貿無苦也。自當浣濯。諸天進食。却自不受。前行到摩竭國。人民見之。謂是帝釋梵王諸天。太子知其所念。便坐樹下。瓶沙王。即與群臣出詣道士。遙見光相。問是何神。從何國來。何所名字。太子答曰。吾出香山之東雪山之北。國名迦維。父名白淨。母名摩耶。瓶沙問曰。將無是悉達乎。答曰是也。王即禮足曰。形相炳著。當君臨四方。為轉輪聖帝。四海顒顒。冀神寶至。何棄天位。自放山藪。答曰。出生有死劇痛有四。謂生老病死不可得離。身為苦器。憂畏無極。

若在尊寵。則有憍慢。貪求快意天下苦患。吾厭此故。是以入山。彼六年勤苦。日食一麻一米。結跏趺坐亦不傾側。風雨雷電四時不改。未曾舉手以自障蔽。眾人怪之。取草木投耳鼻中。亦不棄去。形體羸瘦。惟金色益顯。光明遠照耳。周竟六年。心自念言。羸瘦如此。往詣佛樹。後世有譏。謂餓而得道。吾寧噉柔軟食。平復身體。然後成道。時有長者女。出嫁生男。心大歡喜。搆千頭牛展轉相飲。取其純乳作糜。欲祠樹神。遣婢洒掃。見佛不識。還啟大家云。樹下有神端正妙好。女聞歡喜。欲取糜去。糜跳出釜丈餘。不可取。女甚怪之。空中天曰。有大菩薩。已從坐起。汝本有願。當先飯之。乃成正覺。女聞天言。即取乳糜。盛滿金鉢。往尼連水邊。菩薩以神通力。入水洗浴。兜率天子。取天衣袈裟。奉上菩薩。即取著之。住尼連水邊。長者女奉乳糜。菩薩食之。氣力稍充。往詣佛樹。路左一人。名曰吉祥。刈生菁草。柔滑不亂。菩薩謂吉祥曰。欲得草坐。地則大動。諸天化作八萬佛樹師子之座。天子各見菩薩獨坐其座。薄福德者故見坐草。三界眾生見菩薩坐佛樹下(出胎經云坐閻浮樹下受三十八日觀樹經行也)放大光明。掩蔽魔宮。波旬臥寐夢見三十二變。宮殿闇冥入於邪徑。池水枯涸。樂器破壞。夜叉厭鬼頭皆墮地。諸天捨去不從其語。集諸大臣說夢所見。興諸兵仗。并召千子。其五百子。導師等信樂菩薩。其五百子。惡目等隨魔為亂。欲相降伏。魔有四女。一名欲妃。二名悅彼。三名快觀。四名見從。往詣菩薩。綺語作媚。三十二種。姿并唇舌營嬪細視(文多不備載)願得晨夜供事左右。答曰。汝形雖好心不端正。革囊盛屎。來欲何為。去吾不用。其三玉女化成老母。不能自復即還魔所(觀佛三昧經云三玉女名勤異反見過患)魔毒益盛。召十八億眾。變為殊形。師子熊羆蟲頭人軀蛇虺之身。擔山吐火。雷電霹靂。執持戈矛。菩薩喜心一毛不動。鬼兵不能近。菩薩爾時徐舉眉間毫。擬阿鼻獄。令罪人見。白毫流澍大如車輪。火即暫滅。自憶前世所作罪業。心得清涼稱南無佛。以是因緣受罪若畢。應生人中。魔見是相。憔悴懊惱。退還其宮。白毫復去。至第六天。見白毛孔。諸寶蓮華。過去七佛現在華上。如是白毫上至無色。遍照一切如頗梨鏡。八萬四千天女。視波旬身。狀如樵木。但瞻菩薩白毫相光。無數天子天女。發菩提心。魔王還與佛相難。佛以智力伸手案地。應時地動。魔及官屬。皆顛倒墮。降魔怨竟。即成正覺(出普耀經第五卷又出第六卷)。

與數千萬眾。入羅閱城。遙見之者。舉手讚歎。或言善來。或言日月。或自歸命。或相問訊。為是天耶。為帝釋耶。眾人隨逐。瓶沙王在高樓上。即問左右。為有何故。有一大臣曰。釋子辭家遊蕩在外。或能謀國。當往誅之。王曰。此子紹位作轉輪聖王。我等皆為臣佐。若使出家學道得佛。願為上首弟子。最初說法。先在其側。王載飲食。往東山候之。尋前禮足。自稱摩竭國瓶沙王者。今我是也。佛曰。我先識矣。何須致敬。王即啟曰。今獻微供。以表單心。願見納受。佛默然受。王言。若成無上道。願先見度。時阿蘭諸弟子。遙見世尊。白其師言。今有一人。端政殊特。經趣師門。必當求為弟子也。阿蘭乃說偈曰。

吾觀遠來士　眾相無缺漏　此自王世界　終不見宗事

(出深淺學比丘經又出修行本經下卷)。

阿難問葬法四

阿難問葬。佛言。我葬之法。如轉輪聖王。先以香湯浴身。劫貝裹體。次以五百張白疊纏之。內金棺中。灌以麻油。復以金棺置鐵槨內。栴檀香槨。次繞其外。積眾香薪厚衣其上。而闍維之。薪盡火滅。收取舍利。於四衢道。起立塔廟。表剎懸幡。使見者思慕。多所饒益。佛言。有四種人應為起塔。一如來。二辟支佛。三聲聞。四轉輪王。皆應香華幡蓋伎樂供養。佛於雙樹間。鋪置床座。以頭南首面向北方。所以然者。佛法流布。當久住北方。佛自牒僧伽梨。右脇如師子王。累足而臥。阿難又問。閻浮提界有幾種葬。佛言。無數。我此國土。有水葬火葬塔塚之葬。振旦國人葬送之法。金銀珍寶刻鏤車乘。飛天伎樂鈴鍾歌詠。用悅終亡。身帶衣服。盛置棺槨。妙香芬苾。千百萬眾送于山野。莊嚴處所。人民見者莫不歡欣。振旦邊王。所領人民。欲葬之時成持棺槨。內石室中。疾病之日開看骸骨。洗浴求福使病得愈。又有命終無有棺槨。直取屍骸置高閣上。疾急之時。下屍呪願。以求福祐。佛言。我法中學欲修福時。當勤精進。行六波羅蜜。護持十善。可得生天。向無上道(出灌頂經第六卷又出長阿含經第一卷)。

現般涅槃五

佛在拘尸那城力士生地阿夷羅跋提河邊娑羅雙樹間。與大比丘八十億百千人俱。前後圍繞。二月十五日(菩薩從兜率天下經云三月八日)臨涅槃時。以佛神力出大音聲。乃至有頂。隨其音類。普告一切。今日如來。憐愍眾生。為作歸依。大覺世尊將欲涅槃。一切眾生若有所疑。今悉可問。為最後問(長阿含經云小異文多不可備載)佛晨朝時。從其面門放種種光。遍照大千世界。乃至十方。六趣眾生。遇斯光者。罪垢煩惱一切消除。眾生見聞心大憂惱。同時舉聲。悲號啼哭。大地山海皆悉震動。時人共言。疾往佛所。勸請如來。莫般涅槃。住世一劫。諸大弟子迦旃延等。遇佛光者。其身戰掉不能自持。舉聲大叫生種種苦。復有八十百千諸比丘。六十億比丘尼。皆阿羅漢。舉身毛竪遍體血現。如波羅沙華。復有一億恒河沙菩薩。位階十住。二恒河沙優婆塞。三恒河沙優婆夷。四恒河沙離車。五恒河沙長者。六恒河沙諸王。七恒河沙王夫人。八恒河沙天女等。乃至十方佛及弟子。六道大眾。見涅槃相。悲號啼哭不能自持。會中復有拘尸城工巧之子。名曰純陀。與十五人俱禮佛而言。唯願世尊。及比丘眾。哀受我等最後供養。我等從今。無主無親無救無護。貧窮飢困。欲從如來求將來食。唯願哀受我等微供。然後涅槃。佛曰。我今為汝。除斷貧窮。無上法雨雨汝身田。令生法牙。令汝具足檀波羅蜜。時眾歡喜。同聲讚言。希有純陀。佛受汝供。汝真佛子。佛言。純陀。今

正是時。如來正爾當般涅槃。第二第三亦復如是。純陀舉聲號哭。復白大眾。我等今共。五體投地。同聲勸佛。莫般涅槃。佛告純陀。莫大啼哭自亂汝心。我以哀愍汝及一切。是故今日欲入涅槃。何以故。諸佛法爾有為亦然。速辦所施。不宜久停。佛又從面門放五色光。照純陀身。純陀身持餚饍。疾往佛所。憂悲悵怏。猶願矜哀住壽一劫。佛言汝欲令我久住者。宜當奉最後具足檀波羅蜜。一切菩薩天人雜類。異口同音唱言。奇哉純陀。成就大福。我等無德。所設供具則為唐捐。世尊欲令一切眾望滿足。於自身上。一一毛孔化無量佛。一一諸佛各有無量諸比丘僧。悉皆示現受其供養。釋迦如來。自受純陀所奉設者。純陀所持粳糧成熟之食。摩伽陀國滿足八斛。以佛神力。皆悉充足一切大會(長阿含經小異文多不載)有疾右脇而臥。如他病人。告迦葉菩薩。是諸眾生。不知大乘方等密語。便謂。如來真實有疾。今於娑羅雙樹間。示現倚臥師子之床欲入涅槃。令諸未得阿羅漢果眾弟子等及諸力士生大憂苦。令天人阿修羅等大設供養。又使諸人。以千端疊。纏裹其身。七寶為棺(菩薩從兜術天下經云如來自擗三衣各取三條鋪金棺裏以襯身臥兩脚相累手以鉢錫付授阿難)盛滿香油。積諸香木。以火焚之。唯除二端。不可得燒。一極襯身。二最在外。為諸眾生。分散舍利。以為八分。一切聲聞弟子咸言。如來入於涅槃。當知如來。亦不畢定入於涅槃。何以故。如來常住不變易故。已願聞正法。當棄貪婬。遵承我教。精進行道。是為最後佛之遺命。宜共慎之。汝諸比丘。觀佛儀容。難得覩見。却後一億四千餘歲。乃至彌勒佛耳。佛臨涅槃。地大振動。諸天世人皆悉驚怖。諸有幽冥。日月光明。所不至處。皆蒙大明。各得相見。天散華香。時佛滅度。六欲天王。金毘羅神。密迹力士。佛母摩耶。雙樹娑羅園神。各作偈頌。諸比丘悲慟。各自歔欷而言。如來滅度何其駃哉。群生長衰世間眼滅。阿那律告諸比丘。止止勿悲。諸天在上。儻有怪責。諸比丘問。上有幾天。答曰。充塞虛空豈可計量。皆於空中徘徊。搔擾悲號。擗踊歔欷而言。如來滅度何其駃哉。群生長衰世間眼滅(長阿含與雙卷泥洹大同出大涅槃第一卷)阿難比丘今何所在。文殊師利言。在娑羅林外。去此十二由旬。為六萬四千億魔之所嬈亂。是諸魔眾悉自變身。為如來像。說種種法種種示現。阿難念言。昔所未見。誰之所作。將非釋迦。欲發是語。都不從意。阿難受大苦惱。不能得來。佛說大陀羅尼呪。文殊受之。至阿難所。為魔誦說。諸魔王等發菩提心。文殊即與阿難俱還佛所(出菩薩從兜率天下經)諸末羅。集於種種供養。復竟一日以佛舍利。置於床上。諸末羅童舉床。皆不能勝。阿那律言。汝等且止。諸天欲留七日。展諸人民皆得供養。如來三從金棺裏出金色臂。問阿難至。平治道路灑掃燒香未。云何阿難。吾前後所出。方等大乘。汝悉得不。阿難對曰。唯佛知之。佛言如是。諸經今為畢竟。七日末羅童子捧舉四角擎。汝可持幡蓋。燒香散華。作眾伎樂前後導從。安詳而行。入城東門。遍諸街巷。出城北門。渡熙連禪河。到天冠寺。末羅使臣。積香木竟。火燒不然。阿那律言。諸天意以滅火。迦葉將五百弟子從波波國還。願見佛身。迦葉遇一尼乾。手執曼陀羅華。問曰。知我師在不。答曰。滅來七日。我從彼得此華。迦葉不悅。五百弟子婉轉號咷。不能自勝。悲歔言曰。善逝涅槃何其駃哉。時

跋難陀言。且莫啼哭。我等於摩呵羅邊。或得解脫。迦葉催諸比丘。疾疾執持衣鉢。往拘尸城。及見舍利。問阿難曰。世尊舍利可得見不。答曰。劫貝裹。白疊纏。內金棺中。藏鐵槨內。衣以香薪。即欲焚難可得見。迦葉三請。答曰如初。前至香[廾/積]。佛蹋重棺現於兩足(四分律云棺槨自開出現雙足)足下輪相有諸異色。即問阿難。答云。女人心軟。前禮佛時。淚墮手捉。迦葉作禮。大眾同拜。繞樹三匝。各興偈頌。香[廾/積]處處不燒自然(長阿含雙卷涅槃略同文多不載)火極熾盛。難可止息。娑羅樹神以力滅之(出涅槃長阿含雙卷泥洹又出菩薩從兜術天下經)。

摩耶五衰相六

佛般涅槃。摩耶夫人在於天上。五衰相現。一頭上華萎。二腋下汗出。三項中光滅。四兩目數瞬。五不樂本座。又得五夢。一須彌山崩。四海水竭。二羅剎奔走挑人眼目。三天失寶冠身無光明。四寶珠幢倒失如意珠。五師子嚙身痛如刀割。得此夢已即便驚寤。此非吉祥。我昔在於白淨王宮。因晝寢中。得希有夢。見一天子。身黃金色。乘白象王。從諸天子。作妙伎樂。觀日之精。入我右脇。身心安樂。即便懷妊。悉達太子為世照明。令此五夢甚可怖畏。必是我子涅槃之相。時阿那律殯佛既畢。昇忉利天。偈告摩耶。摩耶氣絕良久與諸眷屬下雙樹間。見僧伽梨及鉢錫。執之號慟。絕而復蘇曰。我子福度天人。今此諸物空無有主。佛以神力令諸棺蓋自然開發。佛合掌而起。放大光明。問訊母言。遠屈來下。諸行法爾。願勿啼泣。阿難雖自抑忍。白佛。後世眾生必當問我。佛臨滅度復何所說。云何答之。佛告阿難。汝當答言。佛已入涅槃。摩耶夫人下。如來為後不孝眾生。從金棺出合掌問訊。并說上偈諸敬。此經名為佛臨涅槃母子相見經。如是受持(出摩耶經下卷)。

經律異相卷第四

經律異相卷第五(應身益物部第二)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 佛胸萬字放光發音一
- 三種密二
- 受阿耆達請三月食馬麥三
- 與五百僧食馬麥緣四
- 現鐵槍報五
- 化四梵志掩耳不受但各聞一句得道六
- 化作梵志度多味象王七
- 化盧至長者改兵杖為雜花八
- 化作沙門度五比丘九
- 現為沙門化慳貪夫婦十
- 化屠兒及諸梵志令得道迹十一
- 化大江邊諸無信人十二
- 濟五百賊出家得道十三
- 吹香山藥入五百盲賊眼中還得清眼十四
- 化作執著婆羅門子令其父母還得本心十五
- 化婬女令生厭苦十六
- 現五指為五師子十七
- 以足指散巨石十八

胸萬字放光發音一

如來遊於妙樂世界。欲現智慧廣度無極。與弟子菩薩梵釋天龍。集于精舍。放萬字光音。清淨遠徹。五法大音。一曰度人大乘之音。二曰度人無彼此之音。三曰度人無緣覺之音。四曰度人不斷情想善權之音。五曰度人逮入生死解其勞塵說法之音。國王名處流。與諸人民。詣佛禮敬曰。久聞如來。宣道訓化。濟脫生死。而無有限。吾等眷屬流於生死。未蒙解脫。願尊垂化令解明法。天地震動修菩薩行(出現佛胸萬字經)。

三種密二

何謂心密。四行清淨不失神通建立大哀無極之業。以神通變現一切普顯。以成諦道智慧之室。覩一切法。是則正通普御一切。其真法者慧神慧通皆顯眾像。解暢諸色。解暢一切諸佛道法。開化一切十方眾生。使入法律。至阿惟顏。轉一切法。是為菩薩心密之業(出密迹金剛力士經第二)菩薩住是金剛三昧。以一音聲有所宣說。一切眾生各隨種類而得解了。示現一色。一切眾生各各皆見種種色相安住一處。身不移易。能令眾生隨其方面各各而見。宣說一法。若界若入。一切眾生各隨本解而得聞之(出大涅槃經第二十二卷)佛以一音演說法。眾生隨類各得解。皆謂世尊同其語。

眾生各各隨所解。普得受行獲其利。或有恐畏。或歡喜。或生厭離。或斷疑。斯則神力不共法(出維摩經第一卷)一切法相。行無取著。建勝寶幢。出一大音。若樂聞施惠得解脫者。即聞如來說施利益。戒慧等樂亦復如是。說大乘法無一眾生不解脫者(出觀佛三昧經第三卷)。佛以一言說一切法。大千眾生以無量音一時問難。皆各不同。於一念中。以一音答。皆令開解(出華嚴經第二十六卷首楞嚴經明身蜜悲花第七卷十分別經普明口蜜大同)。

受阿耆請三月食馬麥三

隨羅然國(或云毘羅然)有婆羅門王。名阿耆達。聰明多智。往詣阿難邠坻廣共論議言訖。問須達多言。此土有神人可宗者不。答曰有。悉達太子出家成佛。相好殊特天人所尊。阿耆達即命駕。往詣祇洹見佛風神。心敬內發。即起白佛。願佛及僧。顧我三月夏坐。佛言。我此眾多。而汝異見異信。王言。不以為多。如是至三。佛與五百比丘一時受請。往至其國。城邑隘陋民窮少信。乞食難得。先無精舍。城北有林。枝葉鬱茂。其地平博。與眾頓止。勑諸比丘。汝等當知。此邑窮隘人多不信乞食難得。若欲於此。安居者住。不者隨意。時舍利弗獨往阿牟迦末迦山。受天帝釋及阿修羅女請。天食供養。時有天魔。迷惑王心。使還宮內耽荒五欲。一者寶飾。二者女樂。三者衣食。四者榮利。五者色欲。還入後宮。勑守門者。三月之內不問尊卑。外事大小悉不得白。迷忘供養又無恒命供養。滿六日便止。諸比丘乞食極苦難得。時大目連白佛。有樹名鬱閻浮。我欲取其果供養大眾。有訶梨勒林。阿摩勒林。鬱單曰有自然粳米。忉利天食修陀味。普皆欲取以供大眾。有甘地味。我以一手。擎諸眾生。一手反地。令諸比丘自取而噉。願見聽許。佛言。汝自有大神力。諸比丘惡行報熟不可移轉。一皆不聽。是國有清水美草。有波羅國人。逐水草牧馬。欲令肥丁來到此處。馬士信佛心淨。告諸比丘言。我等知僧飢極而食皆盡。正有馬麥。君能噉不。諸比丘白佛。佛言。馬屬看馬人能以好草鹽水食馬。此麥自在應受。馬有五百匹。一馬日食二升。各分半以給比丘(四分律云馬食一斗分五升給僧)有一良馬。日食四斗。分半奉佛(四分律云二斗分一升)阿難取佛分并自分。持入聚落。於一女人前。讚佛功德。有小因緣。在此安居。汝能為作乾飯不。女言。我家多事。不能得作。傍有一女聞。謂阿難言。持麥來我為作飯。更有濡善智慧持戒比丘。我亦為作。女即作飯與阿難。阿難敬佛情深如是思惟。佛為王種。常食餚饍。此飯麁惡不能益身。行水授飯。見佛食之。悲哽交懷。佛知其意。欲解釋之。汝能噉不。阿難言。能受而食之。滋味非常。實是諸天以味加之。欣悅無量悲哽即除。具陳二女。佛言。前女若作飯時。應為轉輪王第一夫人。不倩而作者。此福無量。時諸國豪貴居士。大富薩薄等。聞佛三月食馬麥。備眾供具種種餚饍。車馬盈道。而來奉餉。世尊自恣垂至餘七日。告阿難。汝行入城。告阿耆達云。安居竟。復餘國遊行。阿難與一比丘。俱到王所。具陳佛語。王猶未悟。乃問。佛今何在。阿難言。受王三月請始竟今故在國。王又問阿難。誰供給。阿難言。窮苦理極。佛與眾僧三月食馬麥。王始自覺悟。如何令佛及僧。三

月食馬麥。惡聲醜名流布諸國。憂愧愁惱。與諸宗親。共往詣佛。深自懺悔。更請留佛。佛受七日辦種種食。劫貝四張。革屣一量奉佛。劫貝二張。革屣一量施僧(善見毘婆沙云集其兒孫語云我先請佛三月安居不得一日供今以三月供限并設明日以三衣施佛三衣施僧白疊各一雙又施絳欽婆羅各一張又施鉢兜那波吒梁言絹一藥膏各滿一器)王取其供。遍散道中。欲令蹈過。佛言。食糧應噉。敬不宜足蹈佛乃為受。皆悉呪願。王心悅結解。逮法眼淨(出中本起經下十誦彌沙塞律略同)。

與五百僧食馬麥緣四

過去久遠世時。佛名比婆葉。在槃頭摩跋城。王名槃頭。有婆羅門。名因提耆利。博達四韋。及諸算術。及婆羅門戒。教五百童子。王設會請佛供饌精美。眾有一比丘。名曰彌勒。病不能行食。竟為病人請食。梵志不與罵曰。髡頭沙門正應食馬麥。不應食如是甘美之供。時諸弟子曰。實爾。舍利弗。時婆羅門者我身是也。五百童子。今五百羅漢。是病比丘今彌勒是(出興起行經下)。

現鐵槍報五

舍衛城中有二十人。復與二十人共為怨敵。時四十人各欲相害。伺覓方便。承佛威神尋詣佛所。佛化四十人。當有鐵槍(或云佉達羅剌)自然來出入佛右足大指。言未竟槍在佛前。目連白佛。今拔鐵槍著異世界。佛言。以精進力欲拔鐵槍者。三千大千世界為大震動。不能搖槍如毛髮許。佛往梵天。槍輒隨之。還舍衛城。槍亦在前。如來取槍以足蹈上。目連白佛。如來何罪而獲槍殃。佛曰。昔五百賈人一懷惡心。吾即害之。是其餘殃。四十人聞是。自相謂言。法王尚爾。況於吾等。當不受罪乎。悔過自首。入平等慧(出慧上菩薩經下卷)。

化四梵志掩耳不受但各聞一句得道六

昔有婆羅門四人。皆得神通。身能飛行神足無礙。此四梵志自相謂言。其有人民。以餚饍食施瞿曇沙門者。便得生天不離福堂。有聞法者入解脫門。我等今日意貪天福。不願解脫不須聞法。是時四人各執四瓶甘美石蜜。一人先至奉上世尊。佛告梵志。說所行非常。梵志聞即掩耳。次第二人復說。謂法興衰。梵志聞亦掩耳。次第三人復說。夫生輒死。梵志聞亦手掩耳。次第四人復說。此滅為樂。梵志聞亦掩耳。各捨之去。自相謂言。瞿曇沙門有何言教。前者對曰。我聞一句所行非常。次第二三四。復自陳說。與說此偈已。心開意解得阿那含道。爾時四人。自知各得道證。還自懇責。至如來所。頭面禮足。在一面立。白世尊曰。唯願如來。聽在道次得為沙門。世尊告曰。善來比丘。快修梵行。爾時四人。頭鬚自墮。身所著衣變為袈裟。尋於佛前得羅漢道(出無常經)。

化作梵志度多味象王七

昔有婆羅門國。名多味象。其王奉事異道。王欻一日發於善心。欲大布施。如婆羅門法。積七寶如山。有來乞者。聽令自取。重一撮去。如是數日。其積不減。佛知是王宿福應度。化作梵志往到其國。王出相見。禮問起居曰。何所求索。莫自疑難。梵志答言。吾從遠來。欲乞珍寶持作舍宅。王言大善。自取重一撮去。梵志取一撮行七步。還著故處。王問何故。梵志答曰。此裁足作舍。復當娶婦。懼不足用。是以不取。王言。更取三撮。梵志即取。行七步復還故處。王言何以。答言。此足取婦。復無田地奴婢牛馬。是以息意也。王言。更取七撮。梵志即取。行七步復還故處。王言。復何意故。梵志答言。若有男女當復嫁娶。吉凶用費計不足用。是以不取。王言。盡以積寶持用相上。梵志受而捨去。王甚怪之。重問意故。梵志答言。本來乞匄欲用生活。諦念人命處世無幾。萬物無常旦夕難保。因緣遂重憂苦日深。積寶如山無益於己。貪欲規圖唐自勤苦。不如息意求無為道。是以不取。王意開解奉教。於是梵志現佛光相。踊住空中。為說偈言。

雖得積珍寶　嵩高至于天　如是滿世間　不如見道迹　不善像如善
愛而似無愛　以苦為樂像　狂夫之所厭

王見佛光。又聞此偈。王及群臣。即受五戒。得須陀洹道(出法句譬經第一)。

化盧至長者改兵杖為雜花八

南天竺有一大城。名首波羅。城中有一長者。名曰盧至。為眾導主。已於過去無量佛所。殖諸善本。彼大城中一切人民。信伏邪道奉事尼揵。我時欲度彼長者故。從王舍城至彼城邑。尼揵聞我欲至彼城。即作是念。沙門瞿曇若至此者。此諸人民便當捨我不復供給。告彼城人。沙門瞿曇今欲來此。然彼沙門。委棄父母東西馳騁。所至之處能令土地五穀不登。人民飢饉死亡者眾初無安樂。彼人聞已即懷怖畏。白言。大師。當設何計。尼揵答言。沙門瞿曇。性好叢林流泉清水。外設有者宜應毀壞。汝等便可相與出城斬伐林木。勿令有遺流泉井池。填以臭穢。堅閉城門。各嚴器仗。當壁防護。懃自固守。彼設來者。莫令得前。我等亦當作種種術。令彼瞿曇復道還去。彼諸人民敬奉施行。我於爾時。至彼城邑。見是事已。尋生憐愍。慈心向之。所有樹木還生如本不可稱計。河池井泉其水清淨盈滿其中。如青琉璃。生眾雜華彌覆其上。變其城壁為紺琉璃。城內人民悉得徹見我及大眾。門自開闢無能制者。所嚴器仗變成雜華。盧至長者而為上首。與其人民俱共相隨。來至我所。我即為說種種法要。令彼諸人一切皆發阿耨多羅三藐三菩提心(出涅槃經第十四)。

化作沙門度五比丘九

昔波羅奈國有山。去城四五十里。有五沙門。處山學道。晨旦出山人間

乞食。食訖還山晚暮乃到。往還疲極不堪坐禪。思惟正定歷年如是。不能得道。佛愍念之。勞而無獲。化作一道人。往到其所。問諸道人。隱居修道得無勞倦。諸沙門言。吾等在此。去城大遠。四大之身當須飯食。日日往還。疲勞歷歲。不得修道。為當正爾畢命而已。道人語曰。夫為道者以戒為本。攝心為行。賤形貴真。朽棄軀命。食以支形。守意正定。內學止觀。滅意得道。養身從情。安得免苦。願諸道人。明日莫行。吾當供養。諸道人休息一日。時五沙門意大歡喜。怪未曾有。安心定意。不復憂行。明日中此化道人送食。食訖安和心意恬惔。理化道人為說偈已顯現佛身相光之容。是五沙門精神震疊。咸思惟戒。即得阿羅漢道(出法句譬經第三)。

現為沙門化慳貪夫婦十

舍衛國有一貧家。夫婦慳貪不信道德。佛愍其愚現為沙門。詣門分衛。時夫不在。其婦罵詈。無有道理。沙門語曰。吾為道士。乞匄自居。不得罵詈。唯望一食。婦曰。若汝立死。食尚叵得。況今平健欲望我食。但稽時節不如早去。於是沙門。住立其前。戴眼抒氣。便現立死。身軀膖脹鼻口蟲出。腹潰腸爛不淨流溢。婦見恐怖失聲棄走。於是道人。忽然捨去。去舍數里。坐樹下息。其夫來歸。道中見婦。怪其驚怖。其婦語夫。具陳此事。夫大瞋怒。問為所在。婦曰。已去。想亦未遠。夫即執弓帶刀尋跡往逐。張弓拔刀奔走直前。欲斫道人。道人即化作琉璃小城。以自圍繞數匝不能得入。即問道人。何不開門。道人曰。欲使門開棄汝弓刀。其人自念。當隨其語。若當得入手捲加之。尋棄弓刀。門故不開。復語道人。已棄弓刀。門何不開。道人又曰。吾使汝棄心中惡意弓刀耳。非謂手中弓刀。於是其人。心驚體悸。道人神聖。乃知我心。即便叩頭悔過自責。啟道人曰。我有弊妻不識真人。使我興惡。願小垂慈。莫便見捨。今欲將來勸令修道。即起還歸。其妻問曰。沙門所在。其夫具說神變之德。今者在彼。卿直自往。改悔滅罪。於是夫妻至道人所。五體悔過。願為弟子。請問琉璃城。堅固難喻。志明意定。永無憂患。何德到此神妙。道人答曰。吾博學無厭。奉法不懈。精進持戒。心不放逸。緣是得道。自致泥洹(出法句經第三)。

化屠兒及諸梵志令得道迹十一

昔有五百婆羅門。常求佛便。欲誹謗之。自共議言。當使屠兒殺生。請佛及諸眾僧。佛必受請。讚歎屠兒。吾等便前而共譏之。佛即受請。告屠兒言。果熟自墮。福熟自度。屠兒還歸供設飲食。佛將諸弟子到屠兒村。中至檀越舍。梵志大小皆共歡喜。今日乃得佛之便耳。若讚福者。以其前後殺生作罪。持用譏之。若當說其由來之罪者。當以今日之福難之。二者之中今乃得便。佛到即坐。行水下食。於是世尊。觀察眾心。應有度者。即出舌覆面舐耳。放大光明照一城內。即以梵聲說偈呪願。

如真人教　以道活身　愚者嫉之　見而為惡　行惡得惡　如種苦種
惡自受罪　善自受福　亦各須熟　而不相代　習善得善　亦如種甜

五百梵志意自開解。即前禮佛。五體投地。求達聖訓。唯願愍育得為沙門。佛即聽受。皆為沙門。村人大小。見佛變化。莫不歡喜。皆得道迹。稱之賢里。無復屠兒之名(出法句譬經第一卷)。

化大江邊諸無信人十二

舍衛東南有大江水。既深而廣。五百餘家居在岸邊。未聞道德度世之行。習於剛強欺誑為務。貪利自縱快心極意。佛知此家福應當度。往至水邊。坐一樹下。村人見佛光明奇異。莫不驚肅皆往禮敬。或拜或揖問訊起居。佛命令坐為說經法。眾人聞之心猶不信。佛化一人。從江南來。足行水上。正沒其踝。來至佛前稽首禮佛。眾人見之莫不驚怪。問化人曰。吾等先人已來居此江邊。未曾聞人行水上者。卿是何人。有何道術履水不沒。化人答曰。吾是江南愚直之人。聞佛在此。貪樂道德。至南岸邊。不時得度。問彼岸人。水為深淺。彼人見語。可水齊踝。吾信其言。便爾來過。無他異術。佛讚言善哉。夫執信誠可度生死之淵。數里之江何足為奇。村人聞已。心開信堅。皆受五戒。為清信士(出法句經第三)。

濟五百賊出家得道十三

時舍衛毘舍離。二國有嫌。互相抄伐。舍衛國王作是念。我為國王。應却敵安民。云何使賊劫掠人物。即勅將士。仰汝追捕。必使擒獲。時舍衛比丘安居竟。欲詣毘舍離。諸比丘失道。墮彼賊中。時比丘問言。長者汝欲何去。答言。向毘舍離。比丘復言。當共作伴。彼即答言。我等是賊。經涉榛木。行不擇路。汝是善人。云何隨我。比丘復請。願將我去。語言未竟。追捕尋至。合捉比丘。將至王所。此是群賊。王言。先將比丘來。王言。汝出家人。云何作賊。答言。我非是賊。何故相隨。比丘具以上事白王。王言遣去。王問賊言。此出家人是汝伴不。答言。是伴。王言。將賊去更喚比丘。王問。比丘妄語欺官。賊道汝是伴。何以言非。比丘答如初。王即勅放賊如法治。取五百賊。著迦毘羅華鬘。打鼓巡令。欲將殺之。賊大啼哭。佛知故問。眾多人聲。比丘答言。世尊。是五百賊。被王教殺。是其聲耳。佛告阿難。汝往語王。汝是人王。當慈民如子。云何一時殺五百人。阿難受教。即詣王所。具說佛語。王言。尊者。我知是事。殺一人罪多。況復五百。但數壞聚落。抄掠人民。世尊能使不復作賊。可放令活。阿難還具白佛。佛語阿難。語王但放。我令此人從今日後更不作賊。阿難受教。先到刑處。語監殺者言。是諸罪人。世尊已救。未可便殺。復至王所。世尊語王。能令此人更不作賊。王即原命。且未解縛。送詣世尊。爾時世尊。欲度彼人。在露地坐。賊遙見佛。繫縛自解。頭面禮足。却住一面。佛觀其緣。隨從

說法。布施持戒行業報應。苦集盡道四真諦法。即於是時。得須陀洹道。問言。汝等樂出家不。答言。世尊。我等先若出家不遭此苦。唯願今者度我出家。佛言。善來比丘。時五百賊舉身被服變為三衣。自然鉢器威儀詳序。如似百歲舊比丘。皆成羅漢(出僧祇律第十九卷)。

吹香山藥入五百盲賊眼中還得清眼十四

憍薩羅國。有五百賊。波斯匿王。患其縱暴。遣兵伺捕。得已挑眼。逐著黑闇叢林之下。是諸群賊。已於先佛殖眾德本。既失目已受大苦惱。各作是言。南無佛陀。我時住在祇洹精舍。聞其音聲。即生慈心。時有涼風。吹香山中種種香藥。滿其眼眶。尋還得眼如本不異。諸賊開眼即見如來。住立其前而為說法。賊聞法已。發阿耨多羅三藐三菩提心(出大涅槃經第十四卷大方便佛報恩經第七大同)。

化作執著婆羅門子令其父母還得本心十五

毘舍離國。有婆羅門。執著邪見。無有子息。慮忽崩亡。財賄沒官。奉祠諸山。及諸樹神。覺婦有身。月滿生男。其兒端正。父母愛念。至年十二。出外遊觀。道逢醉象。蹋即命終。父母懊惱。心發狂癡。裸形而走。如來慈念。化作其兒。父母前抱。歡喜無量。狂癡即滅。還得本心。佛為說法。即發道心(出大方便佛報恩經第四卷)。

化婬女令生厭苦十六

佛告阿難。我昔夏安居時。波羅捺國。有一婬女。名曰妙意。於佛有緣。佛與難陀。將往婬女舍。日日乞食。此女於我不曾恭敬。但於難陀偏生愛著。已經七日。女心念言。沙門瞿曇。若能遣難陀阿難。從我所願。我當種種供養。佛告阿難難陀。汝從今日莫往彼村。世尊獨至女樓。一日至三日。放金色光。化諸天人。此女不悟。後日世尊。復將阿難難陀。在樹下行。婬女愛敬二比丘故。遙以眾華散佛及二比丘。阿難告言。汝可禮佛。女愛阿難。應時作禮。佛化作三童子。年皆十五。面貌端正。女見歡喜。為化年少。投地敬禮。白年少言。丈夫我今此舍如功德天。富力自在。眾寶莊嚴。我今以身及以奴婢。奉上丈夫。可備灑掃。若能顧納。隨我所願。一切供給無所愛惜。化人坐床。未及食頃。女前親近言。願遂我意。化人不違。一日一夜心不疲厭。至二日時愛心漸息。至三日時。白言。丈夫可起飲食。化人即起。纏綿不已。女生厭悔。白言。丈夫異人乃爾。化人告言。我先世法。凡與女通。經十二日爾乃休息。女聞此語。如人食噎。既不得吐。又不得咽。身體苦痛。如被杵擣。至四日時。如被車轢。至五日時。如鐵丸入體。至六日時。支節悉痛。如箭入心。女念言。我聞淨飯王子。救濟苦人恒在。今日何故不來救我。作是念已。懊惱自責。我從今日乃至壽終。不貪色欲。寧與虎狼師子惡狩。同處一室。不受此苦。作是語已。復起飲食。行坐共俱無奈之何。化人亦瞋唾云。弊惡女。廢我事業。我今共汝。合體一處。

不如早死。父母宗親。若來覓我。於何自藏。我寧自縊死。不堪受恥。女言。弊物我不用爾。欲死隨意。化人取刀刺頸。血污女身。萎陀在地。女不能勝。亦不得免死。經二日青瘀臭黑。三日膖脹。四日爛潰。大小便利。及諸惡蟲。迸血諸膿。塗漫女身。女極惡厭而不得離。至五日時。皮肉漸爛。至六日時。肉落都盡。至七日時。唯有臭骨。如膠如漆。粘著女身。女發誓願。若諸天神。及與仙人。淨飯王子。能免我苦。我持此舍。一切珍寶。以用給施。作是念時。佛將阿難難陀帝釋在前。擎寶香爐。燒無價香。梵王在後。擎大寶蓋。無量諸天伎樂。佛放常光照耀天地。一切大眾皆見如來。詣此女樓。時女見佛。心懷慚愧。藏骨無處。取諸白疊無量眾香。裹其臭骨。臭勢如故。不可覆藏。女見世尊。即為作禮。以慚愧故。身映骨上。臭骨忽然在女背上。女流淚而言。如來功德慈悲無量。若能令我離此苦者。願為弟子心終不退。佛神力故。臭骨不現。女大歡喜。為佛作禮。白佛言。世尊。我今所珍一切施佛。佛為呪願梵音流暢。女聞歡喜。應時即得須陀洹道(出觀佛三昧經第七卷)。

現五指為五師子十七

善男子。我入王舍大城。次第乞食。提婆達多。教阿闍世王。即放護財狂醉之象。欲令害我及諸弟子。我於爾時即入慈定。舒手示之。即於五指出五師子。是象見已其心怖畏。失大小便。舉身投地。敬禮我足。善男子。我時手指實無師子。乃是修慈悲善根力故。令彼調伏(出大涅槃經第十四卷)。

以足指散巨石十八

復次善男子。我欲涅槃。始初發足。向拘尸城。有五百力士。於其中路。平治掃灑。中有一石。眾欲舉移。盡力不能。我時憐愍。即起慈心。彼諸力士尋即見。我以足拇指。舉此大石。擲置虛空。還以手接。安置右掌。吹令碎沫。復還合之。令彼力士貢高心息。即為略說種種法要。令其俱發阿耨多羅三藐三菩提心(出涅槃經第十四卷)。

經律異相卷第五

經律異相卷第六(現涅槃後事佛部第三)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 天人龍分舍利起塔一
- 阿育王造八萬四千塔二
- 阿難問八萬四千塔因三
- 弗沙蜜多羅王壞塔四
- 天愛帝須王起塔請舍利及菩提樹五
- 迦羅越比丘共人起塔獨加供養後手雨七寶六
- 須達起髮爪塔七
- 身去影存仙人從化起髮爪塔八
- 天起牙及缺瓮塔九
- 幼童聚沙為塔十
- 獼猴土石塔十一
- 天上四塔十二
- 人中四塔十三
- 摩訶薩埵餘骨塔十四
- 佛現菩薩舍利塔十五
- 禁寐王為迦葉佛起塔十六
- 治迦葉佛故塔十七
- 德主王起五百塔十八
- 踊出寶塔十九
- 諸佛舍利在金剛塔二十
- 起塔中悔二十一
- 造形像二十二
- 法滅盡二十三

天人龍分舍利起塔一

佛涅槃後。時波波國諸末羅眾(梁言力士)遮羅頗國諸跋離眾。羅摩伽國拘梨眾。毘留提國婆羅門眾。迦羅衛國釋住眾。毘舍離國諸離車眾。摩竭提國阿闍貰王(胎經云優田王頂生王惡生阿闍貰王最兵馬主容顏兵馬主熾盛兵馬主金剛兵馬主)各嚴四兵王遣香姓婆羅門(十誦律云因姓胎經云優婆吉)白拘尸力士言。佛是我師我之所尊。於君國內而取滅度。故從遠來請舍利分還國起塔。若分與我者舉國寶重與君共之。力士答曰。世尊屈降此土於茲滅度。國內士民自當供養。遠勞諸君不可得也。諸王共議。遜言和求既不見與。不惜身命當以力取。力士王曰。若欲舉兵力足相抵。終不可得。香姓婆羅門於八眾中高聲唱言。佛積修善忍於無量劫。諸君亦應聞又讚忍辱。何可興師共相陵奪。此非敬事。今舍利現在但當分作八分。使處處人民皆得供養。諸君亦皆受佛戒口誦語言。可爭舍利遂相殘害。力士報言。敬如

君議。時烟婆羅門。即分為八分。時釋提桓因即現為人語諸王言。我等諸天亦當有分。若共爭力則有勝負。幸可見與勿足為難。時阿耨達龍王文隣龍王伊那鉢龍王語八王言。我等亦應有舍利分。若不見與力足相伏。時優波吉言。諸君且止宜共分之。即分為三分。一分與諸天。一分與龍王。一分屬八王。以蜜塗瓮裏以瓮量之。諸天得分還於天上起七寶塔。諸龍得分還於龍宮亦起寶塔。阿闍貰王共數其分各得八萬四千舍利。餘有佛口一[咨*毛]無敢取者。以阿闍貰王初求舍利投地氣乏最為篤至共持與之。阿闍貰歡喜鼓樂動天。難頭示龍王中道相逢曰。佛留舍利持一分與我。王曰。不可得也。龍曰。我是難頭示。能舉卿國土擲八萬里外磨碎如塵。王即怖懅以佛[咨*毛]與之。龍於須彌山下起塔。高八萬四千里。聳水精琉璃塔。阿闍世王崩。阿育得其國土。時大臣白阿育王曰。難頭示龍先易阿闍貰奪將佛[咨*毛]去。阿育聞之。即勅鬼神王作鐵網鐵籍。置須彌山下水中欲縛取龍王。龍王大怖共設計言。阿育事佛伺其熟臥取其宮殿移著須彌山水中。水精塔下自出相見具說本末其瞋必息。便遣龍捧取阿育宮殿。眠覺不知何處。見水精塔高八萬四千里。喜怖交懷。難頭示龍自出辭謝云。阿闍貰王自持與我我不奪也。釋迦如來昔與我約云。吾涅槃後劫將盡時所有經律及袈裟應器皆取藏此塔中。彌勒來下當復出之。龍送王宮置於本處。烟婆羅門曰。請舍利瓶(菩薩胎經云瓮)我還頭那羅聚落起於瓶塔。力士與之。以瓶及著瓶舍利共起寶塔。波羅延那婆羅門居士復言。燒佛處炭與我。我還本國起為炭塔。衡國異道士求取地灰還國起塔。力士並然。亦有於閣維處起立寶塔。灰炭及土四十九斛。所起寶塔四十九。皆置長表法輪繒幡(出雙卷泥洹十誦律序菩薩處胎經及阿育王經)。

阿育王造八萬四千塔二

阿育王莊嚴四兵。往開七塔故取舍利唯餘龍塔。龍將王入宮言。此塔我所供養願為留之。王即聽許。還國造作八萬四千寶函分布舍利遍此函中。復作八萬四千寶瓶及諸幡蓋。付諸夜叉於閻浮提一切地乃至大海處處起塔。先諮耶舍羅漢云。欲於一日一念中起八萬四千塔令一時俱成。耶舍羅漢甚相讚美。王後與龍校其功德。並秤二像。而龍重王輕。王廣請眾僧植功不息。後復共秤。輕重衡平。王轉復修習。知功德日多。興兵往討。始造中路。龍王大小莫不奉迎。一塔舍利并以恭獻王。後觀佛得道化人之處隨復造塔(出阿育王經第一卷又出雜譬喻經上卷)在王境內有一千二百寺。造織金縷幡亦一千二百。又千葉金華欲手自懸散。始辦而遇重疾。恐乖本心泫然泣下。沙門謂王曰。所修功德不可計數。正當開意何用悲為。但自一心。我當令王得果所願。沙門即以神力使一千二百寺皆現王前。病苦即滅。欲繫諸幡。凡諸剎抄低就王手。成就本願。延壽二十五年(出迦葉經又出雜譬喻經)又興功德二十年中。臨命終時。繼念三寶心心不絕。無所恪惜盡成菩提(出雜阿含經第二十五卷)。

阿難問八萬四千塔因三

阿難白佛。先造何因。分身舍利起八萬四千寶塔。佛言。過去有國王名波塞奇領閻浮提八萬四千國。時世有佛名曰弗沙。王與臣民供養於佛及比丘僧。時王念言。邊陲小國處所偏僻人民之類無由修福。即召畫師圖畫佛像。分布遠國咸得供養。時諸畫師看佛相好。適得一處忘失餘處不能得成。時波塞奇王。調和眾彩手自畫像以為模楷。諸師寫學畫八萬四千像。分布八萬四千小國。諸小國王皆得供養。波塞奇王今我是也。緣此功德身有三十二相。涅槃之後復得八萬四千諸塔(出賢愚經第四卷)。

弗沙蜜多羅王壞八萬四千塔四

阿育王崩。諸臣欲立太子以紹王位。有一大臣。名阿菟羅地。曰。阿育大王。誓捨滿十萬億金。作諸功德。尚少四億。太子封藏不與。王捨閻浮提地。以施佛法僧。欲以滿之。今日大地皆屬三寶。云何便使太子為王。諸臣即辦四億金送寺然後共立。知是四世王。名弗沙蜜多羅。問諸臣曰。我當作何等事。令我名業久在。有臣啟曰王。先王阿育。造八萬四千如來之塔。復興種種供養。名德相傳無有斷絕。王曰。先王有大威德。能辦此事。我不能作。更思餘事。有一臣曰。有二種法。名傳不滅。一者作善。二者作惡。先王造塔。今王壞塔。二俱不朽。王乃從之。即興四兵往詣寺舍。先至鷄雀寺中門前。有石師子。即作師子吼。王聞驚怖。還入城中。如是再三。呼諸比丘問言。我壞塔壞房何等為善。比丘答曰。並不應行。必不得已寧壞僧房勿壞塔也。王即殺害比丘。壞諸塔寺。至婆伽羅國。又復唱言。若有得沙門頭者賞之千金。此國有一羅漢。化作多比丘頭。傳與百姓送往請金。王之庫藏金寶竭盡。後知羅漢倍復瞋忿。羅漢入滅盡定。王往殺之終不能得。以滅盡定力不傷其體。如是漸進至塔門邊牙齒塔。神曰。有蟲行神先求我女。我不與之。今為護法即呼女與。共立誓言。卿伏此王勿壞正法。時蟲行神往南方海中排撻大山推逊王上及四兵眾。無不死盡。眾人唱言。快哉快哉。孔雀苗裔於此永盡(出雜阿含經第二十五卷)。

天愛帝須王起塔請舍利及菩提樹五

摩哂陀等諸比丘。受師子國王名天愛帝須。夏三月四事供養訖。辭王曰。昔依師目下。朝夕承事。供養禮拜。違曠既久。今欲歸去。王曰。依於法師。得受歸戒。四事供養何事不樂。先言。佛已涅槃。今言。欲還問訊。諸比丘曰。佛般涅槃。舍利猶在。王曰。諸大德。當欲令我起塔為量度好處。即到沙彌修摩那所。問曰。當云何得如來舍利。沙彌答曰。但淨治道路燒香散華。王與眷屬俱受八戒。出那伽園林。自常致也。王即辦具。修摩那還啟其祖具宣上事。欲起塔。願賜舍利。阿育曰汝可往忉利天宮白帝釋。帝釋有二舍利。一者右牙留帝釋供養。二者右缺瓮骨必付汝來。開函取舍利置於鉢中。滿鉢白光猶如真珠以授與沙彌。沙彌復至帝釋宮求右缺瓮骨。帝釋曰。善哉。開函與之。沙彌以祖所與舍利與王。王念。如來舍利我當頂戴。存念未竟。象即伏地。白傘

自下。函即上頂。王舉體怡悅如得甘露。降細微雨大地震動。王問大德。今當何置。答曰。下象頭上。象發音聲供養舍利。天龍鬼神皆大歡喜。即入城內人民供養。從南門出圍繞取塔。昔三佛舍利亦在此塔園中。即斫伐棘刺先起塔基。與象頂等。白大德言。塔形云何。摩哂陀答曰。猶如[廾/積]稻。王曰。善哉。即起小塔欲下舍利。舉國人民一切皆集。舍利從象頂上昇虛空。高七多羅樹現諸神變。五色玄黃。或時出水。或時出火。仍取舍利安置塔中。天地震動。大王夫人。名阿菟羅求。從摩哂陀出家。摩哂陀言。我不得度女人。我妹名僧伽蜜多。在波吒利弗國。王可往迎并菩提樹。王遣外甥名阿摽叉。摩哂陀以神通力即令下船一日便至。白阿育王言。摩哂陀使我來具陳上意。王曰。我兒摩哂陀。孫子修摩那。別後憂念不歡於心。日夜煩惱如斷手足。時見此尼得釋我心。今復去者我必死矣。語尼莫去。尼白王言。見意難違。剎利夫人見待出家。王許菩提樹不可刀斧分。目揵連子帝須曰。如來在世已有五勅。一阿育王取菩提樹與師子國不用刀斧。南枝自斷入於金瓮。二上升虛空陵雲而住。三七日後自下還金瓮中。布葉榮茂離離結實其葉玄黃。四師子國。初欲得我舍利。當作種種神變。五若所有相好。到師子國如我在世。王聞歡喜因立誓曰。若許取枝者令樹悉現一切面枝。若許往師子國者願自落金瓮樹復如本。即以香泥滿金瓮中。以八月十五日晡時。筆畫樹枝曲處凡作十畫。前一畫生根。後一畫便斷。根長四寸又生細根。交橫抽枝猶如羅網。大枝長十肘。復有五枝各長四肘。五枝各生一子。復有千小枝。王見神變心大歡喜。向樹大叫。眾僧唱薩。小王及倍從一切大眾皆悉大叫。地神驚怪亦復大叫聲徹虛空。如是展轉至于梵天。樹枝從本改處即有百根。直下瓮底十根穿瓮下。九十細根圍繞而生。如是次第日夜增長。時地六種震動。空中諸天作眾伎樂。諸山樹木如人舞狀。天人打掌。夜叉熙笑。阿修羅王歌唄讚詠。梵王欣悅。於虛空中雷電礔礰。四足眾生馳走鳴喚。諸鳥飛翔出種種音。菩提樹子出六色光。光明遍照滿於娑婆上至梵天。時菩提樹上昇虛空。停住七日竟。大眾唯見光明不見盆樹。王即從座而下供養菩提樹。經歷七日樹復放光。照娑婆世界上至梵天。攝光還復虛空皆清。布葉結實從虛空下還入金瓮。王見歡喜復更以閻浮利地供養小菩提樹滿於七日。王拜菩提樹七日為閻浮利地王。九月十五日眾僧布薩。菩提樹從本生處。來到波吒利弗國城東。住娑羅樹下枝條鬱茂。王見歡喜。又拜為閻浮利地王。白僧伽蜜多言。時可去矣。答言。善哉。大王。即與八部鬼神護菩提樹。八種大臣。八種婆羅門。八種居士。八具波伽人。八鹿羅車人。八迦陵伽人。王與八金甕八銀瓮輦水灌菩提樹。受王教已依事而作。王與大眾繞菩提樹送於路上。天人夜叉乾闥婆阿修羅日夜供養。到多摩摽。諸王自擔菩提樹。入水齊頸。即上船上與僧伽蜜多。王喚摽叉阿摽叉。菩提樹在我國。我以閻浮利三拜為王。我自戴菩提樹入水至頸。送置船上。勅阿摽叉。菩提樹往到彼國。汝可語汝王。身自下水。水沒至頸。迎菩提樹頂戴擔上。如我於此種種供養。作是勅已船即發去。是時海中當船住處縱廣一由旬無有波浪。王自念言。佛菩提樹今從我國去。作是念時流淚悲噎。船去之後王遙望見。種種華從海水出隨從船後以供養之。又虛

空中散種種華妓樂供養。水神又以種種華香供養。如是展轉乃徹龍王宮。龍王即出欲奪取菩提樹。於是僧伽蜜多比丘尼。化作金翅鳥王。龍王頂禮白言。今我欲請菩提樹及大德。還我宮中七日供養。於是菩提樹及大眾悉入龍宮。龍王以王位拜樹為王七日供養。過七日已。龍王自送菩提樹到閻浮俱那衛渚。阿育王遙望不復見菩提樹。啼哭而還。是時天愛王帝須。平治道路從城到俱那渚。地平如掌。僧伽蜜多以神通力。令王於宮城內遙見菩提樹來。王出渚迎閻浮。俱那衛入水齊頸。樹放六色光。王見歡喜。即以頂戴上岸。國有耆舊十六大姓。與王共迎菩提樹。樹到岸上。三日以師子洲供養菩提樹。十六大姓知王國事。三日竟至四日。擔菩提樹次第到阿兖羅陀國。舉國人民歡喜禮拜供養。十月十四日過中。菩提樹從北城門入城中央。而復更從城南門出。從城南門去五百弓。此處過去諸佛亦皆入於三昧。俱那衛佛菩提樹。名摩訶沙利婆。拘那含佛菩提樹名憂曇鉢。迦葉佛菩提樹名尼俱陀。於伽彌國中。沙彌修摩那令作基址。都圍度量布置門屋。及菩提樹所止之處皆令方整置王門屋處。是時十六大姓悉服。圍繞種王門屋地。始放於樹。樹昇虛空高八十肘。即出六色光照師子國。皆悉周遍。上至梵天。眾見樹變心大歡喜。眾中萬人同時念佛。次第出家得羅漢道。日光未沒樹猶在虛空。日沒之後婁彗皆下地大震動。時摩哂陀。與僧伽蜜多王及國人。集菩提樹下。北枝一子而熟從枝墮落以奉摩哂陀。摩哂陀以核與王令栽。王即受於金瓮中。以肥土壅。又以塗香覆上。須臾之間即生八株。各長四肘。王見如此驚歎。以白傘覆上。拜小樹為王。王取一株。種於閻浮拘羅衛渚。又取一株薄拘羅婆門村中種。又取一株種植門中。又取一株種塔園中。又取一株種摩醯首羅寺。又取一株種支帝耶山中央。又取一株種樓醯那村。又取一株種往羅村。餘四子在樹上。次第熟落合生三十二株。悉取於由旬園種。如是轉塔滿師子國。以菩提樹故國土安隱無有災苦。時阿兖羅夫人與千女俱。往僧伽蜜多所為比丘尼。從度之後次第得阿羅漢。王外甥阿摽叉與五百人出家次第得阿羅漢。又一日王與摩哂陀往禮菩提樹。到鐵殿處。人民獻華於王。王以華奉摩哂陀師以供養鐵殿華墮地動。王見地動即問大德。此地何忽動也。答言。大王當來此殿眾僧說戒。是故地現此瑞也。次第而去到菴羅處。有人以菴羅子香味具足獻王。王以奉摩哂陀摩哂陀。噉核語王言。可種此核。王即種之。以水灑地。地皆震動。王問。何故地動。答言。當來世眾僧方集處故現瑞相也。王即散華作禮而去。到支帝耶處。有人以瞻蔔華獻王。王以奉摩哂陀。地動。王問。何以地動。答言。當來此處起佛大塔故現此瑞。王言。我今當立塔。摩哂陀答言。不須王立。王多諸造作。當來世有王孫子。名木叉伽摩尼阿婆耶。當起大塔。王問是我孫耶獲其福不。答言。不得。王取一石柱高二丈。而剋石柱記。我孫名木杈伽摩尼阿婆耶。當來此中起大塔(出善見律毘婆沙論第三卷)。

迦羅越比丘共人起塔獨加供養故手雨七寶六

昔阿育王國有迦羅越。供養二萬比丘。長請一年名聞國王。王召見之。

聞卿家大富盡有何物耶。對曰。實無所有。王不信之。留迦羅越遣看其家。見門有七重舍宅。堂宇皆以七寶。有勝王宮。婦女亦勝。但無穀帛錢物。還以白王。王意漸解。迦羅越笑。王問。何笑耶。答言。王不見信耳。迦羅越以手指東空中便雨七寶。指南亦雨寶不可限量。王便遣還。而眾僧精舍去宮不遠。王便嚴駕詣精舍。見比丘僧作禮恭肅問上坐道人。迦羅越宿有何福自然珍寶念之便至。上座比丘入三昧見四百由旬人物心念。見長者子。昔惟衛佛時有四人共立塔寺。中有一人用意慇懃。塔寺成後以金銀七寶及眾好華共合和之。上三重塔上。以雨散四面。願後食福恒不斷絕。今得自然寶者是此一人。王聞大修功德(出譬喻經第一卷)。

須達起髮爪塔十

佛久遊諸國。長者須達思戀渴仰。白佛言。願留少物常得供養。佛與髮爪。願聽起塔。佛乃許之。於舍衛國造作欒栱。彩畫莊嚴(出十誦律善誦第一卷)。

身去影存仙人從化起髮爪塔八

佛至月氏國。西降女羅剎。時宿石窟中。于今佛影猶在。有人就內看之。則不能見。出孔則光相如佛。有時飛到罽賓國隸跋陀仙人山上。住虛空中。降此仙人。仙人言。我樂住此。願佛與我髮爪起塔供養。塔今現在此山下。有離越寺。離越應云隸跋陀(出大智度第十二卷)。

天起牙及缺瓮塔九

佛右牙右缺瓮骨。在忉利天師子洲起塔。請得二缺瓮及牙。今在釋宮(出善見毘婆第二卷)。

幼童聚沙為塔十

佛遊波羅奈時。五百幼童相結為伴。俱共行戲於江水邊聚沙為塔。各自說言。吾塔甚好卿學吾作。其五百童雖有善心宿命福薄。天大暴雨江水卒漲。五百幼童俱時溺死。父母號哭求索屍喪。莫知所在。佛言。宿命不請勿生怨恨。此諸兒等宿命應爾。今生兜率天。佛放光明。令此父母遠見其子。尋時皆來散華供養。佛言。善哉。因造沙塔即得生天見彌勒佛。五百天子各啟父母勿復愁憂。但努力精進。繞佛三匝作禮飛去(出五百幼童經又出生經第四卷)。

獼猴起土石塔十一

佛在羅閱祇國。遣一羅漢名曰須漫。持佛髮爪往罽賓南山中作一浮圖。寺有五百羅漢常止其中。旦夕燒香繞塔禮拜。五百獼猴見道人供養。入

深澗邊負輦泥石起立佛塔。竪木為剎繫以弊幡。旦夕禮拜。暴水泛漾一時漂死。生忉利天。即以天眼自見本末。各持華香伎樂臨故屍上繞之七匝。諸天人遙覩散華奏樂遶獼猴屍。有五百婆羅門外學邪見。問天曰。何為屈意供養於此。答曰。是吾故身。昔在世間學諸沙門戲立塔寺。藉此生天今報之恩。卿等邪見百劫勤苦無所一得。不如共往耆闍崛山禮拜供事其福無限。時婆羅門即皆欣然。共至佛所五體投地散華供養(出法句譬喻經第一卷)。

天上四塔十二

忉利天城東照明園中有佛髮塔。城南麁澁園中有佛爪塔。城西歡喜園中有佛鉢塔。城北駕御園中有佛牙塔(出集經抄大智論云帝釋取菩薩髮城東門外立塔又持寶衣亦於城東立塔)。

人中四塔十三

迦維羅衛國謂天地之中立生處塔。摩竭提國善勝道場。元吉樹下起成道塔。波羅棕國仙人住處鹿野苑中立轉法輪塔。拘尸那國力士生地秀林雙樹間起般涅槃塔(出經集抄)。

摩訶薩埵餘骨起塔十四

過去王子。名摩訶薩埵。出遊林野。見虎新產七子多日飢餓命將欲絕。即脫衣裳以竹刺頸從高投下臥於虎前。虎舐其血漸就食盡。大王及宮內聽子不還。即遣人追求。使還具說。王勅收其舍利。起七寶塔(出金光明經第四卷)。

佛現菩薩時舍利塔十五

有七寶塔。從地踊出。佛從座起。為塔作禮。時道場菩提樹神問曰。如來最勝最尊何緣而禮此塔。佛答曰。昔行菩薩道時有全身舍利在此塔中。因是身早成佛道。使阿難開塔取舍利示此大眾。阿難啟塔開七寶函。舍利紅白。佛言。是戒定慧之所勳修。甚難可得最上福田。大眾歡喜恭敬頂禮(出金光明經第四卷)。

禁寐王為迦葉佛起塔十六

過去世時有禁寐王。迦葉如來般涅槃後。是王即以金銀為塔。縱廣千由旬高一由旬。累銀金為塼今猶地中。爾時如來即出此塔示諸四眾。迦葉全身舍利儼然如本(出彌沙塞律第三十卷)。

治迦葉佛故塔十七

迦葉佛泥洹闍維之後。以佛舍利起七寶塔。興敬供養。經歷數世。塔自彫壞。無補治者。有義合邑九萬三千人。時瓶沙王為上首。告眾人曰。汝等各自勸厲。共造福德。佛世難遇。人身難得。雖得為人。或墮邊地。生邪見舍。我等何為。貪此俗樂。不如開意治朽塔寺。即共修理。復共發願。設有福者。不墮三塗及八難處。共生人天。見釋迦文。初會說法。皆得度脫。以王為首。時人命終。生忉利天。經歷數世。釋迦出興時。九萬三千人。生摩竭國瓶沙作王(出普曜經第九卷)。

德主王起五百塔十八

過去世時。有轉輪王。名曰德主。嘗於一日。起五百塔。高五百由旬(出大智論第五十七卷)。

踊出寶塔十九

爾時佛前。有七寶塔。高五百由旬。縱廣二百五十由旬。從地踊出。住在空中。種種寶物。而莊校之。五千欄楯龕室千萬。無數幢幡。以為嚴飾。垂寶瓔珞。寶鈴萬億。而懸其上。四面皆出多摩羅跋栴檀之香。充遍世界。其諸幡蓋。以金銀琉璃硨磲碼碯真珠琥珀七寶合成。高至四天王宮。三十三天。雨天曼陀羅華。供養寶塔。下至八部。以一切華香瓔珞幡蓋伎樂。供養寶塔。爾時塔中。出大音聲歎言。善哉釋迦牟尼佛。以平等慧。教菩薩法。四眾聞塔所出音聲。皆得法喜。怪未曾有。此寶塔中。有如來全身。過去東方無量千萬阿僧祇世界。國名寶淨。佛號多寶。其佛行菩薩道時。作大誓願。若我成佛滅度之後。於十方國土。有說法華經處。我之塔廟為聽經故。踊現其前以作證明。若有說法華。全身舍利在於塔中。讚言善哉。大樂說菩薩。白佛言。世尊。我等願欲見此佛身。佛言。多寶佛有深重願。若我寶塔。為聽法華經故出於諸佛前時。欲以我身示四眾者。彼佛分身諸佛。在於十方。盡還一處。然後我身乃出現耳。大樂說言。我等亦願欲見世尊分身諸佛。佛放白毫一光。東西南北四維上下諸佛。諸佛各告眾菩薩言。善男子。我今應往娑婆世界釋迦牟尼佛所。并供養多寶如來寶塔。時娑婆世界即變清淨。琉璃為地。寶樹莊嚴。黃金為繩。以界八道。無諸聚落村營城邑大海江河山川林藪燒大寶香。移諸天人置於他土。是時諸佛各將一大菩薩以為侍者。至娑婆世界。各到寶樹下。樹下皆有師子之座。高五百由旬。十方諸佛皆悉來集。坐於八方。諸佛欲同開寶塔。即從坐起住虛空中。一切四眾起立合掌一心觀佛。於是釋迦牟尼佛。以右指開七寶塔戶。出大音聲。如却關鑰。一切眾會。皆見多寶如來於寶塔中坐師子座。全身不散如入禪定。又聞其言。善哉善哉。釋迦牟尼佛。快說是法華經。我為聽是經故而來至此。爾時四眾等見過去無量千萬億劫滅度之佛。說如是言。歎未曾有。以天寶華聚散多寶佛及釋迦牟尼佛上。爾時多寶佛。於寶塔中。分半坐與釋迦牟尼佛坐。時釋迦牟尼佛坐其半坐。以神通力接諸大眾。皆在虛空(出妙法蓮華經第四卷)。

諸佛舍利在金剛塔二十

佛告大眾。自念古昔所行功德。捨身受身非一非二。我今說之。一身形法此大地種厚八十四萬億里。乃有風厚八十四萬億里。風下有水厚八十四萬億里。水下有火厚八十四萬億里。火下有沙厚八十四萬億里。沙下有金剛厚八十四萬億里。諸佛全身舍利及碎身舍利皆在金剛際剎中。金剛剎復厚八十四萬億里。名曰妙香。佛名不住。十號具足。現在說法(出菩薩處胎經第二卷)。

起塔中悔後生為大魚二十一

昔有沙門其家大富。造作塔廟。以栴檀為柱七寶為剎。未成之頃有五百沙門從遠方來。而其國內有五百賢者。各各給與袈裟衣被。國人謂寺主。遠人當去。我先發遣。阿闍梨常住自當作分寺主。沙門念言。我之功德積若須彌不可稱計。而國人不能佐助我。我但為一切賤貴近遠。便以火燒寺塔。後入地獄畜生各九十劫。後作大魚。身在海中。長四十萬里。眼如日月。牙長二萬里。正白似雪山。舌廣四萬里。正赤似火山。口廣五萬里。時有五百人。入海採寶。正是先身給五百沙門衣者。因緣宿對魚張口飲水。時舫從流甚疾。皆大恐怖。同稱南無佛。魚聞其音合口而聽。水住不流。聞船上有諷經之聲。魚便淚出。自念不聞此音其來甚久。因不復食經歷七日命終海中。浮屍著岸神生法家。墮地能語。便識宿命。年滿八歲。得羅漢道。還詣海邊見其故身。積骨如山觀髑髏內七日不遍。坐燒塔寺百八十劫在惡道中(出譬喻經第四卷)。

造佛形像第二十二

- 優填王造牛頭栴檀像一
- 優填王造金像二
- 波斯匿王造金像三
- 波斯匿王造牛頭栴檀像四
- 善容王造石像五
- 龍王石窟佛影六

優填王造牛頭栴檀像一

四部惰於諮聽法。釋提桓因請佛。昇三十三天。為母說法三月夏安居。如來欲生人渴仰。不將侍者不言而去。時舍衛國波斯匿王及拘翼國優填王至阿難所。問佛在所。阿難答曰。我亦不知。二王思覩如來遂生身疾。優填王即勅國內諸巧師匠。以牛頭栴檀作如來像。舉高五尺(出增一阿含經第十九卷)優填王問佛曰。如來滅後欲作佛像。恭敬承事當得何福。佛言。若作佛形像者。世世生處身體貌好死後得生第七梵天。復上勝諸天端政無比。常生豪貴家。氣力超絕。眾人愛敬。財富無量。或生閻浮帝王公侯賢善家。或生轉輪王飛行天地。或生孝從道德之門。死不入三塗

(出作像因緣經)。

優填王造金像二

佛昇忉利天。優填王不勝戀慕。鑄金為像。聞佛當下以象載之仰候世尊猶如生佛。乃遙見佛足步虛空蹈雙蓮華放大光明。佛語像言。汝於來世大作佛事。我滅度後我諸弟子付囑於汝。若有眾生造立形像種種供養。是人來世必得念佛清淨三昧。佛告阿難。持我語遍告弟子。我滅度後造佛形像。相好具足。亦作無量化佛。及畫佛跡以微妙。彩及頗梨珠安白毫處。令人見之心生歡喜。能滅百億那由他恒河沙劫生死之罪(出觀佛三昧經第六卷)。

波斯匿王造金像三

時波斯匿王聞優填王作如來像而供養之。復召工巧以紫磨金鑄如來像。高於五尺。時閻浮提內始有二像(出增一阿含第十九卷)。

波斯匿王造牛頭栴檀像四

佛上忉利天。為母說法。經九十日。波斯匿王思欲見佛。刻牛頭栴檀作如來像置佛坐處。佛後還入精舍像出迎佛。佛言。還坐。曰。吾般泥洹後可為四部眾作法式。像即還坐。此像最是眾像之始。後人所法者也。佛乃移住兩邊小精舍。與像異處。相去二十步。祇洹精舍本有七層。諸國競興供養不絕。鼠銜燈炷燒幡蓋。遂及精舍七重都盡。諸國王人民皆大悲惱。謂栴檀像已燒。却後四五日開東邊小精舍戶。忽見本像。眾大歡喜。共治精舍。得作兩重移像本處(出外國圖記)。

善容王造石像五

善容王(又名韋馱首祇阿育王弟也)入山遊獵。見諸梵志。裸形曝露。或食木葉。或吸風服氣。或臥棘刺中。種種自苦以求神仙。善容問曰。那無成辦。梵志答曰。座有群鹿數共合會。我見心動不能自制。王曰。服食羸悴猶有婬欲。釋子沙門。飲食甘美。在好床座。衣服隨時。香華自薰。豈得無耶。阿育聞之即懷憂慼。吾維一弟。忽生邪見。恐永迷沒政當除惡。勅給伎女共相歡娛。王躬語弟。何為取兄伎妾。恣意自樂。即欲殺之。大臣諫曰。王唯有一弟又少息胤。願聽七日。奉依王命。王始默然。語諸臣曰。聽弟著吾衣冠入吾宮裏伎樂自娛。至七日。王遣使問云。意志自由快樂不乎。善容曰。不見不聞有何快樂。王曰。觸事如我復云何不聞不見耶。弟曰。應死之人命雖未終與死無異。當有何情著於五欲。王曰。今一身憂慮萬端。一身應滅。在欲不樂。道說沙門憂念三世。一身死壞復受一身。億百千世身身受苦。無量患惱。雖出為人。與他走使。衣食窮乏。念此辛酸故出家為道。求於無為度世之要。設不精勤當更歷劫數之苦。善容乃心開意解。白王曰。今聞王教乃得醒悟。生

老病死實可厭患。愁憂苦惱流轉無窮。惟願大王見聽為道。王曰。宜知是時。弟即出家奉持禁戒晝夜精勤得羅漢道(出求離牢獄經)阿育王傳云。阿育王聞弟得道。深心歡喜稽首禮敬請長供養。弟誓依林野以養餘命。阿育即使鬼神於城內造山高數十丈。斷外人物絕於來往。乃應王命。率捨衣資造石像一軀。高丈六即山為龕室。

佛影六

有龍王請佛常住其所。若不住者我發惡心無由得道。諸梵天王復慇懃勸請。願為一切眾生莫獨住此。龍以七寶殿奉上如來。佛言。不須但以羅剎石窟施我。佛攝神足獨入石室。自敷坐具跏趺而坐。時羅剎女及龍。為四大弟子及阿難。又造五石室。佛受那先訶城王及諸國請。處處見佛虛空華座滿中化佛。龍王歡喜發大誓願。願我來世得佛如此。佛受王請七日。攝於神足。從石窟出。與諸比丘遊履諸處。龍所隨從。後佛還國啼哭雨淚。白言。願勿捨我。世尊安慰云。當坐汝窟中經千五百歲。時諸龍王合掌請佛入窟。佛坐窟中作十八變。踊身入石。猶如明鏡。在於石內影現於外。遠望則見。近視則無。諸天百千供養佛影。影亦說法。石窟高一丈八尺。深二十四步。石色清白(出觀佛三昧經第六卷)。

法滅盡二十三

佛言。我以正法付囑人天者。我法千歲不動。告帝釋四王。我涅槃後各於國土護持正法。過千載後。惡風暴雨多諸災患。人民飢饉觸物磨滅。飲食失味珍寶沈沒。西方有王名鉢羅婆。北方有王名耶婆那。南方有王名釋迦。東方有王名兜沙羅。此四王皆多眷屬。殺害比丘破壞塔寺。四方盡亂。時諸比丘來集中國。拘睒彌國王名摩因陀羅西那。生子。手似血塗。身似甲冑。有大勇力。有五百大臣同日生子。皆血手冑身。時拘睒彌國一日雨血。王見惡相即大恐怖請問相師。相師答曰。王今生子。當王閻浮提多殺害人。為名難當。年漸長大。時四惡王。從四方來。王大憂怖。有天神告曰。大王但立難當為王。足能降伏四大惡王。便依神言捨位與子。以髻中明珠。冠其子首。集五百大臣。香水灌頂。令往征伐。諸臣之子身被甲冑。從王征討。與四惡王戰。殺之都盡。王閻浮提。治拘睒彌鞞國。佛告四大天王。巴連弗國。當有婆羅門。名曰阿耆尼達多。通達比陀經論。此婆羅門當納妻。其妻有身。便欲與人論議。以問相師。相師答曰。是胎中兒。當了達一切經論。生子明了解一切經論及諸醫方。教授五百弟子。於我法中出家學道。通達三藏。善能說法。辯才巧妙攝多眷屬。此巴連弗邑。當有大商主。名曰須陀那。其妻有身。便質直柔和諸根寂靜。時彼商主即問相師。相師答曰。胎中兒極為良善。月滿生子名曰修羅陀。年紀漸長於我法中出家學道。勤行精進證羅漢果。然其寡聞少欲知足。及少知舊居。在揵陀摩羅山。恒為難當王說法。難當見父王過世。兩手抱父屍悲號啼哭憂惱傷心。時彼三藏為王說法。王憂惱即止。於佛法中生大敬信。而發聲唱言。自今以後我施

諸比丘無恐畏適意為樂。而問比丘。前四惡王毀滅佛法更幾年歲。諸比丘答云。經十二年。王心念言。作師子吼。我當十二年中。供養五眾種種豐足。供施之日。天當降香澤之雨。遍閻浮提一切苗稼皆得增長。諸方人眾皆持供具來詣拘睒彌國。供養眾僧。時諸比丘不勤三業。戲論過日。貪著利養好自嚴飾身著妙服離出家法形類比丘。而是法中大賊。壞正法幢。建惡魔幡。滅正法炬。然煩惱火。消正法海。壞正法橋。沒正法船。沒正法樹。時天龍鬼神等於諸比丘皆生惡意。厭惡遠離。不復衛護。而同聲唱言。却後七日佛法滅盡。號咷悲泣。共相謂言。至說戒日比丘鬪諍。如來正法於此而滅。諸優婆塞聞諸天言。共詣眾中諫諸比丘鬪諍。至十五日說戒。時揵陀摩羅山阿羅漢修羅陀。觀閻浮提。今日何處。有眾僧欲往說戒。即詣拘睒彌。時彼僧眾乃有百千人。唯有此阿羅漢修羅陀來。又復有一三藏名曰弟子。此是如來最後大眾聚集。爾時維那行舍羅籌。白三藏言。眾僧已集。今為說波羅提木叉。時彼上座答言。閻浮提如來弟子皆來集此數有百千。如是眾中我為上首。了達三藏不學戒律。況復餘者而有所學。今當為誰而說戒律。時阿羅漢修羅陀立上座前。合掌白上座。但說波羅提木叉。如佛在時。舍利弗目揵連等大比丘眾所學法我今已悉學。如來雖滅已出千歲。彼所制律儀我悉已備。上座弟子聞修羅陀比丘自言如來所制戒律我悉備持。起不忍心。有一弟子名曰安伽陀。極生忿恨。從坐起罵辱彼聖。汝是下座比丘愚癡無智而毀辱我師。即持利刀殺彼聖人。時有一鬼名曰大提木法。作是念言。世間唯有此一羅漢。而為惡比丘弟子所害。執持金剛杵打頭命終。時阿羅漢弟子。見殺其師忿恨不忍。即殺三藏。時諸天世人悲哀啼泣。嗚呼苦哉。如來正法今便都盡。即此大地六種震動。無量眾生號咷啼泣。各各離散。時拘睒彌王。聞諸比丘殺阿羅漢及三藏法師。心生惱惋。諸邪見輩競破塔廟。及害比丘。從是佛法索然頓滅(出雜阿含)佛告阿難。我泥洹後。法欲滅時。五濁惡世魔道興盛。諸魔沙門壞亂吾道。著俗衣裳飾好袈裟五色之服。飲酒炙肉殺生貪味。無有慈心更相憎嫉。時有菩薩精進修德。一切敬待人所宗尚。教化平等。憐貧念老。救育窮厄。恒以經像。令人奉事。作諸福德。志性溫善。不侵害人。捐身濟物。不自惜己。忍辱仁和。設有是人。眾魔比丘咸共嫉之。誹謗揚惡擯黜驅遣不令得住。自共於後不修道德。寺廟空荒不復修理。轉就毀壞。但貪財物。積聚不散。不作福德。販賣奴婢耕田種植。焚燒山林傷害眾生。無有慈心。奴為比丘。婢為比丘尼。無有道德。婬妖濁亂。男女不別。令道薄淡。皆由斯輩。或避縣官。依倚吾道。求作比丘。不修戒律。月半月盡。絓名講戒。厭倦懈怠。不欲聽聞。抄略前後。不肯盡說。經不誦讀。設有讀者。不識字句。為強言是不諮明者。貢高求名噓天推步。以為榮貴望人供養。諸魔比丘命終之後。精神當墮無澤地獄。五逆罪中餓鬼畜生靡不更歷。過恒沙劫罪竟。乃出生在邊國無三寶處。法欲滅時。女人精勤恒作功德。男子懈慢不用法語。眼見沙門如視糞土。無有信心。法輪殄沒諸天泣淚。水旱不調五穀不熟。災疫流行死亡者眾。人民勤苦縣官侵剋。不修道理皆思樂亂。惡人轉多善者甚少。日月轉促人命轉短。四十頭白裁壽六十。男子壽短。女人命長。七八九十或至百歲。

大水忽起卒至無期。世人不信故謂有常。眾生雜類無有豪賤。沒溺浮。漂魚鼈噉食菩薩比丘眾魔驅逐不預眾會。菩薩入山福德之處悒怕自守以為忻快。壽命延長諸天衛護。月光出世得相遭值。共興吾道五十二歲。首楞嚴經。般舟三昧。先滅化去。十二部經尋復化滅盡不復現不見文字。沙門袈裟自然變白。聖王去後吾法滅盡。譬如油燈臨欲滅時光更猛盛。於是便滅。吾法盡時亦如燈滅。自此之後難可綱紀。如是久後彌勒當下世間作佛。天下太平毒氣消除。雨潤和適五穀滋茂。樹木長大人長八丈。皆壽八萬四千歲。眾生得度不可。稱計(出法滅盡經)。

經律異相卷第六

經律異相卷第七(諸釋部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 釋氏緣起一
- 淨飯捨壽二
- 摩耶生忉利天三
- 大愛道出家四
- 羅睺羅處胎六年五
- 羅睺羅出家六
- 羅云受佛戒得道七
- 難陀出家八
- 調達出家九
- 阿那律出家十
- 跋提出家十一
- 琉璃王滅釋種十二
- 五百釋女投請二師十三
- 佛奴車匿馬揵陟前世緣願十四

釋氏緣起一

過去有王名欝摩(又云懿摩長阿含經云鼓摩蓋方言之左右耳)王。有四庶子。一名照目。二名聰目。三名調伏象。四名尼樓(長阿含經名異一名面光二曰象食三曰路楯四曰莊嚴)並聰明神武大有威德。第一夫人有子名曰長生。頑薄醜陋眾人所賤。夫人白王。四子神俊我兒頑墜。若承嗣者必競陵奪。若王擯斥四子我心乃安。王曰。四子仁孝既無愆咎。云何擯黜。夫人又曰。我心劬勞實兼國家。四子英武民各懷歸。樹黨若立一旦競逐必相殄滅。大國之祚翻為他有。願王圖之。王曰。汝言是矣。即呼四子。勑之曰。汝有過於吾。吾不忍汝死。各速出國。剋己圖生。勿復[門@視][門@俞]自貽後悔。四子奉勑。即便裝嚴。母及同生姊妹。並求俱去。時諸力士一切人民。多樂隨從。王悉聽之。到雪山邊住直樹林。母為納妃自營頓住。數年之中歸德如市。遂大熾盛。欝為強國。數年之後父思見之。遣信報召。皆辭過不還。王便三歎。我子有能。能自存立。因此以命族為釋(長阿含經云直樹林又云釋林因林為姓又云王聞四子生子端正曰此真釋子瑞應經云為其能辭是同因命是)故有釋種焉。乃祖尼樓王。生烏頭羅。

高祖烏頭羅為迦維羅衛國王。生瞿頭羅。曾祖瞿頭羅王。生尸休羅(大智論云師子頰王)祖尸休羅王。生四子長者淨飯(又名白淨王出彌沙塞律)。

淨飯王捨壽二

淨飯王遇疾。支節欲解。喘如駃流。眾治無益。二弟諸王群臣等曰。大

王素不作惡。種德無厭。養使一切無不得安。何故愁惱。王曰。恨不見悉達。及難陀阿難陀羅睺等。除我貪望。淚下如雨。時佛在王舍城。相去五十由旬。王今轉羸。恐不相及。佛知父心。即勅難陀羅睺等。即以神力踊身虛空。忽現維羅衛。放大光明。國人遙見。舉聲泣曰。設大王崩。背此舍夷國必斷絕矣。城中人民。向佛悲哭宛轉自撲。佛言。無常離別古今有是。生死為苦惟道是真。佛光照耀內外通達。以照王身。王曰。此何光也。既觸我身患苦得息。非我悉達先見光明。從外還者白。佛阿難羅云等乘空而來。王意踊躍不覺起坐。曰惟願如來手觸我身。身如押油痛不可忍。得見世尊苦惱即除。佛告難陀。觀王本形端正巍巍名聲遠聞。今病重羸瘦待不可識。容力名聲一何所在。王一心合掌。唯願莫愁。德純無缺。手摩王額曰。王是清淨戒行之人。心垢已離。唯應歡喜不宜憂惱。當深思惟。念諸經法義。於不牢堅。得牢堅志。以種善根。王宜歡喜。大勝王願曰。佛與難陀阿難陀羅云。四子以壞魔網(先各歎四子之德文多不載)王乃歡喜。佛為說量摩波羅本生經。王得阿那含道。捉佛手捧置心上。佛又說法。得阿羅漢果。命盡氣絕。諸釋嘩咷。香汁浴身。纏以劫貝繒綿以棺斂。七寶莊嚴真珠羅網垂繞其傍。舉棺置屍師子座上散華燒香。佛共難陀在頭。阿難羅云在足。難陀等白佛。仰憶垂養。乞自擔棺。佛為未來不孝眾生不報育養。躬欲自擔。大千振動。一切眾山如波上舟。欲界六天無數眷屬俱來赴喪。四天王將鬼神億百千眾皆共舉哀。諸王白佛。我佛弟子。從佛聞法。成須陀洹。我曹宜擔。佛聽四天王擔。即皆變身如人形像。以手擎棺。著於肩上。佛之威光猶如萬日。手執香鑪。最在前行。到於墓所。靈鷲山千阿羅漢振虛而至。稽首佛足願勅所作。佛言。往大海渚取牛頭栴檀種種香木。如彈指頃得諸香薪。大眾共[廾/積]以之燒棺。眾見火起。益更悲號。佛言。苦空無常。猶如幻化水月鏡像。燒身既竟。以乳滅之。收骨置金剛函中。即共起塔。大眾諮問神生何處。佛言。生淨居天(出淨飯王泥洹經)。

摩耶生忉利天三

佛昇忉利天。入歡喜園。在波利質多羅樹下。三月安居。放毛孔光照大千界。諸天子等不知何緣。佛告文殊。汝詣我母道我在此。願母暫屈。往自摩耶。摩耶乳汁自流。若是悉達。當令汁入其口。兩乳汁出。遠入佛口。摩耶歡悅。普地震動。諸妙華果非時敷熟。即語文殊為母子來歡喜安樂未曾如今。俱往佛所。佛遙見母曰。身所經履與苦樂俱。當修涅槃以求永離。摩耶一心五體投地專精正念結使消伏。佛為說法即識宿命。得須陀洹果。即白佛言。生死牢獄今已解脫。大眾咸曰。願一切眾生皆得解脫。廣化天人大有利益。三月將盡。告鳩摩羅。汝今可下至閻浮提。如來不久當入涅槃。時眾愁惱。我不早知不久涅槃。世眼將滅。何其苦哉。帝釋使諸鬼神作三道寶階。摩耶垂淚。於是而別。足躡寶階。梵王執蓋。四天侍立左右。四部大眾歌唄讚歎。天作伎樂充塞虛空。散華燒香至閻浮提(出佛昇忉利天為母說法經又出善見毘婆沙)。

大愛道出家四

佛還迦維羅衛國。摩訶波闍波提(梁言大愛)姓瞿曇彌求佛出家哀請至三。佛所不聽。退住門外。著垢弊衣。徒跣而立。歔欷悲泣。阿難問曰。何故泣。答曰。女人不得出家自悲傷耳。阿難止而白佛。我從佛聞。女人精進可得四果。今大愛道。至心願樂佛言。無使。女人入我法律為沙門也。譬如人家多女少男家必衰弱。女人出家清淨梵行不得久住。又如莠雜禾稼善穀傷敗。女人入法亦復如是。阿難曰。大愛道多有善意。佛初生時乃自育養至于成人。佛言。多信善意於我有恩。我於愛道亦多有恩。由我得歸依三寶不疑四諦立五根信受持五戒。正使有人設身供養不及此也。假使女人欲作沙門者。八敬之法不得踰越。盡壽學之。譬如防水善治堤塘。勿令漏失。其能如是。可入法律。阿難具報愛道。愛道歡喜便得出家。為大比丘尼。奉行法律。遂得應真。後與諸長老尼。詣阿難所。久修梵行。且已見諦。云何使禮幼小比丘。阿難白佛。佛言。止止勿說此也。若使女人不出家。外道異學一切賢者。皆四事供養。解髮布地屈請令蹈。我之正法當住千年。以度女人今止五百。愛道聞之歡喜奉行(出佛昇忉利天為母說法經)住王園精舍將欲捨命。曰。吾不忍見世無如來及應真滅度。先息靈于本無矣。佛照此心。以告阿難。阿難身體萎垂心塞無識。佛言。汝謂將五分法四意止八品道行去耶。對曰。不也。但惟佛生七日太后薨。為慈母有恩在世尊。佛曰。汝言哺乳恩重此惠難報。吾已開示。歸命三尊。聞苦集滅諦。慧眼得明。盡諸有結。獲無所著。此亦恩過須彌。愛道與五百除饉女俱到佛所。具言上意。手摩佛足曰。自今不復見最正覺矣。繞佛三匝還于精舍。與五百除饉女作十八變。上耀諸天同時泥洹。佛告阿難。汝入城到耶游理家所(受戒在家名曰理家即優婆塞也)告佛母及五百耆年滅度。阿難平旦入城至理家門。具陳其事。聞者抗哀躃地銜淚。而曰自今不復仰覩神通何痛甚乎。阿難曰。佛言乾坤雖久始必有終。三界無常。猶如幻夢。生求不死。會冀不離。終不可得。理家心解復至諸梵志理家。告之曰。佛勸諸賢者作五百葬具。施五百除饉女也。梵志理家辦送精舍中。精舍中門閉緣入開之。欲詣講堂。有女沙彌。告曰。吾師入定。慎勿擾動。答曰。死而非定。沙彌躃身消息。良久乃蘇。哀慟號叫曰。誰當教化吾等。聖訓絕矣。理家語沙彌曰。恩愛雖會。終必有離。但當建志力取應真。闍維畢捧舍利來佛所。佛告阿難。汝東向叉手下右膝曰。有直信直業三神六智道靈已足者皆來。五百除饉今皆善逝。宜當法會。四方俱然。四方各有二百五十應真飛來。佛告阿難。鉢盛舍利著吾手中。阿難授佛兩手受之。告諸比丘及理家。此本穢身。愚兇急暴。嫉妒陰謀。敗道壞德。能拔兇愚為丈夫行。獲應真道。遷靈本無。何其健哉。宜共興廟應修供養。僉曰。唯然(雜阿含云是難陀所生母增一阿含云佛告阿難羅云汝等舉哀遣身我自養釋提桓因及毘沙門云願勿勞神我等供養佛言止止佛自與難陀移栴檀林手取香木置其身上唱言四人應起塔供養一佛二辟支佛三羅漢四轉輪王皆以十善化物也)於是四眾天人龍鬼。各立剎廟種種供養(出佛母泥洹經)。

羅睺羅處胎六年五

悉達太子有二夫人。一名劬毘耶。二名耶輸陀羅。劬毘耶是寶女故不曾懷孕。耶輸陀羅以菩薩出家夜。自覺有娠。菩薩六年行苦。耶輸陀羅六年不產。諸釋詰之。菩薩出家何由有此。耶輸陀羅言。我無他罪。我所懷子實是太子遺體。諸釋言。何以久而不產。答曰。非我所知。諸釋集議。聞王欲如法治罪。劬毘耶啟王。我常與耶輸陀羅共住。我為其證知其無罪。待其子生。看似父不。治之何晚。王即寬置。菩薩苦行既滿初成佛夜。生羅睺羅。王見其似父。愛念忘憂。語群臣言。我兒雖去今得其子與兒無異。耶輸陀羅惡聲已著欲除惡名。佛還迦毘羅。度諸釋子。時淨飯王及耶輸陀羅。常請佛入宮食。是時耶輸陀羅持一百味歡喜丸與羅睺羅捧持上。佛以神力變五百阿羅漢。皆如佛形等無有異。羅睺羅年始七歲。持歡喜丸直至佛前奉進世尊。是時佛攝神力復比丘形。鉢內皆空。唯佛鉢滿歡喜丸。耶輸陀羅問曰。我昔何緣懷妊六歲。佛答。羅睺羅過去時。曾作國王。時有一五通仙人來入王國。語王言。王以法治賊。請治我罪。我輒偷王水。用王楊枝。為不與取。王言。我初登位令有皆以水及楊枝。施於一切。仙人言。王雖已施我心故惑。願今見治無令後罪。王曰。若必欲爾小停待我入宮。入宮六日方出。仙人飢渴。仙人曰。恐王正以此治我。王出辭謝忘去。因是五百世中常六年在胎(出大智論第十七品)。

羅睺出家六

佛告目連。汝往迦毘羅城。問訊我父母我叔及我夷母。慰喻羅睺羅母。令割恩愛。放羅睺羅使作沙彌。母子恩愛歡樂須臾。死墮地獄各不相知。羅睺得道當還渡母。永絕生死如我今也。目連至國。具陳佛意。耶輸陀羅聞佛遣使來。取羅睺將登高樓。約勅監官好閉門閣悉令堅牢。目連飛上。耶輸陀羅不得已作禮。問曰。世尊無恙。遣上人來欲何所為。目連曰太子羅睺年已九歲。應令出家修學聖道。具陳佛意。答曰。釋迦如來為太子時娶我為妻。奉事太子如事天神。未滿三年捨五欲樂。騰越宮城。逃至王田。自約得道。誓願當歸。得道還國。都不見親。忘勿恩舊。劇於路人。使我守孤抱窮。今奪我子為其眷屬。何酷如之。太子成道自言慈悲。今別母子何慈之有。還向世尊說我所陳。目連辭退。還淨飯王所具陳上事。王聞是語即告夫人波闍波提。我子悉達。遣迎羅云修學聖法。其母女人愚癡纏著愛無縱捨。卿可往諫令其心悟。夫人反覆再三。耶輸陀羅猶故不聽。白夫人曰。我在家時。八國諸王。競來見求。父母不許。以太子才藝過人。是故父母以我與之。太子欲不住世。何故慇懃苦求我耶。夫人取婦。正為恩好。子孫相續。世之正禮。太子既去。復索羅睺。永絕國嗣。有何義哉。夫人聞是。默然無言。佛遣化人。空中言曰。汝憶往古誓不。我為菩薩。以五百銀錢從汝買五莖華上定光佛。汝求寄二華乞世世生處常為君妻。我語汝言。我為菩薩一切布施。汝即立誓。世世所生國城妻子乃至自身。隨君施與。何故今日愛惜羅睺。耶輸陀羅霍然還悟如昨所見。愛子稍歇。遣喚目連追相懺謝。捉羅睺手慇懃付囑。泣淚而別。羅睺啟母。定省世尊。願母莫愁。尋還奉

覲。淨飯王告諸豪族。卿等各遣一子。隨從我孫。即有五十人。隨從往到佛所。頭面作禮。佛使阿難剃羅睺頭及五十公子。悉令出家。命舍利弗為和上。大目連作闍梨授其十戒。佛為五十沙彌。說扇提羅等宿世罪報(文多不載)皆大憂愁。咸白佛言。和上大智德受最上供養。小兒愚而無德。食人好施。後世受苦如扇提羅。是故我等實懷憂慮。願佛垂愍聽我捨道。冀免罪咎。佛言。譬如二人飢餓。忽遇王人設美飲食。貪噉過飽。一人有智。醫服吐藥。禁節消息。得免禍患終保年壽。一人無智。殺生祭祠以求濟命。宿食絞切。心痛死已。生地獄中。畏罪還家。是無智人。汝有善因。遭值於我。服藥濟苦。必得不死。羅睺聞之。心開意解。佛後還宮。人疑拘夷。大子棄國十有二年。何從生子。佛啟父王曰。拘夷守節清貞信無瑕疵。化眾比丘皆使如佛。羅云七歲問誰是汝父。羅云應時直前趣佛作禮。以母印信環。授與世尊(出未曾有經上分彌沙塞律云佛還宮羅云樓上遙見便下乞佛餘財佛使舍利弗度為沙彌)。

羅云受佛戒得道七

昔者羅云。未得道時。心性麁獷言少誠信。佛勅羅云。汝往到賢提精舍中住。守口攝意勤修經戒。羅云奉教作禮而去。住九十日。慚愧自悔。晝夜不息。佛往視之。羅云歡喜。前禮佛足安施繩床攝受囊越。佛居繩床。告羅云言。澡槃取水為吾洗足。洗足已訖。佛語羅云。此水可食用飲澡漱以不。羅云白言。此水本實清潔。今已洗足受於塵垢。不可復用。佛語羅云。汝亦如是。雖為吾子國王之孫。捨世榮祿得為沙門。不念精進攝心守口。三毒垢穢充滿胸懷。亦復如此。水不可復用也。佛復語羅云。澡槃雖空可用盛食飲不。白言不可。所以者何用有澡槃之名。曾受不淨故也。佛語羅云。汝亦如是。雖為沙門。口無誠信。心性強剛。不務精進。曾受惡名。亦如澡槃。不中盛食也。佛以足指。撥却澡槃。應時輪轉自跳自墮數反乃止。佛語羅云。汝寧惜此澡槃恐破不乎。羅云白佛。洗足之器賤價之物。意中雖惜不大慇懃。佛語羅云。汝亦如是。雖為沙門。不攝身口麁言惡說多所中傷。眾所不受智者不惜。身死神去輪轉三塗。自生自死苦惱無量。諸佛賢聖所不愛惜。亦如汝言不惜澡槃也。羅云聞之。慚愧怖悸。佛告羅云。聽我說喻。昔國王有一大象。猛健能戰。其王興軍欲伐逆國。被象出兵以使嚴行。象唯藏鼻畏不用鬪。象士歡喜知象護身。所以者何。象鼻軟脆中箭即死。唯當護口如此。大象護鼻不鬪。羅云聞佛懇惻之誨。感激自厲。得羅漢道(出譬喻經第十卷)。

難陀出家八

佛弟孫陀羅難陀。身長一丈五尺四寸。佛與阿難在迦維羅竭國入城乞食。難陀在高樓上見。下作禮曰。如來應作轉輪聖王。何為自辱持鉢乞食。取鉢盛美食。佛即還尼拘類園語諸侍者。難陀出勿取令自送來。難陀送至佛所。婦出囑言待還乃食。授鉢催佛速受。佛言。卿已至此。今

宜出家。加以神力閉在靜室。久久之後次第當直。難陀喜曰。我因事暇逃走還家。是時難陀隨所應作事事不闕。天神隨逐。汲水亦滿自然翻棄。所淨之地草土更滋。關閉門戶。戶輒更開。難陀念言。設有所失家足備償。脫三法衣。更著餘服。竊隨小徑。避佛還家。行來未遠。正值如來。奔就大樹。欲自隱身。樹反在後。佛以神力。拔樹懸空。難陀入樹根處。佛言。何為至此。默然慚愧。佛再三告云。汝欲何趣。答曰。還家與婦相見。佛言。夫人學道。心著貪欲不顧後世燒身之禍。我今將汝上天遊觀。宜自專心勿懷恐怖。佛接昇天。見一宮殿。七寶莊嚴玉女營從不可稱計。唯無夫主。難陀問佛。此何天宮。獨無夫主。佛言。汝可自問。難陀問之。天女答曰。佛弟難陀。若持戒者當生於此。還具白佛。佛言。快修梵行不久必生。復以神力。接至地獄。路經鐵圍山表。見一瞎獼猴。佛問難陀。汝婦孫陀利何如獼猴。答曰。孫陀利。女中妙絕。豈得比此。佛曰。比諸天女亦億千萬倍。遍至地獄。見種種苦痛。有一火鑊。獄卒圍遶。湯沸火熾。不見罪人。難陀白佛。那獨無罪人。佛言。汝自問之。獄卒答曰。甘露王子難陀。婬欲情重。恃貴輕人。死當生此。難陀失色。急問世尊。求離地獄。佛說微妙法。令至道場(出童子問佛乞食經又出出耀經第十六卷)。

調達出家九

白飯王(淨飯王第二弟也)有二子。一名阿難。身長一丈五尺三寸。一名調達。身長一丈五尺四寸(大智論云跋提沙十二遊經甘露淨王長子調達少子阿難)白淨王往至佛所。見迦葉眷屬形貌醜陋。即集宗室曰。阿夷相言。佛不出家當作聖王王四天下。左右侍從極當端正。今諸弟子大無形觀。若欲為道儀望足者。聽備僧數光暉世尊。咸言。大善。調達曰(又名提婆達多梁言天熱)我王子弟今棄世榮出家居道正頓服飾極世之妙。象馬車乘價直萬金。其日嚴出。觀者填路冠幘墮地。瞿和離所乘之馬四脚布地而作鳥鳴。相工占之。餘皆得道。二人不吉。俱詣佛所。求作沙門。剛強降伏莫不樂受(出中本起上卷又出十二遊經)。

阿那律出家十

斛飯王(淨飯王第三弟)有二子。一名摩訶男。一名阿那律。阿那律母所愛念。摩訶男言。諸釋多為道。我門獨不。一營世業。一求出家。阿那律以家事煩碎。啟母出家。母言。跋提去者當聽汝耳。求請不已兩俱許可。跋提求停七年受五欲樂。阿那律言。人命無常難可得保。又求一年乃至七日。過七日釋子八人。優波離第九。各莊嚴寶象。乘以出城。脫衣及象馬。付優波離曰。汝依我等自活。我今出家以此衣象與汝為資生。優波離乃懸衣樹上。念言。取者與之。共至佛所亦求出家。乞先度優波離。除我憍慢。次阿那律(出四分律初分第三分大智論十二遊經少異大略是同)。

跋提出家十一

甘露飯王(淨飯王第四弟也)有二子。一名提婆。二名跋提。跋提母所念。求母出家。母言。阿那律出家者我亦聽汝。後遂俱然。往詣佛所求出家。父母已許願垂濟度。時跋提獨在樹下塚間思惟。夜過高聲稱言甚樂甚樂。其邊比丘白佛。佛呼跋提問何樂。跋提言。我本在。家內外常以刀杖自衛猶有恐懼。今獨處塚間身毛不竪出離甚樂。佛言善哉(出曇無德律大智論十二遊經皆小異大同)。

琉璃王滅釋種十二

波斯匿王新紹王位。即作是念。應先取釋女。即告一臣。持我名往迦毘羅衛。請婚彼女。諸釋五百集會一處皆大瞋恚。吾家大姓。何緣乃與婢子結親。或言應與。或言不應。時摩訶男語諸釋言。波斯匿王為人暴惡。或能壞我國界。時摩訶男婢生一女。面貌端正。沐浴衣被。以羽寶車。躬自送往。與波斯匿王。乃白王言。此是我女。可以成親。時王歡喜。即拜此女為第一夫人。少日有身。生一男兒。端正無雙世之殊特。王集相師為子作名。相師曰。求夫人時諸釋共議。或與彼此琉璃。今以太子名曰琉璃年向八歲。王告之曰。可詣迦毘羅衛學諸射術。駕乘大象多諸給使。往摩訶男舍。集五百童子使共學習。新起講堂。猶如天宮。我等應先請佛僧於中供養受福無量。敷舒坐具。懸諸幡蓋。香水灑地。燒眾名香。琉璃太子往至講堂。昇師子座。諸釋見之呼為婢子。牽出門外撲之于地。琉璃太子顧語好苦行梵志。此諸釋種大毀辱我。後紹王位汝當以此事啟我。父王命終。太子嗣立。苦行啟王。王勅群臣。集四部兵。往征釋種。至迦毘羅越。世尊往逆在枯樹下。結跏趺坐。太子遙見下車作禮。問曰。更有好樹何故坐此。佛言。親族之廕故勝外人。是時王曰。今日世尊故為親族吾不應征。梵志執奏。王復興師。目連白佛。琉璃王(增一阿含第十九分云毘婁勒王事大同)往伐釋種。我欲移其四部合擲他方。又欲拔出虛空。又欲移置海中。又欲移置鐵圍山間。又欲移人置他方大國土中。又欲鐵籠覆城。佛言。汝有智德。終不能安處。舍夷國人。眾生有七。不可避。一生二老三病四死五罪六福七因緣。意雖欲避終不得免。何能覆其往業。目連意終不已。隨取知識四五千人。盡著鉢中。舉置虛空星宿之際。諸釋亦集四兵。出一由旬。逆琉璃王。諸釋一由旬內。遙見琉璃王。或貫耳頭髻。弓弦器仗幢麾皆悉破壞。終不傷人。時琉璃王大懷恐怖。告群臣曰。汝觀是箭為從何來。彼若發心欲害我者必當死盡。令還舍衛。好苦梵志曰。大王勿懼。諸釋持戒蟲尚不害。況害人乎。今宜前進。王乃從之。諸釋果退還入城中。琉璃王曰。汝等速開城門。若不爾者盡當殺之。城中童子年尚十五。名曰奢摩。登城獨戰。傷害眾多。賊軍迸散。藏土穴中。時諸釋種。告童子曰。汝辱我門戶。誰不知戰。諸釋修善。蟲蟻不殺。況人命耶。我等一人敵萬。甚能壞軍眾。為殺害人命。死入地獄。若生人中壽命短促。汝今速去不須住也。舍摩即自出國。琉璃王軍復來至門。弊魔波旬作一釋形。喚速開門。諸釋開門。琉璃王曰。釋眾既多。悉皆埋腳。使暴象踏殺。選五百釋女。將詣王所。時摩訶男從王乞願。王即聽之。摩訶男曰。我今沒

水隨我遲速並聽。諸釋隨意逃走。若我出水隨在殺之。王曰大佳。即入水底。以髮繫樹根而自盡命。城中諸釋。四門競走。王告群臣。摩訶男父至今不出。即入水中。出之已死。王心生悔。我外祖父。今已取命終皆由愛親族故。若早知者。終不攻伐。琉璃所殺九千九百九十萬人。流血成河。繞迦毘羅越城。軍人去後。目連白佛。承佛神力。護得四五千人。佛言。汝往看之。目連下鉢。人皆已死。往尼拘留園。語五百釋女言。汝等慎勿愁憂。我是汝夫。捉一釋女曰。我今何故與婢子通情。王即刖其手足。置深坑中。五百釋女皆罵王言。誰持我身與婢子交通。王勅五百釋女罪如前法。還舍衛國。祇陀太子在深宮中奏諸妓樂。王聞其聲迴駕詣之。祇陀出門與之相見曰。善來大王。可小停駕。琉璃王曰。豈不聞吾與諸釋戰。與妓遊戲而不見助。祇陀答曰。聞之我不堪任殺害眾生。琉璃王手斫祇陀。佛見祇陀生三十三天。時五百釋女自歸稱喚如來名號。同生釋種。出家成佛。受此痛毒而不見憶。佛與諸比丘。往迦毘羅。諸女遙見皆懷慚愧。世尊顧語釋提桓因言。諸女慚愧。帝釋即以天衣覆此女上。佛告毘沙門。諸女飢渴日久即辦天食皆得充飽。佛為說苦集盡道。諸女塵垢皆盡得法眼淨。各於其所而取命終。皆生天上。佛詣東門見城中。煙火洞然。顧語諸比丘。我昔與諸比丘此中說法。今如空墟無有人民。自今不復更至於此。還舍衛國祇樹園中。告諸比丘。琉璃王及諸兵眾。却後七日盡當磨滅。王聞恐怖。好苦行梵志內外無塵王但自娛。王使人數日至七日旦。王大歡喜。將諸兵軍及婇女。往阿貽羅河側。共相譖會。大雷卒震。非時雲起。暴風疾雨。傷損漂溺。一時都盡。王生入阿鼻地獄。復有天火燒盪宮城。比丘白佛。諸釋何因今遭此苦。佛言。昔羅閱城中有捕魚村。時世飢儉人食草根。以一斗金貿一升米。村有大池。極自饒魚。人民捕食。魚有二種。一名拘瑣(興起行經云[麩-夫+干])二名多舌。各相謂言。我是水性之虫。不處乾地。而此人民皆來食噉。村有一兒。年尚八歲。雖不捕魚。見則歡喜。羅閱村人今釋種是。拘瑣魚者琉璃王是。兩舌魚者好苦行梵志是。小兒見魚笑者今我是也。取魚之罪無數劫中受地獄苦。今餘此對。見之喜笑。今患頭痛如被石押。又如戴須彌山(釋迦畢罪經大同小異文多不載盡)坐上多人聞佛說無常之法。得須陀洹果(出釋迦畢罪經又出長阿含法句譬經)。

五百釋女欲出家投請二師十三

有一釋女告五百女言。曾從佛聞。若人於劇急之中。一心念佛。至到歸命。即得安隱。時五百女異口同音至心念佛。呼南無釋迦牟尼苦哉嗚呼痛哉。時空中以如來慈善根力。起大悲雲。雨大悲雨。諸女手足還生。諸女念言。云何報佛慈恩。即持衣鉢。往詣王園精舍。求索出家。時有六群比丘尼。見諸釋女年時幼稚美色端正。當為說世間之欲快樂。待年限過然後出家不亦快乎。若悉還俗必以衣鉢施我。諸女聞之心懷苦惱言。如餚饍飲食和以毒藥。世間五欲多諸過患。我已具知。云何讚歎其美。以勸我等。舉聲大哭。華色比丘尼問故。答曰欲出家。不蒙聽許。華色即度為弟子。時諸釋女悲喜交懷。具以族喪身殘。仰白和上。答言

汝等辛苦何足言也。我昔在家。是舍衛國人。父母嫁我。與北方人。彼國風俗。婦臨欲產。還歸父母家。後垂生日。皆乘車馬夫妻。中路有河其水暴漲。道路曠絕多賊難。至河不能得度。住宿岸邊。初夜生男。大毒蛇聞新血香。即來趣我。先螫殺奴。喚夫不應。尋復殺夫。次殺牛馬。至日出時。夫身脞爛。憂愁恐怖。舉聲大哭。經留數日。獨在岸邊。其水漸小。身負小兒。以手牽持。裙盛新產。銜著口中。即前入水。渡河如半。反觀大兒。見為虎逐。叫喚失裙。嬰兒沒溺。以手探搏。而竟不獲。在背上者。失手墮落。其岸上者。為虎所食。心肝分裂。口吐熱血。到岸悶絕。有大伴至。中有一長者。是父母知識。我問消息。長者答曰。昨夜失火汝家盪盡。父母俱亡。我聞躃絕。良久乃蘇。有五百賊。即壞眾伴。便將我去。以作賊婦。常使守門。若有緩急。為人所逐。須晝開門。後群賊共抄。財主告王及聚落。即還其家。我舍內生子。三喚無人開。即緣牆入問。答生兒。賊曰。汝為子故危害於我用子何為。拔刀斫解手足令婦食之。婦以恐怖食。瞋恚便息。夫續為劫。王人所得。腰斷其命。共婦生埋。人貪我身有妙瓔珞。開塚取之。并將我去。復經少時。王伺捉得。斷賊伴命。合復埋之。埋之不固。夜虎發食。因復得出。迷荒不知東西。隨路馳走。見有多人。問言。諸人何處有能除此憂患者。時有長者婆羅門等。以憐愍心問言。曾聞釋迦牟尼佛法。多諸安隱無諸衰惱。我聞心喜。詣大愛道憍曇彌比丘尼。次第修習乃得道果。釋女聞之。心大歡喜。得法眼淨。時憍曇彌言。如來法海。一切眾生。皆悉有分。而我等女人。如來不聽。以多諸疑惑執著難捨。癡愛覆心愛水所沒。不能自出。懈怠嬾惰。現身不能莊嚴菩提獲得三乘。阿難為請云。憍曇彌乳哺養育如來色身得至成佛。佛言若聽女人法當漸滅。阿難又請。過去諸佛具四部眾。而今獨不具也。佛告阿難。憍曇彌。愛樂佛法發大精進。清淨修習八敬之法者。聽入佛法。我得出家。大悲熏修。普為未來一切女人。重白佛言。未來善女。信樂愛敬如來法者。唯願聽許。佛言。若有女人。護持佛法漸次修學。戒施多聞三歸五戒。乃至具戒。諸助道法。亦悉聽。常當至心念阿難恩。供養恭敬。晝夜六時。令心不忘(出報恩經第五卷)。

佛奴車匿馬揵陟前世緣願十四

舍利弗白佛言。車匿前世有何功德乃將菩薩入山得佛。佛言。車匿不但今世有是功德。我昔為菩薩時。在尸訶遍羸國。須檀摩提王聞世間人或有作道上天或作祠祀上天。王常欲上天不知方便。國有婆羅門道。凡四萬餘人。中有大尊者婆羅門。王請問之。對曰。欲生身上天耶死上天耶。王言。生身飛上天。復言。大王當作祠祀。王喜出藏珍寶與婆羅門。求國中端正男女各一百人。象馬畜生各百頭。先飯四婆羅門。後殺人畜。用祠祀天。取血作階。上婆羅門。復求香山中有神女名真陀羅。欲得其血合持作階。王聞喜言何不早告。王即勅國中遍問誰能得真陀羅者。一人白王。第七山中有兩人。一名闍梨一人名憂梨。知真陀羅處。王言。疾喚其人。得來。王大歡喜即設酒食恣意娛樂七日七夜重賞極

意。王謂闍梨等二人。汝能得真陀羅女來我得上天者。當持此國付汝二人。其人受教輒自盡力求真陀羅。二月餘日經歷八重山。至香山中得大池水。見有釋提桓因。與諸天伎女無央數眾。出城遊戲池中沐浴竟皆飛上天。時水池邊有一婆羅門。已得四禪般遮旬道。時闍梨等前為作禮問言。是間為何等聲快樂乃爾。答言。頭摩王千餘人在此城中。遊戲沐浴當至我所作禮。卿曹宜去。闍梨等便去。屏處議言。是大神聖求是神女那從得之。其人自念取草作結投水厭之。令婆羅門不得動搖。復厭天女令不得飛。結神呪竟。釋提桓因及諸天女俱飛上天。獨王及女及王摩那訶羅止在水中不能得飛。便前縛女將到故國。王請入宮飯食賞勞。太子難羅尸作異國王。王有太子名須羅。先即是王太孫也。有大慈悲行菩薩道。遣人往呼來見此女欲取為妻。王言。更為汝取妻。此女天取血作祠持用上天。菩薩答言。不與我者我便惑死。王畏其死持女與之。四月餘日婆羅門來白王言。前得真陀羅女今當殺之。與人及畜掘地作坑方圓八肘。應取其血擇日作祠。王言。大善菩薩聞之問作何等。婆羅門對言。作祠當上天。菩薩言。殺人及畜當入地獄。豈得上天乎。婆羅門言。汝年尚小非汝事也。菩薩言。我悉知汝因緣。婆羅門言卿知者試說。菩薩說其行法。婆羅門慚愧作禮而去。菩薩即為王說經言。欲上天者當持五戒修行十善。分檀布施孝養父母承事沙門。慈心萬民蠕動之類隨其所食給足與之可得上天。王聞即用菩薩之言。便舉藏中金銀珍寶。與太子布施恣意七日訖。便與妻作禮而去還歸故國。晝夜雨金銀珍寶。菩薩與女俱居一歲不領國事。臣白王言。當殺真陀羅。太子乃當國耳。王聞不可勅取太子縛之。女即飛去。過闍梨二人所。即語之言。太子來追。煩為送之。留指環為信。持與道人。王縱太子。不見真陀羅。躃地而言。當那得女。有神語之。汝不須啼。我語汝處。上第七山汝疾追之。便著珠衣帶刀持弓。珠衣光照四十里。太子去國明旦至七山見前二人。即言。見真陀羅女不。報言見之。環與太子。即俱前行。上第八香山。見四禪婆羅門前為作禮。時天王釋化作獼猴可畏動山。菩薩大怖。婆羅門言。常事我獼猴見之便不肯下。婆羅門言。汝下獼猴即來持果上。婆羅門受與三人共啖竟。語獼猴言。將是三人至天女所。獼猴言。是何等人使我將上天。婆羅門言。此國王太子。皆菩薩人當持佛道度諸天人蠕動之類。獼猴言大善。便將上天。道過五百辟支佛所。三人遣獼猴還取華用散佛菩薩。願言。令我疾得作佛。獼猴復言。願我為佛作馬。闍梨復言。願我為佛作奴。一人言我願得阿羅漢。到真陀羅所。獼猴作禮而去。菩薩與二人俱坐門外。青衣取水。菩薩問之用此水為。答言。與真陀羅浴。菩薩脫指環沒著水中。女浴見環即止。入報父母言。我婿在外。父母歡喜。父名頭[弓*莫]。便出相見。為菩薩作禮。闍梨二人復禮而去。王請入城共相勞問。以水澡菩薩手。以女及侍女千餘人悉付菩薩。留止七歲。菩薩白王言。我欲歸去視我父母。王言且止。七日後有鬼來至王所言。前聞大王亡女多賀以歸并得貴婿。王言。我女可耳其婿大尊。是國王子久欲還歸煩卿送之。鬼王言諾。即持一國七寶作七重樓。鬼著掌中送歸故國作禮而去。菩薩前為父母作禮問訊起居。王得太子。即國中寶藏金銀付與。王勅傍臣左右。四遠欲得金銀米穀。皆至宮

門恣意所欲。後王壽終即生天上。時太子者今我身是。時四禪婆羅門者舍利弗是。時闍梨者今車匿是。時一人願作羅漢者今目揵連是。時天王釋化作獼猴願作馬者今揵陟是。時父王者今我父閱頭檀是。時母者今我母摩耶是。真陀羅者今裘夷是(出車匿經)。

經律異相卷第七

經律異相卷第八(自行菩薩部第一)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 薩陀波崙為欲聞法賣心血髓一
- 藥王今生捨臂先世燒形二
- 淨藏淨眼化其父母三
- 羼提和山居遇於國王之所割截四
- 無言受天戒誨依義思惟獲得四禪五
- 常悲東行求法遇佛示道六
- 善信東行為求半偈履泥不溺七
- 一切世間現為師婦所愛違命致苦八
- 燄光行吉祥願遇於女人退習家業九
- 題耆羅那賴提者二人共爭令五日闇冥十
- 樂法捨諸寶飾以易一偈十一
- 為聞半偈捨身十二
- 久修忍辱割截不憂十三
- 賣身奉佛聽涅槃一偈割肉無痍十四
- 為聽法華經大地震裂踊空中現十五
- 為王採花遇佛供養十六
- 持戒發願防之十七
- 初發心勝二乘十八
- 三小兒施佛二發小心一發大心十九
- 幼年為鬼所迷二十

薩陀波崙為聞法賣心血髓一

薩陀波崙菩薩在大雷音佛所行菩薩道。本求般若波羅蜜時。不惜身命不求名利。空中有言而戒誨之。我當處處求般若波羅蜜。即憂愁啼哭經過七日。身體疲極乃至飢渴寒熱。空中有佛而語之言。善男子過去諸佛行菩薩道求聞般若波羅蜜。如汝今日以是勤精進愛樂法故。供養般若波羅蜜。曇無竭菩薩於此座上說般若波羅蜜。若有受持讀誦如說行者。汝從今者莫問晝夜不久當得聞般若波羅蜜。我今貧無有物可以供養般若波羅蜜及說法師。不應空往。我當賣身得財為般若波羅蜜故并供養法師。我世世喪身無數。無始生死中或死或賣。或為貪欲世世在地獄中受無量苦。未曾為清淨法及供養法師故喪身命。即入一大城至市肆上。高聲唱言。誰欲須人誰欲須人。時惡魔作是念。薩陀波崙豈念法故欲自賣身。我今當壞之。魔蔽諸人民令不聞其聲。自賣身不售甚自憂愁。釋提桓因化作婆羅門語言。我今欲祠天須人心人血人髓。汝能與不。答言。我今得大善利。即執刀刺其左臂出血割右髀肉欲破骨出髓。時一長者女在閣上遙見即下問菩薩。何故苦困自身用心血髓欲作何等。答曰。賣與婆羅

門為般若波羅蜜供養曇無竭菩薩。女問得何功德。答曰。是人善學般若方便力。我學是法能得無上道。為眾生作依止。得金色身具諸功德。分布是利與一切眾生等功德利。女曰微妙難值為是功德。應捨如恒河沙身。汝有何須盡當相與。我亦欲往曇無竭所共殖善根。釋提桓因即復本身。讚言。善哉男子。諸過去佛行菩薩道亦復如是求。我實不用人心血髓。但來相試。汝欲何求。我當相與。願我是身平復如故。到長者女家。女之父母與眾妙華香及諸瓔珞塗香燒香幡蓋衣服七寶伎樂。女與侍人共往供養經及曇無竭。曇無竭說般若波羅蜜及方便力。薩陀波崙求水灑地而不能得。即自刺身以血灑地令無塵土來依大師(出大品經第三十卷)。

藥王今身捨臂先世燒形二

宿王華菩薩白言。世尊藥王云何遊此娑婆世界。有百萬億那由他難行苦行。願少解說。佛言。過去恒河沙劫有佛號日月淨明德。彼國無有女人。喜見菩薩於此佛法精進經行一心求佛。滿二萬歲得現一切色身三昧。皆是聞法華經力。於虛空中雨曼陀羅華及海此岸栴檀之香。以天衣纏身灌以香油而自燃身。光明遍照八十億恒河沙世界。是真精進真法供養。其身火燃千二百歲過是已後其身乃盡。一切眾生喜見菩薩法供養已。化生此國淨德王家。為父說偈。

我先經行處　已得現身定　勤行大精進　捨所愛之身

日月淨明德佛今故現在。即當還彼供養此佛。坐七寶臺上昇虛空。往到佛所合掌讚佛。

容顏甚奇妙　光明照十方　我適曾供養　今復還親覲

佛告喜見。我滅盡時至。今夜涅槃。我法囑汝舍利相付當令流布廣設供養。喜見即以海此岸栴檀[廾/積]而燒之。收取舍利作八萬四千寶瓶。起八萬四千塔。雖是供養心猶未足。即於八萬四千塔前。燃百福莊嚴臂七萬二千歲。而以供養。無數求聲聞眾無量人發菩提心。皆得住現一切色身三昧。諸菩薩天人等見其無臂憂惱悲哀而作是言。一切眾生喜見菩薩是我等大師教化我者今不具足。喜見菩薩於大眾中誓言。我捨兩臂必當得佛。若實不虛令臂還復。當時三千世界六種震動天雨寶華。時其兩臂平復如故。佛告宿王華菩薩。時喜見者今藥王是。若有發心欲得無上菩提道者。能燃手指乃至足一指供養佛塔。勝以國城妻子及三千國土山林河池諸珍寶物而以供養佛及菩薩辟支阿羅漢等(出法花經第六卷)。

淨藏淨眼化其父母三

乃往過去有佛。名雲雷音宿王華智。有王名妙莊嚴。其王夫人名曰淨德。有二子。一名淨藏。二名淨眼。是二子者有大神力。福德智慧修菩

薩道。佛欲引導妙莊嚴王愍念眾生說是法華經。時淨藏淨眼白母言。願母往詣雲雷音宿王華智佛。我等亦當侍從供養禮拜。母告子言。汝父信受外道深著婆羅門法。汝等應往白父與共俱去。母又告言。汝等當念父為見神變。於是二子踊在虛空高七多羅樹現十八變。父見神力心大歡喜合掌向子言。汝等師為是誰。二子白言。雲雷音宿王華智佛今在七寶菩提樹下法座上坐說法華經。是我等師。父語子言。我今欲見。二子從空中下白母父王今已信解發菩提心。我等為父已作佛事。願母見聽。於彼佛所出家修道。母言聽汝。佛難值故。於是二子白父母言。願時往詣佛所親覲供養。於是妙莊嚴王與群臣眷屬。淨德夫人與後宮婇女并其二子四萬二千人。一時詣佛。佛為說法示教利喜。王大歡悅。時王及夫人。即解頸真珠瓔珞以散佛上。於虛空中化成四柱寶臺。中有大寶床敷百千萬天衣。其上有佛結跏趺坐放大光明。時雲雷音宿王華智佛告四眾言。汝等見是妙莊嚴王於我前合掌立不。此王於我法中當作比丘精勤修習助佛道法當得作佛號娑羅樹王。國名大光劫名大高王。其王即時以國付弟。王與夫人二子并諸眷屬於佛法中出家修道。王出家已於八萬四千歲常精進修行妙法華經。過是已後得一切淨功德莊嚴三昧。即昇虛空高七多羅樹。妙莊嚴王今華德菩薩是。淨德夫人光照莊嚴相菩薩是。其二子者今藥王藥上菩薩是(出法華經第七卷)。

羼提和山居遇於國王之所割截四

昔者菩薩時為梵志名羼提和山。居樹下飲食果泉內垢消盡弘明六通得盡知之智。名香普薰聞八方上下。聖凡咨嗟擁護其國。風雨從時五穀豐熟災毒消滅。王名迦黎。入山畋獵馳逐麋鹿。尋其足迹歷菩薩前過。王以問之。菩薩默然。王曰。當死乞人吾一國之尊。問不時對獸迹歷茲。而佯低頭我勢能戮爾。菩薩曰。吾聽王耳。曰爾為誰乎。曰吾忍辱人。王怒拔劍截其右臂。菩薩曰。吾志無上道與時無諍。斯王尚加吾忍豈況黎庶乎。願吾得佛必先度之。不令眾生効其為惡也。王曰。君為誰。答曰。吾忍辱人也。又截其左手乃至兩脚耳鼻。血若流泉其痛無量。天地震動日月無明。四天大王僉然俱臻同聲恚言。斯王酷烈。謂道士曰。吾等誅之及其妻子。并滅一國以彰其惡。道士答曰。斯何言乎。此由吾前世不奉佛教加毒乎彼。為惡禍追由影繫形矣。黎民覩變馳詣首過齊聲而曰。道士處茲禳災滅度。愚君不識臧否不知去就。惡加元聖。唯願聖人無以吾等報上帝矣。菩薩答曰。王以兇酷見加吾心愍之猶母之念赤子。黎庶何過不假有疑。菩薩有弟處在異山。以天眼視。時天神龍會議王惡靡不懷忿。懼兄有損德之心。以神足力來至兄所。取斷手足耳鼻著其故處。弟還續之即復如本。兄曰。吾普慈之信于今著矣。天神地祇靡不悲喜。稽首稱善更相勸導受誡而退。羼提恕者吾身是。弟者彌勒是。王者拘隣是也(出度無極集第五卷)。

無言受天戒誨依義思惟獲得四禪五

時王舍城師子將軍家產一子。當其生時虛空諸天作如是言。童子常念法思惟法凡所發言莫說世事。常當班宣出世之法。常當守口慎言少語。莫於世事起諸覺觀。當依於義莫依文字。爾時童子聞是不復涕泣無嬰兒相。乃至七日色貌和悅見人歡喜目未曾眴。是時有人語其父母。是兒不祥不應畜養。父母答言。是兒雖復無聲。然其身根具足。當知是兒必有福德非是不祥因。為立字名曰無言。時無言童子漸漸長大如八歲兒。人所樂見。隨有說法轉法輪處。樂法聽受口無所宣。爾時無言與其父母眷屬宗親。色欲二界之間往寶坊之中。見佛及十方諸來菩薩生大喜心。舍利弗白佛言。世尊。師子將軍所生之子。身根具足而不能語是何業致。佛言。不應輕是童子。何以故。是人即是大菩薩也。已於無量佛所種諸善根。不退轉菩提之道。是兒生時多有諸天來誡勅如前。隨天教誨默然思惟獲得四禪。示如是身則能調伏無量眾生。以已願力神通力。令八部四眾各見右手有大蓮華猶如車輪。色香具足微妙第一。人所樂見。一一華臺有一菩薩結跏趺坐三十二相八十種好莊嚴其身。無言見是大神通力。低頭合掌稱南無佛陀。諸華臺中一切菩薩同作是言。十方恒河沙等世界六種震動。虛空諸天以妙香華種種伎樂供養於佛。爾時無言與諸菩薩踊在虛空。高七多羅樹。說偈讚佛(出大集經第十七卷)。

常悲東行求法遇佛示道六

眾祐昔為菩薩。名曰常悲。見世佛法僧。若世穢濁。背正向邪華偽趣利。猶蛾樂火。以四等六度為永康之宅。而世廢佛就彼危禍以自破碎也。菩薩常為愁荒悲慟。往昔有佛名景法無穢。滅度未久。經法都盡。常悲夢見其佛為其說法。菩薩聞之心垢消除入清淨定。即棄妻子入山閑寂。水果自供。椎心哀號。吾不值佛不見法僧。大道極趣哀聲適訖。天神下曰明士。乃爾莫復哀號。佛有大法名明度無極之明。三世諸佛皆由斯成。爾索之誦習其文懷識其義。奉而行之。爾必得佛。常悲仰視曰。當由誰聞斯尊法乎。以何方便之何國土厥師族名。天人報曰。爾正東行。無念色痛想行識。意絕眾願執心無違。吾教汝覩明度無極聖典。常悲曰諾。終始戢之。天人重曰。精進存之。忽然不現。菩薩受教東行索之。數日即止。深自思曰。吾宿薄祐。君臣憒憒。無知佛者。除冥尊師。去斯幾里。精誠之至。感上方佛來在其前諸天翼從。歎菩薩曰善哉善哉爾世希有。菩薩見佛且喜且悲。稽首而言。願佛哀我為吾說經。佛告之曰。三界皆空。夫有必無萬物若幻一生一滅猶若水波覩世皆然慎無忘也。自是東行二萬里。有國名健陀越。諸菩薩城也。一國之內皆是上士無凡庸人。欲為汝說菩薩之德。劫數已盡其德有餘。菩薩名曰法來。於彼諸聖猶星中月。懷諸經典反覆教人。諸菩薩等受誦書讀。是經原者必為爾師勸爾就之當為爾說。常悲定寤左右顧視。不復覩佛。心悲流淚。且云諸佛靈耀從何所來而今逝焉(出度無極集第七卷)。

善信東行為求半偈履泥不溺七

善信菩薩於無法之世尋求正法空中聲曰。其此東方一萬由旬彼有一國王名曰善住。昔有如來出現於世久已滅度。像法衰微有一女人。生自卑賤形貌醜陋人世所無。而髣髴能識半句一偈。示有所傳能往問疑。有一游泥縱廣萬里踐者即沒。乃至鳥飛不能過毫毛不能勝。汝今困瘵手足斷裂。云何而能更復前進。我聞踊躍馳起東行至淤泥所。分捨身命以軀自投本期陷沒。我擲身時。當身所觸。出一小路。潔白修直。我踐其上無復眾難。徑至彼國入善住城。哀號自咎不覩世尊。見此女人處於卑陋。屋室穿穴。人形凡鄙。而我恭敬視如佛想。瞻奉禮拜圍繞讚歎。仰請女人以為大師。願垂教示得遂深信。女人答曰。諸佛妙法無量無邊我之所聞唯一半偈。若欲聞者今便說之。

諸惡莫作　諸善奉行

我聞此語身心清涼諸根寂靜自然調伏。誦習在心思惟其義洞達斯旨。即獲神通飛還本國遍宣此偈。以此功德我於佛法得堅固信不可沮壞。眾魔啟伏一切歸化。未有此信我常在生死。為眾生故開示此信令得奉行(出菩薩決定要行第一卷)。

一切世間現為師婦所愛違命致苦八

舍衛城北去城不遠村名薩那有一貧窮婆羅門女。名跋陀羅。腹生一子。名一切世間現。少失其父。厥年十二。色力人相具足第一。聰明辯慧微言善說。復有異村名頗羅訶私。有一舊住婆羅門師。名摩尼跋陀羅。善能通達四毘陀經。一切世間現從其受學。謙從恭敬盡心供養諸根純淑所受必持。師受王請。留一切世間現守舍而去。婆羅門婦年少端正。於世間現深生染心。忽忘儀愧前執其衣。時世間現白。仁今便是我母。如何而行非法。內懷愧悚捨衣遠避。師婦欲盛泣淚念之曰。忽見斷絕不隨我意。必不見從要斷汝命。即以指爪自攫其體。行女人諂莊嚴其身。以繩自絓足不離地。夫還見婦以刀截繩。高聲大叫而問何故。婦答。是世間現強見陵逼作如是事。其夫思惟言。世間現初生之日一切剎利所有刀劍悉自拔出。利皆捲屈墜落于地。時諸剎利咸大恐怖。其生之日有如此相。當知是人有大德力。語世間現。汝是惡人毀辱所尊。汝今非復真婆羅門。當殺千人可得除罪。世間現稟性敬從尊重師教。即白師言。嗚呼和上殺害千人非我所應。師即謂言。汝是惡人不樂生天作婆羅門耶。答言。和上善哉奉命即殺千人還禮師足。師聞見已生希有心。汝大惡人故不死耶。復作念言今當令死。而告之言。殺一人一人取一指。殺千人已取指作鬘冠首而歸。然後得成婆羅門。以是因緣名央掘魔羅。即白師言。善哉和上受教。即殺千人尚少一耳。時央掘魔羅母念子當飢。自持四種美食送往與之。子見母已作是思惟。當令我母得生天上。即便執劍前欲斷命。去舍衛國十由延少一丈。於彼有樹名阿輸迦。時佛以一切智如象王來。央掘魔羅既見世尊執劍疾往。作是念言。我今復當殺是沙門。世尊示現避去。央掘魔羅而說偈言。

住住大沙門　白淨王太子　我是央掘魔　今當稅一指

世尊說偈言。

住住央掘魔　汝當住淨戒　我是等正覺　輸汝慧劍稅

時母見佛與央掘魔羅往反苦論。子心降伏縱身垂念故說偈云。

久失寶藏今還得　塵穢壞眼今眼淨　哀哉我子心迷亂　常以人血自塗身　極利刀劍恒在手　多殺人眾成屍聚　當令此子隨我從　今敬稽首等正覺　多人見罵難聽聞　汝子如是切責我

(出央掘魔羅經第一卷)。

燄光行吉祥願遇女人退習家業九

過去無數劫時有一學志。名曰燄光。處于林藪行吉祥願。已四百二十萬歲修行無礙。入沙竭國有陶家女。見此學志姿貌姝好。欲意隆崇即自投之。學志報言。吾不樂欲。女曰。設不然者吾將自賊。燄光自念吾護禁戒。今若毀之非吉祥也。離之七步乃發慈哀。毀犯禁戒墮地獄罪。若不如是女自殘賊。寧令斯女以致安隱。吾當安忍地獄之痛。燄光即還從女所欲。退習家業十有二年。壽終之後生梵天上。佛言。欲知爾時燄光學志。豈異人乎則吾身是。陶家女者即瞿夷也(出慧上菩薩經上卷)。

題耆羅那賴提者二人共爭令五日闇冥十

昔有兩菩薩志清行淨。內寂無欲表如天金。鑿石為室閑居靖志。蓑衣草席食飲泉水。清淨無為志若虛空。四禪備悉得五通智。凡釋仙聖諸天龍鬼神無不稽首。處於山澤六十餘年。悲愍眾生敬奉三尊。一名題耆羅。二名那賴。題耆夜興誦經疲極臥出。那賴時亦誦經誤蹈題耆羅首。題耆即興而曰。誰蹈吾首者。明旦日出破爾之首以為七分。那賴曰誤蹈爾首呪誓何重。凡器之類尚有相觸。豈況於人共處終年而不誤失。爾言常試明旦日出吾首必破。吾當制日不令得出。日遂不出五日之間舉國幽冥。炬燭相尋眾官不修君民惶惑。悉會群僚請諸道士。王曰。日之不出其咎安在。道士之中有五通者曰。山中道士兩有微諍制不令出。王曰奈何。答曰。王率群僚民無巨細馳詣于彼稽首和解彼必慈和。王即有詔詣于山澤叩頭曰。國豐民寧二尊之潤。而今不和率土失所。其咎在我黎民無過。願愍赦之。那賴曰。王勸喻曉彼意。彼意解者吾放日出。王之題耆羅所宣那賴旨。即日念彼以泥塗首放日令出。泥首即破為七分。那賴無為王臣黎民靡不欣懌。兩道士為王廣陳治國。當以四等無盡之慈勸民。奉五戒戴十善行。王及臣民僉然受戒。王還國有詔曰。人無尊卑帶五戒十善經。以為國正。自斯之後王潤逮草木。臣忠且清。佛告諸比丘。那

賴者吾身是。題耆羅者彌勒是(出度無極集第七卷)。

樂法菩薩捨寶飾以易一偈十一

過去世時有一菩薩。名曰樂法。生長王家所聞善言皆寫讀誦。為求法故遊諸國邑。時有一人住深坑側語樂法言。來來我當相與佛所說偈。菩薩答曰。汝持與我。是人又曰。與我寶衣摩尼瓔珞。然後相與。菩薩許之。是人貪心增長。又言若能與我得聞佛偈投此深坑。能如是者當先立誓然後為說。王子答言。咄哉仁者。汝欲令我投此深坑為得何利。是人答言。我無所得。但恐王今捨此寶物。既日聞得便生悔心。恃豪勢力而還奪我。王子答言。汝但說之。我終不悔與汝寶物亦投深坑。是人聞誓為說佛偈。菩薩即與寶衣摩尼瓔珞。又立誓言。若我誠心捨此無悔。以是實語當令我今從高墜下安隱平住無所傷損。作是誓已便自投身。未到地頃四天王來徐接置地曰。佛所說偈甚深微妙有大利益。是人亦從高而下到菩薩所。作如是言。王子希有能為難事欲求何法。菩薩答言。我以是事當得佛道。發四弘誓。是人聞已便生信心。語菩薩言。還王寶衣珠瓔珞。正是王宜答言。猶如棄吐豈可還食。是人白言。若不還取願受我悔。後作佛時當見救濟。樂法王子即舍利弗是也。時說偈者即禮伽利(出濡首無上清淨分衛經上分重檢未相應也)。

為聞半偈捨身十二

善男子乃昔過去佛日未出。我於爾時作婆羅門。修菩薩行。悉能通達外道經論。修寂滅行具足威儀。其心清淨不為外欲所能破壞。滅瞋恚火。受持常樂我淨之法。周遍求索大乘經典。乃至不聞方等名字。住於雪山繫心坐禪經無量歲。修難行苦行。爾時釋提桓因自變其身作羅剎像。形甚可畏。下至雪山去其不遠而便立住。是時羅剎心無所畏勇健難當。辯才次第其聲清雅。宣過去佛所說半偈。

諸行無常　是生滅法

說已便住。所現形貌甚可怖畏。顛眄遍視觀於四方。是苦行者聞是半偈心生歡喜。即便坐起以手舉髮四向顧視。而作是語。向所聞偈誰之所說。爾時四顧不見餘人。唯見羅剎。即說是言。誰開如是解脫之門。誰能雷震諸佛音聲。誰於生死眠睡之中而獨覺寤。唱如是言。誰能於此示導生死饑饉眾生無上道味。無量眾生沈生死海。誰能於中作大船師。是諸眾生常為煩惱重病所纏。誰能於中為作良醫。說是半偈啟悟我心。猶如半月漸開蓮華。我於爾時復作是念。將是羅剎說是偈耶。覆生疑惑非其所說。何以故。是人形容甚可怖畏。若有得聞是偈句者。一切恐怖醜陋即除。何有形貌如是能說此偈。善男子。我於爾時復作是念。而此羅剎或能得見過去諸佛。從諸佛聞說是半偈。即至羅剎所言。善哉大士。汝於何處得是過去離怖畏者所說半偈。即答我言。大婆羅門。汝今不應

問我是義。何以故。我不食來已經多日。處處求索了不能得。飢渴苦惱心亂謬語。非我本心之所知也。我時即復語羅刹言。大士若能為我說是偈竟。我當終身為汝弟子。汝所說者名字不終義亦不盡。以何因緣不欲說耶。夫財施者則有竭盡。法施因緣不可盡也。法施無盡多所利益。羅刹答言。汝智太過。但自憂身都不念我飢苦所逼實不能說。我即問言。汝所食者為是何物。羅刹答言。汝不須問。我若說者令多人怖。我復語言。此中獨處更無有人。我不畏汝。何故不說。羅刹答言。我所食者唯人暖肉。其所飲者唯人熱血。世雖多人皆有福德兼為諸天之所守護。而我無力不能得殺。我復語言。汝但具足說是半偈。我當以身奉施供養。我設命終如此之身無所復用。當為虎狼鵄梟鷹鷲之所噉食。而復不得一毫之福。我為求佛捨不堅身以易堅身。羅刹答言。誰當信汝為八字故棄所愛身。我即答言。如有人施他人瓦器得七寶器。我捨不堅身得金剛身。大梵天王釋提桓因。及四天王能證是事。復有天眼諸菩薩等為欲利益無量眾生。修行大乘具六度者亦能證知乃至十方諸佛。羅刹即說。

生滅滅已　寂滅為樂

羅刹說言。菩薩摩訶薩汝今已聞具足偈義。汝之所願為悉滿足。若必欲利諸眾生者時施我身。我於爾時深思此義。然後處處若石若壁若樹若道。書寫此偈。即便更繫所著衣裳。恐於死後身體露現。即上高樹自投樹下。下未至地時虛空中出種種聲。其聲乃至阿迦尼吒。爾時羅刹還復釋形。即於空中接取我身安置平地。以是因緣便得超越。足十二劫。在彌勒前成阿耨多羅三藐三菩提(出大涅槃第十三卷)。

久修忍辱割截不憂十三

問曰。菩薩身非木石。云何眾生來割截之不生異心。答曰。有人言。菩薩久修羼提波羅蜜故能不愁惱。如羼提仙人被截手足血皆為乳。有人言。菩薩無量世來深修大慈故雖有割截亦不愁憂。譬如草木無有瞋心。有人言。菩薩深修般若波羅蜜。轉身得般若波羅蜜果報。空心故了了知空。割截身時心亦不動。如外物不動內亦如是。般若果報故於諸法中無所分別。有人言。是菩薩非生死身。是出三界法性生身。住無漏聖心果報中故。身如木石而能慈念割截者。是菩薩能生如是心故。割截劫奪內外法時。其心不動。是為菩薩希有之法。我以佛眼見十方如恒河沙等世界中。菩薩入地獄中。令火滅湯冷。以三事教化眾生。於無量阿僧祇劫。深行慈心外物給施。意猶不滿。以身布施爾乃足滿。如藥王菩薩外物珍寶供養於佛。意猶不滿以身為燈爾乃足滿。外物雖多不以為恩。所以者何。非所重故。得其身時乃能驚感。是故身施(出大智論第八十卷)。

賣身奉佛聽涅槃一偈割肉無痍十四

我念過去於無量劫。爾時世界名曰娑婆。有佛出世。號釋迦文。為諸大

眾說大涅槃經。我於爾時。從善友所。聞當為法說。我聞是已心懷歡喜。欲設供養。居貧無物周行賣身冀有微獲。乃於路間見有一人。吾欲自買。但家作業人無堪者。吾有惡病良醫處藥。應當日服人肉三兩。卿若能以身肉三兩日日見給。便當與汝金錢五枚。我時聞已心大歡喜。即復語言汝與我錢惠我七日。須我事訖。便還相就。其人答言。七日不可。審能爾者。聽汝一日。我於爾時。即取其錢。還至佛所。頭面禮足盡以上佛。然後誠心聽受是經。我時闇鈍雖得聞經。唯能受持一偈。即便還至彼病人家。我時雖復日日與肉。以念偈故不以為痛。足滿一月。以是因緣其病得瘥。我身平復亦無瘡痍。我時見身具足完全。即發無上菩提之心。一偈之力尚能如是。何況具足受持讀誦我見此經有如是利。復倍發心。願後成佛字釋迦文(出大涅槃經第二十卷)。

為聽法華經大地震裂踊現空中十五

爾時如來說法華經。諸餘菩薩請欲護持。佛即止之云。下方國菩薩無量無數。因地震裂同時踊現住虛空中。詣七寶塔多寶如來釋迦文佛。向二世尊頭面作禮(出法華經第五卷)。

為王採花遇佛供養十六

昔者世尊遊羅閱祇時。王使數十人常採好花。一日之後大小貴人採女俱出城外採花。欲還入城。遙見世尊相好威光巍巍無量。猶星中月若日初出照于天下。與弟子菩薩前後圍繞。即往佛所稽首為禮。心自念言。人命難保佛世難遇經法難值。今遭大聖猶病得醫。我既貧賤加屬縣官羈役之患。恒不自從。國王嚴急。主給採花常以早進。設失時節或能見誅。聖眾難遇。億世時有。寧棄身命。以華上佛并散聖眾。因受經戒聽察深法無窮之慧。我從無數劫為人所害不可稱載。未曾為法而不惜命。今供世尊三寶之業。縱使見害不墮苦痛必生安處。却自歸命一心重禮。佛知其念。發大道意甚慈愍之。具為散講大樂之法。六度無極四等四恩三脫菩薩。諸採花人皆發道意。心解佛慧至不退轉無所從生。佛即授決。後當得佛。號曰妙華。十號具足。其邊人聞莫不怡悅。啟受大法供養三寶。時採花人還歸家中。與家二親妻子辭別。我命今盡為王見殺。父母愕然問何罪咎。諸子具答。王大嚴急。既違失時。復無有華。必見危命故辭別耳。二親聞之益以愁慼。當奈之何。發篋視之滿中好華。須臾雜香遠徹四面。父母告曰。可以進王。諸子各白。眾人見之必傳白王。又復違時恐不得安。時王大瞋。見不時來復散眾花。遣兵收取。則受王教反縛入宮。罪當棄市。諸人不恐面色不變。王怪問之。汝等罪過命在不測縛來當殺。何故不慘面色不改。即白王曰。人生有死物成有敗。我從無數劫每以非法不惜身命。今朝採花值遇世尊。以花供上稽首歸命。知違勅當死。寧以有德而死。不以無德而存。還視花篋續滿如故。皆是如來恩仁所覆。王以問佛。佛示言然。王曰。

此人至心欲度十方不惜身命。故取眾花以散上佛。意無想報已得受決。將來成佛號曰妙花。王大歡喜。疾解眾縛悔過自責。愚意不及繫縛菩薩。佛言。善哉善哉。能自改者與無過同(出採花違王上佛授決號妙花經)。

持戒發願防之十七

善男子菩薩受持禁戒。夫作是願。寧以此身投於火坑。終不毀犯三世佛制與諸女人而行不淨。寧以熱鐵纏身。終不敢以破戒之身而受信心檀越衣服。寧以此口吞熱鐵丸。終不敢以毀戒之口而食信心檀越飲食。寧臥大熱鐵上。終不敢以破戒之身受信心檀越床臥鋪具。寧以此身受三百鉾。終不敢以毀戒之身而受信心檀越醫藥。寧以此身投熱鐵鑊。終不敢以破戒之身受信心檀越房舍屋宅。寧以鐵椎打破此身從頭至足令如微塵。不以破戒之身受諸剎利婆羅門居士恭敬禮拜。寧以熱鐵挑其兩目。不以染心視他好色。寧以鐵錐周遍刺身。不以染心聽好音聲。寧以利刀割去其鼻。不以染心貪嗅諸香。寧以利刀割裂其舌。不以染心貪著美味。寧以利斧斬斫其身。不以染心貪著諸觸。何以故。以是因緣能令行者。墮於地獄畜生餓鬼。迦葉是名菩薩摩訶薩護持禁戒。悉以施與一切眾生。以是因緣願令眾生護持諸禁得清淨戒。

善男子菩薩修是戒時。即得住於初不動地。如須彌山。隨藍猛風不能令動。菩薩住是地中。不為色聲香味所動。不墮地獄畜生餓鬼。不退聲聞辟支佛地。不為異見邪風所散(出大涅槃經第十一卷)。

初發心便勝二乘十八

發心菩薩有二種。一者行諸波羅蜜。二者但空發心。行菩薩道者。雖事未成能勝一切。如歌羅頻伽鳥。雖在卵中亦能發聲已勝諸鳥。如一六通羅漢。將一沙彌令負衣鉢。沙彌念言。當以佛乘入於涅槃。師知其念即取衣鉢自擔。推沙彌在前。沙彌覆復思惟。佛道甚難。久住生死受無量苦。且以小乘早入涅槃。師復以衣鉢囊還與沙彌令擔語在後行。如是至三。沙彌白師。師年老耄狀如小兒。師即答言。汝初發心作佛是心貴重位是我師。諸辟支佛尚應供養。何況羅漢。是故推汝在前。汝心還悔欲取小乘。而未便得。去我懸遠。是故令汝在後。沙彌驚悟即住大乘(出大智度論第七十八卷)。

三小兒施佛二發小心一發大心十九

過去無數劫有佛。號一切度。與其眷屬俱行分衛。有三尊者子嚴服共戲。見佛及諸菩薩光明巍巍。手相指示。而吾等當共供養。二兒答言。既無花香當用何物。其一兒脫頭上白珠以著手中。便謂二兒可以供佛。二兒効之解頭上白珠著其手中。即至佛所。一兒復問二兒。持是功德以何求索。其一兒言。願如佛右面尊比丘。其一兒言。願如左面神足比丘。共問一兒。報言。我欲如佛。八千天子皆言善哉。若如所言天上天

下一切蒙恩。是三小兒已到佛前。各以白珠而散佛上。二兒發聲聞意者。珠在佛肩上。其一兒發菩提心者。珠在佛頭上。化為珠花交露之帳其中有佛。佛告舍利弗中央兒者則我身是。右面之兒舍利弗是。左面之兒目連是。舍利弗汝等本畏生死故。不發菩薩心欲疾泥洹。觀此一兒發阿耨多羅三藐三菩提心者(出阿闍世王經卷上)。

幼年為鬼欲所迷二十

昔者菩薩。時為凡人。年始十六。志學弘深達眾經典。喟然歎曰。唯有佛經最真最妙。吾當懷其真處其自安矣。親欲為納妻。悵然而曰。妖禍之盛莫大乎色。若妖蠱一臻道德喪失。吾不遁邁將為狼吞乎。於是遂之異國。力賃自供。時有田翁老而無嗣。草行獲一女焉。顏華絕國欣育為嗣。採男為偶一國無可翁者焉。曰。童子吾居有足以女妻爾為吾嗣矣。女有神德惑菩薩心。納之無幾。即自覺曰。吾覩諸佛明化。以色為火。人為飛蛾。蛾貪火色。身見燒煮。斯翁以色火。燒吾躬。財餌鉤吾口。家[病-丙+歲]喪吾德矣。夜默道邁行百餘里。依空亭宿。亭人曰。子何人乎。曰吾欲寄宿耳。入覩床蓐。先自有婦人焉。顏似己妻。惑菩薩心與之共居。復積五年。明心覺焉曰。婬為蠣蟲殘危身命。默而疾邁。又覩婦人與居十年。又明覺曰。吾殃重矣。奔而不免。深自誓曰。終不寄宿。又復遁逃。遙覩大屋避之草行。守門者曰。何人夜行。答曰。趣前聚落。又曰。有禁內人呼前所覩。如上婦曰。自無數劫誓為室家爾走安之。菩薩念曰。欲根難拔乃如之乎。即興四非常之念。滅三界諸[病-丙+歲]。何但餘垢而不殄乎。鬼妻即滅。便覩諸佛處其前立。說無想之定授沙門戒為無勝師菩薩普度無極(出度無極集第八卷)。

經律異相卷第八

經律異相卷第九(外化菩薩部第二)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 文殊變金光首女令成醜壞一
- 文殊現身諸剎取鉢弘教二
- 普賢誓護五種法師三
- 淨精進化功德財久忍眾苦四
- 樹提摩納手出龍象五
- 普施求珠降伏海神以濟窮乏六
- 重勝王與女人一處為阿難所譏七
- 大薩他婆渡海船壞殺身濟眾八
- 端坐山中鳥[孑*(焉-正+?)]頂上子未能飛終不捨去九
- 入海採珠以濟貧苦十
- 坐海以救估客十一
- 從地踊出現長舌相十二
- 牧牛小兒善說般若義弘廣大乘十三

文殊變金光首女令成醜壞一

上金光首與長者子畏聞。俱在遊觀園散花燒香莊嚴伎樂。時彼女人觀長者子意以為足。文殊師利(舊法云濡首)化此女身應時終亡。顏色變惡。眼耳鼻口膿血流出。身體[病-丙+(絳-糸)]爛不可復視。青蠅飛來周匝共食。時長者子見此女身變壞如是。怖懅不安欲求自歸濟脫是患。當從何所而免斯苦。時文殊師利童真威神。令園樹木自然出讚。時長者子聞樹讚頌。歡喜踊躍善心即生。以衣裓盛女人死屍棄叢樹間而捨之去。於是世尊欲以開化彼長者子。從身放光其明普照摩竭國界。長者子見如來威神巍巍。心生歡喜。其天帝釋則在前立。見長者子而歎之曰。年少善緣。獲得福利。乃能見佛。時彼年少聞此勸讚。即與天帝俱詣佛所。帝釋天意。華用與年少言。可取此華散如來上。散已稽首佛足前住白言。今自歸佛及法聖眾。有放逸女上金光首。實與戲樂詣遊觀園。則於今日顏貌變惡即時壽終。捨諸一切宗室眷屬。發大恐懼。將無國王推問之耶。佛言且止。時上金光首。見長者子以蒙開化。隨從律教。即與伎樂往詣佛所。稽首佛足退住一面。時文殊師利謂長者子曰。為識此姊不。答云。已知之矣。又問。云何知乎。於是長者子報文殊師利。而說頌曰。色者如聚沫。痛痒泡起頃。幻想如野馬。吾曉知如是。佛告阿難。文殊師利乃往古世勸化此女使發道意。吾本前世而勸化之使發道意。上金光首過九十二百千劫。當得作佛。號寶光明。長者子當為菩薩。名德光耀。其復作佛。未滅度時。授德光燿菩薩之決。乃般泥洹號曰持燄(出大淨法門經)。

文殊現身諸剎取鉢弘教二

有二百天子發菩薩心。而未堅固皆欲墮落。各自念言佛法難得。我等今定不學菩薩。不如取羅漢辟支佛而般泥洹。佛知是人可成菩薩。而意中退。佛便化作一迦羅越。持百味飯滿鉢到佛前。而便作禮以鉢上佛。佛即受鉢。文殊師利白言。世尊。當故報恩。舍利弗疑即便問佛。佛即以鉢捨地。其鉢便下沒過諸剎。直過七十二恒沙等剎土。名曰漚呵沙。其佛號曰光明王。今現在世。其鉢於彼佛剎住止空中亦無持者。鉢所過諸佛剎。其佛侍者皆問於佛。佛答上方有佛號釋迦文。鉢從彼來。救護墮退菩薩意耳。佛語舍利弗。行求鉢來。舍利弗即承佛威神。自以慧力以萬三昧過萬佛剎都不見鉢。從三昧起還白佛言。求之不見。復遣目連亦復不見。須菩提等五百尊者悉不能見。彌勒菩薩又不能見。令文殊師利求鉢。文殊師利不起于坐即入三昧。以其右手指地下。行過諸佛剎莫不聞知。所過剎土皆為震動。凡諸剎土皆見文殊。過七十二恒河沙。其臂上毛一一毛間有億百千光明億百千蓮華。一蓮華上有坐菩薩。悉歎釋迦文佛功德聲聞菩薩及以佛土。時釋迦文放足下光明。照下方過七十二恒河沙等剎。見其光明悉得摩仳低三昧。文殊師利以右手取鉢。與無央數菩薩俱來。鉢在手中作禮授鉢。佛謂舍利弗。今為汝說過去劫事。往昔有佛。號勇莫能勝。有比丘僧。名曰慧王。持鉢入惟致國中分衛。得百味飯。爾時有尊者子名離垢王。為乳母所抱。在城門上。其兒遙見比丘。而從抱下便往趣之。求其飲食。比丘即以蜜餅授之。其兒則食知味甘美。隨比丘行不顧乳母。便隨至勇莫能勝佛所。為佛作禮而坐一面。比丘以所持鉢食與是小兒令其上佛。兒便授佛。佛食隨滿。以是遍八萬四千比丘及菩薩萬二千人。各各皆飽。其兒所持食猶無減損。佛以威神令兒歡喜。因從比丘受五戒法發菩提心。兒父母求子為佛作禮。子白父言。我今已得入菩薩法。願作沙門。父母即聽。吾等亦為發心從汝。佛言。慧王比丘文殊師利是。其時兒者我身是也。如我身等不可稱數。阿僧祇剎土諸佛。悉為文殊師利之所發動。我等悉蒙文殊師利之恩。其二百天子即時自念。釋迦文佛為文殊師利之所發意自致成佛。我等何為懈怠。用是念故其心則堅(出阿闍世王經上卷)。

普賢誓護五種法師三

普賢菩薩。以自在神通威德名聞。與大菩薩不可稱數從東方來。所經諸國普皆震動。雨寶蓮華作眾伎樂。又與無數八部鬼神等大眾圍繞。禮釋迦牟尼佛。白佛言。我於寶威德上王佛國。遙聞此娑婆世界說法華經共來聽受。唯願世尊當為說之。佛告普賢。若有善男子女人。成就四法。於如來滅後當得是法華經。普賢菩薩言。若有行立懃誦此經思惟此經。若人於此經有所忘失一句一偈。大菩薩眾俱詣其所。而自現身供養守護安慰其心。亦為供養法華經故還令通利。見者歡喜轉復精進。以見我故即得三昧及陀羅尼。若後惡世中四眾來求索者。受持者。讀誦者。書寫者。欲修習是法華經。於三七日中應一心精進。滿三七日亦當現其人前而為說法(出妙法蓮華經第七卷)。

淨精進化功德財久忍眾苦四

過去劫時佛號廣光明(菩薩行經云離垢光)國王之子名財功德(菩薩行經云業首)時年十六。自恃端政而生憍慢。初不向佛恭敬禮拜。佛即行籌誰能教化。八萬四千菩薩無受籌者。有一菩薩名淨精進。言。我能。即時大千六反震動。便往王門立。王子見之惡言訾毀。以土坌面。刀杖瓦石而加其身。菩薩爾時不瞋不去心不疲厭。經一千年受如是苦。過二萬歲乃得至彼第二門下。八萬四千年七日未滿方得至其第七門下。爾時王子見是菩薩便作是言。道士今來何所求索。即於菩薩生不思議心。云何是人。終經爾時多受眾苦。而心不厭。爾時菩薩知王子心已自調伏。即便說偈令往詣佛。爾時王子即捨王位。在佛法中出家聽法如法而住得無生忍。爾時淨精進者我身是也。財功德者即彌勒是(出大集經第二十六卷又出調伏王子道心經菩薩行經大同)。

樹提摩納手出龍象五

樹提摩納。在寶藏佛前。右膝著地長跪叉手。前白佛言。世尊。我今發無上菩提心成就善根。於三乘法若我所顧得己利者。令我兩手自然而出白色龍象。佛神力故其兩手中即出龍象。其色純白七處到地。見是事已告言。龍象汝等。今者可昇虛空去此。不遠遍雨此界八德香水。覺悟此界一切眾生。若有眾生得遇一滴。聞其香氣悉斷五蓋。所謂婬欲瞋恚睡眠掉戲疑。是時龍象在虛空中。周遊速疾猶如力士善射放箭。是二龍象所作諸事悉成就已。復還來至摩納前住。時樹提見之心大歡喜(出樹提摩納發菩提誓願經)。

普施求珠降伏海神以濟窮乏六

昔者菩薩從四姓生。墮地即曰。眾生萬禍吾當濟之。無明無法吾當除其盲聾令之聞見眾聖明範。九親驚曰。未聞孩幼而能言。斯將非天龍鬼神之靈乎。當卜之焉。答曰。吾為上聖之所化。懷普明之智。非彼眾妖慎無疑矣。言畢即默。親曰。兒有乾坤弘潤之志。將非凡夫乎。名曰普施。年至十歲。佛諸典籍流俗眾術靡不貫綜。辭親濟眾布施貧乏。親曰。吾有最富之上名也。爾可恣意。對曰。不足乞作沙門。垂賚法服應器錫杖以斯濟眾。父母聽之。周旋教化經一大國。國有豪姓亦明眾書。覩其儀容普施心性恢怕淨若天金。有上聖之表。將為世雄。謂普施曰。吾有陋女願給箕帚。答口。大善。須吾還也。即附載度海上岸入山。到無人處遙覩銀城。宮有毒蛇繞城七匝。體大百圍舉首相看。普施念曰。斯有害心吾當興慈。蛇毒即滅垂首而眠。登首入城。城中天神覩之。欣豫曰。久服聖德今來翔茲。誠吾心願。留三旬。普施以事委付近臣。身受供饌。時供養畢以明月真珠一枚送之。珠明四万里。志願若發眾寶滿足。若後得佛願為弟子。普施曰可。即復前行。覩黃金城毒蛇圍城十有四匝。巨軀倍前舉首數丈。普施復入慈定蛇即垂首。登之入城。中有天

人相見歡喜曰。久服靈耀翔茲甚善。願留百八十日。吾所供養。過是辭退。天人復以神珠一枚送之。明耀二十萬里。志之所願眾寶滿中。若子得道願為弟子神足無上。即復前進覩琉璃城。又有毒蛇軀以繞城二十一匝。仰首瞋目當彼城門。復生慈定誓濟眾生。毒歇垂首登之入城。天人欣喜如前。請留三時。願供所志期竟辭退。又送神珠明耀百六十萬里。珠之所在眾寶尋從。滿其明內在志所欲無求不獲。子得正覺願為弟子有最明之智。曰必獲爾願。普施得珠反其舊居。海諸神僉會議曰。吾等巨海唯斯三珠為吾榮華。道士悉得。吾等寧當都亡諸寶不失斯珠。海神化為凡人。當普施前曰。吾聞仁者獲世上寶。可得觀乎。即以示之。神搏手奪取。普施曰。吾歷險跨海乃獲斯寶欲濟困乏。反為斯神所見奪乎。曰爾還吾珠不者吾竭爾海。神曰。巨海深廣孰能盡之。天勸作風。普施曰。吾於錠光佛前。願得道力反覆眾海。指擢須彌震天地移諸剎。佛從吾志。吾今得之矣。今爾鬼物絲髮之力。焉能遏吾正真之勢乎。即併兩足摽漾海水投鐵圍外。遍淨天曰。吾昔於錠光佛前聞其志願。必為世尊度吾等眾生。即下助其漾水十分去八。海神怖曰。斯水盡矣。吾居壞也。即還其珠。尋路布施。所過之國無復貧民。處處諸王無不改操。以五戒十善為國政法。開獄大赦。潤逮眾生遂至得佛。普施我身是。父者即白淨王是。母者即吾母舍妙是。時道士女今裘夷是。時銀城中天者今阿難是。金城天者目連是。琉璃城天者舍利弗是(出度無極集第一卷又出賢愚經)。

重勝王與女人一處為阿難所譏七

阿難白佛。憶念我昔入舍衛城。見重勝王菩薩與女人同床。我謂犯穢心用惟慮得無異人。學梵行者於如來教將無造見聞想念。發斯語時三千大千世界六反振動。時重勝王菩薩即自踊身住於空中。去地四丈九尺。報阿難曰。犯禁穢者寧能踊身止虛空乎。在如來前。阿難投身即自悔過。如何偏見求大龍短。佛告阿難。彼女人者。乃往過去世為重勝王百生之偶。宿情未拔貪重勝顏。口發誓言。重勝王若與我願得遂所娛當從其教。時重勝王心知其念。晨朝正服入之其室。即時頌曰。

我愚悖於欲　諸佛所不歎　能蠲恩愛者　得佛人中上

時女喜躍。即從坐起自投于地。歸命自責伏罪悔過。為重勝王而歎頌曰。

吾已離諸欲　世尊之所歎　節止恩愛著　願佛無上道　前心之所想
今自首悔過　傷愍諸群生　究竟發道意

爾時重勝王授彼女訣。轉此女身後九十九劫當得作佛。號離無數百千所受如來(出慧上菩薩經上卷)。

大薩他婆渡海船壞殺身濟眾八

釋迦牟尼佛為菩薩時。名大薩他婆。當渡大海惡風壞船。語眾賈人捉我頭髮手足當渡汝等。人人捉已以刀自殺。大海水法不停死屍。即時疾風吹至岸邊(出大智論第四卷)。

菩薩端坐山中鳥孺頂上子未能飛不捨去九

菩薩在山。慈心端坐思惟不動。鳥孺頂上覺鳥在頂。懼卵墜落身不移搖。捨身而行彼處不動及鳥生翅。但未能飛終不捨去。如是自知便說此偈。

若能辦此事　於天人中天　能不觸嬈彼　此德無有上　是故彼世尊
最為第一神　故在道場處　功德皆備具

(出僧伽羅刹經上卷)。

入海採珠以濟貧苦十

吾從無數劫以來精進求道。初無懈息自致得佛。超越九劫出彌勒前。我念過去時國人貧窮生怜愍心。乃欲入海求如意珠。眾人大會望風舉帆。詣海龍王從求頭上如意之珠。龍王聞其欲濟窮士即以珠與。時諸賈客各各採寶悉皆具足乘船來還。海中諸龍及諸神鬼悉共議言。此如意珠海中上寶。非世俗人所當獲者。云何損海益閻浮利。誠可惜之。當作方計還奪其珠不可失之。時諸龍鬼晝夜圍繞欲奪其珠。導師德尊如意珠力不能奪之。度海既畢。菩薩踊躍住於海邊。低頭下手呪願海神。以珠繫頸。時海龍神因緣得便使珠墮海。導師感激吾行入海。乘船涉難勤苦無量乃得此寶。當救眾乏。於今海神反令墮海。勑邊侍人捉持器來。吾卷海水令至底泥。不得珠者終不休懈。即便卷水不惜壽命。水自然趣悉入器中。諸海龍神見之懷懼。此人威勢精進之力。誠非世有。水不久竭。即持珠來辭謝還之。吾等即爾相試不圖精進力勢如是。天上天下無能勝君。導師獲寶齎還國中。使雨七寶以供天下莫不安隱。時導師者則我身是(出生經第一卷)。

坐海以救估客十一

昔者菩薩與五百商人入海採寶。入海數月獲寶重載。將旋本土道逢飄風。雷電振地水神雲集。四周若城眼中出火波涌灌山。眾人啼曰。吾等死矣。恐怖易色仰天求哀。菩薩愴然心生計曰。吾之求佛但為眾生耳。海神所惡死屍。為其危命濟眾。斯乃開士之尚業矣。

吾不以身血注海。惡海神之意者船人終不被于岸。謂眾人曰。爾等屬手相持并援吾身。眾人承命。菩薩即引刀自害。海神德焉漂舟上岸。眾人

普濟。船人抱屍號哭曰。斯必菩薩非凡之徒也。蹙踊呼天。寧令吾等命殞于茲。無喪上德之士矣。其言真誠上感諸天。天帝釋覩菩薩之弘慈。帝釋下曰。斯至德菩薩將為聖雄。今自活之。以天神藥灌其口中。并通塗屍。菩薩即蘇忽起坐與眾相勞。帝釋以名寶滿其舟中。千倍于前。即還本土九親相見靡不歡悅。賙窮濟乏惠逮眾生。顯宣佛經開化愚冥。其國王服菩薩德詣稟清化。君仁臣忠率土持戒家有孝子。國豐毒歇黎庶歡欣。終生天上長離眾苦。菩薩累劫精進不休遂至得佛。殺身濟眾者吾身是也。天帝釋者彌勒是也。五百商人者今坐中五百應真是也(出殺身濟賈人經又出度無極集)。

從地踊出現長舌相十二

時千世界微塵等菩薩摩訶薩。從地踊出一心合掌仰瞻尊顏。而白佛言。我等於佛滅後。世尊分身所在國土滅度之處當廣說此經。我等亦自欲得是真淨大法受持讀誦解說書寫而供養之。爾時世尊於文殊師利等無量百千萬億舊住娑婆世界菩薩及諸聲聞人非人等一切眾前。出廣長舌上至梵世。一切毛孔放無量色光。皆悉遍照十方世界。眾寶樹下師子坐上諸佛亦復如是(出法華經第六卷)。

牧牛小兒善說般若義弘廣大乘十三

昔有比丘精進持戒初不毀犯。住在精舍。所可諷誦是般若波羅蜜。有聞此比丘音聲莫不歡喜。有一小兒始年七歲城外牧牛。遙聞比丘誦說經聲。尋聲詣寺聽聞即解。貌大歡喜便問比丘。答不可意。小兒反說其義甚妙昔所希聞。比丘聞之歎此小兒。乃有智慧非是凡人。時兒即去還至牛所。所牧牛犢散走入山。兒尋其迹值虎被害。生長者家第一夫人作子。夫人懷妊口便能說般若波羅蜜。從朝至暮初不應息。其長者家素不奉法。怪此夫人謂口妄語謂呼鬼病。卜問譴崇無能知者。家中內外皆悉憂惶。是時比丘入城分衛詣長者門。遙聞經聲心甚喜悅。即問長者內中誰說深經音聲微妙。長者報言。婦得鬼病。晝夜妄語口初不息。比丘報言。此非鬼病。但說深經甚有義理。疑此夫人所懷妊兒是佛弟子。長者意解。即留比丘與作飲食。日月滿足乃產一男。又無惡露。其兒適生叉手長跪說般若波羅蜜。夫人產已還復如本。如夢寤已了無所識。長者集僧覩兒說經初無質礙。是時眾僧各各一心觀此小兒。長者問言。此為何等。比丘答曰。真佛弟子。慎莫驚疑。好養育之。此兒後大當為一切眾人作師。吾等悉當從其啟受。至七歲悉知微妙。與眾超絕智度無極。諸比丘等皆從受學。經中誤脫有所短少。皆為刪定足其所乏。兒每出入有所至止。輒開化人使發大乘。長者家室內外大小五百人眾。皆從兒學發大乘意悉行佛事。兒所教授城郭市里。凡所開發無上道意者八萬四千。承受弟子者五百人。諸比丘聞之意解志求大乘皆得法眼淨。佛告阿難。是時小兒者吾身是也。時比丘者迦葉佛是也(出小兒聞法即解經)。

經律異相卷第九

經律異相卷第十(隨機現身上菩薩部第三)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 能仁為帝釋身度先友人一
- 能仁為婬女身轉身作國王捨飴鳥獸二
- 釋迦為薩婆達王割肉貿鷹三
- 文殊為少年身化金首女四
- 一切妙見為盲父母子遇王獵所射五
- 曠野等為殊形化諸異類六
- 婆藪為仙人身度六百二十萬估客七
- 為轉輪王身發願布施八
- 為國王身以眼施病人九
- 為國王身治梵志罪十
- 為國王身捨國城妻子十一
- 為國王身化濟危厄十二
- 為蓮花太子身以髓施病人十三
- 為王太子身出血施病人十四

能仁為帝釋身度先友人一

菩薩為天帝釋。志存苦空非身之相。坐則思惟。遊則教化。愍愚愛智精進無休。覩其宿友受婦人身。為富姓妻惑乎財色。不覺無常居市坐肆。帝釋化為。商人婦人要坐。商人熟視而笑。婦乃怪之。側有一兒播鞀躍戲。商人復笑。有人父病子以牛祠。商人亦笑。有一婦人抱兒。兒刮母頰血流交頸。商人復笑。是富姓妻問曰。君住吾前含笑不止。屬吾搏兒何以見笑。商人答曰。卿吾良友今相忘乎。婦人悵然意益不悅。怪商人言。商人又曰。吾所以笑搏兒者。兒是卿先父。魂神今為卿作子。一世之間有父不識何況長久乎。播鞀兒者生本是牛。牛死還為主作子。家以牛皮用貫此鞀。兒今播打不識故體。用牛祭者父病請愈。猶服鴆毒以救疾也。父終為牛累世屠戮。今此祭牛還受人體。刮母而兒。兒本小妻。母是嫡妻。女情妬嫉常加酷暴。妾含怨恨。妻終為嫡妻子。擢面傷體故不敢怨。夫心無恒。昔憎今愛何常之有。一世不知豈況累劫。經曰。以色自壅盲於大道。專邪聲者不聞佛音。吾是以笑之耳。世榮若電恍惚即滅。當覺非常莫與愚並。崇德六度。吾今反居後日必造子門。言竟不現。婦悵而歸。齋心敬望。後果在門。狀醜衣弊。曰吾友在內。爾呼之來。門人入告具以狀言。婦人出曰。爾非吾友。釋笑而云。變形易服子尚不識。豈況異世。重曰。爾勤奉佛。佛時難值。高行比丘難得供養。命在呼吸無墮世惑。言畢不現。舉國歡歎。各執六度高妙之行。佛告秋露子。婦人彌勒是也。天帝釋吾身是也(出彌勒為女身經)。

能仁為婬女身轉身作國王捨飴鳥獸二

過去世時優波羅越國。五穀豐熟人民眾多。國中有王名波羅。先時有婬女容色姝麗。遇往他舍值其生男欲噉其子。婬女問之。報言我飢。婬女言。且待我為汝覓食。答言。飢急。卿未出門我當餓死。那能待卿。婬女念言。若持兒去母便餓死。若置便噉要令俱濟。婬女自割兩乳與之令噉。其母便食。婬女問言。卿為飽未。報言已飽。婬女還家。有一男子至婬女舍。見之便言。誰割汝乳。便有悲意不復起欲。男子問言。姊當為我現此至誠。婬女言。實誠至者令乳平復。應時兩乳平復如故。釋提桓因見此婬女布施之福。恐奪其座。作婆羅門往至其家。婬女便以金鉢盛飯與婆羅門。時婆羅門却不肯受。女問道人何為不受。報言。我不用食。聞汝布施乳為審爾不。報言實然。婆羅門言。汝持乳施意寧悔不。女曰。若我至誠持乳布施意無異者。令我轉身得作男子。言竟即轉。時優波羅越王。治國已五十歲。壽盡終亡。傍臣左右聞婬女人轉身作男。念言。正當立之作王。便共請立。既立之後好喜布施。隨其所須皆給與之。教一天下持八關齋。如是國治人民歡樂壽算延長。王乃念言。我雖布施未以身施。以身施者爾乃為難。時王即以蘇香塗身。便入空山臥巖石上。是諸百鳥皆來生噉。命過之後生婆羅門家。端正妍好。至年長大竊出向市。觀見販賣貧窮乞者即悲哀之言。此人民若使富樂則不販賣。馳白父母乞為沙門。父母不許。便不食五日。諸親知來咸相曉諫。童子不應。諸親喻其父母勸聽學道。父母相看悲泣聽之。子供養父母六七日中。又復圍繞三匝作禮便去。至叢樹間見兩道人。得五神通露坐念道。為人民故作勤苦行。童子即便坐叢樹下。禪思苦行即得五通。精進勇猛踰二道人。諸道人法樹果自墮乃取食之不從樹摘。道人共行求諸果蓏。見妊身虎。童子道人語兩道人。虎今不久當產。飢餓經日恐自噉子。誰能持身食之。彌勒言曰。我當持身食之。採果適還見虎已產。甚大飢餓欲食其子。童子道人語兩道人。虎已產乳飢欲噉子。誰能持身救其飢苦共至虎所。虎開目張口向兩道人。道人畏懼便飛虛空。其一人言。卿之至誠為如是耶。屬身食虎今何故飛。其一道人哀之淚出。左右顧視並無所有。童子道人即取利刀刺臂流血。如是七處血入虎口因以飲之自投虎前以身食虎。佛語阿難。欲知爾時婬女及立為王并婆羅門子投身餧虎悉是我身。時道人者是迦葉彌勒二菩薩也。我懃精進六十劫中以身布施。超越九劫出彌勒前得成為佛(出前世三轉經)。

釋迦為薩婆達王身割肉貿鷹三

昔者釋迦菩薩為大國王。號薩婆達。普施眾生恣其所索愍濟厄難。天神鬼龍僉然而曰。天帝位尊初無常人。識其行高慈慧福隆。死則為之。懼王奪其天位往而試之以照真偽。帝釋現之命邊王曰。今彼人王慈潤滂沛福德巍巍。恐其志求奪吾帝位。即化為鷹。邊王作鴿。鴿趣王足下恐怖而云。大王哀哉吾命窮矣。王曰。莫恐吾今活汝。鷹尋後至云。吾鴿向來。鴿是吾食願王相還。王曰。鴿來活命終始無違。爾苟欲得肉令重百倍。鷹曰。唯願得鴿不用餘肉。王曰。以何物令爾置鴿歡喜去耶。鷹

曰。若王慈惠必愍眾生者割王肌肉而以易鴿吾當欣受。王乃大喜。自割髀肉對鴿稱之令與鴿等。鴿逾自重割身肉盡。故未能敵瘡痛無量。王以慈忍又命近臣曰。爾殺我稱髓令與鴿等。吾奉佛重誡濟眾危厄。雖有眾惱猶如微風焉能動太山乎。鷹照王懷各復本身。稽首于地曰。大王欲何志尚惱苦若茲。曰吾不志天帝釋及飛行皇帝。吾觀眾生沒于盲冥不覩三尊。恣行凶禍投身無擇之獄。為之惻愴。誓願求佛。拔濟眾生令得泥洹。天帝驚曰。愚謂大王欲奪吾位。是以相擾將何可悔。王曰。使吾身瘡瘳復如舊志常布施。帝釋使天醫神藥傅之。瘡痍即愈色力踰前。帝釋稽首繞王三匝歡喜而去(出度無極集第一卷)。

文殊為年少身化上金光首女四

佛遊王舍城。有逸女人。名曰上金光首。端正姝妙紫磨金色。國王太子大臣長者等興愛染心隨其所遊便就從之。男女大小悉追其後。時上金光首在於異日。與畏聞長者子至市買物。以相貢上供辦美食共至觀園。文殊師利於時從燕室出。發大慈愍傷於群生。何所人者可以勸化令發大乘。見上金光首。與畏聞長者子共載一乘行詣觀園應可化之。文殊師利尋時變身化為少年。端正絕妙顏貌踰天見者喜悅。其所被服照四十里。觀察逸女所遊之路而於前立。其長者子及上金光首車馬被服。比於文殊師利。猶如聚墨在明珠邊。上金光首見文殊師利顏貌英妙猶如天子。身體之明煒煒難及。貪其被服光耀。心自念言。今欲捨此長者之子。下車棄去與斯相娛。得是衣服。這念此已。文殊師利建立威神令息意。天王化作男子。謂彼女曰。且止且止。用為發是遊逸之心。所以者何。如斯人者不志色欲。女曰何故。天王報言。是人者名為文殊師利菩薩。皆能充足一切人願。見眾生心有所求索不逆人意。女心念言。如今所聞必當施我妙好之服。下車白言。仁者。願以此衣而見惠施。文殊師利答曰。大姊。若能發無上正真道意。吾乃以衣相惠。女言唯然。即發無上道心奉持五戒(出大淨法門品經)。

一切妙見為盲父母子遇王獵所射五

過去世時。迦夷國中有一長者。無有兒子。夫妻喪明。心願入山求無上決。修清淨志信樂空閑。時有菩薩名一切妙見。心作念言。此人發意微妙眼無所見。若入山者必遇拄害。菩薩壽終願生長者家名之為睒。至孝仁慈奉行十善。晝夜精進奉事父母。如人事天。年過十歲。睒長跪白父母。本發大意欲入深山。求志空寂無上正真。豈以子故而絕本願。人在世間無常百變。命非金石對至無期。願如本意宜及上時入山清淨。我自供養不失時節。父母便即入山。睒以家中財物皆施國中諸貧窮者。便與父母俱共入山。睒至山中以蒲為屋施作床蓐不寒不熱恒得其宜。入山一年眾果豐美食之香甘。泉水踊出清而且涼。池中蓮華五色清明。栴檀雜樹芬芳倍常。異類眾鳥作音樂聲。師子熊羆虎狼毒狩。慈心相向無復害意。食草噉菓不生恐懼。睒至孝慈蹈地恐痛。天神山神常作人形晝夜慰

勞。睒著鹿皮衣提瓶取水。麋鹿眾鳥亦復往飲不相畏難。時有迦夷國王入山射獵。王見水邊有群鳥鹿引弓射之。箭誤中睒胸。睒被毒箭。舉聲便大呼言。誰持一箭射殺三道人。王聞人聲即便下馬往到睒前。睒謂王言。象坐牙死。犀坐角亡。翠為毛死。麋鹿為皮肉死。我今正坐何等死耶。王問睒言。卿是何等人。披鹿皮衣與禽狩無異。睒言。我是王國人。與盲父母俱來學道二十餘年。未曾為虎狼毒蟲所見枉害。今我更為王所射殺。登爾之時山中暴風切起吹折樹木。百鳥悲鳴師子熊羆走狩之輩皆大號呼。日無精光流泉為竭。眾華萎死雷電動地。時盲父母驚起相謂。睒行取水經久不還。將無為毒虫所害。[狂-王+禽]狩飛鳥音聲號呼不如常時。四面風起樹木摧折。必有災異。王時怖懼大自悔責。我所作無狀。我本射鹿。箭誤相中射殺道人其罪甚重。坐貪小肉而受重殃。我今一國珍寶庫藏之物。宮殿伎女丘郭城邑以救子命。時王便前以手挽拔睒胸箭。深不可得出。飛鳥走狩四面雲集號呼動山。王益惶怖。三百六十節節節皆動。睒語王言。非王之過自我宿罪所致。我不惜身命。但憐。我盲父母既年衰老兩目復盲。一旦無我亦當終沒無瞻視者。以是之故用自懊惱。非為毒痛耳。王復重言。我寧入泥梨百劫受罪使睒得活。長跪向睒悔過。若子命終我當不復還國便住山中供養卿父母如卿在時勿以為念。諸天龍神皆當證知不負此誓。睒聞王誓言。雖被毒箭心喜意悅雖死不恨。以我父母仰累大王。供養道人現世罪滅得福無量。王言。卿語我父母處及卿未死語使知之。睒即指示。從此步往去此不遠。自當見一草屋。我父母在其中止。王徐徐往勿令我父母怖懅。以善權方便解悟其意。為我上謝父母。無常今至當就後世。不惜我命但念父母年老兩目復盲。一且無我無所依仰。以是懊儂用自酷毒。死自常分宿罪所致無得脫者。今自懺悔於父母。從無數劫以來所行眾惡。於此罪滅福生。願我與父母世世相值不相遠離。願父母終保年壽勿有憂患。天龍鬼神常隨護助災。害消滅。王便將數人往詣父母許。王去之後。睒便奄絕。鳥狩號呼繞睒屍上。以口舐睒胸血。盲父母聞此聲益以增怖。王行既疾觸動草木肅有人聲。父母驚言。此是何人非我子行。王言我是迦夷國王。聞道人在山中學道故來供養。父母言。大王來善。勞屈威尊遠臨草野。王體中安隱不。宮殿夫人太子官屬國民皆安善不。風雨和調五穀豐足隣國不相侵害不。王答道人言。蒙道人恩皆自平安。王問訊盲父母。來在山中勞心勤苦。樹木之間飛鳥走狩無有侵害道人者不。山中寒暑隨時現世安隱不。盲父母言。蒙大王厚恩常自安隱。我有孝子名睒。常與我取果蓏泉水恒自豐饒。山中風雨和調無所乏短。我有草蓆可坐果蓏可食。睒行取水且欲來還。王聞傷心淚出。且言。我罪惡無狀入山射獵。見水邊群鹿引弓射之。箭誤中睒故來相語。父母聞之舉身自撲如大山崩地乃為動。王便自前扶牽。父母號哭仰天自說。我子孝慈蹈地恐痛。有何等罪而射殺之。向者風起樹木百鳥悲鳴。疑我子死。父母啼號。父言。且止。人生必死不可得却。今且問王。射睒何許今為死活。王說睒言父母感絕。我一旦無子俱亦當死。願王牽我二人往臨屍上。王即牽盲父母往到屍上。父抱其脚母抱其頭仰天大呼。母便以舌舐睒胸創。願毒入我口。我年已老。目無所見。以身代子。睒活我死。死不恨也。睒若至孝

天地所知者。箭當拔出毒藥當除睒當更生。於是第二忉利天王坐即為動。以天眼見二道人抱子號哭。乃聞第四兜術天。諸天宮皆動。釋梵四天王即從第四天王。如人屈申臂頃來下睒前。以神藥灌睒口中。藥入睒口箭自拔出便活如故。父母驚愓。見睒已死更活兩目皆開。飛鳥禽狩皆大歡喜。風息雲消日為重光。泉水涌出眾華五色樹木華榮倍於常時。王大歡喜不能自勝。禮天帝釋還禮父母及與子睒。願以國財以上道人。睒曰。王欲報恩者。王且還安慰人民皆令奉戒。王勿復射獵夭傷虫狩。現世身不安隱壽盡當入泥梨中。人居世間恩愛暫有。別離久長不可常保。王宿有功德今得為王。莫以得自在故而自放恣。王自悔責。從今已後當如睒教。從者數百皆大踊躍奉持五戒。王還令國中諸有盲父母如睒比者。皆當供養不得捐捨。犯者今加重罪。於是國中人民以睒活故。上下相教奉修五戒十善者。死得生天無入三惡道者。佛告阿難。宿命睒者我身是也。盲父者今父王閱頭檀王是。盲母者王夫人摩耶者是。迦夷國王者阿難是也。時天王釋者彌勒是。使我疾成無上正真道決者。皆是父母供養慈惠之恩。從死得生感動天龍鬼神。父母恩重孝子所致。今得為佛并度國人。皆由孝從德也(出睒經)。

曠野等為殊形化諸異類六

爾時曠野菩薩現為鬼身。散脂菩薩現為鹿身。慧炬菩薩現獼猴身。離愛菩薩現羖羊身。盡漏菩薩現鵝王身。如是五百諸菩薩等。各各現受種種諸身。其身悉出大香光明。一一菩薩手執燈明。為欲供養十方諸佛。爾時疑心菩薩觀五百人。即知悉是菩薩。語曠野鬼。善男子。汝等何故現如是身供養諸佛。曠野鬼言。善男子。往古過去九十一劫有佛世尊。號毘婆尸。我於爾時。與如是等同一父母共為兄弟受持五戒發菩提心。為欲調伏一切眾生。尸棄毘舍浮鳩留孫佛亦皆供養。散脂大士於彼佛前立大誓願。願我來世以鬼神身教化眾生。若有弊惡惡鬼。我當為說三乘而調伏之。然後乃當成菩提道。亦有一萬二千大鬼。於此世界發大誓願調伏眾生。復發大誓願。若有惡鬼欲壞正法。我當治之。是故我受如是鬼身調伏教化令住三乘。若有眾生遠離善法。行身口意不善之業。是身已生三惡道中。或有善惡雜業受鬼身故。惡鬼滋多善鬼尠少。我欲調伏現受是身。亦令剎利婆羅門毘舍首陀遠離惡心。善男子。有金剛椎呪使一切惡鬼於彼四姓不能為惡。乃至鳥獸皆生善心。遠離一切諸惡怖畏。我發大誓欲說是呪(出大集經第二十一卷)。

婆藪為仙人身度六百二十萬估客七

佛昔在於兜率天上。時婆藪仙在閻浮提。與六百二十萬估客常作商主入海採寶。乘於大舶欲還本國。於其中道值摩竭魚及大風波夜叉之難。如是六百二十萬人。即時各許摩醯首羅天。人各一牲。便離四難。還達本國。各辦一羊。欲往天祠。時婆藪默念。我今云何教諸商人作不善事。當設方便。即化作二人。一出家沙門。二在家婆羅門時婆羅門於眾人中

作是唱言。天主與六百二十萬人欲往天祠。爾時沙門於其中路遙見此婆羅門。問言。汝與是大眾欲止何方。在家人言。我往天廟而求大利。沙門答言。吾觀汝等欲得大衰。云何大利。諍訟不止。爾時眾人問婆羅門言。此是何人。形貌如是。婆羅門言。此名沙門。諸人問言。沙門何言。答言。殺生祠天當得大罪。眾人語言。此癡沙門何用是言。速往天祠得大利也。時婆羅門言。我等大師今在天祠無事不達可共請問。皆言善哉。沙門與婆羅門及諸人等到大仙所。爾時沙門問大仙言。殺生祠天當得生天入地獄乎。大仙答言。何癡沙門殺生祠天必墮地獄。婆藪言。不也。沙門言。若不墮者汝當證知。爾時婆藪即時陷身入阿鼻獄。諸人見已嗚呼禍哉有如是事。大仙聰智今已磨滅。況復我等而得不入於地獄耶。爾時眾人各放諸羊退走四方。到諸山中推覓諸仙。既得仙已而受仙法。二十一年各各命終生閻浮提。我於爾時從兜率天下生閻浮提白淨王家。時六百二十萬人生舍衛國得受人身。我於昔時始到舍衛降伏六百二十萬人令其出家發菩提心。即往昔估客是也。善男子。婆藪仙人有如是威神之力。化如是諸人來至我所(出方等陀羅尼經第一卷)。

轉輪王身發願布施八

過去東方閻浮提名盧婆羅菩薩。以願力故生於此中。作轉輪聖王王四天下。號虛空淨。語諸眾生。安住十善及三種乘。於爾時間布施一切無所分別。乞者無量珍寶不足。即問大臣。如是珍寶從何處生。大臣答言。龍王雖有唯供聖王。五濁世厚重煩惱。人壽百歲時必定成阿耨多羅三藐三菩提。作大龍王示現種種寶藏。於選擇諸惡世界。在在處處四天下中。一一天下七反受身。一一身中示現無量百千萬億那由他等珍寶之藏。如是次第周遍十方。五濁惡世時諸天人百千萬億在虛空中雨花讚善稱如心願大眾聞聲。虛空淨王諸天作字號一切施。是時諸人各各從王乞夫人婇女及兒息等。王悉與之。有一乞兒名青光明。授持狗戒從王乞閻浮提。王歡喜與以香水灌頂紹聖王位。又得人民承奉此王。王壽無異。我成佛道當與授記合一生補處。盧志婆羅門從乞兩足。牙婆羅門從索二目。淨堅牢婆羅門從乞二耳。想尼乾子從乞男根。蜜味婆羅門從乞二手。即皆斷挑應時施與。時諸小王及諸大臣皆言。咄哉愚人。如何自割所餘肉揣復何所直。送著曠野虫獸鵰鷲悉來噉食。若我所願得成就者。當令此身作大肉山。飲血噉肉眾生悉來至此隨意飲噉身轉增大。所捨舌根以願力故。願我來世得廣長舌。時我命終在閻浮提。以本願力生作龍王。名曰示現寶藏。即於生夜示現百千億那由他種。種寶藏自。宣令言具諸珍異乃至摩尼珠。隨意用之。具行十善。發無上菩提心。如是七反受身。壽皆七萬七千億那由他百千歲。無量寶藏亦復如是(出當來選擇諸惡世界經)。

為國王身以眼施病人九

佛語賢者阿難。乃往過去時世有王。號日月明。端正姝好威神巍巍。從

宮而出道見盲者。窮困飢餓隨道乞匄。往趣王所。白王言曰。王獨尊貴安隱快樂。我獨貧窮加復眼盲。王見哀之謂於盲者有何等藥得療卿病。盲者答曰。唯得王眼能愈我眼。時王自取兩眼持施盲者。其心清然無一悔意。月明王者即我身是。佛言須彌山尚可知斤兩。我眼布施不可稱計(出彌勒所問本願經)。

為國王身治梵志罪十

昔者菩薩為大國王。歸命三尊具奉十善。兵刃不施無有牢獄。風雨時節穀豐民富。華為小書舉國絕口。六度真化靡人不誦。時有梵志執操清閑靜居山林不豫流俗。夜渴行飲。誤得國人所種蓮華池水。飲畢意寤。詣官自告云其犯盜。唯願大王以法治罪。王曰。斯自然之水不實之物何罪之有。對曰。吾不告而飲。豈非盜乎。願王處之也。王曰國事多故且坐苑中。太子令之深處苑內。王事總猥忘之六日。忽而寤曰。梵志安在乎。疾呼之來。梵志守戒飢渴六日。厥體瘦疵起而蹌地。王覩流淚曰。吾過重矣。皇后笑之。王遣人澡浴具設餚饍自身供養叩頭悔過。自斯生死輪轉無際至臨得佛不食六年。佛告諸比丘。時王者是我身。夫人者俱夷是。太子者羅云是。王忘道士令餓六日受罪六年餓饉裁息。六日之後王身供養。故今六年殃畢道成。俱夷笑之。今懷羅云六年重病大子以梵志深著苑內。故六年處于幽冥(出雀王經)。

為國王身捨國城妻子十一

昔者菩薩為大國王。理民以慈月月巡行。貧乏鰥寡疾療藥糜。每出巡狩命使後車具載所須衣服醫藥。死者葬之。君名被十方。帝釋見其德行懼奪其位思欲壞之。化為老梵志從王乞銀錢一千。王即惠之。曰吾栖窘恐人盜之願以寄王。王曰。吾國無盜重寄即受。又化為梵志。又詣宮門。王即現之。梵志歎曰。大王名布八極德行希有。我生在凡庶欣慕尊榮欲乞斯國。王曰大善。即與妻子輕乘而去。天帝復化為餘梵志。從王乞車。以車馬惠之。與妻子步進依山止宿。有五通道士與王為友。忽憶王德覩之失國靖心禪息。覩天帝釋貪嫉奪國委頓瘦疵。道士以神足忽之王所曰將欲何求勞志若茲曰。吾志所存子已具知。道士即化為一轅之車以送王矣。天化梵志復乞其車。未至彼國由數千里。天復化為前梵志來求索銀錢。王曰。吾以國惠人脫忘子錢。王即以妻子質得錢一千以還梵志。妻本侍質家。女浴脫身珠璣眾寶。天化為鷹抶衣寶去。女云何婦盜錄之繫獄。其兒與質家兒俱臥。天夜殺質家兒死。家取兒付獄。母子被拘。饑饉毀形呼嗟無救。銜泣終日罪成棄市。王賃得銀錢一千。行贖妻子。歷市覩之。即念諸佛自悔過曰。吾宿命要乃致茲乎。靖心入明覩天所為。空中聲曰。何不急殺之。王曰。吾聞帝釋普濟眾生赤心惻愴育過慈母含血之類莫不蒙祐。爾為無惡緣獲帝位。釋懷重毒惡熟罪成。生入太山。天人龍鬼莫不稱善。地主之王即釋妻子之罪。二王相見尋問其原。國無巨細靡不墮淚。地主之王分國而治。故國臣民尋王所在率土奉

迎。二國居民一哀一喜。爾時王者吾身是。妻者裘夷是。王子羅云是。天帝調達是。山中梵志舍利弗是。彼國王者彌勒是(出度無極集第一卷)。

現為國王身化濟危厄十二

佛在舍衛國告諸比丘。昔者菩薩為大國王。名曰普明。慈惠光被十方歌美。民願其休猶孝子之寧親也。隣國有王。名曰阿群。治法以正。力如師子走攫飛鷹。宰人求肉晨奔市索。路覩新屍取之為美味兼畜肉。後日為饌甘不如焉。王責太官。宰人歸誠叩頭首之。王心恧然曰。人肉甘乎。點命宰人以斯為常矣。故曰。夫厚於味者仁道薄。仁道薄者豺狼心興。夫狼狗貪肉味。而賊物命。故天下讐焉。宰人承命默行殺人以供王食。臣民嗷嗷齊心同聲逐焉。王奔入山行伺諸王出。[仁-二+宍]眾取之。猶鷹鸇之颺鸇雀。執九十九王。時普明王出察民苦樂。道逢梵志。曰王勿出也。王曰。作命當出信言難違。遂以出焉。為阿群所獲。王曰。不懼喪身恨毀吾信。阿群曰。何謂。王具說之。道士見已出而有誡言。願一覩之受其重誡。以實施焉。旋死不恨。阿群放之聽其暫還。已見道士施以金錢受即含笑至阿群所。問曰。命危在今何欣且笑。答曰。世尊之言三界希聞。吾今懷之何國命之可惜乎。阿群又曰。願聞尊教。王取授之。阿群驚喜曰。巍巍世尊陳四非常。夫不聞覩所謂悖狂。即解百王各令還國。阿群悔過自新依樹為居日存四偈。命終神遷為王大子。納妻不男王重憂矣。因募國女化之令男。後遂泆盪不從貞道。王磔著四衢。命行人曰。以指琢首苟辱之矣。適九十九人而太子薨。魂靈變化輪轉無已。值佛在世生舍衛國。早喪其考獨與母居事梵志道。性篤言信勇力蹙象。師愛友敬遐爾稱賢。師每周遊輒委以居。師妻懷孽前援其手婬辭誘之。阿群辭曰。凡世耆人。男吾父焉。女吾母焉。豈況師妻乎。燒身可從敢亂斯命矣。師妻惡然如道退思其變。婿謂婦曰。子歎彼賢足照子否矣具為其過女妖似真梵志信矣。師告阿群爾欲仙乎。對曰爾。教殺百人斬取其指。令獲神仙。奉命擊劍逢人輒殺。獲九十九人指。眾奔國震。覩母欣然曰。母至數足吾今仙矣。佛念邪道惑眾普天斯禱也。化為沙門在其前步。曰人數足矣。追後不屬。曰沙門可止。答曰吾止。爾不止焉。曰阿群心開燿如雲除。五體投地頓首悔過。叉手尋從將還精舍即為沙門。佛為說宿行現四非常得溝港道。王欲討之聞而歎息白佛欲一見之佛言。上德賢者可開一眼相覩。如斯至三。答曰。吾之眼精耀射難當。王稽首曰。明日設微饌願一顧眄。答曰。於廁吾往。於殿則不。王曰。唯命。還則裂廁掘其地。則以新樟梓為之柱梁。香湯沃地栴檀蘇合鬱金諸香和之為泥。栴罽雜繒以為座席。雕文刻鏤眾寶為好。煒煒晃晃有踰殿堂。明日王身捧香鑪迎之。阿群就座。王褰衣膝行供養畢訖。即說經曰。廁前日之洿。豈可於上飯乎對曰不可。如今可乎。答曰可矣。阿群曰。吾未覩佛時洿其彼溷。賴蒙宿祚生值佛世。沐浴清化去臭懷香。內外清淨猶天真珠。飲欲歷市聞有婦人。逆生產者命在呼吸。還如事啟。佛言。爾往為其產。阿群受教往宣佛恩。母子俱生。佛告阿群。受道之日可謂始生者也。不覩三尊未受重戒。猶兒處胎雖有耳目將何聞

見。曰未生也。阿群心開即得應真道。佛告諸比丘。時普明王者是吾身也。吾前世授之四偈。壹活百王今令得道。不受眾罪矣。阿群宿命曾為比丘。荷米一斛送著寺中。上佛刀一口。歡喜歎尊稽首而去。荷米獲多力。上刀獲多寶。歡喜獲端正。歎尊獲為王。作禮故為國得眾人所拜。九十九人琢其首遂至喪身。故殺前怨而斬其指。後人欲琢見其已喪。又覩沙門更有慈心。後人即其母。始有惡意故阿群如意亦惡。覩沙門更慈故見佛即孝。種淳得淳。種雜得雜。善怨已施禍福尋之。影追響應皆有所由。非從自然也(出普明王經)。

為蓮華王太子身以髓施病人十三

阿難。乃往過世。有王太子。號曰蓮華王。端正姝好威神巍巍。出遊道見一人。身體病癩。見已悲念。問於病者何藥能療。答曰。得王身髓以塗我身其病乃愈。是時太子即破身骨髓與病者歡喜惠施心無悔恨。爾時太子即我身是。大海水尚可斗量。身髓布施不可稱計(出彌勒所問本願經)。

為王太子身出血施病人十四

阿難。我本求道時勤苦無數。過世為王太子。號曰現眾。儀端正姝好。從園觀出。道見一人。得困篤病。見問病人。以何等藥療卿病。病者答曰。唯王身血得療我病。太子即以利刀刺身出血以與病者。至心施與意無悔恨。太子即我身是。阿難。四大海水尚可斗量。我身血施不可稱限。求正覺故(出彌勒所問本願經)。

經律異相卷第十

經律異相卷第十一(隨機見身下菩薩部第四)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 先給四仙人後世為王一
- 為伯叔身意不同故行立殊別二
- 為肉山以施眾生三
- 為大理家身濟鼈及蛇狐四
- 為師子身與獼猴為親友五
- 為白象身而現益物六
- 昔為龍身勸伴行忍七
- 為熊身濟迷路人八
- 為鹿王身代懷妊者受死九
- 為威德鹿王身落羅網為獵師所放十
- 為九色鹿身以救溺人十一
- 為雁王身獵者得而放之求國報恩十二
- 為鸚鵡現身救山火以申報恩十三
- 為雀王身拔虎口骨十四
- 為大魚身以濟飢渴十五
- 為鼈王身化諸同類活眾賈人十六

先給四仙人後世為國王一

久遠無數劫時。有五仙人。處於山藪。四人為主。一人供給奉事未曾失意採菓汲水進以時節。一日遠採菓漿懈廢眠寐。不以時還。日已過中。四人失食。懷恨可為凶呪。侍者聞之退在樹下。思惟自責執勞歲久。今違四仙時食之供。既失道教不從四等。遂感而死。其足常著七寶之屐。翹足而坐。寶屐墮水而沒一隻。命過之後即生外道。為凶呪子。年十餘歲。與其同輩戲于路側。時有梵志。遇見戲童。人數猥多以遍觀察。見凶呪子特有貴相。應為王者。顏貌殊異於人中上。梵志命曰。爾有王相不宜遊眾。童子答曰。吾凶呪子何有王相。梵志又曰。如吾經典。儀容形體與讖書符合。爾則應之。斯國之王薨殞必禪爾位。童子曰。唯設如仁信當念重恩。梵志言畢。尋遁逃走。出遊他國。後日未幾。王薨絕嗣。娉求賢士以為國胄。使者四布。遙見斯童有異人之姿。輒尋遣人還啟群臣。唯嚴法駕尋來奉迎。群臣百寮莫不踊躍。香湯洗浴五時朝服。寶冠劍帶即位處殿。南面稱制。境土安寧民庶踊悅。於時梵志。仰瞻天文下察地理。知已嗣立。即詣宮門求奉覲王。梵志占謝。呪願曰。如誓審諦矣。王曰。誠哉。當恣所欲。梵志答曰。唯求二願。一曰。飲食進止衣服臥起與王一等。二曰。參誼國事所決同意莫自專也。王曰。善哉。王治以正法不枉萬民。梵志憍恣輕慢重臣。群臣怨忿。俱進諫曰。王尊位高。宜與國臣耆舊參議。偏信乞士。遂令恣慢凌侮群職。隣國聞

之將所嗤笑以致寇難。王曰吾與之有誓安可廢耶。臣諫不止。若王食時。勿與之俱。則必改也。王遂可之。伺梵志出則先之食。梵志恚曰。本要云何而先獨食。罵曰。咄凶呪子。但給資糧驅令出國。獨涉遠路觸冒寒暑。疲極憔悴而到他國。詣異梵志家舊與親親。又而問曰。卿何從來何所綜習。業何經典能悉念乎。答曰。吾從遠來飢寒見逼。忘所習誦。梵志心念。此人無所能作。當令田作。輒給奴子及犁牛耕具。梵志耕種苦役奴子。酷令平地走使東西。奴子無聊。欲自投水往到河側。則得一隻七寶之屐。心自念言。梵志困我役使無賴。吾當奉承。以屐上之可獲寬恕。即齎屐還以用上之。梵志欣豫心自念言。此七寶屐其價難訾。吾違王意以屐奉之。愆咎可解。尋還王國。以屐上王。深自陳悔前之罪釁。願垂原赦。王曰。善哉。即內之幔裏。引座坐之。會諸群臣。詔曰。卿等寧見前梵志不耶。答曰。不見。王云。設見當如之何。僉曰。當五毒治之。王出寶屐以示群臣。命梵志出與臣相見。致此異寶當共原之。群臣啟曰。此梵志罪如山如海。獻屐一隻何所施補。若獲一緉罪可除也。王即可之。重逐梵志。令更求一隻。梵志懊惱還故主人。問奴子曰。汝前寶屐本何從得。奴子俱行示得屐處。至于水側遍恣求之不知雙處。奴子捨去。梵志念。此屐必從上流來下。即逆流上行。見大蓮華。流澓洄波魚口銜之。華有千餘葉。梵志心念。雖不得屐以此華上之。儻可解過得復前寵。便復執華。則見四仙人坐於樹下。仙人曰。卿何所從來。答曰。吾失王意。雖獻一屐不足解過。故逆流來求之未獲。仙人告曰。卿為學人當知進退。彼國王者是吾弟子。存侍愛敬同食坐誼。云何一旦罵之凶呪子。罪及誅害。今不相問指示樹下。王先故身為吾侍者。翹脚而終。寶屐墮水一隻著脚。梵志取屐稽首謝過。還到本國續以上之。王即歡喜大臣意解。復其寵位。佛言。王者則吾身是。四仙人者。拘留秦佛。拘那含牟尼佛。迦葉佛。彌勒佛是也。其梵志者調達是也(出五仙人經)。

為伯叔身意不同故行立殊別二

昔者菩薩伯叔二人。各齎國貨俱之裸鄉。叔曰。入國隨俗進退尋儀。儒心言遜匿明伴愚。伯曰。禮不可虧德不可退。豈可裸形毀吾舊儀乎。叔曰。先聖景則殞身不殞行。從時初譏亦歎權道之大矣。遂俱之彼。伯曰。爾先入觀其得失即遣使告誡。叔曰。敬諾。旬日之間使反告。伯曰。必從俗儀。伯勃然曰。釋仁從畜豈君子行乎。叔為吾不也。其國俗以月晦十五日夜。周匝為樂。以麻油膏首白土畫身。雜骨纓頸。兩石相扣男子携手。逍遙歌舞。菩薩隨之。國人欣歎。王憐民敬。賓王悉取貨十倍雇之。伯乘車入國。言以嚴法輒違民心。王忿民慢奪財謫捶。叔請乃釋。俱還本國。送叔者被路罵伯者括耳。伯恥怒曰。彼與爾何親。與吾何讎。爾惠吾奪豈非讒言耶。結叔誓曰。自今之後世世相酷終不赦爾。菩薩愴然泣淚誓曰。令吾世世逢佛見法親奉沙門。四恩普覆潤濟眾生。奉伯若已不違斯誓。自斯之後。伯輒剋叔叔常濟之。佛告諸比丘。時叔者是吾身。伯者調達是(出孔雀王經又出無極集經第五卷)。

為肉山以施眾生三

過去無量阿僧祇劫。爾時此界名無垢須彌。人壽百歲。有佛出世。號香蓮花。般涅槃後像法之中。我於爾時。作大強力轉輪聖王。號難沮壞。王閻浮提。千子具足。我悉勸化。令發阿耨多羅三藐三菩提心。欲於像法出家修道。熾然增益佛之遺法。唯除六子。不肯出家發菩提心。我以善言說語。終不出家。我復重問。令發無上道心。六子答言。若能與我閻浮提者。然後當發阿耨多羅三藐三菩提心。我聞是已心生歡喜。作是思惟。我今已化閻浮提人。今當分此閻浮提。以為六分。與此六子。令其得發無上道心。然後我當出家修道。即分閻浮提為六分以賜六子。尋便出家。爾時六子。各相違戾抄掠攻伐。爾時一切閻浮提內。苗稼不登人民飢餓。水雨不時諸樹枯悴。不生華實。鳥獸皆飢。其身熾然。我於爾時捨己身體肌膚血肉。以施眾生令其飽滿。我於爾時。自投其身。以願力故即成肉山。高一由旬。縱廣正等。是時人民。飛鳥禽獸。始於是時。噉肉飲血。以本願故。於是中分增益廣大其身。乃至高千由旬。縱廣正等亦千由旬。其邊自然而生人頭。髮毛眼耳鼻口脣舌具足而有。彼諸頭中各各有聲。而唱是言。諸眾生等。各各自恣隨意取用。飲血噉肉。取其目耳鼻舌齒等皆令滿足。然後悉令發阿耨多羅三藐三菩提心。或發聲聞辟支佛心。或求天上人中富樂。以本願故身無損減。乃至萬歲。閻浮提內。人及諸鬼神。飛鳥禽獸。皆悉充足。汝今當知。我於往昔萬歲之中。所捨無量無邊阿僧祇身體。血肉給施無量無邊悉令飽足。乃至一念不生悔心。如是次第遍滿十方如恒河沙等諸佛世界。捨身血肉給施眾生悉令飽足。為檀波羅蜜(出悲華經第九卷過去香蓮花佛世界經大同但不言菩薩耳)。

為大理家身濟鼈及蛇狐四

昔者菩薩。為大理家。積財巨億。常奉三尊。慈向眾生。往市觀戲。即見一鼈心便悼之。問價貴賤。鼈主知菩薩有普慈之德常濟眾生財富難數貴賤無違。答曰。百萬。能取者善。不者吾當噉之。菩薩答曰。大善。持鼈歸家澡護不傷。其臨水放之覩其浮去。悲喜誓曰。太山餓鬼眾生之類。世主牢獄早獲免難。身安命全如爾今也。稽首十方叉手願曰。眾生擾擾其苦無量。吾當為地。為旱作潤。為濕作筏。飢食渴漿。寒衣熱涼。為病作醫為冥作光。若有濁世顛倒之時。吾當於中作佛度彼眾生矣。十方諸佛皆善其誓。讚曰。善哉。必獲爾志。鼈後夜來齕其門。怪門有聲。使出覩鼈。還如事白。菩薩視鼈即人語曰。吾受重潤身命獲全。無以答謝。水居之物知水盈虛。洪水將至必為大害。願速嚴船臨時來迎。答曰。大善。明晨詣宮門如事啟王。王曰。菩薩宿有善名。信用其言遷下處高。時鼈來曰。洪水至矣。可速上載。尋吾所之。必獲無患。船尋其後。有蛇趣船。菩薩曰。取之。鼈曰。大善。又覩漂狐。曰取之。鼈亦云善。又覩漂人。博頰呼天哀濟吾命。又曰。取之。鼈曰。慎無取也。凡人心姦偽。尠有終信。背恩追勢。好惡凶逆。菩薩曰。蟲

類盡濟。更棄求人。豈是仁哉。吾不忍為也。於是取之。鼈曰。悔哉遂之豐土。鼈辭曰。恩畢請退。答。吾獲為如來無所著至真等正覺者。必當相度。鼈曰。大善。鼈退。蛇狐各去。狐以穴為居。獲古人伏藏紫磨金百斤。喜曰。當以報彼恩矣。馳還白曰。小蟲受潤獲濟微命。蟲穴居之物求穴自安獲金百斤。斯穴非墾非家。非劫非盜。吾精誠之所致。願以貢賢。菩薩深唯不取。徒損無益於貧民。取以布施眾生獲濟。不亦善乎。尋而取之。漂人覩焉曰。分吾半矣。菩薩即以十斤惠之。漂人曰。爾掘墾劫金。罪應奈何。不半分之。吾必告有司。答曰。貧民困者吾欲等施。爾欲專之。不亦偏乎。漂人遂告有司。菩薩見拘無所告訴。唯歸命三尊悔過自責。慈願眾生早離八難。莫有怨結如我今也。蛇狐會曰。奈斯事何。蛇曰。吾將濟之。遂銜良藥開關入獄。見菩薩狀顏色有損愴而心悲。謂菩薩言。以藥自隨。吾將齕太子。其毒尤甚莫能濟者。賢者以藥自傅即瘳矣。菩薩默然。蛇如所云。太子將殞。王命曰。有能濟茲。封之相國。告與參治。菩薩上聞傅之即瘳。王喜問所由。因本末自陳。王悵然自咎。即誅漂人。大赦其國。封為相國。執手入宮。並坐而曰。賢者說何書。懷何道。而為二儀之仁惠。逮眾生乎。對曰。說佛經懷佛道也。曰。佛有要訣不。答曰。有之。佛說四非常。存之者眾福昌。王曰。善哉。願獲其實。菩薩說之。王曰。善哉。佛說非身吾心信矣。身且不保。豈況國土乎。痛哉先王。不聞無上正真正覺非常苦空非身之教。王即空藏布施貧乏。鰥寡孤兒怜之如子。舉國欣欣含笑且行。仰天歎曰。菩薩神化乃至於茲。四方歎德遂至太平。佛告沙門。菩薩者吾身是也。國王者彌勒是。鼈者阿難是。狐者秋露子是。蛇者目連是。漂人者調達是(出布施度無極經)。

為師子身與獼猴為親友五

昔者菩薩。曾為師子。在林中住。與一獼猴共為親友。獼猴以二子寄於師子。時有鷲鳥飢行求食。值師子睡。取獼猴子去住於樹上。師子覺已。求獼猴子不得。見鷲持在樹上。而告鷲言。我受獼猴寄託二子。護之不謹。令汝得去。孤負言信。請從汝索。我為獸中之王。汝為鳥中之主。貴勢同等。宜以相還。鷲言。汝不知時。吾今飢乏何論同異。師子知其叵得。自以利抓。�abc其脇肉。以貿獼猴子。又過去世時。人民多病。黃白痿熟。菩薩爾時身為赤魚。自以其肉施諸病人。以救其疾。又昔菩薩。作一鳥身在林中住。見有一人入於深水。非人行處為水神所羂。水神。羂法著不可解。若能至香山中。取一藥草著其羂上。繩即爛壞人得脫去。如是等無量本生。多有所濟名本生經(出大智論第三十三卷)。

為白象身而現益物六

須菩提問。菩薩善根成就。云何生作象馬。佛言。菩薩實有福德。善根成就。為利眾生受畜生形。無畜生罪。菩薩在畜生中。慈愍怨賊。阿羅漢辟支佛之所無有。阿羅漢辟支佛。怨賊來害。雖不加報。不能愛念供

養供給。如菩薩本身。作六牙白象。獵師以毒箭射胸。爾時菩薩象鼻擁抱獵者。不令餘象得害。語雌象言。汝為菩薩婦。何緣生惡心。獵師是煩惱罪。非人過也。我得阿耨多羅三藐三菩提。當滅其煩惱。如鬼著人呪師治鬼而不見人。徐問獵者。汝何以射我。答言。我須汝牙。象即就石拔牙與之。血肉俱出不以為痛。供給糧食示語道徑。如是等慈悲。阿羅漢辟支佛之所無也。問曰。何以不作人身而為說法。而作此獸身。答曰。有時眾生見人身則不信受。見畜生身說法。則生信樂。受其教化。菩薩。欲具足大慈心。欲行其實事。眾生見之驚喜皆得入道(出大智論九十三卷)。

昔為龍身勸伴行忍七

昔者菩薩。與阿難俱。受罪畢矣。各為龍身。其一龍曰。唯吾與卿共在海中。靡所不覩。寧可俱上陸地遊戲乎。答曰。陸地人惡起逢非常不可出也。一龍又曰。化為小蛇。若路無人尋大道戲。逢人則隱何所憂哉。於是相可。俱昇遊觀。出水未久。道逢含毒蛇虺。虺覩兩蛇凶念欲害。便吐毒沫。一蛇欲殺毒虺。一蛇慈忍而諫止。曰。夫為高士當赦眾愚。忍不可忍。是乃聖誡。即說偈言。

貪欲為狂夫　靡有人義心　嫉妒欲害誡　唯默忍為安

蛇稱頌忍。一蛇敬受遂不害虺。一蛇曰。吾等還海。相然俱去。則奮其威神。震天動地。興雲降雨。人鬼咸驚。虺乃惶怖。尸視無知。七日絕食欲害。蚖龍阿難是。說忍龍吾身是也。含毒虺者調達是(出度無極集第五卷)。

為熊身濟迷路人八

有人。入林伐木。迷惑失心。時值大雨。日暮飢寒。惡蟲毒獸欲侵害之。是人入石窟中。有一大熊。見之怖出。熊語之言。汝勿恐怖。此舍溫煖可於中宿。時連雨七日。常以甘菓美水供給此人。七日雨止。熊將此人示其道徑。熊語人言。我是罪身人是怨家。若有問者。莫言見我。人答言爾。此人前行。見諸獵者。獵者問。汝從何來。見有眾獸不。答言。見一大熊。於我有恩。不得示汝。獵者言。汝是人黨。以人類相觀。何以惜熊。今一失道。何時復來。汝示我者。我與汝多分。此人心變。即將獵者示熊處所。獵者殺熊。即以多分與之。此人展手取肉。二肘俱墮。獵者言。汝有何罪。答言。是熊看我。如父視子。我今背恩。將是罪報。獵者恐怖。不敢食肉。持施眾僧。上座是六通阿羅漢。語諸下座。此是菩薩。未來世當作佛。莫食此肉。即時起塔供養。王聞此事。勅下國內。背恩之人無令住此。人以種種因緣。讚知恩者(出諸經中要事)。

為鹿王身代懷妊者受死九

昔佛在波羅奈國仙人鹿野苑者。諸五通神仙。皆遊學此國。非凡夫所住。王出遊獵。值群鹿千頭悉入網裏。王布步兵圍繞一匝。群鹿驚懼。有失聲唐突於弶或有伏地自隱形者。釋迦牟尼佛。昔為菩薩時。為群鹿王。佛自告群鹿言。汝等安意勿復恐懼。吾設方便。向王求哀必得濟命。各各無他。鹿王來向人王下膝求哀。人王遙見。勅諸左右勿傷害鹿。鹿曰。今觀王意。欲殺千鹿一日供厨。今且盛熱。肉叵久停。願王哀愍。日殺一鹿以供厨宰。不煩王使。鹿自當往詣厨。受死。肉供不斷。鹿得增多。王問鹿曰。汝在群鹿中為長大耶。答曰。如是。王復問鹿。汝審實不。答曰。審實。王即捨鹿攝陣入城。時菩薩將鹿五百。調達亦將五百鹿。日差一鹿。詣王供厨。時次調達遣鹿詣王。值一鹿母懷妊數月。次應供厨。鹿母白王云。今垂欲產。我次應至。子次未至。願見差次小聽在後。調達恚曰。何不速往。誰能代汝先死。鹿母哀泣悲鳴喚呼。輒就菩薩自陳如此。願王開恕。聽在後次。菩薩問鹿。汝主聽汝自陳不。答曰。主不見聽。菩薩慰勞彼鹿。汝且勿懼。吾今代汝。以供厨宰。菩薩鹿王。即召千鹿。懇切戒勅。汝等勿懷懈慢。亦莫侵王秋苗穀食。調達瞋鹿母曰。汝應次至何辭。菩薩語調達。止止勿陳此言。鹿母誠應次死。為愍其胎未應死耳。吾代濟胎命。群鹿自陳。吾等願欲代王受死。王在我存。得食水草。隨意自遊。無所畏忌。王遂詣厨。群鹿追逐隨到王宮。鹿王就厨自求供宰。厨士見鹿王。即往白王。鹿王入厨。次應供宰。不審大王。為可殺不。王勅諸臣。速將鹿王來。王問鹿曰。千鹿盡耶。汝何為來。鹿白王曰。千頭孚乳遂成大群。日有增多。無有減少。具說上事。王自懇責。自怨不及。吾為畜獸不別真偽。枉殺生類。及至於斯。王告大臣。普令國界其有遊獵殺害鹿者。當取誅戮。即遣鹿王還。令國內不得食鹿肉。其有食肉者。當梟其首。因是立名鹿野苑也(出出曜經第九卷)。

為威德鹿王身落羅網為獵師所放十

佛言。過去世近雪山下。有鹿王。名曰威德。作五百鹿主。時有獵師。安穀施羂。鹿主前行。右脚墮毛羂中。鹿王心念。若我現相。則諸鹿不敢食穀。須噉穀盡。爾乃現脚相。時諸鹿皆去。一女鹿住。說偈言曰。

大王當知　是獵師來　願懃方便　出是羂去

爾時鹿王以偈答言。

我懃方便　力勢已盡　毛羂轉急　不能得出

女鹿。見獵師到已。向說偈言。

汝以利刀　先殺我身　然後願放　鹿王令去

獵師聞之。生憐愍心。以偈答言。

我終不殺汝　亦不殺鹿王　放汝及鹿王　隨意之所去

獵師即時解放鹿王。佛言。昔鹿王者今我身是。五百鹿者五百比丘是(出十誦律雜誦第一卷)。

為九色鹿身以救溺人十一

昔者菩薩。身為九色鹿。其毛九種色。其角白如雪。在恒水邊飲食水草。常與一烏為知識。時水中有一溺人。隨流來下。或出或沒。仰頭呼天。山神樹神諸天龍神。何不愍我。鹿聞下水言。汝可騎我背捉我角。負出上岸。溺人下地。繞鹿三匝。向鹿叩頭。乞得為大夫作奴。給其使令採水草。鹿言不用。且各自去。欲報恩者。莫道我在此。人貪我皮角。必來殺我。時國王夫人。夜夢見九色鹿。即詐病不起。王問何以。答曰。我昨夜夢見非常之鹿。其毛九種色。其角白如雪。我思欲得其皮作坐蓐。其角作拂柄。王當為我得之。王若不得我將死矣。王募於國中。若有能得當與分國而治。賜其金鉢盛滿銀粟。賜其銀鉢盛滿金粟。溺人聞之欲取富貴。念言。鹿是畜生。死活何在。往至王所言知鹿處。王大歡喜言。汝若能得其皮角來者。報之半國。溺人面上即生癩瘡。溺人言。大王此鹿雖是畜生。大有威神王宜多出人兵乃可得耳。王即大出人眾。經到恒水邊烏在樹頭。見人兵來即呼鹿言。知識且起王來至。鹿故熟臥不覺。烏下啄其耳。鹿方驚覺四向顧望無復走趣。便往趣王車邊。傍臣欲射。王曰。莫射。此鹿非常。將是天神。鹿言。大王。且莫射我。我前活王國中一人。鹿復長跪問王言。誰道我在此。王便指示。車邊癩面人是也。鹿即仰頭。視此人面。眼中淚出。不能自勝。此人前溺在水中。我不惜身命。自投水中。負此人出。約不相道也。無反復不如出水中浮木也。王有愧色。三數其民。汝受其恩。奈何反欲殺之。即下於國中。若有驅逐此鹿者。當誅五族。眾鹿數千皆來依附。飲食水草不侵禾稼。風雨時節五穀豐熟。人無疾病。其世太平。時九色鹿我身是也。烏阿難是。國王者今父王閱頭檀是。時王夫人者今孫陀利是。時溺人者調達是也。我雖有善心向之。故欲害我。阿難有至意(出九色鹿經)。

為雁王身獵者得之而放求國報恩十二

過去世時。有波羅奈城。城邊有池。池名雨成。是池中多魚龜鵝雁鴨等。中有雁王。名曰治國。作五百雁主。時有獵師。先施毛羂。雁王前行。右脚著羂。作是念言。若我出是羂脚。餘雁不敢啄穀。盡已即便現脚。眾雁飛去。唯有一雁。名曰蘇摩。不捨王去。王語大臣言。我與汝職作王。在諸雁前行。答言。不能。問言。何故致。

爾時大臣。以偈答言。

我願隨王　死生不變　寧共王死　勝相離生　大王當知　是羂師來
但勤方便　求脫此羂

爾時雁王。以偈答言。

我懃方便　力勢已盡　毛羂轉急　不能得脫

蘇摩大臣。見羂師到。向說偈言。

大王毛脂肉　我與等無異　汝以刀殺我　放王不損汝

爾時羂師。語大臣言。我不相殺。放汝及王。隨所樂去。獵師即解雁王。二雁俱去。共相謂言。是獵師作希有事。與我等命。我等資生當以厚報。獵師問言。汝是畜生。有何生具以用報我。二雁答言。波羅奈王名曰梵德。汝持我與獵師。持雁著兩肩上。到城巷中。是雁端正。眾人樂見。有與五錢十錢二十錢者。皆言莫殺。是人比至王宮。大得財物。獵師到王宮門。置雁于地。雁王語守門者曰。汝白梵德王。治國雁王今在門外。便往白王。王即聽入。與設金床。蘇摩大臣隨所應與共相問訊。然後就座。以偈問訊梵德王言。

王體安隱不　國土豐足不　如法化民不　等心治國不

爾時梵德王。以偈答言。

我常自安隱　以法化國民　國土恒豐寧　等心無偏私

如是詶對。說五百偈。蘇摩大臣時默然住。梵德王言。汝何故默然。大臣答言。汝是人王國主。此雁王陂澤國主。二王共語何敢間錯。王言。我有好園。汝能住不。答言。不能。王問。何故。雁言。王或睡覺。忘不蠲我。勅作雁肉食。若宰人不能得餘雁。或殺我等以充王厨。治國雁王入王宮中。諸雁從雨成池出於王宮上。徘徊悲鳴。翅濕有水灑污宮殿。王問曰。此是何等。雁王答言。是我眷屬。王言。汝欲去耶。答言。欲去。王言。汝何所須。答言。我為獵師所得。於我等作希有事。與我等壽。若先殺一後復殺一誰能遮者。王言。當何以報之。二雁答曰。與金銀車渠馬瑙衣服飲食。作是語已飛昇虛空。佛言。雁王則我身是。五百雁者。則五百比丘是也。獵師者守財象是也。梵德王者即淨飯王是也。蘇摩大臣者阿難是也(出十誦律雜誦第一卷)。

為鸚鵡現身救山火以申報恩十三

昔者菩薩。現為鸚鵡常處于樹。風吹彼樹更相切磨。便有火出。火漸熾盛。遂焚一山。鸚鵡思惟。猶如飛鳥軀止于樹。故當反復起報恩心。何況於我長夜處之。而不能滅火。即往詣海。以其兩翅取大海水。至彼火上而灑於火。或以口灑東西馳奔。時有善神。感其懃苦。尋為滅火(出僧伽羅刹經上卷)。

為雀王身拔虎口骨十四

昔者菩薩身為雀王。慈心濟眾由護身瘡。有虎食獸骨拄其齒。病困將終。雀入口啄骨日日若茲。雀口生瘡身為瘦疵。骨出虎口。雀飛登樹。說佛經曰。殺為凶瘧其惡莫大。虎聞雀戒。勃然恚曰。爾始離吾口。而敢多言。雀覩其不可化。即速飛去。佛言。雀者是吾身。虎者是調達(出雀王經)。

為大魚身以濟飢渴十五

昔者菩薩貧窶。與諸商人俱至他國。菩薩覩海中魚巨細相吞。以身代小者令得須臾之命。即自投海大魚得飽小者得活。魂神化為鯨魚之王。身有數里。海邊國旱人民饑饉。更相吞噉。魚即蕩身于國。噉者存命。輦肉數月而魚猶活。天神下曰。爾為仁慈苦可堪乎。何不收壽離斯痛也。魚曰。吾神逝身腐。民後饑饉。復當相噉。吾不忍覩。天曰。爾必得佛度苦眾生。有人取其首魚時死矣。魂為王子。有上聖之明。四恩弘慈潤齊二儀。愍民困窮。言之哽咽。然國尚旱。靖心齋肅。退食絕獻。頓首悔過曰。民之不善。咎在我身。願喪吾命惠民雨澤。月月哀慟。由至孝之子遭聖父之喪。精誠遠遠有名。佛與五百人來其國界。王聞心悅。奉迎稽首叩頭涕泣。心穢行濁。不合三尊四恩之教。苦酷人民。枯旱累載。黎庶饑饉。怨痛傷情。願除民災以禍罪我。諸佛答曰。爾為人君。慈惻仁惠德齊帝釋。諸佛普知。令王受福慎無慼也。勅民種穀。家無不修。稻化為滋。王曰。須熟。禾實覆國。皆含稻穰。中容數斛。其米芬芳舉國欣懌。歎詠王德。率土持戒。歸命三寶。王及臣民命終生天。時貧人吾身是(出度無極集第一卷)。

為鼈王身化諸同類活眾賈人十六

昔者菩薩。曾為鼈王。生長大海化諸同類。子民群眾皆修仁德。王自奉行慈悲喜護。愍於眾生如母愛子。其海深長邊際難限。而悉周至靡不更歷。於時鼈王出於海外。在邊臥息積有日月。其背堅燥猶如陸地。賈人遠來因止其上。破薪然火炊煮飯食。繫其牛馬車乘載石皆著其上。鼈王欲趣入水。畏墮商人。適欲強忍痛不可勝。便設權計入淺水處。除滅火毒不危眾賈。眾賈恐怖謂潮卒漲。悲哀吁嗟歸命諸天。釋梵四王日月神明。願以威德唯見救濟。鼈王心益愍之。因報賈人。慎莫恐怖。吾被火焚故捨入水。欲令痛息。今當相安終不相危。眾賈聞之知有活望。俱時發聲言。南無佛。鼈興大慈。還負眾賈移在岸邊。眾人得脫靡不歡喜。

遙拜鼈王而歎其德。尊為橋梁多所過度。行為大舟載越三界。設得佛道當復救脫生死之厄。鼈王報曰。善哉善哉。當如汝言。各自別去。佛言。時鼈王者我身是也。五百賈人。五百弟子舍利弗等是(出生經第四卷)。

經律異相卷第十一

經律異相卷第十二(出家菩薩僧部第一)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 無垢山居女人庇雨其舍眾仙稱穢升空自證一
- 慧王以百味飯化人入道二
- 上首受恒伽貨身施食三
- 須摩提始是八歲女轉身為男出家說法四
- 摩訶盧讀大乘經為聖所導五
- 善慧得五種夢請佛解釋六
- 女人高樓見佛化成男身出家利益七
- 女人在胎聽法轉身為丈夫出家修道八
- 沙門慈狗轉身為人立不退地九

無垢山居女人庇雨其舍眾仙稱穢升空自證一

昔拘樓秦佛時。有一比丘。名曰無垢。處於閑居。國界山窟。去彼不遠。有五神仙。有一女人道遇大雨。入比丘窟雨霽出去。時五仙人見之。各各言曰。比丘姦穢。無垢聞之。即自踊身在于虛空。去地四丈九尺。諸仙見之飛虛空中。各曰。如吾經典所記。染欲塵者則不得飛。便五體投地伏首誣橫。假使比丘不現神變。其五仙王墮大地獄。時無垢比丘。今慈氏菩薩也(出慧上菩薩經上卷)。

慧王以百味飯化人入道二

過去有佛。名莫能勝。有一比丘。名曰慧王。平旦分衛得百味飯若干種食。路有尊者子。名離垢臂。為乳母所抱。遙見比丘。下乳母抱。尋隨比丘從求飯食。於時比丘與其蜜揣。幼童即食知其甘美。遂隨比丘蜜揣欲盡。比丘復授。轉至佛所。稽首足下。慧王以所得食。授與幼童令其上佛。使發道意。佛尋受之已滿佛鉢。食不減損。次與聲聞八萬四千。菩薩十二億。佛及聖眾。皆悉充飽。如是之供至于七日。飯則如故亦不損減。幼童歡喜說頌讚佛。即發無上正真法意。時其父母求索其子。便詣佛所。幼童問訊偈讚父母。於時幼童。化其父母及五百人。悉令志求無上正真法。即皆棄家而為沙門。行菩薩道自致得佛。時慧王者即是溥首童真也。其離垢臂者吾身是也(出往古造行經)。

上首受恒伽貨身施食三

時有一菩薩。名曰上首。作一乞士。入城乞食。有一比丘。名曰恒伽。謂乞士言。汝從何來。答言。吾從真實中來。恒伽問言。何謂為真實。答曰。寂滅相故名為真實。恒伽曰。當於何求實法。答曰。當於六波羅蜜中求。恒伽歡喜。禮上首足下。而便問言。當以何食供養此人。上首

答言。當以須陀味。恒伽即詣都市。而自唱言。吾欲賣身。誰欲須者。有一居士。名毘奴律。即問我言。吾欲買之。汝索何等。恒伽報言索。須陀那羅。曰。當索幾枚。恒伽報言。欲須五枚。居士五錢買此道人以充使。恒伽白大家言。我身屬汝。假我七日。欲供養上首比丘。居士告恒伽言。吾當將汝示於宅舍。放汝令還。時恒伽見舍宅已涉路而還。見此上首。乞食未得。即將上首。到都市中。買百味飲食。將到一寺。寺名四王。設施床座燒香散花。下種種飲食(出大方等陀羅尼經第一卷)。

須摩提始是八歲女轉身為男出家說法四

須摩提白佛言。世尊。所說菩薩四十事。我當奉行。令不缺減。時長老目連問。此四十事大士所行。汝小女人何能辦之。答言。審實能行。若不信者當使三千大千國土皆當為我六反震動。雨於天花。諸音樂器不鼓自鳴。應時如言。女曰。證我至誠。若我後得佛無有虛者。其在會眾悉作金色。尋如其語色如黃金。目連白佛言。初發大意為菩薩者。我為作禮。所以者何。八歲女子感應如此。豈況高士摩訶薩乎。文殊師利問言。云何不轉女人身。須摩提報言。於是無所得。所以者何。法無男女。今者我當斷仁所疑。須摩提言。令我不久當得正覺。我今便當變為男子。適作是語。即成男身。頭髮自墮袈裟在體。便作沙彌。又言。我作佛時。使我國中莫有三事。一者魔事。二者泥犁。三者女態。若我至誠。我身當如三十沙門。適作是語。形體顏色如年三十。復謂文殊師利言。我作佛時。令我國人皆作金色。地及城郭有七寶樹。寶池寶華不多不少。悉皆亭等。又言諸在會者當作金色。應時眾會皆並金容。時持地神即從地出。化作天身。舉聲稱揚。歎須摩提。三言之德。不久作佛(出佛說須摩提菩薩經)。

摩訶盧讀大乘經為聖所導五

摩訶盧比丘。國王謂其大讀摩訶乘。常解髮令其蹈過。又有比丘。乃語王言。此摩訶盧不多讀經。何以供養如是。王言。我日夜欲見此比丘。即往見在窟中讀法花經。見一金色光明。人騎白象合手供養。王來轉迫便滅不現。即問。大德。我來金光明人滅何也。比丘言。此即遍吉菩薩(法華經中普賢是也)來教導我誦於此經(出大智論第九卷)。

善慧得五種夢請佛解釋六

善慧比丘。白普光如來言。我昔日在深山中。得五種夢。一者夢臥大海。二者夢枕須彌。三者夢海中一切眾生入我身內。四者夢手執日。五者夢手執月。唯願世尊為我解說。時佛答曰。夢臥大海者。汝身即時在於生死大海之中。夢枕須彌者。出於生死得涅槃相。夢大海中一切眾生入身內者。當於生死大海。為諸眾生作歸依處。夢手執日者。智慧光明普照法界。夢手執月者。以方便智入於生死。以清涼法化導眾生(出過去現在因果經第一卷)。

女人高樓見佛化成男子出家利益七

須福長者有女。名曰龍施。厥年十四。時在浴室澡浴塗香著好衣畢。佛與眷屬放眉間毫相之光。照七重門內。令殿舍皆明。女見光明踰於日月。心知非恒。便走上七重樓上。東向見佛在門外住。女大歡喜。則自念言。今得施佛及眾弟子。以發意作菩薩行願。令我後得道如佛。魔見女發大意心為不樂。即下化作女父。謂龍施言。汝所念大重。佛道難得。今世幸有佛。不如求羅漢。且俱度世泥洹無異。龍施對曰。不如父言。佛智廣大度人無極。羅漢智少如一塵耳。有何高仁樂於小者。魔復言。未聞女人作轉輪王。況乃得作佛。不如求羅漢早取泥洹去。龍施報言。我亦聞。女人不得作轉輪王。不得作佛。我當精進轉此女人作男子身。蓋聞。天下行菩薩法。億劫不懈者。後得作佛。魔見女意不轉。益以愁毒。更作急教言。若作菩薩行者。不貪世間。不惜壽命。今汝精進。能從樓上自投地者。後可得作佛。龍施心念。我今見佛。貪菩薩道。父又教以精進。身可得佛。我何惜此危脆之命。即住欄邊。向佛叉手言。自歸於天中天。以一切智。知我所求。請棄軀命不捨菩薩。以身施佛。願如散花。便縱身自投樓下。未及至地。化成男子。佛笑。五色光從口中出照一佛剎。還繞佛身三匝從頂上入。汝見此女自投空中化成男子不。是女乃前世時。已事萬佛。後當供養恒沙未來佛。至七億六千萬劫當得作佛。號曰名上。其壽一劫。般泥洹後。經道興盛。半劫乃滅。於是龍施身住佛前報父母言。願放捨我得作沙門。父母即聽。中外眷屬皆發無上道意(出龍施女經)。

女人在胎聽法轉身為丈夫出家修道八

佛在羅閱祇。菩薩及四部大會。佛說法。有迦羅婦懷妊在座。腹中懷子。叉手聽經。佛欲使眾會見之。便見大光明照迦羅婦坐。眾人皆見腹中女叉手聽經。猶如照鏡。佛持八種聲。問腹中女言汝以何故叉手聽經。用佛威神即答佛言。以世間人皆行十惡。我欲令行十善。又以世人生死不絕。又世間人不孝從父母。不供養沙門婆羅門道人。是故叉手聽經。時女說是語竟便生。譬如太子從右脇生。地為六反震動。虛空中有自然天樂。雨天眾花。千葉蓮花大如車輪。以寶作莖。狀如青瑠璃。女即坐蓮花上。帝釋持天衣。與女著之。女報言。汝為羅漢。我為菩薩。汝非我輩。不與我同類。我自有衣。舍利弗白佛。此女為從何國來。當送衣也。佛言。此女從東南方佛剎清淨國來。去此十萬佛剎。本國衣便自然在虛空中來蕭蕭有聲。女見衣來便著之。當得五通。又女本國人盡得五通。女得衣著訖。便從蓮華上下行至佛前。女一舉足。地為六反震動。頭面著地為佛作禮。三言南無佛。便長跪白佛。今坐中大有諸迦羅婦。願佛為說經。令得男子身。佛言。我亦不使汝作男子。亦不使汝作女人。皆自從身行得耳。佛言。有一事可疾得男子。何等為一。發心為菩薩道。又女人身當內自觀。譬如機關。骨節相拄。但筋皮在上。女人

常畏人。譬如蚖蛇蝦蠪。不敢晝出。時坐中迦羅婦七十五人。聞佛說經歡喜踊躍。前以頭面著地。為佛作禮白佛言。我願發菩薩心作男子。我若不得男子身。我終不起。時七十五迦羅越。從舍衛國來至佛所。見諸婦皆在佛前。便心念言。已失我曹婦。便問舍利弗。此諸女人是我曹婦。何為是間。舍利弗答言。欲作比丘尼。卿當聽不。迦羅越答言。先使我曹作比丘。舍利弗白佛言。是七十五迦羅越。皆欲作比丘。佛呼。善男子來。皆作比丘。頭髮自然墮。袈裟便來著身。手持應器。皆前為佛作禮。時七十五婦。各脫珠環皆以散佛上。便自然虛空中。化作七十五交露珠瓔珞。帳中有七寶床。上有座。佛邊有無數菩薩聽經。七十五婦人。見是變化。皆大歡喜即用佛威神飛住虛空。自然有花雨散佛上。從虛空中來下。便得男子身。前白佛言。我願作比丘。佛語彌勒菩薩。將去授戒。彌勒菩薩即授戒。作比丘僧。女自然有化花蓋七重莖如蓮華。即持與母言。佛是天上天下度人之師。母以花蓋上佛。是天上天下之師蓋上之。後母亦當為天下之蓋。女語母言。今當發菩薩心。母答女言。我始懷汝時。於夢中常見佛及法比丘僧。無三毒心。身體安隱。知我腹中子為是菩薩摩訶薩。以是安隱。時發菩薩心。以母得華蓋。便持上佛。地為六反震動。佛語舍利弗。四天下星宿。尚可知數。是女前後所度父母。不可知數(出胎中女聽經)。

沙門慈狗轉身為人立不退地九

昔有一國。穀米踊貴。人民飢餓。時有沙門。入城分衛。無所一獲。次至長者大豪貴門。得麁惡飯。適欲出城。門中逢一射獵殺生屠兒。抱一狗子持歸欲殺。見沙門歡喜前為作禮。沙門呪願老壽長生。沙門知有狗子欲殺噉之。問其何所齎。答曰。空行。沙門又問。吾已見殺生之罪。甚為不善。願持我食貿此狗子。令得命濟卿福無量。其人不與。沙門慇懃曉喻請之不肯隨言。沙門又言。設不肯者。可以示我。其人即出。以示沙門。沙門舉飯以飴狗子。以手摩之呪願淚出。卿罪所致得是犬身。不得自在見殺食噉。使爾世世罪滅福生。離狗子身得生為人。所在遇法。狗子得食善心生焉。踊躍歡喜事已將去。歸家殺食。狗子命過。生豪貴大長者家。適生墮地。便有慈心。時彼沙門。分衛次到長者門裏。時長者子見彼沙門。憶識本緣。便前稽首禮沙門足。請前供養百味飲食。前白父母。今我欲逐此大和上。奉受經戒為作弟子。父母愛重不肯聽之。今我一門有汝一子。當以續後。家門之主何因便欲棄我而去。小兒啼泣不肯飲食。不欲聽我便自就死。父母見爾便聽令去。隨師學道。除去鬚髮被三法衣。諷誦佛經。深解其義。便得三昧。立不退轉。開化一切。發大道意。沙門即識宿命。發菩薩心。立不退轉。豈況有人。供事三寶。諷誦大乘(出度脫狗子經)。

經律異相卷第十二

經律異相卷第十三(聲聞無學僧第一僧部第二)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 迦葉身黃金色婦亦同姿出家得道一
- 迦葉從貧母乞食二
- 迦葉結集三藏黜斥阿難使盡餘漏三
- 迦葉結法藏竟入鷄足山待彌勒佛四
- 大迦葉賓頭盧君屠鉢歎羅云不般涅槃至佛法滅盡五
- 賓頭盧以神力取樹提鉢被擯拘耶尼六
- 憍陳如拘隣等五人先得道二緣七
- 鬱鞞羅那提伽耶三迦葉受佛化悟道八
- 須菩提前身割口施僧得生天上九
- 須菩提初生及出家十
- 阿那律端正或謂美女欲意往向自成女十一
- 阿那律化一婬女令得正信十二
- 阿那律先身為劫以箭挑佛燈得報無量十三
- 阿那律前生貧窮施緣覺食七生得道十四
- 阿那律等共化跋提長者及姊十五

迦葉身黃金色婦亦同姿出家得道一

迦葉父者。曰尼俱律陀。摩竭國人也。出自婆羅門種。宿命福德生世大富。珍奇寶物國中第一。財比國王。千分少一。夫婦孤獨乏無兒息。近在舍側有大樹神。時彼夫婦為欲有兒。三牲祭祠累歲不遂。其人大忿便與期七日。若復無驗當剪罰汝。棄都道頭以火燒之。神聞驚怖。上告息意天王。天王即將神。告天帝釋。帝釋即以天眼觀欲界中。未有堪任為彼子者。乃告梵王。梵遍觀見。一梵天臨當壽終。便告之曰。汝可生閻浮提。為尼俱律陀作子。梵天對曰。婆羅門者多諸邪見。我若下生不能為其作子。梵王答曰。彼婆羅門宿時大德。欲界眾生無有堪任為作子者。汝若往生。吾當勑天帝釋令擁護汝。不使中道墮邪見也。梵天曰唯。帝釋即以告樹神。樹神還告長者。勿見瞋恨。却後七日必令有子。七日已滿婦便有娠。十月乃生。身黃金色而有光明。相師占曰。此兒宿福有大威德。志力清遠不貪世務。若後出家必登聖道。父母聞之復大愁。憂恐兒出家至年十五。欲為娶婦。迦葉聞之累啟父母。我志樂清淨不須婦也。父母不聽迦葉又言。若然不用凡女人。得紫金色女端正無比。乃當取之。欲令此事不可辦也。父母令其國中推覓之。諸婆羅門即為設策。鑄金作神女。顏貌端正光色微妙。如眾天像。從國至國高聲大唱。諸有女人得見金神。禮拜供養者後出嫁時。當得好婿。體黃金色顏貌姝妙。智慧無比。聚落國邑諸有女人。聞此唱者莫不虛心。皆出奉迎禮拜供養。唯有一女軀體金色。端正姝好獨處閑室不肯出迎。諸女諫

曰。其有見金神者。皆得如願。汝何以獨不出迎。答曰。吾志閑靜不好餘願也。諸女復曰。雖無所願暫共一觀。當復何損。諸女相携遂共出看。金女光色乃映金神。婆羅門還報長者具。即遣媒人到其女家。宣長者意。其女父母先亦聞迦葉名。敬承往意遂相然可彼女聞之甚大愁憒。父母所逼事不獲已。遂適迦葉。二人相對志各凝結。雖為夫婦了無恩情。便共結誓。我與君等各處異床。要不相觸。爾時夫婦各處一床。其父母聞迦葉雖共同室。而復異床。其父尋復遣人持床去。於是夫婦唯共一床。其婦更與夫誓。我若眠時。君當經行。時其婦臥。一臂垂地。有大毒蛇欲來嚙之。迦葉見已有慈愍心。持衣裹手舉著床上。尋時驚覺便大瞋怒。語迦葉言。我先有要。如何相犯。迦葉報言。汝臂落地毒蛇欲嚙。是故相救非故觸也。指蛇示之。其婦乃悟。於是夫婦自相與議。我等何不出家修道。遂辭父母。俱共出家。入山行道。時有婆羅門。將五百弟子。亦住此山。見迦葉夫婦共相隨逐。於時迦葉便捨其婦。以五百兩金。貿緻納衣別處一林。其婦即依止婆羅門。求為弟子。婆羅門五百弟子。見此女人形色端正。日日行婬。女人不得自在。遂不能堪。便告其師。師便為之。戒約弟子。令節所欲。迦葉後值佛出世。聞法受化。即得羅漢。聞其本婦在梵志邊。便將詣佛。佛為說法。得阿羅漢。頭髮自落法服在身。成比丘尼。遊行教化。正值波斯匿王大會。諸比丘尼便得入王宮裏。教化諸夫人。皆令持一日齋。王暮還宮。命諸夫人。皆云持齋。無肯來者。王便大瞋。語使人言。誰教諸夫人齋。使人答言。某甲比丘尼。王便呼來。令九十日代諸夫人受淫欲。此皆是昔日之因緣。誓願所造。故雖得羅漢。不能相免也(出雜譬喻經第四卷)。

迦葉從貧母乞食二

迦葉捨豪富而從貧乞。入王舍城見一孤獨母。最甚貧困。街巷大糞聚上。傍鑿糞聚以為巖窟。羸劣疾病常臥其中。無有衣食。施一小籬以障五形。壽命將終。長者青衣。行棄米汁臭惡難言。母從乞之。即以破瓦盛著左右。迦葉哀之往乞多少。老母說偈。言其臭惡。迦葉猶以慈悲。忍而乞之。老母歡喜即以施。迦葉恐母不信豈能食之。即於母前飲畢盪鉢。示現神力。母大踊躍。一心遙視。迦葉告曰。母今何願。時母厭世苦。聞天上樂願生天上。數日壽終。即生第二忉利天宮。即念故恩求欲供養。釋提桓因聞是事已。即與天后持百味食盛小瓶中。下詣漏室。變其形狀。似于老人。織席貧窮。迦葉分衛見而往乞。夫妻告言。我今貧苦輒自割損。以施賢者。令吾得福。迦葉下鉢。乃開小瓶。香熏大城。迦葉即嫌。便入三昧。復身飛去。彈指歡喜(出摩訶迦葉度貧母經)。

迦葉結集三藏黜斥阿難使盡餘漏三

諸天禮迦葉足。說偈讚歎。大德知不。法船欲破。法城欲頹。法海欲竭。法幢欲倒。法燈欲滅。說法人欲去。行道人漸少。惡人轉盛。當以大慈建立佛法。迦葉心如大海。澄清不動。久而答曰。世間不久。無智

盲冥。迦葉思惟。我今云何。使三僧祇劫難得佛法而得久住。唯當結集三藏。可得久住耳。未來世人可得受行。佛世世勤苦。慈悲眾生學得是法。為人顯說。我等亦應承用開化。昇須彌山頂。鳴鍾揵搥。而說偈言。

諸佛弟子　若念於佛　當報佛恩　莫入涅槃

是揵搥音。及迦葉語。聲遍至三千大千世界。皆悉聞知。諸有弟子得神力者。集迦葉所。迦葉以天語告言。佛般涅槃諸知法弟子。皆隨滅度。佛法欲滅。未來眾生甚可怜愍。失智慧眼。愚癡盲冥。我等應當承用佛教。待結集法藏竟。隨意滅度。迦葉選得千人。唯除阿難皆得羅漢。頻婆娑羅王。得道常勅宮中飯食千人。阿闍世王不斷是法。迦葉思惟。若常乞食。當有外道強來難問。廢闕法事。到王舍城以事告王。王當給食。日日送來。夏三月安居。迦葉觀誰有煩惱。唯有阿難。大迦葉即數之云。犯六突吉羅罪。盡應僧中懺悔。阿難即隨教。長跪合手。偏袒右肩脫革屣懺悔。迦葉於僧中起。牽手出之。語言。汝宜盡漏。若殘結未亡。汝勿來也。便自閉門。與諸羅漢共議。誰能結集毘尼法藏者。長老阿泥盧豆言。舍利弗是第二佛。憍梵波提柔軟和雅。閑居燕寂皆能知毘尼藏。今在天上尸利沙樹園。使下座比丘往傳。迦葉意云。漏盡羅漢皆會閻浮提。僧有大法事。今可疾來。憍梵波提心疑。問曰。為鬪諍破僧耶。佛日滅度耶。答曰。大師滅度。我和上舍利弗今在何所。答曰。先入涅槃。憍梵波提問曰。目連阿難羅睺今何所作。答曰。目連已滅度。阿難由有憂結。愁苦啼哭不能自喻。羅睺已得羅漢無復憂苦。憍梵波提言。我和上大師皆已滅度。我今不能復下。即入涅槃。阿難思惟諸法求盡殘漏。坐禪經行定力少不時得道。後夜疲極欲息臥。頭未至枕廓然得悟。作大力羅漢。其夜到僧堂敲門。喚大迦葉。大迦葉言。汝何以來。答言。我今夜盡漏。迦葉言。我不與開門。汝從門鑰孔中來。阿難即從鑰孔中入懺悔。大迦葉莫復見責。迦葉手摩其頭。我故使汝得道耳。汝無嫌恨。我亦如是。大迦葉語阿難言。從轉法輪經。至大般涅槃。集作四阿含。增一中長相應。是名修妒路法藏。諸羅漢更問。誰能明了集毘尼法藏皆言。長老優波離。於五百羅漢中。持律第一。我等今請。優波離受教。坐師子座言。佛在何處。說毘尼結戒。時須提陀迦蘭陀長者子。初犯淫欲法。始結大罪。諸羅漢思惟。誰能明了。學阿毘曇藏。念。長老阿難於五百羅漢中。解修多羅義第一。我等今請。阿難受請。佛在舍婆提城。說五怖五罪五除五滅。以是因緣。此生身心受無量喜。復墮惡道中。如是等名阿毘曇藏(出大智論第二卷)。

迦葉結法藏竟入鷄足山待彌勒佛四

迦葉結法藏竟。入鷄足山。破為三分。於中鋪草布地。即自思惟。而語身言。如來昔以糞掃衣。覆蔽於汝。乃至為彌勒法藏應住於此。因說偈言。

我以神通力　當知於此身　以糞掃衣覆　至彌勒出世　時我為彌勒教化諸弟子

即起三三昧。如一入涅槃以三山覆身。如子入母腹。而自不失壞。二若阿闍世王來。先約相見。來者山應當開。阿闍世若不見我。當吐熱血死。三阿難來山開。彌勒與九十六千萬弟子來此。取迦葉身以示眷屬。令悉學我持戒功德(出阿育王經第七卷)。

大迦葉賓頭盧君屠鉢歎羅云不般涅槃至佛法滅盡五

彌勒佛。亦以三乘法。教我弟子。大迦葉者。當佐彌勒勸化。又君屠鉢歎比丘。賓頭盧比丘。羅云比丘。四大聲聞。約不般涅槃。須佛法沒盡。然後乃般涅槃。大迦葉住摩竭國界毘提村中山。彌勒當與數千人往至其所。諸鬼神等。當為開石門見其禪窟。時彌勒佛。申右手指。以示迦葉。告諸民人。過去久遠釋迦佛弟子。名曰迦葉。頭陀第一。今故現在。彌勒佛。當取迦葉僧伽梨著之。迦葉身體奄忽星散。彌勒取種種花。當供養迦葉。有敬心故(出彌勒下生經)。

賓頭盧以神力取樹提鉢被擯拘耶尼六

王舍城中樹提居士。入海客還。餉一栴檀作鉢。置絡囊中。懸高杙上言。若沙門婆羅門。能不以梯杖得者。便取。富樓那等皆言。欲見神力掉頭而去。賓頭盧。姓頗羅墮詣樹提。樹提言。善來頗羅墮。能不以梯杖取鉢者與。賓頭盧入定。伸手取鉢。居士以盛滿飯授之。食已持去。有一比丘。少欲知足。問從何處得。賓頭盧具說上事。少欲比丘訶責言。為受赤裸外道物。云何名比丘。於未受大戒人前。現過人聖法。訶已白佛。佛集僧。問賓頭盧。汝實作是事不。答言。實爾。佛語頗羅墮。盡形擯汝。不應得在閻浮提住。賓頭盧。奉教還房。付臥具床榻還僧。持衣鉢。從閻浮提沒。現瞿耶尼。教化四眾廣興佛事(出十誦律六誦第二卷僧祇彌沙塞四分大同小異)。

憍陳拘隣等五人在先得道二緣七

佛在迦毘羅衛國。尼拘盧陀僧伽藍。諸釋問佛。憍陳如等。宿有何緣。如來出世法鼓初振。最先得聞甘露始降便蒙沾澤。異口同音稱讚無量。比丘聞之。以事白佛。佛言。非獨今日先度五人。我於久遠亦濟此等。以身為船。救彼沒溺全其生命。吾今成佛先拔濟之。比丘白佛。此事云何。佛言。過去閻浮提。波羅梌國王。名梵摩達。時有薩薄。名勒那闍耶。遊外林間見有一人。涕泣悲切。以索繫樹。以頭入羅。自殺取死。便前問之。汝何以爾。喻令捨索。報言。貧窮負債。債主剝奪。日夜催切。天地雖曠容身無處。故避此苦。爾時薩薄。即語之曰。卿但自釋。所負多少悉代汝償。作是語已。彼人便休。歡喜踊躍。隨從薩薄俱至市

中。宣令一切云。欲償債。時諸債主。競共雲集來者無限。空竭其財猶不畢價。妻子窮凍乞匄自活。時有眾賈。勸進薩薄。欲共入海。即答之曰。我今窮困無所復有。何緣得從。眾人報言。我等眾人凡有五百。出錢開分共辦船具。眾人投合獲金三千兩。薩薄以金千兩辦船。千兩辦糧。千兩用待船上所須餘給妻子。便於海邊。施作大船船成馳去。便於道中。卒遇黑風。破碎船舫。眾人無依。中有五人。共白薩薄。依汝來此。今當沒死。危險垂至。願見拔度。薩薄答曰。吾聞大海不宿死屍。汝等今者悉各捉我。當殺身以濟爾厄。誓求作佛。後成佛時。當以無上法船度汝生死。作是語已。以刀自刎。命斷之後。海神起風吹至彼岸。得度大海皆獲安隱。欲知爾時勒那闍耶者。今我身是。時五人者。拘隣等是(其一出賢愚經第十卷)。

佛在羅閱祇竹園中。阿難又以問佛。阿若憍陳如伴黨五人。宿有何緣。法鼓初震獨先得聞。佛言。先世之時食噉我肉致得安隱。是故今日先得法食用致解脫。過去劫時此閻浮提。有大國王。名曰設頭羅健寧。領閻浮提八萬四千國。有火星現。相師白王。當旱。天遂不雨經十二年。王大憂愁。計現民口。算數倉庫一切人民日得一升。猶尚不足死亡者眾。王自念曰。當設何計濟活人民。即立誓言。今此國人飢羸無食。我捨此身願為大魚。以我身肉充濟一切。即上樹端自投於地。即時命終。於大河中為化生魚。其身長大五百由旬。時有木工五人。各齎斤斧往至河邊。規斫林木。魚曰。汝等須食。來取我肉飽齎還去。後成佛時當以法食濟脫汝等。汝告國人須食者來。五人歡喜具如其語。語於國人展轉相報遍閻浮提悉皆來集。噉食其肉一脇肉盡。即自轉身復取一脇。食盡還生。如是翻覆。恒以身肉給濟一切。經十二年。其諸眾生食肉者皆生慈心。命終生天。時設頭羅健寧王者。則我身是。時五伐木人。憍陳如等是。其諸人民後食肉者。今八萬諸天。及諸弟子得度者是(其二出賢愚經第四卷)。

鬱鞞羅那提伽耶三迦葉受佛化悟道八

鬱鞞羅婆界有梵志。名鞞羅迦葉。將五百螺髻梵志。已為尊者。鴦伽摩竭國皆稱為羅漢。佛到迦葉所語言。我欲寄止一宿。答言。不惜。但此室有毒龍恐相害耳。佛言。無苦。迦葉言。隨意。佛即入石室。結加趺坐直身正意。龍見放烟佛亦放烟。龍復放火佛亦放火。時石室中烟火俱起。迦葉遙見。瞿曇可惜為毒龍所害。佛即降龍盛置鉢中。明旦將往至迦葉所。告言。毒龍今在鉢內。迦葉念言。瞿曇雖得羅漢有大神力。猶不如我。白佛言。可止我當給食。佛曰。汝能身自及日時到者我當受請迦葉言。我當自來佛住食。食竟還石室宿。其夜入火光三昧照彼石室。迦葉即與徒眾圍繞。白佛。今時已到。可還就食。沙門昨夜何故有此大火。佛告迦葉。我昨夜入火光三昧。令此石室洞然大明。迦葉歎大威德。猶言不如我得羅漢。佛食竟更宿一林。明日迦葉復迎還食。佛言。汝並在前吾尋後往。先詣閻浮提樹。取此樹菓坐迦葉座。迦葉後到曰。

云何已在先至耶。佛言。此菓色好香美汝可食之。迦葉念。此沙門有大神足。猶不如我得阿羅漢。佛食竟還本林坐。更放種種神力。欲攝取迦葉。四天王天釋提桓因等。並齎供具來供養佛。迦葉并五百弟子。捨事火具淨衣澡瓶。擲尼連禪水中。往詣佛所。佛次第為五百人說法。即於座上諸塵垢盡得法眼淨。皆白佛言。願欲出家。佛言。善來比丘。快修梵行。得盡苦際。即為受具足戒。迦葉中弟名那提。居尼連禪水下流。有三百弟子。迦葉小弟名伽耶。居象頭山。有二百弟子。二弟見兄服道。俱往問言。從此大沙門。修學梵行勝耶。答曰。極為勝妙。各與眷屬同詣世尊。佛為說法。於坐悟道得法眼淨。白佛。我等欲於佛法中修習梵行。佛言。善來比丘快修梵行得盡苦際(出四分律二分第九卷)。

須菩提前身割口施僧得生天上九

舍衛國有長者。名曰拘留。無有兒子。禱神求之。天於空中而語之曰。長者福多無堪生者。是以無子。有天王壽終應生君家。後生兒名須菩提。端正聰辯慈仁博愛。白其父母。今欲請佛。父母聽許。即便請佛廣設供養。復白父母求作沙門。父母聽之。即隨如來還至祇洹便作沙門。應時得阿惟顏。神通具足隨俗教化。在弟子中現作羅漢。阿難白佛言。此須菩提本修何功德。佛言。此人無數世時作貧家子。逢一比丘入城分衛遍無所得。爾時年少見其鉢空。作禮白言。願隨我歸當相供養。即隨到家取己食分供養道人。而自不食。道人食竟現飛而去。年少歡喜即發道意。緣是功德。後生天上九十一劫。今復來生長者家。爾時年少者今須菩提也。一施之福尚乃如此。況復多乎(出福報經)。

須菩提初生及出家十

昔舍衛國有大長者。名曰鳩留。財富無數無有子息。遍禱諸神了不能得。空中天曰。卿當得福子。有一天王垂應命終生長者家。長者大喜。却後七日第一夫人即覺有娠。月滿生男名須菩提。色像第一聰明辯才。博愛多曉貴賤推敬。其見聞者有所作為。轉以法樂勸益一切。諸父兄弟共嫉恚之。語其母言。此兒不念。治家遊蕩無度。母言。此兒福德不與凡同。後須菩提索食母令婢預洗空器。答其無有。須菩提發器視之。自然百味飯香美。一切共食皆得安隱。諸父兄弟方知非凡。請佛及菩薩大眾設食。食畢兒從父母求作沙門。父即聽之。隨佛還祇洹。即作沙門。應時得阿惟顏。在弟子中現作羅漢(出十卷譬喻經第一卷)。

阿那律端正或謂美女欲意往向自成女人十一

阿那律已得羅漢。有美顏容似於女人。獨行草中。時有年少見之。謂是女人。邪心既動欲往犯之。知是男子。自視其形變成女人。慚愧欝毒。自放深山遂不敢歸。經踰數年。其家妻子生不知處。謂已死亡。阿那律行分衛往至其家。婦人涕泣自說其夫不歸。乞與福力使得生活。阿那律默然不應。有哀念故乃至山中求與相見。此人便悔過自責。其身還成男

子。遂得歸家家室相見也(出舊譬喻經下卷)。

阿那律化一婬女令得正信十二

佛在祇樹園。時阿那律。往拘薩羅國。路無比丘住處。有一年少婬女安止賓客。阿那律即往語言。大姊欲寄止一宿。女答言。爾時有長者居士。亦投彼宿。住處既迫。女請阿那律入其內舍。爾時尊者在其坐處。結加趺坐繫念在前。時不淨行女然燈竟。於初夜末往阿那律所語言。近有諸長者婆羅門種。多諸財寶。皆來語我言。可為我作婦。我即語彼。汝等醜陋。不能為汝作婦。我觀尊者形貌端正可為我夫。時阿那律默然不答。女到後夜又復如是。由故默然。時此婬女既脫衣來欲抱持之。時阿那律以神足力。踊身空中。婬女見之生慚愧。即疾著衣叉手合掌。仰向懺悔如是至三。願尊者還坐本處。時阿那律即下本坐。此女人禮足却坐一面。阿那律為說種種妙法訶欲不淨稱讚離欲。女人即坐諸塵垢盡得法眼淨。時女見法既得法已。唯願聽許為優婆夷。即受五戒為佛弟子。仰願尊者受我供養。默然受之。施設種種甘饍食竟。說法令心歡喜(出四分律初分第八卷)。

阿那律先身為劫以箭挑佛燈得報無量十三

阿難白佛。阿那律天眼所見。與佛何異。佛謂阿難。如來所見。非羅漢辟支佛所知。況汝生死比丘。何能知我如來徹視從此東去恒沙等剎。恒者謂江河耨池至于大海。廣四十里。中沙辟方下至底。百二十斛。過一剎置一沙盡爾所沙。佛土所有人物之類。幽邃之處朦昧之物。眾生微形皆悉見之。周匝十方皆亦如是。阿那律所見。何足言持比佛乎。阿難白言。阿那律宿有何緣所見乃爾。佛言。往昔惟衛佛泥洹後。有劫賊行劫所得過佛圖中。欲盜神寺中物。時佛前燈火欲滅闇無所見。賊以箭正燈炷。使明燈明。見威光曜目歡然毛豎。心自念言。眾人尚持寶物求福。我云何盜取乎。即便捨去。九十一劫諸惡漸滅。福祐日增。爾時賊者阿那律是。緣正燈福恒生善處。值遇見佛出家得道徹視第一。何況至心割所珍愛。然燈佛前福難量也(出譬喻經第二卷)。

阿那律前生貧窮施緣覺食七生得道十四

佛在鹿野苑中。阿那律語諸比丘。我念過去。在此波羅奈為貧窮人。客作荷擔以自存活。時世穀貴飢餓多有終者。乞食難得。有辟支佛。名披栗吒。亦依此住。時辟支佛早起乞食。時我早起出欲荷擔。見辟支佛。我荷擔還又復見之。便作是念。是人早起時我見之。今又見出必未得食。便隨我後至于我家。即作此念。意欲請之。即便分食持至其所。到已語言仙人。此是我分。當慈愍我故納此食。時辟支佛以鉢受半。汝自食半可為俱足。答言。仙人。我有家居得隨時食。汝仙人見慈盡受此施。此辟支佛以慈愍故。而盡受之。我因此施七生天上。得為天王。七生人間亦為人王。今生釋種財富無量。棄此出家學道得證(出中阿含經第十二

卷)。

阿那律等共化跋提長者及姊十五

阿那律。大迦葉。目連。賓頭盧共議。今王舍城。有不信樂佛法僧者。我等當共令其信樂。作是議已。遍觀遠近。唯見跋提長者及其姊不信三寶。上三聲聞言。能化跋提。時彼長者作七重門。有三部伎。若欲食時七門皆閉。一食作一部伎。阿那律於其食時在其前乞。長者問言。從何處入。答從門入。即問守門。門閉如故。不見人入。長者便以一片麻餅著其鉢中。得已即去。於後食時。迦葉復乞亦復如是。得一片魚著其鉢中。其姊問言。意謂比丘不能得而來乞耶答言如是。姊言。前來比丘名阿那律。釋種之子。捨三時殿五欲之樂。出家學道。後來比丘是畢波羅延。摩納大姓之子。捨九百九十田宅犁牛。出家學道。愍念君故來乞食耳。長者聞已內懷敬伏。於是目連。飛空說法示教利喜。即於坐上遠塵離垢得法眼淨見法得果。即受歸戒。上三聲聞語賓頭盧。我等今者。已化跋提令其信法。汝今宜行次化其姊。時賓頭盧晨朝持鉢往到其舍。時長者姊手自作餅。忽見來乞便。語之言。不與汝。一心視鉢欲以何為。賓頭盧便身中烟出。復語言。舉身煙出亦不與汝。賓頭盧便舉身火然。復語言。舉身火然亦不與汝。賓頭盧便飛騰虛空。復語言。飛騰虛空亦不與汝。賓頭盧便倒懸空中。復語言。倒懸空中亦不與汝。賓頭盧作是念。世尊不聽我等強從人乞。便自出去。王舍城不遠有大石。賓頭盧坐其上。合石飛入王舍城。城中人見皆大怖懼。恐石落地莫不馳走。至長者姊上便住不去。彼見是已即大恐怖。白言。願施我命反石於先。我當與食。賓頭盧便持石還著故處至其前住。長者姊作是念。我不能以大餅施之。當更作小者與之。便作小丸輒反成大。如是三反轉大於前。乃作念言。我欲作小皆反成大。我今便可趣與一餅。即以一餅而授與之。諸餅相連并至餅器。以手捉器手亦著之。便語賓頭盧言。汝若須餅盡以相與。全出與不惜。何須我為。而令我手著。答言。我不須餅。亦不須器。亦不須汝。我等四人共議。度汝及第二人。已化汝弟。我應度汝。所以爾耳。問言。今欲令我何所施作。答言。姊妹可戴此餅。隨我施佛及千二百五十比丘。皆悉飽滿猶故不盡。持往白佛。我此少餅。供佛及僧。皆悉飽滿。猶故不盡。今當持此著於何處。佛言。可著無生草地。若無蟲水中。彼女人便持著無蟲水中。水沸作聲如以熱鐵投于小水。便生恐怖。還至佛所。佛為說法得法眼淨。即受歸戒如弟子無異。諸長老等以是白佛。佛即訶責諸比丘。從今不聽復現神足(出彌沙塞律第三十卷)。

經律異相卷第十三

經律異相卷第十四(聲聞無學第二僧部第三)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 舍利弗退大乘而向小道一
- 舍利弗從生及出家得道二
- 舍利弗請佛制戒三
- 舍利弗受灌園人浴令生天上四
- 舍利弗化人蟒令生天上五
- 舍利弗入金剛定為鬼所打不能毀傷六
- 舍利弗性慤難求七
- 舍利弗先佛涅槃八
- 舍利弗目連角現神力九
- 目連使阿耆河水漲作寶橋度佛十
- 目連為母造盆十一
- 目連為魔所嬈十二
- 目連勸弟施并示報處十三
- 目連伏菩薩慢十四
- 目連以神力降化梵志十五
- 目連化諸鬼神自說先惡十六
- 目連現二神足力降二龍王十七
- 目連遷無熱池現金翅鳥十八
- 目連三觀不中其心皆實十九
- 目連心實事虛二十

舍利弗退大乘而向小道一

舍利弗於六十劫中行菩薩道。欲度布施河時有一人來乞其眼。舍利弗言。眼無所任何以索之。若須我身及財物者當以相與。答曰。唯欲得眼。舍利弗出一眼而與之。乞者得眼唾而脚踏。舍利弗言。如此等人難可度也。不如自調早伏生死。於是迴向小乘(出大智度論第十二卷)。

舍利弗從生及出家得道二

南天竺有婆羅門。名曰提舍。為大論議師。其妻懷妊。夢見一人身披甲冑手執金剛。摧破諸山在山邊立。提舍聞之曰。汝當生男摧伏諸論議師。唯不如一人為作弟子。懷妊以後。母大聰明甚能論議。弟拘郗羅與姊言談。每事屈滯。知所懷子必大智慧。捨家學問不暇剪爪。時人呼為長爪梵志。姊生兒七日。字曰優波提舍(出曜經云優波替)時人以母所生。共為之號名舍利弗。年始八歲誦十八部經。通解一切書籍。時摩伽陀國有龍王兄弟。一名吉利。二名阿伽羅。降雨以時國無荒年。人民感之。常以仲春之月。一切大集。至龍住處為設大會。作樂談義終此一晨。自古

及今斯集未替。敷四高座。一為國王。二為太子。三為大臣。四為論士。舍利弗八歲之身。觀察時人神情囑向。無勝己者。便昇論座結加趺坐。眾人疑怪。或謂愚小無智。或謂智量過人。雖復嘉其神異。猶懷矜恥。以其年少不自與語。皆遣年少弟子傳言問之。答酢流便辭理超絕。時諸論師歎未曾有。愚智大小一切皆伏。王大歡喜。即命有司封一聚落常以給之。國內大小無不慶悅。時吉占師子名拘律陀。姓大目犍連。舍利弗共為親友。舍利弗才明見貴。目犍豪爽致知。才智相比行止必俱。結要終始。後俱厭世出家學道。作梵志刪闍耶弟子。問於師曰。所求道所得。師答之曰。自我求道彌歷年歲。不知為道果無耶。我非其人耶。而亦不得。他日其師寢疾。舍利弗在頭邊立。大目連在足邊立。喘喘然其將終。乃愍爾而笑。二人問笑意。師答之言。世俗無眼為恩愛所侵。我見金地國王死。其大夫人自投火[卄/積]求同一處。而此二人。行報各異生處殊絕。是時二人筆受師語。欲以驗其虛實。後有金地商人。遠來摩伽陀國。二人以疏驗之。果如師語。乃撫然歎曰。我等非其人耶。為是師隱我耶。二人相與誓曰。若先得甘露要畢同味。佛度迦葉兄弟千人。次遊王舍城。時一比丘名阿說示(五人之一)著衣持鉢入城乞食。舍利弗見其容儀超異諸根靜默。問曰。汝師是誰耶。答曰。釋種太子。厭老病死苦出家學道得無上菩提。是我師也。舍利弗言。為我說汝師教授法。答曰。我年既幼稚。學日又初淺。豈能宣至真。如來廣大義。又曰。略說其要。答曰。諸法因緣生。是法因緣滅。舍利弗即得初道(出曜經云得無著果)。還為目連說亦得初道。二師為各與二百五十弟子俱到佛所。佛遙見之。指舍利弗。是我弟子中智慧第一。又指目連云。神足第一。今與其弟子大眾俱來。白佛言。我等願從佛法出家。佛言。善來比丘。即時鬚髮自落。法服著身。衣鉢具足。受成就戒。過半月後。聞佛為長爪梵志說法。即得阿羅漢道(出大智論第十一卷)。

舍利弗請佛制戒三

佛住舍衛城。舍利弗請佛制戒。諸比丘言。云何未有過而求制戒。佛言。舍利弗不但今日未有過而請制戒。其往昔時。在一聚落。人民居士未有過患。亦嘗請我制諸刑罰。時國名迦尸。城名波羅棕。國王名淨稱。淨稱以法治化。布施持戒以道汎愛。人民致盛富樂豐實。村里邑屋雞飛相接。舉國相敬常作諸伎共相娛樂。時有大臣。名曰陶利。多諸謀策。白王言。今日境內自然富樂。人民相敬。願王制立刑罰。莫令樂極生過。王曰。即諸大臣聰明有智。多有朋黨不可卒制。若一訶責或生釁咎。王欲薄啟其。乃說偈言。

縱力喜瞋怒　哀愍必治制　化民以正法　令心無怨蔽

大臣咸喜。亦說偈言。

最勝人中尊　調伏久住世　以道治蒼生　慈陰無極際

佛言。淨稱者則我身是。大臣者舍利弗是(出僧祇律第一卷)。

舍利弗受灌園人浴令生天上四

舍利弗。夏盛熱時。遊菴羅園。一客作人汲井水灌樹。於佛無有大信。見舍利弗發小信心。喚舍利弗言。大德來。脫衣樹下坐。我以水澆不失溉灌。兼相利益。舍利弗脫衣受洗。身得涼樂隨意遊行。此客作人其夜命終。即生忉利天上。有大威力。次釋提桓因。便自念言。我何因生此。自觀宿命。信心微薄。因客作溉灌。汲水洗浴舍利弗身。我若信心純厚。知必有報故設浴具以為供養。自惟為功雖少。以遇良田獲報甚多。即詣舍利弗所。散華供養。舍利弗因其淨信之心。為說法要得須陀洹道(出雜藏經)。

舍利弗化人蟒令生天上五

昔舍衛國一旦雨血。縱廣四十里。王與群臣咸大驚怪。即召諸道術及知占候使推為吉凶。占者對曰。舊記有云。雨血之災。應生人蟒毒害之物。宜推國內彰別災禍。王曰。何以別知。占師曰。是為人蟒難可別知。誡勅國中。有新生小兒悉皆送來。以一空甕使眾兒唾中。中有一兒唾即成火焰。當知此兒正是人蟒。議曰。此不可著人間。即徙置閑隱無人之處。國中有應死者可送與之。人蟒吐毒殺人如是。前後被毒所殺七萬二千人。後有師子來出震吼之聲。四千里內人物懾伏。周流暴害莫能制御。於是國王即募國中能却師子者。與金千斤封一大縣。無有應者。眾臣白王。唯當有人蟒能却。勅使往喚人蟒。人蟒逢見師子至。往住其前毒氣吹。師子即死國致清寧。後時人蟒年老得病命將欲終。佛憫其罪重一墮惡道無有出期。告舍利弗。汝往訓之。使脫重殃。舍利弗便忽往其前。蟒大隆怒。念曰。吾尚未沒。為人所易無所開白。徑來我前。便放毒氣謂能害之。舍利弗。以慈慧攘却。光顏舒懌一毛不動。三放毒氣而不能害。即知其尊。意解善生。更以慈心上下七反視舍利弗。舍利弗便還精舍。吸氣人蟒終于其日。即天地大動。極善能動。天地極惡。亦能動。時摩竭王。即詣佛所稽首于地。問世尊曰。人蟒命終當趣何道。佛言今生第一天上。王聞佛語。怪而更問。佛言。大罪之人何得生天。佛言。以見舍利弗慈心七反上下視之。因是之福生第一天。福盡當生第二天上。至七反以後當得辟支佛而般涅槃。王白佛言。七萬二千人罪不復償耶。佛言。末後作辟支佛時身當如紫磨黃金。時當在道邊樹下坐定意。時當有大軍眾七萬餘人。遇見辟支佛謂是金人。即取斫破各各分之。定墮手中視之是肉。皆還聚置而去。因是般泥洹。今世之罪乃爾薄償便畢。佛告王。遇善知識者。山積之罪可得消滅。亦可得道(出譬喻經第九卷)。

舍利弗入金剛定為鬼所打不能毀傷六

佛在羅閱城迦蘭陀竹園。時尊者舍利弗在耆闍崛山中。入金剛三昧(雜阿

含云新剃鬚髮)是時有二鬼。一名伽羅。二名優婆伽羅。毘沙門天王使遣。至毘留勒叉王所。欲論人天之事。是時二鬼。從彼虛空而過。遙見舍利弗結加趺坐繫念在前意寂然定。伽羅鬼謂彼鬼言。我今堪任以拳打此沙門頭。優婆伽羅鬼語第二鬼曰。汝勿興此意打沙門頭。所以然者。此沙門極有神德有大威力。世尊弟子中聰明智慧最為第一。備於長夜受苦無量。是時彼鬼再三曰。我能堪任打此沙門頭。優婆伽羅鬼報曰。汝今不隨我語者。汝便住此。吾捨汝去。此惡鬼曰。汝畏沙門乎。優婆伽羅曰。我實畏之設汝以手打此沙門者。地當分為二分。當暴風疾雨地亦振動。諸天驚怖四天王已知。我等不安其所。是時惡鬼曰。我今堪任辱此沙門。善鬼聞已便捨而去。時彼惡鬼即打舍利弗頭。是時天地大動四面暴風疾雨尋時來至。地分為二分。惡鬼全身墮地獄中(雜阿含云舍利言燒我煮我。伽吒鬼陷地獄中)。舍利弗從三昧起。正衣服往詣竹園。至世尊所頭面禮足在一面坐。時佛告舍利弗。汝今身體無疾病乎。舍利弗言。體素無患唯苦頭痛。世尊告曰。有伽羅鬼手打汝頭。若當彼鬼。以手打須彌山者。山便為二分。所以然者。彼鬼有大力。今此鬼受其罪報故全身入阿鼻獄中。爾時世尊告諸比丘。甚奇甚特金剛三昧力。乃至於斯由此三昧無所傷害。正使須彌山打頭者終不能動其毛。所以然者。比丘聽之。於此賢劫中有佛。名拘樓孫。彼佛有二大聲聞。一名等壽。二名大智。等壽神足第一。大智智慧第一。如我今日舍利弗智慧第一。目揵連神足第一。時等壽大智二比丘。俱得金剛三昧。等壽一時在閑靜處入於寂定。時牧牛羊人取薪草人。見各相謂言。此沙門今取無常。即共集草木積其身上。以火焚燒捨之而去。是時等壽尋從定起。正衣服入村乞食。諸取薪人還見比丘。各相謂言。此比丘昨日命終。我等以火焚燒。今日還活。今當立字號還活。若比丘得金剛三昧者。入水火刀劍不能中傷。金剛三昧威德如是。今舍利弗得此三昧。多遊二處空空三昧金剛三昧(出增一阿含經第三十卷)。

舍利弗性慳難求七

舍利弗等受六群比丘尼請。設多美飲食。下座及沙彌。與六十日稻飯胡麻滓合菜煮。佛問羅睺羅。僧飲食飽足不。具答。又問有誰上座。又答和上舍利弗。佛言。舍利弗食不淨食。舍利弗吐去所食。誓盡形壽斷受外請常行乞食。諸大貴人後欲設僧飯。願得舍利弗。白佛乞勅。舍利弗還受外請。佛言莫求。其性惡慳。其過去時有一國王。為毒蛇所螫。能治毒師作舍伽羅呪收毒蛇來。先作火聚語蛇言。汝寧入火寧還噉毒。蛇思惟。我已吐竟。乃投身火中。毒蛇即舍利弗也(出十誦律序下分又出彌沙塞律第三十一卷。又出僧祇律第四十卷)。

舍利弗先佛涅槃八

佛告阿難。得四神足者。能住壽一劫。如來今者當壽幾許。如是至三。阿難為魔所迷默然不對。又告阿難。汝可起去靜處思惟。即起至林中。

時魔波旬來至佛所。白言。世尊。處世教化度人周訖。蒙脫生死數如恒沙。時年又老可入涅槃。即告魔言。却後三月當般涅槃。波旬聞說歡喜而去。阿難睡夢見有大樹普覆虛空。一切群萌靡不蒙賴。旋風卒起吹激其樹。滅於力士所住之地。一切群生莫不悲悼。阿難驚覺怖不自寧。思惟所夢。將無世尊欲般涅槃。來至佛所而白佛言。我向所夢如斯之事。將無世尊欲般涅槃。佛告阿難。如汝所言。吾後三月當般涅槃。我向問汝。若有得四神足者。能住壽一劫。吾四神足極能修善。如是滿三而汝不對。魔來勸我當取涅槃。吾以許之。阿難悲慟不能自持。其諸弟子展轉相語。各懷悲仰來至佛所。誰得常存。我為汝等。應作已作。應說已說。汝等但當勤修精進何為憂慼。舍利弗聞佛涅槃深懷歎慼。不忍見世尊而取滅度。今欲在前而入涅槃。唯願世尊當見聽許。如是至三。世尊告曰。宜知是時。一切賢聖皆當寂滅。舍利弗即整衣服三業供養却行而去。將沙彌均提羅。詣羅閱祇至本生城。即勅均提。汝往入城及至聚落。告國王大臣舊故知識諸檀越輩來共取別。均提宣告。和上舍利弗將般涅槃。諸欲見者宜可時往。阿闍世王及諸四輩各自馳奔。舍利弗如是種種廣為諸人隨病投藥。眾會有得初果乃至三果。或有出家成阿羅漢者。復有誓心求佛道者。聞說法已作禮而去。於後夜分。正身正意繫心在前入於初禪。從初禪起入第二禪。如是次第入滅盡定。從滅定起而般涅槃。時天帝釋與多天眾來至其所讚歎供養。帝釋又勅毘首羯摩。合集眾寶莊嚴高車送平博地。勅諸夜叉。往大海邊取牛頭栴檀積為大[廾/積]。安身在上蘇油灌之放火闍維。火滅之後。均提。拾取舍利盛著鉢中攝其三衣擔至佛所。阿難悲悼言。法輪大將軍已取涅槃我何憑怙。佛曰。其雖滅度五分法身亦不滅也。

舍利弗過去世時。亦不堪忍見於我死而先我前死。阿難白佛。不審往昔先前取死其事云何。佛告阿難。過去久遠不思議劫。此閻浮提有一國王。名旃陀婆羅脾(梁言月光)。王有二萬夫人婇女。其第一夫人名須摩檀(梁言華施)一萬大臣。其第一者名摩旃陀(梁言大月)。王有五百太子。最大太子。名曰尸羅跋陀(梁言戒莫)。王所住城名跋陀耆婆(梁言賢壽)。其城縱廣四百由旬。周匝凡有百二十門。說大檀施隨眾所須盡給與之。并復告下八萬四千諸小國土。悉令開藏給施。一切眾臣如教。即竪金幢擊於金鼓廣布宣令騰王慈詔。遠近內外咸令聞知。於時國內沙門婆羅門。貧窮孤老有乏短者。強弱相扶集如雲雨稱意與之。閻浮提民蒙王恩澤。有一小國。其王名曰毘摩斯那。聞月光王美稱高大。心懷嫉妬寢不安席。即自思惟。月光不除我名不出。當設方便。請諸道士募求諸人。婆羅門言。王有何憂當見告語。王言。彼月光王名德遠著一切承風。我獨卑陋無此美稱。願得除之作何方便。婆羅門言。月光慈惠澤潤窮厄如民父母。我等何心從此惡謀。寧自殺身不能為此。即各罷散不顧供養。時毘摩斯那益增愁憒。即出廣募周遍宣令。誰能為我得月光頭。分國半治以女妻之。爾時山脇有婆羅門。名勞度差。來應王募。王甚歡喜重語之言。苟能成辦不違信誓。若能去者當以何日。婆羅門曰。辦我行道糧食所須。却後七日便當發引。時婆羅門作呪自護。七日已滿。便來辭王。王給所

須進路而去。時月光國豫有變怪。八萬四千諸小國王。皆夢大王金幢卒折金鼓卒裂。大月大臣夢鬼奪王金冠。各懷愁憂不能自寧。時城門神知婆羅門欲乞王頭遮不聽入。時婆羅門繞城數匝不能得前。首陀會天知月光王以此頭施於檀得滿。便於夢中而悟王言。汝誓布施不逆眾心。乞者在門無由得前。欲為施主事所不然。王覺愕然。即勅大月。汝往詣門勅勿遮人。大月大臣往到城門。時城門神即自現形。白大月言。有婆羅門從他國來。懷俠惡心欲乞王頭是以不聽。大臣答曰。是為大災。然王有教理不得違。當奈之何。當作七寶頭各五百枚用貿易之。即勅令作。時婆羅門徑至殿前高聲唱言。我在遐方聞王功德。一切布施不逆人意。故涉遠來欲有所得。王聞歡喜迎為作禮。問訊行道不疲極耶。隨汝所願。婆羅門言。一切外物雖用布施非我所須。我故遠來唯乞王頭。若不孤逆當見施與。王聞是語踊躍無量。婆羅門言。若施我頭何時當與。王言。却後七日當與汝頭。

爾時大臣持七寶頭來。前語婆羅門言。此王頭者骨肉血合不淨之物用索此為。今持爾所七寶之頭以用貿易。汝可取之。博易足得終身之富。婆羅門言。我不用此。欲得王頭全我所志。時大月臣種種曉喻永不迴轉憤感心裂七分而死。王前勅語。臣下乘八千里象遍告諸國言。月光大王却後七日當持其頭施婆羅門。若欲來者速時馳詣。爾時八萬四千諸王馳驛而至。咸見大王腹拍王前。閻浮提人賴王恩澤。云何一日為一人故永捨眾庶更不矜憐。唯願垂憫莫以頭施。一萬大臣皆身投地腹拍王前唯見哀憫矜恤我等。莫以頭施。二萬夫人亦身投地仰白王言。莫見忘捨唯垂蔭覆。若以頭施我等何怙。五百太子啼哭王前。我等孩幼當何所歸。願見愍念莫以頭施。長養我等得及人倫。於是大王告諸臣民夫人太子。計我從本受身已來。涉歷生死由來長久。若在三塗截斷其頭死而復生。如是無數亦無福報。若生人間諍於財色。為貪恚癡恒殺多身。未曾為福而捨此命。今我此身種種不淨會當捐棄不能得久。捨此穢頭用貿大利何得不與。我持此頭施婆羅門。以是功德誓求佛道度汝等苦。今我施心垂欲成滿。慎莫遮我無上道意。一切諸王臣民夫人太子聞王語已默然無言。爾時大王語婆羅門。欲取頭者今正是時。婆羅門言。今王臣民大眾圍遶。我獨一身力勢單弱不堪此中而斫王頭。欲與我者當至後園。爾時大王告諸小王太子臣民。汝等若必愛敬我者。慎勿傷害此婆羅門。作此語已。共婆羅門入於後園。時婆羅門又語王言。汝身盛壯力士之力。若遭斫痛儻復還悔。取汝頭髮緊繫在樹爾乃能斫。時王用語語婆羅門。汝斫我頭墮我手中然後取去。今以頭施用求無上正真之道誓濟群生。時婆羅門舉刀欲斫。樹神見此甚大懊惱。如此之人云何欲殺。即以手搏婆羅門耳。其頭反向手脚了戾。失刀在地不能動搖。爾時大王仰語樹神。我過去已來於此樹下。曾以九百九十九頭以用布施。今捨此頭便當滿千。捨此頭已於檀便具。汝莫遮我無上道心。爾時樹神聞王是語。使婆羅門平復如故。時婆羅門便從地起。還更取刀便斫王頭頭墮手中。爾時天地六反震動諸天宮殿掉動不安。各懷恐怖怪其所以。尋見菩薩為一切故捨頭布施。皆悉來下感其奇特悲淚如雨。因共讚言。月光大王以頭布施。於檀

波羅蜜今已得滿。音聲普遍。彼毘摩羨王聞此語已。喜踊驚愕心擘裂而死。時婆羅門擔王頭去。諸王臣民夫人太子。已見王頭自投于地。同聲悲叫絕而復蘇。時婆羅門嫌王頭臭即便擲地脚蹴而去。或復有人語婆羅門。汝之酷毒劇甚乃爾。既不中用何為乃索。時婆羅門進道而去。人見便責無給食者。飢餓委悴困切極理。道中有人自問消息。知毘摩羨王已復命終。失於所望及勞度差命終。皆墮阿鼻泥犁。其餘臣民思念王恩感結死者皆得生天。如是阿難。欲知爾時月光王者。今我身是。毘摩羨王今波旬是。時大月大臣今舍利弗是。當於爾時不忍見我死而先我前死。乃至今日不忍見我入於涅槃。而先滅度(出賢愚經第五卷及方便佛報恩經大同小異)。

舍利弗目連角現神力九

佛在舍衛城祇樹給孤獨園。時世尊於十五日說戒。時諸比丘僧及五百比丘眾(大智度論云五百大羅漢)從祇洹沒詣阿耨達池。時阿耨達龍王至世尊所頭面禮足在一面坐。觀如來顏色及諸比丘。即白佛言。觀此眾中皆空無所有。舍利弗比丘今無此座。佛告目連言。汝速至舍利弗所以我聲告。目連承教。往舍衛城謂舍利弗言。佛呼汝來阿耨達龍王欲得相見。舍利弗自解祇衼帶著目連前。謂目連曰。汝有神足舉此衣帶結閻浮提樹。目連執帶不能移動。盡力欲舉地皆大動。舍利弗便恐目連著弗于逮。又以纏須彌山。目連便舉動須彌山。舍利弗復以此帶纏如來坐。目連遂不能動捨帶還龍王所。遙見舍利弗已在前至。結加趺坐直身正意繫念在前。至世尊所頭面禮足白言。我不失神足耶。何以故。我從祇洹前沒不現後至此池。舍利弗後沒不現先至在坐。世尊常說我第一云何後至。佛曰不退。舍利弗比丘有大智慧。還舍衛城眾亦生疑。佛告目連。眾多比丘無恭敬心於汝言舍利弗神足勝汝。可於此眾中現其威力。對曰承教。即於坐起往須彌山頂。以一足蹈須彌山頂。舉一足著梵天上。蹴須彌山使地六反震動。時以梵音而說此偈。

當速求方便　於此佛法眾　當除生死患　如象食竹葉　若於此佛法
修諸無欲業　已除諸塵勞　亦盡若源本

時諸比丘歎未曾有。大目揵連說此偈時。六十比丘因此漏盡意解(出增一阿含經第二十七卷)。

目連使阿耆河水漲化寶橋渡佛十

舍衛城人勸化大會。飯九十六種出家人。復請波斯匿王及太子群臣諸聚落主。宿舊長者及薩薄等。先一日集阿耆河岸上。前至為上座目連。使河水暴漲泡沫彌岸。諸外道等競縛[竺-二+椑]筏。適欲先渡取第一座。而水激急迴覆漂還。竟夜疲苦[竺-二+椑]筏破散沒溺寒凍。上於岸邊向日而蹲。時祇洹精舍有人請僧。佛住待時。有年少比丘言。世尊出晚恐

外道得上座去。佛知時到。與諸大眾威儀庠序俱詣河上。諸外道言。我等不能得渡。此諸沙門當作何計。目連化作寶橋種種嚴飾花香伎樂。諸外道見各作是言。沙門來遲我等先渡。蹈橋墮水身服濡濕軍伏隨流。佛以神力令無死者。佛與比丘儼然而進。次第庠序隨進步處寶橋即滅。目連攝其神力。地還如故。使諸外道皆悉得進。佛說偈言。

先得至此岸　已渡生死海　疾流不能漂　是名正智者(出僧祇律第六卷)

目連為母造盆十一

目連始得道。欲度父母報乳哺恩。見其亡母生餓鬼中。不見飲食皮骨相連。目連悲哀。即鉢盛飯往餉其母。母得鉢飯食未入口化成火炭。目連馳還具陳此事。佛言。汝母罪根深結。非汝一人力所奈何。當須眾僧威神之力乃得解脫。可以七月十五日。為七世父母厄難中者。具飯五菓汲罐盆器香油鋋燭床褥臥具盡世甘美供養眾僧。其日眾聖六通聲聞緣覺菩薩示現比丘在大眾中。皆同一心受鉢和羅具清淨戒。其有供養此等僧者。七世父母五種親屬。得出三塗應時解脫衣食自然。佛勑眾僧。皆為施主家七世父母。行禪定意然後食供(出盂蘭經)。

目連為魔所嬈十二

目連夜行。弊魔化作澈影入目連腹中。目連自念。吾腹何故雷鳴如飢負擔。入定觀見。即謂之曰。弊魔且出。莫嬈如來及其弟子。魔即恐懼所化澈影出住身前(出弊魔試目連經)。

目連勸弟施并示報處十三

目連有同產弟。饒財多寶庫藏盈滿。僕從奴婢不可稱計。目連告弟曰。聞卿慳嫉不好惠施。佛常顯說夫人惠施獲報無數。卿弟聞兄教開藏惠施。更新立庫欲受其報。未經旬日。財寶竭盡故藏悉空新藏無報。其心懊惱向兄說曰。前見告勑施獲大報。不敢違教竭藏惠施。當來過去諸貧窮者靡不周遍。寶貨竭盡新藏無報。將無為兄所疑誤乎。目連曰。止止莫陳此語。無使異學邪見之士聞此麁言。若使福德當有形者。虛空境界所不容受。吾今權此示汝微報。若欲見者從隨我來。目連以神足力。手接其弟至第六天。彼有宮殿七寶合成。前後浴池香風遠布。庫藏盈滿不可稱計。玉女營從數千萬眾。純女無男亦無夫主。弟問目連。是何宮殿巍巍乃爾。不見有男純是女人。目連告弟。汝自往問。曰是何宮殿。天女報曰。閻浮提內迦毘國。釋迦文佛神力弟子。名曰目連。有弟大富好喜惠施周窮濟乏。命終之後當來生此與我等作夫。其人聞喜善心生焉。還至兄所大懷慚愧。頭面懺悔還至世間廣施不悋(出目連弟布施望即報經)。

目連伏菩薩慢十四

目連承佛聖旨。西方有一世界。名光明幡。佛名光明王。現在說法。目連到彼聽佛語辭。其身長四千里。諸菩薩身長二千里。其諸菩薩所食鉢器。其高一里。目連行鉢際上。時諸菩薩白世尊曰。唯然大聖。此蟲何從來。被沙門服。行鉢際上。於時彼佛言。諸族姓子慎勿發心輕慢此賢。所以者何。今斯少年名大目連。是釋迦文佛聲聞弟子中神足第一。時光明王佛告大目連。吾土菩薩及諸聲聞。見卿身小咸發輕慢。仁當顯神足力承釋迦文威德。目連稽首足下右遶七匝却在佛前。白言。今欲跏趺此地容不。佛曰。如意所樂。時大目連踊在虛空億百諸仞。在彼寶城便作一床。跏趺而坐。從其床座垂眾寶珠億百千絃。一一珠瑛出百千光。一一光明各有蓮華。一切蓮華現釋迦文身坐蓮華上。其所言說如釋迦文。音響清淨班宣經典等無有異。目連顯神足已。復住佛前。時諸菩薩歎未曾有。白佛言。是目連以何等故詣此世界。世尊告曰。欲試釋迦文佛音響所澈遠近故到此土。時光明王佛告大目連。仁者不宜試如來音響。如來音響無遠無近廣遠無量不可為喻。時大目連自投足下改懺悔過。唯然世尊。我身不敏。佛音無量而橫生心欲知其限。其光明王告大目連曰。汝雖遠來到此佛土。復白佛言。甚遠天中天。身勞極不能復還至其本土。世尊告曰。云何以汝神力到此世界。故是世尊釋迦文佛威德所立。當遙自歸稽首作禮於釋迦文佛。自當得至。假使卿身以己神足欲還本國一劫不至。目連右膝著地向於東方釋迦文佛所叉手自歸。屈申臂頃即時得至(出蜜迹金剛力士經第三卷)。

目連以神力降化梵志十五

佛告目連。有一大國。去斯八千處在邊境。不覩三尊習於顛倒。王及臣民奉事梵志。有五百人並得五通。能移山住流分身變化。國有大山塞民徑路舉國患之。王向梵志說。梵志等即繞山坐。各一其心以道定力山起欲移。佛告目連。汝往彼國現神道化長濟度梵志及國君民。令遠三塗永處福堂。目連放光遏絕日月懸處虛空。當其山頂山為不動。梵志驚曰。此山已起誰抑之乎。日無精光此將有以。中有明者觀眾弟子。誰穢濁者令山不移。仰頭觀見覩一沙門當其山上。梵志僉曰。正是瞿曇弟子所為。梵志呼曰。王令吾等為民除患。汝抑之為。目連答曰。吾自懸虛誰抑汝山。梵志三盡道力欲令山移。山又三下遂成平地。梵志顧相謂曰。夫有明達道德深者則吾師也。咸興正服稽首敬白。願為弟子。示吾極靈。目連曰。汝等欲去冥就明者善。吾有尊師。號曰無上正真天中之天。為一切智。汝等皆往到佛所。諸梵志曰。佛之道化寧踰於師乎。目連答曰。佛德如須彌。吾等似芥子。汝等尋吾後。即至佛前具陳其情。內外清淨。唯願世尊。蕩其微垢令成真淨。梵志見佛。心開意解皆作沙門(出佛說志心經)。

目連化諸鬼神神自說先惡十六

昔目連至雪山中。化諸鬼神及龍。閱叉阿須倫揵陀羅等。時有一揵陀羅

神。居七寶宮。與眾超絕身形端正聰明殊特。然人身狗頭。目連怪問。何以乃爾。答曰。吾維衛佛時大富長者也。憙飯比丘梵志供給貧乏。為人急性憋惡。麁言罵詈直出不避老少。飲食人客小不可意便云。不如餧狗。以是言之故狗頭人身。好施供養受此福堂(出諸經要事)。

目連現二神足力降二龍王十七

佛命長老阿那邠坻。當行布施。即起長跪叉手白佛。願佛眾僧。明日降神到舍。欲設麁飯。佛默然受。佛告諸比丘。明旦當上天投日中下會邠坻舍飯。佛以明旦與諸比丘。如彈指頃即昇虛空。時有羅漢。名曰弘檀。即正衣服於虛空中白佛言。我數上天未曾闇冥如今。佛言。有兩龍王大瞋吐霧。是故冥耳。復有羅漢名曰受彼。即白佛言。余欲止之。佛言。龍有大威神。汝往必當興惡吐水。設復殺人民蠕動之類。目連白佛。我欲往諫佛言大善。目連即到龍所。龍見目連即口出烟須臾出火。圍目連一重。目連以道意亦化出火圍龍三重。復變身入龍目中。左入右出右入左出。如是次第從耳鼻入出或飛入其口。龍謂目連在其腹中矣。目連復變身圍龍十四重以身勅兩龍。龍大恐怖尾扇海水動須彌山。佛遙告目連。此龍尚能吐水沒殺天下。汝且慎之。目連白佛。我有四禪神足常信行之。我能取是須彌山及兩龍。著掌中拋擲他方。又能以手撮磨須彌山令碎如塵。使諸天人無覺知者。兩龍聞之即便降伏。目連還復沙門。龍化為人稽首作禮悔過目連。愚迷狂惑不識尊神。觸犯雲霧乞哀原罪。兩龍懺悔前受五戒。稽首佛足作禮而去(出降龍經)。

目連遷無熱池現金翅鳥十八

時阿耨達與其眷屬。三月請佛。入無熱大池供養。并諸神通果辦菩薩及弟子眾許其半月。龍喜興雲震電降雨普遍天下。忽然之頃還昇宮中召五百長子。其名善牙善施等。五百長子。吾今以請平等正覺及眾菩薩諸弟子。俱盡其半月。汝等當同一心廣相勉勵加敬世尊。勤念無常當各寂靜。謙恪恭肅住侍如來。棄捐欲意及龍戲樂。除貪怒害。離色聲香味細滑。所以者何。世尊無欲安詳仁雅。審諦調從承佛要誡。汝等半月無得入宮除婬恚愚癡。如來宣講法故必有他方神通菩薩。釋梵持世宿淨天子當普來會。汝等勤念廣施慎勿中懈。令諸會眾觀變踊躍。於雪山下無熱池中。化無瑕琉璃座。縱廣七百由旬。周匝列置八萬四千雜寶珂樹。諸堂上有師子座八萬四千皆大高廣。有龍婇女各二千人。其色姝妙姿媚無量。口出熏香擎持雜花末香塗香。調作諸妓以詠佛德興悅眾會。於虛空中幡綵垂間寶鈴和鳴音踰諸聲。施饌百味與其眷屬。遙啟世尊。佛與八萬四千菩薩皆大神通。弟子二千亦上神足。到無熱王宮。目連承佛神旨。遷無熱池現於虛空去地七丈。化身色像若金翅鳥王住龍宮上。便告王言。如來至也。龍眾驚怖毛竪四走藏竄。龍王慰之曰。且各安心勿恐。此為賢者大目連作耳。倡伎相應進迎正覺及諸弟子至無熱池。設廣博場師子之座。龍與其眾手自執斟所設饌具。踰世甘肥。延有天味以用

供養。飯畢洗器竟。佛為說法。一切會者各懷踊躍(出弘道廣顯三昧經第三卷)。

目連三觀事不中其心皆實十九

佛住舍衛城。時諸比丘集在一處。共作是論。善法講堂柱柱樑不。目連言。柱樑。又有一無歲比丘言。不柱。即遣神足比丘往看。還言不柱。諸比丘語目連言。汝不知。何故言柱。妄語不實應擯驅遣。即集眾僧。佛乘神足從空而來。知而故問。諸比丘。汝作何等。答言。目連乃至不柱答柱。不實妄語欲作羯磨。佛問無歲比丘。汝云何知不柱。答言世尊。我曾一時。在善法講堂坐禪。佛語目連。汝何故不自看。汝應審實。目連心實而不犯戒(出僧祇律第二十九卷)。

目連心實事虛二十

人問目連。是多浮池水從何處來。目連答言。此水從阿耨達池中來。諸比丘言。阿耨達池其水甜美有八功德。此水沸熱鹹苦。何有此事。目連。汝空言過人法故。作妄語應滅擯驅出。以事問佛。佛語比丘。汝等莫說目連過罪。何以故。阿耨達龍住處去此極遠。是水本有八功德甜美。逕歷五百小地獄。過是故鹹熱。汝等若問目連是水何故鹹熱。目連能隨相答。又一時大旱無雨。目連入定見。却後七日天當大雨。滿諸溝坑。城邑聚落悉聞此言皆大歡喜。國中人民皆捨眾務覆屏蓋藏。數到七日。諸比丘語目連。汝言七日天當大雨滿諸溝坑。今風尚無何況雨耶。汝空言過人法故妄語欲滅擯驅出。佛聞是事。語諸比丘。目連見前不見後。如來見前亦見後。七日有大雨下。有羅睺阿修羅王。以手接去置大海中。目連隨心想說。是故無罪(出十誦律第四卷)。

經律異相卷第十四

經律異相卷第十五(聲聞無學第三僧部第四)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 優波離為佛剃髮得入第四禪一
- 迦旃延教老母女賣貧遂得生天二
- 難陀得柰女接足內愧閑居得道三
- 難陀有三十相與佛相似四
- 畢陵伽婆蹉以神足化放牧女人五
- 跋難陀為二長老分物佛說其本緣六
- 迦留陀夷非時教化致喪其命七
- 阿難與佛先世為善友八
- 阿難奉佛勅受持經典供給左右九
- 阿難七夢佛為解說十
- 阿難為旃陀羅母以呪力所攝十一
- 阿難乞牛乳佛記其方來十二
- 阿難化波斯匿王施十三
- 阿難試山向比丘并問育王十四

優波離為佛剃髮得入第四禪一

佛在王舍城無敢為剃髮者。唯有一童子。名優波離。為佛剃髮。兒父母在佛前合掌白佛言。甚能剃髮但身太曲。父母教兒小直。又莫太直使出息不得麁大。又言。善能剃頭而身太直。父母語言。莫太直。佛言。善能剃髮。而入息太麁。父母語。莫麁入息令佛不安。又言。善能剃髮。而出息太麁。父母語。莫麁出息令佛不安。時優波離。入出息盡入第四禪。佛告阿難言。優波離已入第四禪。汝取其刀。阿難奉教。阿難持故盛髮器收世尊髮。佛言。不應以故器盛。時有瞿波離王子。將軍征討來索佛鬚髮。佛與。王得不知所安。佛言。安金塔銀塔寶塔雜寶塔中。繒綵鉢肆酘嵐婆衣頭羅衣裹。又云。不知何持。佛言。象馬車乘若輦若輿。若頭肩上擔。時王子持世尊髮去。所往征討得勝。時彼王子還國起佛髮塔。此是世尊在世時塔。後諸比丘行亦用前物盛持。佛言。不應頭戴。亦不應持塔往大小便處。比丘為恭敬故不敢共塔宿。置於別房。佛言。安高杙上或置頭邊(出四分律第四分第三卷)。

迦旃延教老母賣貧遂得生天二

阿槃提國有一長者。多財饒富慳貪暴惡無慈心。時有一婢。晨夜走使不得寧處。小有違失便受鞭捶。衣不蔽形食不充軀年老困悴思死不得。時適持瓶詣河取水。思惟是苦舉聲大哭。時迦旃延來至其所。問言。老母何以。答言。尊者。我既年老恒執苦役。加復貧困衣食不充思死不得。迦旃延言。汝若貧者何不賣貧。女人言曰。貧那可賣誰當買貧。迦旃延

言。貧實可賣如是至三。女言賣。迦旃延言。審欲賣者一隨我語。答言。唯諾。告言。汝先洗浴。洗浴已畢。告言。汝當布施。白言。尊者。我極貧困如今我身無毛許完納。唯有此瓶是大家許當以何施。即授鉢與。汝持此鉢取少淨水。如教取來奉迦旃延。迦旃延受尋為呪願。次教受齋。後教念佛種種功德。即問。汝有住止處不。答言無也。若其磨時即臥磨下。舂炊作使便臥是中。或時無作止宿糞堆。迦旃延言。汝好持心恭謹走使。莫生嫌恨。因伺大家一切臥竟。密開其戶。於戶曲內敷淨草坐。思惟觀佛莫生惡念。爾時老母奉而歸依如勅施行。於後夜中即便命終生忉利天。大家使人草索繫脚拽置寒林。有一天子與五百天人以為眷屬。福盡命終。此老母人即代其處。生天之法。其利根者自知來緣。其鈍根生者但知受樂。爾時此女既生天中。與五百天女。娛樂受樂不知生緣。時舍利弗在忉利天。知此天子生天因緣。問言。天子。汝因何福生天中耶。答言不知。時舍利弗借其道眼觀見故身。由迦旃延得生天上。即將五百天子來至寒林。散華燒香供養死屍光明照曜。大家見之怪其所由。告令遠近詣林觀看。見諸天子供養此屍。即問天曰。此婢醜穢。生存之時人猶惡見。何故諸天而加供養。彼時天子具說本末(出賢愚經第七卷)。

難陀得柰女接足內愧閑居得道三

佛在鞞舍離。時柰女嚴駕羽寶車詣如來所。親覲問訊下車詣佛。時難陀去佛不遠經行。柰女便至難陀行。以手接難陀足。便作是語。難陀。我是柰女。是時難陀即失精精污其手。柰女即以頂戴。往世尊所白言。世尊如此之人聽在眾次。佛告柰女。如是之人應在眾次。所以然者。難陀不久當成就無漏。柰女默然不對而去。柰女不遠。佛告阿難。諸有比丘盡集講堂。既已會竟。佛告比丘。我於比丘中悉觀察。皆當具舍勒以覆內形。如是諸比丘當作是學。佛告難陀。云何難陀。汝乃作如是形狀。難陀內愧。白言。善哉世尊。願速與我說法。使我聞法。在閑靜處如實觀察以自娛樂。佛告難陀。汝觀此身。隨其所行。從頭至足髮毛爪齒。若干不淨盈滿身中。如實觀察。為是淨耶為不淨耶。當觀彼漏。為何處所為從何來。是時難陀從佛受教禮足去。觀此身中從頭至足若干不淨。諸所有處皆悉知彼由合會生。我今當離。則無欲意。便說偈言。

婬我知汝本　欲從思想生　不我思想汝　則汝而不有

是時難陀。在一靜處閑居。成阿羅漢(出增一阿含經第三十九卷)。

難陀有三十相與佛相似四

佛始得道。身色光明相照大千。人民天龍十方菩薩。皆聽說法咸大歡喜。隨其本行皆各得道。佛弟難陀獨不從受。反戾佛教而欲為道。有三十相。將數弟子。著鉢真越衣顏似佛。有諸比丘未得道眼者。遙見難陀

便為作禮。佛告難陀。自今以後不得復著真越衣著皂袈裟。所以者何。汝反我戒受比丘禮。當墮泥犁中(出十分譬喻經第四卷)。

畢陵伽婆蹉以神足化放牧女人五

畢陵伽婆蹉在王舍城。日時將至欲行乞食。至一放牧家食。其家女人啼。即問女言。何故啼耶。答言。闍梨。今節會日眾人集戲。我無衣裳獨不得去。時尊者即化作種種衣服珠寶瓔珞金銀校飾。與已便去。眾人見之問言那得。具說因緣。聞達國王。王即喚牛女及比丘來。問尊者。何處得此好金非世所有。比丘即捉杖打壁扣床一切化成黃金。作如是言。首陀羅何處得金此即是也。王言闍梨。有大神足宜各還去(出僧祇律第二十九卷)。

跋難陀為二長老分物佛說其本緣六

佛在憍薩羅國。與多比丘安居。諸白衣居士見多眾僧。為作房舍及衣。佛後歲還祇洹安居。是處故有二長老比丘。諸居士心念。我等今歲布施使如去年。令諸比丘得衣我得福不斷。多持衣物施二長老。作是念。是衣物分多。我等若分知得何罪竟不敢分。跋難陀遊行諸處遍觀施物多少。二長老遙見。從坐起迎與坐問訊。跋難陀問。眾僧安居有施物不。答有。問言分未。答言未分。何故。長老答言。是衣物多我人少。若分不知得何罪。跋難陀言。汝未分者好。二長老語跋難陀。汝能分不。答能跋難陀言。此中應作羯磨不得直分。時二長老盡持衣出著跋難陀前。跋難陀分是衣作三分。語言。汝二人坐一聚邊。自坐二聚間。語言。汝長老一心聽羯磨言。汝等二人一聚衣名為三。我一人二聚衣名為三。是羯磨好不。答言好。持是衣裹縛欲擔去。二長老言。是聚衣我等未分。云何便去。跋難陀言。我若與汝分者。是中一好衣應與知法人。然後當分。答言與即持一上寶衣出著一邊。分餘衣作二分與二長老。跋難陀即裹縛多衣物。擔負到祇洹。諸比丘經行。遙見跋難陀來。自相謂言。此無慚無愧。有見聞疑罪。多欲無厭人來。漸漸近已。問言。跋難陀。汝從何處得是多衣物來。跋難陀廣說上事。是中有比丘少欲知足行頭陀。聞是事心嫌恨種種訶責。云何名比丘。故奪二長老物。以事白佛。佛亦種種訶責。語諸比丘。是跋難陀。非但今世奪是二長老比丘物。過去世河曲中。有二獺在河中住。河邊得一鯉魚。無能分者二獺守住。有野干來飲水。見已問言。阿舅汝作何等。獺言。外甥。我等得此大魚不能分。汝能為我分不。答言能。此應經書語分不得直爾分。時野干即分魚作三分頭為一分尾為一分。中間肥者作一分。問言。誰喜近岸行。答言。此是。誰喜入深水行。答言。此是。時野干言。汝一心聽說。經書言。近岸行者與尾。入深水行者與頭。中間身分與知法者。爾時野干口銜是大魚身歸。婦見問曰。何處得。答言。有愚癡不知斷事間得。諸比丘。此二獺者。即今二長老比丘是。時野干者。今跋難陀是(出十誦律善誦卷第三僧祇律亦同)。

迦留陀夷非時教化致喪其命七

佛在舍衛國。時長老迦留陀夷得阿羅漢道。心念。先在六群比丘中。於舍衛國污辱諸家。我念當還令得清淨。即便入國度九百九十九家。若夫得道而婦不得。若婦得道而夫不得道。則不在數。時舍衛城有婆羅門家。應以聲聞得度。迦留陀夷念言。我復度此家者。於舍衛城足滿千室。晨朝持鉢入城乞食。到婆羅門舍主人不在。其婦閉門煎餅。迦留陀夷即入禪定起乃彈指。婦即迴顧看門猶閉。作是念。此沙門從何處入。此必貪餅故來。我終不與。若使眼脫我亦不與。而以神力兩眼脫出。復念。出眼如椀我亦不與。即以神力變眼如椀。復念。若倒立我前我亦不與。即以神力於前倒立。復念。若死我亦不與。復以神力入滅受想定。心想皆滅無所覺知。時婆羅門婦牽挽不動。即大驚怖。念是沙門常遊波斯匿王宮。末利夫人之師。若聞在我家死者。我等大衰。彼若活者我與一餅。迦留陀夷便出於定。婦即看餅。先煎者好意惜不與。更刮盆邊復作一小餅煎之轉勝。以先者與。適舉一餅餘皆相著。迦留陀夷言。姊隨心與我幾許。舉得四餅欲持與之。迦留陀夷不受言。我不須是餅若汝欲施者。可以與祇洹中僧。是婦先世已種善根。即自思惟。是比丘僧實不貪餅。但愍我故而來乞耳。即持餅筐詣祇洹中。施諸眾僧。與僧餅竟。在迦留陀夷前坐。時迦留陀夷。觀其因緣為說妙法即於坐上遠塵離垢得法眼淨。歸依三寶作優婆夷。爾乃反舍。時夫後還歸具以白。我今已得須陀洹道。君今可往。是婆羅門即便往詣。迦留陀夷為說妙法。得法眼淨為優婆塞。常盡財力供養闍梨。乃至身死猶命其子如在無異。其子奉命供養如法。子婦於後在機上織。遇見賊主年少端正。婦便喚之婦語之使來共相娛樂。時迦留陀夷往其舍食。為婆羅門婦說婬欲過訶破戒罪。婦即生疑恐知此事或向夫說。即作方便託疾請之。迦留陀夷住為說法。苦相留連乃至日沒。時迦留陀夷起到糞聚。賊主以利刀而斷其頭埋著糞中。至說戒日行籌長一。更相諮訪。佛言。迦留陀夷已入涅槃。夜過已晨。佛與眾僧入舍衛城到糞聚所。佛神力故死屍踊出在虛空中。諸比丘取著床上。持之出城以火燒身起塔供養。波斯匿王聞迦留陀夷某婆羅門家死。即滅七世左右十家皆奪財物。捕取五百賊。悉截手足著祇洹塹中。諸比丘乞食得聞是事。具已白佛。佛言。過罪皆由非時入於聚落(出十誦律三誦第四卷)。

阿難與佛先世為善友八

佛遊波羅奈國。住樹下坐欣然而笑。五色光出。阿難跪問。佛言。昔迦葉佛時。此處有精舍。精舍中有二萬沙門。迦葉佛常說正法。阿難即施繩床跪勸曰。願就尊坐。斯地有福乃致兩佛。佛就坐畢。舉手指曰。彼有大縣其名維綾。時有陶家。名曰歡豫。為子慈愛數詣佛所稟佛清化。雖為陶家未嘗墾土。懼害蟲多。唯取崩岸鼠壤之土。和之為器。以貿五穀。多少在彼未嘗諍價。以供養老親。親老羸乏已且失明。歡豫仁孝難齊。迦葉佛晨興攝衣持鉢入城至歡豫家。問其親曰。孝子安在。對曰。

佛弟子小出耳。家有好飯豆羹。佛以鉢受却坐飯畢即去。子歸覩羹飯有減。曰。誰取此飯者。親曰。天中天屬來顧爾。自取羹飯飯畢即去歡豫悵然悲喜交集。曰。佛為如來無所著至真等正覺道法御天人師。諸天帝王肅虔供饌常恐不致世尊。吾居斯賤食又不腆。但愍吾斯賤故自取耳。悲喜交集稽首于地。追惟佛恩弘普乃爾。喜以忘飢十有五日。親助之歡喜忘飢七日。却後月餘佛復至其家。子又不在。佛復取羹飯飯畢即去。子尋還歸親又如事說之。歡豫并親。重喜忘飢日數如前。其時龍雨日夜不休精舍毀漏。佛告諸沙門。歡豫新為居室。汝等往撤其瓦來以護精舍。諸沙門往。子又不在。親曰。何人撤吾屋乎。沙門對曰。佛精舍漏。使吾等撤斯屋以補精舍。親曰。善哉。吾子德重乃致於茲乎。歡喜稽首曰。願益取之。吾福無量。沙門適去。子歸覩之曰。誰撤屋者乎。親曰。佛精舍漏遣沙門來取瓦補之。歡豫所在向佛稽首于地。尊慧無量。帝王諸侯興七寶殿貢獻相給。而佛不居。取此麁瓦惟欲福我。欣欣不食忘飢如前。佛將五百沙門前入王國。王名脂維。身自迎佛。王下車卸五威儀。作禮問訊就坐聽經畢曰。願天中天。與諸沙門下顧薄食。佛默可之。供饌皆備遣使奉迎。王自沃盥奉飯供養禮畢於佛前坐。

佛告王曰。王宿奉三尊今受宿福。得生人道去女為男獲世上位。夫王者之法當以聖人教令制御其心。恕己育民。妖言燒國之火也。王其慎之。王稽首受教王又留佛。時三月七寶床机帷帳茵褥病藥之供竭盡國珍。佛未之許。王心念曰。供養之上孰勝吾者。佛知王心有貢高意。即謂王曰。有勝王者其惠無量。王曰。願聞其名。佛曰。維綾縣有至孝之子。其名歡豫。奉佛三寶受吾明法。恕己視彼等育群生。清貞守真手不持寶。并諸利刃賣器養親。不諍其價忍辱慈惠。以正道為心。以聖典為樂。不敢娶妻。懼傲其親以為不孝。每之佛所側心聽法。為親陳喪明之苦不清覩佛。言之流涕。佛取其食撤其屋瓦舉門無怨。喜忘飢十有五日。其為至仁至孝德難具陳。吾當周行教化天下不得就王請。王有慍心與。佛曰。論功喻德。彼仁清貞信孝行難齊。興居周旋未嘗不孝。仁德思親斯行難等。非所能逮矣。王曰善哉。歡豫至孝為佛所歎。德稱之美乃至於茲。吾當貢之助其養也。迦葉佛說經竟。遊行教化。王遣使者。重載五百乘車。粳米麻油醍醐石蜜雜物珍寶。謙辭致敬。使者到曰。天中天。重歎賢者至孝普慈。大王欣歡使吾致虔。願納此貢。以育于親并供養佛。歡豫對曰。大王慈惠助吾。還宮具宣此意。同縣梵志子名花結。與歡豫[髟/囪/心]角善友。累劫結親道化相成。久而益厚。共於深水浴。遙覩大樹。歡豫指曰。迦葉如來聖人在此。須先謁拜。佛道難忘吾敢冀矣。歡豫惻然曰。佛世難值猶優曇花。或復累劫乃一有耳。豈可失時。牽衣力挽共至佛所歡豫稽首華結不拜。揖讓而坐。歡豫白佛言。華結者與我[髟/囪/心]角善友。邪迷未寤。願滅其癡。迦葉如來應病說法。心即開解敬信三寶。二人歡喜稽首俱退。花結尋路曰。世幸有佛家為穢藪。汝不作沙門為乎。對曰。吾親年在西垂。又俱喪明恃吾為命故不去家耳。華結曰。吾當為沙門矣。歡豫即如事啟佛即授其戒。億歲以後。生第四兜率天上。從天一下自致成佛。佛告諸比丘。時花結者我身是

也。歡豫者阿難是。阿難為吾良友。力牽吾至佛所聽經令吾得佛。夫賢友之喻乃萬福之基。現世免王之牢獄。死則杜塞三塗之門戶。昇天得道皆賢友之助矣(出歡豫經)。

阿難奉佛勅受持經典供給左右九

佛告文殊。我成佛來。過三十年。今此眾中。誰能為我受持十二部經。供給左右所須之事。使不傾失自身善利。五百羅漢皆云。我能。佛言不了。目連觀見如來。心在阿難。目連累勸阿難。阿難曰。穢弱不堪奉給。若佛與我三願者。當從僧命。一者如來設賜故衣。聽我不受。二者設受檀越別請。聽我不從。三者聽我出入無有時節。文殊言善哉。預見譏嫌。阿難事我。二十餘年。具八種不可思議。一者不受別請食。二者不受陳衣服。三者來不非時。四者始具煩惱。隨我出入諸王豪貴家。見諸女人不生欲心。五者說十二部經。一經於耳曾不再問。如瀉一瓶置於一瓶。六者知他心智如佛入定。七者未得願智而能了知。現得四果有後得者。八者祕密之言悉能了知。是故我常稱其多聞。阿難具足八法。堪能受持十二部經。一者信根堅固。二者其心勇進。三者身無病苦。四者常勤精進。五者具足念心。六者心無憍慢。七者成就定意。八者具從聞生智(出菩薩從兜率天下經。賢愚經云。阿難昔為長者。釋迦為沙彌師課誦經為乞食故功程不止長者愍之仍給衣食由是奉侍左右也)。

阿難七夢佛為解說十

佛在祇樹。阿難於異處夢見七事。尋驚毛豎。我昨夜夢凡見七事。一者川流河海悉皆火然。二者日將欲沒閻浮提冥。自見我身頂戴須彌。三者比丘宛轉在于溷中。又見一人登比丘頭度出淨地。四者見有比丘法衣不具但結袈裟。手捉炬火樂入邪徑。處荊棘中裂破衣裳。五者見栴檀樹甚大茂好。猪從穢出揩栴檀樹。六者見三品象子。[鼻*嵬]觸[狼/歯]齧搪突大象。踏踐好草攪濁清水。大象患之避逃而去。至大清水好草之中。象子遨戲都不覺知。故在本處水草乏絕。飢渴苦極咬齧樹木遂皆餓死。七者見死師子王。名曰企薩。頭生白毛如繫傅飾。飛鳥百獸不敢摩近。師子內身自有蟲出還食其肉。用此夢緣故晨詣佛。佛言。夢水中火然者。當來比丘違犯佛教。是非違戒用得供養。復起諍鬪。夢日將欲冥頂戴須彌者。世尊却至九十日。當般泥洹。後眾比丘諸天龍人民。當從阿難啟受經教。夢見比丘身著法衣不如常制。但結袈裟宛轉溷中。有人登頭出住淨地者。佛泥曰後法向欲盡。當有比丘大會說經。時佛深法而不奉行。結近白衣尋隨財色。居士諫呵而不信從。比丘受殃居士得福。夢見比丘結被袈裟。手持炬火樂入邪徑。處荊棘中破裂衣裳者。佛泥曰後當有比丘。無有法衣著俗人服。但一袈裟結以絡腋。棄戒樂俗育養妻子。分衛供給有則歡樂無則愁苦。夢栴檀樹甚大茂好。猪從穢中出揩突樹者。佛泥曰後當有比丘。不承用法飲酒迷亂食無期度。有明智士善意曉喻。更興誹謗并罵羅漢。夢三品象子[鼻*嵬]突大象。踏踐好草攪濁清

水。大象患之避逃而去。往至清水美草之間。小象遨戲都不覺知。水草乏絕遂便飢死者。佛泥曰後當有長老明經比丘。教誡年少示其罪福。不肯從受死墮地獄。夢見死師子王名曰企薩。頭生白毛如繫傅飾。蜚蟲鳥獸不敢侵食。身內蟲出還噉其肉者。佛在世間廣說經法。佛泥曰後無有外道能壞此法。但由弟子當自壞我法。汝之所夢但為將來現斯怪耳(出七夢十善經)。

阿難為旃陀羅母以呪力所攝十一

阿難行路中道焦渴。有旃陀羅女名鉢吉蹄汲水。阿難詣從乞水。女報阿難。我是摩鄧伽種。阿難言。我不問是義但施我水。女曰。君母種成就。沙門瞿曇第一弟子。波斯匿王所敬。末利夫人阿闍梨。我是下賤。不敢持水相與。阿難又言。我不問是。但水見與。女許。時女先掬水澆阿難足。復掬水澆阿難手。便生婬意。阿難飲已便去。鉢吉蹄還白父母言。阿母願以沙門阿難為婿。母言。其轉輪王子。剎利釋種聖師貴族主。天人宗奉。我小家種云何得為夫。女言。不得者會當飲毒以刀自刺。若自絞死。母曰。有摩鄧伽神語符呪。能移日月以墮著地。亦能呪因帝梵天使下。況不能得沙門。阿難使來若已死若生不能婬。若瞿曇所護者。我不能得。除此皆可得耳。女便起澡浴莊嚴身體。著白服飾敷諸臥具。遙相望。母以牛屎塗地。以五色綖結縷。盛滿四瓶水。盛滿四椀麨漿。以四口大刀竪牛屎。四角頭四箭。然八明燈。取四死人髑。髏種種香塗其上。以華布地。捉熨斗燒香。繞三匝向東方跪。而誦摩鄧伽呪術。時阿難在祇洹林。意便恍惚為呪所縛。如魚象被鉤。隨呪術至旃陀羅家。母便語女。阿難已至。時女前抱阿難。坐著床上。牽制衣掌。捻挃阿難。譬如力人手捉長毛。小羊從其人手。阿難見十方盡闇冥。譬如日月為羅怳所厭。阿難有大人力。當十大力士力。而不能得動。阿難以聖道諦力念還得寤。我今困厄世尊大慈寧不愍我。佛即知之。便誦佛語偈云。

佛者最極尊於世間　諦無有能過佛之前　佛者最極尊於人天　諦諸法之王無上田　法者最極尊於世間　諦無有能過法之前　法者最極尊於人天　諦斷諸縛結永息田　僧者最極尊於世間　諦無能過有僧之前　僧者最極尊於人天　諦美福第一無上田

阿難以此實義。於旃陀羅舍得解。誦偈適竟。旃陀羅家內。所設呪具刀箭破折。瓶甕破壞。燈滅髑髏迸碎。黑風起展轉不相見。旃陀羅呪術不行。母便告女。此必瞿曇沙門神力所為。眾物碎散呪術不行。阿難念言。世尊恩力也。阿難得解。如大象王盛年六十醉暴凶惡。身大牙長。從鐵鞅得解。從城走向空閑處。阿難亦爾。世尊誦佛語。從旃陀羅舍得解。還向祇洹。時此女人。逐阿難至祇洹門。並作是語。阿難是我夫阿難是我夫。逐阿難後不離須臾。阿難具以白佛。佛曰。我於諸法中不見幻惑如此。女人以婬繫意。阿難平旦著衣持鉢。入舍衛城分衛。而此女

人亦逐其後。語諸長者。阿難是我夫阿難是我夫。阿難還至佛所。又前白佛。佛曰。汝往共語。如姊妹相向。何以故。此女人應當作比丘尼。女白佛言。唯願世尊。還我夫婿。佛曰。若須阿難者。於我法中作比丘尼。當以相與。女人歡喜女還奉辭。父母歡喜本殖善根。各應得道。父母及女同往詣佛。世尊廣為說法。無數方便現諸法義。柔軟義檀義尸義。說婬不淨義。增長生諸結根義。出家義諸道品義。又說四聖諦。時此女人即在坐上解四聖諦。父母得阿那含道。女得須陀洹道。譬如純白氎衣易為染色。時父母歸佛歸法歸僧。聽為優婆塞向佛。阿難悔其癡罪。乞為比丘尼。得依世尊修行梵行。佛告阿難。將二比丘尼及此女人。鉢拓鉢提瞿曇彌所。以此女為道授具足戒。大愛道問阿難。云何阿難。世尊。許旃陀羅女為道耶。阿難報瞿曇彌。然即與剃髮受戒。得阿羅漢(出戒因緣經第三卷又出摩鄧伽女經)。

阿難乞牛乳佛記其方來十二

佛在舍衛國。時患中風。呼阿難。往婆羅門家乞牛乳。阿難即如言求索。婆羅門言。牛在彼間自往搆取。阿難即往到牛所。牛常喜觝踏人不可得近。阿難自念。我所事師法。不得自搆取牛乳也。忉利天王釋即來下。化作婆羅門被服住牛傍。阿難請搆取牛乳。婆羅門言諾。即以右手捫摸牛乳言。佛小中風。汝與我乳。令佛飲之。佛差者汝得福不可稱量。牛言。此手捫摸我乳何益快乎。取我兩乳。去置兩乳。遺我子。我子朝來未飲食也。犢子在母傍。聞說佛聲即語言。持我分盡用與佛。佛者天上天下人之大師也。甚難得值。我自食草飲水。我作人時坐隨惡知識。不信佛經。使我作牛馬十六劫。到今乃得聞佛聲。持我所飲乳。盡用與佛。滿器而去。令我後世智慧得佛道。阿難持乳還。佛問之。牛母子何說。阿難依事而答。佛言。牛母後彌勒佛時。與作沙門得阿羅漢道。犢子死後作人。當為我懸繒散華燒香。持經戒二十劫已後。當作阿羅漢。佛度脫天下萬民(出犢子經)。

阿難化波斯匿王施十三

舍衛國歲飢。諸比丘各欲分散。以為歲節。阿難言。若諸比丘詣餘國而造歲節。此無數人失於德本。假使如來止此。舍衛多所安隱。波斯匿聞。請佛及僧三月供養。佛言。過去世時。波羅奈國王。名梵達有大威德。名稱遠聞。時國飢饉乞者眾多。王憙施與。四面雲集。天久不雨。穀米轉貴人民飢困。乞者日滋倉廩虛竭。大臣請息。王曰。若爾違我本心。何忍逆之。時諸明法吏宣告四遠。敢有乞者皆棄都市。乞者愁憂王問。大臣答曰。有此遠來得。梵志即入。王問。誰使汝來梵志答。腹使我來。時王愍以偈報曰。施赤犢牛千頭并諸犢子。梵志者阿難是(出生經第三卷腹使經大同小異)。

阿難試山向比丘并問阿育王十四

阿難與兩比丘。到阿育王國。在山向中。比丘之松上。香華自至。鈴鳴如語。山向比丘。不知何故。出四面作禮。還齋堂中誦經。阿難與兩比丘。化作乞兒。復將三百乞兒往乞食。山向比丘作食飯訖。索衣便假衣之。三百乞兒不肯復去。乃朝夕供養乞兒悉病。山向比丘便朝夕燒香請福合藥。三百乞兒悉死。山向比丘便行假匈沐浴棺斂。阿育國王令人葬之。後數日。阿難。又與兩比丘化作三書生。衣被潔淨。往到松中。山向比丘下講堂迎之。設座令坐。三書生謂山向比丘言。汝事佛欲以何求。山向比丘言。佛道者神道也。天地之間唯佛道神。我事佛者。欲願佛道度人非人。無他所求。三書生言。佛道不神也。但當空虛故也。人少有事者。汝何愚癡。追人事佛。山向比丘言。諸君所言非法也。佛道最神非人所見。變化無常非人所知。百姓愚癡自不知之。空作此語益諸君罪。三書生便怒。汝事佛不逆人意。汝工追我作奴不。山向比丘言。諾。三書生云。汝不中善奴。當令汝擔屎。汝自當得百石糞。若不得百石糞者。當斬汝頭。山向比丘便行擔屎。不能得多還謝書生力極不能得多。乞原罪負。三書生大怒。便取縛之。痛鞭三百。忽然自去。阿難便化作優婆塞。往語山向比丘。三書生所為無道。不當語王令治之乎。山向比丘言。此自我過故致此耳。事佛者無所愛惜。求頭與頭求軀與軀。我但擔屎見鞭此有何苦。阿難與兩比丘。復作阿育王。往告山向比丘言。事佛定自無益也。空自勤苦。人生世間須臾當死。何獨勤苦奉是經乎。我今欲相與議事。從我者佳。不從我者。道人必死。山向比丘言。大王欲議何事耶。王言我有貴女。才操絕人。面目好美。手如蜂子。我貪道人為人溫良。欲以相與故來報意。道人必當相從。山向比丘言。知王厚意。我奉佛法已積年歲。功德未成反貪王女。恥辱佛道是罪不小。王若相殺自當受之。王便使人將山向比丘詣市斬之。山向比丘便禮佛而去。顧與王謝。乃是阿難。山向比丘便前作禮頭面著地。阿難起持之。使之還坐悉自相識。阿難謂山向比丘。汝功德已成。汝當得道。我故試汝。視汝志意耳。山向比丘下地言。我無知被受佛恩。得在法中不能作善。煩苦神人來相憂念。阿難以道授山向比丘。俱上樓上誦經說義。合樂歡喜。阿育王作禮長跪。阿難問王。佛經有幾卷。王答言。佛經甚多不可計數。今見在經有十二部。有八萬四千卷。阿難問王。王已持幾卷。王答言。我已誦三昧經萬二千卷。般若波羅蜜經萬二千卷。阿難問王。王見經已多。乃知天地相去幾里。王答言。大品三昧經言。天地相去八十一萬里。阿難問王。地有幾品。王答言。般若波羅蜜經言。地有八十一城。城自有人。北城中人長十丈。中城中人長八尺。南城中人長三尺。阿難問王。王自知本是何人。王答言。不知識遠但能知近。已嘗入泥犁。已嘗上天。已嘗更勤苦。已嘗作奴婢。已嘗作六畜。已嘗入火中。已嘗作善人。從作善人。得為國王。已見勤苦之事。不敢復為惡也。阿難言。王本是提惒竭佛比丘。名提頭羅。山向比丘是釋迦文佛。比丘須拔者也。自從佛去後。我人孤窮持法不固。以致罪過。踰歷年數。不復相識。我昔與山向比丘。俱生小家我為兄山向比丘為弟。常自相憐出入相追。初不相識。我後當為國王。山向比丘來生我亦不識。天下反覆轉相寄生。不可稱數。今者自知得脫生死。便授阿育王羅漢之道

(出阿難現變經)。

經律異相卷第十五

經律異相卷第十六(聲聞無學第四僧部第五)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 末田地龍興猛風不動衣角變火山為天花一
- 舍那婆私變雷電器仗為優鉢羅花二
- 優波笈多出家降魔三
- 優波笈多不化犯重人令眷屬滅憍慢四
- 優波笈多付囑法藏入於涅槃五
- 優波笈多化諸虎子捨身得度六
- 羅旬踰乞食不得思惟結解食土入泥洹七
- 羅旬踰乞食不得佛許開律以為五部八
- 童子迦葉從尼所產八歲成道九
- 末闡提降伏惡龍十
- 摩哂陀化天愛帝須王十一
- 分那先為下賤善知方宜遇佛得道十二
- 摩訶迦天時熱現涼風細雨十三
- 願足羅漢化一餓鬼說其往昔惡口十四
- 沙曷降惡龍十五

末田地龍興猛風不動衣角變火山為天花一

末田地羅漢。受阿難付囑法藏。令往罽賓國。先伏彼龍。即入三昧。令其國土六種震動。龍不自安。至末田地所。末田地入慈三昧。龍王興風吹之。袈裟角不動。復起雷電器仗。并捧火山欲相覆壓。即以神力變成天花。便聞空中偈言。

雪山見厲日　鎔銷無有餘　如入慈三昧　峯火成天花(出阿育王經第七卷)

舍那婆私變雷電器仗為優鉢羅花二

舍那婆私受阿難付囑已。往摩偷羅國。於其中路有寺。名貧陀婆那(翻叢林)。

舍那婆私住寺一宿。寺有二老比丘。論議說偈。

無犯第一戒　擇法第一聞

是比丘謂是舍那婆私言。舍那婆私語言。汝所說義非我所說。長老。過去世波羅奈有一商主。與五百估客欲入大海。見一辟支佛病。商主親自

醫療。病稍得差。商主取舍那衣浣治令軟施辟支佛。辟支受衣作十八變即入涅槃。時商主者我身是也。是故我今值最勝師。令我得道。舍那婆私漸行至摩偷羅國優流漫陀山。有二龍王兄弟與五百小龍。舍那婆私思惟。我不伏之不得教化。即以神力動山。二龍王瞋。起疾風雨。及以出火。舍那婆私入慈三昧。風雨及火不能近身。悉變為花。所謂優鉢羅花等。悉皆墮地。復起雷電及諸器仗。亦以神力變為天花。即時空中而說偈曰。

暴風疾雨　不能為害　雷電器仗　變為天花　譬如雪山　日光所照
悉皆鎔銷　無有遺餘　入慈三昧　火不能燒　器仗毒害　不近其身

於是二龍王。往舍那婆私處白言。聖人欲何所作。答言。我欲於此起寺。汝當聽我。龍答言。不可得也。長老言。世尊已說。我涅槃後於百年中。於大醍醐山最勝處當起寺。名那哆婆哆。龍王復言。世尊已說耶。長老答言。如是。龍王言。若世尊說者我當隨意(出育王經第七卷)。

優波笈多出家降魔三

舍那婆私。於大醍醐山起寺。賣香商主。名曰笈多。舍那婆私以方便力。教化賣香商主。令其精進。時舍那婆私獨入其家。笈多問言。聖人何故獨無弟子。我樂在家受五欲樂。不能出家。若我生兒當隨長老。乃至笈多生兒。名阿波笈多(梁言不正護。)至其長大。舍那婆私往至笈多所。語言。汝先有願。若我生兒當與長老。今已生兒汝當聽其隨我出家。笈多言。我今唯有一兒。若第二兒生。當與長老。乃至第二生。名陀那笈多(翻寶護)復從其求如是不與。第三優波笈多亦從其求。答言。我當作誓令優波笈多治生。若長若退不得出家。不長不退乃聽出家。是時魔王。令摩偷羅國一切人眾。悉買其物令其得利。時優波笈多正自賣香。時舍那婆私長老語言。汝心心法。云何為善云何為惡。答言不知。長老又言。若心心法。與貪瞋癡相應。是名為惡。與不貪不瞋不癡相應。是名為善。是時長老以黑土白土各各為丸。而語之言。若汝黑心起取黑丸。若白心起取白丸。時優波笈多。即依其言。心不生善。乃至此只得一枚白丸。如是漸進。取二分黑丸一分白丸。復更思惟。半黑丸半白丸。次第念善遂不起惡取白丸。時摩偷羅國。有婬女婆娑達(梁言天主與)其有一婢。往優波笈多處買香多得。其主問言。汝於何處得此多香。將不偷耶。婢言。有估客名優波笈多。形色具足言語微妙。以法賣物。其主聞已起婬欲心。復令其婢至優波笈多處。汝當語彼云。我欲與汝共相娛樂。優波笈多答言。相見未是。其時如是不已。猶故不聽。時又召長者子往至其所。商主從北天竺來。將五百匹馬及種種物。至摩偷羅國。至已問摩偷羅國人。此國何處有第一端正女人。國人答言。有一女人。第一端正。名婆娑婆達多。商主言。我今欲以五百銀錢及種種物行至其處。是時婬女。貪其物故殺長者子。取其身骸置不淨處。與子共相娛樂。是長者子親善知識。於不淨處覓得身骸。往白國王。國王語言。汝

可取彼婆娑婆達多。截其手脚及以耳鼻散置野外。即如王教。是時優波笈多即便思惟。我於本時不樂見之共受五欲。今者欲見觀其手脚及以耳鼻。便往觀之。為說偈頌。婆娑婆達多。既聞其言深畏生死。聞佛功德乃變其意樂於涅槃。即便說偈答優波笈多。優波笈為說四諦。更觀其身得厭欲界。得阿那含果。婆娑婆達多得須陀洹果。優波笈多去已未久。婆娑婆達多即便命終生於天上。時長老舍那婆私。往笈多所語言。汝當聽優波笈多隨我出家。笈多答言。我先有誓令其治生。不利不鈍乃聽出家。舍那婆私乃以神力。令其治生不利不鈍。是時優波笈多即自思惟。稱量算計不利不鈍。舍那婆私。更至笈多所。而語之言。今汝此兒是佛所記。我入涅槃百年後當作佛事。汝當聽其隨我出家。笈多即聽。舍那婆私將優波笈多往那及寺與其出家。受具足戒至第四羯磨。除一切結得阿羅漢果。是時舍那婆私語優波笈多言。善男子。如佛所記。我入涅槃百年後。有比丘名優波笈多。當作佛事。後當作佛。名曰無相。如是說法。是時魔王。於大眾中雨於真珠。以亂人心。眾人亂故無有一人能見諦者。即自思念知是魔王。至第二日倍多人來。魔王雨金又亂眾心。第三日中倍多人來。魔雨珠金及作天樂。是時眾人未得離欲。見色聞聲其心變動不復聽法。是時魔王。即以華鬘繫優波笈多頂。及至優波笈多思惟。誰作此事。即知是魔。優波笈多即生此意。世尊何故不教化之。即自思惟是我應化。佛記於我。為無相佛。教化人民。令優波笈多取三死屍。一者死蛇。二者死狗。三者死人。以神通力變三死屍。以作華鬘。往魔王處而繫其頸。爾時魔王往摩醯首羅。及帝釋等三十三天四天王。為脫死屍。而不得脫。復往大梵天處。大梵語言。善男子。十力弟子神力所作。無能脫之。如大海圻水不能破。魔王語言。云何教我。我於今者。當歸依誰。大梵說言。汝今速往歸依優波笈多。如人於此地墮。即於是起。是時魔王方知佛子神力為大。即便說偈讚佛自責。欲界魔王即捨慢心。自說往罪(出阿育王經第八卷)。

優波笈多不化犯重人令眷屬滅憍慢四

南天竺國有一人。婬他婦恒往他家。其母不聽。即害其母。往至他國不能辦五欲。深生憂惱。即於佛法出家。通達三藏成就多聞。與諸弟子圍遶共至摩偷羅國那哆婆哆寺優波笈多所。優波笈多見其害母。不得道果不相慰問。時彼比丘心懷羞愧。更復遠去。笈多弟子未得道者。作是思惟。和上少智。見老比丘其心闇鈍而為說法。今此比丘聰明智慧。善通三藏眷屬隨從。不為說法。時優波笈多見弟子意於其起瞋。又見其機應。為我和上舍那婆私教化降伏。時舍那婆私住罽賓國。復觀優波笈多作何佛事。其弟子心生瞋怪。又觀此等應受我化。即以神力來入是寺。鬚髮皆長衣又麁弊。五百弟子咸作是言。無知老人從何所來。於優波笈多眠處而坐。弟子手曳出之。而不能動猶如須彌。即欲罵之而聲不出。乃至白優波笈多言。答曰。除我和上無有能坐我床者也。優波笈多還寺。以最勝恭敬供養和上。自取小床於師邊坐。弟子思惟。若此比丘。是和上師者。然其智慧猶不及我和上。時舍那婆私見其意。舉右臂手出

牛乳。告優波笈多云。此三昧云何。答曰未識。願聞其名。和上曰。名龍頻呻三昧。次第復入種種三昧。笈多皆云。不識。又言。我涅槃時此三昧法一切皆失。優波笈多諸弟子聞此言。即便思惟。此比丘智慧勝我和上。即滅憍慢。舍那婆私教化說法。彼諸弟子悉得阿羅漢果(出阿育王經第九卷)。

優波笈多付囑法藏入於涅槃五

優波笈多臨入涅槃。以法藏付囑最後所度弟子郁微柯。說言。善男子。世尊法藏付摩訶迦葉。迦葉付阿難。阿難付末田地。末田地付和上舍那婆私。舍那婆私付我。我今涅槃付汝。遍告閻浮提。十萬羅漢一時聚集。凡夫比丘無數。即現神通備十八變。事已即入涅槃。所化弟子得四道果者。皆取籌置石室中。即以籌閣維其身。乃至起塔。時復有一千羅漢。同入涅槃。郁微柯守護法藏。從優波笈備得四果者二十八人(出阿育王經第十卷)。

優波笈多化諸虎子捨身得道六

時有羅漢。名優波笈多。住摩偷羅國大醍醐山那哆婆哆寺。去寺不遠。有一虎生子。未能覓食飢餓命終。優波笈多。以慈悲力與虎子食。有五百弟子。並未得道曰。何故乃與難眾生食。答曰。為解脫因故。時諸虎子壽命短促。將欲近死。笈多語虎子言。一切行無常。一切法無我。涅槃寂靜。汝於我所當生信心。於畜生道應生厭離。時諸虎子於笈多所。心生信敬。即便命終。生於摩偷羅國人中。及至七歲。笈多教化令其出家。於七年中得羅漢果。以神通力採種種華。供養笈多圍繞其側。諸未得道五百弟子白言。此諸同學年並尚少。云何已得神通功德。笈多答曰。皆是先虎子。笈多說法。五百弟子深生慚愧。斷除煩惱得阿羅漢果(出阿育王經第九卷)。

羅旬踰乞食不得思惟結解食土入泥洹七

佛在鷄足山。時有婆羅門生子。令相師視之。師言。是子無相當名阿保。其父母聞之。無相雖長養之初不憐矜。到年十二足自生活。父母遂逐令去勿復來還。子不敢留遂行乞食。乃到祇洹。佛以大慈念其勤苦。即使阿難呼問之。能出家不。兒即歡喜願為沙門。佛即以手而摩其頭。頭髮即墮袈裟裝著身。佛為立名名羅旬踰。時五部僧每出分衛。而羅旬踰所在之部以空鉢還。佛勅比丘分以施之。如是非一。目連念言。是比丘僧自不得食。餘人何故悉復空還。我若共行猶有所得。佛知其意便與舍利弗俱。使目連與羅旬踰俱。各分為一部。佛告目連。我所在處汝不得往。目連即與羅旬踰俱行。適欲所至即便見佛。及與舍利弗而在其門。如是經歷過百億國。遂不得食。目連念言。我於今日定不得食。羅旬踰。時甚大飢極止恒水邊。目揵連。即還到於佛所。佛時鉢中尚有餘食。即與目連。念言。我今飢甚。欲吞須彌尚謂不飽。但此少飯何足可

食。佛告目連。且食此飯勿憂不足。目連即飯。飯既已飽鉢中不空。唯舍利弗即念。羅旬踰。今未得食。當大飢苦。便白佛言。願乞餘飯與羅旬踰。佛即告言。我不惜飯。但羅旬踰宿行果報不應得之。若謂不然。汝便可與。舍利弗便以飯與之。羅旬踰得即欲受飯。鉢便下入地百丈。舍利弗以道力。手尋鉢即得以還羅旬踰。適欲食之。便誤覆鉢倒去。飯食皆散水中。羅旬踰還坐定意。自思念言。我每與諸比丘俱行。輒無所得空鉢而還。舍利弗今以佛餘飯與我。輒復覆去。皆我罪報應當所受。便自思惟。結解垢除得羅漢道。即便食土而般泥洹。欲知羅旬踰者。惟衛佛時。身為凡人。常懷慳貪不肯布施。時當欲飯脫衣布地恐飯粒落。有沙門過從其分衛。羅旬踰見謂之言。當何以相與。便以手捧土與沙門。沙門即呪願言。是汝愚癡故耳。當使汝早得度脫。由來久遠展轉生死。乃至於今所在之處輒不得食。於今得道食土泥洹。時羅旬踰與土沙門舍利弗是。罪福報應今雖得道故受宿殃。世人愚癡。謂行惡無罪。羅旬踰是其證也(出羅旬踰經)。

羅旬踰為乞食難得佛為分律以為五部八

佛在時眾僧被服。唯著純真死人雜衣弊帛。自後起比丘羅旬踰。每行分衛輒飢空還。佛知其宿行。使眾僧分律為五部。服色亦五種。令其日隨一部中行。遂制儀則。各舉所長名其服色。薩和多部。博通敏達導以法化。應著皂袈裟。迦葉維部。精勤勇快攝護眾生。應著木蘭袈裟。彌沙塞部。禪思入微究暢玄幽。應著青袈裟。摩訶僧耆部。勤學眾經敷說義理。應著黃袈裟。自爾已後便大得食。何以故。是羅旬踰。前世無德之所致也。阿難問佛言。羅旬踰前世無德。云何得作沙門。佛言。此羅旬踰宿世為賢者子。作人嫉妒。見沙門來分衛。輒逆閉門戶言。大人不在。沙門復至餘家。復牽餘家門戶閉之。亦言。大人不在。故今分衛不能得。適見他人布施飲食歡喜行會。便復念言我亦欲作沙門。故今窮困如是(出遺教三昧經下卷)。

童子迦葉從尼所產八歲成道九

佛住舍衛城。時此城中有二姊妹。妊身未產出家為道。諸比丘尼見其腹相。即便驅出。以是因緣。往白世尊。世尊報言。在家妊身可得無罪。此比丘尼後生男兒。字童子迦葉。至年八歲。出家為道成阿羅漢。共十六群比丘。各持澡罐到阿耆羅河邊。澡洗入水仰覆浮戲。度河拍水沐浴。爾時波斯匿王。在重樓上四望觀看。王未信佛法。見是事已倍生不信。即語末利夫人言汝家所事福田大士。深信無疑何不顧看。即答王言。或是年少出家。始受具足未知戒律。或世尊未制此戒是故爾耳。童子迦葉。以其天耳聞王語聲。即語諸伴。王倍不信末利夫人心生不悅。今當令彼發歡喜心。皆言善哉。各捉澡罐盛中水以著於前。結加趺坐次第行列。凌虛而遊於王殿上空中而過。末利夫人在露處坐。見坐影已即便仰觀。見次第行列結加趺坐前有澡罐乘虛而去似如雁王。見是事已心

大歡喜。即白王言。看我家福田神德如是。王見是已心大歡喜。作如是言。善哉善哉。我得善利。願佛世尊及比丘僧。盡壽在國為良福田。佛聞是事。即便制戒令不復爾(出僧祇律第十九卷十誦亦同)。

末闡提降伏惡龍十

罽賓國稻始結秀。龍王阿羅婆樓。注大洪雨禾稻沒死。時大德末闡提比丘等五人。從波咤利弗國。飛騰虛空至雪山邊。阿羅婆樓池中。即於水上行住坐臥。龍王眷屬入白龍王。龍王嗔忿作諸神力。暴風疾雨雷電霹靂。山巖崩倒樹木摧折。身出煙火雨大礫石。欲令大德末闡提怖。復喚兵眾猶不能伏。末闡提言。汝令諸天一切世人悉來怖我一毛不動。汝若取須彌及諸小山。躑置我上我亦不動。乃至漸以法味教化示之令其喜伏。龍王聞法即受歸戒。與其眷屬俱為弟子。雪山鬼夜叉犍撻婆鳩槃茶鬼聞皆信伏亦為弟子。咸見道迹。末闡提語諸龍鬼。從今以後莫生嗔恚殘害人民損敗禾稻。當生慈心令得安樂。即皆稽首稟受教戒。以寶床與末闡提坐。龍王立侍以扇扇之。罽賓揵陀勒叉國民。見是事已大生恭敬。悉來聽法多得道果(出善見律毘婆沙第二卷)。

摩哂陀化天愛帝須王十一

阿育王時。佛已泥洹。二百餘年。時摩哂陀比丘。到師子洲中。時王欲行獵。有一樹神。欲令王得見摩哂陀。樹神化作一鹿。去王不遠示現噉草而便徐行。王見化鹿即張弓攝箭引弓欲射。王復念言。我當諦射此鹿。鹿仍迴向閻婆陀羅路而走。王即逐後。到閻婆陀羅。去摩哂陀不遠而滅。時摩哂陀見王已近。而作是念。今以神力令王正見我一人不見餘人。大德摩哂陀即喚王名。帝須汝來。王聞喚已。而便念言。今此國中誰敢喚我名者。此何等人。著赤衣服割截而成。喚我名字。生狐疑心。此是何等。為是人乎。為是鬼神耶。摩哂陀答言。沙門釋種法子。為哀愍王。從閻浮利地。故來到此耳。爾時天愛帝須王。與阿育王以有書信。遙作知識貢致珍寶。更相報答。法師乃曰。我有三寶以獻於王。非彼天愛世間匹也。即為王說三歸依法。王受三歸為優婆塞。復以釋法報。示天愛帝須王。於獵場中。即復思憶。阿育王書有釋種子。即投弓箭熟相問訊。法師為說經并受三歸。即便遣摩哂陀。喚沙彌修摩那。今應說法。汝可唱轉法輪。修摩那言。我今當唱令聲何至。答言。使聲滿師子國。時修摩那即入第四禪。從禪定起唱轉法輪。師子國民俱聞之。虛空諸神天悉會。三唱已竟。摩哂陀便為說法。天人無數皆得道迹(出善見律毘婆沙第二卷)。

分那先為下賤善知方宜遇佛得道十二

有那利國近南海邊。其中人民採真珠栴檀。以為常業。國有一家兄弟二人。父母終亡欲求分異。家有一奴名分那。年少聰了善能賈販。入海治生無事不知。居家財物分為一分。以奴分那持作一分。兄弟擲籌弟得分

那。將妻子空手出舍。時世飢儉雖得分那恐不相活以為愁憂。奴分那白大家言。願莫愁憂分那作計。月日之中當令勝大家。郎言。若審能爾放汝為良人。大家夫人有私珠物。與分那作本。時海潮來。城內人民至水邊取薪。分那持珠物至城外。見一乞兒負薪。薪中有牛頭栴檀香。可治重病。一兩直千兩金。時世有一不可常得。分那識之。以金錢二枚買得持歸。破作數十段。時有長者得重病。當得此牛頭栴檀二兩合藥。求不能得。分那持往即得二千兩金。如是賣盡所得不貲富兄十倍大家感念。分那不違言誓。放為良人隨意所樂。分那辭行學道。到舍衛國為佛作禮。長跪白佛。所出微賤心樂道德。唯願世尊垂慈濟度。佛言善來。分那頭髮即墮法衣著身。即成沙門。佛為說法尋得羅漢道。坐自思惟。今得六通存亡自由。皆主人之恩。今當往度并化國人。於時尊者分那往到本國至主人家。主人歡喜請坐設食。食訖澡手。飛昇虛空。分身散體。體出水火。光明洞照從上來下。告主人曰。此之神德皆是主人放捨之福。往到佛所所學如此。主人答言。神化微妙。願見世尊受其教訓。分那答言。但當至心供設饌具。佛三達智必自來矣。即便設供宿昔已辦。向舍衛國稽首長跪燒香請佛。唯願屈尊廣度一切。佛知其意。即與五百羅漢。各以神足往到其舍。國王人民莫不驚肅。來至佛所五體投地。却坐王位。食畢澡訖。佛為主人及王官屬。廣陳明法。皆受五戒為佛弟子。起住佛前。歎分那曰。在家精勤出家得道。神德高遠家國蒙度。我當云何以報其恩。於是世尊歎分那。而說偈言。

心已休息　言行亦止　從止解脫　寂然歸滅　棄欲無著　缺三界障
望意已絕　是謂上人　在澤若野　平地高岸　應真所過　莫不蒙祐
彼樂空閑　眾人不能　快哉無婬　無所欲求

主人及王益加歡喜。供養七日。得須陀洹道(出法句經第一卷)。

摩訶迦天時熱現涼風細雨十三

佛住菴羅聚落菴羅林中。與眾比丘俱。時有質多羅長者。白上座言。唯願諸尊。於此林中受我請食。時諸上座默然。諸上座著衣持鉢。至長者舍就座而坐。長者自手供養種種飲食。澡漱畢聽說法。諸上座為長者說法。示教利喜。諸上座食蘇酪蜜飽。於春後日時熱行極。有一下座。名摩訶迦。白諸上座。今日大熱我欲起雲雨扇微風。上座答言。能爾者佳。時摩訶迦即入三昧。如其正受。應時雲起細雨微下。涼風亹亹從四方來至精舍門。即止神通還於自房。時長者作是念。最下座比丘而能有此大神通力。況復中上。禮諸比丘。隨摩訶迦至此住房。禮足白言。尊者我欲得見神足現化。摩訶迦言。長者勿用見是。三請不許。長者猶復重請。摩訶迦語長者言。汝且出外聚集乾草。以氈覆上。長者如教聚薪成積。來白尊者。摩訶迦即入火光三昧。於戶鉤孔中出火炎。光燒其積薪都盡。唯白氈不然。語長者言。汝今見不。答言。已見。實為奇特。摩訶迦語長者言。當知此者皆以不放逸為本。不放逸故得阿耨多羅三藐

三菩提。及餘道品法。長者白。尊者。摩訶迦。願常住此林中。我當盡壽四事供養。摩訶迦有行因緣不受其請。長者聞說法已作禮而去(出賢多羅長者比丘經)。

願足化一餓鬼說其往昔惡口十四

願足阿羅漢。恒訓化餓鬼。見一餓鬼形狀醜陋。見者毛竪莫不畏懼。身出熾炎如大火聚。口出蛆蟲膿血流溢。臭氣遠徹不可親近。或口吐炎火長數十丈。或耳鼻眼身體支節。放諸火炎長數十丈。脣口垂倒像如野猪。身體縱廣一由旬。手自抓摑舉聲嘷哭馳走東西。是時願足問餓鬼曰。汝宿何罪今受此苦。餓鬼報曰。吾曩昔時行作沙門。戀著房舍慳貪不捨。身持威儀出言臭惡。若見持戒精進比丘。輒復罵辱偏眼惡視。自賴豪族謂為不死。造諸無量不善之本。寧以利刀自截其舌。如是從劫離劫甘心受苦。不以一日之中誹謗精進比丘。若還閻浮利地者。以我形狀可戒勅諸比丘。善護口過勿妄出言。設見梵行持戒比丘者。念宣其德。自受餓鬼形已來。經數千百萬歲。受此苦惱。我後命終當入地獄。是時餓鬼說此語已。舉聲嘷哭自投于地。如泰山崩天翻地覆。斯由口過故使然矣。能守護口過者受福無窮。又迦葉如來出現於世。敷說法教教化已周。於無餘泥洹界而般泥洹。泥洹後時有三藏比丘。名曰黃顏。眾僧告勅。一切雜使不令卿涉。但與諸後學者說諸妙法。時三藏比丘內心輕蔑不免僧命。便與後學敷顯經義。喚受義曰。速前象頭。次喚第二者。復曰馬頭。復次駱駝頭。次驢頭。復次猪頭。次喚羊頭。羯羝頭。次喚師子頭。次喚虎頭。次喚禽頭。次喚羆頭。如是喚眾獸眾獸之類。不可稱數。三藏黃顏。口出如此無量惡言。雖授經義不免其罪。身壞命終入地獄中。經歷數千萬劫受苦無量。餘罪未畢從地獄出。生大海中受水性形。一身百頭形體極大。異類見之皆悉馳走(出護口經)。

沙曷降惡龍十五

佛在舍衛國。時須耶國有一貧人。賃剃兒頭須至麥熟輒顧一斛。道逢故人欲共飲酒。還求麥直遍求不得。便起毒意。願我壽終作大神龍。當陷此國。及其壽終遂作大龍。其國歷年風雨不時。佛念飢饉遣沙曷比丘往化彼龍。龍見比丘即興惡意。欲殺國人及沙曷身。沙曷化鉢覆蓋一國。龍便降雨謂國已沒。比丘以佛威神令龍見民安隱如故。龍復興恚。更下大雪。比丘鉢受以手掃之著於一處。乃入龍室。龍即便出。比丘復出。龍入比丘復入。如是不已龍極乃止。長跪問言。卿何等神。惱我如此。比丘言。吾是佛弟子。龍言。我欲自歸。便隨之去。沙曷比丘。便內此龍著於笥中。人乃見比丘取龍如是皆大歡喜。問言。道人是何等神降伏國患。告言。吾是佛弟子。人民問言。佛可見不。答言可見。須吾還時日向中。道過分衛。人或有與飯或與酒者。比丘受之樹下。醉臥。龍鉢袈裟各在一處。佛時微笑五色光出。阿難請問。佛以來答。復說四事。一者阿羅漢不入三昧不得知。二者不得便見神足。三者強勸人分衛。四

者身中尚有蟲。阿羅漢以是四事不及佛。時有一菩薩欲向聲聞。見此事已心即堅固。佛遣目揵連往沙曷比丘所。勅攝龍來。為說宿命。龍心即解。便受五戒。奉行十善。得須陀洹。阿難問佛此事因緣。佛告阿難。阿羅漢者不復飢渴。因三事故見醉臥耳。一者佛欲開化菩薩意。二者不欲違布施家意。三者恐諸弟子未得道者飲酒多失。故現此事撿戒之耳。沙曷比丘雖復飲酒。不以為醉(出沙曷比丘功德經)。

經律異相卷第十六

阿羅漢行至摩偷羅國往優婁曼陀山。坐於繩床。有兄弟二龍王。隨從五百眷屬。舍那婆私思惟。欲降伏之。即以神力。震動山谷。二龍王瞋。往婆私處起疾風雨雷電器仗猛火等。時婆私入慈三昧。能令風雨火等不近其身。變戒優鉢羅拘牟頭分陀利。

經律異相卷第十七(聲聞無學第五僧部第六)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 僧大不納其妻出家山澤賊害得道一
- 金天前生與婦共以水物施僧今身得井出物如意二
- 阿娑陀為尼所悟得道度於商主三
- 修羅陀在胎令母性溫和精進得道四
- 差摩因疾說法心得解脫五
- 拘提六反退定害身取證六
- 摩訶盧惜義招鈍改悔得道七
- 槃特誦掃忘簉誦簉忘掃八
- 朱梨槃特誦一偈能解其義又以神力授鉢九
- 鴦崛鬘暴害人民遇佛出家得羅漢道十
- 蜜婆和吒羅漢等有習氣十一
- 兄弟爭財請佛解競為說往事便得四果第十二
- 常給事眾僧飲食衣服得道十三
- 見羅剎出家得道十四
- 有人避災出家見佛成道十五
- 羅漢與象先身共為兄弟行善不同十六
- 五百盲兒崎嶇見佛眼明悟道十七
- 旃陀羅兒被佛慈化悟道十八
- 獵師捨家學道事十九

僧大不納其妻出家山澤賊害得道一

舍衛國人名曰厲。其家大富。年已老耄絕無繼嗣。禱祀日月天神無不必修。終不能得。自念祈請無益。寶財消散產業不修。疾病相仍災害首尾。奴婢死亡六畜不孳。為妖孽神師所迷。云當有福而禍重至。由盲人吞毒謂為良藥。庶有瘳損遂喪其身。吾既殺生祠祀當入地獄。而望天祚豈不惑哉。世有佛道高操之聖。學得仙者名曰應真。淨如琉璃精進存想乃覩之耳。奉斯道者唯守靖寞。無欲無求以斯為樂。現世得安終生天上。置吾常供養佛三尊。經涉一載婦遇生男。字曰佛大。後復生男。字曰僧大。厲訓二子。示以聖道。僧大稟性慈孝仁愛萬物。奉佛法戒親近沙門。清淨知足二親愛之。厲臥疾著床。即呼長子涕泣誡之。夫生有死持戒者安犯戒者危。僧大尚小仁孝清白。方以累汝言竟便沒故。後頻告數啟其兄欲作沙門。其國法欲得婦。其言欲作沙門。佛大即為娉妻。索賢家女字快見。光華煒煒端正少雙。婦歸升堂兄會賓客九族欣然。兄於眾前謂其弟曰。當今之日肯作沙門乎。僧大答曰。實我宿願。兄戲之曰。可從爾志。弟心歡喜為兄作禮即便入山。見一沙門。年少端正獨處樹下。問曰。賢者何緣行作沙門。其人已得應真之道。豫知去來無數劫

事。謂僧大曰。佛說人好婬泆。如持炬火逆風而行。其焰稍却不置炬者火燒其手。猶烏銜肉。鷹鸇追奪。烏不置肉災及軀命。吾以是故行作沙門。又如蜜塗利刀。小兒貪甜以舌舐之。有截舌之患。婬泆之人苟快愚心。不惟其後。有燒身之害。如蛾貪火色投入于燈。體見燒煮將何剋獲。為婬惑者不別善惡。遠賢親愚日就流冥。亡國滅眾死入地獄。惡著罪成悔將何逮(喻多不能備載)如是譬類。僧大頓首足下。願去世濁履清淨道。奉沙門戒以為榮福。師曰小待。僧大曰。意欲入山禪寂。師曰。處山澤者當學星宿。明知候時常當儲待水火麨蜜。所以然者。盜賊之求水火麨蜜。夜半向晨。問當解之。給賊所欲違其意者。賊輒殺人。僧大曰諾。敬奉慈教。却乃入山。其兄念曰。弟作沙門終不畜妻。快見端正心甚悅之。起從快見取琴彈之。歌婬泆之曲曰。煌煌麝金生于野。過時不採花見棄捐。曼爾豐熾華色惟新。與我同歡。快見覺欲為亂。以歌答之曰。巍巍我師天人之尊。門徒清潔諡曰沙門。觀真為聖婬為畜倫。我受嚴戒不事二君。終不婬生寧就寸分。佛大作情悲之曲委靡之辭。宿心加爾故因良媒問名。詣師占相良時。慘慘惕惕。懼爾不來。既覩爾顏我心怡怡。今不合歡豈徒費哉。斯誓為定淑女何疑。快見惶灼。歌答之曰。佛設禮儀尊卑有敘。叔妻即子。婿伯即父。我親奉戒日有隆舉。真與聖齊婬正。蟲鼠。噫乎伯子烏。為斯語。兄心貪迷。快見知其意甚不可轉移。快見又歌曰。夫人處世當遠二事不孝婬亂行違佛戒。天及賢者。箋其自異。佛大歌曰。爾之容色燁燁灼然。普天美女豈有此爾顏。我心相悅故踰大山。快見自念。此人欲我悖狂之亂。沮致大難。請說身中惡露不淨。爾乃却耳。快見重曰。仁貪我軀軀有何好。頭有九骨合為髑髏。如是具說諸不淨。佛大自念。汝念其婿何肯聽我。我殺弟者爾乃隨耳。即行募求數為賊者。前與語曰。寧知我家所畜六籍奴子逃作沙門今在山中。賊曰識之。佛大即出金銀與之。爾殺奴子疾取其頭。及身上衣所持法服。足下履屣皆以將還。吾復重賜卿等金銀。賊大喜曰。從吾取足即去入山。到其弟所呼曰。沙門汝疾出來。其弟出曰。諸君何求。吾有水火麨蜜可食。夜時已半。賊曰。不求水火。麨蜜不問。卿時欲得汝頭持走之耳。其弟聞之。即大惶怖涕泣而曰。吾非長者諸候子也。捨俗為道與世無諍。學道日淺未獲溝港殺吾何益。賊曰。來為汝首。其弟語賊曰。欲得寶者吾與兄書令惠卿寶。賊曰。子兄令我今來殺子。弟曰吾今死矣。由斯婦也。師前戒我。人與婬居。如持炬火逆風而行。若不捨之火將燒手。日冥即如師戒涕泣。從賊乞一歲活。賊曰。急取頭去。其弟重曰。願莫即見殺。先斷我一髀置吾前也。賊斷一髀置於其前。弟遭此痛。天來其側曰。慎勿恐怖。牢持汝心。汝前世時入畜生中。人所屠割稱賣汝肉非一世矣。地獄餓鬼汝皆更之。苦痛以來非適今也。僧大白天。請報我師。天即語師曰。賊欲殺之。汝弟子為人悲泣求哀欲得相見。師即飛往為說法曰。天地須彌尚滅。海有消竭七日有壞。天下有風其名惟藍。惟藍一起山山相搏斯風有滅。況汝小軀何足數也。但當念佛。佛常自言。盛必有衰合會有離榮位難保。身亦如之。僧大便得溝港道。復斷一髀。重念師戒。復得頻來道。賊斷左手復念師戒。得不還道。賊斷右手。復念師戒得應真道。即不畏三惡道。生死自在無所復

畏。僧大曰。取樹皮來。即為剝樹皮與之。僧大取枝以為筆。自刺身血書樹皮曰。大兄起居隨時安善。二親在時以吾累兄。兄不承之違廢親教。以女色故骨肉相殘。違親慈教為不孝也。殘殺人命為不仁也。殺一畜生其罪不少。況殺應真五不中止。今吾善遊寂寞從此長別。努力努力願崇真道。申頸長二尺。語諸賊曰。子斷吾頭。由截泥頭也。吾恐汝等墮地獄中。賊前斷頭。取身上衣杖蓰及鉢。持與兄所兄以金銀重謝賊。兄取弟頭為作假身。以頭著上以衣衣之。杖鉢及蓰皆著其傍。謂快見曰。汝婿來歸可問訊之。快見大喜走至其所。見下目坐以為思道。妻不敢呼具作美食。須念道覺當飯之。日中不覺。妻因前日今已中恐過時也。怪其不應。牽衣頭脫身皆分散。妻躃踴呼曰。子竟坐我致見殘賊。哀憤呼天肝心崩裂。血從口出奄忽而逝。戒行清白難污如空。樹心聖範難動如地。真淨行高難及如天。其未終時諸天咨嗟。迎其魂靈處忉利天。忍須臾之頃。獲天上難盡之榮。兄入禪室。視弟頭身分散。婦吐血亡。呼曰。咄咄。吾為逆天所作酷裂乃致於此。即至賊所問。弟臨沒將有遺言乎。賊以書見之。辭喻悽惻讀竟五內咽塞涕泣交橫。吾違尊親臨亡慈教。骨肉相殘。又殺應真。感隔而死。死入地獄。王及臣民莫不涕泣。歎述清德殯葬其弟。四輦立塔。天龍鬼神側塞空中。散華燒香無不哽咽。及別大快見。國人哀慟。歌歎其德(出佛大僧大經)。

金天前生與婦共以水物施僧今身得井出物如意二

舍衛國有一長者。其家大富。生一男兒。身體金色。相師占省見其奇相。即為立字。字修越那提婆(梁言金天)其生之日。家中自然出一井水。縱廣八尺。汲用其水能稱人意。一切所須如心即出。兒年轉大才藝博通。長者愛之。未敢逆意。而作是念。我子端正容貌無倫。要當推求選擇名女。金容妙體。類我兒者當往求之。即募諸賈周遍求之。時閻婆國有大長者。方生一女。字修跋那波婆蘇(梁言光明)端正非凡身體金色。初生之日。亦有自然八尺井水。其井所出稱適人意。時彼長者。亦自念言。我女端正。要得賢士。如我女比乃當嫁與。爾時女名遠布舍衛。金天名稱復聞女家。時二長者各懷歡喜。求為婚姻。娶婦既竟。還至舍衛。時金天家便設上供。請佛及僧供養。一日佛受其請。為長者及金天夫婦。廣宣妙法。皆獲須陀洹。佛還精舍。金天與婦。白父母求索出家。父母聽許。俱往佛所。佛言。善來比丘鬚髮自墮法衣著身便成沙門。漸漸教化悉成羅漢。佛言。過去毘婆尸佛滅後。遺法在世。有諸比丘遊行教化到一村落。有諸人民豪賢長者。見眾僧至各競供養。時有夫妻二人。貧餓困乏。每自惟念。我父在時財寶積滿。今者我身貧困極甚。何其苦耶。爾時雖富不遭斯等聖眾之僧。今既得值無錢供養。愴然而啼。婦見夫啼而語婿言。今汝可往至本舍中。於故藏內推覓錢寶當用供養。夫如婦言。至故藏內得一金錢。于時其婦有一明鏡。即共同心以用布施。買一新瓶盛滿淨水。以此金錢著瓶水中。以錢著上。持至僧所。至心布施。於時眾僧即為受之。各各取水而用洗鉢。復有取水而飲之者。時彼夫婦。歡喜情悅遇疾命終。生忉利天。時貧人者。此金天夫

婦是也(出賢愚經第五卷)。

阿娑陀為尼所悟得道度於商主三

有天護商主。往陸求那國。常樂布施。於佛生信。欲先入海。若安隱還。我當於佛法中作五年大會。天人國內無不聞知。時有一阿羅漢比丘尼。同往彼國。思惟觀察。知天護得安隱還作五年大會。請一萬八千比丘。皆阿羅漢。學人倍多。凡夫無數。即見上座名阿娑陀。乃是凡夫甚能精進。入僧伽藍從次作禮。謂上座曰。大德甚不端嚴。上座心自思惟。云何以我為不端嚴。即自觀身見鬚髮長。即喚年少剃除鬚髮。比丘尼由言不端嚴。上座更喚年少浣染衣服。尼復至僧伽藍。故言不端嚴。上座瞋曰。我已剃鬚髮及浣染衣竟。云何謂我不端嚴耶。比丘尼言。佛法以得四果為莊嚴。大德聞商主天護作師子吼五年大會不。答言聞。大德是凡夫為第一上座。在羅漢眾中先受供養。是莊嚴不。大德方悟啼泣懊惱。比丘尼言。何故啼泣。答言。姊妹。我今已老無可堪任。比丘尼言。如來法可見無有於時節。大德可往那哆婆哆寺。就優波笈多比丘。此比丘佛之所記。我弟子中教化第一。時長老比丘至。優波笈多出而迎之語言。大德。洗足消息。答言。我未洗足。欲見優波笈多。時優波笈多弟子曰。大德。此即是優波笈多。來迎大德。即大歡喜便自洗足。優波笈多即教化之。為覓檀越。洗浴飲食種種供養。語維那言。今有得二解脫比丘入坐禪處。乃至一萬八千阿羅漢悉入禪處。是時比丘入第一禪坐處坐。時優波笈多入火光三昧。如是一萬八千阿羅漢。悉入火光三昧。比丘見之心生歡喜。優波笈多教化說法。比丘精進思惟得阿羅漢果。還其本國。阿羅漢比丘尼。往僧伽藍禮拜說言。今日大德莊嚴。答曰。姊妹力也。及五年大會。天護問上座。世尊種種說法。上座所說而無有異。上座答言。於過去世九十一劫。我等為商主入海採寶。誓取滿舶。還閻浮提。時遇大風吹舶墮沙海。我等為毘婆尸佛。聚沙為塔以珍寶物而供養之。時有諸天示我道路言。剋後七日有大水來。當泛汝舶入閻浮提。及至七日。果如天言。以此沙塔因緣。經九十一劫不墮惡道。今得阿羅漢果。汝今能供養。爾許多人於三寶所。我說呪願生死苦無窮。汝今可出家。天護奉旨即為沙門。得阿羅漢道(出阿育王經第九卷)。

脩羅陀在胎令母性溫和精進得道四

巴連弗國有商主。名曰須陀那。中陰眾生來入母胎。即令其母質直溫和。無諸邪想。夫以問師。師答曰。懷良善子。後生一兒。名曰脩羅陀。年漸長大。求欲出家。父母即聽。勤行精進。證羅漢果(出阿含經第二十五卷)。

差摩因疾說法心得解脫五

差摩比丘身得重病。受大苦痛。陀娑比丘為瞻病者。時諸上座令陀娑比丘。為病者說五受陰法。往反至再。差摩比丘語陀娑比丘。何煩令汝驅

馳往反。汝取杖來我自扶杖。詣彼上座。彼上座遙見差摩扶杖而來。自為敷座命令就坐。更為具說往古談論。差摩比丘即便說法。時彼上座。遠塵離垢得法眼淨。差摩比丘不起諸漏。心得解脫(出差摩比丘喻重病經)。

拘提六反退定害身取證六

昔佛在舍衛國。弟子拘提。於羅漢果六反退還。至第七頭。自覺身證。復恐退還。即求利劍自害其命。是時魔波旬。求比丘神為生何處。而不能知。即往問佛。世尊告曰。拘提比丘已取滅度。神識處空與空合體。弊魔聞已心興欝毒。舉身自投青蓮池浴。池水涌沸水性皆終。以此因緣諸比丘等。皆勤精進恐復退還(出說拘提比丘經)。

摩訶盧惜義招鈍改悔得道七

昔有一國。名多摩羅。去城七里有精舍。五百沙門常處其中。讚經行道。有一長老比丘。名摩訶盧。為人闇塞。五百道人傳共教之。數年之中不得一偈。眾共輕之。不將會同常守精舍。勅令掃除。後日國王請諸道人。入宮供養。摩訶盧比丘自念言。我生世間闇塞如此。不知一偈人所薄賤。用是活為。即持繩至後園中大樹下。欲自絞死。佛以道眼遙見如是。化作樹神半身人現。而呵之曰。咄比丘。何為作此。摩訶盧即具陳辛苦。化神呵曰。勿得作是。且聽我言。往迦葉佛時。卿作三藏沙門。有五百弟子。自以多智輕慢眾人。恪惜經義初不訓誨。是以世世所生諸根闇鈍。但當自責何為自賤。於是世尊即現光像為說妙偈。時摩訶盧稽首佛足。思惟偈義即入定意。尋在佛前得羅漢道。自識宿命無數世事。三藏眾經即貫在心。佛語摩訶盧。著衣持鉢就王宮食。在五百道人上坐。此諸道人是卿先世五百弟子。還為說法令得道迹。并使國王明信罪福。即便受教。入王宮裏。坐於上坐。眾人心恚怪其所以。各護王意不敢呼遣。念其愚冥不曉達嚫。心為之疲。王便下食手自斟酌。摩訶盧即為達嚫。音如雷震清辭兩下。坐上道人驚怖自悔。皆得羅漢。為王說法莫不解悟。群臣百官。皆得須陀洹(出法句經譬喻第一卷)。

槃特誦掃忘箒誦箒忘掃八

朱梨槃特兄曰。汝若不能持戒還作白衣。槃特詣祇洹門泣淚。佛告之曰。汝何故悲。以兄言答。佛言。勿怖。我成無上士正覺。不由汝兄。手牽槃特。詣靜室教執掃箒令誦。槃特誦掃忘箒誦箒忘掃。乃經數日掃箒復名除垢。槃特思念。灰土瓦石若除即清淨也。結縛是垢。智慧能除。我今以智慧箒掃。除諸結結縛(出增一阿含經第一卷)。

朱利槃特誦一偈能解其義又以神力授鉢九

佛在舍衛國。有一比丘字槃特。新作出家稟性闇塞。佛令五百羅漢日日教之。三年之中不得一偈。國中四輩知其愚冥。佛愍傷之。即呼著前。

授與一偈。守口攝意身莫犯。如是行者得度世。槃特感佛慈恩。歡喜心開誦偈上口。佛告之曰。汝今年老方得一偈。人皆知之。不足為奇。今當為汝解說其義。一心身三口四意三所由。觀其所起察其所滅。三界五道輪轉不息。由之昇天。由之墮淵由之得道。泥洹自然。分別為說無量妙法。燿然心開得羅漢道。時有五百比丘尼。別有精舍。佛曰遣一比丘為說經法。明日槃特次應當行。諸尼聞之。皆豫含笑。明日來者我等當逆說其偈。令之慚愧無所一言。明日槃特往。諸尼大小皆出作禮相視而笑。坐畢下食。食已澡漱。請令說法。槃特即上高座。自慚鄙曰。薄德下才。未為沙門。頑鈍有素。所學不多。唯知一偈。粗識其義。當為敷說。願各靜聽。諸年少比丘尼欲逆說偈。口不能開。驚怖自責稽首悔過。槃特即如佛所說。一一分別。身意所由。罪福內外昇天得道。凝神斷想入定之法。即時諸尼聞其說。甚怪其異一心歡喜。皆得羅漢道。後日國王波斯匿。請佛及僧於正殿會。佛欲現槃特威神。與鉢令持隨後而行。門士識之留不聽入。卿為沙門一偈不了。受請何為。吾是俗人。猶尚知偈。豈況沙門。無有智慧。施卿無益。不須入門。槃特即住門外。佛坐殿上。行水已畢。槃特擎鉢申臂遙以授佛。王及群臣夫人太子。眾會四輩。見臂來入不見其形怪而問佛。是何人臂。佛言。是賢者槃特比丘臂也。王曰得道。向吾使持鉢。門士不聽來入。是以申臂授吾鉢耳。即便請入威神倍常。王白佛言。聞尊者槃特本性愚鈍。方知一偈。何緣得道。佛告王曰。學不必多行之為上。賢者槃特解一偈義。精理入神。身口意寂淨如天金。人雖多學不行徒喪識想。有何益哉。於是世尊。即說偈言。

雖誦千章　句義不正　不如一要　聞可滅意　雖誦千言　不義何益
不如一義　聞行可度　雖多誦經　不解何益　解一法句　行可得道

同聞此偈。二百比丘得羅漢道。王及群臣夫人太子。莫不歡喜(出法句經第一卷)。

鴦崛鬘暴害人民遇佛出家得羅漢道十

婆伽婆。在舍衛城。祇樹給孤獨園。爾時眾多比丘。到時著衣持鉢。入舍衛城乞食。聞王波斯匿宮門外有眾多人民。各携手啼哭喚呼。便作是說。於此國土有大惡賊。名鴦崛鬘。殺害人民暴虐無慈。村落居止不得寧息。殺害人民各取一指用作華鬘。以是故名曰鴦崛鬘。願王當降伏此人。比丘食已。詣佛世尊具陳上事。佛便往彼。時有眾人。擔薪負草。及耕田人。有行路人。蹈世尊所。語世尊言。沙門莫從此道行。所以然者。此道中有鴦崛鬘。殺害人民無有慈心。於眾生城郭村落皆為彼人所害。彼既殺人。以指作華鬘。懼嬈世尊。時佛世尊遂更前進。時鴦崛鬘遙見世尊來。見已便作是念。今此沙門獨來無伴。我當殺之。時鴦崛鬘。即拔腰劍往至佛所。世尊遙見便復道還。時鴦崛鬘走逐世尊後。盡其力勢欲及世尊。然不能及。時鴦崛鬘便作是念。我走能逮象。亦能及

馬。亦能及車亦能及暴惡牛。亦能及人。然此沙門行亦不疾。然盡其力勢不能令及。時鴦崛鬘遙語世尊言。住住沙門。世尊告曰。我久自住。然汝不住。時鴦崛鬘便作是念。我行惡行。即捨腰劍。五體歸命。求為沙門受具足戒。佛言。善來比丘。鬚髮自墮猶如剃頭。彼所著衣化成袈裟。佛為說法成阿羅漢。時王波斯匿集四部兵。出舍衛城。欲往殺彼賊鴦崛鬘。先過世尊具向佛說。世尊告曰。若今王見鴦崛鬘。剃除鬚髮著三法衣。以信堅固出家學道。王取云何。王報言。若取當問訊禮敬無有害心。然彼兇惡無有慈心。安能修行沙門之行。時鴦崛鬘去佛不遠。結跏趺坐直身正意繫念在前。時佛舉手示鴦崛鬘處。時波斯匿見鴦崛鬘已。便懷恐怖衣毛皆豎。佛言勿怖。自到彼所當與王語。時波斯匿王。便往至鴦崛鬘所。到已頭面禮足在一面立。時波斯匿王問鴦崛鬘言。尊者鴦崛鬘。今名何等。鴦崛鬘答言。大王我名伽瞿。母名蔓多耶尼。王報言。汝善自勉進。我今盡形壽。供養尊者伽瞿。衣被飯食病瘦醫藥床臥具無所恪惜。常當以法擁護。時波斯匿王。頭面禮足繞三匝。詣世尊所白言。世尊不降伏者。能降伏之(出增一阿含第十九卷)。

蜜婆和吒等有習氣十一

有人雖斷一切煩惱。身口中亦有煩惱相。凡人見聞則起不清淨心。如蜜婆和吒阿羅漢。五百世在獼猴中。今雖得道猶騰跳樹木。愚人見之即生輕慢。又畢陵伽婆蹉阿羅漢。五百世生婆羅門中。習輕蔑心。今雖得道。猶語恒水神言。小婢止流。恒神瞋恚。詣佛陳訴。佛教懺悔。猶稱小婢。佛無如是事。如一婆羅門惡口。一時以五百事罵佛佛無慍色。婆羅門心乃歡喜。即復一時以五百善事讚歎於佛。亦無喜色。當知佛煩惱習氣盡。故好惡無異(出大智論第八十四卷)。

兄弟爭財請佛解競為說往事便得四果十二

佛在羅閱祇竹園中。時有大姓子兄弟四人。父母早亡共爭居財。見舍利弗歡喜問言。願為說此後不復爭。舍利弗言。善哉。吾有大師佛於三界最尊。爾等隨我。還到佛所。必當得解。隨舍利弗還。佛遙見四人笑出五色光。四人禮佛白言。吾等愚癡。願佛解說。令不復爭。昔有國王。號曰惟婁。身體有疾。迎醫往視。合藥應用師子乳。王即募。得之者分土封之。并妻以小女。時有貧人啟言。能得王即聽許。其人巧黠先尋師子所在。乃殺羊蒲桃酒數斛。往到其山。伺師子出行。便殺羊。并蒲桃酒著其住處。師子見酒肉即便飲食大醉而臥。前捉取乳歡喜而還。未達本國。暮宿聚落。有一羅漢宿。與此人同追師子。經歷險道。體極眠臥。都無所知。道人覩其身中六識。各自諍功。足神言。賴因我行到此得乳。手神復言。賴我手捉取。目神復言。賴我見之。耳神復言。賴我聞王求乳將爾等來。舌神即言。汝等空以競諍。此功是我有。今殺活在我耳。此人齎乳詣王所。白言。今已得師子乳在外。王言。是非但進之。王適見乳。舌即言。此非師子乳。但驢乳耳。王聞大怒言。我使汝

取師子乳。乃以驢乳。即欲殺之。時共宿道人。即以神足。到王前報言。此信是師子乳。我時與是人共宿聚中。見其身中。六體共爭其功勤。舌言。我當反爾等。今果如此。王但以乳合藥。其病必愈。王即信阿羅漢言。用乳合藥以女妻之。并封拜如本約。道人告王言。一人體識自相反戾。況於他人乎。時取乳者。得道人恩。求作沙門。意解得羅漢道。時王亦歡喜受五戒。得須陀洹道。四人聞是意解。便隨佛乞為比丘。佛默然以手摩其頭。髮墮袈裟著身。結解垢除。阿難曰。此四人本何功德。今聞經便解。疾得阿羅漢。佛言。昔摩父佛時。舍利弗為比丘。此四人為賈客。共以一袈裟上舍利弗。舍利弗呪願。令君等後世早得度脫。今從舍利弗而得解脫(出惟婁王師子乳譬喻經)。

常給事眾僧飲食衣服得道十三

有一男子。於正法出家。能為給事。所至寺諸比丘等。令其給事。後轉疲極。自思惟言。誰能為我說法教化。聞摩偷羅國。有優波笈多。是佛所記。能於後弟子中最為第一。往為作禮合掌說言。大德。大作佛事為我說法。優波笈多言。能隨我教當為說法。答曰能。問曰。那多婆哆寺。眾僧有幾。汝更給事眾僧。答曰。有一萬八千阿羅漢。學人一倍。精進凡夫無數。時彼比丘。即為一切眾僧。而作給事。令一切僧專修道業。時給事比丘早起。著衣持鉢入摩偷羅國。有一長者朝出相逢。長者念言。我未曾見。而今見之頭面禮足。問言。大德。所從遠近有何事來。答言。從東國來。至優波笈多處。為欲聞法。而優波笈多令我為僧給事。我今不知摩偷羅國人誰精進誰不精進者。長者曰。汝今不須思惟是事。我當代汝給事眾僧一切飲食衣服醫藥。我悉給與比丘與長者。共取飲食等。供養眾僧。三月安居時比丘因此供養修獲道果。

見羅刹出家得道十四

摩偷羅國。有一男子。啟其父母求欲出家。往優波笈多所。恭敬作禮白言。大德。我得作比丘不。優波笈多見其於身。為愛所縛。語言善來。我當與汝出家。歡喜禮足。乞先暫還家。於路思惟。我若至家。或有留難。夕於中道宿一神廟(大智論云空舍)優波笈多作二羅刹。一持死屍。一則空手。俱入廟中。互言我得。共諍不決。而問此人。誰將屍來。此人思惟。不得妄語。如實語之。空來之鬼即牽其臂向口欲食。將屍之鬼助其分解。劣相免脫。如此良久遂至日出。經二日後還至笈多所。出家為道。精進勤修。得阿羅漢果(出阿育王經第九卷又出大智論第十二卷)。

有人避災出家見佛成道十五

昔有眾人。在江水側。為水所害。人民無復齊限。其中得解脫萬中有一。於深水得解脫人。往至佛所。求為沙門。佛便然可聽在道末。內不思惟謂離困厄。佛為說法勸令行道。時彼比丘內自慚愧。解知一切萬物無常。心開意解淡然無想。即於佛前。成阿羅漢(出說為沙門經)。

羅漢與象先身兄弟行善不同十六

迦葉佛時。兄弟二人。俱為沙門。兄持戒坐禪一心求道。而不布施。弟布施修福。而喜破戒。兄從釋迦出家得羅漢道。衣裳不充食常不飽。弟生象中。為象多力。能却怨敵。國王所愛。金銀珍寶瓔珞其身。封數百戶邑。供給此象。隨其所須。時兄比丘值世大儉。遊行乞食七日不得。末後得少麁食。劣得存命。先知此象是前世弟。便往詣象。手捉象耳。而語之言。我昔與汝俱有罪也。象思比丘語。即識宿命。見前世因緣。愁憂不食。象子怖懼。便往白王。象不飲食。不知何意。王問象子。先無有人犯此象不。象子答曰。無他異人。唯一沙門來至象邊。須臾便去。王即遣人覓得沙門。問言。至我象邊何道。沙門答曰。語象。我與汝俱有罪耳。沙門向王具說如上。王意便悟。即放沙門。令還所止(出雜譬喻經第四卷)。

五百盲兒崎嶇見佛眼明悟道十七

毘舍離國。有五百盲人。乞匄自活。時聞佛出世。覩見之者。癰殘百病皆蒙除愈。貧施衣食。愁憂苦厄。悉能解免。盲人共議。我等罪積苦毒特兼。若當遇佛必見救濟。便共行乞。人各令得金錢一枚。以用雇人足得達彼。行乞經時人獲一錢。左右喚人誰將我等到舍衛者。金錢五百雇其勞苦。時有一人來。共相可以錢與之。語諸盲人。展轉相牽。自在前導。將至摩竭。棄諸盲人。置空澤中。盲人不知為在何國。互相捉手踐踏他田。傷碎苗穀。田主見之盛發瞋怒。語痛與手。乞兒求哀具說上事。長者愍之。令一使人將詣舍衛。適達彼國。又聞世尊已向摩竭提國。使人將向摩竭國。盲人欽佛係心欲見。肉眼雖閉心眼已覩。歡喜發心不覺疲勞。已至摩竭。復聞世尊已還舍衛。如是追逐凡經七返。爾時如來觀諸盲人善根已熟。便住待之。佛光觸身。應時兩目即得開明。乃見如來四眾圍遶。身色晃昱如紫金山。前詣佛所五體投地。為佛作禮。異口同音。共白佛言。唯願垂矜。聽在道次。佛曰。善來比丘。鬚髮自墮法衣在身。重為說法。得阿羅漢(出賢愚經第六卷)。

旃陀羅兒被佛慈化悟道十八

舍衛城里。有一旃陀羅兒(賢愚經云尼提)除糞自活。爾時世尊入城分衛。次至彼家。客除糞者即避餘巷。如來逆之。其人自念。吾擔糞不淨。今日何由得覲世尊。復詣一澤。佛遙喚曰。吾為汝來。其人報曰。不敢親近。不審世尊何所教誡。乃能慈愍與罪人語。世尊告曰。欲度卿為沙門。其人白佛。地獄畜生亦得為道乎。佛言。吾今出世。正為罪苦。手執其人。上昇虛空。至恒水側。沐浴身體。復至祇洹。勅諸比丘。度為沙門。其人勸勵精勤日新。未經旬日便得須陀洹果。至羅漢果。六通清徹涌沒自由。詣大方石當中央坐補納故衣。王聞佛度旃陀羅兒。念佛出釋種豪族姓家。左右弟子皆出四姓。來入宮室。受供信施。五體投地。

接足而禮。今聞如來度旃陀羅。云何禮敬。吾今當往責數如來。未到之頃。見前比丘坐大方石。有五百淨居天圍繞禮覲。王前語曰。煩白世尊。波斯匿王欲覲世尊。比丘聞已即沒石中。從精舍出具以白佛。佛言知時。比丘還從石涌出。語王。如來有教。先問此比丘云何得入是剛鞕石。涌沒自由。前至佛所頭面禮足。在一面坐。前白佛言。向者比丘。為名何等。有此神力。佛告王曰。此是客除糞人。爾時世尊以此因緣便說二偈。猶如穢污惡。地田溝深坑。生香潔蓮華。云何大王有目之士。當取此華不。王言。世尊。華極香潔。當取莊飾穢污。觀母胎於彼胎中生功德華。時王白佛。彼人快得善利。不可思議。自今以始。請此比丘。供養四事(出旃陀羅兒經)。

獵師捨家學道事十九

昔佛在摩竭國。甘梨園中。城北石室窟中。有眾多獵師。入山遊獵。廣施羅網。殺鹿無數。復還上山。時有一鹿。墮彼弶中。大聲喚呼。獵師聞已。各各馳奔。自還墮弶。傷害人民。不可稱數。雖復不死被瘡極重。痛不可言。各相扶持。劣乃到舍。求諸膏藥。以拊其瘡。室家五親各迎屍喪。歸還耶旬之。其中被瘡眾生。自知瘡差。厭患遊獵。宿緣應度。種諸善本。便自捨家學道作沙門。爾時世尊。與無央數百千眾生。前後圍遶。而為說法。爾時世尊。為彼眾生。欲拔其根修立功德。示現教戒。永離生死常處福堂。於大眾中。而說此偈。

猶如自造箭　還自傷其身　內箭亦如是　愛箭傷眾生

時彼獵者雖為沙門。不自覺知。如來今日。證明我等。定為獵師。內自慚愧。自省本過。在閑靜處。思惟止觀。係意不亂。所以族姓子剃除鬚髮著三法衣。出家學道修無上梵行。自身作證而自娛樂。生死已盡梵行已立。所作已辦更不復受生死。如實知之。爾時諸比丘。皆得阿羅漢。六通清徹。無所罣礙。是故說此偈。

能覺知是者　愛苦共生有　無欲無有想　比丘專念度(出獵師捨家學道經)

經律異相卷第十七

經律異相卷第十八(聲聞無學第六僧部第七)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 重姓魚吞不死出家得道一
- 二十耳億精進大過二
- 賴吒為父所要三
- 金財以兩錢施佛僧今生手把金錢四
- 華天先世採花供養今天雨其花五
- 寶天前身以一把石擬珠散僧故生時天雨七寶六
- 少欲知足比丘聞法得道七
- 工巧比丘思惟成道八
- 賊作比丘遇佛悟道九
- 貪食比丘觀察得道十
- 乞兒比丘現神力入祇陀宮十一
- 四比丘說苦遇佛得道十二
- 四比丘說樂佛謂是苦心悟得道十三
- 比丘拔母泥犁之苦十四
- 比丘從師教得道十五
- 比丘白骨觀入道十六
- 比丘自恣受臘得道十七
- 比丘喜眠佛樂宿習得道十八
- 比丘好眠見應化深坑懼而得道十九
- 比丘多食得羅漢道二十
- 比丘久病佛為湔浣聞法捨命得無餘泥洹二十一
- 比丘因怖得道二十二
- 比丘與女戲有惡聲自殺天神悟之精進得道二十三
- 比丘在俗害母為溥首菩薩所化出家得道二十四
- 比丘貧老公垂殞佛說往行許其出家二十五
- 比丘見一須陀洹作維那獲苦報畏故得道二十六
- 二比丘所行不同得報亦異二十七
- 沙門樹下坐貪想不除佛化身說法得羅漢道二十八
- 沙門飯僧污手拭柱柱為之裂二十九
- 沙門小便不彈指尿瀆鬼面三十
- 沙門開戶五指火出三十一

重姓魚吞不死出家悟道一

舍衛國有豪長者。財富無量。唯無子姓每懷悒遲。禱祀求索精誠欵篤。婦生一男端正希有。父母宗親。值時譏會共相聚集。詣大江邊飲食自娛。父母將兒詣其會所。愛念此兒從坐擔舞。父舞已竟。母復擔之。歡

娛自樂。臨到河邊意卒散亂。執之不固失兒墮水。尋時搏撮竟不能得。父母憐念愛著傷懷。其兒福德遂復不死。隨水沈浮為一魚所吞。雖在魚腹猶自不死。下流村中有一富家。亦無兒子。種種求索困不能得。而彼富家恒令一奴捕生為業。值得吞小兒魚。剖腹得兒。施與大家。大家觀省。而自慶言。我家由來禱祠神祇。求索子息精誠報應。故天與我。即便摩拭乳哺養之。上村父母聞下村長者魚腹得兒。即往其所。追求索之言。是我兒。我於彼河而失是子。今汝得之。願以見還。時彼長者而答之曰。我家由來禱祠求子。今神報應賜我一兒。君之亡兒竟為所在。紛紜不了詣王求斷。於是二家各引道理。其兒父母說是我兒。我於某時失在河中。而彼長者復自說言。我於河中魚腹得之。此實我子非君所生。王聞其說靡知所如。即為二家平詳此事。卿二長者各名此兒。今若與一於理不可。更共供養。至兒長大。各為娶婦。安置家業。二處異居。此婦生子即屬此家。彼婦生兒。即屬彼家。時二長者各隨王教。兒年長大俱為娶婦。經給所須無有乏短。兒白二父母。我生已來遭羅艱苦。墮水魚吞垂死得濟。今我志意欲得出家。唯願父母當見聽許。時二父母心愛此兒。不能拒逆。即便聽許。往至佛所。求欲入道。佛言。善來。頭髮自墮即成沙門。字曰重姓。佛為說法。得盡諸苦成阿羅漢。佛言。過去久遠有佛世尊。號毘婆尸。集諸大眾為說妙法。時有長者來至會中。聞說大法施戒之福。生信敬心。受三自歸及不殺戒。復以一錢布施彼佛。世世受福財寶無乏。長者子者今重姓比丘是也。由其施佛一錢。九十一劫恒富錢財。至於今世二家父母供給所須。受不殺戒墮水魚吞不能令死。受三歸故得阿羅漢(出賢愚經第五卷)。

二十耳億精進大過二

佛在占波國雷聲池側。尊者二十耳億在一靜處。自修法本不捨頭陀。晝夜經行。行處脚跡如血流溢。恒自剋勵。而欲漏心不得解脫。是時二十耳億便作是念。苦行精進我為第一。我今漏心不得解脫。又我家業多財饒寶。宜可捨服還作白衣。持財廣施。佛心知之便至彼處。佛語二十耳億。汝本在家善能彈琴。琴絃極急響不齊等可聽不。不也世尊。佛言琴絃極緩復可聽不。不也世尊。佛言。不急不緩音可聽不。如是世尊。佛言。極精進者猶如調戲。若懈怠者此墮邪見。若能在中。此則上行。如是不久。當成無漏。二十耳億聞是語已。還雷音池側。思惟佛教。成阿羅漢(出增一阿含經第八卷)。

賴吒為父所要三

賴吒婆羅門。求佛出家。佛言。先辭父母。父母不聽。賴吒臥地多日不食。父母慰喻。終亦默然。既憐其志。便即聽許。出家受具足成阿羅漢。後十年還村。次第乞食。父見不識訶罵不與。婢取鉢盛棄爛食與。還啟大家。賴吒還。父即出看。問。汝還何不至我門。答言。已至得罵。父牽入室。辦種種美食。象負金銀著中庭。高於人。錢物無數。汝

可還俗。母命新婦嚴莊至賴吒所。親戚共相諫數。賴吒啟欲施食與。何假見嬈(出中阿含經第二十八卷)。

金財以兩錢施佛僧今生手把金錢四

舍衛城中有大長者。婦生一男兒。名曰金財。端正殊特。是兒手捲。父母驚怖。即開兩手。見二金錢。在兒手中。歡喜收取輒更續生。如是懃取滿藏不盡。兒年轉大。即白父母求索出家。即便聽之。往至佛所剃除鬚髮身著袈裟。年滿受戒。臨壇眾僧。次第為禮。隨所禮處。時兩手按地。皆有二金錢。受戒已竟。精勤修習得羅漢道。阿難白佛。此金財比丘。先造何福手把金錢。佛言。過去九十一劫。有佛名毘婆尸。出現於世。與諸眾僧遊行國界。時諸長者。施設供養佛及弟子。時一貧人取薪賣之。時得兩錢。見佛歡喜。即以兩錢施佛及僧。貧人以兩錢。施佛及僧故。九十一劫恒把金錢。財寶自然。爾時貧人者。金財比丘是也(出賢愚經第二卷)。

華天先世採花供養今天雨其花五

舍衛國有豪富長者。生一男兒。面首端正。天雨眾花積滿舍內。即字此兒。名弗把提(梁言花天)兒年轉大。往至佛所。心自思惟。我出處世得值聖尊。即前白佛言。唯願世尊及與眾僧。明日屈意臨適鄙家。受少蔬食。佛即受請。花天還至。化作寶床遍其舍內。正設嚴飾。佛及眾僧即坐其座。花天福德飲食自辦。佛僧食已。廣為花天具說法要。花天合家得須陀洹。花天即辭父母。求索出俗。父母聽之。佛言善來。鬚髮自墮袈裟著身。遵修佛教逮得羅漢。阿難白佛。花天何福。而得如是。佛言。過去有佛。名毘婆尸。出現於世度脫眾生。時諸豪族皆悉供養。有一貧人。見僧歡喜。即於野澤。採眾草花用散大眾。佛告阿難。爾時貧人。今花天比丘是。散花之德。九十一劫身體端正。意有所須。如念而至(出賢愚經第二卷)。

寶天前身以一把石擬珠散僧故生時天雨七寶六

舍衛國有長者。生一男兒。當爾之時。天雨七寶。遍其家內。相師覩之。白長者言。兒相殊特。生時有瑞應。號為勒那提婆(梁言寶天)兒年轉大。才藝博通。聞佛神聖。心懷注仰。辭父母往詣佛所。而白佛言。願令出家。佛言善來。鬚髮自墮法衣在身。佛為說法。即得羅漢。毘婆尸佛出現於世。有諸居士。共請眾僧。種種供養。時有貧人。雖懷喜心無供養具。以一把白石擬珠。用散眾僧。發大誓願。貧人者今此寶天比丘是。乃至九十一劫受無量福。多饒財寶衣食自然。今遭我世。得道果證(出賢愚經第二卷)。

少欲知足比丘聞法成道七

時南天竺有一男子。於正法中出家。少欲知足不樂榮顯。不以蘇油摩身。不以湯水洗浴。不食蘇油。常畏生死四大無力。不得聖道。即生心念。唯有優波笈多。能為我說法。即詣摩偷羅國。合掌禮敬。優波笈多。見其後身。怖畏生死。常不樂麁惡。不願榮華。優波笈多語言。但隨我教。當為汝說。答言唯。優波笈多。令諸檀越設種種飲食洗浴眾僧。又語年少沙門。可以湯水洗浴此比丘。以蘇油摩其身。以種種美食與之。是比丘得食數日身有氣力。一聞笈多所說妙法。精進思惟得阿羅漢果(出阿育王經第九卷)。

工巧比丘思惟成道八

有一男子。於佛法中出家。善能工巧。在所至處。一切眾僧。令造寺舍日日不息。生大疲勌。即自念言。我當坐禪思惟。佛昔在世。說一切比丘應坐禪修道。不得放縱。即往優波笈多所。禮拜合掌言。佛已涅槃。大德今作佛事。願為說法。時優波笈多見其後身畏生死苦因緣未足。更為工巧。復見疲勌。不能復作。優波笈多語言。若隨我教。當為說法。答曰如是。優波笈多言。若地未起寺者。汝當於彼起寺。佛昔說此得梵功德。答曰。大德。我於摩偷羅國。不知誰精進誰不精進。笈多曰。汝能早起著衣持鉢入國不。答曰。能早起入國。遇一長者出。所未曾見。此比丘而今見之。即為作禮問言。大德。從遠近來。比丘答曰。從東國來。又問何事。答曰如是。長者言。大德。今不須思惟。是我當為比丘。種種辦具。時比丘共長者。捉繩墨度覓處。繩未至地。即自思惟。所作功德。除一切煩惱。得阿羅漢果(出阿育王經第九卷)。

賊作比丘遇佛悟道九

佛在舍衛國。時拘薩羅國。波斯匿王勅典獄者。諸有盜賊罪應入律詣市殺之。時有一賊在大眾中。逃竊得脫。外假法服。私為沙門。然內不思惟。謂為永離困厄之難。不復懼害。在閑靜處。不思道德。不習經戒。律儀禪誦之道。然未得證果。不勤求證果。佛告彼人。已免生死賊寇之難。故有餘恐。五盛陰身輪轉五趣。無有解已。為諸結使所見殘害。便當墮於餓鬼畜生之道。時彼比丘。在閑靜處。思惟校計。內自懇責。解知萬物皆悉無常。生不久在。盡歸於滅。興衰之變。斯來久矣。即於佛前。悔過自責。成羅漢道(出說竊為沙門經)。

貪食比丘觀察得道十

時摩偷羅國有一男子。於優波笈多所。離俗出家。為貪食故不能得道。笈多語言。我明日當與汝食。至時以一器盛滿鉢糜。又一空器并置其前。而語之言。汝可取食令此器空。又言。待冷稍稍食之。而此比丘貪心厚重。便吹使冷。白和上言。已冷乃併食之。笈多曰。乳糜雖冷。汝心故熱。復應冷之。當以不淨觀為水。除此心熱。若見飲食如服藥想。比丘食竟。即便吐出。滿於空器。笈多曰。汝可更食。比丘曰。不淨何

可復食。又言。汝觀一切法猶如涕吐。因為說法。比丘精進思惟觀察。得阿羅漢果(出阿育王經第九卷)。

乞兒比丘現神力入祇陀宮十一

祇陀太子遣信。請佛及僧明日食。唯不請乞兒比丘。乞兒比丘善來盡隨佛僧入宮食。乞兒比丘。以神通力往北欝單越。取自然粳飯。各持威儀凌虛而下。入太子宮次第而坐。太子見之歎未曾有。問佛言。此諸賢聖從何許來。佛言。即五百乞兒為沙門也。太子深愧(出賢愚經第五卷)。

四比丘說苦遇佛得道十二

佛在舍衛精舍。有四比丘坐於樹下。共相問言。一切世間何者最苦。一人言。天下之苦無過婬欲。一人言。世間之苦無過飢渴。一人言。世間之苦無過瞋恚。一人言。天下之苦莫過驚怖。共諍苦義云何不止。佛知其言。往到其所。問其所論。即以事白佛言。汝等所論不究苦義。天下之苦莫過有身。飢渴寒熱瞋恚驚怖色欲怨禍皆由於身。夫身者眾苦之本患禍之器。勞心極慮憂畏萬端。三界蠕動更相殘賊。吾我縛著生死不息。皆由身興。欲離世苦當求寂滅。攝心守正怕然無想。可得泥洹。此為最樂。佛為說偈告諸比丘。往昔久遠無數世時。有五通比丘。名精進力。在山樹下閑寂求道。時有四禽依附左右常得安隱。一者鴿。二者烏。三者毒蛇。四者鹿。是四禽者。晝行求食。暮則還宿。四禽一夜。自相問言。世間之苦何者為重。烏言。飢渴之時身羸目冥神識不寧。投身羅網不顧鋒刃。我等喪身莫不由之。以此言之。飢渴為苦。鴿言。色欲熾盛無所顧念。危身滅命莫不由之。毒蛇言。恚意一起不避親疎。亦能殺人復能自殺。鹿言。我在林野心恒怵惕。畏懼獵師及諸虎狼。髣髴有聲奔投坑岸。母子相捐肝膽悼悸。以此言之。驚怖為苦。時精進力答言。汝等所論未耳。不究苦本。天下大苦無過有為。是為苦器憂畏無量。吾以是故捨俗學道。滅意斷想。不貪四大。欲斷苦源志存泥洹。泥洹道者寂滅無形。憂患永畢。爾乃大安。四禽聞之。心即開解。佛告比丘。爾時五通比丘則吾身是。時四禽者今四人是。前世已聞苦本之義。如何今日方復云云。比丘聞之慚愧自責。即於佛前得羅漢道(出法句經譬喻第四卷)。

四比丘說樂佛謂是苦心悟得道十三

佛在舍衛精舍。時有四新學比丘。至柰樹下坐禪修道。柰華榮茂色好且香。因相謂曰。世間萬事何者可樂。一人言。仲春之月百卉榮華。遊戲原野此最為樂。一人言。宗親吉會觴酌交錯。音樂歌舞此最為樂。一人言。多積財寶所欲即得。車馬服飾與眾有異。出入光顯行者屬目。此最為樂。一人言。妻妾端正綵服鮮明。香熏芬馥恣意縱情。此最為樂。佛知可化。往為宣說。此最為苦。言昔有國王。名曰普安。與隣國四王共為親友。請此四王宴會一月。飲食娛樂。臨別之日。普安王問曰。人居

世間。以何為樂。四王所對。與汝不異。時普安王為體。四王聞之歡喜信解。時普安王我身是也。時四王者汝四人是。前已論之今又不解。生死延長何由休息。時四比丘。重聞此義慚愧悔過。心意開寤得羅漢道(出法句喻經第四卷)。

比丘拔母泥犁之苦十四

昔有一人。辭親學道得成應真。諸有恩已盡行濟之。觀見其母在泥犁中。廣求方便欲脫母苦。見邊境有王害父奪國。命餘七日。受罪之地與其母同。夜到王所。於壁現半身。王見怖懅。拔刀斫頸。頸即落地。比丘不動。王意方解。叩頭謝過。比丘語王。汝害父奪國不耶。對曰。實爾。曰汝命餘七日。當入地獄。吾故來相語。王即求哀。比丘曰。大作功德恐不相及。王但稱南無佛。七日不絕便得免罪。王便一心稱南無佛。七日不懈。命終神明猶憶入泥犁門。故稱南無佛。泥犁即冷。一城中人皆得脫出。比丘便為說法。比丘母及王。與泥犁中人皆得度脫(出十卷譬喻經第二卷)。

比丘從師教得道十五

南天竺國有一男子。於佛法出家。身為愛所縛。以蘇油摩身。又用湯水洗浴。資種種飲食。身為愛縛不得聖道。往摩偷羅國優波笈多所。禮足而言。願聞法要優波笈多。見其後身為愛所縛。語言。男子。能受我教當為汝說。答言能。優波笈多將其入山。以神通力化作大樹。語言。汝當上此大樹。是時比丘便即上樹。又於樹下化作大坑。深廣千肘。又語。放汝二脚。即便放脚。又令放一手。即放一手。更放一手。比丘答言。若復放手便墮坑死。優波笈多言。我先共約一切受教。汝云何不受。時身愛即滅。放手而墮。不見樹坑。笈多說法。精進思惟得羅漢果(出阿育王經第十卷)。

比丘白骨觀入道十六

摩偷羅國有一男子。從優波笈多出家。聞說不淨觀等。以不淨觀摧伏煩惱。謂已作所作。笈多言。汝當精進勿作懈想。答言。曰我已得阿羅漢。笈多語言。汝見乾陀羅國(翻地持)沽酒女人不。此女人。自言得道。如汝不異。煩惱未斷而自言斷。是增上慢。汝今觀此女人為得道不。答曰。我未能見。欲向彼國。師即聽之。是時比丘。至乾陀羅國。治下土石寺消息。早起著衣持鉢入聚落乞食。時沽酒女取食欲與。比丘見女。婬欲愛心便自取鉢中麨酪。與此女人。女人見之。亦婬欲變心露齒而笑。比丘即入不淨觀。乃至觀身作白骨想。從於是觀得羅漢果(出阿育王經第十卷)。

比丘自恣受臘得道十七

佛在舍衛國。夏居三月。以至新歲。告阿難言。汝擊揵搥。揵搥聲音遍一佛國。地獄餓鬼畜生一切病苦。聞音悉除皆得安隱。於時佛言。比丘汝等宜起行舍羅籌。各各相對悔過自責。相謝眾失所犯非法。各忍和同淨身口心。令無餘穢。時諸比丘即受佛教。事訖還坐。時佛慈愍。因從坐起。向諸比丘。叉手而言。雖無上尊至真無失。當可施行以為訓誨。時佛遷延懺謝聖眾。矜愍一切還就草蓐。佛適復坐聖眾亦然。各就故位。時萬比丘得成道迹。八千比丘得阿羅漢(明自恣受臘事出新歲經)。

比丘憙眠佛樂宿習得道十八

佛在祇樹精舍。諸比丘。勤修道業除棄陰蓋。有一比丘。飽食入室閉房靜眠。受身快意不觀非常。無復晝夜。却後七日其命將終。佛愍傷之。即入其室彈指寤之。為說妙偈。驚悟稽首作禮。佛告比丘汝本宿命。惟衛佛時曾得出家。貪身利養不念經戒。飽食却眠不惟非常。命終魂神生翁蟲中。積五萬歲。壽盡復為螺蜂之蟲樹中蠹蟲。各五萬歲。此四品蟲。生長冥中貪身愛命。樂處幽隱為家不喜光明。一眠之時百歲乃覺。連綿羅網不求出要。今始罪畢。得為沙門。如何睡眠不知厭足。比丘聞已慚怖自責。五蓋即除。成阿羅漢(出法句譬喻第三卷)。

比丘好眠見應化深坑懼而得道十九

摩偷羅國。有一男子。依優波笈多出家。常好眠睡。有時說法睡眠不聞。教樹下禪亦復睡眠。笈多以神通力。於其四邊化作深坑深一千肘。時比丘睡覺。即便驚怖。時優波笈多復化作路。令其得行。時此比丘。隨路而出。往優波笈多所。優波笈多令其更去。比丘答言。彼有深坑。優波笈多言。此深坑小生死。深坑大所謂生老病死憂悲苦惱。若人不知四諦。則墮其中。比丘聞之。復往樹下加趺而坐。心每思惟恐墮深坑。不復睡眠。以怖畏故思惟精進。除諸煩惱。得阿羅漢果。(出阿育王經第九卷)。

比丘多食得羅漢道二十

有一牸象。名曰磨荼。載佛舍利至罽賓國。以此善根死生人中。出家得阿羅漢果。因食飯一斛乃般涅槃。告諸比丘尼汝等集會。我當自說所得勝法。諸比丘尼不信其言。復語尼曰。莫生不信。前世為牸象。捨彼象身即得此身。能食飯一斛五斗。而食一斛。乃至廣說。如是等雖是多食。而是易滿。曾聞波斯匿王。食飯二斛。是彼功德因緣故。因一根粳米。一莖苜蓿。日日長生。爾許飯食故身體肥大。以此大身往詣佛所。佛問。大王。身體肥大得無疲耶。時波斯匿心生慚愧。具向佛說世尊說偈。

人當有正念　於食知止足　亦不遭苦受　易消而增壽

時波斯匿王。聞佛所說。漸漸減食。乃至後時唯食一卧(出阿毘曇毘婆沙第二十二卷)。

比丘久病佛為湔浣聞法捨命得無餘泥洹二十一

佛在舍衛國。有一長者。請佛及僧。時比丘往。如來不往。遣信取食。有二因緣。一者欲與諸天說法。二者瞻視病人。是時世尊遍觀比丘。皆悉受請。即取鑰母開一房門。見一比丘。抱患頓篤臥大小便不能轉側。世尊問曰。汝有何患。比丘曰。受性闇鈍恒懷懈慢。初不勸他瞻視餘人。是故今日無看我者。今實孤窮所怙無處。爾時世尊。慈憐躬抱。除去不淨。湔浣坐具。水洗其身。更與著衣。敷新坐具。還置房中。躬自案摩。告比丘曰。汝不加勤求增上法。死後便當更受劇苦。漸與說法勸使勇猛。乃告諸僧。汝等比丘。無父母兄弟。亦無姊妹宗族。不相瞻視此非其宜。我法齊正上下和從。自今為始。弟子侍師如事父母。至死不捨。師看弟子視如己息。隨時將息至死不捨。師徒相慈流于永劫。所有什物平等分布。設無什物當廣分衛。有瞻病者則瞻我身。所獲功德亦無差降。時病比丘便自思惟。即捨形壽。便得無餘(出佛看比丘病不受長者請經)。

比丘因怖得道二十二

時摩偷羅國。有一男子。從優波笈多出家。多喜睡眠。笈多化作一鬼。而有七頭。手捉樹枝身懸空中。比丘見已即便驚覺。生大怖畏。還其本所。笈多語云。還坐禪處。比丘白言。和上彼林中有一鬼。七頭當我前。手捉樹枝懸在空中。甚可怖畏。笈多言。此鬼不足畏。睡眠最可畏。若比丘為此鬼所殺。必不入生死。若為睡眠所殺。則生死無窮。比丘即還坐禪處。復見此鬼。畏此鬼故不敢睡眠。是時比丘精進思惟。得阿羅漢果(出阿育王經第十卷)。

比丘與女戲有惡聲自殺天神悟之精進得道二十三

佛住舍衛國。有異比丘。在拘薩羅人間。住一林中。比丘與長者婦女嬉戲。起惡名聲。比丘自念。我今自殺。林中有天神。化作長者女身。語比丘言。世間諸人為我及汝。空作惡名言。我與汝共相習近。作不正事。既已有惡聲。可近還俗共相娛樂。比丘答曰。為有此聲。我今自殺。神復天身。而說偈言。

雖多惡名　行者忍之　不應自害　不應起惱　比丘開悟　專精思惟
斷除煩惱　得阿羅漢(出比丘避女惡名欲自殺經)

比丘在俗害母為溥首菩薩所化出家得道二十四

路有一人。害所生母。止住樹下。啼哭懊惱。稱叫奈何。自責無狀而造大逆。自害我母當墮地獄。其人雖爾當修律行。溥首菩薩。見其現在應當得度。化作異人。携其父母詣害母人所。去之不遠中道而住。父母謂子此是正路。子言非正。遂共諍計。子現瞋怒殺化父母。已啼哭酸毒不能自勝。往殺母人所。謂言。我殺父母當墮地獄。哭言奈何。當設何計。其害母者而自念言。今此來人乃害二親。我但危母。其人癡冥罪莫大焉。我之為逆尚差於彼。知彼受罪吾猶覺輕。其人悲哀酸酷口並宣言。吾當往詣能仁佛所。其無救者佛為設救。其恐懅者佛能慰除。如佛所教我當奉還。於時化人啼哭進路在其前行。此害母者尋隨其後。如彼悔過吾亦當爾。吾罪微薄彼人甚重。化人詣佛稽首于地。而白佛言。唯然世尊。吾造大逆而害二親。犯斯大罪。佛告化人。善哉善哉。子為至誠而無所欺言行相副詣如來前。言說至誠。口不兩舌。亦不自侵。當自察觀心之法。以何所心。危二親者。用過去心當來心乎。現在心耶。其過去心即已滅。現在心即以別去。無有處所。亦無方面。不知安在。當來心者。此則未至。無集聚處。未見旋反。亦無往還。子當知之。心亦不立於身之內。亦不由外亦無境界。不處兩間不得中止(如此文多不可備載)化人歎曰。未曾有。如來成最正覺。了知法界無有作者。亦無有受無有生者。無滅度者。無所依倚。願得出家。因佛世尊得作沙門。受具足戒。佛言。比丘善來。於時化人前作沙門。即白佛言。唯然世尊。吾獲神通今欲滅度。佛之威神使彼化人去地四丈九尺。於虛空中而取滅度。身中出火。還自燒體。逆子見之。心自念言。彼作沙門便得滅度。吾効此人。往詣佛所。稽首聖足。我亦造逆。自危母命。佛言。善哉。至誠而無所欺。言行相副。於是逆人地獄之火從毛孔出。其痛甚劇。而無救護。白佛言。我今被燒。唯天中天而見救濟。世尊出金色臂。著人頭上。火時即滅。見如來身。若干相好。身痛休息。而得安隱。又前白佛。欲作沙門。佛尋聽之。即為出家。說四諦法。其人聞之。遠塵離垢得法眼淨。修行法教。逮得往還。證得羅漢。又白佛言。欲般泥洹。佛言隨意。時比丘踊在虛空。去地四丈九尺。身自出火。還燒己體。百千天人於虛空中。而來供養。時舍利弗白佛言。如來恩施所說律。乃令逆者得度。唯有如來。諸大菩薩能覩一切群萌根源。隨而度之。非聲聞緣覺境界。佛言如是(出心本淨經)。

比丘貧老公垂殞佛說往行許其出家二十五

舍衛國。有一貧窮老公。踰二百歲。眉生秀毛耳出於頭。齒如齊貝。手過於膝。貌而視之似如有相。而貧窮辛苦。衣不蓋形五體裸露。腹恒飢空行步。纔動示有氣息。欲往見佛。釋梵侍門勅不通之。老公大聲。言曰。吾雖貧窮。民之斯下。千載有幸。今得值佛。欲問罪福。求離眾苦。我聞世尊仁慈普逮。莫不受恩。而獨斷我亦誣聖意。佛呼使前。匍匐寸進。為佛作禮。悲喜交流。稱其窮苦。願一奉覲十年始果。氣力既惡。進退無路。但恐命絕穢污聖門。重增其罪。天尊哀矜不奪本願。如此而死無復恨矣。唯願速終願垂恩施。佛言。人之受生多以緣致。我為

汝說。汝前世時。生豪強大國明慧王家。時為太子。憍貴非凡。上為父母所珍。下為臣民所奉。用此恣意輕凌於人。高目大視矜抗邈然。財寶億萬皆是民物。百姓貧弊皆以調斂。唯知聚積初不布施。時有寒素沙門。名曰靜志。從遠國來。故往詣卿所求不多。唯法衣耳。而卿了不當接。遇之甚惡。衣既不乞。又不與食。空坐著前去復不聽。晝夜七日。水漿乖絕。示有氣息。方大歡喜。聚眾看之。以為至樂。侍臣諫曰。沙門慈恭。道德內全。凍之不寒。餓之不飢。所以來乞欲為福耳。既不施與。安可窮逼。幸發遣之。勿招其罪。太子乃曰。此是何人詐稱道德。試小困之。纔令不死。正爾放去。無所憂也。即便遣去。驅逐出國。出界十餘里。逢遭餓賊。欲殺噉之。沙門言曰。我窮凍沙門。羸瘦骨立肉痟腥臊不中食也。空當見殺而無所任。餓賊答曰。我餓困累日但食土耳。卿雖小瘦故是肉也。終不相放但當就死。如此前却良久。太子得知便馳往曰。我以不能乞其衣食。寧當令賊殺之耶。賊見太子皆各叩頭謝罪。放沙門去。時沙門者彌勒是也。故卿今日受此貧窮之罪。坐慳貪也。所以長壽救沙門之命也罪福各應如有影響。老公曰。去事以爾。願畢於今。乞得如垂沒之命。得作沙門。後生世世常侍佛邊。佛言善哉。應時老公。鬚髮墮地。法衣在身。體氣更健。耳目聰明。立得上決。入三昧門。以偈讚佛。作禮而退。

我昔為寵子　不識仁義方　驕貴自放恣　時為大國王　自謂無罪福
以此可保常　唐悟生死對　於今受其殃　從罪復蒙祐　得覩天中天
解脫既往罪　垂命入法門　永離慳貪心　長受智慧根　世世不遠佛
保持萬劫存(出貧窮老公經卷)

比丘見一須陀洹先作維那今獲苦報畏故得道二十六

摩偷羅國有一男子。於優波笈多所出家。笈多說法。比丘精進思惟。得須陀洹果。不放逸故脫惡道怖。七生天上。七生人中。受人天樂。當入涅槃。笈多見其意。共入摩偷羅國。次第乞食至旃陀羅舍。有旃陀羅子。得須陀洹果。身有惡病。一切身體為蟲所食。口氣臭穢。優波笈多語弟子言。汝觀此小兒。得須陀洹。受如此苦。

生旃陀羅姓　樂著於三月　惡蟲食其體　為愛自在故　生死無有實
猶如芭蕉林

比丘問何緣。得須陀洹。而受此苦。笈多答曰。先身出家。眾僧坐禪其為維那。有一羅漢。居此惡病。搔刮作聲。維那語言。惡蟲食汝。而作此聲。即牽臂出言。汝入旃陀羅室去。阿羅漢語維那。汝當精進。莫往生死受苦。是維那即懺悔之。懺悔竟得須陀洹果。不復精進。今小兒是也。牽羅漢出。今生旃陀羅處。受此報也。比丘怖畏勤精進。即得阿羅漢果(出阿育王經第十卷)。

二比丘所行不同得報亦異二十七

昔有兩比丘。持戒智慧正等。俱得須陀洹道。一比丘但行乞匄。以用布施。飯諸比丘僧及貧窮者。一比丘但坐禪自守。謂行乞匄作布施者言。何以不坐禪。自守空自勤苦。一比丘答言。賢者。佛言。為比丘亦當布施。不則後世貧窮。後二比丘俱得羅漢。迦羅越子作沙門。前世乞匄。今得自守眾人。自持衣食日日與之。其一比丘前世但自守。今為婢子。作沙門乞匄。無有與者。常大飢渴故應持戒布施。不當自守也(出十卷譬喻經第三卷)。

沙門樹下坐貪想不除佛化身說法得羅漢道二十八

佛在世時。有一道人。在於河邊樹下學道。貪想不除。走心散意但念六欲。身靜意遊曾無寧息。十二年中不能得道。佛知可度。化作沙門。往至其所。樹下共宿。須臾月明。有龜從河中出。來至樹下。復有水狗飢行求食。與龜相逢。便欲噉龜。龜縮頭尾及其四脚。藏於甲中不能得噉。水狗小遠。復出頭足行步如故。遂便得免。時化沙門語言比丘。吾念世人不如此龜。有護命之鎧。能令水狗不得其便。世人無智放恣六情。天魔得便殺形壞神去。生死無端輪轉五道。苦惱百千。即為說偈而勸勉之。比丘聞偈貪斷望止。得羅漢道。知化沙門是佛世尊。敬肅正服稽首佛足(出法句經譬喻第二卷)。

沙門飯僧污手拭柱柱為之裂二十九

有沙門。作摩波利。飯比丘。分酪蘇著手。以手塗柱。柱即破裂(出譬喻經)。

沙門小便不彈指尿漬鬼面三十

有一沙門。不彈指來小便。漬清中鬼面。厲鬼大恚。欲殺沙門。沙門持戒。厲鬼隨逐。伺覓其短。不能得便。沙門後作摩波利。有人上此僧物者。即於坐上。得羅漢道(出一卷雜譬喻經)。

沙門開戶五指火出三十一

有沙門先共學道。同住一堂。一沙門言。此沙門惡性不可共止。捐往他國。還過視之。為得道未。夜到其舍。沙門鑰開召呼前坐。舉五指頭火出外來。沙門即大驚愕。歎其得道(出一卷雜喻經)。

經律異相卷第十八

經律異相卷第十九(聲聞不測淺深僧部第八)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 伊利沙四姓慳貪為天帝所化一
- 貧人婦掃佛地得現世報終至得道二
- 毘羅斯那微善出家生天得道三
- 跋[王*處]就鳥乞羽龍乞珠四
- 耶舍因年飢犯欲母為通致佛說往行五
- 難提比丘為惑所染說其宿行并鹿斑童子六
- 闡陀比丘昔經為奴叛遠從學教授五百童子七
- 二摩訶羅同住和合婚姻佛說其往行八
- 常歡嫉於無勝佛說往緣栴沙生墮阿鼻九
- 持戒堅固生天因緣十
- 滿願問餓鬼夫入城久近并答江岸七反成敗十一
- 比丘遇劫被生草縛不敢挽斷十二
- 比丘夜不相識各言是鬼十三
- 比丘遇王難為山神所救十四
- 比丘誦經臨終見佛闍維舌存十五
- 比丘居深山為鬼所嬈佛禁非人處住十六
- 比丘失志心生惑亂十七
- 珍重沙門母為餓鬼以方便救濟十八
- 沙門入海龍請供養得摩尼珠十九
- 沙門煮草變成牛骨二十
- 沙門行乞主人有珠為鸚鵡所吞橫相苦加忍受不言二十一
- 沙門遇鬼變身乍有乍無二十二
- 沙門得鬼抱安心說化鬼辭謝而去二十三
- 道人度獵師二十四

伊利沙四姓慳貪為天帝所化一

昔有四姓。名伊利沙。財富無數。慳惜衣食。有貧老公。居與相近。日日自恣。飲食魚肉。賓客不絕。四姓自念。我財無數反不如此老公。便殺一鷄。炊一升白米。著車上到無人處。下車適欲飯。天帝化作犬來。上下視之。謂狗言。汝若倒懸空中者。我當與汝不。狗即倒懸空中。四姓意大恐曰。汝眼著地我當與汝不。狗兩眼脫地。四姓便徙去。天帝化作四姓身。乘車還家勅語。外人有詐稱四姓者。驅逐捶之。四姓晚還。門人罵詈令去。天帝盡取財物大布施。四姓亦不得歸。財物既盡為之發狂。天帝作一人問。汝何以愁曰。我財物了盡。天帝言。夫有珍寶令人多憂。五家無期積財不施。死為餓鬼。恒乏衣食。若脫為人。常墮下賤。汝不覺無常。富而且慳。貪惜不食。欲何望乎。天帝為說四諦。四

姓意解。天帝化去。四姓歸。自悔前意。盡心施給財盡得道(出雜譬喻經第五卷)。

貧人婦掃佛地得現世報終至得道二

昔祇洹邊。有一貧家。欲供養世尊及諸弟子。居貧困窮無所施設。便行掃佛精舍。至心不倦。貧賢者舍邊有長者。遊行觀見。大澤中有數十間七寶舍。遙見便往問人言。誰作殿舍。好妙乃爾。其人答曰。有貧窮賢者。掃佛精舍。福應生此。並作殿舍待之耳。長者喜言。我當圖之。便到貧者家語言卿。有好物與我。我與卿五百兩金。曰我從來貧困。那得好物。長者言。卿但許我。曰可爾。便與五百兩金賢者得金。廣設檀施。佛為說法。即得道迹(出諸經中要事)。

毘羅斯那微善出家生天得道三

佛在毘舍離。食時著衣持鉢。將阿難入城乞食。時毘舍離城。有居士名毘羅斯那。命斷賓客。於七日中五欲自娛。語守門人勿通外門。時佛乞食。漸詣毘羅那家。時聞作樂聲。便告阿難侍者。阿難依事報答。佛言。今此長者。過七日已當命終。亡生啼哭地獄中。所以然者。本造善根於此便斷。更不造新。以是命終生地獄中。阿難白言。頗有方便。使彼居士過此七日命不終耶。佛告阿難。無有方便使命不終。但有方便免地獄耳。若彼長者。剃除鬚髮著三法衣。以信堅固出家學道。長者乃得不墮地獄。阿難白言。我今當勸使彼出家。時毘舍離凡諸釋種。常與阿難要言。阿難所言到家。若彼家中。有眠寐者。及以眾事。皆聽阿難使人直入。所以然者。言語柔和語不害人。爾時阿難語守門者。汝可往白之。守門即入。具宣此事。長者即便捨樂速出禮足阿難。白言阿難。願入我家福度男女。阿難報言。彼如來者知時不妄。記汝長者七日當亡。命終當生啼哭地獄。長者聞是恐怖悲泣。白阿難言。頗有方便令不終耶。阿難報言。無有方便得不終者。但有方便免地獄耳。長者問故。阿難報言。若汝出家便免地獄。時此長者念付家業。後往佛所出家學道。便作是言。七日猶遠。我於今日五欲自娛。清旦當往。阿難至時。著衣持鉢入城乞食。至居士家語居士言。今一日已過餘六日在。可時出家。長者報言。我後當往。如是復言。更欲自樂。後日乃往。如是推遷不能自盡。阿難日日常往勸之。至六日滿。前七日朝。阿難復語。乃付家業。與大小別。便至佛所。世尊命阿難。與受具戒。受戒已畢。於前七日後夜命終。生四王天。阿難問佛。得生。何處。佛告阿難。毘羅斯那比丘。命過生四王天。於彼命終。生三十三天。如是流轉人天。經歷九劫。天上人間更互受生於最後身。復來人間。剃除鬚髮。以信堅固。出家學道。成辟支佛。名毘羅斯那。所以然者。此毘羅斯那比丘。受具足戒精進命終如是。阿難梵行果報。所生受福(出毘羅斯那居士五欲娛樂經)。

跋[王*處]就鳥乞羽龍乞珠四

佛住王舍城曠野精舍。有五百比丘。皆乞作房。有估客見比丘來。即閉肆歸家避之。比丘餘道邀之相值。仍說果報。教令生信。乃至手撮其頭。強勸布施。所以然者。令汝得色力壽命。增益功德逮甘露果。估客聞之生信。少多布施。後見舍利弗。具以是事訴舍利。舍利聞已。說法令喜。還具白佛。佛告營事比丘。過去世時。有比丘。名跋[王*處]。止住林中。時釋軍多鳥。亦棲此林。晨暮亂鳴惱於跋[王*處]跋[王*處]詣世尊所。頂禮佛足。於一面立。世尊慰問。少病少惱安樂住林中耶。比丘答曰。少病少惱樂住於中。但釋軍多鳥。鳴喚惱亂不得思惟。佛告比丘。汝欲令此鳥一切不來耶。答曰。願爾。佛言比丘。此鳥來時。汝從眾鳥各乞一毛。比丘依教乞毛。諸鳥各落一毛。朝朝去時如是復乞。時鳥即移異處一宿。不得安樂尋復來還。時比丘復從乞毛。復各與一。眾鳥相謂。沙門乞毛不已。恐我不久毛衣都盡。不能復飛。更共議言。此比丘常住林中。我等應去。更求餘棲。諸比丘具以白佛言。林中比丘怯劣。喜亂畏惡鳥聲。佛言。不但今日怯劣。過去世時有一龍象。住在林中。大風卒起。吹折樹木。象聞折聲。驚怖奔走。怖心小歇。又蔭餘樹。餘樹復折。遂復奔走。時天見象念言。此象橫自狂走。即說偈言。

風暴林樹折　龍象驚怖走　假使普天下　龍象何處避

佛言。于時象者。林中比丘是也。佛復告比丘。過去世時。有五百仙人。住雪山中。時一仙人。於別處住。有好泉水。華果茂盛。去是不遠。有薩羅水。水中有龍。龍見仙人威儀庠序。心生愛念來詣仙人。正復值仙結跏趺坐。龍遶仙人七匝。以頭覆其頂上而住。日日如是。唯有食時不來。仙人以龍遶身故。日夜端坐不得休息。身體萎羸便生瘡疥。爾時近處有人居止。供養仙人。詣仙人所。見羸劣疥搔。即問。何故如是。仙人具說上事。又問曰。欲令龍不復來耶。答曰然。復語仙人。是龍咽上有瓔珞寶珠。可從龍索珠。龍法性慳終不相與。龍來便從索珠。龍聞乞此。心即不喜徐捨而去。明日龍來遙說偈曰。

光耀摩尼寶　瓔珞莊嚴身　若龍能施我　乃為善親友

龍偈答曰。

畏失摩尼珠　猶執杖呼狗　寶珠不可得　更不來看汝　上饌及眾寶
由此摩尼尊　是終不可得　何故慇懃求　多求親愛離　由是更不來

時有天人。於虛空中。說偈曰。

厭薄所以生　皆由多求故　梵志貪相現　龍則潛于淵

佛告諸營事比丘。龍象是畜生。尚惡多求。豈況於人。汝等比丘。莫為

多營事廣索無厭。令彼信心婆羅門居士。苦惱捨財(出僧祇律第七卷又出彌沙塞律第三卷又不合同)。

耶舍因年飢犯欲母為通致佛說往行五

時佛與五百比丘。到跋耆國。住毘舍離城。人民饑饉五穀不熟。死者縱橫乞食難得。城中長者名曰耶舍。耶舍出家乞食難得。多還家覓食。母告之言。汝甚為大苦。我家財物不少。恣汝所用。汝婦猶存。當共生活。恣汝布施供養三寶。如是至三。耶舍不從。母復告之。汝若不樂五欲。但乞我種以續係嗣。令我死沒後財物不沒官耳。耶舍答言。欲令留種者。今奉此勅。母疾入告。新婦曰好。嚴莊及一相見。婦即有身。後遂生男因名續種。世人謂之。乃至財物皆云續種。耶舍聞已。大自慚愧。即白舍利弗。舍利弗以白世尊。耶舍與舍利弗共至佛所。具以白佛。佛言。耶舍比丘。僧中未曾有此。汝愚癡人。開大罪門。佛言。其不但今日於我法中即諸陋患。過去世時。生光音天。此世界初成時。有一人。輕躁貪欲。先來食此地味。其餘眾生轉相効習。心生耽著。身體沈重因起欲。退去神通光明即滅。因茲以後日月生焉。輕躁眾生耶舍是也。其母非直今日誘誑其子。過去已曾告諸比丘。時國名迦尸。城名波羅奈。王子大名稱。布施持戒以道化世。第一夫人觀察星宿。見一金色鹿王。從南方來陵虛北逝。夫人念言。取得此皮持作褥者死無遺恨。若不得者用作王夫人。為即脫瓔珞著垢弊衣。入憂惱房。王看事意還覓之。即問侍者。侍者答言。夫人向入憂惱房住。王便往問誰犯汝者。默不答。王使人問之。又復不答。復命宿舊青衣。多諸方便者種種說化之。答曰。無犯我者。別有所憶故不語耳。因敍見金色鹿。願得其皮持以為褥。青衣白王。王問群臣。誰能得者。乃集諸獵師告。急覓。獵師僉曰。未嘗聞名。況復見之。勅係牢獄。時有一獵師。名耐闍。勇健多力走及奔獸。仰射飛鳥箭無空落。自惟無罪而見囚。執說計問曰。頗有見聞者不。王言。卿可自問夫人。夫人答言。我於樓上見。從南方來陵虛北逝。獵師善相禽獸。乃知鹿宿南食北。於食處求之。時獵師持弓矢漸次北行。前到雪山。山有仙人。藏諸獵具。諸仙人所。作禮問訊。命令就坐。設諸漿果。獵師言。止此久近。仙人答曰已歲數。獵師言。頗嘗奇異事不答曰。此山南有一樹。名尼拘律。常有金色鹿王。飛來在上食其葉。仙人示路。至樹下見。樹扶疎葉覆彌廣。俄而見鹿。猶如雁王陵虛而來。止於樹上食葉。既飽便復飛去。還以白王。非網矢所及。無由得之。卿可自往白夫人。夫人謂獵師言。汝可將蜜塗峯葉。次來向下及張網鞘。處鹿尋蜜。香食葉漸。下到其鞘處。為鞘所得。生驅將去。仙人遙見曰。咄哉禍酷。雖能乘虛。而不能免惡人之手。仙人說偈曰。

世間之大惡　莫過於香味　欺誑凡夫人　及諸林野獸　因風著香味　受斯苦惱患

獵師以蜜塗樹葉。食之將還。王聞鹿至。燒香迎著。夫人見之。前抱鹿

王。以著污染情重。令此鹿王金色即滅。王告夫人此鹿金色忽然變滅。當如之何。夫人言。此金是無施之物。放之令去。金色鹿者。耶舍是也。夫人者耶舍母是。受諸苦惱貪著於今(出僧祇律第一卷)。

難提比丘為欲所染說其宿行并鹿斑童子六

佛在舍衛城。有比丘名難提。行住坐臥心常念定。過七年已退失禪定。復依樹下還習正受欲求本定。魔伺其便變為女人端正無比。於其前住而語之曰。比丘共我行婬來。難提言。惡邪速滅。惡邪速滅。口雖發言而目不視。第二第三皆亦如是。天女即脫衣露形立難提前。難提見其形相欲心染著。爾時天女漸漸却行。難提喚言。汝可小住。天女疾至祇洹塹中。塹有死馬。天女於此隱形不現。難提欲心熾盛。即婬此死馬。欲心息已自念不善。即脫法衣而往祇洹。語比丘言。我犯重罪。比丘即問因緣。難提具說。比丘以事白佛。佛令驅出。比丘白佛言。難提久修梵行。云何為女所惑。佛言。難提不但今為女所惑。過去亦然。過去世時南方阿槃提國有迦葉氏。外道出家聰明博識。助王理國。王執國法拷治姦賊。外道念言。我已出家。云何共王詳斷此事。即白王言。我欲出家王言。師已出家。云何方言我欲出家。答言。我今預此種種刑法。何名出家。我今欲依仙法出家。王言可爾。即於百巖山造立精舍。修習仙法得五神通。忽因小行不淨流出。時有牝鹿。飲此小便舐其產門。即便有胎產一小兒。仙人往看見鹿生兒。怪而念曰。云何畜生而生於人。入定觀之。知是其子收而養之。依母生故體斑似鹿。故名鹿斑。仙人念言。敗正毀德莫過女人。於是教以禪定。化以五通。為說偈言。

一切眾生類　靡不歸於死　隨其業所趣　自受其果報　為善者生天
惡行入地獄　行道修梵行　漏盡得泥洹

爾時仙人即便命終。於是童子淨修梵行。獲五神通。釋提桓因。乘白龍象案行世間。誰有孝順父母供養沙門婆羅門。又能布施持戒修梵行者。案行世界時見是仙人童子。天帝念言。若是童子。欲求帝釋梵王皆悉能得。宜應早壞。乃設方便乃扣法鼓。百千天子皆悉來集。帝釋告言。閻浮提中有一仙人童子。名曰鹿斑。有大功德。欲便壞之。時諸天子聞此不樂。便自念言。壞此人者。將減損諸天眾。增益阿修羅。有一天子而唱是言。誰應行者。時有答言。是天女應行。即便召之。應時百千天女皆悉來集。有一天女。名阿藍浮。其髮雜色髮有四色。青黃赤白故名雜色。差此天女往閻浮提。壞鹿斑童子。時彼天女白帝釋言。我自昔已來。數壞人梵行。令失神通。願更遣餘天女端正嚴好令人樂者。時帝釋復於眾中種種說偈勸喻天女。於是天女即壞仙人童子。佛告諸比丘。爾時仙人童子豈異人乎。即今禪難提是。天女阿藍浮者。今此天女是(出僧祇律第一卷)。

闡陀昔經為奴叛逮從學教授五百童子七

佛住俱舍彌國。爾時長老闡陀。惡性難語。諸比丘乃至於僧中三諫。猶故不止。比丘白佛。佛言。過去時有長者子。有一奴字阿摩由。為性凶惡。爾時長者子與諸婆羅門子遊戲園林。諸從人輩皆在園門外住。時阿摩由在園門外打諸從人。時諸從人被打者。各告其主。時諸婆羅門子盡出呵之。時阿摩由不受其語。答諸婆羅門子言。不隨汝語。我大家子來呵我者當受其語。遂打不止。即來告阿摩由主。阿摩由主生得天眼。觀是鬪處。下有金銀伏藏。其地凶故使其鬪耳。即往呵之。時奴即止。佛告諸比丘。爾時長者子豈異人乎。即我身是。爾時阿摩由者。今闡陀比丘是又過去世時。有弗盧醯大學婆羅門。為國王師常教童子。時婆羅門家生一奴。名迦羅呵。常使供給諸童子。是奴利根聞說法言盡能憶持。此奴一時共諸童子小有慊恨。便走他國。詐自稱言。我是弗盧醯婆羅門子。字耶若達多。語此國王師婆羅門言。我是波羅奈國王師弗盧醯子。故來至此。欲投大師學婆羅門法。師答言可爾。是奴聰明本已曾聞。今復重聞聞悉能持。其師大喜。即令教授門徒五百童子言。汝代我教授。我當往來王家。是師婆羅門無有男兒。唯有一女。便作是念。今可以女妻耶若達多。當在我家便如我子。即告之曰。耶若達多汝莫還彼國。我今以女妻汝。答言。從教。即與女在家。如兒共作生活。家漸豐富。是耶若達多為飲食不佳。即便大怒。妻甚敬之。伺覓彼人而未能得。時彼弗盧醯婆羅門具聞奴在彼。作是念。我奴迦羅呵。逃在他國。當往捉來。或可得奴。直便詣彼國。時耶若達多。與諸門徒詣園林遊戲。在於中路逢其本主。即便驚怖密告門徒。諸童子。汝等還去。各自誦習。門徒去已。便到主前。頭面禮足白其主言。我來此國。師言大家是我父。便投此國師大學婆羅門為師。以大學經典故。師婆羅門與女為婦。願尊今日勿彰我事。當與奴直奉上。大家主婆羅門善解世事。即便答言汝實我兒。何所復言。但作方便。早見發遣即將歸家。告家中言。我所親來。其婦歡喜。辦種種飲食。奉食已訖。小空閑時。禮客婆羅門足。而問之曰。我奉事夫耶若達多。飲食供養常不可意。願今指授本在家時何所噉食。當如先法為作飲食。客婆羅門即便瞋恚。而作是念。如是子如是子。困苦他子女。語此女言。但速發遣。我臨去時。當教汝一偈。汝誦此偈。時當使汝夫無言。發遣客婆羅門已。將欲發時。為說一偈言。

無親遊他方　欺誑天下人　麁食是常法　但食復何嫌

今與汝此偈。若彼瞋恚嫌食惡時。便在其邊背面微誦。令其得聞。作是教已。便還本國。是耶若達多。送主去已。每至食時。還復瞋恚。婦於夫邊試誦其偈。時夫聞是偈已心即不喜。便作是念。咄是老物。發我穢事。從是已後常作濡語。恐婦向人說其陰私。佛告諸比丘。時婆羅奈城。弗盧醯婆羅門者。豈異人乎。即我身是。時奴迦羅呵者。今闡陀比丘是。彼於爾時。已曾恃我陵易他人。今復如是。恃我勢力。陵易他人(出僧祇律第八卷)。

二摩訶羅同住和合婚姻佛說其往行八

舍衛城有二摩訶羅。並捨妻兒出家為道。久遊人間。俱還舍衛。共住一房。各自思惟。欲暫還家看其婦兒。即到本家。婦見瞋言。汝薄德無相棄家學道。女年長大不得嫁娶。今用來為當折汝脚。時小摩訶羅。即還房愁憂不樂。時大摩訶羅亦被驅逐。共歸房內。問小伴言。何以憂苦。答言。何須問為。又問。我等二人。共在一房。好惡之事而不相知。不向我說。更應語誰。即具說之。時大摩訶羅云。此何足愁。我家亦爾。汝男我女可為匹偶。答言可爾。時小摩訶羅還語婦言。我為女得婿。婦答甚善。其大者復歸。報妻言。我為兒得婦。問言是誰。答言某女。時二摩訶羅和合婚姻。各自歡喜如貧得寶。更相愛敬。佛告諸比丘。此二摩訶羅不但今日作如是事。過去伽尸國。有婆羅門。居磨沙豆陳久。煮不可熟。貨之不售。復有一家養一態驢。賣亦不去。豆主念言。今以此豆易取彼驢。便往語之。驢主復念。用是態驢易彼豆。答言可爾。咸各歡喜。豆主頌曰。

婆羅門法巧販賣　塵久氷豆十六紀　唐盡汝薪煮不熟　方折汝家大小齒

時驢主。又作頌曰。

汝婆羅門何所喜　雖有四脚毛衣好　負重遠道令汝知　錐刺火燒終不動

時豆主。復說頌曰。

獨生千秋杖　頭著四寸錐　能伏敗態驢　何憂不可治

時驢謂主。復說頌曰。

安立前二足　雙飛後兩蹄　折汝前板齒　然後自當知

豆主又謂驢。頌曰。

虻蚊毒蟲螫　唯仰尾自防　當截汝尾却　令汝知辛苦

驢復答曰。

從先祖已來　行此[怡-台+龍]悞法　今我承習此　死死終不捨

爾時豆主。知其弊惡不可苦語。便稱譽頌曰。

音聲鳴徹好　面白如珂雪　當為汝取婦　共遊諸林澤

驢聞濡愛語。即復說頌曰。

我能負八斛　日行六百里　婆羅門當知　聞婦心歡喜

佛言。時二人者。則是今日二摩訶羅也。時驢者。今摩訶羅兒也。已曾相欺心婆羅門居士苦惱捨財(出僧祇律第七卷)。

常歡嫉於無勝佛說往緣栴沙生墮阿鼻九

佛告舍利弗。往昔有佛。號名盡勝。有兩比丘。一名無勝。二名常歡。無勝比丘六通神足。常歡比丘結使未除。有一長者。名曰大愛。婦名善幻。端正無比。此兩比丘以為檀越。善幻婦者供養無勝。事事不乏料理。常歡甚自微薄。常歡興妬謗曰。無勝比丘與善幻通。自以恩愛得供養耳。佛語舍利弗。汝知常歡者不。則我身是。善幻婦者。則婆羅門女栴沙者是。爾時誹謗無勝羅漢。無數千歲在地獄中。今雖得佛餘殃故。多舌童女舞杅起腹。來我前曰。沙門何以不說家事。乃說他事。汝今獨樂不知我苦。先共我通有身。臨月事須蘇油。養於小兒。盡當給我。爾時眾會皆低頭默然。釋提桓因侍後扇佛。化為一鼠。入其衣裏。嚙杅落地。時四部弟子及六師等。揚聲稱慶欣笑無量皆同罵曰。汝死罪物。興誹謗無上正真。此地無知。乃能容載此惡物也。地即擘裂炎火勇出。女即便墮大泥犁中。大眾見此。阿闍世王便驚毛豎。即起白言。此女今在何處。佛答。大王。此女所墮。名阿鼻泥犁。王復問佛。此女不殺盜直妄語。墮阿鼻耶。佛語大王。我所說法。有上中下身口意行。王復問佛。何者為重。何者為中。何者為下。佛語阿闍世王。意行最重。口行處中。身行在下(出興起行經下卷)。

持戒堅固生天因緣十

憍薩羅國有二比丘。一人犯戒。一人持戒。欲共往見佛。道中值有蟲水。破戒者語持戒者言。可共飲是水。持戒者言。水中有蟲。云何可飲。犯戒者言。我若不飲便死。不得見佛聞法及僧。持戒者至死不飲。時犯戒者便飲。持戒者不飲便死。即生三十三天上。得天身具足。先到佛所頭面禮足。在一面立。佛為種種說法得法眼淨。即時禮佛足言。歸依佛歸依法歸依僧。我盡形壽為優婆塞。佛更為說法已默然。時天禮佛已。忽然不現。時飲水者後到佛所。佛為無量眾圍遶說法佛見比丘來到。佛即披優多羅僧。示金色手。汝癡人欲見我肉身。為不如持戒者。先見我法身。佛說偈。

心不善觀察　見則不審諦　愚如蛾投火　而貪觀我身　色身但不淨
汝欲見何為　內有脂血肉　外為薄皮覆　彼為渴所燒　猶行恭敬戒
至死護我教　彼見我非汝

佛說是偈已。告諸比丘。從今不持漉水囊不聽行。若不持者犯。不犯者有清流水。或大河或泉水。從此寺至彼寺。二十里內不犯(出十誦律雜誦第三卷)。

滿願問餓鬼夫入城久近并答江岸七反成敗十一

迦羅國。時有餓鬼。倚城門立。比丘滿願問餓鬼曰。汝今在此何所求索。鬼曰。汝今見我耶。比丘曰見。鬼曰。我夫入城于今未還。故於此立自待夫出耳。比丘問曰。汝夫入城為何所求。時鬼答曰。今此城中有大長者。患癰積久。今日當潰。濃血流溢。夫主持來。二人共食以濟其命。比丘復問。汝夫主入城已幾許時。城郭逼近江河。舉手指城。語比丘曰。此城於彼此岸成敗以來。今為第七。我夫入城經爾許時。餓鬼形壽不可稱亦無齊限(出群牛千頭經)。

比丘遇劫被生草縛不敢挽斷十二

昔有五百比丘。行大澤中值遇劫寇。劫其衣裳。縛諸比丘。悉令坐地。攬生草合。結其手而便捨去。此諸道人適欲殺草而起則違佛戒。各各生念。寧自滅身。終不違戒。執窮四日。國王出獵。見諸道人。坐于曠野。下馬作禮問其意故。即具便答。解諸道人將歸供養(出譬喻經第六卷)。

比丘夜不相識各言是鬼十三

山中有一佛圖。有一別房。中有惡鬼。喜來惱人。諸僧捨去。有客僧來。維那處分令住此房。而語之言。此房有鬼戲來惱人。客僧自以持戒力故。答言。小鬼何所能為。我能伏之。即入房住。日將欲暮。更有僧來求覓住處。維那亦令在此房住。亦語有鬼。其人亦言。我當伏之。時先入者。閉戶端坐待鬼不來。後來者。夜打門求入。先入者謂為是鬼。不為開戶。後者極力打門。在內道人以力拒之。外者得勝。排門得入。內者打之。外者亦極力熟打。至明旦相見。乃是故舊同學。道人各相愧謝。眾人雲集笑而怪之(出大智論第九十一卷)。

比丘遇王難為山神所救十四

佛在舍衛國。有一比丘。在參國石間土室中。長髮鬚爪被敗壞衣。時優填王。欲出遊觀治諸道路。王從美人到於山下。有一美人顧見土室。有一比丘。長鬚髮爪衣服裂敗。狀類如鬼。便大聲呼。天子。是中有鬼。王便遙問。今何所在。美人言。近在石間土室中。王即拔劍從之。見比丘如是。即問汝何等人。對言。我是沙門。王問。汝何等沙門。曰。我是釋迦沙門。王言。是應真耶。曰非也。寧有四禪耶。復言無也。寧有三禪二禪耶。復言無有。寧至一禪耶。對曰。言實一禪行。王便心恚不解。顧謂侍者。黃門以是婬意。今是沙門凡俗人無真行。奈何見我美人。便勅侍者急取斷命。侍者便去。山神念。是比丘無過。今當恐死。

我可擁護令脫是厄。便化大猪身。徐走王邊。侍者即白王。大猪近在王邊。王便捨比丘。拔劍逐猪。比丘見王已遠。即便走出(出義足經上卷)。

比丘誦經臨終見佛闍維舌存十五

有一比丘。誦阿彌陀佛經。及大波若波羅蜜。是人欲死語弟子言。阿彌陀佛與其大眾俱來。動身自歸須臾命終。命終之後弟子燒之。明日收灰見舌不燒(出大智論第九卷)。

比丘居深山為鬼所嬈佛禁非人處住十六

憍薩羅國。有一比丘。獨住深山。林中有非人女。語比丘共作婬欲。比丘言。莫作是語。我是斷婬人。女言。汝若不來。我當破汝利養與汝衰惱。比丘言隨汝。中夜比丘臥。女鬼以納衣持比丘。著王宮內夫人邊臥。王覺問言。汝何人耶。比丘言。我是沙門。是何沙門。答曰。是釋子沙門。王言。汝今何以來此。比丘具向王說。王言。汝何用在深山林中。故為惡鬼所嬈。出去。我知佛法故不問汝。比丘得脫具說其事。佛因此制。無入深山中。又憍薩羅國。有一比丘。阿蘭若處住。有毘舍遮鬼女。來語比丘言。共作婬欲來。比丘言。莫作是語。我斷婬欲人。鬼女言。汝若不作。我當破汝利養令汝衰惱。比丘言。隨汝。比丘夜臥。鬼女以納衣裹持。著酒舍酒瓮中。酒家人明日見比丘在酒瓮中。問言。汝是何人。答言。我是沙門。是何沙門。答言。釋子沙門。問言。何故在是中。比丘具說是事。酒舍人言。汝去。因此佛言。比丘不得入深山林中空處可畏處無人處住(出十誦律善誦第二卷)。

比丘失志心生惑亂十七

有一比丘。普行分衛。偶入婬舍。婬女見入歡喜踊躍。即奉迎稽首足下。請出就坐。又問比丘。仁從何來。比丘答言。吾主分衛故來乞匄。即為施設餚饌眾味。盛以滿鉢而奉上之。比丘受已而退。得是美食。心中歡喜不能自勝。數數往詣。時女心念。計此比丘。守法難及頻為興設。甘脆肥美之食。而授與之。往返不息。學問未明。所作不辦。未伏諸根。見女妙色欲意便動。口出柔濡恩愛之辭。心懷親附。比丘聞見婬亂迷惑。不能自覺。時世尊曰。雖覩女人。長者如母。中者如姊。少者如妹。如子如女。當內觀身。念皆惡露無可愛者。外如畫瓶中滿不淨。觀此四大因緣假合。本無所有時彼比丘不曉空觀。但作色觀。婬欲意亂。為女說頌曰。

淑女年幼形清淨　顏貌端正特姝妙　望汝屈德能見從　志意傾蓋願相保

婬女頌曰。

假使卿身無財業　何為立志求難致　如卿所作無羞慚　馳走促出離我家

時逐出比丘。追至祇樹。問諸比丘。即來詣佛。啟白世尊。具說本末。佛言。此比丘。宿命曾作水鼈。女作獼猴。亦相好樂志不得果。還自侵欺不入正教。增益惱患。今復如是。願不從心。逆見折辱。慚愧而去。佛言。過去世時有鼈。江水邊樹木熾盛。彼叢樹間有一獼猴。止頓彼樹。鼈從水出。遙見樹有獼猴。而與交語。前行親近。日日如是。覩之不懈。則起染心。說偈往反罵而避之(文多不載)時獼猴今婬女是。鼈分衛比丘是(出說比丘分衛經)。

珍重沙門母為餓鬼以方便救濟十八

昔有清信士。名優多羅。尊佛樂法親賢聖眾。月六齋奉八戒絕殃行仁。群生護命。名曰珍重。榮華不能迴其心。豔女國寶不能亂其志。貞信難傾。酒不歷口。孝從是務。過時不食。虛心稟道。香花脂粉未嘗附身。兵仗凶器不以毀德。遠愚親賢。以佛神化喻其母心。母信邪倒見。慳而不惠。壽終之後。子為沙門。心穢寂滅。端坐樹下。觀察十方。常自念曰。吾母死二十餘年。試尋所在。欲報生養之恩。斯須之間有一餓鬼。醜黑可憎。髮長纏身。繞足曳地進退頓蹌呼嗟無救。到沙門所曰。吾與群愚惡人為黨。不信佛教。恣口所欲。今為餓鬼。二十五年不見沙門。今日遇矣。死便餓渴。願以天潤。惠我水穀。濟吾微命。沙門答曰。大海清水豈不足飲乎。鬼曰。適欲就飲。水化為膿。鯵臭無量。獲飯。飡化為炎炭。燒口下徹。惡鬼又以鐵鎖繫吾頸。鐵杖洞然。亂捶吾身。吾罪何重。乃至于斯。沙門曰。昔為人時。違戾佛教。聾瞽為黨。愚惑自逐。以禍為福。守慳不施。貪取非分。鬼泣淚曰。誠如此矣。又吾處世。為人時有男。奉佛五戒。專守十善。為清信士。六齋八戒未嘗有虧。以孝事親。以智奉聖。尋高清沙門之迹。由影追形。勸吾布施。供養聖眾。吾以無正真之智。信狂愚妖言。今獲其禍。楚毒難陳。垂泣而曰。沙門哀我濟我。沙門曰。乃當斯戾。以何德攘禍乎。鬼曰。以瓶盛水。楊枝著中。以法服覆。上比丘僧。令飯具供養。舉吾名呪願之。令得衣食。其為不久。夫有命終。在餓鬼者。沙門呪願。皆應時得。沙門如其言。瓶水楊枝住其中。飯比丘僧。以法服上之僧。舉其名呪願。即有大池水中生蓮花。芬芳動身。果樹陰涼。所願從心。伴等五百人。怪之曰。斯子猶獨有何福助。早免重咎。願即從心乎(出優多羅母經)。

沙門入海龍請供養得摩尼珠十九

昔有沙門。隨商人度海。半路船迴。不復得去。眾人僉曰。船中當有不淨潔者。探籌出之。道人三得出籌。自投海中。龍王即以七寶蓮華承之入海。乃到龍宮。見樓閣寶舍殿堂。龍王請入。頭面禮足曰。吾得頭痛。六百餘歲求索道人。今乃得之。道人當療我病。道人曰。吾不知醫

藥。以何相療。龍王曰。吾此海中多有神藥。不愈我病。唯未得法藥。道人說法須臾之頃。龍王自覺除愈。龍大歡喜。供養道人九十日。白道人言。久相勞屈想亦勞悒。前船甫到今當相送。龍王選三摩尼珠。一以上佛。一以施眾僧。一與道人。遣神送。忽然至船。船伴驚喜。共還本土。眾人悉隨道人詣佛。佛為說法。皆發道意。所度無量(出譬喻經第九卷)。

沙門煮草變成牛骨二十

昔阿難報事。有沙門得阿那含道。於山上煮草染衣。時有失牛者遍求。見煙便往。視釜中草悉成牛骨。鉢化成牛頭。袈裟化成牛皮。人便以骨繫頭。徇行國中。眾人共見之。沙彌。見日已中。捶撻抵不見師至。便入戶悉思惟。見師為人所辱。則往頭面著足。何時言如此。日久遠時罪也。沙彌言。可暫歸食。兩人則放。神足俱去。沙彌未得道。常有恚未除。顧見清信士及國人。乃取我師如此。使龍雨沙石動此國。令之恐怖。念此適竟。四面雨沙。城塢屋室皆悉壞敗。師言。我宿命一世屠牛為業。故得此殃耳。汝何緣作罪乎。汝去不須復與我相追。師曰。罪福如是。可不慎矣(出譬喻經上卷)。

沙門行乞主人有珠為鸚鵡所吞橫相苦加忍受不言二十一

外國有沙門。行乞到買珠家。主人為設飯食。有大珠其價億數。與人持歸。置沙門邊。時有鸚鵡。便出吞之。主人不見。因問沙門。答言。我不取。主人復問。有他人耶。答言無有。主人瞋曰。我適持珠來。既無他人。獨有沙門。而言不取。珠今所在。便撾沙門。血出流地。沙門故言。我不隱珠。須臾鸚鵡出飲地血。與杖相遇。鸚鵡即死。復欲舉手撾於沙門。沙門言。止聽我語。鸚鵡吞之。即破鸚鵡得珠。主人謂沙門曰。何不早說。乃使如是。沙門曰。我持佛戒不得殺生。即欲說之。恐殺鸚鵡。今鸚鵡死。我乃說之。鸚鵡若活。卿撾我死。我終不說也。主人便自剋責悔過。辭謝之。沙門不瞋。顏色不變(出一卷雜譬喻經)。

沙門遇鬼變身乍有乍無二十二

有沙門。於山中念道。有一鬼。化作無頭人而行。沙門言。咄快無頭。則不知頭痛。又無目耳不知音響。鬼復化作無軀人。沙門言。咄快無頭人。不知痛痒。無五藏不病。鬼復化作無手足人。沙門言。咄快無手足不能行。亦不取人物。鬼知沙門守志。即便滅去(出一卷雜譬喻經)。

沙門得鬼抱安心說化鬼辭謝而去二十三

外國有沙門行道。與噉人鬼相逢。鬼急抱之。沙門言。我今因與卿相得。卿心與我如天地相去大遠。卿心好殺。我心好生。卿與道反。鬼便捨沙門。不敢復抱。即却辭謝言。我愚癡不及耳(出一卷雜譬喻經)。

道人度獵師二十四

昔有道人。晝夜行道。初不懈息。且有身口之急。當須飲食。便行乞匄。忽到獵師邊乞。獵師無道。便大瞋恚。欲射道人。道人言。止止。勿射我餘處。正射我腹。便開衣露腹。喚令其射。獵師即下弓釋箭。前問道人。夫人之處世。無不畏死。而道人何故令我射腹。道人語言。此腹欲食。由此之故。不避危險。是以射之。獵師即悟。吾緣山嶺。不避虎狼。亦為此腹。宿緣福至。忽便開解。道人為說三塗之苦泥洹之樂。獵師自知殺獵罪重。便從受戒。發菩提心(出譬喻經第十卷)。

經律異相卷第十九

佛住舍衛城。有長者。名曰難提。捨家出俗行住坐臥。心常念定。名為禪難提。是時難提於開眼林中作草庵舍。彼於其中初中後夜修行自業得世俗正受。乃經七年已。退失禪定。復依一樹下還求本定。時魔眷屬常作方便伺求其便。變為女人端正無比。華香瓔珞。住難提前謂言。比丘。共相娛樂行婬事來。時難提言。惡邪速滅。惡邪速滅。口雖此言而目不視。天女復第二第三所說如上。時難提第二第三亦復如是。說時天女便脫瓔珞之服露其形體。立難提前。語難提言。共行婬來。時難提見其形相。而生欲心答言可。爾時天女漸漸却行。難提喚言。汝可小住共相娛樂。難提往就。天女疾去。難提追逐到祇洹塹中。有王家死馬。天女到馬所隱形不見。時難提欲心熾盛即婬死馬。欲心息已便作是念。我甚不善非沙門法。以信出家而犯波羅夷罪。用著法服食人信施為。即脫法衣著右手中。左手掩形而趣祇洹。語比丘言。長老我犯波羅夷。時諸比丘在祇洹門間經行。共相謂言。此是坐禪難提修梵行人。不應犯波羅夷。難提復言。諸長老不爾。我實犯波羅夷。諸比丘問其因緣。難提即具說之。諸比丘以是事具白世尊。佛告諸比丘。是難提善男子自說所犯重罪應驅當出。時諸比丘如教驅出。諸比丘白佛言。世尊。云何長老難提久修梵行。而為此天女之所誑惑。佛告比丘。是難提不但今日為天女所惑退失梵行。過去世時亦為彼所惑失於梵行。過去世時。南方阿槃提國有迦葉氏。外道出家聰明博識。博綜典籍靡不開達。彼外道者助王治國。時彼國王執持姦賊。種種治罪割截耳鼻治之甚苦。時彼外道深自惟念。我已出家。云何與王共參此事。便白王言。聽我出家。王即答言。師已出家。云何方言我欲出家。答言。大王。我今預此種種刑罰。苦惱眾生何名出家。王即問言。師今欲於何出家。答言。大王。欲學仙人出家。王言可爾。隨意出家。去城不遠有百巖山。有流泉玉池華果茂盛。即造彼山而立靜處舍。彼於山中修習外道。得世俗定起五神通。於春後日食諸果蓏四大不適。因其小行不淨流出。時有牝鹿渴乏求水飲此小便。不淨著舌舐其產道。眾生行報不可思議。因是受胎。常在廬側食草飲水。至其月滿產一小兒。爾時仙人出行採草。鹿產難故即大悲鳴。仙人聞鹿鳴急。謂為惡蟲所害。欲往救之見生小兒。仙人見已怪而念曰。云何畜生而生於人。尋入定觀見本因緣即是我子。於彼小兒便生愛心。

裹以皮衣持歸養之。仙人抱舉鹿母乳之。依母生故體斑似鹿。是故作字。名曰鹿斑。漸漸長大至年七歲。仁愛孝慈採果取水供養仙人。是時仙人念言。天下可畏無過女人。即教誡子言。可畏之甚無過女人。敗正毀德靡不由之。於是教以禪定。化以五通。為說偈言。

經律異相卷第二十(聲聞學人僧部第九)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 選擇遇佛善誘捨於愛欲得第三果一
- 須陀洹婦病於從事一悟得第三果二
- 比丘自誓入定經時既久出定便死三
- 比丘坐禪為毒蛇所害生天見佛得道四
- 比丘遮國王著巾屣禮佛聽法五
- 比丘修不淨觀得須陀洹道六
- 盲比丘倩人祗聞法得道七
- 三藏比丘著弊服常飢好衣得食八
- 族姓子出家佛為欲愛證賢聖明法九
- 旃陀羅七子為王逼殺失命十

選擇遇佛善誘捨於愛欲得第三果一

人有七藏處。一謂風藏。二生藏。三熟藏。四冷藏。五熱藏。六見藏。七欲藏。是諸藏中。欲藏最堅。依止涕唾。澹[泳-永+陰]膿血。筋骨皮肉。心肝五藏。腸胃屎尿。時會中有一居士。名曰選擇。妻名妙色。面貌端嚴。姿容挺特。居士愛著煩惱熾盛。聞佛說此。即白佛言。世尊。莫作是說。云何欲心起於屎尿。我妻端嚴無諸臭穢。佛時化作婦人。端嚴姝潔狀如妙色。正容徐步來入眾中。居士問曰。汝何故來。答曰。欲聽說法。居士即牽坐其衣上。佛以神力。令是婦人糞污其衣。使此居士不堪臭處。以手掩鼻。顧問左右。誰為此者。跋難陀不堪。語居士言。何故掩鼻而顧視我。答曰。甚大臭穢。以佛神力。令跋難陀及諸眾會。見此婦人污居士衣。時跋難陀語居士言。且觀汝妻所為臭穢。居士答言。我妻淨潔。身無諸穢。若有疑者自當觀之。語跋難陀。我意謂汝為此穢。跋難陀大怒。從坐起言。汝今應名屎居士也。汝妻坐時糞出衣上。為屎所塗。而無羞恥。反欲謗人。又復唱言。此屎居士可遣出眾。即以手牽令出眾外。居士語其妻曰。我敬汝故。令坐衣上。汝為大人。法應爾耶。妻即答言。汝近屎囊法自應爾。居士爾時即生厭心。欲去衣糞。更污身體。謂跋難陀。當何方便得離此穢。跋難陀言。非直此糞污染汝身。更有諸衰。是汝之分。若欲離者當遠此。是以汝妻糞。令此大眾頭痛悶亂。居士答曰。諸釋子等皆多慈悲。汝甚惡口。乃如是耶。跋難陀言。如汝今者何可憐愍。汝今自觀為淨潔不。而欲謗我。時居士謂其妻曰。汝可還歸。既遣之已。語跋難陀。我今明見女人諂曲。多諸過咎。不淨充滿。心生厭離。欲於佛法出家為道。跋難陀言。汝今形體臭穢如是。若以香塗經歷年載。然後或可堪任出家。居士答曰。我若塗香經歷年歲。或身已無常。或佛滅度。壞我出家求道因緣。今苦見聽得出家者。我不復住城邑聚落僧房精舍。作阿蘭若乞食納衣。於空閑處。誰

聞我臭。佛聞呼之言善來。汝為沙門。修行梵行。居士鬚髮自落。袈裟著身。執持應器。如比丘像。佛為說法。苦習盡道。遠塵離垢。得法眼淨。成須陀洹。重為說法乃至得阿那含。過於是夜。執衣持鉢。詣王舍城。次行乞食。遂到本舍。在門外立。時妻妙色自見其夫。剃頭法服出家為道。即語之曰。法應見捨為沙門耶。選擇答曰。汝昨法應於我衣上。便棄不淨污我身體耶。妙色答曰。汝為比丘應謗人耶。我從父舍到汝家來。未見外門。況至竹園。時有惡魔。語居士言。汝昨見者初非妙色。是化作爾。該惑汝心。今可還以五欲自娛。沙門瞿曇欺誑汝耳。汝今虛妄非實比丘。瞿曇沙門。常以術惑多人。令其出家。如今誑汝。選擇比丘證真法故。即覺是魔。謂言。惡人汝亦變化我。亦變化是妙色姊。俱為變化。佛所說法皆空如化。爾時妙色得聞此法。遠塵離垢得法眼淨。蠲除疑悔不隨他語。於佛法中得無畏法。謂選擇言。所為甚善。能於佛法。樂修梵行。我亦於法出家為道(出花首經第八卷)。

須陀洹婦病於從事一悟得第三果二

昔有婬逸之人。意專女色。思不能離。欲與交言通于夢想。時婦遇疾。骨消肉盡。家有知識道人往反。婦白道人曰。我今所患日夜羸困。將其意故欲陳我情。為可爾不。時道人曰。但說無苦。設有隱匿之事。我當覆藏不使彰露。婦人白言。我夫多欲。晝夜役嬈不容食息。由是生疾恐不自濟。道人曰。若汝夫主近汝者。語以此語。須陀洹法。禮應爾耶。婦尋語夫。夫甚懷慚。內自思惟。我是須陀洹。不即便息意。閑處思惟阿那含果。自知已得道迹。便不復與女人從事。婦人問夫。汝今何故永息欲心。夫曰。吾審見汝。何由復共往反。婦語其夫。汝言審見。我有何咎。我恒貞潔。不犯女禮。何以見罵。乃至於斯。婦人即集五親宗族。告語之曰。今我夫主意見疎薄。永息情親復見罵詈。稱言見我。今於眾前便可說之。夫言。且止須我引證自明。夫主還歸。綵畫好瓶。盛滿糞穢。牢蓋其口。香花芬熏。還至彼眾。告其婦曰。審愛我不。若愛我者可抱弄此瓶。如愛我身。婦隨其語。抱瓶翫弄意不捨離。夫主見婦愛著此瓶。即打瓶破。臭穢流溢蛆蟲現出。復語婦曰。汝今故能抱此破瓶不耶。答曰。我寧取死不能近此。寧入火坑。投於深水。高山自下。頭足異處。終不能近。夫主見汝正見。我觀汝身劇於此瓶。從頭至足。分別思惟。三十六物。有何可貪。重說偈言。

勇者入定觀　身心所與塵　見已生穢惡　如彼綵畫瓶(出出曜經第十一卷)

比丘自誓入定經時既久出定便死三

有一比丘。得滅盡定。乞食時。著衣詣食堂中。其日彼寺打揵搥。晚彼比丘。精勤而作是念。我何故空過此時。不觀未來。何時當打揵搥。即立誓願。入於滅定。乃至打揵搥當起。時彼僧伽藍有事難起。時諸比

丘。背捨僧伽藍而去。經於三月。難事乃解。時諸比丘還集會而打揵搥。時彼比丘起定即死。後有一乞食比丘。獲得滅定。以日初分。欲詣乞食。時天大雨。而作是念。若入村者壞我衣色。若不往者何故空還。此時不觀未來即立願入定。乃至不雨自當起。或有說者。雨經半月。或有說者雨經一月。雨既止彼比丘起定即死(出毘婆沙第四十四卷)。

比丘坐禪為毒蛇害生天見佛得道四

摩頭羅國。尼拘類園中。有一比丘。靜處坐禪。復有毒蛇。床下蟠臥。比丘睡眠。或低或仰。毒蛇自念。此人見恐必欲殺我。即舉身擲。比丘命終生忉利天。諸天玉女各來衛侍。天子告曰。汝等諸妹莫近我身。設當近者必犯於戒。諸女自念。此天前身必是沙門。故生此間受天之福。時諸天女各執鏡前照天子面。見天衣冠。方覺生天。即從坐起。見諸衛從。行至園中。坐一樹下。端坐思惟求定三昧。池水之中有異類鳥。相對悲鳴。聲哀響和。欲求成道。不能得辦。是時天子。從三十三天至閻浮提。到世尊所。白言。受天福盡。下入泰山地獄。如是流轉無有窮已。當見愍濟令得度脫。佛為說法。即於坐上諸塵垢盡得法眼淨(出比丘坐禪命過生天經)。

比丘遮國王著巾屣禮佛聽法五

內法常儀。入寺聽法及禮佛者。皆當脫巾帽。時有國王。頭素少髮。加復有瘡。又脚著革屣。自恃豪尊。以疊衣裹頭。入堂內聽經。王白比丘。為我說法。比丘曰。如來有教。不為脚著革屣者說法。王聞懷恚。即却革屣語比丘曰。卿速說法稱釋我情。違我本意者當梟汝首。比丘告王。又如來禁戒不得為覆頭者說法。王瞋恚奮其天威曰。卿欲辱我。今故前却露頭。聽卿說法。若不解吾癡結者。當取汝身分為三分。比丘說偈。

不以不淨意　示及瞋怒人　欲得知法者　三耶三佛說　諸有除貢高
心意極清淨　能捨傷害懷　乃得聞正法

王慚顏愧影。即起于坐。五體投地。自歸求滅身口意過。長跪叉手白比丘言。不審此偈。出如來神口。為是尊人知我心意然後說乎。比丘告王。此偈乃是如來所說。其來久矣。王自思惟。善哉大聖。三達智靡所不通。乃知將來有我之徒。有恚害心。今重自悔更不造新。比丘說法。王於坐諸塵垢盡得法眼淨(出乞兒發惡心經)。

比丘修不淨觀得須陀洹道六

佛在舍衛國。有異比丘。日至城外曠野塚間路。由他田乃得達彼。其主見已便興瞋恚。此何道士。日往來不修道德。即問道人。汝何乞士。在

吾田中縱橫往來。乃成人蹤。道人報曰。吾有鬪訟來求證人。時彼田主。宿緣鉤連應蒙得度。便逐道人。私匿從行。見在塚間。尸骸狼藉。膖脹臭穢。鳥狩食噉。散落其處。或有食噉盡不盡者。有似灰鴿。蛆蟲噆[口*束]。臭穢難近。烏鵲狐狗。老鷲鵄鴞。噉死人屍。比丘舉手。語彼人曰。此諸鳥狩。是我證人。問曰。此諸鳥狩。何為證人。汝今比丘與誰共諍。比丘報曰。心之為病。多諸漏患。我觀此骸。分別惡露。便還房室。自觀我身。從頭至足。與彼無異。然此心意。流馳萬端。追逐幻偽。色聲香味細滑之法。我今欲識心之原本。汝心今當興起是念。無令將吾入於地獄餓鬼之中。我今凡夫未脫諸縛。然此心賊不見從命。以是之故日往曠野。為說惡露不淨之想。復興心說心。為卒暴亂錯不定心。今當改無造惡緣。時彼田主。聞道人教。以手揮淚。咽哽難言。然彼田主。於迦葉佛十千歲中。修不淨想。尋時分別。三十六物。惡露不淨。爾時比丘及彼田主。即彼曠野大畏塚間得須陀洹道(出比丘求證人經)。

盲比丘倩人衹聞法得道七

有一盲比丘。眼無所見。而以手縫衣。時針衹脫。便言。誰愛福德。為我衹針。是時佛到其所。語比丘言。我是愛福德人。為汝衹來。是比丘識佛聲。疾起作禮。白佛言。佛功德已滿。云何言愛福德。佛報言。我雖功德已滿。我深知功德因果。於一切眾生中。得最第一。由此功德。是故比丘讚歎功德。次為說法。時此比丘得法眼淨。肉眼更明(出大智論第十卷)。

三藏比丘著弊服常飢好衣得食八

罽賓三藏比丘。阿蘭若法。至一王寺。設大會。守門人見其衣服麁弊遮門不前。如是數數。以衣服弊故每不得前。便作方便。假借好衣而來。門家不禁。既至會坐。得種種好食。先以與衣。眾人問言。何以爾也。答言。我比丘數來每不得入。今以衣故得在此坐。得種種好食。故先與衣(出大智論第四卷)。

族姓子出家佛為欲愛證賢聖明法九

時有族姓子。棄家捐妻捨諸眷屬。行作沙門。其婦端正姝妙。見夫捨家。便復行嫁。族姓子聞之。心即生念。與婦相娛樂。時愁憂憒惱。不復共樂淨修梵行。便起歸家。諸比丘聞。便往啟佛。佛呼為除癡愛塵勞之穢休息眾想。時族姓子尋時證明賢聖之法。時諸比丘白世尊曰。自非如來孰能爾乎。告諸比丘。此比丘者。不但今世心常在欲。乃往過去久遠世時。有一國王。名曰方迹。中宮婇女不可稱數。婬盪鬪爭不肯共和。適鬪爭已。便出宮去。方迹求之不知所趣。愁憂不樂不能自解。於時有一仙人。與五神通。神足飛行威神無極。名曰無樂。飛在空中。忽然來下。何為說愛欲之難離欲之德。出家為道。修四梵行。壽終之後。生于梵天。佛告諸比丘。爾時方迹王者。則此比丘是。無樂仙人者。則

我身是(出那賴經)。

旃陀羅七子為王逼殺失命十

昔旃陀利家生七男。六兄得須陀洹道。小者故處凡夫。母人旃陀利得阿那含道。兄弟七人盡受五戒。彼國常儀。旃陀利行殺。國中男女。犯殺盜婬及餘重罪。盡使旃陀利殺之。時國王召彼大兒言。有應死之徒。汝行殺之。其拜自陳。特願弘恕。我受五戒。守身謹慎。蟻子不敢殺。不能為非。寧自殺身。不敢犯戒。時王奮怒。勑市殺之。復白王。身是王民。心是我資。欲殺便殺。不得仰從。王即令梟首。次召諸弟。六人皆言。受戒不敢行殺。王瞋恚盛。盡便殺之。次復召小弟。母子俱來。王見母來倍復瞋怒。前殺六子。母不送行。今召小子。何故便來。母曰。願聽微言以自宣理。前六子者。盡得須陀洹道。正使大王取彼六人碎身如塵者。終不興惡如一毛髮。今此小者。處在凡夫。身雖修善。未蒙道法。是故念子。既未得道。或能失意。畏王教令。自惜形命。毀戒行殺。身壞命終。入太山地獄。憐念子故。是以送來。王復問母。前死六子。盡得須陀洹道耶。答曰。盡得。王復問母。母身為得何道。母答曰。得阿那含道。王聞斯語。自投于地。稱冤自責。我造罪根。施心建意殺六須陀洹。身意煩惱坐不安席即自嚴辦香油蘇薪。取六死尸而闍維之。起六偷婆興殺之供養。日三懺悔。意願滅罪。漸漸微薄。復出財貨。給彼老母。至於齋日。數數懺悔。冀得罪薄。免於地獄(出慈仁不殺經)。

經律異相卷第二十

經律異相卷第二十一(聲聞現行惡行僧部第十)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 調達與佛結怨之始一
- 調達欲害佛及佛弟子二
- 調達博學兼修神足止要利養三
- 調達拘迦利更相讚歎四
- 調達就佛索眾不得翻失眷屬五
- 調達先身為野狐六
- 調達欲侵陵拘夷身入地獄七
- 提婆達多昔為野干破瓶喪命八
- 提婆達多昔為獼猴取井中月九
- 提婆達多先身殺金色師子十
- 提舍等四比丘受罪輕重十一
- 善星比丘違反如來謗無因果十二

調達與佛結怨之始一

爾時調達。心念毒害誹謗如來。自謂有道。眾人呵之。天龍鬼神釋梵四王。悉共曉喻。卿欲毀佛。由如舉手欲擲日月。調達聞之。其心不改。時諸比丘。具以啟佛。調達有何重嫌懷結乃爾。佛告諸比丘。調達不但今生。世世如是。過去世時。有梵志女。端正殊妙色像第一。諸梵志法假使處女與明經者。請諸同學五百之眾。供養三月察其所知。時五百人中。一人博達。而年朽耄面醜眼青。父母愁憂。女亦懷惱。云何當為此人作婦。可以怨鬼。當奈之何。於時遠方有一梵志。年既幼少。顏貌殊好。聰明智慧。聞彼梵志請諸同學欲處於女。尋時往詣。難問諸梵志等。皆窮無辭。五百之眾智皆不及。時女父母及女。見之皆大歡喜。吾求女婿今乃獲願。年尊梵志曰。吾年既老久許我。女以為我妻。且以暇我所得施遺。悉用與卿。傷我年高。勿相毀辱。年少答曰。不可越法以從人情。我應納之。三月畢竟。即以處女用與年少。其年老者。心懷毒惡。即相毀辱而奪我婦。世世所在與卿作怨。終不相置。年少梵志常行慈心。彼獨懷害。佛告諸比丘。爾時年尊梵志。今調達是。年少梵志。我身是也。其女者瞿夷是(出生經第一卷)。

調達欲害佛及佛弟子二

調達與阿闍世王。共議毀佛及諸弟子。王勅國人不得奉佛。時舍利弗等。及波和提比丘尼等。各將弟子去到他國。唯佛與五百羅漢。住崛山中。調達至王所言。佛諸弟子今已迸散。尚有五百弟子在佛左右。願王明日請佛入城。吾當飲五百大象。使醉令蹋殺之。吾當作佛教化世間。王聞歡喜。即往請佛。佛知其謀。答言。大善。王退而去。還報調達。

明日食時。佛與羅漢共入城門。醉象鳴鼻而前。唐突牆壁。樹木折敗一城戰慄。五百羅漢飛在空中。獨有尊者阿難在邊。醉象齊頭徑前趣佛。佛舉五指為五師子。同聲俱吼。震動天地。醉象伏地不敢舉頭。醉解垂淚悔過。王及臣民莫不敬肅。世尊徐前至王殿上。與諸羅漢食訖呪願。王白佛言。稟性不明。信彼讒言。興造逆惡。願垂大慈。恕我迷愚。佛告阿闍世及諸大眾。世有八事。興長誹謗。皆由名譽以致大罪。何等為八。利衰毀譽稱譏苦樂。自古至今勘不為惑。佛即說偈(文多不載)佛曰。昔有國王。喜食雁肉。常遣獵師。張網捕雁。日送一雁。以供王食。時有雁王。將五百雁飛下求食。雁王墮網為獵師所得。餘雁驚飛徘徊不去。時有一雁連翻追隨。不避弓矢悲鳴吐血。晝夜不息。獵師見之。感憐其義。即放雁王令相隨去。群雁得王歡喜迴繞。爾時獵師。具以聞王。王感其義。斷不捕雁。時雁王者。我身是也。一雁者阿難是也。五百群雁。今五百羅漢是也。食雁國王者。今大王是也。時獵師者。今調達是前世已來。恒欲害我。我以大慈之力。因而得濟。不念怨惡。自致得佛。王及群臣。莫不歡喜(出法句經第四卷)。

調達博學兼修神足止要利養三

昔有比丘。名曰調達。聰明廣學。十二年中坐禪入定心不移易。十二頭陀初不缺減。起不淨觀。了出入息。世間第一法。乃至頂法一一分別。所誦佛經六萬。象載不勝。後意轉退漸生惡念。望人供養著世利養。至世尊所頭面禮足。在一面立前白佛言。唯然世尊願說神足之道。我聞此已當善修行。使我得神足已。遊至他方處處教化。世尊告曰。汝今且置神足。何不學四。非常義。苦義空義無我之義。是時調達比丘。便生此念。如來所以不與我說神足者。恐有勝己恥在不如。調達即捨如來。往舍利弗所。求神足道。時舍利弗謂調達曰。汝今且置。何不修四非常。調達思惟。此舍利弗智慧第一。如吾觀之猶如螢火比於日月。吾所誦習無與等者。猶尚不解神足之道。況舍利弗豈能解乎。即便捨去。至目連所。求神足道。目連語曰。止止調達。始行之人先學四非常。復當精修四禪。爾乃得神足道耳。調達恚怒。此目連者自誇神足無與等者。所以不與我者。恐其不如我。若得者己無名譽。吾今處處學神足道。皆不教我。吾弟阿難多聞博學。眾德具足吾今當往問之。語阿難曰。吾聞卿善解神足之道。可與吾說。吾得神足已遊至他方。處處教化。是時阿難便與說之。調達聞已。在閑靜處專心一意。以麁入微復從微起還至於麁。以心舉身以身舉心。身心俱合漸漸離地。初如胡麻轉如胡桃。漸離於地從地至床。從床至屋從屋至空。在虛空中作十八變。涌沒自由。化作嬰孩小兒。形貌端正。頭上五處面如桃華。在阿闍世太子膝上。或笑或號現嬰兒態。然太子知是調達身。終日翫弄無有厭足。或嗚嗽唾。或擎其身傅左右手。太子思惟。調達神足勝彼瞿曇。能作無數變化。阿闍世日給五百釜食。隨時供養不令有乏。爾時眾多比丘。見阿闍世供給調達。具白世尊。佛告諸比丘。汝等勿貪調達供養。調達自陷亦陷他人。二俱墮罪。如芭蕉樹。愚人求實不能剋獲。竹蘆亦然。駏驉懷妊二命俱喪。

昔有群鷲各各孚乳。鷲告其雛曰。汝若學飛懸在虛空。見地如槃慎勿上過。有隨藍風傷害於汝。頭腦支節各在異處。時雛不隨父教。飛越過量為風所吹喪命異處。汝等比丘勿興斯意。比丘當知猶如群龜。告語諸子。汝等自護莫至某處。彼有獵者備獲汝身分為五分。時諸龜子不隨其語。便至某處共相歡娛。便為獵者所獲。或有安隱還得歸者。龜問其子汝從何來。子報父母。我等相將至彼處觀。不見獵者。唯覩長綆而追我後。龜語其子。此綆逐汝由來久矣。先祖父母皆由此綆而致喪亡。諸比丘當知。猶如蠱狐晝夜伺求大便。畜獸屎糞已自食訖。復自大便。調達比丘。貪致供養亦復如是。昔大月支國。風俗常儀要當蘇煎麥食猪。時官馬駒謂其母曰。我等與王致力不計遠近。皆赴其命。然食以草芻。飲以潦水。馬告其子。汝等慎勿興此意羨彼蘇煎麥也。如是不久自當現驗。時逼節會新歲垂至。家家縛猪投於鑊湯。舉聲嘩喚。馬母告子。汝等頗憶蘇煎麥不。欲知證驗可往觀之。諸馬駒等知之審然。方知煎御情分。食草時復遇麥。護而不噉。佛說偈言。

芭蕉以實死　竹蘆實亦然　駏驉坐妊身　士以貪自喪(出出耀經第十卷)

調達拘迦利更相讚歎四

佛告諸比丘。調達凶危。橫相嗟嘆。拘迦利比丘讚嘆調達。調達亦復嘆拘迦利。其彼二人無義無理。諸比丘聞。唯然大聖。觀拘迦利比丘。長因因依正典緣法律教。以信出家。橫歎調達。調達嗟歎拘迦利。並以非為是。以是為非。佛言。此輩愚駭。前世亦然。過去世時。黃門命過棄樗樹間。時作蠱狐烏鳥共來食肉。更相讚歎。鳥曰。

君體如師子　君頭若仙人　脂由鹿中王　善哉如好華

蠱狐讚曰。

唯尊在樹上　智慧最第一　明照於十方　如積紫磨金

如是往反。時大仙人言。橫相嗟嘆言虛無實。蠱狐者調達是。鳥者拘迦利是。仙人者則菩薩是(出佛說蠱狐鳥經)。

調達就佛索眾不得翻失眷屬五

調達。往至世尊所。頭面禮足在一面立。白佛言。我觀如來。顏色變易諸根純熟。年過少壯垂朽老邁。唯願世尊。自閉靜室禪定自娛。四部之眾願見付授。我當教戒如佛無異。隨時供養四事不乏。佛曰。咄愚癡人。不慮後殃。舍利弗目連比丘。由尚不付。況汝懶惰弊惡之人。而可付授聖眾。調達內興妬嫉。聞世尊語。倍生恚怒。如來今日讚嘆舍利弗目連比丘。而更輕賤小弟子。要當求便喪滅師徒。使此國界眾生不覩其

形不聞其聲。時調達比丘。即從坐起禮足而退。在在周章巧言偽辭。誑惑俗人誘得數十。在在處處共相勸勉。取要言之。佛與大眾圍遶說法。時調達告己弟子曰。汝等莫聽瞿曇所說不隨正法。吾有一一深經好義。當以相教。但求方便欲壞聖眾。佛言止止。調達。慎勿興意壞亂聖眾。後備受報其痛難忍。調達固執不改知其意正。佛觀過去因緣宿對知不可迴。調達將五百弟子。如來亦將五百弟子。俱遊寶積山側。菩薩門徒寬仁柔和。教以正法。修持禁戒出入進止不越其序。調達之眾出言麁麤。語輒興恚。與弟子語如怨鬪訟。弟子厭患盡共捨之。往就菩薩。並自稱說。吾有千弟子。眾德具足。與世殊絕誰能及者。調達恚怒。即發誓願。此人今日。誘我弟子壞我門徒。正使成佛我當壞其徒眾。如今無異。如來觀知調達。必壞聖眾定無有疑。如來即從坐起。捨眾而去。有五事。知不得壞亂眾僧。一者如來目前。如來威神不捨本誓故。二者如來般泥洹後。設有人言。我今成佛逮最正覺。應當問之。釋迦文佛在時汝為所在。三者未曾有惡時。四者比丘不競利養。五者智慧神足弟子和合。如來以宿命智觀。必知調達當壞亂眾僧。如來即捨而去。調達在後與眾說法。若有眾生。事我為尊承受教戒。當習五法(五法文多不載)諸有比丘修此五法者。早得解脫盡有漏成無漏。何假瞿曇八直行耶。語舍利弗目連言。吾獲大利成三界尊像如來。告舍利弗目連曰。吾患脊痛小欲安睡。卿等二人與聖眾說法。調達右脇著地欲得睡寐。天神強勉調達左脇在地天神復厭誑有言語鼾聲現外穢氣遠徹。目連以神足力。飛騰虛空作十八變。坐臥經行涌沒自由。舍利弗告眾會人。如來身神德無量。具足一切智。前達無窮却達無極。如來法者。得現法報快樂無為。智者之所修學。非愚者之所習。如來聖眾者。五分法身皆悉成就。可敬可貴承事供養。為眾生良祐福田。時諸比丘各生此念。我等愚惑不識真正。捨實就華棄本逐末。今觀二賢所說世之希有。我等寧可捨此調達就如來眾。不亦快乎。舍利弗知其心念。即從坐起。五百比丘皆亦相隨。目連在後追隨而去。瞿波離比丘。以右脚蹋調達曰。弊惡調達何為耽睡。舍利弗目連二人。將汝弟子去盡。調達寐覺甚懷憂慼(出調達問佛顏色經彌沙塞律略同)。

調達先身為野狐六

乃往古昔。有一摩納(梁言仙人)在山窟中誦剎利書。有一野狐往其左右。專聽誦書心有所解。作是念。如我解此書語。足作諸獸中王。便起遊行。逢一羸瘦野狐。便欲殺之。彼言何故殺我。答言。我是獸王。汝不伏我。彼言。願莫見殺。我當隨從。於是二狐便共遊行。復逢一狐。問答如上。如是展轉伏一切狐。便以群狐伏一切象。復以眾象伏一切虎。復以眾虎伏一切師子。遂便權得作獸中王。復作是念。我為獸王。不應以獸為婦。便乘白象。使諸群獸圍迦夷國。數百千匝。王遣使問。何故如是。野狐答曰。我是獸王。應娶汝女。若不與我當滅汝國。使還白王。王集臣議。唯除一臣。皆云應與。國之所恃唯賴象馬。我有象馬彼有師子。象馬聞氣惶怖伏地。戰必不如。何惜一女而喪一國。時一大臣

聰銳遠略。白王言。臣觀古今未曾聞見人王之女與下賤獸。臣雖弱昧。要殺此狐群獸散走。王即問焉。大臣答言。王但遣使剋期戰日。從求一願。令師子先戰後吼。彼謂吾畏必令師子先吼後戰。王至戰日。當勅城內皆令塞耳。王用其語然後出軍。軍陣欲交。野狐果令師子先吼。野狐聞之心破七分。便於象上墜落于地。群獸散走。佛說偈言。

野狐憍慢盛　欲求其眷屬　行到迦夷城　自稱是獸王　人憍亦如是
現領於徒眾　在摩竭之國　法主以自號

告諸比丘。爾時迦夷王者我是。聰銳大臣者舍利弗是。野狐王者調達是(出野狐求王事出彌沙塞律第四卷)。

調達欲侵陵拘夷身入地獄七

調達在羅閱城。興謀害心。後事彰露。時阿闍世王。語調達曰。汝宜出國不須住此。十六大國莫不聞知。調達造惡向於如來。調達聞已內懷憂慼。便還本國恚結所纏。唐突菩薩宮內。語瞿夷曰。我欲拜汝為第一夫人。不審聖女為可爾不。瞿夷語曰。前汝右手吾欲把之。調達舒手使把扼。腕骨碎五指血出。當時迷悶良久乃蘇。是時調達轉進入宮。踞菩薩床。宮人見之捉擲床下。即傷左髂不堪行來。輿還本舍。諸釋皆嫌皆來告語。汝今宜可詣佛懺悔。調達聞之。私設巧詐。密作鐵爪。害毒塗之。外形柔和內懷瞋恚。爾時調達憶佛所說。瞿曇沙門恒陳此言。有身無瘡痏不為毒所害。毒無奈瘡何。無惡無所造。我今當往佯如懺悔。以爪摑壞其脚。毒氣流溢自當取死。諸人輩輿往詣世尊。去三七仞語左右人。下我在地吾欲步往。尋下在地。時勇火沸出纏裹其身。將入地獄(出調達生身入地獄經)。

提婆達多昔為野干破瓶喪命八

佛住王舍城。是時提婆達多。欲破和合僧。比丘三諫而亦不止。佛言。過去世時。波羅奈國。有一婆羅門。於曠野中造立義井。供給行者。日已向暮。有群野干來飲殘水。有野干王不飲地水。便內頭罐中飲水。飲水已戴罐高舉撲破。諸野干輩善意語之而不從受。如是非一破十四罐。時婆羅門伺見野干。便作木罐堅固難破。入易出難持著井邊。捉杖伺之。野干群集。王如前飲訖。撲地不能令破。時婆羅門捉杖來出。打殺野干。時野干王者。今提婆達多是。時群野干者。今諸比丘諫提婆達多者是(出僧祇律第八卷)。

提婆達多昔為獼猴取井中月九

佛住王舍城。時諸比丘。為提婆達多作舉羯磨。六群比丘即同提婆達多同語同見。佛告比丘。過去世時。於空閑處。有五百獼猴遊行林中。到

一尼俱律樹。樹下有井井有月影。時獼猴王見是月影。語諸伴言。月今死落乃在井中。當共出之莫令世間長夜闇冥。共作議言云何能出。時獼猴王言。我知出法。我捉樹枝汝捉我尾。展轉相連乃可出之。時諸獼猴即如王語。展轉相捉小未至水。連獼猴重樹弱枝折一切獼猴墮井水中。時獼猴王者。今提婆達多是。爾時餘獼猴者。今六群比丘是(出僧祇律第八卷)。

提婆達多先身殺金色師子十

佛告阿難。若有眾生起一惡心。向三世佛等。若辟支若羅漢及著染衣人諸沙門等。獲罪無量。所以者何。染色之衣是賢聖標式。若能發心敬染衣人。獲福難量。我由信心敬戴之故致得成佛。阿難白言。昔往敬心其事云何。佛告阿難。古昔無量劫。此閻浮提有大國(報恩經云波羅奈國)王名提毘頒八萬四千諸小國王。世無佛法。有辟支佛。在於山間坐禪行道。時諸野狩咸來親附。有一師子。名號[跳-兆+荼]迦羅毘(梁言堅誓)軀體金色光相煥然。食菓噉草不害群生。時有獵師。剃頭著袈裟。內佩弓箭行於澤中。見師子睡眠(報恩經云舐比丘足)便以毒箭射之師子驚覺即欲馳害見著袈裟便自念言此染衣者善人標相。我若害之。則為惡心向諸賢聖。思惟還息。箭毒內行命在不久。便說偈言耶羅婆奢沙婆呵。說此語時。天地大動無雲雨血。諸天駭惕。即以天眼觀見。獵師殺於師子。雨諸天華供養其屍。是時獵師剝師子皮。奉提毘王。時王念言。經言。有狩金色必是菩薩。問獵師言。師子死時有何瑞應。答言如上。王聞是語。悲喜交懷信心益猛。即召諸臣耆舊智人。令解是義。時空林中有一仙人字奢摩。為王解說。耶羅其義。唯剔頭著染衣。當於生死疾得解脫。婆奢沙者。皆是賢聖之相近於涅槃。婆呵者。當為一切諸天世人所見敬仰。於時仙人解是語已。提毘歡喜。即召諸王悉集此處。作七寶車張師子皮。表示一切悉共敬戴。燒香散華而以供養。後復打金為棺。盛師子皮以用起塔。爾時師子。由發善心向染衣人。十億萬劫作轉輪聖王。佛告阿難。時師子者。我身是。時國王者今彌勒是。時仙人者今舍利弗是。時獵師者今提婆達多是(出賢愚經第十三卷)。

提舍等四比丘受罪輕重十一

婆伽婆在舍衛城。祇樹給孤獨園。告諸比丘。有四大泥梨。一提舍大泥梨。身出火炎長二十肘。二瞿波梨大泥梨。身出火炎長三十肘。三調達大泥梨。身出火炎長四十肘。四末佉梨大泥梨。身出火炎長六十肘。諸有人民欲求安隱。獲其氣者。若二十大海水灌彼身上。彼海水盡火故不滅。猶如融銅。若有人以二十海滴水。澆融銅水滴速滅。提舍比丘火炎不滅。若復有人欲求安隱獲其義者。復以二十大海水。灌其身上彼水速盡。提舍比丘愚人。遮比丘僧使一日不得食。使提舍比丘入大地獄。瞿波離比丘。有人欲使安隱獲其義者。以大海水灌其身上。彼海水速盡。譬如二日所融銅。或有一人。以三十海水。著融銅中消盡。瞿波離比丘

愚人。或有人起欲使獲安隱義者。以三十大海水。灌其身上。大海水速盡。瞿波離比丘愚人。謗舍利弗目犍連比丘。身壞命終生三惡道。墮鉢頭摩地獄。瞿波離比丘入大泥梨。調達大泥梨。若復有人欲使獲安隱義者。復以四十大海水。灌其身上。彼大海速盡彼火不滅。譬如三日所融銅。若有人以四十滴水。著融銅中。即時消盡無餘。調達愚人。若有人起欲使獲安隱義。以四十大海水灌其身上。彼大海火速盡彼火不滅。所以然者。調達愚人。欲害如來殺阿羅漢比丘尼。壞亂比丘僧。身壞命終三惡道生阿鼻地獄。調達比丘入大地獄。身出火炎長四十肘。諸有比丘。彼末佉梨大泥梨。若有一人欲使安隱。以六十大海水灌其身上。海水速盡彼火不滅。譬如四日所融銅。若有人以六十滴水。著融銅中即時消盡。末佉梨亦復如是。以六十大海水灌其身上。大海水速盡此火不滅。此末佉梨愚人。教受百拘梨人。使行邪見(出四泥梨經)。

善星比丘違反如來謗無因果十二

佛言。我於一時。住王舍城。善星比丘為我給使。我於初夜。為天帝釋說諸法要。弟子之法應後師眠。爾時善星。以我久坐心生惡念。時王舍城小男小女。若啼不止父母則語。汝若不止。當將汝付薄拘羅鬼。爾時善星反被拘執。而語我言。速入禪室薄拘羅來。帝釋言。世尊。如是人等。亦復得入佛法中耶。我言。亦有佛性。當得無上菩提。我雖為是善星說法。而彼都無信受之心。我在迦尸國尸婆富羅城。善星為我給使。我入城乞食。無量眾生虛心渴仰欲見我跡。善星隨後毀滅。既不能滅。而令眾生生不善心。我入城已。於酒家舍見一尼乾。捲脊蹲地飡食酒糟。善星言。世間若有阿羅漢者。是人最勝。何以故。是人所說無因無果。我言癡人。汝常不聞。阿羅漢者不飲酒不害人不欺誑不盜婬。如是之人。殺害父母食噉酒糟。云何而言是阿羅漢。是人捨身。必定當墮阿鼻地獄。阿羅漢者。永斷三惡。云何而言是阿羅漢。善星即言。四大之性猶可轉易。欲令是人必墮阿鼻。無有是處。我言癡人。汝常不聞諸佛如來誠言無二。我雖為說法。而無信受之心。善男子。我與善星住王舍城。有一尼乾。名曰苦得。常作是言。眾生煩惱無有因緣。眾生解脫亦無因緣。善星言。世間若有阿羅漢者。苦得為上。我言。癡人苦得尼乾。實非羅漢。不能解了阿羅漢道。善星復言。何故羅漢。於阿羅漢而生妬嫉。我言癡人。我於羅漢不生妬嫉。而汝自生惡邪見耳。若言苦得是羅漢者。却後七日。當患宿食腹痛而死。生於食吐鬼中。其同學輩當輿其屍置寒林中。善星即語尼乾。長老。好善思惟作諸方便。當令世尊墮妄語中。苦得斷食。從初一日乃至六日。滿七日已便食黑蜜。復飲冷水腹痛而終。同學輿屍置寒林中。即作食吐餓鬼之形。在其屍邊。善星至寒林中。見苦得身。善星語言。大德死耶。苦得答言。我已死矣。云何死耶。答言。因腹痛死。誰出汝屍。答言。同學。出置何處。答言癡人。汝今不識是寒林耶。得何等身。答言。我得食吐鬼身。善星言。世尊。苦得尼乾生三十三天。我言癡人。阿羅漢者無有生處。云何而言。苦得生於三十三天。如來與迦葉。往善星所。善星遙見生惡邪心。生身

陷入墮阿鼻獄。譬如有人沒圊廁中。有善知識以手撓之。若得首髮便欲拔出。久求不得。爾乃息意。我亦如是。求覓善星微少善根。便欲拔濟。終日求之。乃至不得如毛髮許。是故不得拔其地獄(出大涅槃經第三十七卷)。

經律異相卷第二十一

經律異相卷第二十二(聲聞無學沙彌僧部第十一)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 雙德雙福二沙彌遇佛成道一
- 須陀耶在塚生長遇佛得道二
- 均提沙彌出家并前身因緣三
- 沙彌救蟻延壽精進得道四
- 沙彌推師倒地而亡以無惡心精進得道五
- 沙彌早夭生天失善師友憤念詣佛得分別聖諦六
- 純頭沙彌為鬼所敬用須跋外道自然降伏七
- 沙彌隨聖師入山得四通知為五母所痛念八
- 沙彌護戒捨所愛身九
- 沙彌於龍女生愛遂生龍中十
- 沙彌愛酪即受虫身十一

雙德雙福二沙彌遇佛成道一

舍衛國。有山民村。五六十家。去國五百里。村中有一貧家。婦懷妊十月雙生二男。大端正無比。父母愛之。為子作字。一名雙德。二名雙福。生五六十日。其父牧牛息臥床上。其母拾薪未反。此二兒共相責詰。一言前時垂當得道。正坐愚意謂命可常。退墮生死不可計劫。今生此貧家。蓑草之物以為氈褐。食飲麁惡裁自支命。如此至久云何可活。皆坐前世戀慕富貴。放身散意快樂須臾。從爾以來長塗受苦。如今憂惱當奈何恃怙。一人答言。時有小難一時之勤不竟精進。而今數世遭諸惡患。此是自為非父母作也。但共當之復何所言。父聞怪之謂呼是鬼。曼小未大宜當殺之。父驚到田中。收取樵薪欲燒殺之。母還問夫。用此薪何為。夫說如是。母聞罔然。明日夫婦俱出潛聽。二子相責如故。便共集薪密欲燒之。佛天眼見。往到村中普放光明。天地大動。山川樹木皆作金色。到雙生小兒家。二兒見佛光明。喜踊難量。父母又驚各抱一子。將至佛所問佛世尊。此兒生來四五十日。所說如是甚共怪之。恐作禍害欲火燒之。不知為是何等鬼魅也。唯願解說。小兒見佛踊躍歡喜。佛見小兒大笑。口出五色光。普照天地。佛告。此二小兒非是鬼魅。福德之子。前迦葉佛時作沙門。少小共為朋友。同志出家各自精進。臨當得道欻起邪想。共相沮敗樂世榮華。恃福生天。下為侯王國主長者。欻起是想便自退轉。不得泥洹更此生死。彌連歲數常相鉤牽。輒共雙生遭我世時。今始乃生。已曾供養佛故餘福應度。生識宿命今來度之。我不度者橫為火所燒。即說偈言。

大人體無欲　在所照然明　雖或遭苦樂　不高現其智　大賢無世事
不願子財國　當守戒慧道　不貪邪富貴　智人智動搖　譬如沙中樹
朋友志不強　隨色染其素

佛說。是小兒見佛。身踊如八歲兒大。即作沙彌得羅漢道。村人大小見佛光相。又見小兒形變踊大。皆大歡喜得須陀洹道。父母疑解亦得法眼(出法句經第一卷)。

須陀耶在塚生長遇佛得道二

有國王。名曰旃陀越。奉事婆羅門道。領治國正亦任用之。王重小夫人。諸夫人憎嫉。以金賜婆羅門譖之於王。言其生子必為國患。王聞不樂。問婆羅門言。當如之何。答曰。唯并殺之耳。王言。人命之重云何可殺。報言。若不殺者必亡國喪身。王便枉殺兒。後於塚中生。其母半身不朽。兒飲其湩。湩即乳也。乃至三年。其塚崩陷。其兒得出。與鳥狩共戲。暮即還塚中。及年六歲。佛念其勤苦與鳥狩同群。即化為沙門。往呼問之。言汝是誰家子。居在何處。兒歡喜報言。我無家居。但栖宿此塚中耳。乞隨道人去。佛言。欲何為乎。兒報言。我今善惡終當隨道人。佛便將其到祇洹中。見諸比丘威儀法則。意甚樂之。便白佛言。我欲乞作比丘。佛即聽之。以手摩其頭。髮自墮袈裟著身。名為須陀。守戒精進心不懈怠。經涉七日得羅漢道。佛語須陀。宜度栴陀越王。須陀往到。其國王曰。我心大憂當如之何。道人言。何所憂也。王言。我年已長。過時無嗣為之愁憂。道人聞王語。初不應之獨笑而已。王便恚言。我與道人語。初不答我。而反獨笑。即欲殺之。須陀知其意。便輕舉飛翔上住空中。分身散體出入無間。王見神化即悔過言。我實愚癡不別真偽。唯願大神一還。令我得自歸命。須陀即從空中下住王前。謂王言。若能自歸甚善。當自歸於佛。佛是我師。三界之尊度脫眾生。須陀便如申臂頃。將王及人民。俱到佛所。歸命三尊乞受五戒為優婆塞。佛具說。須陀是王子。王聞佛言。更恐怖不能自勝。佛言。昔拘先尼佛世。有國王號名弗舍達。國中人民皆供養三尊。時有凡人居貧無業。常為國中富貴。賃牧養數百頭牛。見王及人民供養比丘僧。便即問言。卿等何所為乎。人民答言。吾等供養三尊。後常在處安樂尊貴無有勤苦。即自念言。我貧唯當煎牛湩為酪酥。淨心上比丘耳。比丘僧呪願言。令汝世世得福。自後展轉更歷生死。輒受其福。或上為諸天。或下為王侯。王侯時出遊獵。見好牸牛懷犢殺之。夫人語王。莫殺其子。時牛主破取子養。其主恚言。當令王如此牛也。自後魂神為王作子。時未出生。母為王所殺須陀是也。須陀母者是時王夫人也。婆羅門者牛主是也。須陀塚中生。其母半身不朽。得飲其湩。以自長大者。由其宿命以酪酥上比丘僧故。王聞意解。得須陀洹(出旃陀越國王經)。

均提沙彌出家并前身因緣三

佛在舍衛國。爾時尊者舍利弗。晝夜三時天眼觀視。誰應度者輒往度之。時有估客欲詣他國(報恩經云摩提二國中間有五百賈客)其諸商人共將一狗(報恩經云白狗)至於中路。眾賈頓息狗便盜肉。於時眾人便共打狗。而折其脚

棄置空野捨之而去。時舍利弗天眼見狗。攣癖在地飢困垂死。飛至狗所以食施與。狗濟餘命心甚歡喜。時舍利弗。即為此狗說微妙法。狗便命終。生舍衛國婆羅門家。時舍利弗。獨行乞食。婆羅門見而問之言。尊者獨行無沙彌耶。舍利弗言。我無沙彌。聞卿有子。當用見與。婆羅門曰。我有一子。字曰均提。年既孩幼。不任使令。比前長大當用相與。時舍利弗。即戢在心。至年七歲復來求之。時婆羅門令兒出家。舍利弗將至祇洹。漸為說法。心意開解得阿羅漢(報恩經云佛言善來鬚髮自落袈裟著身)均提沙彌既始得道。自以智力觀過去世。見前身作一餓狗。蒙和上恩今得人身。并獲道果。欣心內發。而自念言。我蒙師恩得脫諸苦。今當盡身供給所須永作沙彌。乃往過去迦葉佛時。有諸比丘集在一處。時年少比丘音聲清雅。善巧讚唄。有一比丘。年高耆老音聲濁鈍。不能經唄。每自出聲而自娛樂。老比丘者已得羅漢。于時年少比丘而呵之言。今汝長老聲如狗吠。時老比丘。便呼年少。汝識我不。年少答曰。我大識汝。汝是迦葉佛時比丘上座。答言。我今已得阿羅漢。年少惶怖自責懺悔。猶五百世中常受狗身。由其出家持淨戒故。今得見我蒙得解脫(出賢愚經第十二卷)。

沙彌救蟻延壽精進得道四

昔有小國。去城不遠有好林藪。有五道士於中學道。有一比丘得六神通。有一沙彌年始八歲。共在山中。各一面坐思惟經道。師知沙彌命餘七日。在此亡者父母謂吾。看視不快使其命終。心懷怨恨。即語沙彌。汝父母思汝。汝可歸家八日早來。沙彌歡喜稽首而去。道逢大雨流潦滂沛。地有蟻孔流水欲入。沙彌念曰。我佛弟子。一者慈心。二者活生。即便土壅決水令去。沙彌歸家無有他變。八日晨還。師遙見之。怪其所以。七日應亡。今何因緣。將無鬼神化現來乎。即入三昧。見其救蟻現世延壽。沙彌至。稽首作禮於一面坐。師謂言。汝作大功德。為自知不。沙彌言。七日在家無他功德。師言。汝命應盡。昨日以救蟻故。現世增壽八十餘年。沙彌歡喜信善有報。即更勤修精進不懈。得阿羅漢(出福報經又出十卷譬喻經第七卷)。

沙彌推師倒地而亡以無惡心精進得道五

舍衛國有一老公。早失其婦。獨與兒居。困無財寶。覺世非常。從佛出家。兒年尚小。亦為沙彌。共父乞食。逼暮當還。父行遲。兒畏毒狩。急扶其父排之進路。執之不固。推父墮地應手而死。獨至佛所。時諸比丘訶責沙彌。即以白佛。佛告之曰。此師雖死不以惡意。即問沙彌。汝殺師不。答言。我實排之。不以惡意。佛言。我知汝心無有惡意。過去世時亦復如是。無有惡意而相殺害。昔父子二人共住一處。時父病極。於時睡臥。多有絲蠅數來惱觸。父令兒遮蠅。望得安眠。時兒急遮蠅來不止。兒便瞋恚。即持大杖伺蠅當殺(十誦律云持大石婢蚊子)時諸絲蠅競集父額。以杖打之其父即死。父者此沙彌是。時兒者死比丘是。由無惡心不

以惡意。亦非故殺。沙彌勤修不懈。遂得羅漢道(出賢愚經第十卷)。

沙彌早夭生天失善師友憤念詣佛得分別聖諦六

佛遊舍衛祇樹給孤獨園。時異比丘。有弟子志性溫雅意行仁賢。常侍和上誠謹精進。敬從法教不違師命。壽命短促幼小而亡。生忉利宮觀於天上。但覩大火。本所志願不得如意。與善友不能相守。今捨善師隨逐惡友。於是違遠至尊和上。及阿夷梨眾。諸等類修梵行者。四輩弟子。有一切智。號曰如來。今悉違遠。無央數劫難值難見。興于世間講說經典微妙深奧未曾發言。而安隱開化說諸緣起。各各解了所從有因。無央數劫所未見聞。悉為解決。值此經律。棄家為道。所當興立不得究竟。今反放逸。先詣世尊稽首足下。佛見其心。真正樂道純督在法。說苦集滅道。即便見諦。和上愁念泣涕如雨。佛呼問之。何為憂惱。答曰。弟子終沒。佛言。何故愁憂。答曰。我沙彌弟子甚大賢良。未有究竟而中夭沒。是故憂悒不能自寬。佛言。勿愁已至究竟。得生天上。今日夜半分別聖諦。比丘不復涕泣(出弟子過命經)。

純頭沙彌為鬼所敬用須跋外道自然降伏七

舍利弗有一沙彌。名曰純頭。年八歲得六神通。飛騰虛空至阿耨泉。有五通梵志。名曰須拔。亦至彼泉。時彼泉上。有守泉青衣鬼。驅逐五通梵志。瓦石打擲不使逼近神泉。純頭沙彌乘虛空至。彼青衣鬼數百之眾皆前迎逆。或前收攝衣者。或持淨水洗手足者。或以淨巾拂拭首面者。或以香湯沐浴身體者。須拔梵志放聲說曰。我今已得五通神德無量。力能移山住流。迴轉天地猶掌迴珠。自學道以來百二十餘年。勞形苦體形神疲極。或事五明。四處然火。日光上照。或臥灰糞。或臥荊棘嶮難之中。無道不學。然更驅逐不得至泉。然此黑衣小兒。年在七八。未離乳哺。身體穢臭待敬過重。用何等故。時青衣鬼語梵志曰。今此學士。形年雖小行過三界。得賢聖八品道。汝今無是故不興敬。有一婆羅門。名曰閱叉。興立一寺。亦名閱叉。恒供給酥油供寺然燈。時有遠方婆羅門。來至彼寺中。又聞閱叉梵志高才明德。偏信佛法建立神廟與共相見。時有一沙彌。來迎取油酥。供寺然燈。眾多梵志。語閱叉婆羅門曰。汝審向色衣人禮耶。言語未訖沙彌已至。即復禮之。眾多梵志。語此梵志曰。汝出四姓才藝過人。天文地理無不觀練。神呪感靈無事不剋。今此色衣之人。出眾多姓。種非真正。何為違本法而向恭禮。又卿梵志執行清淨。自修內藏圖讖祕記。行道成福何願不剋。文字章印無不周悉。佛行寡鮮有何可貴。捨本取末是我所疾。蓋聞沙門寒賤。巧詐繁滋幻惑世人。所行短促齊榮一身。不能延致梵福。正使相見正可擎捲而已。何為五體投地恭敬作禮耶。我等親見甚怪所以。況先學大人。豈能恕卿此罪耶。閱叉報眾多婆羅門曰。諸人靜默聽我所說。

賢聖德難量　八直無上道　是為梵沙門　如來口所宣　覩此形雖小

以果賢聖道　是故今自歸　梵志何為嗤

向得能究竟。須陀洹斯陀含。能斷欲界縛諸纏陰入。是故說曰向得能盡魔原者。入定坐禪之人。樂處閑靜志崇一意。計出入息執意牢固。能斷魔縛。及縛於魔。入定之人。能役鬼神如意即至。當求方便斷魔牢縛(出出耀經第五卷)。

沙彌隨聖師入山得四通知為五母所痛念八

昔有一小兒。年始七歲。大好佛道作於沙彌。隨羅漢師在山中學。精進不懈。及年八歲。便得四通。一者眼徹視。二者耳徹聽。三者飛行變化。四者自知宿命所從來。坐自思念。即見先世宿命所更。五母作子。即還自笑。師問何笑。沙彌言。何敢笑師。自視一身而有五母。晝夜啼哭感傷愁毒。常言。念子未曾忽忘。我自念。一身愁毒五家用。是故笑耳。我為第一母作子時。比隣有與我同時生者。我死後同日生者出入行步。我母見之便言。我子在者亦當出入行步如是。即愁憂感痛念我。復為第二母作子。生不久復死。我母見人有乳養子者。便感痛念我。愁憂啼哭。我復為第三母作子。不久復死。我母臨飯淚出念我言。若子在者與我共飯。棄我死去。我復為第四母作子。不久復死。我時等輩娉娶者。母復念我言。若子不死今亦當娶婦。我為第五母作子今故現存。我捨家學道。母日蹄哭言。亡我子。不知所在。飢寒生死不復相見。並怃惋悲痛。今五母共會。各言亡子相對。啼哭念我一人。是故笑耳。世間人不知有後世生。但言死耳。人作善得福作惡得殃。人在世間善惡自恐。無所畏惡後受苦痛。入惡道中悔無所及。我厭世間故辭親求道。我視地獄畜生餓鬼貧窮。代其恐怖。我得師恩受佛經戒。今以度脫。我念五母。不能得脫。反復憂我(出五母子人經)。

沙彌護戒捨所愛身九

有一比丘。少欲知足。時安陀國有優婆塞。敬信三寶終身供養。日日遣送。其國有一長者。生一男兒。欲令出家當求善師。即往白比丘言。我此一子令使出家。唯願大德哀納濟度。爾時比丘以道眼觀。此人出家能持淨戒。度為沙彌時優婆塞有一親善居士。明日客會。朝念言。今當就會誰後守舍。女即白父。唯願父母從諸僮使。但行應請我堪後守。父曰甚善。合家悉往。女便閉門獨住家內。時優婆塞是日忽忽忘不送食。爾時尊者心自念言。日時向晚。俗人多事。即遣沙彌往取。善攝威儀如佛所說。沙彌打門。女問是誰。答言。沙彌為師迎食。即與開門。是女端正容貌姝妙。年始十六婬欲火燒。於沙彌前。作諸妖媚深現欲相。沙彌見已念言。此女為有風癇病耶。將無欲結所使欲毀我淨行耶。堅攝威儀顏色不變。女便五體投地白沙彌言。我常願者欲有所陳。我此舍中珍寶倉庫。如毘沙門天宮寶藏。而無有主。汝可屈意為此舍主。我為汝婢供給使令滿我所願。沙彌念。我寧捨命不毀禁戒。昔日比丘至婬女家。寧

投火坑不犯於欲。又諸比丘賊所劫奪以草繫縛。風吹日曝諸蟲唼食。以護戒故不絕草而去。如鳥吞珠。比丘雖見。以持戒故極苦不說。如海船壞。下坐比丘。以守戒故授板上坐沒海而死。如是諸人獨佛弟子能持禁戒。我非弟子不能持也。如來世尊獨為彼師非我師也。方便語言。牢閉門戶我入一房作所應作。爾乃一相就。女即閉門。沙彌入房關撢門戶。得一剃刀。脫身衣服置於架上。合掌跪向拘尸那城佛涅槃處。自立誓願。我今不捨佛法眾僧。亦不捨戒正為持戒。捨此身命願所往生。出家淨行盡漏成道。即刎頸死。時女怪遲趣戶看視。見其已死失於本容。欲心尋息慚結懊惱悲呼悶絕。其父會還見女如是問何以故。具答以實。父即入房見沙彌。身血污赤如栴檀。作禮讚言。護持佛戒能捨身命。時彼國法。若有沙門白衣舍死。當罰金錢。時優婆塞以一千金錢置銅案上載至王宮。白言。大王。我有罰謫。應入於王。願當受之。王言。汝於我國敬信三寶言行無違。唯汝一人當有何過。而輸罰耶。時優婆塞具陳上緣。自毀其女讚嘆沙彌。王聞悚然而告之言。沙彌護戒自捨身命。汝無辜咎。但持還舍。吾今躬欲自至汝家供養沙彌。王往見之。前為作禮。以種種寶莊嚴高車載死沙彌至平坦地。積眾香木闍毘供養。嚴飾是女極世之殊。置高顯處普使時會一切皆見。語眾人言。是女殊妙容暉乃爾。未離欲者誰無染心。而此沙彌既未得道。以生死身奉戒捨命甚奇希有。王即遣人令請其師。廣為大眾說微妙法。時會一切見聞此事。有求出家。有發無上菩提心者(出賢愚經第七卷)。

沙彌於龍女生愛遂生龍中十

昔有羅漢。與沙彌於山中行道。沙彌日日至人家所乞飲食。經歷堤基上行。岐嶇危險脚跌躄地。飯洿泥土沙彌取不洿飯。著師鉢中。洿飯洗自食之。如是非一日。師曰。何因洗棄飯味。答曰。行乞去晴。乞還時雨。於堤基躄地覆飯。師默然思之。知是龍嬈沙彌便起到堤基上。持杖叩藪之。龍化作老公來。出頭面著地。沙門言。汝何嬈我沙彌乎。答曰。實愛其容貌耳。從今日始日日於我室食。沙門受請日日往食。沙彌後時見師鉢中。有兩三粒飯非世間飯。問和上。師默不應。沙彌便入床下手捉床足。和上禪定竟相隨。俱飛到龍宮殿上。龍及婦女俱禮沙門復禮沙彌。師乃覺之。呼出語言。此非婇女。是畜生耳。汝為沙彌。雖未得道。必生忉利天上。勝彼百倍。勿以洿意。沙彌言。此龍居處世間少有。師曰。彼有三苦。一者雖百味飯入口即化成蝦蟇。二者婇女端正無比。欲為夫婦兩蛇相交。三者龍背有逆鱗。沙石生其中。痛乃達心胸。此為大苦。汝何因從之。汝未得道。不可令見鬼道及國王內事也。沙彌不應。晝夜思想。憶彼不食病而死。魂神生為龍作子(大智論云布施持戒願早作龍要期心重足下水出後至師本所入處大池之邊以袈裟覆頭而入死即變為大龍神殺舊龍舉池盡赤出迦葉詰難陀經又出大智論第十七卷)。

沙彌愛酪即受蟲身十一

如一沙彌。心常愛酪諸檀越餉僧酪。時沙彌每得殘分。心中著樂喜不

離。命終之後生殘酪瓶中。沙彌師得阿羅漢。僧分酪。語言徐徐。莫傷此愛酪沙彌。諸人言。何以言愛酪沙彌。答言。此本是我沙彌。但坐貪愛殘酪故。生此瓶中。師得酪分。蟲在中來。師言。愛酪人汝何以來。即以酪與之(出大智論第十七卷)。

經律異相卷第二十二

經律異相卷第二十三(聲聞無學學尼僧部第十二)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 跋陀羅自識宿命遇佛成道一
- 叔離以氈裹身而生出家悟道二
- 跋陀迦毘羅為王所逼其心無染三
- 花色得道後臥婆羅門竊行不淨四
- 蓮花婬女見化人聞說法意解五
- 五百婆羅門女聞法開悟六
- 婆羅門尼請優陀夷慢不聞法七
- 差摩蓮華遇強暴人脫眼獲免八
- 毘低羅先慳貪從佛受化得道九
- 婆四吒母喪子發狂聞法得道十
- 孤獨母女為王所納出家悟道十一
- 尸利摩忘飢贍僧十二
- 暴志前生為鼈婦十三
- 暴志謗佛十四

跋陀羅自識宿命遇佛成道一

婆伽婆在羅閱城。時跋陀羅比丘尼。出比丘園在一樹下。端坐繫念自識宿命便笑。諸比丘尼見即問之。跋陀羅比丘尼言。我自識宿命。過去九十一劫。有毘婆式如來。出現於世。有一童子。名跋羅摩提婆。饒財多貨極富無量。童子執寶蓋從舍出。有一長者婦。端正無比。亦從彼過。有眾多人民皆悉觀察。時童子便作是念。我今擎寶蓋。眾寶合成從此路過。然無人觀察我者。此長者婦。我今當設方便使眾人觀察我。時童子手執寶蓋。便出彼境界。詣毘婆式如來所。住如來後擎寶蓋。經七日七夜。作此誓願言。持我供養世尊功德。當為女身端正無比。使有見者迷惑僵地。童子壽終。生三十三天為天女。有五事勝。云何為五。天壽天色天樂天神足天增上功德。天見此女皆懷希望欲得與俱。時三十三天皆各共諍。天女壽終來生人間為后若達多婆羅門作女。端正殊妙。往反人天常得端正。多值諸佛悉皆承事供養。求為女人。後生人間卑賤婆羅門家。為月光童子作婢。名曰幾羅。月光童子婦名摩奴訶羅。端正無比。時月光夫人語彼婢言。汝出舍外。若見沙門婆羅門者將來至此。我欲惠施。時婢出舍。有辟支佛。在門閾上乞食。時幾羅婢語言入來。欲相惠施。夫人見其體不端正。語幾羅言。發遣沙門我不施也。婢言。願尊開意莫嫌沙門形狀。供養功德不可稱計。時夫人報言。速驅此沙門出。我不堪施。婢報言。若尊不施此沙門者。我今日所應得分食願莫愛惜。時夫人即以麨與婢。時幾羅婢。即以分麨著辟支佛鉢中。食已身昇虛空。時婢見歡喜不能自勝。便作誓願。持是功德莫墮惡趣。使我當來久遠恒

值此聖。為我說法使速解脫。時波羅奈城梵摩達多王。見彼辟支佛昇在虛空。語群臣言。彼所惠施。時月光長者。將五百賈客集大講堂。遙見辟支佛執鉢昇空。或有賈客作是說。此聖人必於我家得食。時大月光夫人。見為幾羅婢言。汝所得功德。持惠施我。此則是我所惠施。我今更持食與汝。婢言不施。又言。我今與汝二分食。對曰。亦不須。夫人又言。與汝三分五分十分二十分乃至百分千分。幾羅婢言。我不相施。夫人報言。設汝不與我者。我當截汝耳鼻手。幾羅婢言。我不相施。時長者婦。以杖打婢。打之已竟。月光長者還來。見幾羅婢。頭破衣裂悲泣墮淚。問其始末。具以事白。時月光童子。取彼夫人持用作婢。以幾羅婢作第一夫人。五百婇女圍遶。以百千珍寶莊嚴其身。時梵摩達多王。聞月光婢飯彼辟支佛。時梵摩達多王。以百千兩珍寶以餉月光長者婦。復以田業惠施月光長者。時梵摩達多王。今伽毘羅摩奢羅是。月光長者大迦葉是。幾羅婢者即我身是。今得值佛得阿羅漢(出跋陀羅比丘尼經)。

叔離以氈裹身而生出家悟道二

時舍衛國有一長者婦。生一女。殊妙少雙。其初生時。細濡白氈裹身而出。父母怪之。瞻相甚吉。因為作字。名曰叔離(梁言白也)叔離長大。氈隨身大。此女瑰偉。國內遠近競來娉求。女白父母。我欲出家。父母愛念不違其志。尋為出氈。欲作五衣。女白父母。我此所著悉已具足。更不須作。唯願聽我時往佛所。詣佛作禮求索出家。佛言善來。頭髮自墮。所著白氈尋成五衣。付大愛道為比丘尼。精進不久成羅漢道。阿難白佛言。叔離本修何德。生與氈俱出家得道。佛言。過去有佛。名毘婆尸。時王臣民多設供養。時有女人。名檀膩羯。極為貧窮。夫婦二人共有一氈。若夫出行則被而往。婦便裸住。若婦被氈。夫則裸坐。有勸化比丘。行至其家。見是女人。因勸之言。佛世難值人身難得。汝當聽法汝當布施。女還語夫。外有沙門。勸我見佛聽法布施。夫答之言。我家窮困。雖可有心當以何施。婦言。我意欲以此氈布施。夫言我之與汝。共此一氈。出入求索以自存活。今若用施俱當守死。婦言。人生有死不施會死。施而死後世有望。不施而死後遂當劇。夫歡喜言。分死用施。婦即還出。白比丘言。大德可上疏。下我名字。比丘答言。若欲施者汝當面施。為汝呪願。叔離白言。唯此被氈內無異衣。女形穢惡不宜此脫。即還入內。遙於向下脫身上氈。授與比丘。比丘呪願持至佛所。佛言。比丘持此氈來。比丘授佛。佛自手受。此氈垢污。時王眾會。微心嫌佛受此垢氈。佛知眾心而告之言。我觀此會。清淨大施無過於此。以氈施者。大眾聞已莫不悚然。夫人歡喜。即脫己身所著嚴飾瓔珞寶衣。送與陀膩羯。王亦欣悅。脫身衣服送與其夫命令詣會。佛告阿難。欲知爾時貧窮女人陀膩羯者。今叔離比丘尼是。由於爾時以清淨心氈布施故。九十一劫所生之處。常與氈生。無所乏少(出賢愚經第七卷)。

跋陀迦毘羅為王所逼其心無染三

俱薩羅國。波斯匿王。聞跋陀迦毘羅出家。即請入宮。夏四月安居共止一處。王到園中。語守門人言。汝好守門。莫令是比丘尼出。守門人作是念。是比丘尼樂住不走。時守門人有餘因緣。比丘尼著夫人被服從門而出。遙到祇桓。聽佛說法。佛遙見言。善來跋陀迦毘羅。即失夫人被服。頭髮自落袈裟著身作比丘尼。到佛所頭面禮佛。佛為說四如意足力。時比丘尼得神足力。是時王聞跋陀迦毘羅女走去。便將兵眾圍遶比丘眾。及圍遶比丘尼坊。是比丘尼便飛虛空。王仰看。即生悔心。我云何乃污阿羅漢比丘尼。心悶躃地向比丘尼悔過。寺中比丘尼驅令出去。答曰。我無愛欲心。諸比丘尼云。汝夏四月共王殿中。云何無愛。以事白佛。佛知故問。是比丘尼。汝實受細滑不。答言。世尊我云何當受。我覺是細滑如熱鐵入身。佛言。汝若無受細滑心無罪(出十誦律善誦卷第二)。

華色得道後臥婆羅門竊行不淨四

佛在舍衛城。爾時優善那邑。有年少居士。出行遊戲。見一女人。名蓮華色。色如姚李。女相具足。情相敬重。即娉為婦。其後少時婦便有身。送歸其家。月滿生女。以婦在產不復附近。遂乃私竊通于其母。蓮華既知便委去。夫婦道絕恐累父母。顧愍嬰孩吞忍恥愧。還于夫家。養女八歲然後乃去。至波羅奈。飢渴疲極。於水邊坐。時彼長者。出行遊觀。見之愛重即問。卿所居父母氏族今為係誰。而獨在此。蓮華色言。我某氏女。今無所屬。長者復問。若無所屬。能作我正室不。答言女人有夫。何為不可。即便載歸拜為正婦。蓮華色料理其家。允和小大。夫婦相重至于八年。爾時長者語其婦言。我有出息在。優善那邑不復責斂。於今八年。考計生長乃有億數。今往責之與汝暫別。婦言。彼邑風俗女人放逸。君今自往或失丈夫操。答言。吾雖短昧不至此亂。婦復言。若必爾宜去。思聞一誓。答言。甚善。若發邪心與念同滅。於是別去。到于彼邑。責斂處多遂經年載。思室漸深。我若邪婬乃負本誓。更取別室不為違信。於是推訪遇見一女。顏容雅妙視瞻不邪。甚相敬愛。便往求婚。父以長者才明大富。歡喜與之。責斂既畢將還本國。安處別宅。然後乃歸。晨出暮反異于平昔。蓮華怪之。密問從人。從人答。有少婦。其夫暮還。蓮華色問。君有新室。何故藏隱不令我見。答言。恐卿見恨是故留外。婦言。我無嫌妬。神明監識。便可呼歸。助君料理。即便將還。乃是其女。母子相見不復相識。後因沐頭諦觀形相。乃疑是女。便問鄉邦父母姓族。女具以答。爾乃知之。母驚惋曰。昔與母共夫。今與女同婿。生死迷亂乃至於此。不斷愛欲出家學道。如此倒惑何由得息。便委而去。到祇洹門。飢渴疲極坐一樹下。爾時世尊。與大眾圍繞說法。蓮華色見眾人多。謂是節會。當有飲食。便入精舍。見佛世尊為眾說法。聞法開解飢渴消除。於是世尊。遍觀眾會誰應得度。唯蓮華色應得道果。即說苦集滅道。便於坐上遠塵離垢得法眼淨。既得果已。一心合掌向佛而住。佛說法已。眾會各還。時蓮華色前禮佛足長跪合掌白言。於佛法中願得出家。佛即許之。告波闍波提比丘尼。汝今可度此女為道。即度出家受具足戒。勤行精進逮成羅漢。具八解脫。顏容

光發倍勝於昔。入城乞食。一婆羅門見生染樂。心作是念。此比丘尼今不可得。當尋其住處方便圖之。後復行乞食。彼婆羅門於後逃入伏其床下。是日諸比丘尼。竟夜說法疲極。還房仰臥熟眠。於是婆羅門從床下出。作不淨行。時比丘尼即踊昇虛空。時婆羅門便於床上生入地獄(出彌沙塞律第五卷)。

蓮華婬女見化人聞說法意解五

佛在羅閱祇耆闍崛山。有一婬女。名曰蓮華。善心自生便棄世事。作比丘尼。即詣山中行到佛所。未至中道有流泉水。女因飲水澡手自觀。見其面像姿妍無比。即便念言。云何自棄作沙門耶。且當少時快我私情。尋即還家。佛知蓮華應當得度。化作婦人端正絕世。勝蓮華女。尋路而來。蓮華見之。心甚愛敬。即問化人。從何所來。夫主中外皆在何許。云何獨行而無將從。化人答言。從城中來欲還歸家。雖不相識可俱還到向泉水上。蓮華言善。二人俱還到泉水上。陳意委曲。化人睡臥。枕蓮華膝。須臾之頃忽然命絕。膖脹臭爛腹膩蟲出。齒落髮墮肌體解散。蓮華見之心大驚怖。云何好人忽便無常。此人尚爾我豈得久。怖當詣佛精進學道。即至佛所。五體投地作禮自說。佛告蓮華。女人有四事。不可恃怙。一者少壯會當歸老。二者強健會當歸死。三者六親歡娛會當別離。四者財寶積聚要當分散。蓮華聞法欣然解釋。得阿羅漢(出蓮華女經)。

五百婆羅門女聞法開悟六

舍衛國東南海中有臺。上有華香樹木清淨。有婆羅門女五百人。奉事異道意甚精進不知有佛。時諸女自相謂曰。我等稟形生為女人。從少至老為三事所鑑不得自由。命又短促形如幻化當復死亡。不如共至香華臺上。採取香華精進持齋。降屈梵天當從求願。願生梵天長壽不死。又得自在無有鑑忌。離諸罪對無復憂患。即齎供具往至臺上。採取華香奉事梵天。一心持齋願屈尊神。佛見其心應可化度。即與大眾飛昇虛空。往至臺上坐於樹下。諸女喜謂。是梵天自相慶慰得我所願矣。時一天人語諸女言。此非梵天。是三界最尊。號名為佛。度人無量。諸女白佛言。我等多垢今為女人。求離鑑撿願生梵天。佛言。諸女善利乃發此願。世有二事其報明審。為善受福為惡受殃。世間之苦天上之樂。有為之煩無為之寂。誰能選擇求其真者。善哉諸女。乃有名志。於是世尊。即說偈言。

孰能擇地　捨鑑取天　誰說法句　如擇善華　知世坏論　幻法忽有
斷魔華開　不覩死生

諸女聞偈。願學真道為比丘尼。頭髮自墮法衣具足。思惟寂定。即得羅漢道(出法句譬喻經第三卷)。

婆羅門尼請優陀夷慢不聞法七

優陀夷。往拘薩羅國。到毘紐迦亶延氏婆羅門尼菴羅園中住。尼諸弟子遊行採薪。至菴羅園中。見優陀夷坐一樹下容貌端正諸根寂靜。心意安諦成就第一調伏。往詣其所問訊退坐。時優陀夷為諸年少種種說法。勸勵已默然。彼諸年少聞法歡喜。擔持束薪還至尼所。白言和上。園中有沙門。姓瞿曇氏。極善說法。尼語弟子言。汝可往請明此飯食。時諸弟子受教往請。尊者默然。還白和上。尊者受請。時優陀夷夜過。著衣持鉢往詣尼舍。尼遙見來。敷座請坐。設種種飲食。自手供養豐美滿足。澡嗽洗鉢還就本座。婆羅門尼著好革屣。以衣覆頭別施高床。現傲慢相。語優陀夷言。欲有所問。寧有閑暇見答與不。答言。姊妹今非是時。明日弟子。復至園中採薪聽法。還白和上。尼復遣請食如前三反。乃至請法。答言非時。諸弟子言。和上尼不恭敬坐。彼云何說。和上尼言。若如是者更為我請。受教更請。供養如前。時和上尼。知食訖已。脫革屣上服更坐卑床。恭敬白言。欲有所問。寧見答不。答言。但問當為汝說。彼即問言。云何有說苦樂自作。復言苦樂他作。復言苦樂自他作。復言苦樂非自非他作。答言。姊妹阿羅訶說。苦樂異生。復問。其義云何。答言。彼其因緣生諸苦樂。復言。我今問汝。隨意答我。有眼不。答言有。有色不。答言有。有眼識眼觸觸因緣生受內覺若苦若樂不苦不樂不。答言如是。優陀夷言。此是阿羅訶說。從其因緣生於苦樂。尊者說是法時。婆羅門尼遠塵離垢得法眼淨。從坐起正衣服。恭敬合掌白尊者言。我今日超入決定。我從今日歸依佛法僧。盡壽依三寶(出憂陀夷坐樹寂靜調伏經)。

差摩蓮華遇強暴人脫眼獲免八

昔舍衛城。名拘薩國。有諸放逸淫亂之眾。專為凶惡。時國中諸比丘尼。樹下精專思惟正道不捨心懷。比丘尼中智慧第一。名曰差摩。神足第一。名蓮華鮮。各有德行威神巍巍。時天小熱俱行洗浴。詣流水側。凶眾遙見即生惡心。婬意隆崇欲以犯之。候比丘尼。適脫衣被入水洗浴。尋前掣衣持著遠處。欲牽犯之。時比丘尼愴然愍之。因脫兩眼著其掌中。以示諸逆。卿所愛我。唯愛面色。已盲無目。何所可好。復示腹胃。身體五藏手脚各異。棄在一面。謂凶眾言。好為何在。逆凶見此。忽然恐怖。知世無常三界如寄。其身化成骨血不淨。無可貪著。尋還衣被。稽首悔過所作無狀。返逆無義願捨其殃。長跪叉手各受五戒。將至佛所。稽首于地。自責其罪(出生經第四卷又出毘尼)。

毘低羅先慳貪從佛受化悟道九

須達長者有一老母。名毘低羅。勤謹家業掌執庫藏一切委之。須達長者。請佛及僧供給所須。看病比丘多所求索。老母慳貪瞋佛法僧。而作是言。我家長者愚癡迷惑。受沙門術求乞無厭何道之有。作是語已復發

惡願。何時當得不聞佛法僧名。末利夫人聞之。而作是言。云何須達如好蓮華。而立四毒蛇。即勅須達。遣汝婦來。婦到。語言。汝家老婢。惡口誹謗何不驅擯。婦言。佛出多所潤益。何況老婢。夫人聞已心大歡喜。我欲請佛。汝遣婢來。明日佛到。長者遣婢。持滿瓶金摩尼珠蓋。勸助王家供養眾僧。時佛入門。老婢見已心生不喜。即時欲退從狗竇出。狗竇及四方小巷一時閉塞。唯正路開。老母覆面以扇。佛在其前。令扇如鏡無所障礙。迴頭四顧悉皆見佛。低頭伏地及手十指皆化為佛。老母見佛及諸譬喻。除却八十萬億。雖不起信猶能却生死之罪。佛見身異。婢走還家入木籠中。白氈纏頭畏復見佛。佛言。此婢罪重於佛無緣。羅睺羅與其有大緣。當令化之。時羅睺羅承佛威神。入如意定。化身作轉輪聖王。千二百五十比丘化為千子。阿難為典藏臣。難陀為主兵臣。七寶四兵皆悉具足。時金輪寶在虛空中。乘蓮華臺。徑往須達大長者家。夜叉唱言。聖王出世。擯諸惡人。宣揚善法。老母聞已心大歡喜。聖王出者有如意珠。無所求索此當可言。爾時聖王撞鍾鳴鼓乘大寶輿。至須達家。老母見已甚大歡喜。聖王出世多所潤益識別善惡必當不為。沙門所惑從木籠出。敬禮聖王。聖王即遣主寶藏臣。往至女所告。姊妹汝宿有福應。王者相聖王。今者欲以姊妹為玉女寶。老母白言。我身卑賤猶如糞穢。聖王顧問喜慶無量。何所堪任應玉女寶。若見念者。勅我大家。放我令脫。所賜已多。爾時聖王。告須達言。卿家老女眾相巍巍。吾今欲以充玉女寶。須達白言。唯命是從。願上大王。老婢聞放喜悅非恒。聖王即便以如意珠照耀女面令女自見。如玉女寶。倍大歡喜。而作是言。諸沙門等高談大語。自言有道無一効驗。聖王出世弘利處多。令我老弊如玉女寶。作是語已五體投地禮於聖王。時典藏臣。宣王優令。開十善法。女聞十善心大歡喜。即作是言。聖王所說。義無不善。為王作禮悔過自責。心既調伏。時羅睺羅還復本身。老母舉頭。見千二百五十比丘。即作此言佛法清淨不捨眾生。如我弊惡猶尚化度。作是語已。求受五戒。時羅睺羅。為說三歸受五戒法。母聞此法。未舉頭頃成須陀洹。時羅睺羅。將此老母詣祇陀林。到已見佛。歡喜合掌作禮懺悔。求佛出家。佛告羅睺汝將此母詣憍曇彌。未至中間。羅睺羅。為說苦空非常無我等法。老母聞已。頭髮自落成比丘尼。三明六通具八解脫。波斯匿王。末利夫人。心大歡喜白言。世尊。如此老母。宿有何罪。復何福慶。得羅漢道。佛告。大王。過去劫時。有佛世尊。名寶蓋燈王。彼佛滅後於像法中。王名雜寶花光。其王有子。名曰快見。求欲出家。父即聽許。王子到僧坊中。求欲出家。時有比丘。聰明多智深解實相。受為弟子。復有比丘。名德花光。善說法要誘進初學。王子比丘雖復出家。猶懷憍慢。和上為說甚深妙法般若波羅蜜大空之義。王子聞已謬解邪說。比丘滅後即作此言。我大和上空無智慧。但能讚歎虛無空事。願我後生不樂見也。我阿闍梨智慧辯才願於此生為善知識。王子比丘作是語已。法說非法非法說法。教諸徒眾。皆行邪見。雖持禁戒威儀不缺。以謬解故命終之後。如射箭頃墮阿鼻獄。八十億劫恒受大苦。出為貧賤人。聾癡無目。為人婢使。爾時和上即我身是。時阿闍梨者羅睺羅是。王子比丘此老母是(出觀佛三昧經第六卷)。

婆四吒母喪子發狂聞法得道十

有婆四吒婆羅門。母有六子。相續命終念子發狂。裸形被髮隨路而走。遙見世尊即得本心。慚愧羞恥斂身蹲坐。佛告阿難。取汝欝多羅僧與著聽法。阿難與衣著。至佛前稽首禮佛。佛為說法示教利喜。受三自歸成優婆夷。歡喜而去。其第七子後時命終。都不啼哭。持夫以偈問言。

諸子先命終　汝念生憂惱　晝夜不飲食　乃至發狂亂　今喪第七子　而獨不生憂

婦言。

兒孫無量數　因緣和合生　長夜遷過去　我與君亦然　彼所生處處　更互相殘食　若知生要者　何足復為憂　我已識出離　是故不復惱

夫言。

是法未曾聞　而今聞汝說　何處聞正法　而不憂念子

婦言。

今日等正覺　永離一切苦　說苦習滅道　安隱趣涅槃　我已知正法　能開為子憂

夫言。

我今亦當往　彌絺菴羅園　從彼世尊所　求開憂子苦

婦言。

當觀等正覺　柔濡金色身　不調者能調　廣度一切人

夫往見佛。佛說偈言。

苦習滅道　弗向涅槃　彼即見法　成無等間

聞法意解從佛出家。獨靜思惟成阿羅漢。婦及女孫陀槃梨。悉亦出家究竟苦邊(出雜阿含經第三十四卷)。

孤獨母女為王所納出家悟道十一

舍衛城。有孤獨母人。自生一女。年始十七。顏容端嚴衣不蔽形。母乞食自連。女貞賢明達。博讀經書守節不出門戶。居近王道而心願適王。又願事神如佛。王出行國內。見烏在貧女門上鳴。王便舉弓射烏。烏持王箭走入女家。王傍人追烏入舍。女不出面。但拔箭放烏授箭擲外。王人見指知之非凡。却後年中。王第一夫人卒。娉求夫人。無應相者。廣訪人間。左右白言。前時射烏窮獨母女。年十六七雖不見面。瞻手聞聲似是貴人。王便往視呼將俱來。使相師占之使到女門直入其內。女母不在唯獨女住。使呼女出三呼不應。使曰。貧家女出來。女應曰。才不才各一家子。卿是何人唐突我舍。急出門外。使人曰。國王遣我呼汝。汝小家子何敢爾耶。女曰。國王何事使汝來。若求我作婢者。我家不犯王法。若求我作婦者。汝曹則是我給使。何敢輕易貧門。乘勢蹈突迫懦女人。女人雖微。自有宿命不為威屈。汝曹啟王。使人敢應。具以啟王。王便勅百官。嚴駕備具禮儀。從五百婇女而往迎之。使者齎持謁敬牛羊猪酒納娉之饌。使者乘皂蓋之車。五馬引御以迎女。前導精兵十萬。從車千乘。細馬萬匹。散從十二萬人。鳴鍾伐鼓聲動天地。觀者無數往到女門。使者下車前通謁敬。女敬令曰。謝使者及諸百官吏民。大小勞屈道路。孤貧之女鄙賤不遺。遠煩官屬侍從。枉屈辱王重命。女以寒賤誤以宿福。當王階殿自揆醜陋。德無女儀。容無桃華優曇之色。聲無絃管入耳之聽。智無神聖大人之明。識無聖人萬里之見。身無紫金光潤之澤。氣無栴檀香麝之芳。言無忠和仁善之美。行無進退高下之節。謬忝王命徒勞觀者。使者及百官無不累息。語諸婇女。汝曹薄福墮此卑役。自今以往相與從事。宜各正心修善為行。莫犯王儀。五百婇女皆應唯諾。又呼二千五百青衣。語之曰。人無貴賤道在者尊。汝等皆善人之子。古今之變處在卑微。莫以自卑當務為善。僉曰奉教。百官前進王禮。黃金千餅。白銀二千餅。華瑞瓔珞水精琉璃。明月神珠珊瑚琥珀。白素千匹御縑千匹。綺繒綿羅朱繡紫綠。素黃赤白羅縠之衣。栴檀之香種種千匹。百官進衣百領夫人服飾。女便受之嚴莊已辦。出拜上位。百官見之莫不歡喜。皆稱萬歲國必大平。得我百姓萬民之母。婇女青衣親近附之如子得母。攝衣上車車為端安。馬為調御天為清明。白象雲集相追悲鳴。百官臣民皆言。天人來下國必保安。到王宮門自然開闢。五百侍從入宮下車。宮中自然生五色之光。殿上晃耀內外照明。入殿拜王。王見驚悚不知。下座答之。大夫人朝王。百拜跪如流水。自跪自起百拜乃止。王長跪答之。教令宮內。柔和仁善不傷他意。王愛敬之。徐言少語語必合義。內外敬伏。入宮七日七夜不寢不寐。與諸夫人婇女共相娛樂。王意欲見之。夫人意貞心潔不在濁穢。本意清淨不與王語。又不相見。王曰。室家之義夫婦之分。以恩愛為親。夫人入宮七日七夜。而不相見。其意云何。以為法乎。夫人使婇女答王曰。本生有二願。今已得一。未得一也。故未相見。王曰。已得何等。未得何等。夫人答曰。我少小結願。使婿如國王事神如佛。王曰。可一相見。後當為往呼佛。夫人曰不也。未得見佛。終不與王相見。王大怒曰。汝本寒賤乞人種。何敢違萬乘之意。夫人曰。婦人繫命於夫婿耳。東西唯命。我有宿誓不可負也。王者雖尊。不得枉問無辜之人。王曰。吾萬乘之主。犯者便誅。

豈問扞直。夫人曰。王者百姓父母。斷截當以道理。何得自喜自怒。凡夫所不行。豈況國王耶。王曰。從吾心者原。不從者誅。夫人曰。女人亦有微心。得從心者乃相見耳。不得從心者。終不相見。王曰。奈何請之耶。夫人曰。佛在我國請之必來。王曰。恐百官笑人耳。夫人曰。王請佛入宮。上殿百官自當歡喜。世世受福不為笑王也。王曰。大善。即日勅厨作十萬人饌具。遣侍女白夫人言。請佛作十萬人饌已具。可往請佛。夫人曰。婦人唯命是從。請佛之義大王宜自扞車騎。暫往與佛相見深恭敬之。王曰。我請我自往。卿請卿自往。吾不往也。夫人言。王者尊貴是妾之夫。女人之力不如王者之微言。王扞威暫往與佛相見。不者非大王家人也。未有夫婦室家之義。故自他人耳。王曰。夫婦未成則無分義在卿意耳。夫人默默不言。光輝暐曄顏色非凡。王疑夫人恐欲自殺。或恐突去。勅內外游徼司候。備衛吏兵關閉宮門。步羅相連飛鳥不得度。宮內婇女展轉相次使針不得下。夫人知王意不往請佛。及不信夫人。夫人便於殿上化滅。身體了無所見。婇女千人并七十一夫人。皆驚相視分布求索。內外羅落了無所見。王大慚怖銜泣而起。王曰。奈何奈何。我剛直所致追以為恨。以何方便而使之還。第二夫人白王言。大夫人。非我凡庶小人輩也。王應當稱隨其意。而忽拒逆喜怒惡言待之。此乃天人。王令去大夫人者。我曹等七十一人。何所依恃耶。婇女青衣皆悉啼哭。如有死者。公卿男女亦皆悲怨。今我國中誰所依怙。百鳥嘯鳴天地大動。王感激欲死。向天大息泣落如雨。民人不修事業市里空廢。十十五五相隨悲哀。七日七夜王安臥絕穀不食。第二夫人曰。且當暫與佛相見。并請俱來。王到佛所頭面為禮。白佛言。我是阿祇羅奈國王何迦達留。如是者三須逋替禮敬。連務國事不待日夕。佛言。國事勞擾眾猥煩惱誠扞神思。吏民境界平安不乎。王曰。皆受佛恩。唯願扞屈。暫臨鄙解。佛默然。須臾佛到殿上。大夫人。與諸夫人婇女三千五百七十一人俱為佛作禮。王初未見夫人。婇女亦不見。唯佛自見。王與佛作禮畢心愁不歡。佛語王言。所求大夫人者。正此人是也。王見歡喜。百官夫人婇女大小皆亦歡喜。王設飲食。食畢佛大呪願。各求心中所欲。王白佛言。我大夫人。本貧賤孤獨母之女。今為大夫人。復能滅身幻化如是。有何罪福致斯。尊貴在一人之上。得為百姓之母。仁德賢慈言語柔軟不傷人意。隱形七日人鬼神龍不知其所。佛告言。大夫人。昔為大迦羅越。財富無數慳貪不施。故今貧窮。迦羅越性好婬妖。樂與女人從事。今故墮女人中。又樂與明經道士遊。學故有智慧。已見五百佛。今得值我。昔與王為善知識。故得為夫婦。大夫人先世事五百佛。但持心不堅。嬈惱世人故墮女人中。大夫人却後三十九劫。當得作佛。王亦以七生天上。七生世間。王生天時。大夫人為天女。侍王左右。常得王意。王與大夫人結願俱死。生生相隨俱為解脫。王自憍奢制意喜怒。一切不復更見也。王心大歡喜。即得阿惟越致道。便授王五戒。夫人婇女大小公卿百官舉國人民皆奉五戒。大夫人前受十戒。歲三齋。月六齋。與後宮婇女三千五百七十一人。從事相率為善。王正教寬弘國致太平。興立塔寺皆以七寶。更相尊敬內外無別離之心。人民死皆以壽終。王大夫人覺意念世無常。人晝夜婬妖恩愛無明濁穢。生無賢名。死為不淨之

鬼。便長歎易服敗狀亂頭。前白王言。天下一切無常皆當歸死。王所以貪我者。為我年少顏色肌膚滑澤氣息香潔。是皆非常皆當歸死。夫婦合會略無可奇是皆不淨。恩愛於此當有老病。至來無期誰當為我却之者哉。我今愁怖災害卒至不可得脫。一切貴賤因此一事。皆當膖脹臭處不淨。空愛惜之夫復何益。王自思惟。男女合會有何可奇。我言真諦非不及事。王言。卿是天人種。所言不妄也。皆得事體無不可者。國人男女大小皆相恃賴。唯復照察留念也。大夫人言。我是女人。不得自制故以啟王。大王可相發遣以副宿命之本願。王言。我年欲老。雖有諸夫人婇女小兒輩。無一人可我意者。卿當卒我餘年。終亡之後當以後事相付。太子尚小。奈何當相捨去。至何所耶。夫人言。我生死無常厭是變化。欲從佛求作沙門。王言。卿是一國之母為上夫人。諸國夫人宮內婇女大小皆恃賴卿。卿奈何忽規立此計。遠近士夫聞之不當笑人如此沙門輩非卿夫人種所志作也宜更計之。夫人言。十方諸佛皆從沙門中來。佛迦沙王。捨九十九小國夫人婇女八九千人。求作沙門。前後男女求作沙門者不少。非獨我一女人也。王以恩愛貪欲華色愛惜我身。我身皆膿血惡露不淨。女人難與從事。人有與女人從事無不墮罪中者。女人之身熱於湯火。燒炙於人令墮重罪。千劫不脫。我前世亦為男子。但坐與女人從事。恩愛多故去男為女。女人可畏。王不覺耳。

王意不能與女人相離者。夫人婇女故三千餘人足相娛樂。王意宜發遣無令愁惱也。我作沙門死死不止。王當相勸不宜相割。王曰。卿若爾者我用國為。夫人言。王能知無常者是王上願。國土王位百官婇女珍寶宮城皆非王有。王有身體骸骨頭腦五藏。皆當分散。何所愛惜乎。王言。今日聽卿一人耳。恐我夫人婇女相追俱去。夫人言。各有宿命福力。非人所止。悉加刀杖事應當爾。終不得止。正希我身得發遣耳。王當以恩愛慰愍諸人。自當親近附王。王言。此諸人慕樂卿德。我一男子何能善意周遍此耶。我唯恃卿當為正御。卿今捨我。此諸女人持刀斬殺乃當畏我。夫人言。不也。女人以男子為正耳。王留意近之仍當自安。王言。在卿耳。夫人便呼諸夫人婇女三千人。諫謂之言。卿諸女人。善親近大王威尊致貴莫得輕慢。我今與卿等別。各自努力勤意朝夕。親奉經法加於精進。願我早得佛道。當還相度。諸夫人婇女便舉聲大哭。聞忉利天。帝釋即下授與袈裟。自然著身髮便墮地。授五百戒為比丘尼。夫人婇女皆大歡喜。帝釋復授袈裟食器為沙門。王得知足晏然不怒。忻然大笑曰。諸賢者功德巍巍豈不快也。即得道跡王還宮內。意甚罔罔。出呼太子以國委之。王便願言。我今欲作沙門誰知我者。帝釋便剃王頭。袈裟著身應器自具。便隨佛去。十二小國王。皆捨國付太子。隨王作沙門。一時同得阿羅漢道。阿迦達留者我身是。大夫人者瞿夷是(出貧女為國王夫人經)。

尸利摩忘飢贍僧十二

佛住毘善離。語諸比丘。我聞尼中福德第一者。有尸利摩。時世飢饉乞

食難得。時尸利摩比丘尼入城乞食。見比丘即問言。尊者得食不。比丘即以空鉢示之。便持己鉢中食與比丘。比丘得食還精舍。喚餘比丘共食。諸比丘問言。長老何處得是好食。答言。尸利摩比丘尼邊得。諸比丘聞已各各往索。如是次第乃至五百比丘。盡皆得食。然後自求。日時已過。失食還到精舍。明日晨朝。諸比丘復著衣持鉢。至比丘尼精舍門立。比丘尼見已即入。語尸利摩言。諸比丘今在門外相待。尸利摩聞已語弟子。取衣鉢來。我為諸上尊乞食。如是次第供給五百人已然後自求。日時復過失食而還。至第三日亦復如是。乃至次第供給五百人。唯一人未得。此比丘隨尸利摩後入一家。以先三日失食故。身體虛羸迷悶倒地(出僧祇律二十一卷十誦四分並同)。

暴志前生為鼈婦十三

有暴志比丘尼者。反懷惡信謗佛毀僧。佛言。不但今世。過去無數劫時。一獼猴王居在林樹食果飲水。時念一切蚑行喘息人物之類。皆欲令度使至無為。時有一鼈以為知友。鼈數往來到獼猴所。飲食言談說正義理。其婦見之。謂有婬盪問。夫為何所至。答曰。吾與獼猴共結親友。甚聰明智慧又曉義理。婦猶不信。因便佯病。困劣著地治不肯差。謂夫言。吾病甚重。得卿所親獼猴肝。乃當活耳。夫答曰。吾寄身託命。云何以活卿耶。婦曰。夫婦同共一體不念相濟。反為獼猴夫敬重婦。往請獼猴共食。獼猴答曰。吾家陸地。卿在水中。安得相從。鼈曰。吾當負卿。獼猴從之負到中道語獼猴言。婦病須卿肝。獼猴曰。何不早道。吾肝掛樹不齎將來。從還取肝乃相從耳。便還樹上跳梁歡喜。鼈問曰。卿應取肝來。到我家去。反更跳梁何耶。獼猴答曰。天下至愚無過於汝。共為親友寄身託命。還欲見危。鼈婦暴志是。鼈調達是。獼猴王我是(出鼈獼猴經)。

暴志謗佛十四

佛遊舍衛祇國。波斯匿王。請佛及僧。宮中設飯。欲詣王宮。有比丘尼。名暴志。木盌繫腹似如懷妊。因索佛衣。汝為我夫從得有身。不給衣食此事云何。時諸大眾人天釋梵四王諸天鬼神。及國人民莫不驚惶。佛為一切三界之尊。其心清淨過於摩尼。智慧之明超於日月。獨步三世無能逮者。降伏諸邪。九十六種莫不歸伏。道德巍巍不可為喻。虛空無形不可污染。佛心過彼無有等侶。此比丘尼既佛弟子。云何懷惡欲謗如來。佛見眾心欲為決疑仰瞻上方。時天帝釋尋時來下。化作一鼠齧繫盌繩。盌即墮地。眾會覩之。瞋喜交集怪之所以。時國王瞋。此比丘尼棄家遠業為佛弟子。既不能歎譽如來無極功德。反還妬謗於是大王。即勅侍者。掘地為坑欲倒埋之。時佛解喻勿得爾也。是吾宿罪非獨彼殃。乃往過去久遠世時。時有賈客。賣好真珠枚數甚多。且圓明好。時有一女皆欲買之。向欲成市。有一男子。遷益倍價獨得珠去。女人不得心懷瞋恨。乃從請求復不肯與。心怒既盛。我前買珠。便來遷奪。又從請求復

不肯與。汝毀辱我。我在所生當報汝怨。時買珠男子則我身是。其女身者則暴志是。此自往緣。非直今身也(出生經第一卷)。

經律異相卷第二十三

經律異相卷第二十四(轉輪聖王諸國王部第一)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 劫初人王始原一
- 大王致輪之初二
- 金輪王王化方法三
- 燈光金輪王捨臂四
- 蓋事金輪王有大利益五
- 轉輪王為半偈剜身然千燈六
- 摩調金輪王捨國學道七
- 無諍念金輪王請佛僧八　堅固金輪王失輪出家九
- 文陀竭金輪王遊四天下十
- 頂生金輪王愛別離苦十一
- 阿育四分王始終造業十二

劫初人王始原一

劫欲成時。水災既起壞第二禪。風災吹結世界得成。光音諸天福命既盡。化生為人歡喜為食。身光自照神足飛行。無有男女尊卑隔異。故曰眾生有自然地味。猶如醍醐。色如生酥。味甜於蜜。以手取嘗。遂生味著。食之多者顏色麁悴。食之少者膚貌光澤。便有勝負自相是非。地味又滅。又生地皮。狀如薄餅。色味香美復共食之。轉相輕易地皮又滅。更生地膚(增一阿含婁炭並云地肥)因食多少生諸惡法。地生粳米眾共食之。生男女形乃至立王(事已見世界成壞部)天下富樂地生青草。如孔雀尾漸次分張。有八萬國。人民聚落鷄鳴相聞。天下無病大熱大寒。以法治國奉行十善。哀念一切猶如父母。人壽長久。後王德漸薄年壽轉減。至一萬歲。今至一百。王崩子嗣。名曰珍寶(出長阿含經第二十二卷)。

大王致輪之初二

轉輪聖王。所以致金輪者。帝釋常勅四天王。一月六日案行天下。伺人善惡。四天王及大子使者。見有大國王以十善四等治天下。憂勤人物心踰慈父。以是事白天帝釋。帝釋聞之。慶其能爾。便勅毘首羯摩。賜其金輪。即出持付毘沙門天王。毘沙門天王持付飛行夜叉。飛行夜叉持來與大國王。毘沙門天王勅此夜叉。汝常為王持此金輪。當王頂上畢其壽命。不得中捨。是夜叉常為持之。進止來去隨聖王意盡其壽命。然後還付毘沙門天王。毘沙門天王還付毘首羯摩。毘首羯摩還內著寶藏中(出雜譬喻經第六卷)道種堅德乘金輪王四天下。性種性王乘銀輪王三天下。習種性王乘銅輪王二天下。以上十善得王。乘鐵輪王一天下(出仁王波若經)。

金輪王王化方法三

轉輪聖王。成就七寶。有四神德。一金輪寶。二白象寶。三紺馬寶。四神珠寶。五玉女寶。六居士寶。七主兵寶。若轉輪王出閻浮提時。諸剎利水澆王頂以月滿時香湯沐浴。升高殿上會眾伎樂。天金輪寶忽現在前。輪有千輻光色具足。天金所成非世所有。輪徑丈四。王見興念。我從宿舊聞今此輪現將無是耶。今我寧可試此輪寶。王即召四兵。向金輪寶。偏露右臂右膝著地。以右手摩捫金輪語言。汝向東方如法而轉勿違常則。輪即東轉。王將四兵隨其後行。輪前四神導輪所住。王即止駕。東方小國以金鉢盛銀粟。銀鉢盛金粟。來詣王所。拜首白言。善哉大王。今此東方土地豐樂多諸珍寶人民熾盛。願大王留此治化。大王答曰。汝等但以正法治民。勿使偏枉無令國內有非法行。自不殺生。教人不殺偷盜邪婬兩舌惡口妄言。綺語貪邪嫉妬邪見之人。此即名曰我之所治。時諸小王。即從大王巡行諸國。至東南西北。隨輪所至。其諸國王皆獻國土平曠之處。輪則周行封畫量度。東西十二由旬。南北七由旬。天神造城郭。其城七重。七重欄楯七重羅網。七重行樹周匝交飾。七寶所成乃至無數眾鳥相和而鳴。復於城內造諸宮殿。宮牆七重七寶所成。時金輪寶在宮殿上虛空中住。王清旦於正殿上坐。自然象寶忽現在前。其毛純白七處平住。力能飛行其首雜色。六牙纖傭真金間填。王見念言。此象賢良。若善調者可中御乘。即試調習諸能悉備。時轉輪王欲自試象。即乘其上。清旦出城周行四海。食時已還。時王清旦在正殿坐。自然馬寶忽現在前。其紺青色朱毛尾頭。仰如馬力能飛行。王見念言。此馬寶良。若善調者可中御乘。即試調習諸能悉備。王欲試馬。即自乘之清旦出城。周行四海食時已還。時王清旦在正殿上。自然神珠忽現在前。質色清徹無有瑕穢。王見念言。此珠妙好。若有光明可照宮內。王欲試珠。即召四兵。以此寶珠置高幢上。於夜冥中齎幢出城。其珠光明照一由旬。見城中人皆起作務。謂為是晝。玉女寶者忽然自現。顏色從容面貌端正。不長不短不麁不細。不白不黑不剛不柔。冬則身溫夏則身涼。舉身毛孔出栴檀氣。口出優鉢羅華香。言語柔濡舉動安詳。先起後坐不失儀則。時王無著心不暫念。況復親近。居士寶者忽然自出。寶藏之內財富無量。居士宿福眼能徹視。地中伏藏有主無主。皆悉見知。其有主者能為擁護。其無主者取給王用。時居士寶往白王言。大王。有所給與不足為憂。我自能辦。時王欲試此居士寶。即勅嚴船於水遊戲。告居士曰。我須金寶汝速與我。居士報曰。大王。小待須我至岸。王乃逼言。我今須用居士寶。以右手內著水中。水中寶瓶隨手而出。如蟲緣樹。時王見之。語居士言。止止吾無所須。向相試耳。尋以寶物還投水中。主兵寶者。忽然出現。智謀雄猛英略獨決。即詣王所白言。大王有所討罰不足為憂。我自能辦。時王欲試主兵寶故。即集四兵而告之曰。汝今用兵。未集者集。已集者放。未嚴者嚴。已嚴者解。未去者去。已住者住。時兵寶具如王言。王見踊躍曰。我今真為轉輪聖王。一者長壽不夭無能及者。二者身強無患無能及者。三者顏貌端正無能及者。四者寶藏盈出無能及者。是為聖王具四功德。大海彼岸。復有鉢頭摩池。俱物頭池。分陀利池。過是地空。其空地中有大海水。名鬱禪那。此水下有轉輪聖王道。廣十二由旬。俠道兩邊有七重牆七重欄楯七重羅網七重

行樹。以七寶成。閻浮提地轉輪聖王出于世。時水自然去其道平正。轉輪聖王。又乃命駕出遊後園。尋告御者。汝當善御而行。所以然者吾欲諦觀。國土人民安樂無患。時國人民。路次觀者。復語侍人汝且徐行。吾欲諦觀聖王威顏。時王慈育民物如父愛子。國民慕王如子仰父。所有珍奇盡以貢王。願垂納受。時王報曰。且止諸人。吾自有寶汝可自用。王治此閻浮提時。其地平正。無有荊棘坑坎堆阜。亦無蚊虻蜂蠅蛇虺惡蟲。石沙瓦礫自然沈沒。金銀寶玉現於地上。四時和調不寒不熱。其地柔濡無有塵穢。如油塗地潔淨光澤。地出流泉清淨無竭。樹木實茂華果熾盛。地生濡草冬夏常青色如孔翠。自然粳米無有糠糂眾味具足。時有香樹華果茂盛。其果熟時自然裂出香氣酚熏。復有衣樹華果茂盛。其果熟時皮穀自裂出種種衣。復有莊嚴樹。其果熟時出種種莊嚴具。復有鬘樹。其果熟時出種種鬘。復有器樹。其果熟時出種種器。復有果樹。華果茂盛其果熟時皮穀自裂出種種果。復有樂器樹。其果熟時出眾樂器。轉輪聖王治於世時。阿耨達龍王。於中夜後。起大密雲彌滿世界。而降大雨如[(殼-一)/牛]牛頃。而八味水潤澤周普。地無停水亦無泥淖。潤澤沾洽。於中夜後空中清明。淨無雲曀。海出涼風清淨調柔觸身生樂。聖王以正治國無有阿枉修十善行。時諸人民亦修正見具十善業。其王久時如樂人食身小不適。而便命終生梵天上。時金輪白象紺馬明珠皆悉滅沒。時玉女寶居士寶主兵寶。及國士民。作倡伎樂以香湯洗沐王身。以劫貝纏五百張氎。次如纏之。捧舉王身置金棺裏。以香油灌之。置鐵棺裏。復以木槨裹衣其外積眾香薪重衣其上。而闍維之。於四衢道頭起七寶塔。縱廣一由旬。雜色參間以七寶成。玉女寶居士寶典兵寶舉國士民。皆來供養此塔。施諸窮乏。須食與食須衣與衣。象馬寶乘。給眾所須隨意所與(出樓炭第一卷又炭經出長阿含)。

燈光金輪王捨臂四

過去無量無邊阿僧祇劫時。此界名日月雷。亦有五濁世。於我是時作轉輪王。王閻浮提。號燈光明。教化阿僧祇人住善法中。見有一人身被縛束。我即問言。此何所犯。大臣自言。田作穀麥六分一分入官。是人不從王法是故縛之。我勅令放。臣答言。今王諸子後宮眷屬諸所資用皆從他邊強取。無有一人清淨心與。王大憂愁。分此地為五百分。等與諸子。即便出家。至南海邊麞頭摩木林之中。食諸果子。漸漸修學得五神通。時閻浮提有五百商人。入海採寶。有一商主。名曰滿月。得如所願。即欲發還。龍心懷瞋欲害商人。復有一龍王。名曰馬堅。是大菩薩。以本願故生於龍中。起慈悲心救諸商人。令得安隱過於大海至彼岸邊。龍王然後還本住處。爾時有大惡羅剎。隨逐商人如影隨形。欲為虐害。是惡羅剎。即於其日放大惡風。時諸商人迷悶失道。生大怖畏失聲啼哭。喚呼諸天摩醯首羅水神地神火神風神。復稱父母妻子眷屬。願救濟我。善男子。我於爾時。以淨天耳聞其音聲。尋往其所。以柔濡音而慰撫之。莫生怖畏當示汝道。令汝安隱還閻浮提。善男子。我於爾時。白氎纏臂以油灌之。然以為炷發真實言。我先以於麞頭摩林。三十年中

專精修行四無量心。為諸眾生食噉果子。勸化八萬四千諸龍夜叉神等。不退轉於阿耨多羅三藐三菩提。以是善根今然此臂。為示道故。令諸商人安隱得還閻浮提中。然臂乃至七日七夜。此諸商人。尋便安隱還閻浮提。善男子。我於爾時。復作善願。若閻浮提無諸珍寶。若我必成阿耨多羅三藐三菩提。得已利者當作商主。於一一天下七反雨寶。復入大海取如意珠。於一一天下復雨種種雜廁寶物。如是次第遍此世界。乃至十方無量無邊阿僧祇諸世界中亦復如是。善男子。我於往昔諸所發願皆得成就。如恒沙等大劫之中。常作無上薩薄之主。於恒河沙五濁惡世雨種種寶。一日之中七反雨之。令得滿足。然後勸化令住三乘(出過去香蓮華佛世界經)。

蓋事金輪王有大利益五

過去閻浮提。有四河水二大國王。一名婆羅門提婆(梁言梵天)獨據三河。人民繁盛然復儜弱。一王名曰罰闍建提(梁言金剛聚)唯得一河。人民亦少然其國人悉皆勇健。時金剛聚處于正殿。王念。兵眾勇悍而所獲水少。彼國儜弱獨霸三河。今當遣使索取一河。若與我者共為親厚。國有好物更相貢贈。若有艱難共相赴救。若其不得便當力奪。即遣使至梵天國。具宣王意。梵王云。我國豐實人眾亦多。又此國界父王所有。轉用授我。至於力諍我不下彼。答言。此國乃是我父所授。我力不相減。若欲力決。我不相畏。使還具聞王。即合軍攻梵天國。共戰一交梵天軍壞。乘比追躡徑至城邊。眾人怖縮更不敢出。諸臣共集詣梵王所。白大王言。他國兵強我國儜弱。惜一河水今致此敗。如是不久懼恐失國。唯願開意以一河與之。共為親厚足得安全。王遣使與一河水。又以女許為夫人。國有奇物更相貢贈。急難危險共相赴救。時金剛聚即迎其女拜為夫人。各共和解迴軍還國。經於數日其王夫人便覺有胎。懷妊之後。恒有自然七寶大蓋。當在身上。坐臥行立終不遠離。至滿十月生一男兒。身紫金色頭髮紺青。光相晞著世之少雙。兒以出胎蓋在其上。召諸相師令相此兒。相師白王。太子德相世之希有。王及群臣喜不自勝。即為其立字。字剎羅伽利(梁言蓋事)年至成人。父母便命終小王。臣民共立蓋事。治政數年出外遊觀。見諸人民耕種勞苦。問左右曰。此人何作。答言。國以民為本民以穀為命。若其不爾民命不存。民命不存國則滅矣。王便言曰。若我福相應為王者。令我民眾獲自然穀。發言已竟。人民倉篅滿種種穀隨意悉有。後復出遊。見人汲水舂磨作役。又問臣言。諸人何以爾耶。臣白王言。蒙王恩澤獲自然穀。事須成熟。是以庶民辦作食調。王復言曰。若我福德應為王者。令吾國內一切人民有自然食。發語已訖。合境皆獲自然之食。後復出遊。見人織作辦具衣調。問言。此諸人等何故執作。臣言。辦具衣裳。王言。若我福德應為王者。使吾國內一切樹木出自然衣。適發此語。國中諸樹皆出妙衣。極為細軟青黃赤白隨人所好。後復出遊。見諸人民競作樂器。王復問臣。何以故爾。臣言。治伎樂器。王言。若我有福應為王者。令我國中樹生樂器稱意悉有。又經少時。諸王臣民悉來拜賀。值王食時留與飲食。爾時諸臣。得王飲食百味

具足。咸共白王。臣等家食飲其味薄少。今得王食美味非凡。王告之曰。卿等臣民。若欲常得如我食者。用吾食時食者。皆得如是之食。即勅伺官。吾食時到恒鳴大鼓。令諸人民悉得聞知。用我時食當得百味上妙之供。從是已後食便鳴鼓。一切人民承音念食。百味上饌自然在前。人民優樂。時王梵天遣使。來至蓋事王國。語蓋事言。汝父在時。我以河水用與汝父。汝父已終宜當還我。時蓋事王報彼使曰。我今境土及與河水。亦非我力強從汝得。然我為王不勞民物。且停須我後與汝王相見。使還白王。王然其意。剋日共期。二王俱進軍眾圍繞。各安大營在河一邊。二王乘船河中相見。時王梵天初見蓋事。身色晃曜如紫金山。頭髮弈弈如紺琉璃。其目廣長人中難有。敬心內發謂是梵天。到相問訊對坐一處。談兩國土論索水事。蓋事報曰。我國人民所欲自然。亦無貲輸王役之勞。所言未訖食時已至。蓋事王軍鳴鼓欲食。梵天謂欲殺之怖起謝罪。羊皮四布腹拍前地。蓋事自起挽令還坐。復語之曰。大王何以恐怖如是。我軍食時恒自鳴鼓。所以爾者。用我時食皆獲百味上饌之供。梵天復起白蓋事曰。唯願大王。普見臨覆我及國人。悉願降附。令諸民庶悉蒙恩澤。於是蓋事典閻浮提。一切人民盡獲安樂。登位之後處於正殿。群僚百官宿衛侍立。日初出時有金輪寶從東方來。如是七寶相續而至典四天下。一切眾生蒙王恩德所欲自恣。王悉教令修行十善。壽終之後皆得生天。佛告阿難。剎羅伽梨王者我身是。王罰闍建提今父王是。母者摩耶是(出賢愚經第八卷)。

轉輪王為半偈剜身然千燈六

時轉輪聖王。為求佛法遍問閻浮提。誰解佛法。大轉輪王欲得翫習。時皆云。無邊一小國。有婆羅門。解知佛法。即請入宮。為我解說。婆羅門言。王大愚也。吾學佛法久受勤苦因乃得成。今者云何直欲得聞。王白師言。欲須何物。婆羅門言。與我供養。王言。所須供養為是何物。婆羅門言。若能就王身上剜作千瘡。灌滿膏油安施燈炷以供養者。吾當為汝解說佛法。王未答頃尋下高座。爾時大王。即前抱持報言。小復留懷須自思惟當奉供養。爾時大王。即入宮中報諸夫人。今共汝別。我欲剜身以作千燈供養大師。夫人言。天下所重莫若己身。云何毀害。王曰。欲求佛法為一切眾生。於大闇室然智慧燈。照汝生死無明黑闇。斷眾累結得至涅槃。汝等諸人。今者云何違逆我心。時諸夫人默然不對。心悲郁噎。王與內外一切辭別。還至殿上往大師所。脫身瓔珞端身正坐。告眾人言。誰能為吾剜身千瘡。皆共答言。寧自剜兩目。終不能以手仰剜王身。有旃陀羅其性弊惡。尋聲往趣語諸太子。且莫憂苦我有方便。能令大王事不得成。還領國土如本不異。諸太子聞喜。時旃陀羅言。欲剜身者我能為之。王言。汝今是我無上道伴。時旃陀羅。持牛舌刀就王身上。晌速剜作數滿千瘡。謂王意退投刀馳走。灌滿膏油細氈為炷。時婆羅門告王言。精進如是難為能為。修此苦行。為聞佛法。即說半偈。

夫生輒死　此滅為樂

王言。於我有慈愍者。應憶持是法。於諸國土有人民處宣通王命。諸人當知。大轉輪王。見諸眾生沒於苦海。未能出要起大悲心。剜身千燈求此半偈。諸人今當書寫此偈。讀誦翫習思惟其義如說修行。諸人異口同音讚大王言。善哉大王。真慈悲父。為諸眾生修此苦行。我等應當速往書寫。或於紙帛或於石上。或於樹木瓦礫草葉。磎逕要路多人行處亦皆書寫。其見聞者皆發道心。

王然千燈供養大師。其明遠照十方世界。其燈光中亦出音聲說此半偈。其聞法者。皆發道心。其光上照至忉利宮。隱蔽天光。忉利天王即作是念。以何因緣有此光明。即以天眼觀於世間。見轉輪王以大慈悲熏修其心。為眾生故剜身千燈。供養大師為度眾生。我等當往勸戒佐助。即下世間化作凡人。往詣王所問大王言。剜身千燈修此苦行。為求半偈何所作為。報言。善男子。我為眾生令發道心。爾時化人即復釋身。報言。作是供養。願求天王魔王梵王耶。言。我不求此。正求菩提為眾生故。不安者安。不解者解。未度者度。未得道者欲令得道。天王釋言。大王。今者不乃愚也。求菩提者。久受勤苦乃可得成。汝云何欲求無上道。報天王釋言。假使熱鐵輪在我頂上旋。終不以此苦退無上道心。汝雖發是言吾終不信也。時轉輪王。於天王釋前立誓言。若不真實求三菩提。欺天王釋者。使我千瘡終無愈時。若不爾者。血當為乳千瘡平復。說是語時瘡即如本。天王釋言。善哉大王。真是大悲。如是苦行不久當得無上菩提。得菩提時要先度我。時天帝釋。放大光明遍炤王身。與百千諸天發菩提心。五百太子見其父王身瘡平復歡喜無量發菩提心。二萬夫人百千婇女亦復如是(出大方便佛報恩經第三卷)。

摩調金輪王捨國學道七

昔者有王。名曰摩調。時號遮加越王。主四天下。以正法治不枉人民。常行慈心視民如赤子。人壽八萬歲。王有七寶。又有千子。鞭杖不行。民無辭訟。莫不變化。王欲行四方隨意即至。數千萬人隨後而飛。不持刀兵。人民鬼神皆自歡喜。語侍衛者。頭鬚生白可以告我。侍人言生白。王召太子告言。我頭生白衰老將至。今立汝為王。四天下皆屬於汝。汝後亦應厭於世樂當行求道。王即棄國除髮學道。時諸臣民皆大啼哭。摩調子孫相傳持國。千八十四王髮白學道。摩調王千八十四世後。復出為人還續王位。名喃。復持正法。即勅中宮及諸貴人。使持八戒月修六齋。臣民男女皆亦奉持。沙門道人無有衣食。皆悉給施乃至醫藥。天帝語言。寧欲得見忉利天上諸天王不。喃王即言。欲得見之。帝釋言。我遣一車駕千匹馬來迎王。車名蔡[口*苛]育多。喃王名聲遠流聞忉利天。為諸天王之所敬重欲得相見。見車驚言。非世所有。我王施善天車迎王。喃王載車。車馬俱飛。即告御車。汝過二道。我欲得見惡人之道。復欲得見善人之道。摩曰。婁即將過視泥犁地獄人所作惡考掠之

處。復上忉利觀天上樂。王到釋宮。天帝復言。天上諸王大欲得見。喃王常道說功德。即前牽臂與共並坐。喃王變身如天上體。不復如世間臭也。作倡天樂散華燒香。帝釋語喃王言。莫愁憂也。此間諸伎可共相戲。足可忘憂。喃王不持天上伎樂為樂。喃王即語釋言。如人借物會應當還。以本願故不以天伎為樂。時喃王者今我身也(出摩異調王經)。

無諍念金輪王請佛僧八

菩薩過去劫時。此佛世界名那提嵐。劫名曰善提。有轉輪王名無諍念。主四天下。有一臣名曰寶海。是梵志種。善知占相。時生一子。有三十二相八十種好。百福成相常光一尋。百千諸天來共供養。因為作字號曰寶藏。其後長大。剃除鬚髮法服出家成三菩提。還號寶藏十號具足。即轉法輪。令諸眾生皆得生天。咸蒙解脫利益天人。聲聞大眾恭敬圍遶安周羅城。即是聖王所治之處。去城不遠有一園林。名曰閻浮。時佛與聲聞大眾止頓此林。時王聞之。與無量大眾往至佛所。到佛所已頭面禮足。右遶三匝却坐一面。佛即為王說於正法。以種種方便示教利喜。王白佛言。唯願如來及諸聖眾。於三月中受我供養衣服飲食臥具湯藥。時佛默然。頭面作禮遶佛三匝還。告小王及臣民眷屬辦諸供具。時主寶臣。於閻浮林中以純金為地。於其地上作七寶樓。其樓四門七寶所成。七寶行樹其樹皆懸寶衣瓔珞。種種珠蓋及諸寶器。復散諸香寶華。綩綖繒纊以為敷具。懸諸繒幡及王金輪。於樓觀前去地七尺。女寶執蓋。以摩尼珠並置佛前。珠輪二光常照林中晝夜無異。以牛頭栴檀為床榻。机橙白象。寶樹種種莊嚴在佛僧前後。玉女寶持七摩尼寶蓋在於佛前。以牛頭栴檀及黑沈水。散以供養。作眾伎樂。其園外邊有四兵寶周匝圍遶。王到佛所作禮右遶三匝。自行澡水手自斟酌。上妙餚饍供養佛及僧。食訖捨鉢行水漱口。王執寶扇以扇如來及一一聲聞。時王千子及八萬四千諸小王等。悉皆供養一一聲聞。如轉輪王。尋於食後。有無量眾入林聽法。諸天散華作天伎樂。以供養佛。虛空中有天衣瓔珞種種寶蓋。而自迴轉。四萬青衣夜叉。取牛頭栴檀為眾作食。時轉輪王。夜於眾前然百千無量億那由他燈。王頂戴一燈。肩荷二燈。左右手中執持四燈。其二膝上各置一燈。兩足趺上亦各一燈。晝夜供養。佛神力故身無疲極。如入三禪。轉輪聖王所受快樂亦復如是。終竟三月。以主藏寶臣貢上如來。閻浮檀金作龍頭瓔珞八萬四千。上金輪寶白象紺馬摩尼珠寶妙好火珠。主藏臣寶主兵臣寶諸小王等。安周羅城諸小城邑。七寶衣寶華寶聚寶蓋所著妙衣。華鬘瓔珞寶車寶仗。七寶頭目交絡及諸寶網。閻浮金鎖真珠寶貫。上妙履屣綩綖綑縛。微妙机橙七寶器物。鍾鼓伎樂寶鈴珂貝。園林幢幡瓶罐燈燭。七寶鳥獸雜廁妙扇。種種諸藥如是等物。各八萬四千。以施佛僧。作是施已。白佛言。世尊。我國多事。有諸不及今我悔過。唯願如來久住此園。復當令我數得禮敬。王諸子等復各請佛僧。終竟三月。如來默然。善男子。時王千子。第一太子名曰不眴。終竟三月。供養如王。唯無輪等七寶。大臣寶海梵志。遍閻浮提告一切男女。有所求乞者。先歸依三寶發菩提心。然後當受汝之所施。時閻浮

提。無有一人不從梵志。受三歸依發菩提心。便受所施之物。時諸王子皆各發心。或願忉利天王。或求梵王。或求魔王。或求轉輪聖王。或願大富。或求聲聞。各各向佛及僧悔過。轉輪聖王。因過去布施故復求今住(出悲華經第二卷又出寂意菩薩問五濁經)。

堅固金輪王失輪出家九

過去世時。王名堅固。有四種兵。為轉輪王。攝御天下。以法為治。與七寶俱人間四妙。王於後時失於天輪。告太子頂來。我本從舊人聞。若轉輪王失天輪者。王必不長壽。太子。我已食人間欲。復欲求天欲。我欲剃髮被著法服信樂出家。我今以大海地與汝。汝當以法教令莫作非法。若復與汝天輪移處。堅固王學道七日天輪晝忽然不見。頂來王。白父王言。不可為王當云何。父王言。當作輪之福行可有是處。十五日說戒時。沐頭昇在堂上。東方有天輪來。非工巧所作。光炎極妙。齋日沐頭昇在堂上東。堅固王曰。子當如法觀行於男女婦子及諸臣民。非是一人沙門婆羅門。下至鳥鹿。當持齋月八日十四日十五日。施與沙門婆羅門貧窮孤老乞者。當以飲食衣被華鬘眾香床臥屋舍給與。使為明證。若界內所識沙門婆羅門。當至其所隨時問論。云何為善不善白黑報。云何現世義。云何後世義。云何作行受善不受惡。當如是覺。若界內有貧窮人。當施與財物。是為得輪之行。汝與行相應者便得。若十五日說戒時。沐頭昇堂上東方。當有天輪來至繼後有。頂來王。以法治行。於其界內施與財物。為轉輪王與七寶俱。人間四妙。云何曰妙。如上七寶如上四妙。彼輪於後時。天輪亦移處。至輪不現。頂來王亦初不憂慼。樂著婬欲不知敗壞。強御天下人民日減不增。先王如法但增不減。知明星婆羅門白言。天王當知。以欲御民但減不增。猶若過去諸轉輪王。與輪法相應人但增不減。王曰。我當云何。答曰。天王界內有明算法。有諸臣中明呪術知於輪法。王當與輪法行相應。若與相應者可有是處。輪便可得。十五日說戒時。沐浴昇高堂上東方。當得天輪。王曰。云何為輪行。令我行與相應。當如法見行於法於妻子至施物。是為天王天輪行。若應此行。可有是處便可得輪。頂來王。於後時行法於妻子至貧窮人。惜財不施既窮無物。便行偷盜。詣王罰之。王作是言。汝眾生真諦不與取耶。答言。實爾。我若不盜無以存命。王便與物。語彼人曰。汝去後莫復爾。復有窮者聞盜見王即賜其物。我等寧可作不與取便復行盜。盜轉增廣。人壽漸減。始八萬四千歲終至百年。時有過者。王言。若復於我界盜者。當悉著樹下以刀梟首。佛告諸比丘。當來人壽十歲(出阿含經第十四卷)。

文陀竭金輪王遊四天下十

昔者有王。名文陀竭。從母頂出。後作遮迦越王。東西南北皆屬之。七寶具足。王有千子。王四天下。經數千歲。意中自念。我有四天下。人民熾盛穀米平賤。千子端正高才健猛。令天雨金銀七日七夜快耶。天即

為王。雨錢金銀七日七夜。王心歡喜。聞諸方土人民熾盛。王舉七寶四種兵。眾俱共飛行次到諸國。悉皆降伏正法治世。如是各數千歲。王復生意。我有閻浮提國二十八萬里。我有俱耶尼國三十二萬里。我有弗于逮國三十六萬里。王唯聞北方有欝單越。天下大樂人民熾盛。王意欲往。彼無貧窮豪羸強弱。無有奴婢尊卑。皆同一等。令我人眾屬共食之自然粳米。自然衣被服飾諸珍寶。便俱飛行入欝單曰。地青如翠適復前行。見白如雪自然稻米。汝曹當食。適復前行見諸寶樹。百種衣樹金銀瓔珞皆懸著樹。王問邊臣。汝曹見是等不。邊臣言。唯然已見入國。人民皆悉降伏。王治欝單越地四十萬里。經數千歲。復念。我有四天下。王意欲上須彌寶山。至忉利天王釋所止處。便舉七寶百官。俱飛到須彌山。入天王釋宮。王釋遙見迎之言。數聞王功德欲相見日久。仁者來大善。便牽與共坐。以己半座與文陀竭王。適坐左右顧視。天上有玉女。心便念言。我有四天下所有雨寶。使天王釋死。我欲代其處。治天上如治天下。便覺去離即還天下。便得疾病困劣著床。臣問王曰。得無有意欲得天王釋處不。答適生意。便下在地。即嬰困病。心自悔言。人無厭足。知足者少。文陀竭王我身是也(出文陀竭王經)。

頂生金輪王愛別離苦十一

過去之世人壽無量。王名善住。其王爾時為太子治事。及登王位各八萬四千歲。時王頂上生一肉皰。其皰柔軟。如兜羅綿細軟劫貝。漸漸增長不以為患。足滿十月皰即開剖。生一童子。其形端正。人中第一。父王歡喜。字曰頂生。時善住王。即以國事而委付之。棄捨妻子入山學道。滿八萬四千歲。時頂生王。於十五日。在高樓上沐浴受齋。即於東方有金輪寶至。其輪千輻轂輞具足。不由工匠自然成就。而來應之。王作是念。我昔曾聞五通仙說。若剎利王。於十五日處高樓上沐浴受齋。若有金輪而來應者。當知得作轉輪聖帝。即試以左手擎之。右執香爐。右膝著地。而發誓言。是金輪寶若實不虛。應如過去轉輪聖王。即飛昇虛空周遍十方。還王左手王心知作轉輪聖王。其後不久復有象寶。如白蓮華。七枝柱地。王念。亦如仙說。十五日處在高樓沐浴受齋。王試擎香爐右膝著地。而發誓言。是白象寶若實不虛。應如過去轉輪聖王所行象。即旦至夕周遍八方。盡大海際還住本處。王大歡喜。復作是言。我今定是轉輪聖王。其後不久。次有馬寶。王又如前。復有女寶。形容端正微妙第一。以手觸王衣。時即知王身苦樂。亦知王心所緣。自然而有摩尼珠寶。如純青瑠璃。大如車輪照一由旬。若天降雨滴如車軸。是珠勢力能作大蓋。覆一由旬遮此大雨不令下過。王念如前。次有主藏臣。自然而出。多饒財寶無所闕少。眼見伏藏。隨王所念皆能辦之。即共乘船入於大海。告藏臣言。我今欲得珍異之寶藏。臣聞已即以兩手撓大海水。時十指頭出十寶藏。以奉聖王。而白王言。大王。所須隨意用之。其餘在者當沒大海。王大歡喜。次有主兵臣。自然而出。勇健猛略策謀第一。善知四兵。能令摧伏。已摧伏者力能守護。王告諸臣。汝等當知。此閻浮提安隱豐樂。我今七寶成就千子具足。更何所為。諸臣答

言。唯然大王。東弗婆提西拘耶尼北欝單越。猶未歸德。王今應往。時王即與七寶一切營從飛空而往。四方人民歡喜歸德。復告大臣。我四天下安隱豐樂。人民熾盛咸已歸化。更何所為。諸臣答言。唯然聖王。三十三天壽長安樂。自恃天福未來歸化。今應往討令其摧伏。王復飛空上忉利天。見有一樹其色青綠。即問大臣。此是何色。大臣答曰。此是波利質多羅樹。忉利諸天夏三月日。常於其下娛樂受樂。又見白色猶如白雲。復問大臣。此是何色。大臣答言。是善法堂。忉利諸天常集其中論人天事。於是天主釋提桓因。知王在外既出迎逆。見已執手昇善法堂分座而坐。彼時二王形容相貌等無差別。唯有視眴為別異耳(賢愚經云先身以豆散弗沙佛上四粒入鉢王四天下一粒在頂受樂二天)王言。我今可住此中為天王不。時天帝釋。受持讀誦大乘經典為他宣說。唯於深義未盡通達。王於帝釋乃生惡心。即便墮落還閻浮提。與所愛念人天離別生大苦惱。復遇疾病即便命終。帝釋迦葉佛是。轉輪聖王即我身是(出大涅槃經第十一卷)。

阿育四分王始終造業十二

波吒利弗多國(雜阿含云巴連弗邑)王姓孔雀。名頻頭娑羅(父名日月護)有子。名阿輸柯(梁言無憂。又名阿育王。前生名闍耶。為童子時。值釋迦入王舍城。心念佛故。於大路邊以沙為糜。內佛鉢中。以申供養。因發願言。我未來為一金地王。廣興供養。佛即記之。我入涅槃百年之後。當生波吒利弗多城。姓孔雀。名阿育。為四分轉輪王。起八萬四千塔。供養舍利。出阿育王經第一卷)身體麁澁父不愛念。乃於後時。使善相師相。諸兒子誰堪為王不。召阿育母密報之。汝宜就次。阿育啟母。父王不喜。母言但去。大臣成護問。今何行。答以實事。成護駕最勝象。給其乘御。設諸子食皆悉寶器。不及阿育。母私辦饌器食皆勝。相師曰。阿育最勝是堪為王。大王曰。我所不重。必當見殺可更搜算。相師又曰。今好乘好食好器者。此堪為王復無勝者。後境內小國。名德叉尸羅。欲為返逆。王勅阿育。汝集四兵掩奪彼國。器仗資物悉不給汝。阿育奉命。即自思惟。若有功德應為王者。願自能涌出地即震裂器食無數。德叉尸羅國聞阿育來。莊嚴道路望風奉迎。一切人民競興供養。初不嫌。二遣使往佉師國。求二健兒方能摧山覆岳。時諸天發言。語二人云。此四分轉輪王。領閻浮提不可逆也。一切雄賢莫不奉覲。諸天以天寶冠置其頭上。大王聞之。即遣大兒修私摩。大興兵力竟不能罰。大王。身遇重疾倍更瞋恚。復聞不剋。口吐熱血即便命終。阿育即登大位。拜成護為第一大臣。領理國事。修私摩等聞父亡背立阿育為王。心生不忍。即集諸兵來伐阿育。二大力士與成護各鎮一門。王頓東門。立大火坑以物覆之。無有煙炎。作機關木人。王騎大木象。遲行示弱。脩私摩率其銳卒。現殺阿育。見諸木人行步劣動。督軍直前墮大火穽被燒而死。二十八萬里皆臣屬之。陸地龍及夜叉悉皆降伏。但有一龍所止之地。廣三百餘里。得佛舍利最初起塔。在羅摩村。有大功德。獨不從化。阿育因募得旃陀羅使。名耆利柯。能行殺戮。即立牢獄以治不從。莊嚴獄門極令華麗。見者愛樂入不得出。時鷄寺比丘誦修多羅。修多羅說地獄事。耆利柯聞之。隨造鑊湯鑪炭刀山劍樹等。有海意比丘。早起著衣持鉢入城乞食。遇入地獄門。耆利柯執之。比丘泣而告之曰。人身難得出家難

遇。我皆已得道法。乞申一月。答曰。我受王命。終不可得。聽至七日。比丘晝夜精勤。并見王子。共內人語。有勅付獄。耆利柯即鐵臼杵碎之。比丘心增怖畏。第七日夜思惟得羅漢果。明日耆利柯。置比丘於鐵鑊中。盛沸屎尿雜穢膿血。以猛火煮之經時不壞。比丘獨坐蓮華。王聞與一切人民共往看之。比丘即以神力身昇虛空。現十八變。王大歡喜曰。汝身同人身。汝力過人力。應令我知之。為汝作神足。答曰。王稱佛語廣作塔廟供養舍利。為法饒益佛滅諸陋。慈悲無比最勝論邪師。我為弟子。佛記轉輪王。取我舍利起八萬四千塔。廣作諸佛事。王先起地獄等殺害甚無數。當除諸罪業施於無畏。王即合掌。向此比丘自說懺悔。即自入地獄出之。耆利柯言。我先奉勅無所蠲除入不得出。王曰。汝欲殺我耶。答曰如此。王問。初立此獄誰最先入。答曰。耆利柯先入。王語獄卒。以耆利柯置作膠舍裏以火燒之。然後毀地獄去也。便於五部僧。以千金銀琉璃甕。盛以香水。種種飲食香華等供養。受八戒竟。手執香爐。而登高殿請四方僧。說言。世尊弟子在四方者。為攝受我故悉應來此。而說偈言。

有諸阿羅漢　當來攝受我　我請阿羅漢　當悉來此處

有三十萬比丘。阿羅漢十萬。學人二十萬。凡夫無數。於上坐一處。無有人坐。王問耶舍言。第一座處何故無人。答言。佛說。弟子中有能師子吼者。名賓頭盧。是第一上座。王聞毛豎。如柯曇婆華又言。有見佛來入涅槃。今在者不。答言。即賓頭盧是也。又問。我於今者得見其人不。答言。其今應來。時王聞已生大歡喜。即說偈讚。合掌仰看空中。目不暫捨。時賓頭盧。與無數阿羅漢隨從圍遶。從空中下坐第一座。闔眾皆起。見賓頭盧。頭鬚皓白額皮眉毛。悉合覆面如緣覺身。五體投地禮賓頭盧。舌舐其足啼泣說偈。讚歎賓頭盧。以兩手舉眉毛歎阿育曰。我數見如來因歎佛德。阿育復問。何處見佛。答曰。佛與五百阿羅漢。俱詣於王舍城安居。我時在眾中。又於舍衛國。為勝外道故現種種神力。又於三十三天上安居。為母說法竟下。復往於阿僧柯奢國。又於修摩陀伽孤獨女。請佛及五百阿羅漢。佛以神力至分陀跋陀國。我以神力舉山。從虛空中亦至彼國。時如來戒勅云。汝不得涅槃。主我法住。阿育復問。賓頭盧大德。幾人隨從。偈答曰。

六萬阿羅漢　悉盡煩惱毒　大王何忽疑　速施眾僧食

眾僧若食竟。當更共語王。答爾。種種欲去。皆以供養。時王語比丘。名一切支。我當施僧十萬金及千銀瑠璃甕。於大眾中說我名供養。阿育王子名鳩那羅。往父邊。畏其父故不敢發言。舉二指示唱道。爾比丘表其修福倍其父相。眾作大笑。王見眾笑。語大臣成護云。汝所作非是故人笑。成護答言。多人欲作福。必欲一倍。阿育答言。我當以三十萬金供養眾僧。以三千甕盛以香水。王又云。大德我今作七寶庫藏。一切大

地官人大臣。并以我身及鳩那羅。悉以施僧(出阿育王經第一卷)。

經律異相卷第二十四

經律異相卷第二十五(行菩薩道上諸國王部第二)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 虔闍尼婆梨王為聞一偈剜身以然一千燈一
- 毘楞竭梨王為請一偈以釘釘身二
- 大光明王捨頭施婆羅門三
- 尸毘王割肉代鴿四
- 慧燈王好施捨身血肉五
- 大力王好施不悋肌體六
- 慈力王刺血施五夜叉七
- 須陀須摩王為鹿足王所負聽還布施事畢獲免八
- 薩惒檀王以身施婆羅門作奴九
- 衢樓婆王為聞一偈捨所愛妻子十
- 善宿王好施令鬼王移信十一

虔闍尼婆梨王為聞一偈剜身以然千燈一

昔有閻浮提王。名虔闍尼婆梨。典領八萬四千聚落。慈悲一切穀米豐賤。各得安樂而未盡我心。當求妙法以相利益。宣令一切誰有妙法。為我說者隨所欲得。有婆羅門。名勞度差。云我有法。王迎而禮之白言。願大師闡法令聞。勞度差曰。大王。今日能於身上剜然千燈用供養者。乃相為說。王宣命閻浮提內。却後七日剜身然燈。人民懷愁來詣王所。有命依王如嬰兒依母。王若崩背何所親怙。云何為此一婆羅門棄於一切。汝等慎勿却我無上道心。吾為是事誓求作佛。後成佛時必先度汝。眾人啼哭投地懊惱。即便剜身布諸脂炷。白大師言。哀矜說法。然後然燈。我脫命斷不及聞之。勞度差言。

常者皆盡　高者亦墮　合會有離　生者有死

王歡喜無量。便命然燈。所求之法為成佛道。當以慧明照悟眾人。發此誓時天地大動。上至淨居皆亦震搖。見此大士不顧軀命。僉然俱下側塞虛空。啼哭流淚猶如盛雨。天帝言曰。痛惱如此心不悔耶。答曰不悔。因立誓言。若我始終心不悔者。願皆平復應念平復。時王者即佛身是(出賢愚經第一卷)。

毘楞竭梨王為請一偈以釘釘身二

昔於閻浮提。有大國王。名毘楞竭梨。心好妙法。有婆羅門。名勞度差。詣宮門言。我能說法。若能以千釘釘身者。我乃為說。王言。我於生死中殺身無數。或為三毒計集白骨高於須彌流血逾於五湖哭淚多於滄

海。唐捐身命未曾為法。今椓釘求道。後成佛時。以智慧劍除汝等結。慎勿遮我無上道心。大眾默然。時勞度差便自說偈。

一切所無常　生者所有苦　諸法空無生　實非我所有

即釘釘身。因發願言曰。若我永不悔者。平復如故。身即如本(出賢愚經第一卷)。

大光明王捨頭施婆羅門三

過去有國。名波羅奈。王名曰大光明。心慈一切不逆人意。有一小王常懷惡逆。大王於月齋日。以五百大象載珍寶衣食。著大市中及四城門外。布施一切。時敵國怨家聞。王布施恣前人意。心生嫉妬。即集諸臣。誰能乞大光明王頭。賞金千斤。有一婆羅門言我能。王即資給。婆羅門往到界上。其地六種震動。禽獸四散日月無精星宿失度。赤黑白虹晝夜常現流星崩落。於其國中諸泉浴池而皆枯乾。婆羅門往到城門。時守門神語守門者言。此人大惡。從遠方來欲乞大王頭。汝莫聽入。時婆羅門停滯一七日不能得前。語守門者。我從遠來欲見大王。時守門者即入白王。王聞即出奉迎。如子見父前為作禮問所從來。冒涉塗路得無疲倦。婆羅門言。我在他方聞。王布施不逆人意。名聲遠聞上徹蒼天下徹黃泉。故從遠來欲有所得。王言。我一切施有所求索莫自疑難。婆羅門言。審實爾不。我不用餘物。今欲大祀。從王乞頭。王自思惟。從無始來未曾為法。空受生死勞我精神。今有此身欲求菩提誓及眾生。今不與者違我本心。何緣當得成無上菩提。王言大善。須我撿挍委付國位夫人太子。過於七日當相給與。爾時大王。即入宮中報諸夫人言。有婆羅門。欲乞我頭我已許之。夫人太子聞是語已。身投於地舉聲大哭自拔頭髮裂壞衣裳。而作是言。大王天下所重莫若己身。云何今日持用施人。時五百大臣語婆羅門言。汝用是臭爛膿血頭為。婆羅門言。我自乞匄用問我為。大臣言。卿入我國我應問卿卿應答我。時婆羅門。正欲實答心懷恐懼畏斷其命。時大臣言。我等今者施汝無畏以大王故。貪婆羅門何用是頭為。我等五百。人人作一七寶頭。共相貿易并與所須。婆羅門言。吾不用也。時諸大臣不果所願。舉聲悲哭上白大王。何忍捨國夫人太子。為一婆羅門永棄孤背。王言。今為一切故捨此身。時第一大臣聞王語定。即自思惟。我今云何當見大王捨此身命。即入靜室以刀自害。爾時大王。便入後園喚婆羅門來。汝從我乞頭。我愍汝故不逆汝意。令我來世得智慧頭施於汝等。作是語已即起合掌。向十方佛作禮而言。十方諸佛諸尊菩薩威神護助令我此事必得成辦。語婆羅門隨汝持去。時婆羅門言。王有力士之力臨時苦痛脫能變悔或反害我。王審能爾者何不以頭髮自繫樹枝。王聞是語心生慈愍。此婆羅門老而且羸若當不能斷我頭者而失大利。即隨其言以髮縛樹。語婆羅門。汝斷我頭還著我手中。我當以手授與於汝。時婆羅門捉刀而前。爾時樹神即以手搏婆羅門悶絕倒地。爾時大光明王語樹神言。汝不助我反起留難。樹神聞是心生苦痛。

即唱苦哉。於虛空中無雲雨血。天地大動日無精光。時婆羅門尋斷王頭持還本國。爾時五百太子及諸群臣。收大王所餘身骨起塔供養。佛告阿難。爾時第一大臣聞大光明王以頭布施。心不堪忍尋自捨命者今舍利弗是。爾時大光明王者釋迦是(出大方便佛報恩經第四卷)。

尸毘王割肉代鴿四

王大精進。視一切眾生如母愛子。世中無佛。釋提桓因命欲終時心自念言。何處有一切智人。處處問難不能斷疑愁憂而坐。巧變化師名毘首羯摩天。問曰。天主。何以愁憂。答曰。我求一切智人不可得是故愁憂。毘首羯摩曰。有菩薩布施持戒禪定智慧不久當得作佛。帝釋問誰。答曰。是優尸那種尸毘王。釋提桓因語毘首羯摩。今當試之言。毘首羯摩變身作一赤眼赤足鴿。釋提桓因變身作鷹。急飛逐鴿直來入腋下。舉身戰怖動眼促聲。是時眾多人相與而語。是王慈仁一切宜保護。如鴿小鳥歸之如人入舍。爾時鷹在近樹上。語尸毘王。還與我鴿此我所受。王時語鷹。我前受此非是汝受。我初發意時受一切眾生皆欲度之。鷹言。王欲度一切眾生。我非一切耶。何以獨不見愍而奪我食。王答言。汝須何食。我作誓願其有眾生來歸我者必救護之。汝須何食亦當相給。鷹言。我須新殺熱肉。王心念言。如此難得自非殺生無由得也。我當云何殺一與一。思惟既定曰。

是我此身肉　恒屬老病死　不久當臭爛　須者我當與

如是思惟已。呼人持刀自割股肉與鷹。鷹語王言。王雖以熱肉與我。當用道理令肉輕重得與鴿等。王言。持秤來以肉對鴿。割王肉盡與鴿始等。心自責言。汝當自堅勿得迷悶。一切眾生墮大苦海誓欲渡之。何以怠悶此苦甚少地獄苦多。我有智慧精進持戒禪定猶患此苦。何況地獄中人無智慧者。心定時天地六種震動。大海波揚枯樹生華。天降香雨及散名華。天女歌讚必得成佛。帝釋語王。汝割肉辛苦心不惱沒耶。王言。我心歡喜不惱不沒。帝釋言。誰當信汝。時王誓言。若我割肉血流不瞋不惱一心不悶以求佛者。願令我身即當平復。即時如本(出大智論第四卷)。

慧燈王好施捨身血肉五

舍衛國有別住處。地甚平博。時佛往坐。梵天帝釋及四天王。諸人間王瓶沙王等。各白佛言。欲為世尊安處高座。佛言。且止我自知時。時諸居士有信外道者。各安價直百千之座。復有信樂供養佛者。從月初日至十五日。摩竭瓶沙諸王更設供養。諸座中央自然而有七寶師子座。如來坐之。時皆就坐。時有檀越。次爾日設供授佛楊枝。世尊嚼已棄著背後。即成大樹根莖枝葉扶疎茂盛。時諸大眾覩佛神力歡喜讚嘆得未曾有。時佛世尊。以無數方便種種說法令得歡喜。是時座上無數百千人遠塵離垢得法眼淨。如是現於神變至十五日種種不同。大眾見佛神力變化

皆大歡喜。佛為說法得法眼淨。時摩竭王瓶沙王。次十五日飯佛及僧并波羅殊提王。憂陀延王梵施王。波斯匿王末利夫人。長者梨師達多富羅那一切大眾。皆設供養食既滿足捨鉢行水。瓶沙王更取卑床於佛前坐。於時世尊。壞加趺坐曳脚橙上。時地六反十八種震動。時佛足下相輪輪有千輻輪郭成就輻輪相具足。光明晃耀照三千土。時摩竭王。見即從坐起偏露右肩右膝著地白言。世尊。往昔作何福得此相好。佛告瓶沙。過去世時閻浮提地。有王名利眾生。時國豐饒人民熾盛。領八萬四千城五十五億聚落。王所住城名曰慧光。王第一夫人字曰慧事。初無兒息。為求繼嗣禮事諸天山河鬼神處處求願。後時懷身。上白王言。我今懷妊。王倍供侍飲食衣服醫藥。後生一男顏貌端正。時兒生日。八萬四千伏藏自然涌出隨物成行。王語其母。名兒為慧燈。後王崩殂。太子年八九歲。其母教學技藝書算騎乘。至年十五。時諸臣啟言。大王崩背次應登位。太子答言。我前世經六年為國王。後墮地獄六萬歲。以是故不能為王。諸臣言。頗有方便得作王不。答言。閻浮提人若男若女能言之類皆行十善者我當為王。時諸臣人聞太子令。即四方唱令。閻浮提人皆行十善不殺生。諸臣具以啟太子。今可登位。太子即自繼登位。諸臣啟王言。王初生時。有八萬四千伏藏自然涌出。今可取入王藏。王言。不須入藏。即勅隨所出處四交道頭。布施沙門及婆羅門貧窮孤老。時諸大臣即奉王勅。隨藏所在。於八萬四千城門四交道頭。以為布施。時天帝釋化作男子自相謂言。王教我行十惡。大臣啟王。有此勅耶。王答。我先勅。閻浮提內能言之類。皆行十善初無是語。即駕寶象往至其所。王問。汝言慧燈教汝行十惡耶。化人答曰實爾。王復問言。汝能行十善不。答曰。若欲成菩薩道者。我當生食其肉生飲其血。然後身行十善。王作是念。我於無始來經歷眾苦。輪轉五道備更屠戮。即取刀自割股肉以器盛血授與之曰。男子汝可食肉飲血。奉行十善。是化男子即沒不現。還現帝釋身而問之曰。布施為一天下為四天下耶。王曰為求無上道度未度耳。帝釋以天甘露灌之瘡即平復利益眾生。爾時父王者今我父王是。第一夫人今我母是。慧燈王者我身是(出四分律第二卷)。

大力王好施不悋肌體六

過去有王。名曰大力。有大善根。盛設施會恣所求欲。須食與食乃至象馬牛羊田地產業皆悉與之。時目連曰。汝是大施。時天帝釋化作婆羅門。往詣王所言。王如是大施。我今須王身分。王自念言。是婆羅門不須財物。今來直欲破我大施。我若不以身分與者。我則自破大會施事。作是念已語婆羅門言。與汝身分截取持去。但以今者多有乞人四方來集。我皆應使悉得滿足。婆羅門言。我今一人尚不充足。何論餘人。王即以刀自割其臂。與婆羅門無有悔恨。一心布施捨一切物臂還平復。帝釋既為障礙因緣。天福即盡墮阿鼻獄。大力國王我身是也。帝釋者調達是也(出菩薩藏經下卷)。

慈力王刺血施五夜叉七

佛在舍衛國。爾時阿難。於中食後林間禪思。如來興世眾生之類皆蒙安樂。又憍陳如等種何善本。法門初開而先得入。以其所念而用白佛。佛告之曰。憍陳如等。過去遠劫此閻浮提。有大國王名彌羅(梁言慈力)有二萬夫人一萬大臣。王具四等未曾懈厭。十善誨民四方欽慕國土安樂。諸疫鬼輩恒噉人血。爾時人民攝身口意敦行十善。惡疫敢侵飢羸困乏。時五夜叉來至王所。我等仰人血氣得全身命。由王教導咸持十善。我等飢渴求活無路。大王慈悲豈不矜愍。王懷哀傷。即自放脈刺身五處。時五夜叉承血而飲欣喜無量。王曰。汝念修十善我今以身血濟汝飢渴。後成佛時當以法身戒定慧血除汝三毒安涅槃處。時慈力王者今我身是。五夜叉者今憍陳如等是。我世世誓願許當先度(出賢愚經第二卷)。

須陀須摩王為鹿足王所負聽還布施事畢獲免八

昔有須陀須摩王。是王精進持戒。常依實語。晨朝乘車將諸婇女入園遊戲。出城門時有一婆羅門來乞。王言諾。敬如來告。須我出還入園澡浴嬉戲。時有兩翅王名曰鹿足。空中飛來於婇女中捉王將去。諸女啼哭號慟一國驚城內外搔擾悲惶。鹿足負王騰空至所住山。置九十九諸王中。須陀須摩王涕零如雨。鹿足語言。大剎利王。汝何以啼猶如小兒。人生有死合會有離。須陀須摩王答言。我不畏死自恨失信。我從生以來初不妄語。今日晨朝出門時。有婆羅門來從我乞。我時許言還當布施。不慮無常孤負彼心。自招欺罪是故啼耳。鹿足王曰。汝畏妄語。聽汝還去。七日布施婆羅門訖便即來還。若過七日不還我有翅力取汝不難。須陀須摩王。得還本國恣意布施。立太子為王。大會人民懺謝之言。我智不周物治不如法當見忠恕。如我今日身非己有正爾還去。舉國人民及諸親戚叩頭留之。願王留意茲蔭此國勿以鹿足鬼王為慮也。當設鐵舍奇兵。鹿足雖神不畏之也。王言。不得爾也。而說偈言。

實語第一戒　實語昇天梯　實語小人大　妄語入地獄　我今守實語
寧棄身壽命　心無有悔恨

如是思惟已。王即發去到鹿足王所。鹿足遙見歡喜而言。汝是實語人不失信要。然一切人皆惜命。從死得脫還來赴信汝是大人。爾時須陀須摩王讚實語。實語是為人。非實語非人。如是種種讚實語呵妄語。鹿足聞之信心清淨。語須陀須摩王言。今相放捨九十九王亦還本國。是為尸羅波羅蜜滿(出大智論第四卷)。

薩怛檀王以身施婆羅門作奴九

昔有國王。號薩怛檀(梁言一切施)有所求索不逆人意。其王名字流聞八方。文殊師利欲往試之。化作年少婆羅門從異國來詣王宮門。王甚歡喜。即出奉迎問訊道人所從何來耶。婆羅門言。聞王功德故來相見今欲乞匄。王言大善。所欲得者莫自疑難。婆羅門言。欲得王身與我作奴。及王夫

人為我作婢。王甚喜悅。報言大善。今我身者定自可得。願屬道人供給使令。其夫人者大國王女。當往問之。時王即入語夫人言。是時夫人即隨王出。自白道人言。願得以身供給道人。婆羅門言。汝當隨我。皆悉蹔跣不得著履。如奴婢之法。皆言唯諾從大家教。便將奴婢涉道而去。以化作人代其王處及夫人身。領理國事令其如故。其夫人者長處深宮不更勤苦。又復重身懷妊數月。步隨大家舉身皆痛脚底傷破。不能復前疲極在後。時婆羅門還顧罵言。汝今作婢當如婢法。不可作汝本時之態。夫人長跪白言不敢懈慢。但小疲極住止息耳。喚言疾來。促隨我後前到國市。別賣奴婢各與一主。相去數里。時有長者買得此奴使守斯舍。諸有埋死人者令收其稅不得妄稅。是時婢者所屬大家。夫人甚妬晨夜令作初不懈息。其後數月。時婢孕身所生男兒。夫人恚言。汝為婢使那得此兒。捉取殺之。隨大家教即殺其兒。持行埋之。往到奴所得共相見。不說勤苦各無怨心。如是語言。須臾之頃恍惚如夢。還在本國正殿上坐如前不異。及諸群臣後宮婇女皆悉如故。所生太子亦自然活。王及夫人心內自疑何緣致爾。文殊師利。在虛空中坐寶蓮華現身色相讚言。善哉。今汝布施至誠如是。王與夫人踊躍歡喜。即前作禮。文殊師利為說經法。三千剎土悉為震動。覆一國人皆發無上正真道意。王與夫人應時俱得不起法忍。佛告阿難。是時王者則我身是也。時夫人者今瞿夷是。時太子者今羅云是也(出薩怛檀王經)。

衢樓婆王為聞一偈捨所愛妻子十

昔閻浮提有大國王。名衢樓婆。領八萬四千小國。覆育人物。心自念言。我但以財貨資給一切。終無道教此實我咎。宣令國內誰能有法為我說者資其所須。毘沙門王化為夜叉來詣宮門。誰欲聞法我當為說。王躬出迎作禮。初集群僚請聞正法。夜叉告言。學法事難。須王所愛妻子。與我食之。王即命夫人太子與夜叉食。群臣皆哭。王意不迴。夜叉食盡。即說偈言。

一切行無常　生者皆有苦　五陰空無相　無有我我所

王心喜無悔班示天人咸使誦持。毘沙門王還復本形。夫人太子端然如故。歎王奇特。佛言。時國王者今我身是(出賢愚經第一卷)。

善宿王好施令鬼王移信十一

昔有噉人鬼。作人中王。恒食人肉以為厨宰。隣國征伐得九十九王。九十九王白羅剎王曰。隣國有王。名曰善宿。好行施惠修菩薩德有所求索不逆人意。大王設能擒獲彼者我等甘心受死無恨。爾時羅剎王即起鬼兵。往伺其便。正值善宿遊在外園觀於浴池。有一梵志辭家外學。夫梵志之法臨辭去時。白父母言。我今離家追伴學問。計還之日且未有期。設財貨窮乏從王舉貸。我還當償。其人學問以得成就。來至家中但見空

屋不見人眾。即問比隣。我今世父母兄弟姊姝竟為所在。比隣報曰。汝學之後舉王財賄無以當償。為王所繫今在牢獄。其人自念。家窮事狹無有財寶。設我詣獄親覲父母復當拘執。同受其苦不免王法。宜今在外改形易服竊行求索。畢償官物乃得出耳。其人復念。隣國有王。號曰善宿。修行道德施心不絕。當往至彼至誠告請。必不見違足償王物。尋往至彼隨王乞索。王言大佳。當相供給。須吾沐浴訖。當相惠施。小停勿憂不負言信。王詣浴池為鬼兵所擒。王尋還顧悲感涕零。鬼王問曰。我等聞王仁和博愛靡不周濟。雖遭厄困何為悲感。王報鬼曰。我生惠施未曾有悔。向有梵志在外乞索。許而未與。是以憂感耳。鬼王白王。王守誠信由來不改。如今放王施訖時還乃知王心。王得還宮。開藏惠施恣彼人意。尋還就信詣鬼王所。鬼王告曰。汝不畏吾乎。何為受死而來。善宿偈答。

作福不作惡　皆由宿行法　終不畏死徑　如船截流渡

鬼王聞之內懷慚愧。改心易行思修善本。即告善宿王曰。今聞所說人中難有。今放九十九王。我捨此位。願王攝領以法治化我領鬼眾還歸窠窟。若俱律者自當數覲。即共離別各還所在。萬民稱慶國界清泰。共行十善不修惡業。善宿積行不息。後得成佛。於樹王下復說先偈(出出曜經第十六卷)。

經律異相卷第二十五

經律異相卷第二十六(行菩薩道下諸國王部第三)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 惒黑王因母疾悟道大行惠施一
- 二王以袈裟上佛得立不退之地二
- 薩和達王布施讓國後還為王三
- 日難王棄國學道濟三種命四
- 仙豫王護法殺婆羅門五
- 普明王誦般若偈得免班足王害六
- 阿闍貰王從文殊解疑得於信忍七
- 大光明王始發道心八
- 多福王事梵志增福太子奉佛兩師角術九

惒黑王因母疾悟道大行惠施一

昔有國王。名曰惒黑。處在邊境未覩聖化。奉事外道舉國邪信。殺生祭祠王母寢病。求諸醫神經歷年歲。未得除差。更召國內諸婆羅門二百人。而告之曰。吾大夫人病困經久不知何故。諸婆羅門言。星宿倒錯陰陽不調故使爾耳。王曰。作何方宜使得除愈。婆羅門言。當於城外平治淨處。郊祀四山日月星宿。當得百頭畜生種種異類及一小兒殺以祠天。王自躬將母跪拜請命然後乃差。王即奉命。驅人及象馬牛羊百虫之類。隨道悲鳴震動天地。從東門出當就祭壇殺以祠天。佛懷大慈愍王頑愚。即將徒眾往向其國。王遙見佛。如日初出如月盛滿光相炳然。人民見者莫不愛敬。祭餟之具皆願求脫。王為佛作禮叉手長跪問訊說。母病經久良醫神祇無不周遍。今始欲行解謝星宿四山五嶽。為母請命冀蒙得差。佛言。欲得穀食當行耕種。欲得大富當行布施。欲得長壽當行大慈。欲得智慧當行學問。行此四事隨其所種得其果實。祠祀婬亂以邪為正。殺生求生去生道遠。即說偈言。

若人壽百歲　勤事天下神　象馬用祭祀　不如行一慈

佛放光明烈照天地。三塗八難莫不歡喜。王聞法覩光即得道迹。母聞情中悅豫所患消除。二百梵志慚愧悔過皆為沙門(出慈仁法句譬喻經第二卷又出大乘方便經上卷)王於是後愛民若子。五穀豐熟一國無災毒。人壽八萬歲慈護眾生如天帝釋。信敬三寶常行十善率化四鎮一切人民。時有貧者盜他財物。財主得之。王問何以盜。答曰。貧無自活仰違聖法。王悵然曰。民之飢者即我餓之。寒者即我裸之。吾勢能令國無貧者。民之苦樂在我而已。即大赦國內。出藏珍寶布施飢寒。車馬湯藥恣意而取。飛鳥走獸下及蟲魚王施之。後國豐民富相率以道。無十惡之名。鬼神助喜擁護其國。五穀豐登家有餘財。即得五福。一者長壽。二者顏色更好。三者德

動八方。四者無病增力。五者境內安隱心常悅樂(出度無極集經第三卷)。

二王以袈裟上佛得立不退之地二

昔有國王。以袈裟上佛。因發無上平等度意。佛般泥洹自燒其身。袈裟不然。取佛舍利起塔。滅盡袈裟故在。後轉無塔供事。袈裟積有年歲。不復聞佛法。每到齋日。國王大臣無數人民。以香華幡蓋供養袈裟。轉相承續更相法效未曾有廢。後有國王。念言。先王及我敬事此衣。當得何福。為何等衣。莫有知者。佛國人來商販治生。以白王言。我國有王。名悅頭檀。生一聖子字為悉達。出家學道號名曰佛。身有三十二相。正著此衣。王聞歡喜。遣使請佛。商人言。若請佛者但燒香遙禮請之。即燒香熏請佛。願佛明日。勞屈精神。香煙趣佛繞佛七匝。即於虛空化成華蓋。時佛乃笑。口氣光炎照無數剎。上昇虛空與香共合。合成花蓋俱還入頂。阿難白佛。而此香烟從何方來。佛具告阿難。應時三千大千國土為大震動。彼國城門皆悉為金。箜篌樂器不鼓自鳴。婦女珠環皆悉作聲。百歲枯木更生。王大恐怖呼問人言。此何災怪。使我國動。商人白王。世尊所至之處先現善相。皆王功德之所致。王即踊躍。宣語臣民。燒香迎佛。王心願言。令我得如世尊侍者羅漢。王以袈裟奉上世尊。佛不能勝。下沒地中乃至下方無數佛剎。懸止空中。下剎菩薩白彼佛言。是袈裟從何所來。亦不墮地。佛言。須臾自當有應。釋迦文佛。教目連舍利弗等五百弟子行取袈裟。各盡神足都不能致。佛告文殊往取復不能勝。佛言。此袈裟。前世人持上先佛。發大道意。更無數世。復還屬王。今復上我。中欲取證。願為聲聞。是以袈裟故不可勝。所以者何。前意尊重則袈裟輕。後志於小故袈裟重。王聞佛教即自懺悔。我為國王。不欲令國內人願處我位。若有此意。我謂之逆。佛為世尊。是故不敢願求佛果。王及臣民皆發無上平等度意。袈裟自然於地踊出。王舉袈裟。擎以上佛。願為十方一切蠕動。受此袈裟。便為說經。王及群臣皆立不退轉地(出折伏羅漢經)。

薩和達王布施讓國後還為王三

過去劫時有大國王號薩和達(梁言一切施)施諸沙門及一切人不逆其意。異國婆羅門子少喪其父。獨與母姊弟居家甚貧苦。其母曰。今窮無自供。可往詣薩和達王乞匄。兒報母言。我今未有所知。先當學問然後乃行。母不許。兒先假貸索一兩金。可備一歲之糧。乃出家行學一歲來歸。母見逆問。汝詣薩和達王。兒復報母言。所學未通當復更學。母言。前金已盡。即復往至前所貸家。貸一兩金。金主語兒。汝前取金既未還我。若復欲索。卿母及姊皆將上券爾乃可得。若至時不畢以為奴婢。便作券取歸以付其母。復捨家學。復經一年。所知粗備欲歸。詣薩和達王。道中為債主所牽。及母姊弟將歸鎖繫。婆羅門子語債主言。卿今繫我終年無益。不如放我往詣薩和達王。乞匄得物相償。其主令去。時異國興兵。取薩和達王。王聞自念。人命短促會歸無常。我少好布施。慈忍無傷不

欲復與彼國共相拒逆。所以者何。但不須為備。亦勿恐怖。但且嚴出迎逆作禮恭敬承事。受其勅令使踰於我。諸臣白王。他國入界云何不備。王默然不應。如是至三。王言。不須拒逆。如我前言。諸臣奉旨。王言大善。各自安家慎莫勞擾。其王夜半即脫印綬默亡而去。彼王入國即領王位。便募索薩和達。其賞甚重。王出國行五百餘里遙見一婆羅門子。二人相逢。王問。卿今欲何所至。答曰。欲詣薩和達。我少小失父。居家甚貧窮。以母及姊弟。持行質債。欲乞匄贖之。并得自濟。王言。我是薩和達。有他國王欲得我國。不欲傷害是以避之。婆羅門子躃地大泣。不能自勝。王便諫曉使起不須復啼。所求索者今當相與。婆羅門子言。王今失國。當持何等以相濟乞。王便報言。彼國王來見募甚重。卿今可截我頭持往與之。在所求索皆可得也。於是婆羅門子即說偈言。

世間殺父母　命盡墮泥犁　今若加害王　其罪等無異　我今實不忍
加惡於大王　寧今身命盡　終不造逆意

薩和達王。復語婆羅門子言。卿若不欲取我頭者。便可截我鼻耳送之。不復中王故也。婆羅門子言。亦所不忍。王曰。縛送亦可。婆羅門子曰。能知彼王無所危害。於是王與婆羅門子相將共還。臨至國二十餘里。王言。卿可縛我。婆羅門子乃縛王。一國人民男女大小莫不啼哭崩絕。劇喪父母前詣宮門。諸臣即入。白彼王曰。前募薩和達者已為婆羅門子所縛送。今在宮門。彼王即言。便促現之。一切臣民見薩和達王。無不僻地而啼泣者。彼劫人王亦復淚出。而問諸臣。汝輩何以皆啼。諸臣白言。我等見薩和達王。棄國與王。復持身施與婆羅門子。所作不悔是故啼耳。彼劫人王聞諸臣民各各說是。即便躃地而大啼泣不能自勝。即問婆羅門子。汝本那得是王。婆羅門子答王言。我實貧窮。以母姊弟行用質債。聞此薩和達王大好布施故。從遠來欲乞匄還贖母姊弟得自濟活。於道中逢之共相問勞。薩和達王而語我言。我今棄國以與他王。無以相乞。我時愁憂酷毒無賴。時薩和達王。便教我截取其頭送來與王。我時不敢。復令我截取鼻耳送之。我復不肯。遂相將還令縛送之。所問本末其實如此。於彼劫人王。聞婆羅門子所說。即復躃地涕淚。如言。告勅諸臣。促解王縛洗浴衣被著其印綬還立為王。即上坐領國如故。於是彼王即長跪叉手讚嘆。而說偈言。

自在本國時　遙聞大王德　今來至於此　見尊踰所聞　巍巍積功德
譬若純金山　其力堅如是　無能動搖者　今見王所行　於世甚無雙
願以國相還　并奉所居界　願歸得本土　修敬為臣禮　不復敢憍慢
事王如尊天

佛言。時王薩和達者我身是也。彼國王者舍利弗是也。婆羅門子調達是也。成我六波羅蜜。三十二相十種力滿諸功德。皆是調達恩。調達是我善知識。亦為善師(出佛說一切施主所行六度檀波羅蜜經)。

日難王棄國學道濟三種命四

昔摩天羅國。有王名日難。學通神明靡幽不覩。覺世非常曰。吾身當朽為世糞壤。何國之可保。捐榮棄樂服上法服。一鉢食為足。稟沙門戒山林為居積三十年。樹邊有坑深三十丈。時有獵者馳騁尋鹿墮于坑中時有一烏一蛇。俱時驚殞體皆毀傷。仰天悲號有孤窮之音。道士愴然火照見之。涕泗交頸。臨坑告曰。汝等無憂吾將拔汝。即下長繩或銜或持。遂獲全命。俱時謝曰。吾等蒙道士仁惠無量。得覩天日。願終斯身給眾所乏。道士曰。吾為國王。國大民多宮寶婇女諸國為上。願即響應何求不得。吾以國為怨六塵為六劍。常截吾身。六箭射吾體。因此六邪。轉受三塗。酷烈難忍吾甚厭之。故捐國為沙門。願獲佛道開化群生令還本元。豈但汝等三命而已乎。各還舊居見汝所親。令受三自歸無違佛教。獵者曰。我處世有年嘗覩善人。無有若佛弟子者。恕己濟眾隱不揚名。若道士有乏願至吾家乞微供養。烏曰。吾名鉢。道士有難願呼吾名。吾當馳詣。蛇曰。吾名長。若道士有患。願呼吾名必來報恩。辭畢各退。他日道士之獵者舍。獵者遙見其來。告妻曰。彼不祥之人來。吾勅汝。為饌徐設之。彼過日中不食。妻覩道士。覲而作色詭留設食虛談過中。道士退而還山。覩烏呼名曰鉢。烏問曰。自何來耶。答曰獵者所來。烏曰已食乎。曰彼設未辦日已過中不待而退。烏曰。凶咎之物難以慈濟。違仁背恩凶逆之人。吾無食飲以相供養。且留心坐。吾須臾飛往般遮國。覩王夫人臥首飾之中有明月珠。烏銜而還以奉道士。夫人寐寤求之不獲。即以上聞。王勅臣民。有得之者。賞金銀各千斤牛馬各千首。得不貢上罪及滅宗。道士以惠獵者。獵者縛考白王。曰。汝何從得。道士深惟。若言其主必一國烏死。此非佛弟子。默然受考杖楚千數。初不怨王亦不讐彼。如慈誓曰。令吾得佛度眾苦矣。王埋道士唯出其頭明日戮之。道士乃呼蛇曰長。蛇曰天下無知我名者。唯有道士耳。揚聲相呼必有以也。疾邁見道士。問曰。何由致此。道士乃說厥所由然。蛇流淚曰。道士仁慈天地之間尚與禍會。豈況無道誰將祐之乎。我將入宮咋殺太子。蛇以神藥與道士傅之即瘳。蛇夜入宮咋太子即絕。停屍三日令曰。有能活太子者。分國而治。載之山間歷道士邊過。道士曰。吾能活之。王聞心喜。道士以藥傅太子身。忽然語曰。吾那在斯。從者具陳所以。太子還宮巨細喜舞分國惠之。道士一無所受。王悟曰。分國不受豈當盜哉。問何從獲珠。行高乃爾忽離斯患。道士具陳本末。王涕淚流面。告獵者曰。汝有勳於國。悉呼九親來。吾欲重賜之。親無巨細皆詣宮門。王曰。不仁背恩惡之元首盡殺之矣。道士入山學道精進不倦。終生天上。時道士者我身是也。烏者秋露子是。蛇者阿難是。獵者調達是。妻者懷栘女子。是也(出摩國王經)。

仙豫王護法殺婆羅門五

昔閻浮提有大國王。名曰仙豫。愛重大乘其心純善。無有麁惡嫉妒慳恪。口常宣說愛語善語。身常攝護貧窮孤獨。布施精進無有休廢。時世

無佛聲聞緣覺。時王愛樂大乘方等經典。十二年中事婆羅門。供給所須過十二年。施安已訖。即作是言。師等今應發三菩提心。婆羅門言。大王。菩提之性是無所有。大乘經典亦復如是。大王。云何乃欲令人同於虛空。王聞婆羅門誹謗方等。即斷其命。以是因緣不墮地獄。擁護攝持大乘經典。有如是力(出大涅槃經第十一卷)。

普明王誦般若偈得免班足王害六

昔天羅國王有一太子。欲登王位。一名班足。受外道羅陀師教。應取千王頭以祭冢神然後登王位。已得九百九十九王。所少一王。即北行萬里得普明王。普明白班足言。願聽我一日飯食沙門頂禮三寶。班足許之。普明即依過去七佛法。一日二時講般若波羅蜜八千偈竟。第一法師為王說偈。

劫燒終訖　乾坤洞然　須彌巨海　都為灰煬　天龍福盡　於中凋喪
二儀尚殞　國有何常　生老病死　輪轉無際　事與願違　憂悲為害
欲深禍重　瘡疣無外　三界皆苦　國有何賴　有本自無　因緣成諸
盛者必衰　實者必虛　眾生蠢蠢　都如幻居　聲響俱空　國土亦如
識神無形　假乘四蛇　無眼保養　以為樂車　形無常主　神無常家
形神尚離　豈有國耶

時普明王。與其眷屬得法眼空。王自證虛空等定聞法悟解。還至天羅國班足王所。告九百九十九王言。就命時到人人皆應誦過去七佛仁王般若波羅蜜偈。班足問。誦何法。普明王即以上偈答王。王聞是法得空三昧。九百九十九王亦聞法已。皆證三空門定。時班足王極大歡喜。告諸王言。我為外道邪師所誤。非君等過。皆還本國。各各請法師。講般若波羅蜜名味句眾。時班足王以國付弟。出家為道證無生法忍。如十王地中說(出仁王般若經)。

阿闍世王從文殊解疑得於信忍七

阿闍世王白文殊師利言(普首童真經出白普首童真)唯願加恩明且屈德就我宮食。答言以足可為供養。又佛法非以衣食故。王曰。當何以施之。答言。若深入微妙其事審諦。無所染污亦無所著。亦無所疑。亦無所畏難。又念諸法亦不念有無不念去來現在竟。又不當念一切可見者皆得加哀。王曰。如所言悉法之所載無有異也。唯以身故當加哀受請。文殊言。且止。其道者非以是之故。若飲若食。若王不念有吾我壽命人。以念是者以得加哀(如此往反甚長文多不載)王大歡喜問。有幾人。舍利弗言。五百人。可悉令於宮食。還城勅辦百味之食治其殿上。施諸幢幡帷帳華蓋。以華布地悉以香薰。設五百高床。宮城市里皆悉掃除。布以華香人民奉迎。文殊如申臂頃便到東方。過八萬二千佛土。佛號常名聞。其佛字惟淨首。今現在世。有眾菩薩更無異道。其剎常轉阿惟越致法輪。其

土常出三寶之聲。文殊白佛。願盡令諸。菩薩到沙呵剎土。至阿闍世所食。佛言。欲行者行(出阿闍世王經上卷)王聞。文殊師利且到從菩薩二萬二千五百人。其比丘者五百人(普首童真經云二萬二千菩薩及諸聲聞)王自念。吾正作五百人具云何供當。應時天王名曰休息心。與尊閱叉名曰金毘。俱來與王相見曰。勿恐勿懅勿以為難。曰云何不難。報言。文殊者作漚惒拘舍羅無極智慧。以功德光明具足而來。能以一飯與文殊等。若有三千大千一切人。索飯食者悉能飽之其食不盡。是二萬三千人何足為憂。文殊者其功德甚尊。而不可盡。王歡喜踊躍。將其伎樂自出奉迎俱時入宮。有一菩薩。名曰普視悉見。文殊勅三摩陀阿樓陀者。令嚴治其處可容來者。菩薩受教。四面視占則時悉辦。復有菩薩。名曰法來則得。勅令具床。於彈指頃有二萬三千床座種種莊嚴。菩薩聲聞皆悉就坐。王白文殊。所作供具甚少。願忍須臾今更辦具。答言。所作已足勿復勞意。天王毘沙門。與家室僕從悉來而謁。皆恭事左右。釋提桓因。自與大夫人。名曰首耶。及與天女。皆持名香供養。散文殊及諸菩薩比丘僧上。諸菩薩等不以華香之所轉動。梵天。自化作年少婆羅門。姝美端正。住文殊之右侍而扇之。諸梵天子。悉扇諸菩薩比丘。阿耨達龍王。在虛空中而無見者。把持貫珠垂下若幡。八味香水從貫流降。人人之前皆有垂珠。水從中出悉給所須。王念會者而不持鉢當何器食。時文殊言。菩薩者不齎鉢行。而所食處鉢自來手中。諸菩薩念鉢。鉢自飛來行伍而到。阿耨達王。皆自淨洗盛滿其水。諸龍婇女。皆擎持二萬三千鉢。授諸菩薩人人手中。文殊謂王。可分布飯食遍而不減故。文殊言。今為盡不。答言不盡。所以未盡者以有疑故。諸菩薩飯竟。擲鉢虛空行列而住。亦不墮地亦不轉搖。王復問。鉢云何住依何等。文殊言。是鉢所住如王疑所住王復言。是鉢亦無所住處。亦不在地。亦無所。依亦無處所。文殊言。如王狐疑亦無所住。諸法如鉢無所住亦無所墮。飯事既訖。王取一床座。白文殊言。願解我疑。答曰。若恒沙等佛不能為王說是狐疑。王時驚怖。從床而墮若大樹蹙。摩訶迦葉謂王言。勿恐勿懼。所以者何。文殊入甚深漚惒拘舍羅。徐徐而問。王言。恒邊沙等佛不能說我之所疑。文殊言。仁者謂從心因緣而可見。王曰。不用心生故可見佛。不生死與脫持是二事作佛。吾之狐疑恒邊沙等佛所不能說。所以者何。若人言。能以塵污虛空乃能為不。若有人言。能却虛空之垢定能却不。王言不能。文殊言。佛知諸法皆若虛空。所以者何。脫於本故。亦不見諸法有本。若有說者王之狐疑非恒邊沙等佛之所能說。時王即得信忍。歡喜踊躍言。善哉善哉。解我狐疑。文殊曰。是為大疑屬所說法諸無有本何從得疑。王言。蒙此大恩而得小差。今我命盡不憂不至泥洹。文殊言。而王之所希望者是無有本。所以者何。諸法本泥洹故無所生。王則從坐起。取名氈價直億百千撓繞文殊身。文殊身不現。氈處於虛空中。但聞言說不見其形聞說如見。王自見疑以見諸法如所見。空中有聲謂王所見。便以氈而與之。次坐菩薩名得上願。王復持是氈欲奉上之。得上願言。求脫泥洹者。我不從是有所受。亦不受凡人所有。何以故。凡人者。謂有俗間事故而不受。亦不從求羅漢辟支佛者。有所受與者。無二心受者。亦無二心。故曰所受過於脫。王即以衣欲著菩薩上。忽然不現

不復知處。但聞其音不見其形。說言。其所現身以衣與之。如是次第一一以衣與之皆悉不現。乃至床机坐處悉亦不現。但聞其音。言其所現者以衣與之。乃至五百聲聞皆亦不受。王熟思念。諸菩薩比丘僧悉亡。當以我衣與誰。自與中宮極大夫人。夫人時亦不現。王便以得三昧。不見諸色。亦不見女人。亦不見男子。乃至垣牆樹木室宅城郭。尚有餘念謂。有我身諸色識。悉止。復聞其音。如一切有所見當自見疑。如所見疑見一切諸法亦復如是。便取其衣還欲自著。不見其身心(說此忘相文多不載)文殊言。曾聞佛說作逆罪者當入大泥犁不。王言聞。汝自知當入泥犁不。王曰。得佛有法上生天入泥犁者不。有法安隱當至泥洹者不。文殊言無王曰。我知諸法空。所以者何。泥犁上天安隱亦復皆空。諸法無可壞敗。是故入法身。法身者亦無天上人間泥犁禽獸薜荔等。世王諸逆以淨已得是忍。王言。一切諸法悉淨無所沾污。說是語時疾得信忍(出阿闍世王經下卷又出普超三昧第二第三卷)。

大光明王始發道心八

阿難知眾所念。前白佛言世尊。從何因緣初發道心。佛言。過去遠劫。此閻浮提有一大王。名大光明。福德聰明。時邊國王與為親厚。更相贈遺國之所珍。時彼國王獵得二象。白如頗梨七支拄地。莊以雜寶極世之珍。遣人往送。時光明王見象心悅。付象師散閣。散閣奉勅。不久調從。往白王言。象今已調。願王觀試。王會臣下令觀試象。大眾既集。王初升象出城遊戲。象氣猛壯。見有群象在蓮華池。奔逐牸象遂至深林。時王身破出血。自惟必死。手搏樹枝象去王住。下樹坐地生大苦惱。象師叩頭白言。願王莫憂苦。象淫心息厭穢。草思美飲食如是自還。王即告曰。吾不復用。象後果還。象師白王。象今還來。王言。我不須汝亦不須象。散閣啟王。王若不須。唯願觀我調象之方。王即可之。尋使師作七鐵丸燒令極赤。作已念言。象吞此丸決定當死。王後或悔白言。大王。此白象寶唯轉輪王乃得之耳。今有小過不應喪失。王怒隆盛告言。遠去。象師告象。吞此鐵丸。若不吞者當以鐵鉤斷裂汝腦。象知其心。我寧吞此熱丸而死。屈膝向王垂淚望救。王怒徐視散閣告象何不吞丸。時象取丸置口吞之。入腹燋爛直過而死。丸墮地猶赤。王見乃悔。即告散閣。汝調象乃爾。何故在林不能制之。時淨居天知光明王應發菩提心。即令象師跪答王言。我唯能調身不能調心。唯有佛能調心耳。王言。佛者何種。姓生。答二種姓生。一者智慧。二者大悲。勤行六事。所謂六波羅蜜。功德智慧悉具足已。號之為佛。王聞踊躍。即起洗浴更著新衣四向作禮。於一切眾生起大悲心燒香立誓。願我所有功德迴向佛道。自調其心亦當調伏一切眾生。若於地獄有所益者當入是獄。終不捨於菩提之心。作是誓已。六種震動。諸山大海虛空之中自然樂聲。佛告諸比丘。爾時白象吞鐵丸者難陀是也。時象師者舍利弗是也。光明王者我身是也。我於爾時見象調從始發道心(出賢愚經第三卷)。

多福王事梵志增福太子奉佛兩師角術九

昔有國王。名曰多福。太子名曰增福。王奉六師。其子事佛。世無沙門。唯一白衣以為師首。外道五百人嫉其名德。即白王言。國事兩法令心不一。願與佛師各現奇德。約不如者役屬為奴。王即可之。外道與師剋日結約。王前各試功藝。梵志善射即行入山。五百人各射大鹿。皆貫左目負來角伎。賢者入山精思念佛。求威佐助以彰大道。有五色鹿踊從地出。歡喜持歸。外道知之。伺賢者行。往語其婦曰。卿夫捨家作沙門。但坐此鹿。破汝家法。婦聞恚怒以鹿乞之。賢者來歸不見其鹿。即問所在。婦曰。此不祥之物今已失去。夫甚愁憂。復還山中至誠悔過。即有明月神珠忽從地出。便持此珠察梵志出行。往詣其門衒賣奇物。梵志婦曰。吾家亦有異物可以相比。即出五色鹿。賢者便言。王使吾齎此鹿。汝今盜之其罪不測。婦遽還之。至其試日。梵志各送鹿皆傷左眼既穢且臭。王甚惋之。賢者來奉奏神鹿齎明月神珠入王殿上。二物飛騰俱戲星流電耀。舉宮讚奇。婆羅門五百人。知術藝不如。即役為奴。其婦為婢。賢者導示經教以為弟子(出雜譬喻經第三卷)。

經律異相卷第二十六

經律異相卷第二十七(行聲聞道上諸國王部第四)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 波羅奈王得辟支佛一
- 月氏王造三十二塔成羅漢道二
- 摩訶劫賓寧王伐舍衛遇佛得道三
- 有德王擁護弘法法師失命為佛弟子四
- 功德莊嚴王請佛得道五
- 藍達王因目連悟道六
- 普安王化四王聞法得道七
- 婆羅門王捨於國俸布施得道八
- 摩達王從羅漢聞法得道九
- 乾陀王捨外習內得須陀洹道十
- 普達王遇佛得道十一

波羅奈王得辟支佛一

波羅奈王。夏暑熱時處高樓上。坐七寶床令青衣摩。牛頭栴檀香塗身。青衣臂多著釧摩王身。時釧聲滿耳王甚患之。教次第令脫釧。唯獨一釧寂然無聲。王時悟曰。國家臣民婇女多事多惱亦復如是。即時離欲獨處思惟得辟支佛。鬚髮自落著自然衣。從樓閣去以己神足力出家入山。如是因緣中品辟支佛也。有人願作辟支佛。種此善根。時世無佛。善熟。厭世出家得道。名辟支佛(出坐禪三昧經中卷)。

月氏王造三十二塔成羅漢道二

月氏國王。欲求佛道故作三十二塔。為供養相一一作之至三十一。時有惡人觸王。王心退轉。如此惡人云何可度。即時迴心捨生死向涅槃。作第三十二浮圖以求解脫。由是因緣成羅漢道。是故此寺名波羅提木叉(梁言解脫)自爾以來未滿二百年。此寺猶在。吾亦見之(出雜寶藏經)。

摩訶劫賓寧王伐舍衛遇佛得道三

舍衛國王名波斯匿。于時南方有國。名曰金地。其王字劫賓寧。太子名摩訶劫賓寧。父崩太子即位。體性聰勇。領三萬六千小國。威風遠振莫不摧伏。然與中土不相交通。後有商客往到金地。以四端細氈奉上彼王。王問商客言。此物甚好為出何處。啟曰。出於中國。王復問言。其中國者號字云何。答曰。名羅悅祇。又名舍衛。王復問言。中國王以何等故不來獻我。又答曰。各自霸土威名相齊。故不來耳。王自思惟。今當加威令彼率伏。復問商客。中國諸王何者最大。白言。舍衛國王為第一大。即便遣使詣舍衛國。持書示教其理委備告語其王。波斯匿言。我

之威風遍閻浮提。卿何所恃斷絕使命。今故遣使共卿相聞。却後七日與我相見。設不如是吾當興兵破汝國界。波斯匿聞深用驚惶。即往詣佛具白斯事。佛告王言。還語使云。我不大更有大王。王奉佛教。告彼使言。世有聖王。近在此間。卿可到邊傳汝王命。使即詣祇洹。于時世尊。自變其身作轉輪王。七寶侍從皆悉備有。使前入化城。既覩大王情甚驚悚以書與之。化王得書蹋著脚下。告彼使言。吾為大王臨領四域。汝王頑迷敢見違拒。汝速還國致宣吾教。信至之日馳奔來覲。臥聞當起。坐聞應立。剋期七日不得稽遲。敢違斯制罪在不請。使還本國具以聞見白金地王。王承斯問深自咎責。合率所領諸小王輩欲朝大王未便即路。先遣一使白大王言。臣所統御三萬六千王。為當都去。將半去耶。大王還報。聽半留住但將半來。時金地王將萬八千小王同時來到。既見化王謁拜畢已。心作是念。大王形貌雖復勝我。力必不如。化王于時勅典兵臣以弓與之。金地國王手不能勝。化王還取以指張弓。復持與之勅令挽。金地國王殊不能挽。化王復取而彈扣之。三千世界皆為震動。復次取箭彎弓而射。離手之後化為五發。其諸箭頭皆出光明。其光明頭皆有蓮華大如車輪。一一華上各各皆有一轉輪王。七寶具足奮出光明。普照三千大千世界。五道眾生莫不蒙賴。諸天境界見其光明及聞說法。身心清淨有發無上正真道意。復有得住不退地者。人道眾生有得一道二道三道之者。出家入要得應真者。有發無上正真道意。得不退地不可稱計。三塗眾生離苦解脫生人天中。時摩訶劫賓寧王。及金地諸小王。見斯神變其心信伏。遠塵離垢得法眼淨。萬八千小王一時皆然。須臾之頃佛攝神力還復本形。諸比丘僧前後圍繞。金地王眾求索出家。鬚髮自墮袈裟在體。思惟妙法盡得羅漢(出賢愚經第七卷)。

有德王擁護弘法法師失命為佛弟子四

過去遠劫。此拘尸城有佛出世。號歡喜增益。住世無量化眾生已。然後乃於娑羅雙樹入般涅槃。佛涅槃後遺法住世無量億歲。餘四十年佛法未滅。有一持戒比丘。名曰覺德。多有徒眾眷屬圍遶能師子吼廣說經典。制諸比丘不得畜養奴婢牛羊非法之物。時多破戒比丘。聞作是說皆生惡心。執持刀杖逼是法師。是時國王。名曰有德。聞是事已。為護法故即便往至說法者所。與是破戒諸惡比丘。極共戰鬪。令說法者得免危害。王時被瘡舉身周遍。覺德尋讚王言。善哉善哉。王今真是護正法者。當來之世此身當為無量法器。王於是時得聞法已。心大歡喜尋即命終。生阿閦佛國作第一弟子。其王將從人民眷屬。有戰鬪者。有隨喜者。一切不退菩提之心。命終悉生阿閦佛國。覺德比丘却後壽終。亦復往生阿閦佛國。作聲聞眾中第二弟子。若有正法滅時。應當如是受持擁護。時王者則我身是。說法比丘迦葉佛是(出大涅槃經第三卷)。

功德莊嚴王請佛得道五

爾時功德莊嚴王。從佛聞說偈及覩神變。增益堅固菩提之心。頂禮佛足

而白佛言。唯願世尊。及菩薩弟子大眾。受我八萬四千歲請。普明王如來。願以衣被飲食臥具醫藥給侍所須。彼佛及大眾即便受請。王知佛受其請已。歡喜便去。王子師子進及二萬王子捨世榮位。於佛法中剃除鬚髮出家修道。勤行精進樂求善法。時師子進得五神通堅固不退。彼佛加其威神常為眾生顯說妙法。遍三千大千界施作佛事。無量眾生堅固不退無上大乘。功德莊嚴王於八萬四千歲中。以諸樂具供養世尊及諸大眾。與一切群臣前後導從為聽法眾。而作是念。我諸子剃除鬚髮出家修道。常受供養自不可行施。亦未見得過人之法。寧可還家捨財布施修諸功德。如我所種諸善根耶。爾時普光明王如來。即知功德莊嚴王心所念。告師子進菩薩言。善男子。現汝自在功德神力。大菩薩變現使此大眾普得見聞。迴彼邪心使得正見。師子進菩薩即時入定現如是等相。大千震動。於上虛空雨華香繒蓋幢幡妓樂美饍飲食瓔珞。衣服種種珍寶。紛紛而下滿足大千。眾生得未曾有皆大歡喜。爾時從地神諸天上至阿迦膩吒。皆唱是言。此大菩薩可名虛空藏。所以然者。從虛空中能雨珠寶充足一切。佛即印可。王見踊悅得未曾有捨憍慢心。合掌向佛。作如是言。希有世尊。菩薩功德智慧乃能如是。世尊。在家施者所益無幾。夫出家者以神通力施無崖際。在家者施不稱彼意。雖施猶恪以為苦惱。出家不恪不生苦惱。

王捨位。與子吉意。以真信心剃除鬚髮。於佛法中出家修道。增長善法常勤精進得四禪四無量心及五神通。時吉意王。以法治化國無怨者。精進不疲供養世尊。功德莊嚴王者。拘留孫如來是。師子進菩薩者。即虛空藏菩薩是。吉意王者。即彌勒是也(出功德莊嚴王請佛供養出家得道經)。

藍達王因目連悟道六

舍衛有王。號曰藍達。土地豐沃人民淳信。君臣父子相率以道。後王即位。法俗轉薄治行不平。阿枉百姓橫誅無辜。正亂禍應雨澤不時。五穀不豐互生妖怪。遂致荒殘懼於危亡。奉事邪道五百餘人。又祀妖神上下相學。如風靡草。黎民樂亂競為姦宄。強者陵弱更相傷殺。劫奪人財不從道理。婬他婦女君臣荒醉。迷惑日滋旱踰三年。前後請禱初不得雨。諸師白王。今當大祠。應用童男七人白牛白馬各十頭燒以祭天。然可獲雨。王即辦具。國中凶凶大小搔擾。佛告目連。藍達國荒人民勤苦。有三億人應從汝得解。可往開化。目連往為說法開解其意。國中人民初無受者。目連。化作大鬼神身。長數十丈。當城門坐。洪聲呼王及諸近臣使出。君臣惶惑自懼不全。王即率將近臣叩頭自陳。唯願生活。神謂王言。急求臣不忠子不孝者來。吾欲食之。王即推問。答言無有。神復謂王言。急求偷盜者。淫泆者。兩舌惡口者。吾欲食之。王即推問。又答言無。神復謂王言。急求飲酒者。吾欲食之。王即推問。又答言無。於是目連復現真身。往與鬼神共語。王見目連。叩頭守請令為解釋大神。目連謂王言。是神欲何所求。王言。欲食惡人。目連問言。國中信有此輩人不。王答言無。重請發遣。我當終身歸命道人。目連語大神言。此

國中人民無有卿所覓者。卿可原赦其罪。若復有犯者。可更來食之。神即聽其言。忽然而去。王及臣民。即俱叩頭陳謝乞得歸命。目連告言。王若欲歸命者。宜先自歸佛。王問佛功德。目連說佛三界獨尊所說之法聲聞三千。王言。吾今有幸乃獲異聞。即啟目連。願欲請佛受尊法言終身奉行。目連告王。信能爾者。其福難量。但當淨心存佛。王即承教沐浴齋戒。遙向佛國稽首為禮。曰吾以闇昧誤處民上。不能洗心率導。使國空荒咎在吾身。唯願天尊垂光降下。普令黎民獲無盡之福。佛與諸比丘。未至百里豫行空中。五色蓮華捧其足下。諸天翼從寶帳華蓋奉迎道路。作眾名樂側塞空中。覩佛威神光耀天地。王及群臣稽首足下。於四衢道廣施帳幔掃灑淨潔。佛坐自然師子之座。悉布以天繒婉綖。王手斟飲食躬行澡水。呪願畢。佛便說苦空非常四諦之要。王即歡喜乞受五戒。結解垢。除得須陀洹。時王所事五百外道乞為比丘。佛即聽之。以手摩其頭髮墮袈裟著身。却後七日同得羅漢。眾會人民得須陀洹。或受五戒勤行十善。歸命三尊。月六齋。歲三齋。轉相率導以為常法。阿難白佛。此王人民。宿與目連有何等緣。佛言。昔惟衛佛時。目連為優婆塞。居宿貧窶奉行戒行守意不毀。採華山中見須文樹。適欲上樹取華。不知前有蜂房。群蜂數千驚散逐之。即心念言。若我得道當度汝等。今日得道者皆爾時蜂也(出藍達王經)。

普安王化四王聞法得道七

昔有五國王。國界比近共作善友更相往來。其最大者名曰普安。習菩薩行。餘四小王常習邪行。大王愍之。呼來上殿共相娛樂。乃至七日。終日竟夜七日已滿。小王白大王言。國事甚多請退還家。大王送之。出至道中語諸小王。各說所樂。一王答曰。陽春三月樹木榮華遊戲原野。一王復答。願我常作國王。鞍馬服飾官屬人民圍繞左右。晃晃昱昱椎鍾鳴鼓出入行來路人傾目。一王又言。願我婦兒端正無雙。共相娛樂極情快意。一王復言。願我父母常在。朋友兄弟妻子羅列。好衣美食以恣身口。素琴青衣共相娛樂。俱白大王所樂何事。大王答言。我樂不生不死不苦不惱不飢不渴不寒不暑存亡自在。四王俱言。如此之樂當有明師。大王答言。吾師號佛。近在祇洹精舍。諸王歡喜同詣世尊。大王白佛言。今得為人闇鈍無智但深著世。樂不知罪福。願佛為弟子等說其苦諦。佛言。卿等善聽。當為說之。人生在世眾苦切身。略說八苦。一生苦。人死時不知精神趣向何道。未得生處普受中陰之形。至三七日中。父母和合便來受胎。一七日如薄酪。二七日如稠酪。三七日如凝酥。四七日如肉臠。五胞成就巧風入腹。吹其身體六情開張。在母腹中生藏之下熟藏之上。母噉一粒熱食。灌其身體如入湯。母飲一杯冷水。亦如寒氷切體。母飽之時。迫迮身體痛不可言。母飢之時。腹中了鳥亦如倒懸受苦無量。至其滿月欲生。頭向產門。劇如兩石挾山生墮草上。身體細軟草觸其身如履刀劍忽然失聲大呼。此是苦不。咸言是苦。二者老苦。父母養育至年長大。飢時極飢飽時極飽。無有節度。漸至年老頭白齒落。目視茫茫耳聽不聰。盛去衰至皮緩面皺。百節痛疼行步苦極。坐

起呻吟憂悲苦惱。識神轉滅便旋即亡。命日促盡言之流涕坐起須人。此是苦不。答曰實苦。三病苦。地水火風和合成身。一大不調百一病生。四大不調四百四病同時俱作。地大不調舉身皆痛。水大不調舉身洪腫。火大不調舉身苦熱。風大不調舉身掘強百節苦痛猶被杖楚。四大進退手足不任。氣力虛竭坐起須人。口燥唇焦筋斷鼻圻。目不見色耳不聞聲。不淨流出身臥其上。心懷苦惱言輒悲哀。六親在側晝夜看視初無休息。甘美飲食入口皆苦。此是苦不。答曰實苦。四死苦。人死之時四百四病同時俱作。四大欲散魂神不安。欲死之時刀風解形無處不痛。白汗流出兩手摸空。室家內外在其左右。憂悲啼哭痛徹骨髓不能自勝。風去氣散火滅軀冷魂靈去矣。身體挺直無復所知。旬日之間肉壞血流膖脹爛臭甚不可近。棄之曠野眾鳥噉食肉盡骨枯髑髏異處。此是苦不。答言實苦。五恩愛別苦。室家內外兄弟妻子共。相戀慕一朝破亡。為人抄劫各自分張父東子西母南女北非唯一處。為人奴婢各自悲心。呼內斷絕窈窈冥冥無有相見之期。此是苦不。答曰實苦。六求不得苦。家有財物散用求官。望得富貴求之不止。會遇得之得作邊職。未經幾時貪取民物。為人所言一朝有事。檻車載來憂苦無量不知死活何日。此是苦不。答曰實苦。七怨憎會苦。世人薄俗居愛欲之中諍不急之事。更相殺害遂成大怨。各自相避隱藏無地。各磨刀箭挾弓持杖。會遇狹道張弓樹箭。兩刃相向不知勝負是誰。當爾之時怖畏無量。此是苦不。答曰實苦。八憂悲惱苦。人生在世。長者百歲短命胞胎者傷。墮縱得百歲夜消其半餘。五十年。醉酒疾病不知作人。小時愚癡十五年中未知禮儀。年過八十老鈍無智。耳聾目冥無復法則。天下欲亂旱火大霜田種不熟。室家內外多諸疾痛。治生喜失官家百調閉繫牢獄未知出期。兄弟兒子遠行未歸。居家窮寒無有衣食。比舍村落社稷不辦。家人死亡無可殯殮。春時種作無有犁牛。節日共聚應當歡喜共悲相向。此是苦不。答曰實苦。於時五王及諸群臣會中數千萬人。聞說苦諦心開意悟。即得須陀洹道。今觀宮殿如視穢廁無可樂者。即捨王位付弟出家為道。修諸功德日日不倦(出五王經)。

婆羅門王捨於國俸布施得道八

多昧國。有婆羅門王。捨其王俸多事異道。王歎一日自發善心欲大布施。如婆羅門法。積寶如山有來乞者令其自取。手重一撮如是數日其積不減。佛知是王宿福應度。化作梵志。往到其國。王出相見。禮問起居曰。何所求索莫自疑難梵志答言。吾從遠來欲乞珍寶持作舍宅。王言大善。自取重一撮。梵志取一撮行。七步還著故處。王問。何故不取。梵志答曰。此裁足作舍廬耳。復當取婦俱不足用是以不取。王言。更取三撮。梵志即取。行七步復還著故處。王問梵志。何以復爾。答言。此足取婦。復無田地奴婢牛馬。計復不足。是以息意也。王言。更取七撮。梵志即取。行七步復還著故處。王言。復何意故。梵志答言。若有男女。當復嫁娶吉凶用費。計不足用是以不取。王言。盡以[廾/積]寶持用相上。梵志受而捨去。王甚怪之。重問意故。梵志答曰。本來乞匄欲用

生活。諦念人命處世無幾。萬物無常旦夕難保。因緣遂重憂苦日深積寶如山無益於己。貪欲規圖唐自勤苦。不如息意求無為道。是以不取。王意開解。願奉明教。於是梵志。現佛光相踊住空中。為說偈言。

雖得積珍寶　嵩高至于天　如是滿世間　不如見道要　不善像如善
愛而似無愛　以苦為樂像　狂夫不為厭

王見。佛光遠照天地。又聞此偈踊躍歡喜。王及群臣即受五戒。得須陀洹道(出出曜經第十六卷)。

摩達王從羅漢聞法得道九

有國王。名曰摩達。出軍征討選民數百萬。時有比丘得羅漢道。入國分衛。並被執錄將詣王宮。王使養官馬。勤苦七日。王自臨視。比丘見王。輕舉飛翔上住空中現其威神。王便恐怖叩頭悔過。我實愚癡不別真偽。推問內外誰令神人為是事者。今當有所治殺。比丘告王。非王及國人過也。自我宿命行道常供養師。我時為師設飲。師謂我言。且先澡手然後當飲。我愚癡心念言。師亦不養官馬。何故不豫澡手。師即謂我言。汝今念此輕耳後重如何。我聞是語便自愁憂。師知其意。便念言。我會當泥洹。何故令人惱耶。即以其夜三更。師般泥洹。從來久遠各更生死。今用是故受其宿殃。養馬七日。夫善惡行輒有殃福如影隨形。王聞比丘說罪福。意解歡喜乞得歸命於神人。比丘告言。卿當自歸於佛。佛為三界師。王及國人。皆隨比丘出到佛所。稽首作禮奉受五戒。作優婆塞。佛便為王及國人民。現相好威神光耀天地。復為說非常苦空。王於是時得須陀洹道。國中人民皆受五戒十善。歸命三尊月月齋戒。以為常法(出摩達國王經)。

乾陀王捨外習內得須陀洹道十

時有國王。名曰犍陀。奉事婆羅門居在山中。多種果樹樵人毀樹。時婆羅門。將詣王所言其無狀。殘敗果樹請王治殺王敬事婆羅門。即為殺戮。自後未久。有牛食人稻。其主遂捶牛折一角。血流被面痛不可忍。牛徑到王所白言。我實無狀食人少稻。今捶折我角。王曉鳥獸語。告牛言。當為汝治殺之。牛言。雖殺此人不止我痛。但當約勅後莫苦人。王便感念。我事婆羅門。但坐果樹令我殺人。不如此牛也。便呼婆羅門問言。今事此道有何福乎。婆羅門報言。可得攘災致福富貴長壽。王復問言。可得脫於生死不。報言。不得免於生死也。王到佛所。五體投地為佛作禮白言。我聞佛道至尊。教化天下所度無數。願受法言以自改革。佛即授王五戒十善。為說一切天地人物無生不死者。布施持戒現世得福。忍辱精進心行智慧者其德無量。後生天上亦可得作遮迦越王。可得無為度世之道。佛現相好威神光耀。王歡喜意解。得須陀洹道。牛後七日壽終。上生天上(出揵陀國王經)。

普達王遇佛得道十一

有夫延國王。名曰普達。身奉佛法未常偏扞。常有慈愍。國內愚民不知三尊。每當齋戒登高觀視。還必頭面稽首為禮。國中臣民怪王如此。自共議言。王處萬民之尊。遠近敬服登謂人從。有何請欲毀辱威儀頭面著地。群臣欲諫不敢。與吏民數千出宮未遠見一道人。王下輦却蓋住。其群從為之作禮。尋從而還。施設飯食遂不成行。群臣諫言。大王至尊。何宜於道路為此乞匄道人頭面著地。天下尊貴唯有頭面。加為國王不與他同。王勅臣下。求死人首及六畜頭。臣下遍索歷日乃得。王言。於市賣之。臣下賣之。牛馬猪羊頭皆售。但人頭未售。王言。貴賤賣去如其不售。使以匄人如是歷日賣既不售。匄無取者頭皆膖臭。王便大怒。語臣下言。卿言。人頭最貴不可毀辱。今人頭何故匄無取者。即勅嚴駕出曠澤中當有所問。群臣振聳出到城外。告群臣言。卿寧識吾先君時。有小兒常執持蓋者不。臣下對曰實識。王言。今此兒何所在。對曰。亡已十七年。王言。此兒為人善惡何如。對言。臣等常覩其承事先王。齋戒恭肅誠信自守非法不言。王告諸臣。今若見此兒在時所著衣服。寧識之不。諸臣對曰。雖自久遠臣故識之。王使取前亡小兒衣。曰。此寧是不。臣下對曰是。王曰。今儻見兒身為識之不。臣下良久。對曰。臣自懼蔽闇卒覩不別。前所見道人來。王大歡喜。又為道人賣頭匄人不取。今欲示其本末。有幸相遇。願為開導。道人即為臣下說。王本是先王時執蓋小兒。常隨先王。齋戒奉行正法清淨守意不犯諸惡。其後過世生為王子。今得尊貴皆由宿行齋戒所致。臣下大小莫不僉曰。吾等幸遇得覩道人。願哀愚朦乞為弟子。道人告諸臣民。吾有大師。當從受問。諸臣報言。願盡年命一受法言。道人曰。我師字佛。身能飛行頂有光明。分身散體變化萬端。獨步三界莫與齊倫。門徒清潔皆為沙門。其所教授度脫不唐。臣下即啟道人。佛寧可得見不。去此幾何。道人報言。甚善。當啟世尊。六千餘里。道人即飛到舍衛。具以啟佛。佛言。明日當到夫延國臨至皆現威神。王及群臣持華香出城迎佛。覩佛威靈喜懼交并五體投地稽首為禮。白佛言。勞屈世尊。并及眾僧遠到此土。王盡心供設。手自斟酌行澡水。呪願畢。佛笑口光五色。阿難言。佛不妄笑。答言。昔摩呵文佛時。王為大姓家子。其父供養三尊。父命子傳香。時有一侍使。意中輕之不與其香。罪福響應暫招役報。奉法無替今得為王。若我得道當度此人。本末意解即得須陀洹。國中人民。皆受五戒行十善(出普達王經)。

經律異相卷第二十七

經律異相卷第二十八(行聲聞道中諸國王部第五)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 橫興費調為姦臣所害鬼復為王一
- 感佛聞法得須陀洹道二
- 波斯匿王後園生自然甘蔗粳米三
- 波斯匿王請佛解夢四
- 波斯匿王求贖女命五
- 波斯匿王遊獵得末利夫人六
- 好信王發願灌佛七
- 耆域藥王請佛僧八
- 瓶沙王有四種畏九
- 瓶沙王樂食而死生四天王天十
- 瓶沙王與弗迦沙王親厚更獻珍異十一
- 赤馬天子問佛無生死處十二
- 多智王佯狂免禍十三

橫興費調為姦臣所殺鬼復為王一

昔瓶沙王。有一大臣。犯事徙南山中去國千里。由來無人不熟五穀。大臣到中。泉水通流五穀大熟。四方諸國有飢寒者來至此中。數年之中便有三四千家。來者給與田地令得生活。其中三老諸長者宿年。共議國之無君。由身之無首相將至大臣所。舉大臣為王。大臣答長老曰。若以我為王者。當如諸國王之法。左右大臣文武將士。上下朝貢發女開宮租稅穀帛當如民法。諸國老曰。唯然奉命。一隨王法。即立為王。處置群臣。文武上下發調人民。築城作舍宮殿樓觀。民被苦毒不復能堪。皆發想念欲謀圖於王。諸姦臣輩將王出獵。去城三四十里。於曠野澤中索王欲殺。王問左右。何緣殺我。並曰。民慕豐樂奉王以禮。民困思亂破家圖國。王告之言。卿等自為非我本造。枉殺我者神祇知之。聽我發一願死不有恨。即時願曰。我本開荒出土養民。來者皆活富樂無極。自舉我為王。依案諸國自共作此今反殺我。我實無惡於此人民。若我死者願作羅剎。還入故身中當報此怨。於是絞殺棄尸而去。三日之後王神還身中。自名阿羅波。即起入宮。殺新王并後宮婇女左右姦臣。欲盡殺人。國中三老草索自縛來。向羅剎自首。此是姦臣所為。非是細民所可能知。乞匄原恕願還治國。曰我是羅剎。與人從事食飲當得人肉。羅剎急性忿不思難。三老曰。國是王許故當如前。食飲所須當相差次。國老共出宣令人民。從此為次。家出一小兒。生用作食。食羅剎王三四千家。正有一戶為佛弟子。居門精進持佛五戒。賢者大小懊惱啼哭。遙向崛山為佛作禮。悔過自責。佛以道眼見其辛苦。便自說言。因是小兒當度無數人。便獨飛往至羅剎門。現變光相照其宮內。羅剎見光疑是異人。即

出見佛便起毒心。欲前啗佛光刺其目。擔山吐火皆化為塵。至久疲頓然後降化。請佛入坐頭面作禮。佛為說法一心聽法。即受五戒為優婆塞。里吏催食奪兒將還。室家嘿哭隨道而來。觀者無數為之悲哀。吏抱兒擎食著羅刹前。羅刹以手擎兒。長跪白佛。國人相次以兒食。我今受佛五戒不復得食人。請以小兒持布施佛。為佛給使。佛為受之。說法呪願。羅刹歡喜得須陀洹道。佛以小兒著鉢中。擎出宮門還其父母。而告之曰。快養小兒勿復愁憂。眾人見佛莫不驚怪。是何神此兒何福。而獨救之。羅刹所食奪還父母。佛即說偈言。

戒德可恃怙　福報常隨己　見法為人長　終遠三惡道　戒慎除苦畏
福報三界尊　鬼龍邪毒害　不犯有戒人

見佛光像皆為佛弟子。聞偈歡喜皆得道跡(出法句譬喻經第五卷)。

感佛聞法得須陀洹道二

舍衛國有二商人。一人念曰。佛身丈六華色紫金。頂有肉髻項背日光巍巍難言。佛猶帝王沙門猶忠臣。佛陳明法沙門誦宣斯王明矣。知佛可尊。佛知其意而熟視之。其人心意喜如獲寶。其一念曰。佛者如牛弟子猶車。彼牛索車東西南北。佛亦猶然。佛知其有惡念必獲其殃愴然愍之。其人心惡二人俱去。至三十里有亭住宿沽酒飲之。共平屬事訟之紛紜。其善念者。四天王遣善神護焉。其毒念者。太山鬼神令酒入腹。猶火燒身。出亭露臥宛轉落車轍中。晨有商人車五百乘經轢之焉。伴見之曰。吾今衰矣。還國見疑取物而去名為不義。遂輕身委財而逝。展轉遠邁去舍衛數萬里。有一國。國王崩無太子。讖書云。中國有微人當王斯土。群僚議曰。國之無君猶體之無首。難以久立。故王有馬常為王作禮。若任王者馬必屈膝。僉曰大善。即具嚴駕以王印綬著車上。人馬填路觀者莫不揮涕。時彼商人亦出觀看。國太史曰。彼有黃雲之蓋斯王者之氣也。神馬直進屈膝舐足。群臣欣豫香湯澡浴。拜為國主。僉然稱臣。王曰。余本商人。無德於民不任天位。群僚曰。天授有德神馬屈膝。於是遂處王宮。聽省國政。深自惟曰。我無微善何緣獲此。必是佛恩使之然也。晨在御座嘆佛無上之聖。率土群僚向舍衛國。稽首言曰。賤人蒙世尊潤獲為人君。斯土傳世不知有佛。流俗之書亦無記焉。願以大明開斯國人之聾盲也。明日願與應真聖眾。垂意顧斯一時三月。佛告阿難。勅諸比丘。明日彼王請。皆當隨變化現神尊德。令其國民咸共覩焉。諸天聞佛之彼教化。相率導從作樂歌德。寶帳幢幡華下紛紛光色燿目。佛及應真皆坐正殿。王自斟酌畢。以小床於佛前坐。佛廣說法。王曰。吾本微人。業無快德何緣獲斯。佛告王曰。昔彼國王飯佛。王心念言。佛心如國王。沙門如臣。王種斯栽今獲其果。彼人云。佛若牛弟子若車。彼人自種車轢之栽。今在太山為火車所轢。自獲其果也。非王勇猛所能致矣。為善福隨履惡禍追。響之應聲善惡如音。非天龍鬼神所授。非先禰所為也。造之者心。成者身口矣。佛頌偈曰。

心為法本　心尊心使　中心念惡　即言即行　罪苦自追　車轢于轍
心為法本　心尊心使　中心念善　即言即行　福樂自追　如影隨形

世尊又告王曰。眾惡之罪最重有五。不孝不忠殺親殺君家滅國亂。重罪一也。羅漢之行得空不願無想之定。與佛齊意拯濟眾生。而愚害之。重罪二也。佛者眾罪已畢景福會成。相好十力法導眾生。慈悲喜護心過慈母。而愚惡謗重罪三也。清潔沙門志靖行高。情抱經法助佛化愚。諸佛相紹眾生得度皆由眾僧。佞讒挍遘以致不調。以不調故正法毀。正法毀則民狂走。民狂走者三惡道興。惱比丘僧。重罪四也。佛尊廟寶物水土。眾生赤心以貢三尊。愚人或毀盜。重罪五也。犯斯五者罪無有請。謂之自殺身自滅族自投太山火矣。五罪之重重於須彌慎無犯焉。佛說經竟。王及群臣皆得須陀洹。受五戒為清信士。國民有作沙門者。守戒為清信士者。遂以五戒十善為國政。諸天祐護國遂興矣(出百愛經)。

波斯匿王後園生自然甘蔗粳米三

波斯匿王。宿殖德本福響自應。於後園中自然生甘蔗之樹。流出甘漿晝夜不絕。又生一株粳米。垂穗數百取之無盡。王受其福食之無厭。身體肥重喘息苦極不能轉側。往到佛所低身揖讓。在一面坐。佛便說偈。

若人能專意　於食知止足　趣欲支形命　養壽守道德

王歡喜踊躍。即從坐起辭佛還宮。勅擎食人在吾前者。先說斯偈以為常法。王轉減食。身減體輕。行來無患(出出曜經第十七卷)。

波斯匿王請佛解夢四

波斯匿王。夜臥有十種夢。一小樹生華。二見小樹生果。三見牸牛從犢求乳。四見人切索羊隨後食。五見十釜重上釜踊灌入最下釜。六見馬一身兩頭食麥。七見血流成渠。八見澄水四邊清中央濁。九見犬在金器中小便。十見四方有四牛來相抵突各散還去。王見恐怖衣毛皆豎。即從臥覺便作是念。我應命終失此王位耶。即往問佛。佛曰。大王勿懷恐怖。不由此夢乃失王位。夢小樹生華者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。是時人民不孝父母。不承事沙門婆羅門。便得供養。猶如今孝從父母供養沙門者也。小樹生果者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。是時人民嫁未久。而抱子歸不知慚愧也。牸牛隨犢求乳者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。母守門女傍通以自存活也。人切索羊隨後食者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。以己財寶與外人通也。夢十釜列上頭釜溢涌灌最下釜中者。當來眾生非法欲行。與邪法相應。兒語父母言。速出此家詣山野澤。我欲住此村落也。馬一身兩頭食麥者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。彼依國王劫奪婆羅門長者。或依婆羅門長者劫奪王藏也。夢血流成渠者。當來有國

王不樂己境界。便集四種兵侵奪他界。亦不可制不隨法教。是時人民死者眾多也。夢澄水四邊清中央濁者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。中國眾生好喜鬪亂。邊國人民無有諍訟也。夢犬在金器中小便者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。我三阿僧祇劫勤苦所集法寶者。皆當誹謗。刀杖瓦石打我聲聞。此沙門種所說非法。好造歌頌也。夢四面有四牛來共相抵突各散還去者。當來眾生非法欲行。常懷貪嫉與邪法相應。是時四面有大雲起。雷電霹靂不雨散去也。是謂十夢應如是。大王十夢者。有是十應。以是因緣王勿懷恐怖亦不命終不失王位。皆是當來末世法應如是。大王當作是學。王大歡喜(出增一阿含經第四十一卷)。

波斯匿王求贖女命五

波斯匿王。女婆陀命過。極愛念之。未曾離目。殯葬已畢。親覲如來頭面禮足在一面坐。佛言。今王何故衣裳塵垢愁憂如是。王言。有一女適命終甚愛念。始殯葬竟欲以象贖女命。乃至車馬伏藏。愁憂苦惱皆由恩愛生。所以然者。古者大王。於此舍衛城。有人女命終。愛念女故未曾遠目。便自迷惑不有所識。處處遊行問人民言。誰見我女。大王當以此方便知。愁憂苦惱皆由恩愛生。大王勿懷愁憂。一切恩愛皆當分離。所生之物必當壞敗。如是廣為說法。王受教而去(出波斯匿王女命過請佛經)。

波斯匿王遊獵遇得末利夫人六

時舍衛城中。有一大姓婆羅門。名耶若達。多饒財寶。一婢名黃頭。常守末羅園。時彼婢常愁憂言。我何時當免出於婢。時彼婢晨朝已。食分乾飯持詣園中。爾時世尊入城乞食。時黃頭婢遙見如來。心自念言。我今寧可持此飯施彼沙門。或可脫此婢使。即授飯施佛。世尊慈愍受還精舍。時黃頭婢。即前進入末羅園中。波斯匿王。嚴四種兵出外遊獵。從人分張馳逐群鹿。天時大熱遙見末利園。即迴車往步入園中。黃頭遙見波斯匿來。行步舉動非是常人。即前奉迎言。善來大人可就此坐。即脫一衣敷令王坐。黃頭問言。不審須水洗脚不。王言可爾。即取水與王。為王揩脚。復問王言。欲洗面不。即更以水與王洗面。復問王言。欲飲不。即詣池更洗手。取好藕葉盛水與王。復問王言。不審欲臥息不。即復更脫一衣與王敷之。見王臥已在前長跪。按脚及餘支節。解王疲勞。黃頭身如天身細濡妙好。王著細滑。心念言。未曾有如此女聰明。我所不教而悉為之。王即問言。汝是誰家女。報言。我是耶若達家婢。使差我守此園。如是語頃。王諸大臣。尋王車迹來詣園中。跪拜王足在一面立。王勅一人。汝喚耶若達婆羅門來。婆羅門來詣王所。王問言。此女是汝婢耶。答曰是。王言。吾今欲取為婦。汝意云何。報言。此是婢使云何為婦。王言。無苦。但論價直。婆羅門言。欲論價直。百千兩金。我豈取王價。今持奉王。王言。不爾。我取為婦。云何不與價。即出百千兩金。與婆羅門。即迎載入宮。眾臣衛從。末利園中將來故即剃之末

利夫人。王甚愛敬。復於異時。王於五百女人中。立為第一夫人。在高殿便自念言。我以何業報因緣得免於婢今受如是快樂。復作是念。將是我先以和蜜乾飯分施與沙門。以此因緣今得免婢。受如是快樂耳(出四分律初分第十三卷)。

好信王發願灌佛七

古昔有佛。號曰始無。時有國王。名曰好信。好樂佛法視佛無厭。種尼俱類樹。樹下為佛敷栴檀床座。佛坐其上。好信王聽經。佛泥洹後。王不見佛。便名尼俱類樹則為佛樹。見之如見佛。日日往樹下坐。常所坐處想聞教戒。王有青衣。名曰拘錄。常侍王邊。夫人嫉妬雇婆羅門令呪殺佛樹。於常婆羅門。四月七日夜取南山中大毒蛇腦塗樹。樹即枯死。王即便悲涕不能自勝。四月八日夜半明星出時取五色香水集華用灌此樹。即還更生。王便願言。當令十方諸佛生時用今日。得道時用今日。般泥洹亦用今日。從此以來諸佛興世。皆是此日。故用四月八日灌佛也(山宿願果報經)。

耆域藥王請僧佛八

耆域藥王。請佛及僧。唯除槃特。槃特四月誦帚箒名。終不能得。如來及僧往坐耆域舍。行清淨水如來不受。耆域白佛。不審如來以何因緣而不受水。佛告耆域。今此眾中無有槃特比丘。是故不受。耆域白佛。此槃特愚鈍。放牛羊人皆勝於此。佛告耆域。汝不請槃特者吾不受清淨水。時耆域承佛教戒即遣人往喚槃特。佛告阿難。汝授鉢與槃特。令莫起于坐遙授與我。耆域見此神力便自悔責。咄哉大誤毀辱賢聖。今日乃知大犯口過。即生敬心向槃特比丘。逾於五百僧。世尊廣說。過去世時耆域為將販賣轉易。嘗驅千疋馬往詣他國。中路有一馬產駒。以駒乞人進至他國。與國主相見。王語馬將。君此千疋皆是凡馬。一馬悲鳴其聲有異必生駁駒。其駒長大者價當千馬。若得此駒諸馬盡買不爾不須。馬將追乞駒處。其駒未經旬日便作人語。語其主曰。若使馬將來求我者。得五百謂馬可與。馬將求以一疋始馬贖之。其人答曰。吾本不強從君索。勤苦養活。君今欲須。以五百疋馬贖當相還也。遂從之。先薄賤馬駒。今留槃特。後皆貴重。槃特因緣久矣。非適今日(出請磐特比丘經)。

瓶沙王有四種畏九

昔瓶沙王先祖。治罪人法。若作賊者以手拍頭。賊大慚愧與死無異。後更不作。至父王時治。若作賊者驅令出城以為嚴教。賊悉慚愧與死無殊。後更不作。洴沙嗣立。若作賊者驅令出國。時有一賊七反驅出。猶故復還劫殺村城。最後縛送。王言。將去截其小指。時有司急截恐王有悔。王自試嚙指痛殊難忍即追莫截。臣答王言。已截。王甚愁悔。即自念言。我為法王之末。而為非法之始。夫為王者憂念民下。而截人指。即自命駕。詣佛白言。我曾祖先王迄至父王。皆以法治民。及到我身。

為惡日滋正化漸薄。謬得為王傷截人體。自惟無道愧懼實深。佛告大王。治國之法。盜至幾錢罪應至死至幾出國。齊幾用刑。王曰。世尊。以十九古錢為一罽利沙槃分。一罽利沙槃為四分。若盜一分罪應至死。佛為說法。王禮佛而退。時諸比丘言。云何瓶沙王畏罪乃爾。佛言。其不但今世畏罪。過去有國名曰迦尸。王號名稱。時國人民。工巧伎術無不悉備以自生活。若無工伎者謂之愚癡。若作賊者亦名愚癡。時有一人作賊縛送王所。王言。止止。彼人失財此人作賊。我復何用共作惡為。思惟。昔來始一癡人。是愚癡人不能滿千我應命終。即持愚人付於大臣云。我須千愚癡人用作大會。收覓數滿白我令知。臣執持愚人繫在一處。王尋念言。是愚癡者將無自苦。便告大臣。好看此人莫令羸瘦。著我無憂園中。五欲娛樂伎樂供給。大臣奉教。欲取王意加情看視。如是不久其數滿千。臣啟滿千。更須何等當速辦之。王聞此言。甚大愁憂。昔來久遠始有其一人。如何今者倏已千數。將是末世惡法增長。王勅群臣。灑掃園內燒香懸繒。備辦種種餚饍飲食。王與群臣十八部眾詣無憂園。勅現愚人見其衣破垢膩爪長髮亂。即勅沐浴剪髮截甲。給以新衣。然後將來各與種種飲食財寶。恣其所須。語令還家供養父母。勤修產業莫復作賊。愚人聞勅歡喜奉行。時王以位授其太子。出家入山學仙人法。時國王者洴沙是也。常畏罪報。佛言。洴沙王。不但今世教令斬指追即還悔。過去世時有婆羅門。無有錢財以乞自活。是婆羅門妻不生兒子。家本有那俱羅蟲。便生一子。婆羅門念如兒想。那俱羅子於婆羅門亦如父想。少時婦生一子。行乞食時便勅婦言。汝若出行當將兒去。婦與兒食往比舍寄舂。兒有酥酪香氣。毒蛇張口吐毒欲殺小兒。那俱羅蟲便作是念。我父母不在。云何毒蛇欲殺我弟。即殺毒蛇斷為七分。以血塗口當門而立。欲令父母見之歡喜。時婆羅門。始從外來遙見其婦於舍外。便瞋恚言。我教行時當將兒去。何以獨行。父當入門見那俱羅口脣有血。即作是念。我夫婦不在。那俱羅於後將無殺噉我兒。以杖打殺那俱羅。入門見其兒。坐於庭中[口*數]指而戲。又見毒蛇七分甚大憂悔。是那俱羅救我子命。我不善觀卒便殺之可痛可憐。即便迷悶僻地。時空中有天。即說偈言。

宜審諦觀察　勿行卒威怒　善友恩愛離　枉害信傷苦

時婆羅門者。今洴沙王也(出僧祇律第二卷)。

瓶沙王樂食而死生四天王天十

瓶沙王問目連。何處天有好食。目連嘆曰。四天王天。瓶沙應生兜率。即念先生此天。後生兜率。命終為毘沙門王太子。名曰最勝子。如目連施設所說。始人者以胸臆行名為摩睺勒。生三手眾生名為象。問曰。何故說人。或是摩睺勒。或是象。答曰。證彼眾生從光音天終來生於此。當時生畜生中。但形如人。飲食惡意惡巧詐滋多。故人相轉滅遂成畜生。形如蝦蟇(出鞞婆沙第十四卷)。

瓶沙王與弗迦沙王親厚更獻珍異十一

時王舍國王。名曰洴沙。少作太子常求五願。一者曼我年少為王。二者令我國中有佛。三者使我常往來。四者常聽說經。五者聞疾開解得須陀洹。王皆得之。時王舍國北遊異國。國名德差伊羅。王名弗迦沙。甚自高絕。宿曾見佛受佛經道。學身中六分經。謂地水火風空心。而洴沙王。與弗沙王生未相見。遙相愛敬有如兄弟。常通書記更相問遺。弗迦沙王國中生一蓮華。而有千葉皆作金色。遣遺洴沙王。洴沙王。見華大歡喜言。弗迦沙王。遺我物甚奇有異。洴沙王。作書與弗迦沙王言。我國中有金銀珍寶甚多。我不用為寶。今我國中生一人華。字佛。紫磨金色身有三十二相。弗迦沙王。聞佛聲歡喜踊躍。作書與洴沙王。佛教戒所行願具告意。弗迦沙王。却後數日自念言。人命不可知在呼吸間。我不能復待洴沙報書。勅諸小國王及群臣。嚴駕發行欲詣佛所。道逢洴沙王書。書上言。佛教人棄家捐妻子斷愛欲。當除鬚髮著法衣作沙門。又疏十二因緣。送與弗迦沙王。弗迦沙王。讀書竟自思念。夜人定後群臣百官眾皆臥出。寂然無聲竊起亡去。入丘墓間便自剃頭。被法衣作沙門。佛以天眼見弗迦沙。到王舍城止於窯家。佛念。弗迦沙王命盡明日。即飛到窯家願寄一宿。窯家報言。可得相容。佛於一處端坐。便自念言。是弗迦沙安諦寂寞。起到弗迦沙前。問言。卿師受誰道作沙門耶。報言。我聞有佛今師事之。佛念。是賢者為用我故作沙門。當為說宿命時所知經。爾乃解耳。佛言。我為卿說經事。善聽之。弗迦沙言善。佛為說法。得第三阿那含道。能知是佛耳。即起為佛作禮。明日入城未遠。有少齒牛觸抵弗迦沙。諸比丘白佛言。佛昨於窯家為說經。沙門為犇牛所抵殺。當趣何道。佛言。我為說經即得阿那含。生十六天上得阿羅漢。令諸比丘共取弗迦沙身。好收葬之。於其上起塔(出洴沙王五願經又出弗迦沙王因緣經)。

赤馬天子問佛無生死處十二

時有赤馬天子。容色絕妙。於後夜時來詣佛所。白佛言。世尊。頗有能行過世界邊。至不生不老不死處不。佛告赤馬。無有能至者。赤馬天子又白佛言。奇哉世尊。善說斯義。如世尊說。所以者何。自憶宿命。名曰赤馬。作外道仙人。得神通離諸愛欲。我時作念。我有如是捷疾神足。如健士夫以利箭橫射。過多羅樹影頃。能登須彌。至一須彌。足躡東海超至西海。我念神力捷疾今求世界邊。便發足去。唯除食息便利。減節睡眠常行百歲。於路命終竟不得至。即沒不現(出雜阿含第二十九卷)。

多智王佯狂免禍十三

外國有惡雨。若墮江湖河井陂池。人食之者狂醉七日。有國王。多智善知惡雨見雲以知。使蓋一井令雨不入。時百官群臣食惡雨水。舉朝皆狂。脫衣赤裸泥土塗頭坐王殿上。唯王一人獨不狂耳。一切群臣不自知

狂。反謂王狂。何故著衣獨異眾人。皆相謂言。此非小事思共宜之。王恐諸臣欲反便自怖懅。語諸臣言。我有良藥能自愈病。諸人小停待我服藥。王便入內脫衣同其而出。一切群臣見皆大喜。七日之後群臣醒悟大自慚愧。各著衣冠而來朝會。王故如前赤裸而坐。諸臣皆驚怪而問言。王常多智。何故若是。王答臣言。我心常定無變易也。以汝狂故反謂我狂。非實心也(出雜譬喻經第四卷)。

經律異相卷第二十八

經律異相卷第二十九(行聲聞道下諸國王部第六)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 鏡面王欲起新殿一
- 不梨先泥王請佛解夢二
- 惡少王遶塔散寔三
- 難國王因兒婦得解四
- 阿質王從佛生信五
- 優填王請求治化方法六
- 優填王惑於女人射其正后矢不能傷七
- 檀那王國遭暴水蛇遶其城為二比丘所救八
- 國王酒獵聞之修福九
- 國王臨死藏珠髻中十
- 有王遇伐不拒十一
- 國王試一智臣十二
- 驢首王食雪山藥草得作人頭十三
- 不眠王殺睡左右十四

鏡面王欲起新殿一

過去迦尸國王。以正法治。人民安樂無諸患難。時王無子。夫人忽然懷妊。十月生兒無有眼鼻。生得七日施設大會集諸群臣。相師道士為子立字。時彼國法。或因福相或因星宿或因父母而立字。婆羅門問言。王子身體有何異相。傍人答言。今此王子其面正平都無眼鼻。婆羅門言。應名鏡面。以四乳母供給抱養。一人摩拭洗浴。一人除棄不淨。一人懷抱。一人乳哺。此四乳母晝夜給侍。譬如蓮華日日增長。至年長大父王命終。即拜鏡面以尊王位。然此太子宿殖德本。雖生無目而有天眼。堪為國王。福德力大。國中人民聞鏡面太子為王無不奇怪。時有大臣便欲試之。不能得便。遇王出勅。勅諸群臣。更立新殿。彫文剋鏤種種彩畫。大臣試王。將一獼猴與著衣服作革囊盛之。串其肩上將到王前。巧匠已至願王指授。王知相試。便說偈言。

觀此眾生類　睒睒面皺[皮*留]　[跕-十+土]厥性輕躁　成事彼能壞
受分法如是　何能起宮殿　殘折華果樹　不中親近人　況能造宮殿
催送歸野林

時鏡面王。今即我也(出僧祇律第七卷)。

不梨先泥王請佛解夢二

不梨先泥王。夜臥夢見十事。一者夢見三瓶併兩邊瓶滿氣出相交往來。不入中央空瓶中。二者夢見馬口食尻亦食。三者夢見小樹生華。四者夢見小樹生果。五者夢見一人索繩。人後有羊。羊主食繩。六者夢見狐於金床上金器中食。七者夢見大牛還從犢子飲乳。八者夢見四牛從四面鳴來相趣欲鬪。當合未合不知牛處。九者夢見大池水中央濁四邊清。十者夢見大谿水流正赤。王寤大恐。亡國及身。即召公臣及諸道人曉解夢者問之。有一婆羅門。皆非吉事。當取所重愛夫人太子。及邊親近侍人奴婢。皆殺以祠天王。有臥具及著身珍寶好物。皆當燒以祠天。能如是者王身得無他。王聞不樂。夫人問王。何故愁憂。王言說。昨夜夢見十事。恐亡國及身。有婆羅門。解夢皆非吉事。夫人言。王莫愁憂。今佛近在精舍。去國不遠。何以不往問夢意。如佛所解。王當隨之。王即到佛所。頭面禮佛足具以白佛。恐亡國土身及妻子。願聞教戒。佛言。莫恐。王夢者。後世人當不畏法禁。貪婬嫉妬不知厭足。少義無慈不知慚愧。第一夢者豪貴自相追隨。不顧貧賤。第二夢者見馬兩食。後世帝王及諸大臣。稟食俸祿復探萬民不知厭足。第三夢者小樹生華者。後世人年未滿三十。而頭生白髮。貪婬多欲年少強老。第四夢者小樹生果者。後世人年未滿十五。便行嫁抱兒而歸。不知慚愧。第五夢者一人索繩後人有羊。羊主食繩者。後世人夫婿出行。婦與他通食其財物。第六夢者狐於金床金器中食。後世人下賤更尊貴。有財產眾人敬畏之。公侯子孫更貧賤。處於下坐飲食在後。第七夢者大牛還從小犢。子乳者。後世人無有禮義。母為女媒誘他男子。與女交通授女求財。以自饒給不知慚愧。第八夢者四牛從四面鳴來相趨欲鬪當合未合不知牛處者。後世帝王長吏人民。皆無至誠之心。更相欺詐愚癡瞋恚。不敬天地以用是故雨澤不時。長吏人民請禱求雨。天當四面起雲雷電有聲。長吏人民咸言。當雨須臾之間雲散雨去遂為不墮。所以者何。帝王長吏人民無有忠正仁慈。第九夢者大池水中央濁四邊清者。後世中國當擾亂治行不平。人民不孝父母不敬長老。邊國面當平清。人民和睦孝從二親。第十夢者大谿水流正赤者。後世諸國當忿諍興軍聚眾更相攻伐。當作車兵步兵騎兵。共鬪相殺傷不可稱數。死者於路血流正赤。王長跪白言。得佛教戒心即歡喜。為佛作禮還歸宮中。重貴正夫人。皆奪諸大臣俸祿。不復信異道婆羅門(出國王不梨先泥十夢經)。

惡少王遶塔散寇三

月支國有王。名惡少王。此天下莫不靡伏。母教勅王曰。設有臨死之難慎莫左旋佛寺。當念右旋慎莫違吾此教。時惡少王。大出兵眾攻純血城。手自執劍殺三億人。後戰不如。乘象奔走顧視佛圖。憶母教誡便迴象右旋。敵國見之因各散伏。王見賊退尋從進。得其本城擒獲王身。便憶佛語。自歸佛者為尊為上無有及者。設我不右旋者豈能壞此賊乎(出出曜經第十六卷舊雜譬喻略同)。

難國王因兒婦得解四

佛在舍衛國。有難國王。名分和檀。大好道德。日飯道士千餘人。王自謂。智慧無雙以鐵縛腹。常恐智慧橫出。而欲為子婚。問群臣曰。天下有智如我者不。若其有者。我欲為子取其女也。國內無有。王遣使者求索他方。到舍衛國問彼人民有佛。使者言。佛寧有女不。答曰。道人無有女也。使者言。次復有誰。答曰。阿難邠坻賢善好道有女第一。使者言。何用為第一。答曰。曾與太子祇共諍園田持以上佛。象負黃金數千萬億不貪重寶但志為善。使者即往到阿難邠坻居所。還以白王。王即馳往見。難國王身了無衣服。裸形黑醜狀類如鬼。阿難邠坻問言。欲何求也。王言。聞君賢善好道有女第一。故來為子請求君女。阿難邠坻呼前坐之云。當啟佛。具以白佛。佛言與之。阿難邠坻言。怖殺我女。佛言不也。遂即與之。女名三摩竭。當於難國度脫八萬人。阿難邠坻敢復問佛。心實懷恨。即歸謂難國王。女當相與。王即禮娉迎還其國。太子夜往到三摩竭所。三摩竭以脚蹋太子却于地。如是四五日。太子不敢復行。王夫人問之。何故不行。太子默聲。夫人即往到三摩竭所。我為子娶妻今當承事。我子何故折辱。三摩竭言。夫人大子及國中人。形皆如狗與畜生無異。夫人白王。王智慧無雙遠求子婦。無所畏難折辱我子。復面罵我。王聞之。即往到三摩竭所。三摩竭不出禮拜。王言。我遠娶新婦。面罵夫人復折辱我子可乎。三摩竭言然。王國中人民皆如狗畜。王即大驚曰。我常恐智從腹橫出故。以鐵縛之。日飯道士千餘人。誰能及我者。而反見罵。三摩竭曰。男女長少裸形相向。雖復修福猶可棄賤。王詣師門具陳上事。師曰。更往復問之。慎勿怒也。王即還問。汝國人民何用為勝。三摩竭曰。我國男女皆有衣裳。尊卑異位身不相見。有大人名曰佛。教化數千億萬人皆令得道。入火不燒入水不溺。能典攬三千日月萬二千天地。知三世事。身三十二相八十種好。道德通達諸天敬謁。王言。佛寧可見不。三摩竭言。遙請可致耳。王言。大善。請當云何。三摩竭言。但自燒香王隨我後。夫人太子皆隨我。三摩竭即上高臺請言。難國王始聞如來名。願佛明日受王飯食。佛告目連。勑諸比丘。明日悉往難國。三摩竭。令王及夫人太子齋戒燒香布席施設食具。供待千二百五十人。三摩竭。即與王夫人太子共住中庭。令諸羅漢來當先到佛在後著。慎莫驚怖隨我所為。佛諸比丘各自變化。舍利弗現作一雙白象。目連化作師子。諸大比丘各變其身。種種示現。或雁皆悉不同從上來下。難國人民大驚。三摩竭言。勿怖也。佛最在後身出水火。三摩竭前為佛作禮。王夫人太子皆亦作禮。諸阿羅漢就坐大小相次。三摩竭王夫人太子。次前行澡水下飯食具。國中人民怪王閉門。大怒各持斧欲斫宮門。佛言。我皆欲使人作善。即令宮壁化作水精。內外相見人民即止不敢復斫。時賓頭盧坐山。忽去往難國。以鍼刺地。縷與衣相連。即神足行至難國。山便隨後。國一女懷妊見山來恐墜。怖即墮身。佛令目連問賓頭盧。汝後是何等。賓頭盧顧視。山擲還前處八千里外。佛言。我教度脫汝。今失期復殺一人。人命之重我所不喜。從今已後不得隨我飯食頃。彌勒佛出乃得般泥洹。賓頭盧默然愁苦。王白佛言。寧可共捵道力。不如者當投井中。佛言大善。三問不如者當投井中。王言可。佛問言。若誦經時云何。王言。我誦經時。匍匐而行極即伏地。佛

言。我誦經時坐坐極經行。若匍匐誦經是為狗行。王為不如。王欲投井兩手據地而不肯入。佛言置之。即還歸國奉行佛道。三摩竭。乃承事王夫人太子。於難國教化八萬人。皆得四聲聞果(出分憖檀王經)。

阿賀王從佛生信五

時有國王。名曰阿賀。其所治處周十萬里。人民熾盛。王大勇猛不解於法。侵伐隣國扠苦良善。隣國皆苦之。佛與大眾往到其國。阿賀聞之。與三十二子身皆勇健惡心興兵。合聚人眾數百萬人。當於大道迎欲拒佛。佛語阿難。阿賀國王父子。明日惡意向我及大眾。汝等何以降之。諸大士天人笑動天地。佛問何笑。阿難曰。笑阿賀王耳。佛言。阿賀愚癡起是惡意。使民獲罪。已發大兵恃怙人馬之力。正使滿四天下不能動我一毛。況但數百萬人。佛告阿難。勑諸明士皆持鉢行。明日當於阿賀國王軍中取飯。王父子兵馬大盛鬼神驚動。當此之時佛身在前放大光明。從軍中渡阿賀國。王鼓不復鳴。弓弩不施刀兵不拔。象馬顛倒步兵轉筋。天地陰冥日月無光。王及諸子。皆迷惑失息頓伏而走。佛大眾住皆取飯滿鉢。前到王國。城門自開。佛前進王宮入殿而坐。寂寞無聲。八十一萬七千天人悉各就坐。宮更廣大自然高座交露寶帳五音自奏。王及諸子自相謂言。王者之力不如道德之力也。士眾驚怖。諸王子言。今聞佛入已在宮內。宜還與佛相見。王言。復何面目與佛相見。上慚愧神下負人民。諸子曰。佛既仁慈不傷人意。王便收斂士眾安徐還宮。與佛相見。頭面著地為佛作禮前謝。佛言卑鄙闇陋少不學問不知禮義狼獸為比。愚癡迷惑違犯天人。大聖不顧邊陲小國。今扠世尊遠來鄙土君臣勃逆。唯願天尊哀此無智。既已厚恩教化人民。王復以頭面著地叉手却住。王三十二子公卿百官吏民。皆悔過自責一心向佛。王見八十一萬眾神人皆列坐師子之座。交露帳中自然伎樂。知佛神妙。王勑後宮夫人婇女。皆出禮佛。王設百味之飯。悉與夫人三十二子。膝行澡水手自斟酌。飯悉周遍上下恭肅一心歡喜食竟。王前稽首白佛言。蒙天中天恩。宿福之厚先君之助得在黎民之上。天尊大聖。當哀我國人民乞戒終身奉行。治民正平當以何法。當與隣國為盟去惡就善。願佛留意。佛言。王侵伐非義非求。長生安社稷者也。王當恩信仁義慈孝貞潔寬柔忍辱布施育民覆蓋恕己。凡行此事。可長保社稷。若無此九社稷難保。王曰為之如何。願垂哀教。佛言。眾生可哀人命可惜。國土珍寶不足恃怙。王當愛惜人命當如父母哀其子也。人民親王過於父母。天下萬國皆可得保。非但一國也。王雖有數百萬眾車兵馬兵。適可以拒小敵耳。我為菩薩道時於樹下坐禪。魔王與鬼神兵一億八千人。皆變形作雜獸畜生身欲壞我心。我以神力右手指案地。而天地大動皆悉顛蹶。不能復本形。魔王降伏。以王數百萬人民之力。何如鬼神億數之力。王曰。實以愚癡無所知故。王即叩頭懺謝乞更改厲。佛言。我以大慈念度十方一切人民皆使解脫。早得佛道未度者度。非但為王父子。王復悔責。願佛哀我更受教戒終身奉行。使國民安隱。佛言。王當寬刑罰除賦斂廣恩信給孤獨數赦囚窮者救之貧者饒之飢者飽之。王若是者可保其終始。王發道心謂左右傍

臣。取藏珍寶以上世尊。佛呪願畢。悉以施王左右皆得饒富。王三十二子自相謂言。生為無義之人。死為無義之鬼。不如兄弟求作沙門。皆言大善。即俱詣佛具陳所懷。佛知其意深入道慧。天帝釋剃其頭鬚皆成沙門。後宮夫人婇女三千人。公卿百官一切人民。皆受五戒月月六齋。國致豐熟。隣國聞之遙敬仰焉。王自從是來。治國寬仁盜賊無有。男女相敬無相貪欲普悉和善。王以七寶作大精舍。國中人民俱行十善。壽盡生天無入惡道者。佛言。我為人求道但令度脫。非天龍鬼神所能傾動也。汝曹行道。當應如我(出阿質國王經)。

優填王請求治化方法六

時優填王。白佛言。國王成就幾法。世尊。不久在世外敵競興。未得修行而死入惡道。佛曰十法。云何為十。一者意不專一於諸事業。二貪著揣食猶彼餓虎。三貪著酒肉不理國事。四憙懷瞋恚多諸愁憂。五常習愚癡不受人諫。六自任其力所為能辦。七常憙殺生凌易弱者。八數遣兵革侵他國界。九多有所說言無真要。十不慈於人。若成就此不久存世外敵競興。若命終後趣三惡道惡聲遠布。王言。成就幾法久存於世外敵不興。若命終後生天善處。佛言十法。久存於世外敵不興。命終後生天上善處。云何為十。一者意不錯亂於諸行業。皆悉平等除去非行親近善業。二者王不貪著揣食。以等命存分別戒品。三不貪味嗜酒。見諸咎過知出要為樂。四不慳貪喜行惠施觀諸行業。五有智慧解其義常修善。除不善。六不自恃力不自用意。諸有沙門婆羅門群臣人民聰明黠慧者。隨問其義皆為顯說便隨教導。七不暴虐殺害人民。觀其事業便加刑罰。八不數遣兵侵他國界。常與諸王共相和合。九所說真要語不煩重。察前人語然後說事。十常懷慈悲於諸臣民常察國事。成就十法久存於世外敵不興。若身壞命終生善處天上。設命終後名稱遠布天人所傳。以等法化勿以非理。時王答曰。等法化民。身壞命終生善天上。非法行者。身壞命終趣三惡道惡聲遠布(出增一阿含第三十九卷)。

優填王惑於女人射其正后矢不能傷七

國人送美女上優填王。王大欣悅。拜女父為太傅。為女興宮。伎樂千人以給侍之。王正后師事如來得須陀洹道。王後受譖前后。以百箭射后。后見不懼都不恚怒。一心念佛慈意向王。箭皆遶后三匝還住王前。百箭同爾。王惕然驚懼。即駕白象金車馳詣佛所。稽首佛足自陳曰。吾有重咎在三尊所。婬妖縱欲興邪。於佛聖眾生毒惡心。白衣弟子慈力乃爾。豈況如來乎。我今首過歸命三寶。唯願弘慈原赦我咎(出優田王經)。

檀那王國遭暴水蛇遶其城為二比丘所救八

昔陂桓提國。其王號曰檀那。國中當有暴水。水除之後。忽有大蛇繞城一匝頭荷城門。城中居民三億餘人。歷日不得出。或多飢饉者。蛇亦無所瞋恚。若有出者便當啖之。舉國人民莫不恐怖。時王國界山中有二道

人清淨行道。一名摩訶調。一名沙訶調。坐思念言。蛇是含毒物。今反繞城將危人命。即時俱往。既入其國與王相見。王覩二道人言。由我正化不平故致此患。舉國愁荒無復人心。二道人即告王言。今當方便為王除之。王及臣下皆叩頭守請言。若蒙二道人恩。此國人民便為更生。沙訶調即化為大身蝦蟇。行過蛇前蛇飢難忍。便走逐蝦蟇。摩訶調復化為裘奈。從後追之。蛇見裘奈便驚走入深山。蛇去之後人民獲安。王及臣下即尋二道人到其所在。叩頭辭謝言。二道人近在於此。我實愚癡不早承奉。至有災患道人相救。唯願道人還住於宮。我等人民得展供養。道人告言。吾之為道清淨無欲。不樂供養。王當撿身自率以道。人民奉行正法可得終始獲安。王即乞受五戒十善。歸命三尊。月月齋戒以為常法。自是之後。國豐民寧四方襁負。遂致太平。沙訶調者佛身是。摩訶調者即彌勒是。王者即鳩摩迦葉是。大蛇者即調達是(出菩薩宿命經)。

國王酒獵聞之修福九

昔有國王。憙飲酒射獵。還便然燈燒香投槃作禮。邊侍人言。王飲酒射獵。還都投槃當有何福。王聞之。便使人然大濩。湯便沸。內一瓶金。湯沸踊躍。便呼邊人使探取金來。人言湯熱不可近。王言汝當作方便取之。何故不得。侍人言。不知作何方便當可得之。王言。汝去下火以水添湯。侍人即如王令。便探得金。王言。我飲酒射獵時自如湯沸。我投槃作禮時自如去火以水添湯。何以故。不得福也(出雜譬喻經)。

國王臨死藏珠髻中十

昔者國王有如意明珠。藏於髻中。夙夜珍愛。王後薨亡。國法先置田野令肉消盡。乃收葬之。其王形壞頭髻解散明珠出露。時有征卒之妻。名遮陀利。行見珠持歸。王家收葬忘失此珠。太子傳位。方悟求覓募得神珠封邑萬戶賜金千斤。征卒之妻乃齎應命。即便封邑。王戴珠首上(出譬喻經第七卷)。

有王遇伐不拒十一

有隣國王。興兵伐其敵國。敵國諸臣啟其王曰。某國興兵今已逼近。願王自備共相攻擊。王語諸臣曰。此是閑事何必須吾。賊攻城門。諸臣啟王。賊今在外。王告諸臣。賊雖在外不足遠慮。但自營私何慮公務。時賊暴虐轉前入城。左右啟曰。賊已入城。王告諸臣。此事微細何足上聞。隣國大王轉進至殿。諸臣啟曰。隣國之王今已上殿。不審聖尊有何思慮。其王告曰。我今處世變易不停。興者必衰。會合有離。難可常保。更改形容如乞士法。摩何自退往適深山。思惟道德可以自娛。設此暴王欲害我身不辭其愆。所以然者。亡國失土皆由一人。我今受死萬民無患。豈不於我大有幸乎。彼敵國之王歎未曾有。舉聲唱曰。善哉大王。自古迄今未有斯比。我雖得勝未如王也。開懷大道不顧世榮。自今以往還大王國。興王訖化。共相接待共為親厚(出菩薩藏經下卷)。

國王試一智臣十二

昔有國王。選擇一國明智之人。以為輔臣。爾時國王。設權方便無量之慧。選得一人。聰明博達其志弘雅。威而不暴名德具足。王欲試之。故加重罪盛滿鉢油使擎二十里行。墮一滴者誅不須啟。群臣行之。觀者填道。譬如水定而風吹之其水波揚。心不安隱。其人心念吾今定死。設能擎鉢使油不墮到彼國者乃得活耳。唯念油鉢安行徐步。時諸臣兵父母宗親國人悉集。隨而觀之。又逢大醉象犇走入道暴鳴哮吼。譬如雷聲。蹈殺道中象馬牛羊猪犢之屬。碎諸車乘星散狼藉。人見恐怖東西馳走。如風吹雲。又人射之。而擎鉢人。初不知有象來。亦不覺象去。城中失火燒諸宮殿。又諸蚊蜂放毒齧人官兵滅火。又五色雲起天大雷震。亂風吹地塵沙瓦礫填塞王路。拔樹折枝落諸華實。掣電霹靂孔雀皆鳴天諸災雹。雖有此變其人都不覺聞。擎滿鉢油得至彼國。不墮一滴。王乃歡喜立為大臣(出修行歡喜經)。

驢首王食雪山藥草得作人頭十三

昔有國王。人身驢首。佛語國王。雪山有藥。名曰上味。王往食之可復人頭。王往雪山擇藥噉之。遂頭不改。王還白佛。何乃妄語。佛白王言。莫簡藥草自復人頭。王復到山。山中生者皆自除病。不復簡擇。噉一口草即復人頭(出雜譬喻經)。

不眠王殺睡左右十四

昔有國王。晝夜不寐。其邊直者若睡便殺。前後殺四百九十九人。有一長者子當應入直。其家啼哭送之。有一年少問。何故啼哭。以實答之。卿能雇我。我能代卿。長者大喜。與金千兩遣令入直。王曰。汝何以入。曰我代長者子直。王曰。汝慎勿眠我當殺汝。時年少睡。王欲殺之。曰何以睡。曰不睡我思事耳。王曰。何所思。曰作一升器受二升物。盛一升沙復受一升水。王試實爾。復睡翻地。王復欲殺。曰思事耳。曰何所思。曰作一尺坑還持土填不滿八寸。王復使人作之審爾。復睡伏地。王復欲殺。問汝何以復睡。曰我思事耳。王赦我罪我當說之。王言便說。年少言。王正似鬼。語竟便去。王思。此人何以呼我作鬼。便啟問母。母言。汝實是鬼也。我懷汝時夜夢見鬼。與我共會便有汝耳。王便遂寤。改不殺人悔過為善。遂便學道。爾時王者我身是也。四百九十九人者今五百上首弟子是。年少覺寤我者。文殊師利是(出譬喻經第五卷)。

經律異相卷第二十九

經律異相卷第三十(諸國王夫人部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 阿育王夫人受八歲沙彌化一
- 王后生肉棄水遂生二子為毘舍離人種二
- 拘藍尼國王后悟法三
- 末利夫人持齋四
- 優達那王妻學道生天五
- 國王大夫人與一賢者共王造寺六

阿育王夫人受八歲沙彌化一

昔阿育王。未解佛法。造諸地獄。入者必治。酷以眾毒。後得信心。因棄諸非奉事正覺。人民疾疫。王斷內外不得相通。畏病及宮中。遣信白聖眾。乞遙呪願。可遣一比丘入宮。達嚫使天下安病疾消除。眾僧荷之。願以見告。時聖眾遣一沙彌其年八歲。名曰妙顏。已得羅漢神通具足。飛到王宮見夫人婇女宣語。所乏并顯道德知佛至尊況弟子乎。妙顏受教。飛入王宮住王后前。王后作禮舉手欲抱。言妙顏子何能自屈顯其神足。妙顏謂夫人曰。且却且却。不宜身近沙門。夫人答曰。卿年幼小方始八歲。心相戀念猶如吾子。雖身近之當何所苦。沙彌答曰。近情喻之如夫人教。情從微起。猶粟之火能燒萬里之野。譬指滴之水陷穿玉石亦能盈器。事皆以漸。以少致多。以小成大。是以智者遠嫌避疑。以防未然。沙彌夫人相難往來言聲遂高。聲徹正殿。王問傍人。是誰語聲如有所諍。傍臣答曰。沙彌妙顏這至宮中。與正后語。音聲高亮乃聞於此。王即起往與之相見。作禮問訊以何所諍。沙彌答曰。貴后見顏垂意見愍。欲往相見道法不應。故難却之耳。阿育王曰。卿年尚幼猶如吾子。愛念抱之當有何嫌。乃以壯言相折耶。沙彌答曰。不如王語。古聖制儀豫其未萌亦戒終始。女子年七不戲父机。男兒八歲不倨母床。果下不捫首。菰田無摸足。所以然者。遠嫌避疑杜漸消萌也。勸示將來便防未然。吾心以淨無復微翳。譬如蓮華泥水不洿。猶水精琉璃之器也。實如來談。等於母子所以無異。雖知無瑕當為不能者施。王與夫人聞其所言驚然琦之。如妙顏言。年幼八歲尚顧眾難。況年長大三毒未滅者。於是沙彌為說經法。夫人婇女五百餘人悉得道跡。及正后傍臣太子皆發道意。尋時得立不退轉地(出八歲沙彌開解國王經)。

王后生肉棄水遂生二兒為毘舍離人種二

往昔波羅奈國王夫人懷妊。此夫人自知懷妊。而白王言。王即供給養視皆使調適。月滿生肉一段。赤如槿花。諸餘夫人生兒端正。我生段肉無有手足。心生羞恥。若王見者必生惡賤。盛貯器中打金作薄以朱沙題上。是波羅奈國王夫人所生。蓋覆器頭以王印印之。以金薄書置器外。

送放江中。使人棄已。諸鬼神營護使無風浪。時一道士。依牧牛人住於江邊。清朝澡洗遙見此器。拾取見金薄書字。復見有王印印之。便開器看唯見肉段。而作是念。若是死肉久應爛臭。必有異相。將還住所善舉一處。過半月已而成二片。自爾之後復經半月。二片各生五胞。却後半月一片成男。一片成女。男色如黃金。女色如白銀。道士見之。心生愛重如自有子。兩手母指自然出乳。一指飲男。一指飲女。乳入子腹譬如清水摩尼之珠內外明徹。道士號兒。名為離車子(梁言皮薄亦言同皮)道士養此二子極為辛苦。旦入聚落乞食。兼為二子日晏方還。是時牧牛人。見道士為此二子辛苦如是。謂言。大德。出家人正應行道。何為二子妨廢道業。可收乞我我等為養活。道士言善哉。是牧牛人各還到家。明日與諸同伴平治道路。竪立幢幡散雜色花。鳴鼓來迎二子到道士處。白道士言。今此二子時可去矣。道士付囑。此二子者有大福德。不可度量。汝等善好料理。當以乳酪生熟酥五種而供養之。若此二子長大還自共匹對。覓好平博處所安立住止。可拜男為王女為夫人。牧牛人等受教而去。二子年至十六。以平博處縱廣一百由旬。中央起宅。以女嫁男。立為夫婦。後一產二兒一男一女。如是十六過生。諸牧牛人見王子漸多。更開舍宅造諸園地。合三十二人宅舍。如是遂乃三過開廣。故名為毘舍離(出善見律毘婆沙第十卷)。

拘藍尼國王后悟法三

佛與千二百五十比丘。遊拘藍尼國美音精舍。足蹈門閫天地震動。珠璣樂器不鼓自鳴。蠱毒隱伏吉瑞和清。境界人民靡不渴仰。王名優填。強[(一/正)*虎]侵剋開納佞言耽荒女樂。置左右二后。容姿妙絕。左名照堂。憍傲讒嫉。右字該容。常行仁愛。王珍其操每事私焉。該容有老宿青衣。名曰度勝。恒行布香。減省而合集。飯佛及僧。佛為說法。盡心不忘。施訖還宮。持所布香。因此功德。本行所追香氣遠聞。斤兩倍香。該容誥問。首減香錢。飯佛及僧。法深義妙非世所聞。該容聞佛。心生歡喜。自念無因得聞正法。即報度勝。汝為我說。度勝啟曰。身賤口穢不敢便宣如來尊言。乞行詣佛受勅而還。便遣出宮。重告之曰。具受儀式。度勝未還。夫人與侍女側塞中庭。佛告度勝。汝還說法多有度者。說法之儀先施高座。度勝具宣聖旨。該容欣悅。開笥出衣積為高座。承佛威神如應說法。夫人該容及諸侍女疑解得道。度勝得總持。照堂妬責數譖非一。王不肯從。後又說之。王心乃惑。伺其齋時勸王奏樂。請召夫人。王便普召被命皆會。該容持齋獨不應命。反覆三召執節不移。王怒隆盛縛曳殿前。將欲射殺。該容寸心歸佛。王自射兩箭皆還自向。王怖而解之。問曰。汝有何術乃致是耶。對曰。唯事如來歸命三尊。朝奉佛齋過中不食。加行八事莊嚴不近。必是世尊哀愍若茲。王曰。善哉。豈可言也。當詣精舍奉覲世尊。會有敵國興兵入界。王自出征顧命梵志。名曰吉星。權領國政。照堂喜曰。吾父領正殺子必矣。女與父謀遂燒殺該容及諸侍女。詐言失火謂可掩塞。事後發露。王大恚之。遠徙吉星捐於界外。照堂等輩幽之地窟。摧逐邪道。廣闡佛化(出中

本起經)。

末利夫人持齋四

佛在舍衛國。國王群臣莫不歸仰。時有賈客。名曰波利。與五百賈人入海求寶。時海神出揵水。問波利言。海水為多。揵水為多。波利答言。揵水為多。海水雖多不能救飢渴之人。揵水雖少能濟渴乏之命。世世受福不可訾計。海神歡喜。即脫身上八種香瓔。挍以七寶以上波利。波利還國。持此香瓔上波斯匿王。王甚珍奇。即列諸夫人。若最好者以香瓔與之。六萬夫人盡嚴束而出。王問。末利夫人何以不出。侍人答言。今十五日持佛法齋素服不嚴。王曰。如今持齋應違王命乎。如是三反。末利夫人素服而出。在眾人中明如日月倍好於常。王意竦然加敬問曰。有何道德炳然有異。夫人白王。自念少福稟斯女形。情態垢穢日夜山積。人命促短懼墜三塗。是以月日奉佛法齋。割愛從道世世蒙福。王聞歡喜。便以香瓔與之。夫人辭曰。我今持齋不應著此。可與餘人。王曰。我本發意欲與勝者。卿今最勝。又奉法齋道志殊高。是以相與。若卿不受吾將安置。夫人答言。大王勿憂。願王屈意共到佛所。以此香瓔奉上世尊。并採聖訓累劫之福矣。王即許焉。即勑嚴駕往至佛所。白佛言。海神香瓔波利所上。六萬夫人莫不貪得。末利夫人與而不取。持佛法齋心無貪欲。謹以上佛。願垂納受。世尊弟子執心難齊。直信如此豈有福乎。於是世尊為受香瓔。即說偈言。

多作寶華　結步搖綺　廣積德香　所生轉好　琦草芳華　不逆風熏
近道敷開　德人遍香　栴檀多香　青蓮芳花　雖曰是真　不如戒香
華香氣微　不可謂真　持戒之香　到天殊勝　戒具成就　行無放逸
定意度脫　長離魔道(出法句經第二卷)

優達那王妻學道生天五

槃提國王名優達。迦葉佛時出家修道。仰值釋迦皆得道迹。其國殷富人民熾盛。王有二萬夫人。第一夫人。字曰月明。容儀端正王甚愛敬。不過半歲夫人將終相現。王甚憂慼。月明問之。王言。汝壽將終。情愛別離是故愁耳。月明答言。夫生有死。自世之常。何獨憂耶。若隆顧念但放出家。王聽入道。汝若出家設未成道必生天上。若生天上還至我所。聽汝出家。月明即許其誓。喚比丘尼。即捨五欲。多來問訊恭敬供養妨其道業。是故遊行諸國。從出家日數滿六月。持戒清淨厭患世間。得阿那含道。終一聚落即生色天。觀昔因緣於王有約。欲赴本誓。觀王沒於五欲[怡-台+龍]戾難化。直爾而往無以感發。宜以恐逼爾乃降伏。便自變身作大羅刹。衣毛振竪執五尺刀。因王夜臥去之不遠懸在空中。王甚大怖。即語王言。汝雖士眾千萬。今唯屬我不得自在。死時已至何緣自濟。王即報言。我無因緣惟持本所作善。修心清淨死生善處。天言。此最可恃更無餘理。王便問言。汝是何神使我怖畏。天答。我是月明夫

人。王放出家思惟離欲生色天上。今來赴約。王言。汝雖說此我猶不信。復汝本形爾乃可信。天即變為昔形。衣裳服飾如本而立。王欲心發即趣欲捉。月明即昇虛空為王說法曰。此身無常彈指叵保。譬如朝露日出則滅。不惟無常貪著我身。王不見。盛年華色老所吞滅。諸根朽邁。目視不明。耳聽不聰。形敗腐朽無所復堪。譬如釀酒戾取淳味糟無所直。是身既老無所貪樂。唯有死在。身既生死無常與俱。王不見。胎夭幼壯皆死。是身危脆死賊常隨。身心火然但是眾苦。心有三毒身有寒熱飢渴。而不生厭貪著我身。宮人伎女華色五欲。國財妻子悉非我有。死去之時無一隨者。身尚自棄何況餘物。迷沒五欲迴流生死莫知出路。王是智人何不厭離出家求道。王善心生許其出家。月明重化之曰。吾當出家求於妙法受而修行日夕精進翹勤勿懈。說此語已忽然不現。王即禪位太子。捨離五欲。投迦旃延出家為道。時人以其捨重榮利。求正真道。臣吏人民多來供養恭敬問訊方修道業。於是遊行至摩竭國。佛為說法得阿羅漢道。執持瓦鉢入王舍城。乞得宿飯還林坐食。洴沙王出遊詣林。問訊曰。汝本為王出入榮從。今作乞兒獨行匈食。豈可樂耶。汝還罷道分半國治。道人答言。我大國王聚落甚多。今復何緣捨大就小非我所宜。洴沙王曰。汝本食以上味盛以寶器。今執瓦鉢乞殘宿食不亦難乎。汝本為王勇士侍衛。今日單獨豈不恐耶。本在深宮妃妓妙色盈悅耳目。坐以寶床敷以細縟。今日獨宿林野臥坐唯草豈不苦哉。答曰。我今知足無所貪樂。洴沙王曰。卿今可憐。答言。卿是可憐非是我也。所以者何。卿五欲所纏恩愛所驅不得自在。我今快樂心無罣礙。瓶沙聞已即便還去(出雜藏經)。

國王大夫人與一賢者共王造寺六

昔有一人。見浮圖寺。意欲作之。而錢帛不足。發願入海益得金寶。我當作寺國中第一。得金銀還復熟思惟。誰能同意共作寺者。國王常言。我欲作寺塔。今初未作。當珠寶瑛貢上於王。王得歡喜問。何處得此。賢者言。我願作寺不辦獨作。入海得寶當作寺。今安隱還是我一利。至得金寶是我二利。意不貪著興立寺舍是我三利。我猗三利功德今欲作寺。唯無人力功夫。故以聞王。王言。我亦有三利。欲作寺塔身得作王為人中上是我一利。豐饒財寶人兵是我二利。四方皆伏是我三利。當與卿共作寺。王呼五百夫人以珠與之。五百夫人皆自莊飾各欲得珠。唯大夫人獨不裝梳。王問何故。答亦有三利。故得作王夫人。一宮所敬是我一利。生男為太子是我二利。常樂經道欲作佛圖寺是我三利。王言善哉。以珠與之。大夫人以百千兩金助王立寺。王與國中賢者作寺廣千步。皆以金銀刻鏤。王言。唯我三人有此福。我國中人不蒙此耶。遣使街里宣令。誰能多有善意得福無量。有貧窮女唯一小屋乞匈衣食。聞之自責。宿不布施今致困窮。解身布裙向中擲與使者以裙助王。我形裸露無衣可出。王聞驚怪乃有是善心。即勅將來。使者曰。此女人無衣可著。王勅五百夫人。各取一領衣與之。速往迎取。王即見之拜為第二夫人。令教授宮中(出十卷譬喻經第四卷)。

經律異相卷第三十

經律異相卷第三十一(行菩薩道長上諸國太子部上)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 乾陀尸利國王太子投身餓虎遺骨起塔一
- 曇摩紺為法燒身火坑變為花池二
- 忍辱為父殺身三
- 智止以血肉施病比丘四
- 月光破身出血髓以救病人五
- 須闍提割肉供父母命六
- 須大拏好施為與人白象詰擯山中七
- 祇域為梌女所生捨國為醫八

乾陀尸利國王太子投身餓虎遺骨起塔一

乾陀尸利國王太子。不好榮華栖遁山澤。時深谷底有一餓虎。新產七子遇天降雪。虎母抱子已經三日不得求食。懼子凍死守餓護子雪落不息。母子飢困喪命不久。母既飢逼還欲噉子。時諸仙曰。誰能捨身救濟此者。太子曰。善哉吾願果矣。往到崖頭下向望視。見虎母抱子為雪所覆生大悲心。立住山頭寂然入定。即逮清淨無生法忍。觀見過去無數劫事未來亦爾。即還白師及五百同學。吾今捨身願各隨喜。師曰學道日淺知見未廣。何忽自發捨所愛身。太子答曰。吾昔有願應捨千身。前已曾捨九百九十九身。今日所捨足滿千身是故捨耳。願師隨喜。師曰。卿志願高妙必先得道勿復見遺。太子辭師而去。師與五百神仙啼泣滿目送太子到山崖頭。時日有富蘭長者。將從男女五百人齎供上山。見太子捨身悲感涕哭。亦隨太子至山崖頭。太子在眾人前發大誓願。我今捨身救眾生命。所有功德速成菩提。得金剛身常樂我淨無為法身。未度者度未解者解未安者安。我今此身無常苦惱眾毒所集。此身不淨九孔盈流四大毒蛇之所咂螫。五拔刀賊追逐傷割。如此身者為無反復甘饍美味及五欲樂供養。此身命終之後無善報恩。及墮地獄受無量苦。夫人身者唯應令苦不得與樂。又發誓言。今我以肉血救彼餓虎。餘舍利骨。我父母後時必為起塔。令一切眾生身諸病苦宿罪因緣湯藥針炙不得差者。來我塔處至心供養。隨病輕重不過百日必得除愈。若實不虛者諸天降雨香華。應聲雨曼陀羅華地皆振動。太子即解鹿皮衣以纏頭。自投身虎前。虎母得食菩薩肉。母子俱活。時崖頭諸人望見太子。為虎所噉骨肉狼籍。悲號大叫聲動山中。或有椎胸自撲宛轉臥地。或有禪思。或有叩頭懺悔。首陀會諸天及天帝釋四天王等。日月諸天數千萬眾。皆發無上菩提之心。作倡伎樂燒香散華供養太子。而唱是言。善哉摩訶薩埵。從是不久當坐道場。五百仙人皆發無上正真道意。神仙大師得無生忍。夫人遣餉。唯見衣裳傘蓋鉢錫瓶罐在石室中。遍問仙人。十十五五相向啼泣。到大師所。唯見仙師以手支頰涕泣滿目呻吟而坐。周匝推問無肯應對。使者怖

懼。即以飲食施諸仙士走還向夫人具說上事。夫人曰。禍哉吾子死矣。椎胸大叫奔走詣王。王聞迷悶。群臣諫王。太子在山。願王小息。

王及夫人妃后婇女臣佐吏民奔走上山。長者富蘭逆來告王。太子昨日投身巖下以肉飯虎。今唯餘骨狼籍在地共到屍處。王及夫人后妃婇女群臣吏民舉聲悲叫振動山谷。王與夫人伏子屍上心肝斷絕悶不識人。妃前扶頭理太子髮曰。寧令我身碎如塵粉不令我夫奄忽如今。時群臣白王。太子布施誓度群生。非無常殺鬼所侵奪也。及未臭爛宜設供養。即收骸骨出山谷口。於平坦地積栴檀香薪。及香蘇油用闍維之。收取舍利起七寶塔。時太子者我身是。父王者即今我父輸頭檀是。夫人者母摩耶是。后妃者今瞿夷是。闍維者阿難是。山上神仙大師者彌勒是(出菩薩投身飯餓虎經)。

曇摩紺為法燒身火坑變為花池二

昔閻浮提有王名梵天。王有太子字曇摩紺。深樂正法。帝釋化作婆羅門言。我能說法。太子接足禮敬請欲聞之。婆羅門言。我學積久。云何直欲便聞。若能不惜身命及於妻子。入大火坑以見供養者。吾乃與法。太子具如其言。作大火坑。王及夫人婇女。詣宮曉喻婆羅門。乞以國城妻子一為給使。莫令太子投此火中。婆羅門言。吾不相逼隨其意耳。但如此者我不為說。王宣令國內却後七日太子燒身。若欲見者至日早來。合國貴賤一時皆集。求哀固請具說如前。太子語眾人言。我於久遠生死之中喪身無數。人中為貪更相斬害。天上壽盡失欲憂苦。地獄燒煮刀剉解割灰河劍樹痛徹心髓。餓鬼之中百毒鑽軀。畜生之報身供眾口食草負重。持此眾苦空生身命。未曾善心為法。今捨臭穢之形以求清勝。汝等云何欲見前却。吾得佛道施汝五分法身。太子便立火坑上。婆羅門曰。

常行於慈心　除去恚害想　大悲愍眾生　矜傷為雨淚　修行大喜心
同己所得法　擁護以道意　乃應菩薩行

太子聞之便欲投火。時帝釋梵王為捉一手。而難之云。閻浮提內一切生類。賴太子恩莫不得所。今若投火天下喪父何為自沒孤棄一切。太子謝曰。莫遮我無上道心。身投火坑。天地大動。虛空諸天同時號哭淚如盛雨。時烈火坑變成花池。太子坐蓮花臺。諸天雨花乃至于膝。梵天王者今淨飯是。母者今摩耶夫人是。太子者今世尊是(出賢愚經第一卷)。

忍辱為父殺身三

毘婆尸佛時。波羅梹國王聰慧仁賢無有子息。事一山神經十二年祈求不懈。後第一夫人生育一男。性善不瞋人相具足。召諸群臣占其吉凶。即為立字名曰忍辱。及年長大好行布施。於諸眾生等以慈悲。國有六臣。姦偽諂佞枉橫無道人所厭患嫉妒太子。時王重病命在旦夕。忍辱太子告

父諸臣曰。父王危篤今當何為。諸臣曰。妙藥難得命去不遠太子悲悶躃地。惡臣立計欲除太子。啟太子曰。王病須藥藥不可得。太子問曰。為是何物。答曰。是不瞋人。眼睛及髓。若得此藥王命必全。太子曰。我身似是。其人即辭其母。并集諸小國王。自宣令言。我今此身與大眾別。即喚旃陀羅碎骨出髓剜取兩目。臣即擣合奉上大王。王即服之病得除愈。問諸大臣。此藥殊妙除我苦患。諸臣答曰。今此藥者太子所辦。王曰。今何所在。答曰。在外身體傷壞命不去遠。王大悲哭。往到子所其命已終。其母懊惱投身屍上。我有宿罪應末體如塵。乃令我子喪失身命。以牛頭栴檀而闍維之。以其身骨起七寶塔(出大方便佛報恩經第三卷)。

智止以血肉施病比丘四

昔閻浮利王名智力。常護佛法深有至誠。比丘與王有親。王所尊敬國人愛重。王欲見之無有厭足。比丘髀上生大惡瘡。國中醫藥所不能愈。王及二萬夫人皆悉悲念。時王臥夢。有天人來語王言。若欲愈此比丘者。當須生人肉血飲食之即愈。王寤不樂。念是比丘病重乃須此藥。勑問臣下。何從而得生人血肉。時王太子名曰智止。白王。王莫愁憂。人之血肉最為賤物。世人所重道無所違。王曰善哉。太子默然。還齋持刀割髀取肉。及血送與比丘。比丘服之瘡即除愈身得安隱。王聞比丘已得除愈。歡喜悅懌不能自勝。太子自然平復。舉國財寶賜與太子。時至誠意者提和竭羅佛是。智力王者彌勒是也。智止太子我身是也(出月明菩薩三昧經)。

月光破身出血髓救病人五

有月光太子。出行遊觀。癩人見之要車白言。我身重病辛苦懊惱。太子嬉遊獨自歡耶。大慈愍念願見救療。太子聞之以問諸醫。言當須從生及長無瞋之人血髓塗而飲之如是可愈。太子念言。設有此人貪生惜壽何可得耶。自除我身無可得處。即命旃陀羅。令除身肉破骨出髓以塗病人以血飲之。如是等施及施妻子施而無恪。如棄草木觀所施物知從緣有。推求其實都無所得。一切清淨如涅槃相。乃至得無生法忍。是為結業生身行檀波羅蜜(出大智論第十二卷)。

須闍提太子割肉供父母命六

毘婆尸佛像法時。波羅奈國王。名羅閣。唯有三子。各任小國。時王聰叡正法為治不枉人民。王有德力風雨以時五穀豐熟。王所重臣名羅睺羅。心生惡逆忽起四兵伐波羅柰國。斷大王命。續伐第一第二王子。次討第三。第三王子形體姝大端正殊美任性調善語。常含笑發言利益不傷人意。正法治民土地豐樂。國計充盈四方歎美。虛空諸天一切神鬼亦皆敬愛。有一太子名須闍提。聰明慈仁好喜布施。身黃金色七處平滿人相具足。年始七歲其父愛念心不暫捨。時守宮神語王言。羅睺惡逆謀奪國位欲殺父王。尋起師眾伺捕二兄亦已斷命。軍馬不久當復至此。王聞是

語。憂愁懊惱不能自持。心肝崩裂婉轉躃地。良久乃蘇。微聲報虛空中言。卿是何人。但聞其聲。不見其形。向者所宣審實爾不。即報王言。吾是守宮神以王聰明正直不枉人民以是相告。王宜速出其至不久。王思投隣國而有兩道。一道七日行一道十四日行。即盛一人七日糧食。入宮呼須闍提抱著膝上。夫人前問。大王今者似有恐狀。王言。非卿所知。夫人白言。我身與王如鳥兩翅。云何而言不相關預。王報如上。即抱太子便出進路。夫人隨後迷荒失心誤入十四日道。其路險難無有水草。前行數日三人共資糧粒已盡。道路猶遠。王及夫人舉聲大哭。怪哉苦哉從生迄今未曾聞有如是之苦。如何今日身自更之。深自悔責。飢渴所迫命在呼吸。思設方便。不欲三人併死殺婦活我及兒。須闍提見王異相。前捉父手啟言。欲作何等。父悲淚滿目微聲語子。欲殺汝母取其肉血以續汝命。須闍提銜泣啟父。何處有子噉於母肉。既不噉肉子母俱死。願但殺子濟父母命。王聞子言。即便悶絕微聲語子。子如吾目何處有人自挑目而還自食。吾寧喪命終不殺子噉子肉也。須闍提又言。若便斷命血肉臭爛。未經幾日欲求一願。若逆違者非慈父母。時父王語太子言。不逆汝意。須闍提言。唯願日日就兒身上割三斤肉。二分奉供父母。一分自食以續身命。父母泣而從之。得至前路故餘二日身肉轉盡肢節筋骨故相連續餘命未斷。父母抱持舉聲大哭我等無狀。橫噉汝肉使汝苦痛。前路猶遠未達所在。而汝肉盡今者併命聚屍一處。時須闍提微聲諫言。已噉子肉進路至此。父母今者莫如凡人。併命一處為憐愍故莫見拒逆。可於身諸節間淨割餘肉。用濟父母可達所在。父母隨言食竟號叫分別。須闍提起立視父母。父母大哭隨路而去。父母去遠不見須闍提。太子戀慕父母目不暫捨。良久躃地身體新血肉香於十方。面有蚊虻。聞血肉香來封身上。遍體唼食楚毒苦痛不可復言。餘命未斷發聲立誓。願宿世殃惡從是除盡。自今已往更不敢作。今我此身以供養父母。願我父母常得十一餘福。所殘血肉施諸蚊虻皆得飽滿。發是願時。天地六種震動。日無精光禽獸散走。大海波動須彌涌沒。六欲諸天皆悉怯怖下閻浮提。化作師子虎狼之屬。張目搤髭咆地大吼振跳蹤躑來欲搏齧。時須闍提見諸禽獸作大威勢。微聲語言。汝欲見噉隨意取食何為見恐。時天王帝釋即復天身。太子見之歡喜無量。時帝釋問太子言。汝難捨能捨。如是功德為願生天作魔王梵王耶。太子報言。我願成無上菩提。天帝釋言。空有此言誰當信汝。太子誓言。我若欺誑令我身瘡始終莫合。若不爾者令我平復。血反為乳身體平復端正倍常。時天王帝釋頭面禮足歎言善哉。吾不及汝。汝精進勇猛會得菩提願先度我。時天王帝釋。於虛空中即沒不現。時王及夫人得到隣國。隣國聞之。遠出奉迎相見具說上事。供給所須甚稱意望。隣王感念。太子慈孝。即上四兵還與彼王。伐羅睺隨路而歸。欲至先別太子。處收其骸柩前望悲哭。轉近遙見太子身體平復。即前抱持悲喜交集。時須闍提具以上事啟其父母。父母歡喜。共載大象還歸本國。太子福深剋旋本國。即立太子以為大王。時父王者今輸頭檀王是也。時母者今摩耶夫人是。須闍提者今佛身是。時天帝釋者阿若憍陳如是也(出大方便佛報恩經第一卷)。

須大拏好施為與人白象詰擯山中七

昔者葉波國王號濕隨。太子名須大拏。四等普護言不傷人。常願布施拯濟群生。令吾後世受福無窮。愚者不覩非常之變謂之可保。智者照有五家。欲得衣食金銀眾珍車馬田宅無求不與。光聲遠被四海咨嗟。父王有一白象。威猛武勢敵六十惡國來戰象輒能勝。諸王共議。遣梵志八人從乞白象。太子欣然問欲何求對曰。欲乞行蓮花上白象。象名羅閣和檀。太子曰善。金銀雜寶恣心所求。即勅侍者。疾被白象金銀鞍勒。左持象勒。右持金瓶。澡梵志手。慈歡授象。梵志大喜。即呪願竟騎象而去。相國百揆靡不悵然。僉曰。斯象力猛交戰輒勝。今以惠讎國。何所恃。具以白王。王聞慘然久而曰。太子好喜佛道。以周窮濟乏慈育為行無從禁止。假使拘罰。斯無道矣。百揆僉曰。切磋之教議無失矣。拘罰為虐。臣敢聞之。逐令出國置于田野。十年之間令自慚悔。臣等之願也。王即遣使者。語之曰。象是國寶以惠怨乎。不忍加罰疾出國去。使者奉命宣述如斯。太子對曰。不敢違天命。願以私財更七日布施不敢侵國。使者以聞。王即聽許。太子欣然大施窮乏。宣語疾來恣意所欲。七日既竟貧者皆富。妻名曼坻。本諸王女。顏華綽約一國無雙。自首至足七寶瓔珞。謂其妻曰。起聽吾言。大王徙吾著檀特山十二年為限汝知之乎。妻驚視太子泣淚而云。何罪見逐捐國尊榮方處深山乎。答曰。吾用國名象以施怨家王。逮群臣恚逐我耳。妻即發願。願國豐熟王臣兆民富壽無極。唯當建志山澤誓成道矣。太子曰。惟彼山澤恐怖之處。虎狼害獸難為止矣。又有毒蟲魑魅斃鬼。雷電礕礰風雨雲霧甚可怖畏。寒暑過度樹木難依蒺藜礫石非蹠所堪。爾王者之子。生于榮樂長於宮中。衣即細軟飲食甘美。臥則帷帳眾樂聒耳。願即恣心。今處山澤。臥即草蓐食即果菜非人所忍。何以堪之乎。妻曰。細靡眾寶帷帳甘美。何益於己而與太子生離乎。夫王者以幡為識。火以烟為識。婦人以夫為識。吾恃太子猶恃二親。太子在國布施四遠吾輒同願。今當歷嶮而留守榮豈仁道哉。儻有來乞不現我夫心之感結必死無疑。太子曰。遠國之人來乞妻子吾無逆心。爾為情戀儻違惠道者擿絕洪潤壞吾重任也。妻曰。太子布施覩世希有當卒弘誓慎無勘矣。百千萬世無人如卿建佛重任吾不敢違也。太子曰善。即將妻子詣母辭別。稽首于地愍然辭曰。願捐重思保寧玉體。國事鞅掌數以慈諫。無以自由枉彼天民。當忍不可忍。母曰。未有子時結願求嗣。懷妊之日如樹含華日須其成。天不奪願令吾有子。養育成就而當生離。夫人嬪妾不復相敬。太子妻兒稽首拜退。宮內巨細靡不哽咽。出與百揆哀訣俱出城去。靡不竊云。太子國之聖靈眾寶之尊。二親何心而逐之乎。太子坐城外謝諸送者遣之還居。兆民拜伏僉然舉哀傷。或有躃踊呼天音嚮震國。去國已遠坐一樹下。有梵志遠來乞身寶服及妻子。珠璣盡以惠之。令妻子升車執轡而去。始欲就道。又逢梵志匄馬。以馬惠之。自於轅中挽車進道。又逢梵志來匄其車。即以車惠。太子車馬衣裳身寶雜物都盡無餘。令妻嬰女已自抱男。經二十一日乃到山中。太子覩山樹木茂盛流泉美水甘果備焉。鳧雁鴛鴦遊戲其間。太子謂妻曰。樹木參天尠有折傷。群鳥悲鳴泉果甚多。足為飲食唯道是務耳。山中道士皆

守節好學。有一道士名阿珠陀。久處山間甚有妙德。即與妻子詣之。稽首曰。吾將妻子來斯學道。願垂洪慈誨成吾志也。道士誨之。太子則與柴草為屋結髮莞衣食果飲泉。男名耶利。衣小草服從父出入。女名嚫拏延。著鹿皮衣從母出入。處山一宿天為增泉更生藥木。後有鳩留孫貧老梵志。其妻年豐顏華端正。提瓶行汲。道逢年少遮而調之曰。爾居貧乎貪彼老財庶以歸居。彼翁學道希成一人。專愚[怡-台+龍]悞爾將所貪乎。顏狀醜黑鼻正嗣鵜。身體了戾面皺唇侈。言語蹇[病-丙+亟]兩目又青狀類如鬼。舉身無好孰不惡憎。爾為室家將無愧厭乎。婦流淚而去。翁鬚鬢正白由霜著樹。朝夕未死無如之何。歸向其婿具陳是事。若無奴使吾去子矣。婿曰。吾貧何緣卒獲給使乎。妻曰。吾聞須大拏洪慈濟眾徙著山中。其有兩兒乞則惠卿。妻數有言婦愛難違即用其言。尋覓道路逢獵士。獵士素知太子送逐所由。敦然罵曰。吾斬爾首。問太子為梵志遷而懼曰。王逮群臣令呼太子還國為王。答曰。大善喜示其處。逮見小屋。太子亦覩其來。兩兒覩之中心怛懼。兄弟俱白。吾父尚施而斯人遠來。財盡無副必以吾兄弟惠之。携手俱逃。母故掘廕堛容人。二兒入中以柴覆上。自相誡曰。父呼莫應也。太子慰勞之曰。歷遠疲倦矣。對曰。吾自彼來舉身惱痛。又大飢渴。太子設果漿。今故歸窮庶延微命。太子惻然曰。財盡無惜矣。梵志曰。可以二兒給養吾老矣。答曰。吾心無違。太子呼兒。兄弟懼矣。又相謂曰。吾父呼求。必以惠此鬼。違命不應。太子知其隱在堛中。發柴覩之。兒出抱父戰慄涕號言。此是鬼耳非梵志也。兒數覩梵志顏類未有若茲。無以我等為鬼作食。我母採果來歸何遲。今日定死為鬼所噉。母歸索吾。如牛索犢。狂走哀慟。父必悔矣。太子曰。我生布施未嘗微悔。吾以許焉爾無違矣。梵志曰。吾老氣微兒捨遁邁之其母所大子弘惠縛以見付。太子持兒令梵志縛自牽繩端。兩兒躄身婉轉父前哀號呼母曰。天神地祇山樹諸神一哀告母云。兩兒以惠人可一相見。哀感二儀山神作響有若雷震。母時採果中心[怡-台+重][怡-台+重]。仰看蒼天不覩雲雨。右目瞤左蹠痒兩乳流出。母惟之曰。斯怪甚大歸視我兒。委果旋歸惶惶如狂。帝釋念曰。菩薩志隆欲成重任。若及妻到壞其高志。化為師子當道而蹲。婦曰。卿是狩中之王。吾人中王之女俱處斯山。吾有兩兒皆尚微細。朝來未食須望我耳。師子避之婦得進路。迴復於前化作白狼。婦辭如前狼又避焉。又化為虎計梵志遠乃遂退矣。婦覩太子獨出慘然怖曰。吾兒所之而今獨坐。兒常見歸犇走趣吾。跳踉喜笑曰母歸矣。今兒戲具泥象泥牛泥馬泥猪雜巧諸物縱橫于地。覩之心感吾便發狂。將不為虎狼鬼魅盜賊所吞乎。疾釋斯結吾必死矣。太子久而言曰。有一梵志來索兩兒。云。年盡命微欲以自濟吾以惠之。婦聞斯言感躍躄地婉轉哀慟流淚而云。審如一夜所夢。夢覩老貧梵志。割吾兩乳執之疾馳。正為今也。哀慟呼天動一山間。太子覩妻哀慟。尤甚。謂之曰。吾本憚爾隆孝奉尊無求不惠盟誓甚明。而今哀慟以亂我心。妻曰。太子求道厥勞何甚。帝釋諸天僉然議曰。太子道弘普施無盡試求其妻。釋化梵志曰。子懷乾巛之仁。普濟群生布施無逆故來歸心。子妻賢貞德馨遠聞故來乞匄。答曰大善。天地卒然大動天人鬼神靡不歎善。梵志曰。吾是天帝非世庸人也。故來試子。子尚佛慧影範難雙

矣。今欲何願恣求必從。太子曰。願獲大富常好布施無貪踰。今吾父王及國臣民思得相見。天帝曰。善應時不現。梵志喜獲其息。行不覺疲連牽兩兒如得亡役。兒王者之孫榮樂自由。去取二親為繩所縛。結處皆傷哀號呼母。鞭之而走血流丹地。天神愍念解縛愈傷。為生甘果令地柔軟。兄弟摘果更相授啖曰。甘如苑中果。地柔軟如王邊氈[止*毛]矣。兄弟相扶仰天呼母。涕泣流身歸到其家喜笑且云。吾為爾得奴婢二人自從所使。妻覩兒曰。奴婢不爾。斯兒端正手足悅懌不任作勞。孚行衒賣更買所使。又欲往異國。天惑其路乃之本土。兆民識焉僉曰。斯大王孫矣。便以聞王。王呼入宮。宮人巨細靡不噓唏。王欲抱兩兒不就。王曰何故。兒曰。昔為王孫今為奴婢之賤。何緣坐王膝乎。王問梵志曰。緣得斯兒。對之如實。曰賣兒幾錢。梵志未答。男孫勦曰。男直銀錢一千特。牛牸牛各百頭。女直金錢一千特牛牸牛各二百頭。王曰。男長而賤女幼而貴何也。對曰。太子既聖且仁眾所依附。而見遠逐故知男賤也。黎庶之女苟以華色處在深宮。故知女貴也。王曰。八歲孩童而有高士之論。豈況其父乎。宮人巨細聞其諷諫莫不舉哀。王顧皆如數梵志退矣。王抱兩孫坐之于膝曰。向不就抱今來何疾乎。對曰。向是奴婢今為王孫。曰汝父處山何食自供。兩兒俱曰。食菜樹果以自給耳。日與禽獸百鳥相娛亦無愁心。王遣使者迎焉。使者就道。山中樹木俯仰屈伸似有跪起之禮。百鳥悲鳴哀感人情。太子曰。斯者何瑞。妻臥地曰。王意解釋使者來迎神祇助善故興斯瑞。妻自亡兒臥地。使者到乃起拜王命矣。使者曰。王逮皇后損食銜泣身命日衰思覩太子。太子左右顧望戀慕山中樹木流泉收淚昇車。自使者發舉國歡喜。治道掃除預施帳幔。燒香散華伎樂幢蓋。舉國趨蹌稱壽無量。太子入城頓首謝過退勞起居。王復以國藏珍寶都付太子勸令布施。隣國困民似川歸海。宿怨覩之拜來稱臣。貢獻相銜賊寇尚仁偷盜競施干戈厭藏囹圄毀矣。群生永樂十方慶善積德不休。始雖嬰苦今為無盡尊矣。太子後終生兜術天。自天來下生白淨王宮。今吾身是。父王者阿難是。妻瞿夷是。子男羅云是。女者羅漢珠遲母是。天帝釋者彌勒是。射獵者優陀耶是。珠陀者大迦葉是。賣兒梵志者調達是。菩薩慈惠布施如是(出須大拏經)。

祇域為榛女所生捨國為醫八

昔維耶離國。王苑中生一奈樹。枝葉繁茂加有光色香美非凡。王極寶愛。自非宮中尊貴不得啖之。時有梵志。居家饒富一國無雙聰明博達才智出群。王用為大臣。請食設榛畢以一榛實與之。梵志見榛香美非凡乃問曰。此奈樹下寧有小栽可得乞不。王曰。卿若欲得一栽相與。梵志種之。朝夕灌溉枝條茂好三年生實。光彩大小如王家許。梵志大喜自念。我資財無數不減於王。唯無此榛今既得之即無所減。便取食之而大苦澁。乃退思惟。當是土無肥耳。仍捉取乳以飲一牛次第至百煎為醍醐。日日灌之却至明年。實乃甘美。而樹邊生一瘤節。大如手捲。日月增長恐妨其實。適欲斫去。復恐傷樹。遲迴未決。節生一枝。洪直調好高出樹顛。去地七丈。抄生諸枝形如偃蓋。華葉茂好勝於樹本。即作棧閣登

而視之。見偃蓋之中乃有池水。既清且香眾華鮮明。披視華下。有一女兒在池水中。梵志抱取歸家長養。名曰榛女。至年十五顏色端正天下無雙聲聞遠國。有七國王。同時俱來詣梵志所求娉榛女以為夫人。梵志不知與誰。於其園中架一高樓以榛女置上。謂諸王曰。此女非我所生。自出於奈樹之上。今七王俱求。我設與一六當見怒。不敢愛惜。女今在園中樓上。諸王但自評議。應得者取非我所制。七王共爭紛紜未決。其夜洴沙王從伏瀆入登樓就宿。明晨當去。奈女曰。大王幸枉威尊接逮。若其有子則是王種當何所付。王曰。是男還我是女還汝。王即脫手金鐶之印以付奈女曰。以是為信。出語群臣。我已得奈女與共一宿。洴沙軍人皆稱萬歲曰。我王已得奈女。六王聞之便各還去。奈女生男兒。初生時手中把持針藥囊。梵志曰。此國王之子而執持醫器必醫王也。名曰祇域(涅槃等諸經皆云耆婆請磐特比丘經云耆域)至年八歲。聰明學問書疏越倫。與隣比小兒遊戲心常輕諸小兒。諸兒罵曰。無父之子婬女所生何敢輕我。祇域愕然默而不答。便歸問母曰。我視諸子皆不如我。而反罵我言無父之子。我父今者為在何許。母曰。汝父者是洴沙王。祇域曰。洴沙王乃在羅悅祇國。去此五百里。何緣生我。即持此環往羅悅祇國。徑入宮門即到王前。為王作禮長跪白曰。我是王子奈女所生。今年八歲始知是大王種。故奉指鐶印信遠來歸家。王見印文。憶昔有誓知是其子。愴然憐之以為太子。涉歷二年會阿闍世王生。祇域因白王曰。我初生時手把針藥囊。應當為醫王。雖以我為太子非我所樂。王適子生矣。應襲尊嗣。我願得行學醫術。王即聽之。勑國上醫術盡教之。而祇域嬉戲未嘗受學。諸師責謂之曰。醫術鄙陋誠非太子至尊所學。然大王之命不可違廢。受勑以來積有日月。而太子初不受半言。若王問我。我何以對。祇域曰。我生而有醫證在手。故白大王捐棄榮豪求學醫術豈復懈怠。直以諸師之道無足學者故耳。便取本草藥方針脈諸經具難問師。師無能答。反為作禮曰太子神聖非我所及。歷世疑義請太子說。便說其義。諸醫歡喜作禮奉行。祇域便就救療。所治輒愈遠國知名。還於宮門逢擔樵小兒望見五藏縷悉分明。祇域心念。本草經說。有藥王樹從外照內。此兒樵中有藥王樹。即問曰。賣堪幾錢。兒曰十錢。依雇十錢。兒下樵置地。則闇不復見其腹中。祇域思惟。不知束中何者是藥王木。便解兩束一一聚之以著兒腹上。無所照見如是盡兩束樵。最後小枝照見腹內。祇域大喜。知此小枝定是藥王。悉還兒樵。兒歡喜去。時國中迦羅越家女年十五。臨當嫁日忽頭痛而死。祇域聞之往至其家問。女常有何病乃致夭死。父曰。女小有頭痛疾日日增甚朝發致命。祇域以藥王照女頭。見有剡蟲。大小相生乃數百枚鑽食頭腦腦盡故死。便以金刀披破其頭。悉出諸蟲封著甕中。以三種神膏塗瘡。一種補蟲所食骨間之傷。一種生腦。一種治外刀瘡。告女父曰。好令安靜慎莫使驚。七日當愈。到日我當復來祇域適去。女母便更啼哭曰。我子為再死也。豈有破頭鑿腦當復活者。父止之曰。祇域生而把持針藥。捐棄尊位行作醫師。但為一切護治人命。此天醫王豈當妄耶。囑語汝言慎莫使驚。而卿今反啼哭以驚動之。欲令此兒不復生耶。母聞便止哭供養護之。寂靜七日。女便吐氣而寤如從臥覺。曰。我今者了不頭痛。身體皆安誰護我者使得如是。父曰。汝前已

死。醫王祇域故來護汝。破頭出蟲以得更生。便開甓出蟲示之。女見大更驚悕。深自僥倖曰。祇域乃神。如是何報其恩。須臾祇域來至。女大歡喜。出門奉迎作禮跪曰。願為君婢終身以報更生之恩。祇域曰。我為醫師周行治病居無常處何用婢為。必欲報恩者與我五百兩金。我不自用當謝師恩。師雖無以教我。我見嘗為弟子。今得汝金當以與之。女便奉五百兩金。祇域受以與師。因白王暫歸省母。到維耶離國。有迦羅越家兒。好學作一木馬高七尺餘。學習蹁上初學得上馬。後遂失據蹙地而死。祇域聞之。便往以藥王照。復見肝反戾向後氣結不通故死。復以金刀破腹手探料理。還肝向前畢。以三種神膏塗之。其一種者補手所護持之處。一種通利氣息。一種主合刀瘡。囑語其父曰。慎莫令驚三日當愈。父承教勅寂靜養視至於三日。兒便吐氣而寤亦如臥覺。即便起坐。俄而域來。兒出迎禮曰。願為作奴終身供養以報生活之恩。祇域曰。我為醫師周行治病。病者之家爭為我使當用奴為。我母養我勤苦。我未有供養。卿若欲謝我。與我五百兩金。以報母恩。取金以上奈女。還歸羅悅祇國。祇域活此兩人便馳名天下莫不聞知。又南有大國去羅悅祇八千里。洴沙及諸小國皆臣屬之。其王疾病積年不差。恒苦瞋恚睨眥殺人。人舉目視之亦殺。低頭不仰亦殺。使人行遲亦殺。疾走亦殺。左右侍人不知當何措手足。醫師合藥輒嫌有毒亦復殺之。前後所殺傍臣宮女及醫師輩不可稱數。病乃日增其毒氣攻心。煩滿短氣如火燒身。聞祇域名即為下書。勅洴沙王徵召祇域。祇域聞此王多殺醫師大小恐怖。洴沙又憐其年小恐為所殺。適欲不遣畏見誅伐。父子相守晝夜憂愁。乃將祇域俱往問佛。佛告祇域。汝宿命時與我約誓俱當救護天下人病。我治內病汝治外病。今我得佛故如本願會生我前。此王病篤遠來迎汝如何不往。急往護之。趣作方便令病必愈。不殺汝也。祇域便承佛威神。往到王所。診省脈理。及以藥王照之。見王五藏百脈之中。血氣擾擾悉見。是蛇蠆之毒周匝身體。祇域白王。王病可治。治之保愈。然宜見大后諮議合藥。若不見大后藥終不成。王聞此語不解其故。意甚欲怒。然患身病。宿聞祇域之名故遠迎之。冀必有益且見小兒知無姦私忍而聽之。即遣青衣黃門將入見太后。祇域白太后。王病可治今當合藥。宜密啟其方不可宣露。願屏左右。太后即遂遣青衣黃門出。祇域因問太后。向省王病。見王身中血脈悉是蛇蠆之毒似非人類。王為定是誰子。太后以實語我。我能治之。若不語我。我則不知所治。太后曰。我昔嘗於金柱殿中晝臥。忽有來摩我上者。我時恍惚夢與通情。忽然而寤。見有大蠆長三丈餘從我上去即覺有軀。王實是此蠆子也。我為羞恥此未常出口。童子今乃覺之何其神妙。若病可治。願以王命委屬童子。今者治之當用何藥。祇域曰。唯有醍醐耳。太后曰。咄童子慎莫道。此王大惡聞醍醐之氣。又惡聞其名。前後坐口道醍醐而死者數千百人。汝今道此必當殺汝。以此飲王終不得下。願更用他藥。祇域曰。醍醐治毒病。惡聞醍醐是也。王病若微及是他毒為有餘藥可以愈之。蠆毒既重。又已匝體。自非醍醐終不能消。今當煎剋化令成水。乃出見王曰。向入見太后。已啟藥方今當合之。十五日當成。今我有五願。王若聽我病可即愈。若不聽我病不得愈。王問五願盡何等事。祇域曰。一者願得王匣藏中新衣未經軀者與

我衣之。二者願令我得獨出入宮門不使禁訶。三者願得日日獨入見太后及王后亦莫禁呵。四者願王飲藥當一仰令盡莫得中息。五者願得王八千里白象與我乘之。王聞大怒曰。兒子何敢求是五願。從且解之。若不能解今打殺汝。祇域曰。合藥宜當精潔齋戒。而我來日經久。衣服皆被塵垢故欲得王衣著以合藥也。又王前後使諸醫師皆嫌疑之無所委慎。又誅殺之不服其藥。群臣大小皆言王當復殺我。而王病已甚。恐外人生心作亂。若令我自出自入不見禁訶。則外人大小皆知王信我無疑。必服我藥病必當愈。則不敢生逆亂之心也。又言前後殺人甚多。臣下大小各懷恐怖。皆不願王之安隱。無可信者。今共合藥。恐其因我顧睨之間。便投毒藥中。我所不覺則非小故思惟。天下可信者恩情無厭。唯有母與婦。故欲入見大后與共合藥當煎。十五日乃成故欲日日得入伺候火齊耳。又藥有齊數氣味宜當相及。若其中息則氣不相係也。又乃南山中有神妙藥草。去此四千里。王服藥宜當即得此草。重復服之故欲乘此象詣往採之。朝去暮還令藥味相及也。王意大解。皆悉聽之。於是祇域煎剋醍醐十五日成化如清水。凡得五升便與大后王后。俱出奉藥白可服。願被白象置殿前。王即聽之。王見藥但如清水一服便盡。祇域便乘象徑去歸其本國道。適行三千里年幼微弱不堪疾迅頭眩疲極臥息山間。過中王噫出醍醐氣。怒曰。小兒子敢以醍醐中我。怪小兒所以求我白象。正欲以叛去耳。王有勇士。名曰烏。神足能行。即勅逐取小兒還。我目前捶而殺之。烏行及之曰。汝何故以醍醐與王。而言是藥王令我追呼汝還。汝急隨去陳謝自首庶望得活。若故欲走今必殺汝終不得脫。祇域自念我雖方便求此白象。故復不脫。今當復作方便何可隨去。乃謂烏言。我朝來未食還必當死。寧可假我須臾得於山間。啖果飲水絕而就死乎。烏見祇域小兒懼死言辭辛苦。矜而聽之曰。促食當去不得久留。祇域乃取一梨喫食其半。以毒藥著爪甲中以分餘半便置於地。又取一坏水先飲其半。又行爪下毒於餘水中復置於地。乃歎曰。此水及梨皆是天藥。清香且美。其飲食者令人身安。百病皆愈氣力兼倍。恨其不在國都之下。百姓當共得之。而在深山之中人不知也。便進入山索求他果。烏性既貪舐不能忍於飲食。又聞祇域歎為神藥。亦見祇域已飲食之。謂必無毒。便食餘梨飲餘水。即便下痢。痢如注水。躃地而臥。起輒眩倒。不能復動。祇域往語之曰。王服我藥病必當愈。然今藥力未行餘毒未盡。我今往者必當殺我。汝無所知。趣欲得我以解身負故使汝病。病自無苦慎莫動搖三日當差。若遂起逐我必死不疑。便上象而去。過語墟聚伍長曰。此是大國王使。今忽得病。汝等急往輿取。歸家好養護之。厚其床席給與靡粥慎莫令死。若令死者王滅汝國。語畢便去遂歸本國。伍長承勅。迎取養護三日毒歇。下給便歸。見王叩頭自陳曰。我實愚癡違負王教。信祇域言飲食。其餘果水。為藥所中下痢三日始今且差自知當死。比烏還三日之中王病已差。悔遣烏行。見烏來還。且喜且悲曰。賴汝不即將兒來。當我恚時必當捶殺。我得其恩今得生活。而反殺之逆戾不可即料。前後所枉殺者悉更厚葬。復其家門賜與錢財。思見祇域欲報其恩。即遣使者奉迎祇域。祇域雖知王病已。差猶懷怖畏不欲復往。佛告祇域。汝今宿命已有弘誓願成就功德。何得中止應當更往。汝已治其外病我亦復治其內

病。祇域便隨使去。王見祇域甚大歡喜。引與同坐把持其臂曰。賴蒙仁者之恩今得更生。當何以報當分國土以半相與。宮內婇女庫藏寶物悉當分半。祇域曰。我本為太子。雖實小國亦有民人。珍寶具足。不樂治國故求為醫當行治病。當用土地婇女寶物為皆所不用。王前聽我五願。外病得愈。今若復聽我一願。內病復除。王曰。唯聽仁教。請復問之。祇域曰。願王請佛從受明法。為王說佛功德。王聞大喜曰。今欲遣烏臣以白象迎佛可得致不。祇域曰。不用白象也。佛遙知心念。但齋戒清潔辦諸供具燒香遙禮長跪請佛佛必自來。王如其言。佛與千二百五十比丘俱來飯食已畢。為王說經。王即開解發無上道心。舉國大小皆奉五戒。柰女生時既有奇異。長又聰明從父學問。博知經道星歷諸術有勝於父。加達音樂聲如梵天。諸迦羅越及梵志家女合五百人皆往從學以為大師。柰女常將五百弟子講授經術。或相與遊戲園池及作音樂。國人不解其故。便生誹謗呼為婬女。五百弟子皆號婬黨。柰女生時。國中復有二女俱產。一須蔓女。二波曇女。須蔓女者生在迦羅越家常笮。須曼以為香膏。笮膏石邊忽作瘤節。大如彈丸。長如手捲。石便爆破。見石節中耿如熒火。射出墮地三日而生須曼。又三日成華。中有小女。迦羅越取而養之。名須曼女。及年長大才明智慧亞次柰女。波曇女者有梵志家。浴池之內生青蓮華。日日長大如五升瓶。華舒見中有一小女。梵志養之名曰波曇女。年長大才智明達如須曼女。諸國王聞此二女顏容絕世。交來求娉。二女曰。我生不由胞胎。乃出草華之中。與凡人不同。何宜當隨世俗乃復嫁娶。聞柰女聰明遍世無匹。生又與我同體。皆辭父母往事柰女求作弟子。明智博達皆勝五百人。佛時到維耶離國。柰女師諸弟子出城奉迎禮佛跪言。願佛明日我園中食。佛默然受。王出宮迎。又請明日宮食。佛言。柰女前請王後之矣。王曰。我為國主至心請佛必望哀許。柰女但是婬女。日日將從五百弟子行作不軌。佛何為捨我而應其請。佛言。此女非婬。其宿命有大功德已供養三億佛。昔又常與須曼波曇俱為姊妹。柰女最大須曼次之。波曇最小生於大姓家。財寶饒富姊妹相師共供養五百比丘尼。施設飲食及作衣服隨所乏無皆悉供之盡其壽命。三人誓言。願我後世值佛自然化生。不由胞胎遠離穢濁。今如本願生得值我。昔雖供養五百比丘尼。既生豪富言語嬌縱。時戲尼曰。諸道人等抱悒日久必當欲嫁。迫我供養不得恣情耳。故今者受此餘殃。雖講經道而虛被婬謗。此五百弟子時併力同心今生復得相隨。祇域時為貧家小兒柰女見供養意甚慕樂而無資財。乃常為比丘尼掃除淨已。輒復念言。願我能除天下人病。柰女憐其貧。又加其勤常呼為子。其比丘尼輩有疾病者。常使祇域迎醫及合湯藥。僉曰。願汝後世與我共獲是福。祇域迎醫所治悉愈。乃誓曰。願我後身為大醫王常治一切人身四大之病所向皆愈。王聞佛言。乃自悔過。却期後日。佛明日便與諸比丘到柰女園。具為說本願功德。三女聞經皆悉開解。及五百弟子皆得阿羅漢道(出柰女經)。

經律異相卷第三十一

經律異相卷第三十二

梁沙門僧旻寶唱等集

- 能施王子入海採寶緣一
- 善友好施求珠喪眼還明二
- 長生欲報父怨後還得國三
- 遮羅國儲形醜失妃運智還得四
- 慕魄不言被埋後言得修道五
- 薩埵王子捨身六
- 人藥王子救疾七
- 有一王子聞宿命事怖求以還佛八
- 無畏王孫耆婆學術九

能施王子入海採寶緣一

釋迦文尼佛本身作大醫王。療一切病。不求名利為憐愍眾生故。病者甚多力不周救。憂念一切而不從心。懊惱而死即生忉利天上。自思惟言。我今生天但食福報無所長益。即自方便自取滅身。捨此天壽。生婆迦陀龍王宮中。為龍太子。其身長大父母愛重。欲自取死就金翅鳥王。鳥即取此龍子於舍摩利樹上吞之。父母嘷咷啼哭懊惱。龍子既死生閻浮提中。為大國王太子。名曰能施。生而能言。問諸左右。今此國中有何等物。盡皆持來以用布施。眾人怪畏皆捨之走。其母憐愛獨自守之。語其母言。我非羅刹眾人何以故走。我本宿命常好布施。我為一切人之檀越。母聞其言以語眾人。眾人即還。母好養育及年長大自身所有盡。至父王所索物布施。父與其分復以施盡。見閻浮提人貧窮辛苦思欲給施。而財物不足便自啼泣。問諸人言。作何方便當令一切滿足於財。諸宿人言。我等曾聞。有如意寶珠。若得此珠則能隨心所索無不必得。白其父母欲入大海求龍王頭上如意寶珠。父母報言。我唯有汝一兒耳。若入大海眾險難度。一旦失汝我用活為。我今藏中猶亦有物當以給汝。兒言。藏中有限我意無極。欲充滿一切令無短乏。願見聽許得遂本心。使閻浮提人一切充足。父母知其志大不敢制之遂放令去。是時五百賈客皆樂隨從。知其行日集海道口。太子問眾人言。誰能知道至彼龍宮。有盲人名曰陀舍。已曾七反入大海中具知海道。菩薩即命共行。答曰。我年既老兩目失明。雖曾數入今不能去。菩薩言。我今此行不為自身。普為一切求如意寶珠。欲給足眾生令身無乏。次以道法因緣而教化之。汝是智人何得辭耶。我願得成豈非汝力。陀舍周懷答言。我今入海命必不全安。我屍骸著金沙洲上。船去如馳。到眾寶渚。眾賈競載寶物已足。問大子言。何以不取。報言。我所求者如意寶珠。此有盡物我不須也。汝等各當知足知量無令船重不自免也。是時眾賈白菩薩言。大德為呪願令得安隱。於是辭去。陀舍是時語菩薩言。別留艇舟當隨別道。待風七日博海

南岸至一險處。當有絕崖棗林枝皆覆水。大風吹船船當摧破。汝當仰援棗枝可以自濟。我身無目於此當死。過此隘岸當有金沙洲。可以我身置此沙中。金沙清淨是我願也。即如其言風至而去。既到絕岸如陀舍語。菩薩仰援棗枝得以自免。置陀舍屍安厝金地。於是獨去。如其先教。深水中浮七日。齊咽水中行七日。齊腰水中行七日。泥中行七日。見好蓮花鮮潔柔軟。自思惟言。此花軟脆當入虛空三昧。自輕其身行蓮花上七日見諸毒蛇。念言。含毒之虫甚可畏也。即入慈心三昧。行毒蛇頭上七日。蛇皆擎頭授與菩薩令踰上而過。過此難已。見有七重寶城有七重塹。塹中皆滿毒蛇。有二大龍守門。龍見菩薩形容端正相好嚴儀能度眾難得來至此。念言。此非凡夫。必是菩薩大功德人。即聽令前徑得入宮。龍王夫婦喪兒未久猶故哀泣。見菩薩來龍有神通知是其子。兩乳流出。命之令坐。而問之言。汝是我子。捨我命終生在何處。菩薩亦自識宿命知是父母。而答母言。我生閻浮提上。為大國王大子。憐愍貧人飢寒勤苦不得自在故來至此。欲求如意寶珠。母言。汝父頭上有此寶珠以為首飾難可得也。必當將汝入諸寶藏隨汝所欲必欲與汝。汝當報言。其餘雜寶我不須也。唯欲得大王頭上寶珠。若見憐愍願以與我。如此可得。即往見父。父大悲喜歡慶無量。愍念其子遠涉艱難乃來至此。指示妙寶隨意與汝須者取之。菩薩言。我從遠來願見大王求王頭上如意寶珠。若見憐愍當以與我。若不見與不須餘物。龍王報言。我唯有一珠常為首飾。閻浮提人薄福下賤不應見也。菩薩白言。我以此故遠涉艱難冒死遠來。為閻浮提人薄福貧賤。欲以如意寶珠濟其所願。然後以佛道因緣而教化之。龍王與珠而要之言。今以此珠與汝。汝既去世當以還我。答曰。敬如王言。菩薩得珠。飛騰虛空如屈申臂頃到閻浮提。人王父母見兒吉還。歡悅踊躍抱而問言。汝得何物。答言。得如意寶珠。問言。今在何許。白言。在此衣角裏中。父母言。何其太小。白言。在其神德不在大也。白父母言。當勅城中內外掃灑燒香懸繒幡蓋持齋受戒。明日清旦以長木為表以珠著上。菩薩是時自立誓願。若我當成佛道度脫一切者。珠當如我意願出一切寶物。隨人所須盡皆備有。是時陰雲普遍雨種種寶物衣服飲食臥具湯藥。人言所須一切具足。至其命盡常爾不絕。如是等名為菩薩布施生精進波羅蜜(出大智論第十二卷)。

善友好施求珠喪眼還明二

過去閻浮提。一時有二王。利師跋國王名月。波羅梌國王名月蓋。同意周旋無有嫌郤。當共立約。若生兒子兩通姻好。月蓋王男女俱無。為欲求兒。祠於水神乃至種種鬼神。修羅吒河邊有二五通神仙。河神白王。若二仙願生王家者王當有兒。王至仙人所說言。生我家者五欲自恣快樂無乏。仙人答曰。可爾。却後七日其一仙人命終(賢愚經云金色仙人)即入第一夫人胎。復經七日其一仙人又復命終。處第二夫人胎。第一夫人足滿九月。乃生一男顏色端政。當生之日五百估客從海而歸。五百伏藏無端發出。五百死囚從獄解脫。第二夫人生。多有怪異野干鳴。阿修羅捉日。五百應死者自就而死(出四分律三分第九卷)王甚歡喜。即請召相師占其吉

凶令立名字。相師問言。此兒生時有何瑞相。答言。第一太子其母弊姤憍慢自大。從懷子來其性調善和顏悅語慈愍眾生。相師答言。兒福德使然。名曰善友(四分律云善行賢愚經云迦良那伽梁言善事)。第二夫人生者問瑞相。答言。其母由來調善言適眾心。懷妊已來其性卒暴發言麁惡。相師答言。是兒之行使母如是。名曰惡友(四分律云惡行。賢愚經云彼婆伽梨梁言惡事)至年十四。善友太子聰明慈仁好喜布施。父母偏念視如眼目。惡友暴惡父母所憎而不喜見。姤嫉於兄常欲毀害。觸事不從違逆反戾。太子導從前後作倡伎樂。大眾圍遶出城觀看。見有耕者墾土出蟲烏隨啄食愍而傷之。問左右言。此作何物共相殘害。答言。國依於民民依飲食食依耕種。大子言。苦哉苦哉。前行復見男女紡織。又問。此作何物。答言。紡織作諸衣服以遮慚愧陰覆五形。太子言。此亦勞苦非一也。轉復前行見人屠牛剝羊。又問。此復是何。答言。屠殺賣肉以供衣食。太子言。怪哉苦哉。強弱相害結殃累劫。轉復前行見網鳥餌魚。又問。又答。張鳥捕魚。太子悲淚滿目。世間眾生造諸惡本眾苦不息憂愁不悅即迴車還宮。王問。何故憂愁。太子具以上答。王言。未嘗不有何足愁也。太子言。今欲從王求索一願。願得國藏財寶用施一切。王言隨意。太子即使傍臣開王庫藏。以五百大象負載珍寶出四城門。宣令國土隨有所欲恣意自取。善友太子聲聞八方一切運集。未久之間三分用一。藏臣白王。王宜思量。王言。不欲違之。後復經少時。諸臣共議。國依庫藏庫藏空竭國亦虛矣。復往白王。所有財寶三分用二。王宜深思。王言。不欲違之。卿等可小稽遲莫令稱其心也。太子欲開庫藏。時守藏臣緣行不在。鄭重追逐差互不遂。太子言。小人何敢違逆我意。當是父王教耳。夫孝子者不應傾竭父母庫藏。我今應當自求財寶給足眾生。我若不能給足一切眾生衣被飲食稱意與者。云何名為大王。太子即集諸臣百官共議言。夫求財利何業最勝。或言田種或言畜養。有一大臣言。世間求利莫先入海採取妙寶。若得摩尼寶珠者便能稱意給足一切眾生。太子言。然即以白王。王聞咽不得語。後語太子。國是汝有。庫藏珍寶隨意取用何為入海。汝為吾子生長深宮。臥則幃帳食則恣口。今遠涉途路飢渴寒暑誰得知者。大海之中眾難非一。或有惡鬼毒龍猛風波浪水色之山摩竭大魚。往者千萬達者一兩。汝今云何欲入大海。太子即便五體投地四布手足而作是言。父母若不聽者我便捨命終不復起。王及夫人即前勸諫終不飲食到於六日。父母憂恐畏其不濟。七日捉手善言誘喻。太子言。父母若不許者必沒於此。第一夫人白王言。如子心意難可傾動不可違度。何忍見子捨命於此。願王垂愍聽入大海。故萬有一冀。今不聽者必喪於此。王便聽許。太子歡喜頭面禮王。大王宣令誰欲入海。眾人聞之歡喜聚集。其五百人皆言。大王我等今者隨從太子。有一海師前後數反入於大海。善知道路通塞之相。而年八十兩目朦盲。王白導師。吾唯一子未更出門。勞屈大師隨入大海。願見隨從。導師即告曰。大海留難辛苦非一。往者千萬達者一二。大王云何能令太子遠涉險道。王報導師。為憐愍故隨從聽許。導師言。不敢違逆。太子莊嚴五百人行具載至海邊。惡友念言。善友為父母偏心愛念。今入大海採取妙寶。若得還者父母當遺棄我。白父母言。欲隨善友入海採寶。父母答言。隨意道路急難之時兄弟

相隨必相救護。及至大海以七鐵鎖鎖其船。船停住七日。日初出時太子擊鼓唱令。汝等諸人誰欲入海。入者默然。若戀親愛可還去矣。大海之中留難非一。大眾默然。即斷一鎖舉著船上。日日唱令至第七日。即斷七鎖望風舉帆。太子慈心福德力故無諸留難。得至海洲至珍寶山。太子擊鼓宣令。道路懸遠速載珍寶。極停七日。復作是言。此寶甚重。閻浮提中亦無所直。莫大重載船舫沈沒不達所在。莫過少取道路懸遠不足補勞。裝束已訖與諸人別。而作是言。汝等於是善安隱歸。吾方欲前進採摩尼寶。太子與盲導師。更次前進。路行一七日水齊到膝。復更前行一七日水齊到頸。又復前進一七日浮而得渡即到寶處。導師問言。此何物地。太子答言。其地純是白銀沙。導師言。四望應當有白山汝見之未。太子言。東南方有一白銀山至此山下。導師言。次應到金沙。導師疲乏悶絕躃地語太子言。我命不久必喪於此。太子於是東行一七當有金山。從山復更前進一七純是青蓮華。復前行一七其地純是紅赤蓮華。復過一七有大寶城。純以七寶裝挍龍王所止。龍王耳中有一摩尼如意寶珠。汝往從乞。若得珠者能滿閻浮提雨眾七寶衣被飲食醫藥聲伎隨意能出。名如意珠。導師語已氣絕命終。太子抱持舉聲悲哭。一何薄命生失於汝。即埋著地中。金沙覆上。右遶七匝頂禮而去。前過金山見青蓮華。下有青蛇。此蛇有三種毒。所謂噛毒觸毒氣噓毒。此諸毒蛇以身遶蓮華。張目喘息而視太子。太子即入慈心三昧。起進前路蹋蓮華葉。時諸毒蛇不毀不傷至龍王住處。七重城塹滿中毒龍共相蟠結舉頭交頸守護城門。太子到城門外。見諸毒龍即慈心。念閻浮提一切眾生。今我身若為此毒龍所害者。汝等眾生皆失大利。即舉右手告毒龍曰。汝等當知。我為一切眾生欲見龍王。毒龍開路令太子入。見二玉女紡頗梨縷。太子問曰。汝是何人。答言。我是龍王守外門婢。入到中門下見四玉女紡白銀縷。太子復問。汝是龍王婦耶。答言非也。是龍王守中門婢耳。太子入至內門見八玉女紡黃金縷。太子語言。汝是何人。答言。我是龍王守門婢耳。太子言。汝為我通大海龍王云。閻浮提波羅榇國王太子善友欲來相見今在門下。時守門者即以白王。王大疑怪。若非福德純善之人無由遠涉險路。即請入宮王出奉迎。紺琉璃為地七寶有種種光明耀動人目。太子說法示教利喜。讚說施論戒論人天之論。龍王心喜。遠屈塗涉欲須何物。太子言。大王。閻浮提一切眾生為衣服飲食受無窮之苦。今欲從王乞左耳中摩尼寶珠。龍王言。受我微供一七日當以奉給。太子受龍王請。過七日持珠還閻浮提(賢愚經言。到七寶城門堅閉見金剛杵在其門邊如師戒語取杵撞門門有五百天女為持寶珠來奉太子最前一女珠琉璃色受結衣角耳)龍王使諸龍神飛空送之。得到此岸。見弟惡友問言。汝徒黨伴侶今何所在。答言。船舫沈沒一切死盡。唯弟一身牽持死尸而得全濟。一切財物今皆已盡。善友言。天下大寶莫先己身。弟言不爾。人願富死不願貧生。何以知然。弟曾至塚間聞諸死鬼作如是論。善友真直以實語弟。汝雖失寶亦是閑耳。吾今已得龍王如意寶珠。弟言。今在何處。善友言。今在髻中。弟聞生嫉妒白善友言。快哉甚善。得此寶珠宜加守護。善友解珠與弟而誡之言。汝若疲臥我當守護。我若眠時汝應守護。時惡友次應守珠。其兄眠熟。起取二乾竹刺刺兄兩目(四分律云。以佉羅陀樹刺之)奪珠而去。善友喚惡友。此有賊刺

我兩目持寶珠去。惡友不應。兄便懊惱恐為賊殺。如是高唱聲動神祇經久不應。樹神發聲言。汝弟惡友是汝惡賊。刺汝兩目持寶珠去。太子悵然憂恚苦惱。惡友齎珠還國白父母言。我身福德而得全濟。善友與伴沒水死盡。父母大哭悶絕躃地。語惡友言。汝云何乃能提是面來。惡友聞是語已心生懊惱。即以寶珠埋著土中。善友被刺無人為拔。徘徊婉轉靡知所趣。當時苦惱大患飢渴。求生不得求死不得。漸漸前行到利師跋國。其王有女。先許與波羅榇王子善友。有一牧人為王放五百牛隨逐水草。太子坐在道中。牛群垂逼。牛王騎太子上令諸牛過。然後移足右旋婉轉反顧迴頸吐舌舐太子兩目拔出竹刺。牧人見之問言。汝是何人。善友不陳本末。答言。我是盲乞兒耳。牧人遍察。有異人相語言。我家在近。當供養汝。即將還家與種種飲食。誡勅家人。汝等待之如我不異。經月餘日其家厭患。善友悵然明旦白主人言。我今欲去。主人曰。有何不適。善友曰。客主之儀勢不得久。善友言。若念我者。乞我一鳴箏送我著多人聚落。時主人即隨意供給送到利師跋城多人眾處。善友彈箏。其音和雅悅可眾心。一切大眾共給飲食。王有一果園。其園茂盛常患鳥雀。時守園監語善友言。為我防護鳥雀。我相供給。我以繩結諸樹頭安施銅鈴。汝坐樹下聞鳥雀聲牽挽繩頭。善友言。如是。我能安處樹下兼復彈箏以自娛樂。時利師跋王女侍從入園。見此盲人即往其所問言。汝是何人。答言。盲乞人耳。王女心生愛念不能捨離。王復遣使往喚女歸。女言不去為我送食。供此盲人飲食訖竟。白大王言。王今持我與此盲人甚適我願。王言。鬼魅著汝顛狂心亂云何欲與盲人共居。父母先以汝許與波羅榇王太子善友。善友入海未還。汝今云何為乞人婦。女言雖爾乃至捨命終不捨離。王聞是語不能拒逆。即遣使迎盲人來閉著靜室。王女語盲人云。我今共汝以作夫婦。善友報言。汝是誰家女欲為我婦。答言。我是利師跋王女。善友報言。汝是王女。我是乞人云何能相恭敬。婦言。我當盡心供奉。後婦出行不白其夫良久乃還。善友責數汝私出外而不白我何處行還。婦言。我不私行。婿言私與不私誰當知汝。婦自呪誓。我若私行令汝兩目始終不差。若不爾者使汝一目平復如故。作是願已平滿如故精光清徹。婦言。汝信我不。善友含笑。婦言。汝不識恩養。我是大國王女。汝是小人而我盡心供事。於汝而不體信。婿言。汝識我不。答我識汝是乞人。婿言非也。我是波羅榇王善友太子。婦言。汝大愚癡人云何乃發是言。波羅榇王太子入海未還。汝今妄言吾不信也。善友言我從生來未曾妄語。婦言。虛之與實誰當信之。婿言。我若欺誑汝者使我一目永不得愈。若實語者使我一目平復如故令汝得見。即如所誓睛光耀動如本不異。善友太子兩目平復面首端正妙色超絕。婦見歡喜。如蒙賢聖遍體瞻視目不暫捨。即入宮中白父王言。今我夫者即是善友太子。王言癡人。善友未還云何名乞人為太子也。女言不也。若不信者可一視之。王即往看。識是善友。即懷恐怖而作是言。波羅榇王。若聞此事嫌我不少。即前懺謝善友太子我實不知。太子言。無苦為我餉。致給與此牧牛人。王即以金銀珍寶衣被飲食。并與所放五百頭牛。其人歡喜稱善無量。而我未有幾恩報。我如是高聲唱言。夫陰施陽報弘廣無量。大眾聞者皆發施心。善友未入海時養一白雁。衣被飲食行

住坐臥而常共俱。夫人報此雁言。太子在時常共汝俱。今生死未分汝不感念太子。雁即悲鳴婉轉啼淚報言。欲覓太子。夫人手自作書以結雁頸。身昇虛空飛翔而去。飛至大海求覓不見。次第往到利師跋國。遙見善友在宮殿前。其雁往趣悲鳴歡喜。太子即取母書頭頂禮敬發封披讀。即知父母晝夜悲哭追念。太子兩目失明。太子手書以具上事書結雁頸還波羅榛。父母得書歡喜踊躍稱善無量。具知太子為惡友所苦奪取寶珠。父母杻械惡友閉著牢獄。遣使往告利師跋王。汝今云何擁遮太子令我憂苦。利師跋王心生恐怖。即嚴服太子送著界上。遣使往白。以女妻之遣送還國。父母乘大名象。作倡妓樂掃灑燒香懸繒幡蓋遠迎太子。國土人民男女夫婦聞太子還皆出奉迎。太子前禮父母。父母目冥不見太子。以手捫摸汝是善友非我等念汝憂苦如是。太子問訊父母起居訖竟。太子白父王言。惡友何在。王言。今在牢獄。太子言。願放惡友得與相見如是至三。王不忍拒便勅出之。即前抱持善言誘喻軟語問訊。汝極勞苦持我寶珠今在何處。如是至三。而方報言。在彼土中。太子還得寶珠。往父母前跪燒眾妙香即呪誓言。此珠是如意寶者。令父母兩目明淨如故。尋時平復見子歡喜。太子於月十五日朝。淨自澡浴著鮮潔衣燒妙寶香。於高樓上手捉香爐頭面頂禮摩尼寶珠。立誓願言。我為閻浮提一切眾生。忍此大苦求是寶珠。時東方有大風起。吹去雲霧曒然明淨。并閻浮提所有糞穢大小便利灰土草莽清風吹盪悉令清淨。以珠威德。於閻浮提。遍雨成熟自然粳米。香甘軟細色味具足。溝渠盈滿積至于膝。次雨衣服珠環釵釧。次雨七寶眾妙伎樂。眾生所須皆悉充足。後月蓋王崩即嗣立焉。惡友啟曰。我乞食自活。王言。汝守護我頸我與汝食。王復睡眠。拔刀欲斬王首而其首自墮。王覺問之。答曰。天造其業。時父者今悅頭檀是。時母者今摩耶夫人是。惡友者提婆達多是。月王女者瞿夷是。善友者我是也(出報恩經第四又出賢愚經第二生經大同小異)。

長生欲報父怨後還得國三

昔有菩薩。為大國王。名曰長壽。王有太子。名曰長生。王治以正刀杖之苦不加吏民。風雨以時五穀豐饒。有隣國王。立行暴害不修正治國民貧困。謂傍臣曰。聞長壽王多饒豐樂無兵革之備我欲奪取。臣曰大善。興兵攻伐。長壽王告群臣曰。彼貪我財。若與交戰必傷我人民。夫爭國殺民吾不忍也。群臣不從。發兵出界迎而拒之。王與太子踰城幽隱。貪王入國募求長壽賞金千斤錢千萬。後王出道邊樹下。遇婆羅門問何處來。答曰。我貧道士。聞長壽王好施遠來告乞。王默念。值我失國。垂淚曰。我即是王也。遇我如此無可相嗣。兩人啼泣。王曰。我聞新王求我甚重。卿持我頭詣之必獲厚賞。婆羅門曰。我之薄福不敢承命。王曰。卿故遠來遇我困乏。人生會有死。願以相惠何為辭讓。答曰。何忍相殺。必欲惠施者願相隨還國。於是同反臨至城門。王令其縛白貪王。貪王即賞金錢遣令還去。於四街道欲燒殺長壽。郭邑草野莫不呼天。大子聞之。出當父前心中悲痛。父恐子報怨讎。乃仰天歎息曰。此死我之所樂也。欲為至孝使汝父死不恨勿報怨也。長生不忍見父死還入山中。

王既死後長生念言。我父仁義深篤至死不轉。貪王無狀不別善惡。枉殺我父我不能忍。若不殺之終不苟生。乃出傭賃大臣借其種菜菜好。大臣問園監。監答。借得一人甚懃能也。大臣呼長生問言。卿能作飲食不。答曰能。後乃請王飲食甘美。王問誰作。答曰作人。王即呼還宮使作飲食。王後問曰。汝能習兵法不。對曰最便。王使侍左右。告之曰。我有怨家恒恐相值。今相恃怙相助備之。對曰唯。當為王展力効命。後日王問。寧好獵不。對曰。臣少好獵。王便勅外嚴駕因與長生共出遊獵。適入山林便見走獸。王與長生馳而逐之。轉入深山失道三日。遂至飢困。王因下馬解劍以授長生曰。我甚疲極汝坐我欲枕汝膝臥。長生拔劍欲殺貪王。思其父勅內劍而止。如是三過。王便驚寤問長生曰。我夢見長壽王子欲來見害。長生曰。是中強鬼來相恐耳。最後云原殺。長生曰。我是即長壽王太子故來欲殺大王。我父臨死苦囑莫報王怨。我思父教投劍於地以從父勅。雖爾猶恐後日迷惑失計。願大王便殺我身。王乃自悔曰。我為兇逆。不別善惡。賢者子父行仁淳固至死不轉。而我貪酷初不覺知。今日命屬子手。子故懷仁。惟憶父言。寧不相害。誠感厚恩。今欲還國當從何道。長生言。我知道徑前故迷王欲報父怨耳。遂俱出林便見部曲。王還本國以此國還太子共結兄弟誓不侵奪。更相貢遺共濟急難。長壽王者我身是。太子者阿難是。貪王者調達是(出長壽王經)。

遮羅國儲形醜失妃運智還得四

昔遮羅國王。適后無嗣。王甚悼焉。命曰。爾歸汝宗以求有嗣之術。后泣辭退。誓命自捐投隕山阻遂之林藪。帝釋感曰。斯王后者故世吾姊也。今以無嗣捐軀山險。愴然愍之。忽爾降焉。以器盛果授之曰。姊爾吞斯果必有聖嗣。將為世雄。若王有疑以器示之。斯天王神器明證之上者。后仰天吞果忽然不覩即覺身。重還覩王具以誠聞。月滿生男。厥狀厄陋世間希有。年在齠齔聰明博暢智策無籌。力能躠象走獲飛鷹舒聲震嚮若師子吼。名流遐邇八方咸嗟。王為納隣國之女。厥名月光端正妍雅世好備足。次有七弟。又亦姝好。后懼月光惡太子狀。訛曰。吾國舊儀室家無白日相見。視之重者也。妃無失儀矣。對曰。敬諾。不敢替尊教。自斯之後太子出入未常別色。深惟本國與七國為敵力爭無寧兆民呼嗟。吾將權而安之。心自惟曰。吾體至陋妃覩必邁。啟母欲一覩妃儀容。后曰。爾狀醜妃容華艷。太子重辭。后愍之將妃觀焉。太子陽為牧人。妃覩之曰。牧人醜乎。后曰。斯先王牧夫矣。後將觀象。妃又覩焉。疑之曰。吾之所由輒覩斯人將是太子乎。妃曰。願見太子之光容。后即權之令其弟出遊。以大子官僚翼從。妃觀之厥心微喜。後又入苑。太子登樹以果擲背。妃曰。斯是太子定矣。夜伺其眠默以火照覩其姿狀懼而奔歸。后妃忿曰。焉使妃還乎。對曰。妃邁天下太平之基民終寧其親矣。拜辭尋之至妃國。陽為陶家賃作瓦器。又入城賃染。又為大臣賃養馬肥。又為太官監典諸餚饍以羹入內。王有八女並欣其事月光不眄。帝釋歎曰。菩薩憂濟眾生乃至于茲。吾將權而助之。挑七敵國化為月光父王手書。以月光妻之。七國興禮造國親迎。俱云。娉娶王女名曰月

光。訟之紛紜。各出手書。厥怨齊聲云。當滅爾嗣。其為不貳。使還書僉然詰曰。以爾一女為七國怨。齊兵盛發念爾喪國在于今矣。王聞懼曰。斯禍將至乃宿行所招。謂月光曰。爾為人妃。若婿明愚吉凶好醜厥由宿命孰能攘之。而不貞一盡孝尊奉薄智還國禍至于茲。吾今當七分爾尸以謝七王耳。月光泣曰。願假吾命漏刻之斯。募求智士必有能却七國之患者也。王即募曰。孰能攘斯禍者。妻以月光育以元福。太子曰。疾作高觀吾能攘之。觀成。太子權病躇步頓地。須月光荷負爾乃却敵矣。月光惶忉懼見屠戮扶格登觀。太子高聲曰。七國王厥音遠震。若師子之吼喻以佛教為大。收民當以仁道。而今興怒盛即禍著。禍著即身喪國亡。其由名色乎。七國師雄靡不尸蹌者。斯須而穌欲旋本土。太子啟王婚姻之道莫若諸王矣。何不以七女適彼七王子。婿為蕃屏王元康矣。臣民休矣。親獲養矣。王曰。善哉斯樂大矣。遂命七王以女妻之。八婿禮敬君臣欣欣。王逮臣民始知太子月光之舊婿也。即選良輔武士翼從各各還國。九國和寧兆民抃舞。僉然歎曰。天降聖權非凡所照德聚功成晏然無譏。還國有年大王崩殂。太子登位大赦眾罪。以五戒六度八齋十善教化兆民。災蘗都息國豐眾安大化流行皆奉三尊。德盛福歸眾病消滅。所以然者。菩薩宿命在家俱耕令妻取食。望覩妻還與一辟支佛俱行隱山崖。久久不至疑心生焉。興忿執鋤欲往捶之。至見其妻以所食分供養沙門。退叉手立。沙門食竟挑鉢虛空光明偉曄飛行而退。婿心悔愧念妻有德。乃致斯尊。吾有重愚將受其殃。即謂妻曰。爾供養福吾當共之。餘飯俱食爾無就也。至其命終各生王家。妻有淳慈之惠。生而端正。婿先恚而後慈故初醜而後好也。太子者我身是。妻者俱夷是。父王者白淨王是。母者吾母舍妙是。天帝釋者彌勒是。開士世世憂念眾生拯濟塗炭(出遮羅國王經)。

慕魄不言被埋後言得修道五

時波羅柰國王太子。名曰慕魄。端正絕雙。自識宿命無數劫事。所更善惡壽夭好醜皆悉知見。年十三歲閉口不語。王唯一子舉國愛重當襲王位。不說飢寒恬惔質朴意若枯木。雖有耳目不存視聽。智慮雖遠如無心志。猶若盲聾不說東西。狀如矇戇不與人同。其父憂慮甚用患苦。深恥隣國恐見凌嗤。因呼國中婆羅門問之。此子何故不能言語。諸婆羅門言。此子雖面目端正內懷不祥。欲害父母危國滅宗將至不久。不復生子者皆是此惡子所妨宜生埋之。王身可全保國安宗。然後更得生貴子耳。不者甚危。王信狂愚謂為審然即用愁憂。坐起不寧伎樂不御服美不甘。即與耆長大臣共議之言遠棄深山。或言投沈深水。有一臣言。但作深坑。傍入如室。給與資糧侍以五僕。生置其中從命所如。王即隨之。太子悲感傷其愚惑。其母憐愛之用傷絕曰。我子薄命乃值此殃。涕泣[怡-台+郁][怡-台+伊]事不得已俛仰放捨。悉取太子所有衣服瓔珞珠寶皆用送之。僕使於外。因共作坑作坑未竟。慕魄獨於車上深自思惟。心與口語。王及人民皆共謂我審為癡痘。所以不語欲捨世緣安身避惱濟神離苦耳。今反為狂詐所危。既沒身命陷墮彼人。便默自取其瓔珞珠寶持去。

作坑人輩不覺。慕魄取物去。時慕魄即到水邊。淨自澡浴以香塗身。悉取衣被瓔珞著之。到掘坑所問曰。作坑何施。其僕對曰。王有太子名曰慕魄。瘖痙聾癡年十三歲不能言語。我等作坑欲生埋之。太子答曰。我即慕魄也。作人驚怖走視車上不見所在。還至坑所諦熟觀察聽聞言語絕有異聲。光景如月世所希聞。動其左右行者駐步坐者為起。飛鳥走獸皆來會聚伏太子前聽太子語。又曰。觀我手足察我形容。云何群迷信此狂詐生見埋棄。發言成章左右驚惶。皆作禮叩頭求哀原赦。太子曰。今已見棄不宜復還。僕即奔馳以白王。王聞悲喜。即與夫人驂駕往迎。王未到頃慕魄自念。當行學道。帝釋化作園樹快樂無比。王遙見太子在樹下坐。慕魄見王即起迎逆。王為作禮慕魄則白大王就坐。王聞太子語言音聲。威神無量震動天地絕無雙比。則大歡喜。便繞慕魄共還入國。居位理政吾請避席。慕魄曰。不可。我以愧厭地獄懃苦愁毒多端。吾昔曾作王。名曰頃念。以政法治國奉行眾善。二十五年鞭杖不加刀兵不設獄無繫者。惠施仁愛恩德流普救濟窮滯無所貪惜。雖有此行猶犯微罪終墮地獄六萬餘歲。煎煮剝裂痛酷難忍。求死不得生無聊賴。當爾之時父母有財富而且貴快樂無極。寧能知我在彼地獄考治劇乎。豈復能來分取我苦。所以墮罪者往昔作王小國領屬。性甚慈仁戒德方峻法令不嚴。諸小國王皆見輕易咸共謀議。今此大王。既善且弱威算不攝德不堪任總御大國當應誅罰廢退之耳。即舉兵眾來征大國。時王頃念送以珍琦財寶皆賜遣之。復以重官厚祿撫卹慰喻而安之。即還本國。如是未久復來攻罰數數非一。大國群臣上白大王。諸小臣國愚暗無義。不慮罪釁數為慢突。謀殺悖逆觸犯尊上。令民驚擾防備不息當應誅斬以除寇害。王曰。為民父母當務仁化。恕己育物危命濟眾。彼猶嬰孩愍其無識以漸誘導不忍加害。王普愛物命永無誅罰。大國群臣不忍數為。屬城小國所易忿不顧難。舉兵討伐殘殺人民。大王雨淚。即為諸國死亡人民服喪猶子矜愍無極。諸小國王見大王慈心矜念人民。即皆降伏遂來歸附。大王普設珍饍應須烹殺牛羊六畜以具眾味。輒先啟王。王心雖慈事不獲已。頤頭即可緣是得罪懃苦如是。每一念之心甚戰慄體虛冷污追憶過世所更吉凶安危成敗。恐復與會冀以靜默。免脫瑕穢出庶塵勞。永辭於俗不與厄會。適復念欲閉口不言被王生埋。恐王後時復得是殃因入地獄無有出期。我意不欲令王得罪故復語耳。守意無為不樂為王。人民世間恍惚若夢。室家歡娛須臾間耳。計命無幾憂畏延長。樂少苦多眾惱萬端。是故智者。以國財寶恩愛為累。眾欲為塵。使吾為王當復憍逸貪求快意。令民憂煩。天下之大患也。今欲除棄。反流盡源拯濟未度。生世若寄無一可恃。不貪富貴不重珍寶。棄捐世榮思想大道。高明遠逝自拔於世。父王曰。汝為智人不可便爾。慕魄曰。何聞父子生而相棄。骨肉已離為行甚愆。苦相迎接徒益勞煩。父覩志堅。罔然失措無辭可答。乃曰。汝如前世作國王時奉行眾善。財有小失非所憶知。而尚受罪懃苦如是。今我治國不奉政法。既無微善反是愆非。純行危殆罪當何訾。便放太子聽行學道。

太子於是棄國捐王不務人物。一心專精念道修德功勳累[米*責]遂至如今。慕魄者我身是。父王者閱頭檀是。母者摩耶是。相師調達是。時侍

僕者阿若拘隣等五人是(出太子慕魄經)。

薩埵王子捨身六

過去有王名摩訶羅陀。修行善行國無怨敵。王有三子。長名摩訶波那羅。次名摩訶提婆。小名摩訶薩埵。共出遊觀至一竹林憩駕止息。轉復前行見有一虎。新生七日七子圍遶。飢餓窮悴身體羸損命將欲絕。第一王子言。怪哉此虎不得求食。為飢所迫必還噉子。第三王子言。此虎經常所食何物。第一王子曰。食熱血肉。第三王子曰。誰能與此虎食。第二王子曰。其餘命無幾設餘求者必不濟及。誰能不惜身命。第一王子曰。難捨之至莫過己身。第三王子曰。智慧薄少貪惜深重。不能捨身聞即驚怖。惟有大士心懷慈悲。為饒益他捨此身命不足為難。皆懷憂念熟視而去。第三王子心念。我捨身時至。自從昔來空棄此身都無所為。常護屋宅衣服。飲食種種將養令無所乏。不識恩愛反生怨害。終歸無常既無利益。可惡如賊又如行廁。我今此身於生死海作大橋梁。無量癰疽瘭疾百千怖畏。大小便利筋血皮髓共相連持。我今當捨以求寂滅無上涅槃。無量禪定智慧功德。具足成就微妙法身。與諸眾生作諸法樂。慮其二兄為作留難。即便白兄。可與眷屬前還所止。薩埵還至虎所。脫諸衣裳懸置竹上。我為菩提智永離三有。即自放身臥餓虎前。虎不能食。以乾竹刺頸。從高投下大地震動日無精光。天雨雜華種種妙香。空中讚言。得未曾有。虎即舐血漸能噉肉。轉得食力。唯餘骨在(出金光明經第四卷)。

人藥王子救疾七

過去世時。閻浮提人。疾病劫至普皆疾惱。爾時閻浮提王。名摩醯斯那。領八萬四千大城。威勢自在。最大夫人懷妊以來。手觸病者皆得除差。月滿產男。生而即說言。我能治病。又亦生時。閻浮提內諸天鬼神皆共唱言。今王所生便是人藥。以是音聲普流聞故字曰人藥。時將病人示此王子。諸病人至。王子手觸若以身觸即皆得差。安隱快樂。人藥王子於千歲中如是治病。後則命終。諸病人來聞其已死。憂愁啼泣誰復度我病痛苦惱。諸病人言。人藥王子何處燒身。問知所在趣其燒處。出骨擣末以塗其身即皆得差。骨盡之後至燃身處病皆得差。人藥王子我身是也(出菩薩藏經下卷)。

有一王子聞宿命事怖求以還佛八

有一王子欲知宿命。乃以問佛。佛言。不用知之令人憂愁。王子故欲得知。如是至三。佛便授戒令知宿命。於是王子自視其事。十五應死憂愁不可言。至年十五便死。王家葬埋種柏長大。下根入地正當其心。識神故在體視柏根生。正貫我心為生貫其心。於是從根出柏葉之間復見羊來。自念。此羊噉柏當復害我。會羊來食。在羊腹中。從羊屎出依附羊屎。園家錄載取以糞韮。依韮葉間。會王后思韮。勅外令送。園師持刀

欲割取韮。恐刀見害。事事愁憂彌不可言。園師割韮束送王家。在韮束中。王家得韮后便食之。隨韮入腹作子。月滿便生。遂年長大復識宿命。便詣佛所白言。我不復用知宿命。令我愁憂。今以知宿命還佛。佛語太子。我爾時不欲與汝。汝為欲得之。乃悔可聽(出雜譬喻經第八卷)。

無畏王子耆婆學術九

王舍城有童女。字婆羅跋提。王勅為立婬舍。有共宿者晝夜二百兩金。四方人集觀望極好。時瓶沙王子字無畏。與此婬女共宿遂便有身。時婬女勅守門人言。若有求見我者答言我病。後日月滿生一男兒。顏貌端正。時彼婬女。即以白衣裹兒勅婢棄巷中。無畏王見問傍人言。此是何等。答言。此是小兒。問言。死活。答言。故活。使人抱還舍與乳母養之。即為作字名耆婆童子。後漸長大。王子愛之喚而語言。汝欲久在王家。無有才伎。不得空食王祿。可學伎術。答言爾。即從得叉尸羅國醫。姓阿提梨。字賓迦羅學。經歷七年乃白師言。我習學何當有已。時師與一籠器及掘草之具。汝可於得叉尸羅國。面一由旬求覓諸草。有非是藥者持來。時耆婆童子。即如師語周竟不得非是藥者。所見草木及一切物。善能分別知所用處無非藥者。還以白師。師答。汝今可去醫道已成。我於閻浮提中最為第一。我若死後次復有汝。歸婆伽陀城。城中大長者婦。十二年中常患頭痛。眾醫治療而不能差。耆婆聞之。即往其家語守門人言。白汝長者。有醫在門外。守門人以白長者。長者婦問言。醫形貌何似。答言。是年少。彼自念言。老宿諸醫治之不差。況復年少。若無所損喚入。時耆婆詣長者婦。即取好藥以蘇煎之。灌長者婦鼻及口中。蘇唾俱出。使人以器承之。蘇還收取。唾別棄之。時耆婆言。此少蘇不淨猶尚慳惜。況能報我。長者婦答言。為家不易。棄之何益。可用然火是故收取。汝但治病何憂如是。後病得差。時長者婦。與四十萬兩金。并奴婢牛馬。耆婆還王舍城到無畏王子門。王喚入。以前因緣具白王子。以所得物盡用奉上王子言。此是耆婆童子最初治病(出四分律三分第二卷即祇域說事既異故兩存之)。

經律異相卷第三十二

經律異相卷第三十三(學聲聞道諸國太子部下)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 均隣儒悟世非常得羅漢道一
- 帝須出家得羅漢道二
- 祇陀捨五戒行十善請佛聞法得初道果三
- 鳩那羅太子失肉眼得慧眼四
- 諸太子問佛已等有出家者佛出所更皆悉悟道五
- 最勝王子植德堅固終不可移六

均隣儒悟世無常得羅漢道一

有國王。號曰梵摩難。供養佛僧。每至齋日。王輒導從往到佛所。佛每說法。王輒歡喜恭敬聽經。太子名均隣儒。至心精進覺世非常。無生不死不貪時榮。而白王言。佛世難值經法難聞。乞作沙門王即聽之。均隣儒便辭王到佛所。乞為比丘。佛便以手摩其頭。頭髮自墮袈裟著身。奉持重戒精進勤修。晝夜不倦經三月日。便得羅漢。王時不知其已得道。見其勤苦飯食麁蔬。每往供養異於眾僧。其心不同。輒謂之言。我國中珍奇七寶飯食甘餚無所不有。汝何故樂為沙門乎。均隣儒即自輕舉上住空中。飛行變化分身散體出入無間。王見其爾。悲喜交集五體投地為均隣儒作禮。佛令均隣儒為王說苦空非常四諦之法。王即意解。得須陀洹道(出梵摩難國王經)。

帝須出家得羅漢道二

阿育王始登位。立弟帝須(出阿育王經云毘多輸柯七耀經云善容)為太子。而語之言。汝可於佛法生善容信。弟後遊獵入於林中。見一仙人五熱炙身。即起深信。頭面禮足問曰。住此幾時何所衣食。若為安臥而起貪欲。答曰。經十二年常食樹木果根。結茅為服。鋪草而臥。見鹿行婬起我欲想。帝須疑。此苦行尚起欲心。佛諸弟子安語樂行。見欲能不起心。既起欲心何得厭離。即說偈言。

仙人唐自苦　服氣除穢食　空食根葉果　愛欲不能盡　釋迦牟尼子
衣食足溫甘　不捨人所資　頻頭山浮提

帝須復言。釋迦弟子誑王令作功德。王聞告大臣云。我弟於外道生信。當以方便令得正解。我欲澡洗。應入浴室。卿可以天冠服飾莊嚴我弟。令登我座。及王浴時。大臣勸帝須。帝須從之。王見語言。我今未滅。汝已御王。乃命殺之。多人執仗而圍遶之。大臣白王。此是王弟。願王忍辱莫起瞋心。答曰。我當忍辱。於七日中暫與其國令其作王。種種伎

樂及諸婇女以供給之。一切臣民皆往問訊。行殺之人執刀門立。日日啟王至第七日。以王莊嚴阿育王大臣諸人將毘多輸柯共往問訊阿育大臣。時王問言。汝七日為王。種種伎樂好聞見不。以偈答曰。

我於七日中　不見不聞聲　不嗅嘗美味　亦不覺諸觸　我身莊嚴具
及諸婇女等　思惟懼死故　不假及此事　伎女歌舞聲　宮殿及臥具
大地諸珍寶　初無歡喜心　以見行殺者　執刀在門立　又聞搖鈴聲
令我懷死畏　死擲釘我心　不知妙五欲　既著畏死病　不得安隱眠
思惟死將至　不覺夜已過

王復語弟。汝於一生中思惟死苦。雖得上妙五欲而不生愛。出家比丘於十二入。思惟無量生死及三惡道苦。又思惟人中天上四維馳求終歸壞敗。譬如空村無有居民。以無常火燒諸世間。佛諸弟子常作此觀。云何而得起煩惱耶。王以方便佛法教化。毘多輸柯言。我於今者歸佛法僧。王以兩手抱其弟頸。而語之言。我不捨汝為欲令汝信於佛法。是故現此方便。時毘多輸柯以種種花香及諸伎樂供養佛塔。以種種飲食供養眾僧(出阿育王經)以他日更出遊獵。至阿練若處。見一比丘座。名曇無德。有一褒折取木枝遙拂比丘。帝須心喜又作願言。我何時得如彼比丘。曇無德(阿育王經云耶舍言亦小異)比丘自逆知帝須心願。即以神力飛騰虛空。令帝須見。往阿育僧伽藍坐立池水。脫衣置虛空中入池洗浴。帝須見云。我當出家。還宮白王言。願必哀念聽我出家。王言。伎樂百味何以出家。王種種方便令其心止。志意堅固永不肯從。而答王言。歡樂暫有會當別離。大王歎言善哉(出善見毘婆沙第二卷)當先習乞食然後出家。時王後園有一大樹。以草布地使住其下。與一瓦鉢令入宮乞食。毘多輸柯即便持鉢行入宮內。種種上食而便與之。王語宮人。云何乃與乞者上食。從今當以麁食施之。乃至麥飯。時毘多輸柯得而食之不以為惡。王語之言。勿食此食。聽汝出家。出家之後恒來見我。即辦衣鉢。千乘萬騎送至鷄寺。思此人動不得修道。便往毘提國曇。無德比丘所出家。國中豪貴諸長者子一千人亦隨出家。一切民疑。共相謂言。尚捨王位。我等何為。無數人眾皆悉出家。王外甥阿嗜婆羅門一男出家(佛法第四)諸侯百官奴婢僕使悉持五戒月持六齋滿八支法。由是多有剎利出家佛法興隆。外道衰殄都失供養周遍乞食不得。詐入佛法而作沙門。猶執本法教化人民。諸善比丘不與同事。時目連子帝須捨弟子付摩哂陀。隱靜阿休何山。諸外道比丘欲以其典雜亂佛法。遂成垢濁。或事火者。或五熱炙身。或大寒入水。或破壞佛法。如是展轉乃至七年不得說戒。阿育遣一大臣入王僧伽藍。白上座言。王令眾僧和合說戒。上座答言。諸善比丘不與外道比丘同共布薩。大臣從次斬殺及帝須。大臣問曰。汝是誰耶。答曰。是王同生弟也。於是乃止。臣即啟王。王聞驚愕心生懊惱。即到寺中問。諸比丘誰得罪耶。一比丘言。兩俱得罪。一比丘言。無殺心。王自無罪。王心生疑。問諸比丘。有能斷我疑者。若斷疑心當更竪立佛法。諸比丘言。帝須能斷。遣信迎帝須。使傳王意曰。今佛法已沒。仰屈大德。來共竪立。帝須答曰。我出家正為佛法今時至矣。王夜夢有一白象以鼻摩

王頭捉王右手。明旦問相師。相師答曰。捉王手者是沙門像也。便問信云。帝須今至。王出迎接。帝須捉王手左右拔劍而欲害之。王見水中劍影曰。昔勅汝往寺令眾僧和合說戒。僻取我意殺諸比丘。今復欲殺我耶。王將帝須入園。手為洗脚以油摩之。請言。欲見大德神力。帝須周迴四方各一由旬彈繩作界。東方安車南方安馬西方安人北方安銅。槃水使各騎界上界外震動。外脚皆搖內脚不動。王喜曰。先疑改也。於佛法中惡法得滅。帝須為說本生經云。佛告諸比丘。先籌量心然後作業。一切業皆由心也(出毘婆沙第二卷)後得阿羅漢道受解脫樂。憶昔王約。出家之後恒來見王。我於今者應滿本約。乃至次第行波吒利弗多國。早起著衣持鉢入國乞食。次第行至王城語門人。汝入白王云。毘多輸柯今在門外欲見大王。時守門人即白王。王言將入。即起作禮如大樹倒。起而合掌視之無厭。悲泣而言。

一切諸眾生　當樂在和合　汝今除和合　而味寂靜心　我今知汝心
以慧無厭足

大臣善護見。毘多輸柯著糞掃衣執持瓦鉢次第乞食麁好俱受心無分別。乃白王言。毘多輸柯少欲知足所作已辦。時王捧之置好座上。種種飲食自手與之。食竟洗鉢置之一處。為王說法。

王今得自在　當修不放逸　三寶甚難值　王應懃供養

身昇虛空人民皆見。王與大眾合掌觀之。目不暫捨問王言。

無復親友愛　如鳥飛虛空　我以貪染鎖　不能自在去　禪定有勝果
一切無罣礙　欲愛之所盲　不能見此法　汝今以神力　輕我起欲愛
我本有慧慢　今汝為最勝　我等著世法　見聖始知畏　今我等啼泣
由汝今捨我

毘多輸柯往至邊地。至已得病。以病重故頭皆發瘡。時王聞之。即遣給事醫藥療治。後得小差。醫師給事悉遣令還。其體所資唯食牛乳。為乞食故往多牛處。復有一國名分那婆陀那(梁言增長)彼國皆信外道。有佛弟子見以白王。使夜叉於一念頃。即將外道弟子并畫像來。生大瞋心。於分那婆陀那國一切外道。悉皆殺之。於一日中殺十萬八千外道。復有一外道弟子。愛外道法事形裸神。畫作如來禮其神足。時王復聞是事。即勅餘人。令取此人及其親屬。置一屋中以火焚之。時王頒勅。若有人能得一尼揵首者。我當與一金錢。毘多輸柯入養牛處病來多日。頭鬚髮爪悉皆長利。衣服弊惡無有光色。時養牛女竊生是念。今此尼揵來入我舍。便語其夫。汝當殺此尼揵取頭與王。必得金賞。夫拔刀往。毘多輸柯即自思惟。見其業報無得脫處。即便受死。而將頭至王所欲求覓金。王疑即問其醫師及給事人言。答此是毘多輸柯頭。王悶絕良久。大臣白

王。無漏之人不滅此苦。大王當施眾生無畏。王隨其言宣令一切不得復殺尼揵。諸比丘生疑。問優婆笈多。毘多輸柯昔造何業今受此報。答言。過去世時有一獵師多殺群鹿。於大林中有一泉水。時此獵師張施羅網以其繩羂置於水邊多殺諸鹿。是時佛未出世。有一緣覺於水邊食。食竟澡洗還樹下坐。時彼群鹿聞緣覺香不往水邊。時獵師坐不見鹿來。即尋其跡往辟支佛所。念言。坐是人故令鹿不來。即便以刀殺辟支佛。昔獵師者即是毘多輸柯。以殺諸鹿今多病苦。復以殺辟支佛於無數年常在地獄。受諸苦惱於五百世。在人道中生生之處常為他殺。今是最後果報。雖得羅漢猶為他害。於迦葉佛法出家。樂行布施。常勸化人供養眾僧。有一佛髮瓜塔。以香花幡蓋種種伎樂而供養之。以是業報生於大姓。十萬年中常修梵行。復發心願。以是業緣得阿羅漢(出阿育王經第三卷)。

祇陀太子捨五戒行十善請佛聞法得初道果三

祇陀太子白佛言。昔受五戒。酒戒難持畏脫得罪。今欲捨五戒受十善法。佛言。汝飲酒時有何惡耶。答曰。國中豪強時時相率。齎持酒食共相娛樂。以致歡樂自無餘惡。得酒念戒不行惡也。佛言。若人能如汝者終身飲酒有何惡哉。如是行者乃應生福無有罪也。夫人行善凡有二種。一者有漏。二者無漏。有漏善者受人天樂。無漏善者度生死苦。涅槃果報。若人飲酒不起惡業。善心因緣受善果報。汝持五戒有何失乎。舍衛城中有諸豪族剎利公王。因小爭競遂至大怨。各各結謀興兵相伐。兩家並是國中豪傑。皆復親戚非可執錄。紛紜鬪戰不從理諫。深為憂之。復自念言。昔先王大臣名提韋羅。恃其門宗富貴豪強。而見輕慢形調戲弄。當時忿恚實欲誅滅。以事啟父。父又不聽。懷毒抱恨非可如何。懊惱愁悴不能飲食。太后見我憂苦。種種諫曉心猶不息。因覓好酒勸我令飲。時啟母言。先祖相承事那羅延天。今若飲酒恐天必怒。諸婆羅門當見謫罰。母於夜靜時。密開宮門不令人知。逼迫再三俛仰從之。既飲酒已忘去愁恨。召集宮女作倡伎樂三七日中。從是得息。思惟是已。即勅忠臣。令辦好酒及諸甘饍。召諸群臣集王殿上。忠臣辦琉璃椀。椀受三升。王先傾一椀。人辦一椀甘露妙藥。後論國事兼作眾妓。諸人得酒並聞音聲心中歡樂忘失仇恨沛然無憂。王復持椀白諸君曰。士夫修德歷世相承。遵奉聖教不應差違。諸君何為因於小事忿諍如之。若不忍者恐亡國祠。是故重諫幸自宜息。諸臣白王。敬奉重命不敢違也。因是和平酒之功也(出未曾有經下卷)。

鳩那羅失肉眼得慧眼四

阿育王夫人。名鉢摩婆底(梁言芙蓉花)生一男兒。形色端正眼為第一。人見無不愛樂。內人白王。夫人生兒。王大歡喜。故名此兒為達磨(梁言法)婆陀那(梁言增長)即抱此兒示阿育王。時王見已歡喜說偈。

我兒目端嚴　為功德所造　光明甚輝耀　如優波羅花　以此功德眼
莊嚴於一面　其面目端正　譬如秋滿月

鳩那羅長大為其納妃。妃名于遮那(梁言金)摩羅(梁言鬘花)時阿育王。將鳩那羅往至鷄寺。寺有上座六通羅漢。名耶舍。是時耶舍見鳩那羅。未經幾時應當失眼。即白王言。故不令鳩那羅作其自業。時阿育王語鳩那羅。大德念汝所作。汝當隨之。時鳩那羅禮耶舍足。說言。大德教我所作。耶舍答言。眼非是常汝當思惟。即說偈言。

汝鳩那羅　常思惟眼　無常病苦　眾苦所集　凡夫顛倒　由之起過

時鳩那羅於宮中靜處獨坐思惟。眼等諸入為苦無常。時阿育王第一夫人。名微沙落起多。往鳩那羅處見其獨坐。觀其眼故而起欲心。以手抱之。而說偈言。

以大力愛火　今來燒我心　譬如火燒薪　汝當遂我意

鳩那羅掩耳。說偈。

今為我母　此非法愛　應當捨離　開惡道門

母心瞋忿。復說偈言。

愛心往汝處　而汝無愛心　汝心既有惡　不久須臾滅

鳩那羅言。

我今寧當死　不起不淨心　若生惡心者　失人天善法　善法既不全
依何而得生

微沙落起多。恒伺其過而欲殺之。於北有國。名德叉尸羅。違逆於王。阿育王命鳩那羅。汝往彼國。答王言爾。

王心念。故倍加莊嚴嚴治道路。老病死等悉令不見。時王與鳩那羅同載一車送之。近路將欲分別。手抱兒頸。見鳩那羅眼。啼泣而言。

若有人見　鳩那羅眼　心歡喜故　有病皆除

相師見王。唯觀兒眼不緣餘事。即說偈言。

王子眼清淨　王視心歡喜　國土諸人民　見者如天樂　若失此眼時

一切當苦惱

乃至鳩那羅。次第行至德叉尸羅國。彼國人聞出半由旬嚴治諸道。處處置水以待來眾。時諸人民即便說偈。

德叉尸羅人　執寶甖盛水　及諸供養具　迎鳩那羅王

時王至已。人民合掌而作是言。我等迎王。不為鬪諍亦不與彼。大王相嫌。但王所遣大臣在我國者。為治無道。願欲廢之。是時人民。以諸供具供養鳩那羅王迎至國中。時阿育王身遇重病。糞從口出諸不淨汁從毛孔出。一切良醫所不能愈。王即語諸臣。召鳩那羅還。我當灌頂授以王位。我於今者不貪身命。時微沙落起多白王。我能令王病得除愈。王受其語斷諸醫師。微沙落起多語諸醫師。外聞男女病如王者可將其入。時阿毘羅國有一人病如王不異。時病人婦為覓醫師。醫師答言。將來我欲見之。當為處藥。婦送與醫。醫送與王夫人。時王夫人將此病者置無人處。令破其腹出生熟二藏。有一大虫。虫若上行糞從口出。虫若下行便從下出。若左右行從毛孔出。時王夫人以摩梨遮以置虫邊。而虫不死。復以蕃鉢以置虫邊。虫亦不死。復以乾薑以置虫邊。虫亦不死。乃至以大蒜置於虫邊。虫即便死。時王夫人以此事具以白王。王於今者應當食蒜。病即除愈。王答言。我是剎利不得食蒜。夫人復言。為身命故作藥意食之。王遂便食虫死病除。便利如本。王淨洗浴語夫人言。汝於今者當何所求隨意與之。夫人白王。願王七日聽我為王。王語夫人若汝為王必當殺我。夫人又言。過七日已我當還王。時王許之。夫人假作王。書與德叉尸羅人。令取鳩那羅眼作書已竟。須齒印印之。王眠。夫人欲印書便近王邊。王即驚覺。夫人白王。何故驚。王曰。我夢鷲鳥欲取鳩那羅眼。夫人答言。鳩那羅子今甚安隱。第二更夢。王復驚起我今更夢。夫人問言。夢復云何。王答言。我見鳩那羅頭鬚髮爪悉皆長利。而不能言。夫人答言。其今安隱願勿憂之。王復眠。夫人以大王齒竊印之。遣使送與德叉尸羅人。王又夢自齒悉皆墮落。至明清旦澡洗已畢。召相師以夢告之。相師答言。若人有此夢者。兒當失眼。不異失兒。時王聞。即便起立合掌。向西方神而呪願言。

今一心歸佛　清淨法及僧　世間諸仙人　於世為最勝　一切諸聖眾　皆護鳩那羅

使者執書至德叉尸羅國。時彼人民見此書至。念鳩那羅故共隱此書而不與之。彼諸人民復更思惟。阿育大王甚自可畏心不敬信。於其自兒尚欲取眼。況於我等而不起惡。以書與鳩那羅。鳩那羅得書已。語諸人言。若能取我眼者今隨汝意。時人即喚旃陀羅。汝當挑取鳩那羅眼。旃陀羅合掌說言。我今不能答。

若人於滿月　能除其光明　是人當能除　汝面明月眼

是時鳩那羅。即脫寶冠語旃陀羅言。汝挑我眼我當與汝。復有一人形貌可憎。十八種醜。語鳩那羅言。我能挑眼。時鳩那羅尋憶大德耶舍所說。便說偈言。

念善知識　是真實說　思惟此義　知眼無常　我善知識　能饒益者
是人已說　眼苦因緣　我常思念　一切無常　是師之教　深自憶持
我不畏苦　見法不住　常依王教　汝取我眼

語醜人言。汝當取我一眼置我手中我。欲觀之時。此醜人欲取其眼無。數諸人相與瞋罵而。說偈言。

眼清淨無垢　如月在空中　汝今挑此眼　如拔池蓮華

是無數人悲號啼哭。是時醜人即出其眼置鳩那羅手中。時鳩那羅以手受之向眼說偈。

汝於本時　能見諸色　而於今者　何故不見　本令見者　生於愛心
今觀不實　但為虛誑　譬如水沫　空無有實　汝無有力　無有自在
若人見此　則不受苦

思惟諸法悉皆無常。得須陀洹果。又語醜人。所餘一眼隨汝取之。時彼醜人復更挑之。置鳩那羅手中。既失肉眼而得慧眼。復說偈言。

我於今者　捨此肉眼　慧眼難得　我今已得　王今捨我　我非王子
我今得法　為法王子　從今自在　離苦宮殿　復登自在　法王宮殿

鳩那羅知其取眼是微沙落起多。而說偈言。

願王夫人　長壽富樂　壽終常存　無有盡滅　由其方便　我得所作

鳩那羅婦聞夫失眼。見便悶絕水灑乃醒。啼泣說偈。

眼光明可愛　昔見生歡喜　今見其離身　心生大煩惱

鳩那羅語其婦言。汝勿啼泣。我自起業自受此報。復說偈言。

一切世間　以業受身　眾苦為身　汝應當知　一切和合　無不別離
當知此事　不應啼泣

鳩那羅共其婦。從德叉尸羅國還阿育王所。二人生來未曾履地。其身軟弱不堪作業。鳩那羅善於鼓琴。復能歌吹。隨其本路乞食濟命。漸漸遊行至於本國。欲入宮門。時守門人。不聽其前。既不得前而復還。出住車馬厩。於後夜中鼓琴而歌。歌曰。我眼已失。四諦已見。復說偈言。

若人有智慧　得見十二入　以此智慧燈　得解生死苦　若欲求勝樂
應當思念此

王聞歌聲。心大歡喜。即說偈言。

今此說偈　及聞鼓琴　似是我子　鳩那羅聲　若是其至　何不見我

王命一人聽聞。似鳩那羅聲。清妙哀好令我心亂。如象失子迴遑不安。汝可往看。是可將來。使人見無二眼。皮膚曝露不復可識。還白大王。是孤獨盲人共其婦俱住車馬厩。時王聞之煩惱思惟。而說偈言。

如昔所夢見　鳩那羅失眼　今此盲人者　鳩那羅不疑　汝可更至彼
但將此人來　以思惟子故　其心不安隱

使人受教更至其所。語鳩那羅言。汝是誰兒何所名姓。鳩那羅復以偈言。

父名阿輸柯　增長姓孔雀　一切諸大地　悉為其所領　我是彼王子
名為鳩那羅　姓日法王佛　今為法王子

使人將鳩那羅及其婦至宮中。時王見鳩那羅。風日曝露以草弊帛雜為衣裳。形容改異不復可識。時王心疑而語之言。汝是鳩那羅不。答言是。王悶絕墮地。傍人見王。而說偈言。

王見鳩那羅　有面而無眼　苦惱自燒心　從床墮於地

傍人灑王乃得醒寤。還至坐處。抱鳩那羅置其膝上。復抱其頸啼哭落淚。手拂頭面憶其昔容。而說偈言。

汝端嚴眼　今何所在　失眼因緣　汝今當說　汝今無眼　如空無月
形容改異　誰之所作　汝昔容貌　猶如仙人　誰無慈悲　壞汝眼目
汝於世間　誰為怨讎　我苦惱根　由之而起　汝身妙色　誰之所壞
懊惱心火　今燒我身　譬如礪礋　摧折樹木　懊惱之雷　以破我心
如此因緣　汝今速說

時鳩那羅。以偈答言。

王不聞佛言　果報不可說　乃至辟支佛　亦所不能免　一切諸凡夫
悉由業所造　善惡之業緣　時至必應受　一切諸眾生　自作自受報
我知此緣故　不說壞眼人　此苦我自作　無有他作者　如此眼因緣
不由於人作　一切眾生苦　皆亦復如是　悉由業所生　王當知此事

王復說偈。

汝但說其人　我不生瞋心　汝若不說者　我心亂不安

時王知是微沙落起多所作。喚微沙落起多。而說偈言。

汝今為大惡　云何不陷地　今汝不為法　於我為大過　汝今既為惡
從今捨於汝　由如行善人　捨不如法利

王瞋火燒。心見微沙落起。多復說偈言。

我於今者　欲出其眼　欲以鐵鋸　以解其身　以斧破身　以刀割舌
以刀截頸　以火燒身　令飲毒藥　以除其命

王說如此事。欲治微沙落起多事。鳩那羅聞。深生慈心。復說偈言。

微沙落起多　所為諸惡業　大王於今者　不應便殺之　一切諸大力
無過於忍辱　世尊之所說　其最為第一

時王不受兒語。以微沙落起多。置落可屋以火焚之。又復令殺德叉尸羅人。是時比丘生疑。問大德優波笈多云。鳩那羅先造何業今受此報。答言。昔波羅奈國有一獵師。至雪山中多殺群麀。又往雪山遇雷電礮礰。有五百鹿。以怖畏故入石窟中。獵師捕之一切皆得。若皆殺者肉當臭爛。無如之何。即挑其兩眼使其不死而不知去。後漸殺之。先獵師者鳩那羅是。於無數年常在地獄。從地獄出生於人中。五百世內常被挑眼。今是最後餘殘果報。比丘又問。以何因緣生得大姓眼目端嚴。答言。過去久遠人壽四萬歲時。佛名迦羅鳩村大。出現於世入無餘涅槃。時有一王。名曰輸頗(梁言嚴)為佛起四寶塔。故時王命過。弟不信佛。皆掘取塔下物唯土木在。一切人民見塔毀壞。懊惱發聲。時諸長者子問。彼諸人何事懊惱。諸人答言。世尊之塔本有四寶。不謂於今悉皆毀壞。時長者子即以四寶如本莊嚴。復令高廣有勝於初。又起金像以置塔中。所作已訖。復發願言。迦羅鳩村大佛本為世間師。願我後師亦如今日。比丘當知。昔長者子即鳩那羅是。以其修治迦羅鳩村大如來塔故得生於大姓。以其造作如來像故今所得身端嚴第一。以其發願值善師故今遇釋迦。及見四諦(出阿育王經第四卷)。

諸太子問佛已等有出家者佛出所更皆悉悟道五

昔佛在波羅奈國鹿野場上。為眾說法。時大國王太子將從小國王世子五百餘人。往到佛所。為佛作禮却坐一面。而聽說法。諸太子等即白佛言。佛道清妙玄遠難及。自古以來。頗有國王太子大臣長者子。捨國吏民恩愛榮樂行作沙門者不。佛言。世間國土榮樂恩愛。知幻化夢響。卒來卒去不可常保。又曰。國王太子以三事故不能得道。何謂三事。一者憍恣不念學問佛經妙義以濟神本。二者取貪不念布施下貧困危。群臣將士所有財寶。不與民共以修財本。三者不能遠離婬欲愛樂之事。捨棄牢獄憂煩之惱。行作沙門滅眾苦難以修身本。是以菩薩所生為王。除此三事自致得佛。又有三事。一者少壯學問領理國土。率化民庶使行十善。二者中以財施貧窮孤寡群臣壯士與民同歡。三者每計無常命不久留。宜當出家行作沙門。斷苦因緣勿更生死。三事不施凡死所得。世尊曰。昔我前世作轉輪聖王。名曰南王皇帝七寶導從。自念。人命短促無常難保。但當作福以求道真。念常布施。世間人民所有財物。與民共之已種福德。唯當出家行作沙門。斷絕貪欲乃得滅苦。梳頭髮白拔著案上。王涕泣曰。第一使者忽然復至。宜當出家行作沙門求自然道。擎髮掌中。自說偈言。

今我身首上　白髮生為被　已有天使召　時正宜出家

行作沙門入山修道。畢人之壽即生第二天上。為天帝釋太子。於後領理天下亦如大王。復見白髮行作沙門。經為父子。上為天帝。下為聖王。中為太子。各三十六反。數千萬歲終而復始。行此三事自致得佛。爾時父者今我身是也。太子者舍利弗是也。孫王者阿難是也。更相從生展轉為王以化天下。時國王太子并諸人民。皆大歡喜。受佛五戒為優婆塞。得須陀洹道(出法句譬喻經第五卷)。

最勝王子植德堅固終不可移六

昔卑先匿王。有二夫人。第一夫人子名流離。第二夫人子名祇(梁言最勝)。祇初生之日。四方奉寶一時俱至。王曰。吾諸子生未曾如此。可名為祇。長大學問靡經不通。王為別立舍宅七寶所成金銀男女在門左右。持寶鉢滿中七珍。晝夜持去轉滿如故。太子嫉妬遣兵往奪。時有天兵五百餘騎。衛護祇舍。流離軍見怖退走還。太子怒。祇來問曰。我夜遣兵慰勞汝。汝伏兵於內欲反耶。祇曰。不敢不養文武。內無寸仗。流離遣撿內外皆無。流離意解具以啟佛。佛言。祇之殖德遇堅固因。是故不可奪也。維衛佛時。有人詣寺飯僧訖以一奴一婢給掃寺廟。自爾之後天上人中受福無量。即最勝是(出十卷譬喻經第一卷)。

經律異相卷第三十三

經律異相卷第三十四(諸國王女部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 波羅奈王女金色女求佛為夫一
- 波斯匿王女金剛形醜以念佛力立改姝顏二
- 波斯匿王女喪婿更於樹下復得後夫三
- 安息王女先從狗中來四
- 波羅奈王七女與帝釋共語五
- 王女金剛為火所燒六
- 王女見水上泡起無常想七
- 王女摩闍尼為婆羅門所嫉八
- 王女狗頭感捕魚師述婆伽九

波羅奈王女金色女求佛為夫一

波羅奈國王夫人生一女。身黃金色。頭髮紺青。時年十六。父母見女長大。欲為求婿。女言。我不用婿。若欲為我求婿者。當令身黃金色頭髮紺青。如是者乃可爾耳。父母便為求索。了不能得。佛時在舍衛國。舍衛國有人。賈作到波羅奈國。國王即請賈人與相見問訊。以女示之言。我為是女求婿。天下寧有好人。賈人答言。我國中有人。復勝是女者。王聞歡喜。令賈人迎取佛。賈人便作書與佛。書上說是女端正甚好無比。欲為佛取之。佛在祇洹中。為諸比丘數千人說經。持書人直前至佛所。佛預知書上所說。得便裂壞之。作書報與金色女言。之人苦皆從恩愛生。生當復老。老當復病。從病致死。從死致憂哭。天下苦者皆從恩愛生。女得書自思惟。即得五通達。一者眼能徹視。二者耳能徹聽。三者知他人心念。四者知所從生。五者能飛行。便與父母辭訣飛到佛前。佛即微笑。五色光明從口中出。阿難前問。佛言。阿難。汝見此女健乃如是。欲知之者。迦葉。佛時。是金色女為貧家作婦。其婿手足拘攣不能行步。時國王字基立。有一女。端正。身著金銀瓔珞。徑到迦葉佛所受經戒。時是貧人婦。身但被一氈布。亦復隨往到佛所。外人不聽前。貧人婦自念言。我何故獨不得前。王女獨前。佛即知之。令人呼前。婦即作禮白言。是王女何故獨豪貴如此。我獨貧窮。佛語婦人。是王女。前世好喜讀經以衣施與沙門故。今世得豪貴尊嚴端正。汝前世不樂經法。慳貪不肯布施。見沙門不相承事。令汝今世貧窮如是。貧婦言。願佛哀我愚癡教我經法。迦葉佛便教之。於樹下讀經。坐自思惟。便取樹葉縫連作衣。以覆其身。欲持身上所著氈布衣上佛。天王釋見有至心。便持天衣金錢飲食與之。婦得衣便以布施設供。壽終生天上。壽盡來生世間。為國王女。喜讀經布施故。身黃金色頭髮紺青(出金色女經)。

波斯匿王女金剛形醜以念佛力立改姝顏二

佛在舍衛國。爾時波斯匿王最大夫人。名曰末利。時生一女。字曰波闍羅(梁言金剛)女面醜惡肌體麁澁。猶如駝皮。髮如馬毛王觀此女無一喜心。便勅宮內。懃意守護勿令外人得見之也。女年轉大任當嫁處。處告吏臣。卿可推尋豪姓貧者便可將來。臣即如教。得一貧窮豪姓之士。將至王所。向彼人說。我有一女面狀醜惡。未有酬類。當相供給。想卿不逆。當納受之。時長者子長跪白言。當奉王勅。王即以女妻彼貧人。起宮宅門閣七重。王勅女夫。自捉戶排。若欲出時而自閉之。勿令人覩見女面狀。王給女婿使無乏短。又拜為大臣。其人有財。與諸豪族共為設會。月月更為會同之時。夫婦俱詣諸人來會。悉皆將婦。唯彼大臣恒常獨往。眾人疑怪。彼人婦者儻能端正。或能極醜。是以彼人故不將來。密共相語。勸酒令醉解取門排。開其門戶。時女心惱自責罪咎。我種何罪為夫所憎。恒見幽閉不覩眾人。復自念言。佛現在世。潤益眾生苦厄皆度。即便至心遙禮世尊。唯願垂愍。到於我前暫見教訓。其女誠篤佛知其意。即到其家。於其女前。地中踊出。其女見佛心生歡喜。惡相即滅。身體端嚴。猶如天女。奇姿蓋世。佛愍女故為說妙法。即盡諸惡得須陀洹道。時彼五人。開戶入內見婦端正。怪不將來。還閉門戶。持鑰繫本帶。其人醒悟會罷至家。見婦姿容人中難有。欣然問曰。是何人。女答夫言。我是汝婦。夫言。汝前極醜今者端正。其婦具以上事白。其夫即往白王。今者蒙佛神恩。已得端正。天女無異。王勅將來迎女入宮。王見歡喜。王及夫人。及女并女夫。共至佛所禮佛言。不審此女。宿植何福乃生豪富受醜陋形。佛告王曰。過去世時。國名波羅奈。有大長者。財富無量。舉家恒共供養一辟支佛。身體麁惡形狀醜陋。時彼長者有一小女。見彼辟支。惡心輕慢呵罵毀言。面貌醜陋身皮麁惡何其可憎。此辟支佛。受其供養欲入涅槃。為其檀越作十八變。即從空下還至其家。長者倍喜。女即悔過。唯願尊者當見原恕。時辟支佛聽其懺悔。佛告大王。爾時女者今王女是。毀此賢聖受醜陋形。後見神變。自改悔故還得端正。由供養佛故世世富貴緣得解脫(出賢愚經第二卷)。

波斯匿王女喪婿更於樹下復得後夫三

佛詣迦羅越家食。入不閉門。後隨來者一切皆與食令飽滿。弟發惡意。我不聽入。若得自在比丘來時我折其脚。兄弟二人便各別去。皆樹下臥。弟發惡意。有牛驚奔轢折其脚。兄發善意。日西樹蔭故處其上。波斯匿女婿亡。王甚怜愛。為其女呼婆羅門。相覓福人以為女婿。婆羅門出案行見一人臥在於樹下。日西樹蔭故覆。婆羅門言。此是福人。即以白王。王言。那知具其上事。呼來澡洗更著好衣。便嫁女與之(出十卷譬喻經第四卷)。

安息國王女先從狗來四

昔外國有城。名頭迦羅。中有白衣。日日請沙門還家中食。沙門是羅漢。沙門坐飯內中有狗。沙門食時常揣飯分狗。狗得飯噉便生好心向沙

門。沙門日往狗便習待。沙門食時狗思見沙門。沙門來便復持一揣飯與狗。狗有好心向沙門。積年命終。乃為安息國王女。生便識宿命知本是狗。云我棄狗身得王女身。國中都無佛寺沙門。時月支王遣使詣王。見使賢明意欲女與作婦。使將女去。女見沙門心大歡喜。憶先作狗沙門與飯好向沙門。今得人身。今當大供養沙門。月支國中大有沙門。婦常日日飯食三五百人。手自斟酌不使人客。飯食適訖。手自掃地。舍中婦女奴婢皆生好心言。此婦乃是王女。來在是間。常掃除供養沙門。我輩亦當用心。奴婢輩便藏去掃帚。欲自掃地。大家索帚了不知處。便取籠中初來所著衣卷以掃地。夫見婦以新衣掃地。便言。卿雖敬佛法何事乃當以新衣掃地。當索掃帚。婦言。我但以好心向一沙門。二歲得是衣耳。正以此衣掃當何苦哉。我前世時初。無可用布施。但有好心信有佛法故得此福。亦不治生得此衣也。夫語婦言。卿雖信佛法供養沙門。未曾見沙門與卿一錢兩錢。衣皆是我筋力所致。婦便為夫自說宿命言。我前世時。生在狗中。大家數請沙門。沙門揣飯與我。我有好心向沙門故。去此狗身生為王家女也。夫聞歡喜。謂婦言。卿但以好心向一沙門。得祐乃爾。夫先慳貪。聞婦所說即大布施。無所匱惜。齋戒精進興立佛寺。夫心念言。但以好心得此功德。婦便報言。心能令人得佛得生天上得作辟支佛得阿羅漢。皆是心力也。若心念惡。令人墮地獄(出明狗命終作國王女自識宿命經又出福報經)。

波羅奈國王七女與帝釋共語五

波羅奈國道場。從地底上皆黃金色。魚鱗鱉甲轉次相加。往古諸佛皆坐其上。王名脂旬尼。作優婆塞。明於經道。為佛立精舍。極大嚴事。王有七女皆並端正。悉持五戒執節不嫁。第一女名淑調。二名異妙。三名除貪。四名清守。五名息心。六名靜友。七名僧婢。常以月八日十四日十五日二十三日二十九日三十日。精受八戒持正法齋。修厥所信奉戒布施名聞智慧之行。七女齋畢。求到城外冢間遊觀。王告七女。冢間可惡但有死人。骸骨狼藉狐狸鴟鴞食噉其肉。諸哭泣者滿在其間。有何可觀。我宮裏有園苑浴池。其中有五色蓮華。鵁鶄鴛鴦眾鳥翔集其地。列重光目之草。琦樹陰涼甘果恣口。可往遊戲。七女答言。大王甘果眾美何益於我。我見世人生壽無幾。命日趣死形為幻化。莫得久存。我以免夫幼孩。不為甘美惑也。徒欲觀非常之法。願却貪意耳。願王哀許。王即聽之。七女俱出城外。往到冢間大臭之處。聞哭泣之聲。嗇然毛豎。因共直前觀諸死人。見有斷頭斷臂手脚異處。或有僵屍草覆席裹。或有辜格在地。生草束縛中有罪未死者。家室啼哭令其解脫。又有擔負死人從城中出者。七女左右遠望。見死者甚多。諸飛鳥走狩爭食其肉。或就土中挖掣屍出。膖脹生蟲其臭難近。於是七女繞之一匝。自相謂言。我曹身等不久亦爾。各說一頌。

第一女言。

世人重其身　好衣加寶香　綺視雅容步　姿則欲人觀　死皆棄於塚　何用是飾嚴

第二女言。

譬如一身居　人去舍毀傾　神遊而身棄　莫能制其形　癡貪謂可保　安知後當亡

第三女言。

觀神載形時　猶馬駕車行　車敗而馬去　可知此非常

第四女言。

本見城完好　中人樂安居　所求未央足　何便忽空虛

第五女言。

若乘船度水　至當捨船去　形非神常宅　焉得久長居

第六女言。

人死依塼臥　形具尚鮮好　挺然不動搖　厥神安所在

第七女言。

如雀在瓶中　羅縠覆其口　縠穿雀飛去　神自隨行走

時天帝釋聞之下讚。善哉善哉。汝欲何願。吾今與汝。七女問曰。是梵天耶。將地神耶。得無帝釋耶。答言然。吾是忉利天帝釋也。第一女言。願得無根無枝無葉之樹。於其中生。如是為快。第二女言。願所生之地。清淨無欲無有陰陽。寂無所緣。第三女言。願如山中呼聲之響。無往無反。自然無形。第四女言。願如虛空不始不終無所出生與道通洞。釋言。止止諸女所願甚妙。汝欲作日月中王為可得矣。若夫虛無無想非吾所制。七女言。天帝。神德高大何以不能致此。佛說食福者福盡不免於畏。譬如老牛不能為人用。何益於我哉。天帝釋言。諸女修齋戒吾亦奉於佛。當為法兄弟。快乎妙願。言竟不現(出佛說七女經)。

波斯匿王女金剛為火所焚六

波斯匿王。有一寡女。名曰金剛。莊嚴來歸。父王哀愍。別為立宮。給

五百妓女以娛樂之。有一長老青衣。名曰度勝。恒行市脂粉香華。忽見男女無數大眾各齎香華出城。即問。欲何所至。眾人答言。欲問訊佛。佛出於世間三界之尊。度脫。眾生皆得泥洹。度勝聞之。心悅意喜。即自念言。會老見佛宿世之福。便分香直持買好香華。隨眾人輩往到佛所。禮訖却立。散花燒香一心聽法。過市取一香物因聽法。功德宿行所得之香。氣熏倍前。嫌其遲而共詰之。度勝言。世有聖師三界之尊。說無上法。隨人聽受。是以稽遲。金剛聞歡喜。而自歎曰。吾等何罪獨隔不聞。即報度勝。試為我說之。度勝受命。即先遣出具受儀式。度勝未還。金剛侍女側息中庭。如子待母。佛告度勝。汝還說法之儀。先敷高座。度勝受勅。具宣聖旨皆大歡喜。各脫衣一領積為高座。度勝洗浴。承佛威神。如應說法。金剛女等五百餘人。疑解破惡得須陀洹道。說法甚美不覺失火。一時燒死即生天上。王給棺斂葬送畢。往過佛所。佛問。王所從來。王曰。金剛不幸不覺失火。大小燒盡適棺斂還。不審何罪遇此火害。唯願世尊彰告未聞。佛告大王。過去世時有城。名波羅奈。有長者婦。將綵女五百人。至城外大祠祀。其法難犯。他姓之人不得到邊。不問親疎。來者擲著火中。時世有一辟支佛。名曰迦羅。處在山中晨來分衛。暮輒還山中。迦羅分衛來趣郊祀。長者婦見。忽然瞋恚。共捉迦羅擲著火中。舉身燋爛。便現神足。飛昇虛空。眾女驚怖泣淚悔過。長跪舉頭而自陳曰。女人癡憃不識至真。群惡愚荒毀辱神靈。自惟過罪山積。願降尊德以消重殃。尋聲即下而般涅槃。諸女起塔供養舍利。佛為大王而說偈言。

愚憃作惡　不能自解　殃追自焚　罪成熾然　愚所望處　不謂適苦
臨墮厄地　乃知不善

佛告大王。爾時長者婦。今王女金剛是。五百侍女。今度勝等五百侍女是(出愚闇法句經第二卷)。

國王女見水上泡起無常想七

昔有國王女。為王所愛未曾離目。時天降雨水上有泡。女見水泡意甚愛敬。女白王言。我欲得水上泡以為頭華鬘。王告女曰。今水上泡不可執持。云何得取以為華鬘。女言。設不得者我當自殺。王聞女語。告巧師曰。汝等奇巧靡事不通。速取水泡與我女作鬘。若不爾者當斬汝等。答曰。我等不堪取泡作鬘。有一老匠言。我能取泡。王甚歡喜。即告女曰。今有一人堪任作鬘。汝可自往躬自臨視。女隨王語在外瞻視。時彼老匠白王女言。我素不別水泡好醜。伏願王女躬自取泡我當作鬘。女尋取泡隨手破壞不能得之。如是終日竟不得泡。女自疲厭而捨之去。女白王言。水泡虛偽不可久停。願王與我作紫磨金鬘。終日竟夜無有枯萎。水上泡者誑惑人目。雖有形質生生便滅。盛炎野馬亦復如是。渴愛疲勞而喪其命。人身虛偽樂少苦多。磨滅之法不得久停。遷轉變易在世無幾(出水上泡經)。

摩闍尼為婆羅門所嫉八

過去有王。名曰禁寐。生一女兒。著自然金花鬘。號曰摩梨尼。王召國內同日生女五百人。以充給使。摩梨尼年大。供養五百婆羅門日日不替。時迦葉佛住一園中。常出遊行至佛住園。御者不入。女問。我無園不入何故避此。答曰。此園但有禿頭沙門。名曰迦葉。不宜見之。是故不入。女曰。可入。見佛金色心大歡喜。頭面作禮佛說妙法得受三歸五戒致敬而去。女自追念。婆羅門非良福田。不應受施。迴以供佛。時婆羅門聞摩梨尼作迦葉弟子。更以上饌而供養之。心生嫉妬。禁寐已夜。得十一種夢。旦集群臣自覺所夢。臣令問相婆羅門。婆羅門曰。此夢不祥。或當失國或能喪命。王曰。可免乎。相師答曰。須種種牛羊象馬。并王女摩梨尼。及五百眷屬。却後七日於四衢道中殺以祠天。此災可滅。王聞勅令。即辦呼摩梨尼以事語之。六日之內隨意所欲。答曰。甚不惜死。願第一日與城中男女共至迦葉佛所。皆受三歸五戒。王即聽之。願第二日與王眾臣共往佛所。願第三日與諸王子共往佛所。願第四日與諸王女共詣佛所。願第五日與王夫人婇女共至佛所。願第六日與王共至佛所。王悉聽許。及與眾人往至佛所。佛為說法得果。皆受三歸五戒。王向迦葉佛說十一夢。佛言。此夢所為未來非現在也。夢小樹生花者。當來有佛名釋迦文。時世之人年始二十頭生白髮已生兒子。夢犢子耕者十歲兒領家事。父母不得自在。夢三釜並煮飯邊釜各跳相入不墮中央者。富者更相惠施貧者不得。夢見駱駝兩頭食草者。群臣既食王祿復取民物。夢見馬母飲駒乳者。時母嫁女反從求食。夢見金鉢於虛空中行者。雨澤不時夢見野狐尿金鉢中者。人民從富婚不顧姓族。夢獼猴坐床上者。時國王用非法暴虐無道。夢見牛頭著栴檀幘與腐草同價者。釋種貪利為人說法。夢見水中央濁四邊清者。佛法中國先滅邊國反盛。於王之身無有不祥。王即於座上勅諸臣曰。祠天之牲今悉無畏。吾從今寧自失命。不故殺生況殺人乎(出彌沙律第四十卷)。

國王女狗頭感捕魚師述婆伽九

國王有女。名曰狗頭。有捕魚師。名述婆伽。隨道而行。遙見王女在高樓上。窓中見面想像染著。心不暫捨彌歷日月不能飲食。母問其故。以情答母。我見王女心不能忘。母抑喻言。汝是小人王女尊貴。不可得也。兒言。我心願樂不能暫忘。若不如意不能活也。母為子故入王宮中。常送肥魚肥肉。以遺王女而不取價。王女怪問。汝欲求何。母白王女願却左右當以情告。我唯有一子。敬慕王女情結成病命不云遠。願垂愍念賜其生命。王女言曰。汝月十五日於某甲天祠中住天像後。母還語子。汝願已得。告之如上。沐浴新衣在天像後住。王女至時白其父王。我有不吉須至天祠以求吉福。王言大善。即嚴車五百乘出至天祠。既到。勅諸從者。齊門而止。獨入天祠。天神思惟。此不應爾。王為施主不可令此小人毀辱王女。即[示*厭]此人令睡不覺。王女既入。見其睡重推之不寤。即以瓔珞直十萬兩金遺之而去。去後此人得覺。見有瓔珞。

又問眾人知王女來。情願不遂。憂恨懊惱婬火內發自燒而死。以是證故知。女人之心不擇貴賤。唯欲是從。復次昔有國王女。逐旃陀羅共為不淨。又有仙人女。隨逐師子(出大智論第十四卷)。

經律異相卷第三十四

經律異相卷第三十五(得道長者部上)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 寶稱出家見佛悟道一
- 守籠那足下生毛苦行得道二
- 最勝難降染化成道三
- 福增百歲出家見其本骸心曉見道四
- 須達多崎嶇見佛時獲悟道五
- 須達七貧後得食併奉佛僧倉庫自滿六
- 最勝魔嬈不移七
- 申日為佛作毒飯火坑自皆變滅八
- 辯意請佛僧有二乞兒一死一為王九
- 曇摩留支先身為大魚十
- 慳長者入海婦施佛絹眾商皆死唯己獨存十一
- 毘羅陀請佛僧食而庫藏自滿十二
- 婆世蹟染欲危身為目連所救十三
- 長者新生一子即識本緣求母請佛甘味自下十四
- 阿那邠邸七子為財受戒聞法離垢十五

寶稱長者出家見佛悟道一

波羅奈城有長者。名阿具利子。字曰蛇陀(梁言寶稱出曜經云夜輸)年二十四。有琉璃屐生而著足。父母貴異。字曰蛇陀。別作屋宅。寒暑易處伎女娛樂不去左右。寶稱中夜欻見諸伎女皆如死狀。膿血流溢肢節斷壞屋宅眾具皆似塚墓。戶輒自開天地大冥。唯覩小光趣東城門。門復自開明照鹿園。尋光見佛瞻覩相好。怖止迷解舉聲歎曰。久在愛獄著名色械。今趣神尊寧得脫不。佛言。童子善來覺矣。斯處無憂眾行畢竟。前禮佛足。佛為說法逮無垢法眼。即起白佛。願為弟子。佛言。善來比丘便成沙門。明旦眾女周慞遍求。大家驚怖不知所在。長者遣馬四出推索。父乘子車東行尋求。道遇一水。水名波羅奈。度水見子寶屐脫置岸邊。即尋足跡徑趣鹿園。佛以方便令其父子兩不相見。長者問佛言。我子寶稱足跡趣此。瞿曇見不。佛告長者。若子在斯何憂不見。佛為說法入須陀洹。寶稱心解便得羅漢。父子相見恩愛微薄。長者白佛。今日心悅情有二喜。一遇佛解喜。二離愛快喜。

於時寶稱親支四人。一名富耨。二名維摩羅。三名橋炎鉢。四名須陀。聞寶稱已作沙門。驚喜毛竪曰。吾共詣佛并省寶稱。即便俱行。見佛影則乘本願行。作禮白佛。飢渴道化虛心日久。不以鄙陋願為弟子。佛言。善來比丘皆成沙門。為說心本淨聞義心了。便得羅漢。如有聞者發足尋覓。皆得道果(出中本起經又上出出曜經第十九卷)。

守籠那足下生毛苦行得道二

瞻婆城有大長者子。字守籠那。其父母唯有此子。心甚念之。生來習樂未曾躡地足下生毛。時摩竭國王聞瞻婆城中大長者子遲欲見之。即勅城主。使諸長者各將兒來。時瞻婆城主奉勅。詣摩竭王。在一面住。王聽以衣敷地。詣王所。王見足毛。心甚歡喜。即語言。可往見佛禮拜問訊。當與汝後世利益。時瞻婆城主及諸長者。共詣耆闍崛山。時有長老婆竭陀。為佛給使在磐石上坐。時瞻婆城主。詣長老婆竭陀所言。我等欲見如來。時婆竭陀即沒石上涌出佛前。白言。瞻婆長者欲見世尊。佛言。汝往屋蔭中敷座。我當往坐。時婆竭陀即敷座已還到佛所。白世尊言。敷座已竟。世尊坐已。告婆竭陀言。語長者來。時婆竭陀沒於佛前踊出石上。時諸長者歎未曾有世尊弟子神足猶爾。況復如來。婆竭陀言。長者宜知。是時瞻婆城主來詣佛所。世尊爾時。即為諸長者子及瞻婆城主說法勸化。即於坐上得法眼淨。白世尊言。大德。從今已去歸依三寶。為優婆塞。時守籠那後遂出家。往溫水河邊尸陀林中。懃行精進。經行之處血流污地。猶如血塗。時守籠那在靜處思惟。佛弟子中懃行精進無勝我者。我今何故不得無漏。我當捨戒還家自恣五欲布施作福。佛知其心。到守籠那所。我今問汝。隨意答我。汝在家時彈琴。琴絃若緩若急音聲好不。若不緩不急乃得好聲。佛言。比丘亦如是。不緩不急心乃會道。依教修行逮成羅漢焉(出四分律三分第二卷)。

最勝難降染化成道三

昔舍衛城內。有一長者。名曰最勝。更有長者。名曰難降。二人慳貪國中第一。饒財多寶不可稱計。二人門戶各有七重勅守門者。無令乞兒得入我家庭室中。鐵籠遍覆庭內以斷飛鳥。四面鐵牆防鼠穿鑿嚙壞器物。是時五大聲聞各以次第詣彼教化。從地踊出教以法施。長者二人聞之各不受化。後佛自往坐臥虛空放大光明。佛與長者說微妙法。長者雖聞心猶不達。內自思惟。佛來至不可虛爾使還精舍。宜入藏裏取一白氈布施如來。即起入藏。選一惡者反更得好。捨而更取倍得好者。心意共諍不能自決。當於其日阿須倫與忉利天共鬪。或天得勝阿須倫不如。或阿須倫得勝諸天不如。爾時世尊以天眼觀見長者心。或時慳心得勝施心不如。或時施心得勝慳心不如。爾時世尊便說斯偈。

施與戰同處　此得智不譽　施時亦戰時　此事二俱等

長者遙聞內懷慚愧。如來所說正謂我身。即出好氈持用為施。難降長者。出五百兩金持用惠施。心開意解各見道跡(出出曜經第十七卷)。

福增百歲出家見其本骸心曉見道四

若放男女若放奴婢。若聽人民若自己身。出家入道功德無量。布施之報

六天人中往反十世。出家之福無邊無量。勝起七寶塔上至三十三天。以貪人能壞。出家之德無有可毀。乃高須彌。深於大海廣於虛空。若為出家作留難者。其罪甚重。入深地獄黑闇無目。有一長者。名尸利苾提(梁言福增)其年百歲求欲出家。家人大小無從用者。尸利苾提往趣迦蘭陀竹林。從舍利弗求欲出家。老不得出家。遍問五百羅漢皆同。舍利弗出竹園門。舉聲大哭。優波離是剃髮賤人。泥提下穢除糞之人。殃掘魔羅殺無量人。及陀塞鞊大賊惡人。如是等人尚得出家。我有何罪而獨不得。佛即踊現。問福增言。汝何故哭。聞佛梵音心喜作禮。白佛言。諸罪惡人皆得出家。我何罪不聽我出家。大小不復用。我於佛法中復不得出家。設我還家必不見前。我當何趣。今日定當於此捨命。佛慰喻言。汝莫憂惱。聽汝出家。告大目連。聽與出家。即得出家。受具足戒。晝夜精勤修集讀誦廣通經藏。以年老故不能隨時恭敬迎送禮問上座。諸少比丘皆為上座常苦言激切。又作是念。我今寧死。往大河岸邊脫去袈裟置樹枝上。泣而誓言。我不捨佛法眾僧。唯欲捨命。我此身上布施持戒精進誦經。設有報者。願我捨身生富樂家。眷屬調從。於我善法不作留難。常遇三寶遭值善師。示悟涅槃畢投[泳-永+迴]澓中。未至水頃目連接置岸上。令捉衣角上衝虛空。猶如猛鷹銜一小鳥。屈申臂頃至大海島。海邊有新死人。女相具足。見有一虫從口出還從鼻入復從眼出更從耳入。苾提問。此何女人。答曰。時到當說。前行復見一女。自負銅鑊燃火吹之既沸。脫衣自入鑊中。髮爪先脫肉熟離骨沸吹骨出。在外風吹尋還成人。自取其肉而噉食之。次復前行見一大樹。多虫圍唼其身乃至枝葉。無有空處如針頭許。大叫震動如地獄聲。復次見一男子。周匝獸頭諸惡鬼神。手執弓弩三放毒箭鏃皆火燃。競共射之。身皆燋然。又見一大山。下安刀劍見有一人。從上投下刀戟劍稍壞刺其身。即自收拔還竪本處。往還不息。前見骨山。高七百由旬。目連於山為說。舍衛城中大薩薄婦。夫甚愛念。欲入大海戀婦不捨。即將入海。婦擎鏡照面。自覩端正。便起憍慢深心愛著。時遇大龜蹋船沒海。一切皆死。五百賈客一切皆死。海不受屍。夜叉羅剎出置岸上。隨所愛念死還生為虫。捨此虫身墮大地獄。舍衛國優婆夷婢優婆夷請一比丘。夏九十日奉給供養。使婢送食。婢至屏處選好自食。餘與比丘。大家覺問。婢答。我若先食使我世世自食身肉。今先受花報後墮地獄。

大樹諸虫唼食發大惡聲。是瀨利吒營事比丘。用僧祇物華果飯食。送與白衣。受此花報。後墮地獄。唼樹諸虫。即是得物之人。

舉聲大哭眾箭射身者。此人前身為大獵師。多害禽獸以是罪故受斯苦毒。於此命終墮大地獄。

大山上自投刀劍者。是王舍城大健鬪將。以猛勇故身處前鋒。或以刀劍矛楯傷剋物命故受此報。

有一國王名曇摩苾提。布施持戒慈悲不傷物命。政法治國滿二十年。共

人博戲。時有一人殺人。諸臣白王。答言。隨國法治。即案律殺。王戲已畢問。罪人何在。臣曰已殺。王聞泣曰。七珍皆住我獨入地獄。即捨王位入山自守。命終作摩竭魚。身長七百由旬。王臣恃勢枉刻百姓。命終亦作摩竭大魚。身虫瘡癢揩頗梨山。碎殺虫血流百里皆赤。應墮大地獄。時魚一眠百歲乃覺。覺大飢渴。即便張口海水流入如注大河。有五百估客入海採寶。值之船趣魚口。賈人稱南無佛。魚聞閉口。賈客得活。魚飢命終生王舍城。夜叉出身置此海邊。時王者汝身是。殺人為魚。苾提口解無常厭世。盡結得羅漢果(出賢愚經第七卷)。

須達多崎嶇見佛時獲悟道五

舍衛國有大長者。名須達多(賢愚經始云。大臣四部律並呼居士)常給施孤獨乞兒。人以為號。先有田業在王舍城。年年履行(大涅槃賢愚二經云為兒聘婦詣王舍城)寄止長者護彌家(中本起經云。迦蘭陀。大涅槃經云珊檀那)。夜起掃治宅舍辦餚饍。須達問之。答曰。迦毘羅城有釋種子。名悉達多。姓瞿曇氏。其生未久相師占之。定當作轉輪王。心不願樂。捨之出家。無師自覺得阿耨多羅三藐三菩提。於諸眾生其心平等故號為佛。明受我請。又問。今在何處。答曰。在迦蘭陀竹林精舍(十誦律云寒林)須達多一心念佛所有功德。忽然大明。尋光而出至尸呵城門。佛神力故自然而開(四分律云神即開門)出門路有天祠。須達致敬尋還黑闇。心生惶怖。復欲還反城門。有大天神。告須達言。仁者見佛當獲善利。盡閻浮提所得功德。不如發心一步詣如來所。須達問曰。汝是誰耶。答曰。我是信相婆羅門子(四分律云我是私訶神)是汝往昔善知識。我因往昔見舍利弗大目揵連禮拜歡喜。捨身得作北方天王毘沙門子。專知守護此城(十誦律大同)況見如來禮拜供養。須達禮佛。佛如應說法。得須陀洹道(出大涅槃第二十七卷又出雜阿含第二十卷中本起四部律皆大同小異)。

須達七貧後得食併奉佛僧倉庫自滿六

長者須達七貧後貧最劇。於糞壤中得一木斗。其實栴檀。出市賣之。得米四斗。語婦曰並炊一斗。吾當索菜。時佛念曰。當度須達令福更生。炊米方熟。舍利弗往。婦見歡喜。一斗米飯悉投著鉢中。更炊一斗。目連復往。亦歡喜與之。復炊一斗。迦葉復往。亦復與之。適有一斗。尋復炊熟。如來自往。婦自念言。間日之糧。莫有降者。今有是米。如來躬顧。得無罪畢福生者哉。一斗米飯盡施如來。佛口呪願。罪滅福生從今日始。須達尋歸。婦恐其恚。便問曰。如今佛來及舍利弗目連。迦葉盡來求食。當與不耶。答曰當與。福田難遭。若來求者是為值遇。婦言。向四斗米吾盡用施矣。夫大歡喜。餘有飯汁公姥共飲之。須臾彷徉。諸室珍寶倉庫穀帛。自然實滿。如往時富也。須達踊躍。知佛愍念。更請佛及僧供養盡空。佛為說法皆得道迹(出雜譬喻經下卷)。

最勝魔嬈不移七

最勝長者聞說妙法。即於坐上諸塵垢盡得法眼淨。受三自歸為優婆塞。盡形壽不殺。佛去不久。弊魔波旬化作佛像及相好。來至長者家。長者念曰。如來向出還其何速。偽佛告曰。吾謂長者高才博智分別譏趣。諦念長者。愚惑無智。吾向所說四諦者實非真諦。斯是顛倒。外道所習。長者即自覺知。即報之曰。止止勿語。吾得慧眼住牢固地。正使汝化作億千萬身。吾不退轉。何以螢火之光與日競明。佃家灰埠欲比須彌。鵄鷲烏鵲金翅並飛。波旬慚愧復身而去(出最勝長者受呪願經)。

申日為佛作毒飯火坑自皆變滅八

是時王舍國。有一四姓長者。字為申日。財產甚富。金銀珍寶無有央數。申日事餘道人。唯不事佛。諸異道人皆共嫉妬。申日共議言。佛今為王及傍臣長者吏民所敬。而我等獨不為所重。佛常自說言。知去來現在之事。知他所念。今寧可試。為審爾不。申日言。當何試之。異道人言。請佛持毒藥置飯中。掘門裏深五丈。以火置中薄覆其上。令佛從上來。若知當不受請。受請則不知。申日言諾。即行請佛。佛言大善。異道人言。已無所知。但當穿地。申日有子。字旃羅法。年十六。通達宿命善學佛道能知去來現在之事。啟其父言。佛已知之。莫用惡人言自投湯火。申日不信。掘坑燃火飯置毒藥。告諸比丘。隨我後行。佛適向道。便放光影令申日舍中悉作金色。時旃羅法即語父言。今佛已起向道。十方皆明如日。佛到城門。足蹈門限。舉大城中即為大動。病者即愈。箜篌樂器不鼓自鳴。佛到申日門。五丈火坑化作浴池。中生蓮華。一華千葉。諸弟子所蹈蓮華。華生百華。皆蹈華而行。申日見火以作水池中生蓮華。便大懼怖。頭面著地以誠自說。今為佛作飯皆以毒藥置中。願乞更炊。佛言。不須更炊。持毒藥飯來食之。勅諸比丘。且勿食。須我教乃食。佛即呪曰。天下凡有三毒。一者貪婬。二者瞋恚。三者愚癡。佛無是三毒為不行。至誠有經法者。毒亦不行。飯食中毒皆自消去。佛言皆飯。申日頭面禮佛足言。我大無狀。用惡人之言。願從世尊求哀悔過。佛為說經。得須陀洹道(出申日兜本經)。

辯意請佛僧有二乞兒一死一為王九

舍衛國有一長者子。名曰辯意。聞佛說五十事要。逮得法忍。五百長者子得法眼淨。辯意言。唯願世尊及大眾。明日中自屈於我舍食。佛與大眾往其家食。未呪願。有一乞兒。歷座行乞。無敢與者遍無所得。瞋恚而出。便生惡念。此諸沙門。放恣愚惑。有何道哉。貧者從乞無心見與。吾得為王。以鐵輞車轢斷其頭。言已便去。佛呪願竟。復一乞兒來。從眾乞食。各各與之。大得飯食歡喜而去。即生念言。此諸沙門有慈悲心。我得為王供養佛僧。乃至七日。不報今者飢渴之恩。言已便去。二乞兒展轉求匄。到他國中臥於道邊深草之中。時彼國主忽然崩亡無有繼嗣。相師判言。書記當有賤人為王。諸臣百官千乘萬騎按行國界。望見草上有雲霞蓋。相師曰。中有神人。即得乞兒。諸臣拜謁。乞

兒驚愕自云。下賤非是王種。皆言。應相沐浴香湯。著王之服。光相莊嚴導從入國。惡念乞兒。在深草內臥寐不覺。車轢斷其頭(出辯意經)。

曇摩留支先身為大魚十

昔有長者。字曇摩留支問訊。佛言。曇摩留支。別來大久乃得相見。有人問。佛答曰。昔阿僧祇劫時。世有佛。名曰定光。我時為梵志。字曰超述。時定光佛。方欲入城。我即中路相逢。解髮布泥上令佛蹈過。佛即記曰。汝勇猛乃爾。却後阿僧祇劫當得作佛。汝于時起恚心曰。此人與畜生無異。乃蹈他頭髮上過去。從起以來阿僧祇劫。常墮畜生中。復在大海中。為摩竭魚。身長七千由延。時有五百賈客。乘船入海採寶。值此大魚噏船垂欲入口。時五百人各稱所行事。時賈客主語眾人言。今世有佛名釋迦文。濟人危厄無復是過。我等稱名冀蒙得脫。即便齊聲稱喚。魚聞佛名本識由存。即自惟曰。釋迦文佛已出世間。我身云何故在魚中。即還沒水。五百賈客安隱而歸。時魚即撲身出沙壇上。不飲不食經二七日命終。生長者家作子。字曇摩留支。今來與吾相見。所以稱久遠耳。留支聞此本末。即向海邊求其故屍。見大魚骨皮肉已盡行脇骨上。思惟言。此是我故屍。即以華散故屍上。尋惟即往。忽然道成(出分別功德經第四卷)。

慳長者入海婦施佛絹眾商皆死唯己獨存十一

昔人大富而慳。其婦好法欲施不敢。婿臨入海。先以鐵蒺藜三重繞舍。婦礙之不能得出。一心念佛。諸鐵關閡變成鵠毛。取絹一匹寄人施佛。佛受呪願。夫與五百伴共在海中。為鬼所噉。唯留其夫。諸鬼相語。是人婦事佛。不可近也。伴侶死盡獨得寶還。問婦何事。婦具告之。二人歡喜。即請佛僧設會得道(出雜譬喻經第一卷)。

毘羅陀請佛僧食而庫藏自滿十二

昔佛在世有大長者。名修羅陀財富無數信向道德。自誓。常以臘月八日請佛及僧。終身子孫奉行不輟。長者亡時。囑兒勿廢。兒名毘羅陀。後日漸貧。至時無以供辦愁慼不樂。佛遣目連往問云。汝父供月欲至當設何計。答言。唯願世尊。勿見忽棄。八日臨盼。將妻至外家。質百兩金。還辦供具。佛與千二百五十眾僧往舍而坐。行水下食清淨竟而還。其日夜半諸故藏中寶物自滿。夫婦見之。且喜且懼。恐官顧問。即往白佛。佛言。安意快用勿有疑難。汝之履信不違父教。聞施慧道七財滿足(出法句經第三卷)。

婆世蹟染欲危身為目連所救十三

佛在羅閱祇國。有豪長者。名尸利蹟。大富盈溢。婦生一男形容嚴妙。請師占候歎子福德。問言。從懷此兒有何瑞應。長者曰。其母訥口鈍

辭。既懷此子談語巧妙。字婆世蹟。及年長大遊行觀看。見那羅伎家有一女子。心便染著欲得娉娶。還啟父母願為求索。父母告言。高卑非匹如何為婚。子重啟言。莫問門戶但論其身。幸為我求若不如志便自殞命。父母從之。共作婚姻。兒惑其色不恥鄙事。即詣彼家。學習戲藝皆已成就。是時國王集諸那羅眾多戲事。時長者子次應現伎上索而走。王脫不見。復勅更上。氣力漸羸中道欲墮。心中惶懅無所歸依。目連陵虛告之曰。如卿今日寧全身命出家學道。為寧墮地娶彼女耶。答言。願自存濟不用女也。目連即時化作平地得全身首。喜不自勝。隨逐目連。往詣世尊禮拜供養。佛於是時廣說妙論。心意開解便得初果。因求出家世尊聽之。鬚髮自落法衣在身。專精禪思成阿羅漢。佛言。過世波羅奈國。有大長者。初生一子端正無比。有人從海中來齎一鳥卵用奉長者。長者納受。經少時間。其卵便剖出一鳥雛。毛羽光潤。長者受與子使弄。子騎鳥脊飛遊觀看。聞他國王作那羅戲。乘鳥至彼。鳥住樹上。偶見王女情便染愛。遣信騰情。女便與交。為王所知。推捕縛來而當斬戮。長者子言。諸君何為勞力殺我。聽我上樹自投而死。諸人聽許。便相上樹乘騎其鳥翔虛而去。得延壽命。時長者子今婆世蹟是。王女者今伎家女是。爾時鳥者則目連是。過去世惑色致困由鳥得濟。今垂當死。由於目連故得安隱(出賢愚經第十三卷)。

長者新生一子即識本緣求母請佛甘味自下十四

舍衛國中有大長者。生一男兒。而目端正生而能言。問其父母。世尊及舍利弗阿難等皆在世不。父母答在。見其能言乃謂非人。即往問佛。佛言。此兒有相。父母歡喜。兒又啟曰。唯垂請佛及僧。答曰。卒無供養。兒又啟曰。但掃灑堂舍莊嚴床席。施三高座。百味飯食自然滿堂。又先身之母今猶存在。居波羅奈國。願為仰報。父母遣使馳象迎接。以三高座。一擬如來。一為父。一為前世所生母。佛與眾僧既入其舍。甘味飯食自然而下種種豐饒。佛為說法。合家大小盡得初果(出賢愚經第一卷)。

阿那邠邸七子為財受戒聞法離垢十五

舍衛城中阿那邠邸。有七子心無篤信。於佛法眾不持五戒。阿那邠邸長者言。我當賜汝千兩金。汝等可歸命三寶受於五戒。七子聞之。便欲歸三寶受持五戒。父各賜千兩金。俱至世尊所。具以白佛。云何世尊。彼七子頗有福善諸功德不。佛言。善哉長者。饒益眾生安隱天人。彼七子者緣是諸善功德具足。所獲果報我今當說。北方有國。城名石室。國土豐熟人民熾盛。彼有伊羅波多羅藏。無數百千金銀珍寶。於彼健陀賴國人七藏之中。隨其所欲皆悉費用。無所減少及此伊羅鉢多羅大寶藏。彼七千兩金百倍千倍無數倍。皆悉不及汝七子所獲功德。世尊與阿那邠邸說微妙法。即從坐起白世尊言。願受我請。及比丘僧。欲設甘露飲食。為七子故。世尊默然受。世尊知時。與比丘僧前後圍遶入舍衛城。詣阿

那邠邸家皆即就坐。長者及子禮敬世尊。世尊說法便逮等見。告言如是。長者七子甘饌飲食。飯佛比丘。食竟除鉢。佛與七子說法。各於坐上諸塵垢盡。無有瑕穢得法眼生。彼已見法。無有狐疑亦無猶豫(出阿那邠邸化七子經)。

經律異相卷第三十五

經律異相卷第三十六(雜行長者部下)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 流水救十千魚一
- 樹提伽身生人中受天果報二
- 迦羅越手能雨寶三
- 迦羅越以飽食施鳥令出腹中珠四
- 忽起經暫貧客作設會即獲花報五
- 無耳目舌先世因緣六
- 音悅今身受先世四種報七
- 鳩留飢遇樹神因得信解八
- 日難財富巨億慳惜不施後世貧盲九
- 長者發菩薩心將諸貧人取得珍寶十
- 長者後貧舉財供施耕遇千鼎用之不盡十一
- 香身長者婦為國王所奪十二
- 長者婦懷妊口氣香十三
- 慳財生號哭地獄十四
- 以擣衣石施人起塔生天十五
- 須達三子事窮方信十六
- 須檀子貪財殺弟十七
- 犁耆彌第七兒婦生三十卵卵出一男十八
- 癡子賣香遲燒之為炭以求速售十九

流水救十千魚一

流水長者子。於天自在光王國內。治一切眾生無量苦患。令身平復。以病除故多設福業。作如是言。善哉長者。能益眾生無量壽命。必是菩薩解諸方藥。時長者共二子水空水藏。將其二子次第遊行城邑聚落。最後到一大空澤中。見諸虎狼狗犬鳥獸。悉皆一向馳奔而去。長者逐而觀之見有一池。其水枯涸。於其池中多有諸魚。見是魚已生大悲心。時有樹神示現半身。作如是言。大善男子。此魚可愍汝可與水。是故號汝名為流水。汝今應當隨名定實。時長者子問樹神言。此魚頭數為有幾所。樹神答言。足滿十千。增大悲心。時此空池為日所曝。唯少水在。是十千魚。將入死門四向婉轉。見是長者心生恃賴。隨是長者所至方面。隨逐瞻視目未曾捨。是時長者馳趣四方。推求索水了不能得。見有大樹尋取枝葉。還到池上與作蔭涼。復更推求是池中水本從何來。即出四向周遍未覓。莫知水處。復更疾走見一大河。名曰水生。有諸惡人為捕此魚故於上流懸嶮之處。決棄其水不令下過。長者向王說其因緣。唯願大王借二十大象。令得負水濟彼魚命。如我與諸病人壽命。王勅大臣速疾供給。汝今自可至象厩中隨意選取利益眾生。是時流水及其二子。將二十

象借索皮囊。疾至河上盛水象負。水遂彌滿還復如本。時長者子於池四邊傍佯而行。魚亦隨逐循岸而行。時長者子復作是念。是魚必為飢火所惱。復欲從我求索飲食。我今當與。時長者子告其子言。汝取一象最大力者。速至家中。所有可食之物。乃是父母飲噉之分。及以妻子奴婢之分。一切聚集悉載象上。急速來還。爾時二子往至家中。白其祖父說如上事。收取家中可食之物。載象背上疾還父所至空澤池。時長者子見其子還。心生歡喜踊躍無量。從子邊取飲食之物。散著池中與魚食已。即自思惟。我今已能與此魚食。令其飽滿。未來之世當施法食。曾聞過去空閑之處有一比丘讀誦大乘方等經典。其經中說。若有眾生臨命終時。得聞寶勝如來名號。即生天上。我今當為是十千魚。解說甚深十二因緣。亦當稱說寶勝佛名。即便入水。作如是言。南無過去寶勝如來。本往昔時行菩薩道。作是誓願。若有眾生於十方界。臨命終時聞我名者。當令是輩尋得上生三十三天。復為是魚解說如是甚深妙法。所謂十二因緣。說是法已。即共還家。是長者子復於後時。賓客聚會醉酒而臥。爾時其地卒大震動。時十千魚同日命終生忉利天。既生天已作是思惟。我等以何善業得生天中。復相謂言。我等先於閻浮提內。墮畜生中受於魚身。流水長者與我等水及以飲食。為我等說十二因緣。并稱寶勝如來名號。以是因緣令我等輩得生此天。我等今當報恩供養。時長者子在樓屋上露臥眠睡。是十千天子。以十千真珠天妙瓔珞置其頭邊。復以十千置其足邊。復以十千置右脇邊。復以十千置左脇邊。雨曼陀羅花摩訶曼陀羅華積至于膝。種種天樂出妙音聲。閻浮提中有睡眠者皆悉覺悟。流水長者子亦從睡悟。是十千天子於上空中飛騰遊行。天自在光王國內處處皆雨天妙蓮華。是諸天子復至本處空澤池所。復雨天華。便從此沒還忉利宮。隨意自在受天五欲。過是夜已。天自在光王。問諸大臣。昨夜何緣示現如是淨妙瑞相。大臣答言。大王當知。忉利諸天於流水長者子家。雨四十千真珠瓔珞及不可計曼陀羅華。王即告臣。卿可往至彼長者家喚令使來。即至其家宣王教令。是時長者尋至王所。王問長者。何緣示現如是瑞相。長者子言。我必定知。是十千魚其命已終。時大王言。今可遣人審實是事。爾時流水尋遣其子至彼池所。看是諸魚死活定實。爾時其子向於彼池。見其池中多有摩訶曼陀羅華。積聚成[廾/積]其中。諸魚悉皆命終。還白父言。彼諸魚等悉已命終。爾時流水復往王所。是十千魚悉皆命終。王聞歡喜。爾時世尊告善女天。時流水長者子今我身是。長子水空羅睺羅是。次子水藏今阿難是。時十千魚者今十千天子是。是故我今為其受記。爾時樹神現半身者今汝身是(出金光明經第四卷)。

樹提伽身生人中受天果報二

昔有一長者。名樹提伽。倉庫盈溢金銀具足。奴婢成行無所乏少。有一白氈手巾掛著池邊。遇天風起吹來國王殿前。群臣參論卜問所以。諸臣皆言。國將欲興天賜白氈。臣樹提伽默然無言。王問。卿何以無言。提伽答曰。不敢欺王。是臣家拭體之巾。掛著池邊。遇天風起吹來殿前。却後數日。九色之華大如車輪。又遇天風吹來王殿前。王復與群臣參論

卜問。提伽答言。是臣家園中萎落之華風吹來耳。王問提伽。卿家乃爾。吾欲將領二十萬眾到卿家看。提伽答言。願王即相隨去。王即將領二十萬眾。到樹提伽家。南門直入。有三十童子顏容端正。王問樹提伽。是卿家兒孫耶。答言。是臣家守門奴。進到中閣。有二十童女顏容端正。王問。是卿家婦女耶。提伽答言。是臣家守閣之婢。進到其戶。白銀為壁水精為地。王見水流疑不得進。樹提伽即導王前戶中。以黃金為床白玉為机。樹提伽婦有百二十重金銀幃帳端正無雙。為王作禮眼中淚出。王問。卿婦見我有何不惋眼中淚出。答言。王衣烟氣是故淚出。王言。庶民燃脂。諸侯燃蠟。天子燃漆。亦無烟也。何得淚出。樹提伽答言。臣家有一。明月神珠。掛著堂上。晝夜無異不須火光。王是烟中之王。是故聞氣耳。

樹提伽家堂前。有十二重高樓。將王上頭。視東忘西。視南忘北。掩掩寂寂。王謂須臾小復可忍。到後園中流泉浴池。食諸果菰自適甘美。甚復可愛以至一月。大臣白王。可須還國。樹提伽即布施金銀珍寶綾羅繒綵。二十萬眾人馬車乘一時還國。王即會群臣怪其所以。樹提伽是我之臣。婦女宅舍過甚於我。我欲伐之。可取與不。諸臣皆言。宜可取之。王即與四十萬眾椎鍾鳴鼓圍提伽舍。毀百重牆。提伽門中有一力士。手捉金杖以擬四十萬眾。一時俱倒眠地不起。提伽乘飛雲輪車在虛空中問。諸人等來時何意眠地不起。諸人答如上事。樹提伽問。欲得起不。皆言欲得。樹提伽放大神目一視。四十萬眾一時俱起。還其本國。王即遣使喚樹提伽。共至佛所問言。世尊。樹提伽是我之臣。前身有何功德。婦女舍宅過甚於我。佛答言。樹提伽布施功德。見天上愛樂。五百商主將諸商人。齎持重寶奔空山中。逢一病道人。給其草屋厚敷床褥。給水漿鎡錥米糧。給其燈燭。于時乞願天堂之供。今得果報如是。佛言。是時布施者。今樹提伽夫婦是也。于時病道人者。今我身是也。五百商人皆得阿羅漢道(出樹提伽經)。

迦羅越手能雨寶三

昔阿育王國。有迦羅越。供養二萬比丘。長請一年。名聞國王。王召見之。聞卿大富。盡有何物耶。對曰。實無所有。王不信之。留迦羅越遣人看其家。見其門有七重舍宅堂宇。皆以七寶。有勝王宮。婦女亦勝。但無穀帛錢物。便還白王王意漸解。迦羅越即時便笑。王問何所笑耶。答言。王不見信耳。迦羅越以手指東。便滿中七寶。指南亦然。王便遣還。而眾僧精舍去宮不遠。王便詣精舍。見比丘僧。作禮恭肅問上座。彼迦羅越宿有何福自然珍寶念之便至。上座比丘入三昧。見四百由旬之物心念。見是長者。乃惟衛佛時有四人共立塔寺。中有一人用意慇懃。塔寺成後以金銀七寶及眾好華共合和之。上三重塔上。以散四面。願後食福恒不斷絕。今得自然寶者。是此一人。王聞大修功德(出譬喻經第一卷)。

迦羅越以飽食施鳥令出腹中珠四

昔有迦羅越長者。聰明博達財富巨億。居近海邊。多植樹木榮茂參天。時海渚上大有珍寶。價直千億如人不得近。唯鳥往來。唯噉明月之珠。朝入暮出。栖宿長者叢林。長者多智方便圖之。即作百味之食。以用與鳥。鳥食之飽滿便吐珠覆地。長者得之。遂成大富(出譬喻經第七卷)。

忽起經暫貧客作設會即獲華報五

舍衛國有一居士。亡失田宅家人得罪死亡都盡。唯餘一子無復所依。子聞人說。飯佛及僧者生忉利天。乃願飯佛僧。惟當客作以果此願。有一居士(彌沙塞律云大臣)多有田宅。此兒雖小多諸藝能。求欲傭賃。居士問。汝何所能。答曰。能書算文義別金銀珠貝錢財系羽監田。坐肆無所不解。問歲索幾物。答曰。年一千金錢。居士曰。今世飢饉乃雇五百。年滿并還小兒言。我才不施堪此須用既急。今為君與。即使坐肆。始滿一月。挍計所得已盈三倍。日止一食留一食分。更使監田比及冬藏復獲三倍。歲滿索金及食。居士慮其便去屢託不在。後謂之言。急索作底。小兒言。我欲飯佛及僧。居士聞之即生信心。又問欲何處作。答曰。欲往祇洹。居士曰。但住我門器[荂-夫+焦]相助。小兒白佛。願明日受我食。佛僧默然(彌沙律云即將財物往至佛所。供辦珍味極世甘美。緣其意至鬼神助焉倏忽之頃自能都辦)正遇節日。諸白衣多送豬肉乾餅種種飲食。眾僧受取共相謂言。今日貧兒竭力作會。人人皆當為之稍食。及到居士舍。手自行食。皆云少與。食遂無減。貧兒問僧。為食麁澁為愍我貧。答曰。今日是節日。早起人送食。初乃少與。家數既多。遂成飽滿。貧兒愁憂恐所期不果。涕泣問佛。佛為說法必得生天。汝疾還去。貧兒歡喜。更行僧食隨僧意取。我肆力時期盡供養。今諸大德雖不能噉。隨意將去。時五百商客。從優那禪國來晡至。道路遼遠。絕糧三日。入城買食。時世飢儉且天盛熱都無所得。商主歎曰。海中不乏大城無食。宜更遍求隨須何物。貧兒啼向佛。時多人見之語估客云。某舍有食。即往居士家。白小兒言。我等須食。小兒問言。有幾人。答曰。有五百。可盡喚來。何須論直。至即設食皆得飽滿。有一大銅杅。一估客主。解衣角珠。直十萬金錢。置於杅中。其餘估客皆解珠。投於杅內。小兒言。我不賣食。何忽與珠留。客小住待我問佛。佛言。但取不妨得生天。此是花報果報在後還受寶物。估客又問。居士此城先有某甲今何所在。答曰。已往。又問。有子孫不。答曰。向之施主即其子也。估客語小兒言。君父是我。等師又與百千兩金以敦舊好。時居士無兒。唯有一女端正姝妙。求妻小兒。送金百千兩。居士死後。波斯匿王問。有兒不。誰相料理。答曰。唯有一女婿。當事判財物并屬女婿。拜為大臣。即勅舍衛城內大長者職(十誦律云居士位)時國人民號為忽起長者(出十誦二誦第六卷又出彌沙塞律第十卷)。

無耳目舌先世因緣六

時舍衛國有大長者。財富無量無有男兒。唯有五女端正聰達。其婦懷妊長者命終。國法無男財物入王。王遣大臣攝錄其財。其女心念。我母懷妊未知男女。若續是女財應屬王。若其是男應為財主。往白國王。時波斯匿王法平政。即可所白。其母不久月滿生兒。其身渾沌無復耳目。有口無舌又無手足。唯有男根。即為作字名鏝慈毘梨。爾時是女。具以是事往問於王。王告諸女。財屬汝弟。吾不取也。爾時大女。往適他家奉給夫主。謙卑恭敬謹如婢事。大家長者覩其如斯。怪而問言。女子對曰。我父終沒家財無量。雖有五女猶當入王。會母有身生我一弟。人相都缺但有男根。得為財主。雖有諸女不如一男。長者聞已。即與其女往至佛所。白言。世尊。彼長者子以何因緣。佛言。乃往過去有大長者兄弟二人。兄名檀若世質。弟名尸羅世質。其兄少小。忠信成實常好布施舉國稱美。王任此人為國平事。國法舉貸取與無券悉詣平事。時估客從弟尸羅世質多舉錢財。時弟長者。唯有一子其年幼小。將其子并所出錢。到平事所。白言。大兄。是估客子從我舉錢。入海來還應得爾許。我若終亡證令得之。平事言然。其弟長者不久命終。估客入海遭風失貨。估客得全。時長者子聞其空歸。便自念言。此雖負我何由可得。須有當償時。此估客復餘舉假。續復入海獲大珍寶。安隱來還。心自念言。彼長者子前雖不從我債我舉錢。時此人幼稚或時不憶。或見我前窮故不責耶。今當試之。即嚴好馬眾寶服飾。長者子見即遣人語。汝負我錢今可見償。答曰可爾。估客自念。所舉頓大重生累息。無由可畢。當作一策乃可了耳。持一寶珠到平事婦所。白言。夫人。我本從尸羅世質舉錢財。其子來責。今上一珠價直十萬。若從我責可囑平事。其婦答言。長者誠信必不肯爾。為當試語。即受其珠平事暮歸。婦即具白。長者答言。何有是事。以我忠信不妄語故王立我為國平事。若一妄語此事不可。明估客來具告情狀。即還其珠。時估客子更上一珠直二十萬。願使囑及。此既小事。但作一言得三十萬。爾時女人貪愛寶珠即為受之。暮更白夫。昨日白事願畢在意。長者答言。絕無此理。爾時長者有一男兒。其婦泣曰。若不見隨我先殺兒然後自殺。長者聞此。譬如人噎。自念。我唯一子。若其當死財無所付。若從是語人不信用。將來受苦迫憯不已。即便可之。婦語估客。長者已許。估客欣悅。還嚴大象眾寶莊校著大寶衣乘象入市。長者子見即往語曰。先所負錢今宜見償。估客驚言。我都不憶何時負君。尋共相將至平事所。長者子言。此人往日親從我父舉若干錢。伯為時平事為爾不。答言不知。其姪驚曰。伯父爾時審不見聞。又答不爾。姪子恚曰。以伯忠良。王令平事。國人信用。我親弟子非法猶爾。況於外人枉者豈少。此之虛實後世自知。佛告長者。欲知爾時平事長者。今鏝慈毘梨是。由於爾時一妄語故墮大地獄多受苦毒。從地獄出五百世中常受此身。植好布施。常生豪富得為財主(出賢愚經第七卷)。

音悅今身受先世四種報七

有長者名曰音悅。財富無數年老無子。以為愁慼。雖然宿福所追。其報

有四。一者夫人產男。二者五百白馬同時生駒。三者國王遣使者拜授金印。四者五百寶船同時俱至。佛告阿難。長者音悅先世之時。遣五百人乘船入海。既獲眾寶安隱還家。是故如來說此四福同時普集。長者念言。天降福祚集我之庭。當作甘饌室族相慶。時四天王釋梵諸天龍神鬼王阿須倫等。各與眷屬側塞虛空。如來神達知此長者歡喜踊躍。因其歡悅而往稱歎。若其開解可殖福哉。應時歌誦吉祥八音。長者歡喜啟瞿曇言。實為神妙。知我室族吉祥無量。扵屈尊神來相讚歎。以好白氎直千萬兩金。奉上如來佛即受之。佛告長者。財有五厄。汝今能為必獲影報。所生之處福自歸身。長者白佛。何等五厄。佛言。一者火燒。二者水漂。三者縣官。四者惡子用度無限。五者盜賊五事。一至不可抑制。長者聞說益增踊躍。於是如來忽然還到耆闍崛山。爾時國內有尼揵異道。名曰不蘭迦葉。聽聞如來詣長者家歌頌一偈。獲得長者千萬兩金。沙門尚能得金。況我往乞當不得乎。又自念言。我當往求瞿曇沙門所可說偈。然後往乞必得珍寶。嗟歎之宜當勝瞿曇。不蘭迦葉。懷此愚癡妬嫉之意。而往問佛。傳聞瞿曇。詣長者家歌頌一偈大得珍寶。寧可哀矜賜所說偈。令吾諷誦冀望得寶。如來三達知此長者却後一時財寶當散。不蘭迦葉不知時宜。遭厄之家而說吉祥。必得長者無量杖痛。如來告言。不惜此偈汝不知時。卿說此偈必得楚痛。是故違卿。若更欲得應時之說絕妙之句。吾當與汝。既使長者得聞真言。又免捶毒之痛。不蘭迦葉心自念言。瞿曇沙門不欲令我往乞珍寶。是故恪惜不肯與我。即便重啟。其於與我焉知餘事。如來慈愍諫之滿三終不信解。佛亦豫知不蘭迦葉前世因緣應受此痛。如來又云。罪不可諫。佛即為說吉祥之偈。尼揵諷誦一歲乃諳。然後長者失火燒舍珍奇了盡。五百馬駒同時燒死。所生妙子一旦終亡。王遣使者錄奪金印。後復乘船入海採寶安隱來還。泊岸五百寶船一旦漂沒。室族大小無不愁毒。不蘭迦葉往到其門。歌頌如來吉祥之偈如上所說。長者聞之舉門忿恚。天下凶殃無過於我。云何此人裸形無恥。在此妖蠱。說我吉祥益我憂煩。即出捶打。從頭至足匍匐還家。六師宗等逆問其意。答言。此變正由瞿曇。內不自剋反怨世尊。佛告眾會。不蘭迦葉前從如來求索一偈。欲詣長者歌頌求寶。如來諫之。其於不信。今已在彼遭痛毒患。阿難白佛。不蘭迦葉與此長者有何因緣而被此患。佛告阿難。乃昔久遠阿僧祇劫時。有國王亦名音悅。復有一鳥。名曰鸚鵡。在王宮上鳴聲和好。王時晝寢聞鳥鳴聲驚覺。問其左右。此為何鳥鳴聲妙好。侍者白言。有一奇鳥。五色焜煌適在宮上鳴已便去。王遣步騎逐而求之。推尋殊久捕得與王。即以七寶瓔珞其身常著左右。晝夜看視不去。須臾復有一鳥。名曰鵂梟。來在宮上。看見鸚鵡獨得優寵。即問鸚鵡。何緣致此。鸚鵡答言。我來宮上悲鳴殊好。國王愛敬於我取我常著左右。鵂梟聞之。乃懷妬嫉。心即念言。我亦當鳴令殊於卿。國王亦當愛寵我身。王時臥睡鵂梟即鳴。王即驚覺。嗇然毛竪如畏怖狀。王問左右。此為何聲驚動怖我。侍者白言。有惡聲鳥名曰鵂梟。王遣大眾分布推索。即得與王。王令左右生拔毛羽。舉身大痛步行而去。眾鳥問言。何緣致此。鵂梟瞋恚答眾鳥言。正坐鸚鵡故得此患。佛言。善聲招福惡聲致禍。罪報由己反怒鸚鵡。昔國王者音悅是。鸚鵡

者我身是。鵂梟者不蘭迦葉是(出長者音悅經)。

鳩留飢遇樹神因得信解八

昔有長者名鳩留。不信今世後世善惡報應。與五百人共行治生。未到他國絕食三日。前行遙見叢林。想是居家。到見樹神。即為作禮。其人飢乏。神即舉手。五指端自然出飲食甘水與之鳩留飽滿復大號哭。神問何故。答曰。吾伴五百人皆大飢渴。神令呼來。復與飲食。人馬皆足。鳩留問神。本有何福自致如是。神曰。我本迦葉佛時作貧窮人。恒於城門磨鏡。有沙門出入。常喜指示分衛之處。及佛圖精舍。如是非一。壽終生此。自然受福無所乏短。長者心悟大修布施。日飯八千人。濤米之汁流出城門。足以乘舟。後生第二天上。作散花天人(出十卷譬喻經第二卷)。

日難財富巨億慳惜不施後生貧盲九

昔波羅奈國長者。名曰日難。大富珍琦。為人慳嫉。日未沒時常勅門監。乞者勿通。日難子旃檀。亦復慳貪。難後壽盡還生國中。為盲婦作子。其夫語婦。汝身重病今復懷軀。我無衣食汝便自去。婦出門去得大聚廩。便止其中。九月生子兩目復盲。乞食養之。至年七歲其母悲言。今有乞我少飯愈飢如雨渴者。兒聞母說便行乞食到其子家。時守門者這小出外入到中庭。栴檀聞語。呼守門問。門監懼罪。即擊盲兒撲於門外傷頭折臂。母聞走到何人無道。時門上神便謂之言。汝得是痛尚為小小。其大在後。汝坐前世有財不施故得勤苦。死更苦痛觀者聞聲。佛問阿難。是何等聲。阿難具說。願佛哀矜。到此兒所分越飯已。往視盲兒以手摩頭。目便開明。折傷即愈。因識宿命。佛問。汝是前世長者字日難非。對曰是也。佛告阿難。人居世間甚苦愚癡。一世父子不相識知。時佛說經解散其意。

有求子索財　於此二事中　甚憂勤苦痛　他人所得果　有身不能保
何況子與財　譬如夏月暑　息止樹下涼　須臾當復去　世間無有常(出日難經)

長者發菩薩心將諸貧人取得珍寶十

昔有長者。發菩薩心。聚諸貧人凡得五百。資給衣糧。入海採寶宿一大山。眾人昏鈍唯長者獨坐。並有所瞻。夜見山腹出於一人。光炎非恒面目端正。口似猪口以伎樂自娛。周旋山側。長者問曰。卿為何人。聞聲愕曰。吾是受福之人解住在此。長者問曰。身形端正口何獨爾。答曰。坐犯口過常喜泄語。天人曰。卿是何人。答曰。吾是國中長者。憂念貧匱欲令安隱故將眾人入海採寶。並欲運寶饒益閻浮。天人曰。卿得無是菩薩耶。長者曰。吾發菩薩心。救濟一切婬怒癡病。諸未度者吾是度之。天人曰。善哉。遂送寶所重載而還(出十卷譬喻經第五卷)。

長者後貧舉金供施耕遇千鼎用之不盡十一

昔罽賓國有一長者。本大富。父母亡後。常供養數道人。數年之中家欲貧困。無復有得。為父母作福念之愁毒。婦語婿言。寧一世勤苦後長解脫。遠使父母得福無量。長者言然。持我二人權舉百兩金。約用金盡就作畢直。得金便施盡乃往作。遣夫耕田婦厨下炊。耕得大石似磨蓋。發視見金千鼎。便還覆之不復還食。長者遣婦餉夫。夫便擔金自歸其家。明日稱金還耳。主人夫婦反舍。復為七世父母布施用之。終身不盡(出十卷譬喻經第一卷)。

香身長者婦為國王所奪十二

昔有國王。貪於婬色所作無道。聞好婦女尋往掠奪。舉國患之。有一長者。財富無數高才博達。婦容端正。臣下啟王。王聞心動遣使強奪。其夫愁惱。便棄家居行作沙門。口中出香薰四十里。身體周遍有旃檀氣。王見其人。既無子姓。皆收家財。王立其婦以為正后。國中生好蓮華。青黃紅白甚大香潔。王敬夫人先持與之。夫人得華益甚悲感。王問。卿今一國之母。相敬不相失。意有何不可。乃爾不樂耶。夫人曰。不敢不樂。但念我前夫身口之香勝此眾華。竊思舊意不覺自悲。王不信言乃遣請之。前婿已得羅漢。神通飛行身出眾香充遍一國。王使澡洗重加揩拭。身香益甚。王試問佛。佛言。過去有一貧子。窮困無業賣薪自活。採薪還未及城門。城門已閉。門外有寺僧夜誦經。其人寄宿便坐聽經。燒香讚歎至於天曉。緣是五百世不墮惡道。常生天上身口香潔(出十卷譬喻經第四卷)。

長者婦懷妊口氣香十三

昔有長者。夫人懷妊。口出好香氣滿一國。阿闍世王。遣使尋求見長者家。以問長者。長者具答。使者白王。王大歡喜召語長者。卿若生男者當持與我所生之女後乃生女。有金縷衣自然著身。母怪解去。隨生一重還著其身。便往問佛。佛言。昔有貧家。婦出行遇雨。見一老沙門是辟支佛。泥倒躄地傷膝流血出。即扶沙門起洗去。其血自裂己衣用裹傷膝。婦人雖未奉法要。常好稱譽佛道。死生第二天上。壽終下生。故有自然之衣。口出好香(出十卷譬喻經第一卷)。

慳財生號哭地獄十四

舍衛城中有富長者。命終無兒。所有錢財皆悉沒官。長者生時食噉麁惡衣裳單弊以樹葉為蓋。佛曰。雖得豪位不自養身。亦不養子不供父母。不通朋友不施沙門。今日命終入啼哭地獄。佛言。過去以食施辟支佛。施已心悔云。我不以與奴婢。乃與剃頭沙門。由是善報。七反生天七反生人常得豪貴。由悔心故是業果報。不食好食不衣好衣。亦不貪五欲。波斯匿王。當勤行精進除去懈怠(出長者命終無子經)。

以擣衣石施人起塔生天十五

有一長者欲起塔寺。材木悉辦。唯少一石。無著柱下。有一長者。雖不奉佛猶知有福。便以家中一擣衣石施之。便得成寺。其施石人命終。即生第二天上七寶宮殿。玉女侍衛衣食自然。如是久後其國磨滅。無人修治寺都壞盡。唯有一石沒在地中。人民耕地石妨其犁。舉意欲掘。石主天人入心忪動。以天眼觀見人掘石。心中自念。我因此石福來生天。今人取去福將無盡乎。便下化作凡人住掘石人前。問曰。君欲取此石去耶。其人答曰。吾欲耕地值石妨犁故欲去耳。天人問曰。設耕此地種得數十斛耳。天曰。卿勿取此石。吾以五百兩金與卿。其人問曰。君得無是神乎。答曰。吾是天人也。即復天身語其人曰。吾本是此土人耳。前身以此石與道人立寺。我因此福得生天上封受自然。向者天宮振動怪其所以。觀見君是故來耳。此石是吾福之根本也。卿勿取之。其人聞之曰。本所不知。此是神明塔寺。天人福田不敢犯也天還天上其人思惟。此天但施此石得福如此。吾當更立塔寺。便即興功修塔如故(出福報經又出十卷譬喻經第一卷)。

須達三子事窮方信十六

昔給孤獨氏有三子。皆背正向邪酒荒女色。馳騁田獵樗蒲博弈。去明即暝日成狂愚。父愍悼之。慈惻誨喻指示禍福無日不爾。子獨不移放蕩日甚。父乃以苗草衣之以豆麥食之。窮而悔焉。父言。爾為不善現世獲殃甚困如此。豈況地獄燒煮之痛誰當濟爾。子叩頭曰。邪友所導狂惑習之。由猪處溷不知其臭。自今束身奉戴三尊。父曰大善。汝若洗心奉佛五戒終身不犯。歲與汝五千萬金。三自歸三千萬。子對曰。唯既奉尊教。即令洗浴將至佛所。稽首受戒退歸修德。清潔其志周窮濟乏。惠逮眾生國儒稱德。名齊古賢(出教子經)。

須檀子貪財殺弟十七

昔羅閱祇城。有長者。名曰須檀。大富多財。子名須摩提。其父命終。弟名修耶舍摩提。設計不與弟分。念當殺之。兄語弟言。共詣耆闍崛山上有所論說。即執弟手上至絕崖。便推置底以石埳之。便即命終。須檀者則真淨父王是也。時須摩提者則我身是。修耶舍者則今陀婆達兜是(出興起行經下卷)。

梨耆彌第七兒婦生三十卵卵出一男十八

波斯匿王。有一大臣。名梨耆彌。為第七子納妻。乃娶波斯匿王弟曇摩訶美女。此女聰黠利根多諸德藝。懷妊十月產三十卵。卵出一男。形體挺特勇健無雙。一人之力有過千夫。父母愛念合國敬畏(出賢愚經第十卷)。

癡子賣香遲燒之為炭以求速售十九

有富長者。生子愚癡。乘船興生唯載沈香。香精且貴。買者希。久滯不售。同侶反鄉獨不堪得去。恐失宗伴。遍觀市中貨炭最駛。即燒香作炭希得應速。眾人見之。咸共責笑。大顛狂人賣香雖遲獲直不少。今燒成炭復何所得(出百句譬喻經第一卷)。

經律異相卷第三十六

經律異相卷第三十七(優婆塞部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 沙門億耳入海見地獄一
- 優婆塞持戒鬼代取華二
- 優婆塞為王厨吏被逼殺害指現師子三
- 優婆塞被魔試四
- 清信士嫁女與事鬼家五
- 清信士始精進未懈後生慚愧鬼不能害六
- 清信士臨亡夫妻相愛生為婦鼻中虫七
- 薄拘羅持戒得五不死報八
- 持戒誦經續明供養鬼不能害九
- 執持求還佛戒口中諸鬼出打其身十
- 人不信罪福夢鬼取之令其受戒後壽百年十一
- 家有六人割口施僧同受富樂十二
- 有人路行遇見三變身行精進十三
- 有人命終十日還生述所經見十四

沙門億耳入海見地獄一

阿濕摩伽阿槃地國。有聚落王。名薩薄。中有大富居士。財寶豐盈唯無兒息。從諸神祇求不能得。有子時到婦覺有身。此女利根有四不共智。一知男愛。二知男不愛。三知妊身時。四知所從得。以語居士。居士歡喜。月滿生男耳有金鐶。是兒端正見者歡喜。集婆羅門。相之言。是兒實有福德威力。為作二字。宿世出家。即名曰沙門耳環。非世所作可直一億。字為沙門億耳。五種養視。一者治身母。二者除垢母。三者乳母。四者吉母。五者戲笑母。是兒福力而疾長大。便教書數算印。善知諸物價相貴賤。是王聚落商客所集。時四方人來詣聚落。問言。是中阿誰有好德可與寄言示我利害。諸人示沙門億耳。是諸商客即往詣之。接為主人。是諸商客見大威力。如是思惟。若作薩薄將多人入海必安隱歸。諸人言。沙門億耳。汝何以不入大海。答言。我入大海作何等。是中多諸恐怖。百千人去時一得還。是諸商客激厲之言。何等人仰他活命。沙門億耳信受欲去。到父母所辭欲入海。時父母說諸怖事欲令變悔以制留之。時不隨父母語。父母語貴人佐我留億耳。時諸大官長者居士皆助留之。終不隨從。父母知其意正則聽令去。於是乘象振鈴遍告令聚落言。沙門億耳欲入大海。我作薩薄誰欲共去。是人福德五百商客皆悉樂從。莊船下水日斷一繩。至第七日得伊勒風(梁言隨好風)斷第七繩。船疾勝箭逕到寶渚。語賈客言。取寶滿船莫令大重。得伊勒風是時船去疾勝箭。還閻浮提向薩薄王聚落。有二道。沙門億耳語諸商人。欲從何道。諸人咸言。陸道去好。夜住空澤。語諸商人。我曾聞賊來劫諸賈客。若

前殺薩薄。則諸賈客無所成辦。若不殺薩薄。則以錢物力若自身力。若以他力必能得賊。我當餘處宿。去時當喚我。諸人言爾。億耳驅驢往別處宿。是諸賈客夜半發去。人人相覺竟不喚億耳。後夜天大風雨。億耳覺喚無應者。即時馳逐道多沙土。風雨流漫仰驢嗅蹤而前。億耳飢極前行見有一城。念想得食立於城門。

隨念失聲唱言。食食。時無數百千餓鬼來出。皆言。何等食阿誰與億耳言。無食。我行飢極念想得食。因出此言我無食也。諸餓鬼言。此是餓鬼城。我百千萬歲今日乃聞唱食聲。我等不布施。慳恪多故墮餓鬼中。汝欲那去。億耳言。欲至薩薄王聚落。鬼言。從是道去。於是前行復見一城。隨念唱水其事如前。前行不久復見一樹。名波羅。夜於下宿。搖樹落葉細者自食麁者與驢。如是日暮。即有床出男女。顏貌端正著天寶冠共相娛樂。作是思惟。我不應爾看他。私事。時夜過晝來。即時床滅有狗來噉是男子肉盡骨在。億耳念言。是人先作何行今得此報。夜善晝惡。我待問之。至夜更有好床。男女娛樂。即往問之。男言。汝識阿濕摩伽阿槃地中薩薄王聚落某甲屠兒不。有長老迦旃延。常出入我家。我常供給飲食衣藥。彼常語我言。莫作惡行後得大苦。我時答言。先世已來以此為業。今若不作那得自活。旃延復言。汝作此惡為晝多夜多。我言晝多。即語我言。汝夜受五戒可獲微善。我即從受。今得此報。前行不久復見二樹。名波羅。住下止宿食葉如前。男女晝來相娛。暮則床女皆滅。百足蟲出噉是男子肉。盡骨在。億耳問言。汝作何行今獲此報。男言。阿濕摩伽阿槃地國中。薩薄王聚落。某甲男子婬犯他婦。有長老迦旃延出入我家。彼教我言。莫作惡行後得苦報。我答言。不能自抑當可如何。復語我言。汝於此事何時偏多。我言夜時多。迦栴延即語我言。受晝五戒可獲微善。我用其言故獲斯報。復見樹林池水清淨。億耳於中洗浴飲驢。是池邊有堂眾寶莊嚴。億耳仰視。即作是念。我飢渴欲死當何所在。即便上堂。說佛經偈。

飢為第一病　行為第一苦　如是知法實　涅槃第一樂

見女人坐象牙床。床脚繫二餓鬼。是女識億耳。因問訊言。沙門億耳道路不極不渴飢耶。億耳答言。貴女乞我食。女言相與。但莫與是二餓鬼耳。女即與水洗手與食。是女欲令億耳知此因緣故小出堂外。時二餓鬼伸手言。乞我一口。乞我半口。我即腹中飢如火燒。億耳好施各與一口。變成膿血多咽還吐出滿臭穢。女言。我語汝莫與。何以與之。億耳言。姊妹。我不知故與。時更有一女來語。貴女。與我食。女言。食汝常食。作是語已。即有三奇鑊火湯沸。是女脫衣入鑊中皮肉爛盡。唯有骨髓冷風來吹出鑊還活。著衣噉其爛肉。噉已而去。更有女來言。貴人。與我食。女言。食汝常食。作是語竟。女變成羖羊噉草。億耳語女。是何等事。女言。汝識阿濕摩伽阿槃地國中薩薄王聚落不。億耳言識。是一鬼繫我頭邊床脚者。是我夫某甲居士。繫我脚邊床脚者。是我兒。有長老迦旃延出入我舍。受我供養衣服湯藥。是二人瞋我言。我覓

時辛苦。而汝持與他空自疲勞。以是慳貪不喜布施墮餓鬼中。惡口業故與食變為膿血。億耳言。是女何以自噉其肉。女言。是我兒婦。與物令舉。或自噉或與人噉。我問覓。答言。我不噉亦不與他。若我自噉及與他者。當自噉我肉故自噉肉。第二女是我婢。我使舂磨。或自噉或與他。若問時言。我不自噉不與他。若自噉與他者我後世當作羊噉草。以是因緣今作羖羊噉草。億耳言。汝作何行。女言。我有少罪來生是中。當不久住生四天王天。汝能少為我往薩薄王聚落中。為語我女云。見汝父母兄婦及婢。唯汝母獨受福。餘者受罪。汝母因我語汝。莫作惡事後世多受苦報。汝若不信是汝母言。某處有藏大有錢財。取為我作福。供養眾僧及迦旃延。殘餘可以自活。問億耳言。汝欲去耶。答言欲去。女言。汝眠閉眼。須臾至薩薄王聚落。是諸賈客先到。諸人問不。見沙門億耳不。答言。海中失之。舉邑皆哭如喪父母。億耳聞之。若今見我必復擾動不須復歸。漸漸到女舍。共相問訊。以母言語女。女言。咄男子。汝癡狂人。我父母布施作福死必生天。何以在餓鬼中。億耳即語女言。汝母言。某處有藏大有錢物。使汝取供養。女聞開藏大得錢財。得以生信。如其母勅。請迦旃延隨從說法。即於坐上得諸法清淨無垢法眼得無所畏。禮迦旃延言。大德。我歸依三寶作優婆塞。欲於善勝法中出家受具足。迦旃延言。父母聽汝出家不。答言未聽。迦旃延言。我法父母不聽不得出家受具足。即便歸家禮拜父母。先由愁苦故並失明。聞億耳從大海中安隱還歸。悲喜淚出眼便還明。過五六日。白父母言。聽我出家。父母言。我本至心求願得汝。汝入海得死消息愁憂故眼盲。汝今來還我大歡喜眼得開視。汝今便為更生。汝受我語則為供養我。我壽命能過幾時。若能畢我等壽。不出家者我死不恨。億耳答言諾(出十誦律四誦第四卷)。

優婆塞持戒鬼代取花二

昔有優婆塞。僑居舍衛國。婦形端正一國同聞。朋友欲觀終不肯示。人以白王。王思欲見不知何由。一臣啟言。夫婦並持五戒供養道士手自斟酌。王可詐作道士持鉢詣門。必得見之。即隨臣言。權變形服竊到其家。婦見道士頭面作禮。王覩察已還語臣等。此婦實好入我心中。不知何從得之。眾臣白言。此雖僑士應覲於王。憍慢不來可以為罪。去舍衛城千有餘里。大池水中生五色蓮華。聞有三難。蝮蛇鬼神惡狩。罪應死者使往取華。輒沒於彼。王便呼問言。卿何等人再拜答曰大王民也。王言。何以不來。答曰。愚癡不及耳。自知有罪。王言。罰卿詣池取華七日當還。若違期至當重治卿。受教辭退。還具告婦。婦語夫言。君今有罪由我美色。君識佛明教三界無怙唯戒可恃。上道之日心念三尊口誦十善莫忘須臾。若君不還吾當出家以戒自樂不經二男。給夫資糧。辭決進路行至半道。有啖人鬼問曰。何人答言。是佛弟子。鬼言。諸犯罪者遣付吾等。詐言取華。賢者實犯罪。為惡人所讒。答鬼言。人命難得唯在大神耳。鬼言。卿是佛弟子又復無罪。我不相害也。餘有二難恐卿不免當如之何。鬼復言曰。相代取花以濟卿身。使我長夜得福無量。卿急住

此間鬼於是去。須臾便還。五色好華以與賢者。賢者重不能舉。鬼便取華并扶賢者。屈申臂頃已到宮門。辭別而去。賢者詣門自通。王怪還速。具問本末。如實自陳。王大驚慚曰。鬼無人義害於眾生。今濟善人我乃無義。不別善惡不如鬼魅。即自責過稽首歸命。願為弟子。奉受五戒廣行六度。國致太平。賢者夫婦并加精進。得不退轉(出譬喻經第五卷)。

優婆塞為王厨吏被逼殺害而指現師子三

佛泥洹後百年。國王奉事天神。大祠祀用牛羊猪犬雞等各百頭。皆使厨士殺之。時厨士言。我受佛戒不得殺生。厨監大恚白王治之。王言。違教者死。厨士對曰。我是佛弟子受持五戒。寧自殺身不違佛教而當殺生。若當從王教犯殺者。死入地獄罪竟乃出常當短命。持戒死者。即生天上天上福樂所願自然。假令當死轉此人身當受天形。我以是故死不殺耳。王言。與汝七日期。當以象蹈殺。汝若不死。汝語有實。七日以後王看是優婆塞身如佛身。驅五百象往蹈殺之。優婆塞如佛法則舉五指。化為五山。一山間有一師子出。象見師子惶怖伏地。如佛在時。王時信佛。便廢祠祀。即從此士受佛五戒。吏民內外皆亦受法。遂為國師(出譬喻經第六卷)。

優婆塞被魔試四

有一優婆塞。與眾估客遠出治生。遇天寒雪。夜行失伴住一石室。時有山神變為女像。來試之曰。白雪覆天地鳥獸皆隱藏。我獨無所恃。唯願見愍傷。優婆塞兩手掩耳曰。無羞弊惡人說此不淨語。水漂火焚之不欲見聞汝。有婦心不欲。何況作邪婬。欲樂情淺薄大苦可畏深。山神聞之。兩手擎捧送至伴中(出大智論第十七卷)。

清信士嫁女與事鬼家五

優婆塞嫁女與世間人。臨遣女時。父母欲奪女戒。女言。云何奪戒。父母言。法嫁女與世俗人。如黃金擲牛屎中。復用戒為。女言。如人遠行大空澤中無有人民。應益裝糧食。世家事鬼恐鬼儻得我便。應益持戒令志堅固。黃金在牛屎中。洗自可用。豈便與牛屎同耶。父母感其言。以佛像與之。女致嚴器中。朝暮向器作禮。婿問。婦答。是佛能令頭不白顏色常好。婿同供養。後同生天不更三塗(出十卷譬喻經第五卷)。

清信士始精進未懈後生慚愧鬼不能害六

昔有清信士。始受戒時精進少雙。後年衰老違遠賢眾。獨處山岨志更陵遲。荒于田園忘佛廢法。更成凡夫。其山中有梵志道士。渴欲求飲。田家事遑無與之者。梵志有怨遂爾恨去。梵志能起死人并使鬼神。即召殺鬼勅之曰。彼人辱我爾往殺之。山中有羅漢知之往至田家。田家見沙門欣然稽頁。為設一食。沙門曰。汝今日夕早燃燈勤三自歸誦守口攝意

偈。慈念眾生可長安隱。沙門去後主人如教。通曉念佛誦戒不廢。殺鬼至曉伺其微便欲以殺之。覩彼慈心無緣殺焉。鬼神之法人令己殺己使欲殺。但彼有不可殺之德。法當還殺便已。殺者鬼乃恚欲害梵志。羅漢以威神蔽之。令鬼不見。田家悟道。梵志得活。鬼遂不獲殺生之罪。田家一時受三自歸。念佛不懈。全一門之命(出墮落優婆塞經又出十卷譬喻經第五卷)。

清信士臨亡夫妻相愛生為婦鼻中虫七

有清信士。持戒精進不懈。有一沙門已棄重擔。生死永盡逮得神通。與共親友。時清信士卒得困疾。醫藥不治婦大悲苦。謂其夫言。共為夫婦卿獨受苦。以何方便分病令輕。設卿無常我何所依。兒子孤單復何恃怙。夫聞益懷愛戀。大命將至應時即死。魂神即還在婦鼻中。化作一蟲。婦大啼哭不能自止。時道人往與婦相見。故欲諫喻令捐愁憂。婦見道人來益用悲慟。奈何和上夫婿已死。蟲從鼻涕忽然墮地。婦即慚愧欲以脚踏。道人告曰。止止莫殺。是卿夫婿化作此蟲。婦曰道人。我夫奉經持戒精進難及。何緣壽終轉形作此。道人答曰。過起愛戀今生為蟲。道人為蟲說經。卿精進奉經持戒福應生天見諸佛。但坐恩愛戀慕之想。墮此蟲中。即可慚愧。蟲聞意解。便自剋責。俄而命終。即得生天(出居士物故為婦鼻中蟲經)。

薄拘羅持一戒得五不死報八

昔有一人。唯有一兒。名薄拘羅。年始七歲。其婦命終更取後室。憎前婦子甑中蒸餅。兒問母索。母抱放甑中。以瓮合頭欲令兒死。兒於甑中食餅不死。後復抱置熱鐵鏊上。於鏊食餅不以為災。後詣河邊浣衣。擲深水中為魚所吞。經于七日。父請眾僧為設大會。買得一魚車載歸家。欲破魚腹。兒言。徐徐莫傷兒頭。此兒先受不殺一戒。今得五種不死(出譬喻經)。

持戒誦經續明供養鬼不能害九

昔有兄弟五人。父教持戒。大兒獨不肯持戒。齎五枚錢至相師許求。相師言。年可百歲當大富貴。又言定惡。復言不好。剋後十三日。卿當死亡。其人大怖言。非是世間常師所能療治。唯有佛豫知未然。近在耆闍崛山中。可往問之。於是即往問佛。佛言。卿有宿命對怨家欲來取卿。卿若欲得免者。當持五戒乃可得脫。卿歸益辦脂燭焚之過十三日。即受歸戒燃燈續明。終日竟夜諷誦經偈。言南無佛。歸命佛慎莫休息。過十三日便自得脫。其夜即有二鬼往共殺之。一鬼住百步外。使一鬼往殺。見燈火光明。但聞呼南無佛歸命佛聲。不敢前逆語一鬼言。此人不可復得。但呼南無佛歸命佛。我惡聞是聲令我頭痛。於是二鬼便相持走去不復近之。從是以後長得安隱(出諸經中要事)。

執持求還佛戒口中諸鬼出打其身十

昔迦羅奈國。有婆羅門子。名曰執持。受佛禁戒無所違犯。執持久後到他國中。見人殺盜婬便貪愛之。見人好惡便論道之。見飲酒者便欲追之。無一時定。便自念言。悔受戒誓當以還佛。即詣佛所言。前受五戒多所禁制不得從意。佛法尊重非我凡類所能恭事。罷可得不。佛默然不應。言已未絕。口中便有自然鬼神。持鐵椎拍執持頭。復有鬼神脫其衣裳鉤其舌者。有婬女鬼刀割其陰。有鬼洋銅澆其口。前後左右皆諸鬼神。競來分裂取其血肉。而噉食之。又有自然之火焚燒其身。求生不得求死不得。諸鬼急持不令得動。佛見問曰。汝今云何執持口噤不能復言。但手自搏。佛以威神救度長者。諸鬼神王見佛世尊。各立一面。於是得蘇。便起叩頭前白佛言。我身有五賊。擊我入三惡道。坐欲作罪違負所受。願佛愍我。從今改往修來奉受戒法。持月六齋歲三長齋。燒香散華懸雜幡蓋。供事三寶不敢復犯。佛言。汝今所言是為大善。汝若眼見自作自得罪非天授與(出大灌頂經第三卷)。

不信罪福夢鬼取之令其受戒後壽百年十一

昔人不信罪福。年已五十。夢見殺鬼欲來取之。眠覺惶怖求師占夢。師作卦兆云。有殺鬼必欲相害不過十日。若欲攘此。從今已去十日中間。受佛五戒燒香燃燈懸繒幡蓋。信向三寶可免此死。即依此法專心信向。殺鬼到門見作功德不能得害。鬼即走去。其人緣斯壽滿百歲。死得生天(出雜譬喻經)。

家有六人割口施僧同受富樂十二

昔有大富家。食口六人奴婢。金銀珍寶不可稱數。佛與阿難街里分衛。佛到其門。父母兒子妻婦孫息。踊躍歡喜請佛入坐。以氈毯布地食器皆以金銀。佛言。此人前生值飢餓世。家中窮乏。唯採諸菜用自繫命。作羹適熟。外有道人分衛出見沙門。父母便言。我分與之。兒子孫息各自以分與之。讓母令食。六人一時發意各一日不食。唯恨家貧無好供養緣此之福得生天上人中。常得安隱豐饒財物。以其發意同等之故。世世共作因緣。今重相值。父母兒子大小一時皆持五戒。命終生天受福無量。今若值佛皆得羅漢(出雜譬喻經第一卷)。

有人路行遇見三變身行精進十三

有人在道上行。見道邊有一死人。鬼神以杖鞭之。行人言。此人已死何故鞭之。鬼神言。是我先身。生在之日不孝父母事君不忠。不奉敬三寶。不隨師父之言。今令我隨罪而行。苦痛難言。瞋故鞭之。稍稍前行。復見一死人。天人來下。散花於死屍以手摩娑之。行人問言。觀君似是天人。何故摩娑是死人耶。答云。是我故身。生在之日孝從父母。忠信事君。奉事三尊。承受師父之教。令我神得生天。皆是故身之恩。是故以來報之耳。小復前行。又見一天人。衣服鮮好端正香潔。道邊摘酸棗噉之。行人問曰。覩君似是天人。何噉酸棗。天人答曰。我在世時

孝從父母。忠信事君奉事三尊。種種作諸功德。唯不喜飲飴人客。今作天人恒食不充。是以食酸棗耳。行人一日見此三變。便還奉持五戒修行十善。孝從父母忠信事君。示語後世罪福追人(出諸經中要事)。

有人命終十日還生述所經見十四

有優婆塞本事外道厭苦禱祠。委捨入法奉戒精進。懃誦經好布施責。意忍辱常有慈心。暴疾命過臨當死時囑父母言。我病若不諱七日莫殯。奄忽如死停屍八日。親屬皆言。急當殯斂。父母言。不朘臭欲留至十日。當此語時便見眼開。未能動搖。父母歡喜守至十日。便自起坐善能語言。問所從來盡何所見。答言。有吏兵來將到一大城。城中有獄。獄正黑四面鐵城。城門悉燒鐵正赤。獄中繫人身坐火中。上下洞燒青煙上出。或有人以刀割其肉而噉食之。獄王問我言。汝何等人。犯坐何等乃來到此。此中治五逆不孝父母不忠信事君。答言。我少為惡人所惑。奉事外道愚癡。又飲酒殺生祀天地。又於市里採取財利。升斗尺寸欲以自饒。後與善師相值。牽我入佛道。見沙門道人。授我五戒奉行十善。自爾以來至于今日。不復犯惡。仰由明王哀我不及。我便叩頭。王即起叉手謂我言。止止。清信之人不應當爾。便與我坐。呼吏問之。此乃無上正真弟子。汝輩皆當從是人得度。以其人壽命自盡時。乃當死耳。魂神追行。若生天上天神迎之。若生人中人中迎之。何得將此人來。入是五逆之處。吏答王言。世間多有是種人。不畏王法。不畏四時。五行不拘。天地鬼神橫行天下。不可不問也。有師名沙門。既剃頭髮被服疎陋。以是自大。多將弟子東西南北。復大劇是應當治之。王言。止止法服之人人所貴敬他所畏難。諸釋梵日月中王。下及帝王臣民。尊奉是人得福無量。輕慢是者自求罪苦。急案名錄壽應盡未。吏言。未應死也。尚有餘算二十。以其先有所犯罪是以取之。使其黨輩小小自下耳。王言。佛子有戒精進天神所貴。佛以大慈救護一切蜎飛蠕動。天神地祇諸鬼龍等皆敬貴之。豈拘王相四時五行耶。佛恩如四海不得限量。吏言大王。奉佛戒耶。王曰。坐我不奉佛故追罪作此獄王。若人已入正法。後悔還外道。雖壽千歲當逢九橫。若持戒比丘及諸弟子。當懃行六度六衰斷絕二十事(亦在經文)觀佛功德猶若巨海不可當也。吏言。誠如王言。不別真偽。速發遣之辭謝使去。從高墮下爐然而蘇。與其父母共至祇桓。自惟自剋。奉受五戒修行十善(出弟子死復生經)。

經律異相卷第三十七

經律異相卷第三十八(優婆夷部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 優波斯那割肉救病比丘一
- 阿凡和利至心請佛庫中自然皆備二
- 蘇曼女產十卵卵成十男并其往緣三
- 孤母喪子遇佛慈誘厭愛得道四
- 婦人喪失眷屬心發狂癡五
- 提韋婆羅門女無子自焚遇辯才沙門聞法悟解六
- 女人懷妊願欲出家生子之後前心不遂七
- 難陀燃燈聲聞神力共不能滅八
- 善信女少悟無常秉志清白為天帝所試九

優波斯那割肉救病比丘一

毘紐乾國。多信邪見。無佛法僧。有一女人。名優波斯那(僧祇律云。名畢陳夫亦名陳卑。彌沙塞律云。須卑。)時有事緣至舍衛國。波斯匿王所緣事畢。從諸篤信優婆塞邊聞佛功德。欲得見佛。即往祇洹。值佛為諸大眾說五戒法。優波斯那求從佛受。即得五戒。佛復以法句經與令諷誦。是時中夜誦法句經。有毘沙門天王。從數千夜叉欲至南方毘婁勒叉所。聞誦經聲尋皆住聽。讚言。善哉姊妹善說法要。優波斯那即便問言。汝為是誰。但聞空聲不見有形。答言。我是鬼王毘沙門天。為聽法故住於空中。又問。汝天我人。云何故稱我為姊妹耶。答曰。佛是法王亦人天父。同一法味故言姊妹。時優波斯那心大歡喜。常使人入林採薪。後旦上樹。遙見舍利弗目連及五百比丘在此林中精懃禪誦。使人還白大家。優波斯那歡喜無量脫二金環以賞使者。使者復言。世尊有好言寄與大家。具說五施。復解瓔珞重以賜之。使者曰。時起洗手辦具飲食。我向輒持大家言。請二尊者及五百弟子。今日來食。即放使者及與珍寶。告諸家屬及諸隣比。設於供具。尊者與諸比丘著衣持鉢就座而坐。作禮訖手自行水下種種食。香味具足。謂舍利弗言。此舍有神與我親厚。我有施時語我。此阿羅漢。此聖此凡。此持戒此破戒。此智此愚。告舍利弗言。我有四子及夫。皆惡邪見。我若供養三寶給施貧窮。便生嫉恚。而我修善布施終不退縮成須陀洹。舍利弗言。甚為希有。世尊是暮。當來毘乾持林。今還所住。僧去已後。即辦所用往至佛所。觀諸眾僧所止宿處。見一病僧臥草窟中。問其所患何所須欲。答曰。四大不調極大困苦。醫令服新肉汁(僧祇律云比丘是常供養服下藥須肉)斯那言。莫復他求。我明當送。明十五日國法不殺。遍求不得。便使却人。靜室自浴割股裏肉。以氈纏裹合諸草藥。煮以為羹送病比丘。比丘食已病即除愈。其夫尋還見婦色變。即便問言。汝何憔悴。對曰。我病。即喚請醫不能識。逼問家人婢具言之。夫到街巷大叫呼言。沙門釋子食噉人肉如駿足王。佛因制。諸

比丘。諸不淨肉甚不應食。優婆夷言。緣我斷肉。即語夫言。若能為我請佛及僧來此設供甚善。若其不能我當捨命。夫為妻故入林請佛。明日舍食。佛與眾僧就坐而坐。問斯那何在。答曰病。佛言喚來。夫言。汝師喚汝。答曰。病苦不任起。佛告阿難。汝往告令起。阿難即往稱佛呼之。并床輿之來到佛所。遇佛光明苦病即除平復如故(僧祇律云比丘入慈心三昧瘡即平復)即起禮佛。佛為說法得阿那含道。夫及眷屬捨離邪見法。受五戒為佛弟子(出優波斯那經又出賢愚經)。

阿凡和利至心請佛庫中自然備二

維耶離城。有一女子。名阿凡和利。聞佛來遊歡喜無量。與五百女俱詣佛所。聞佛說法心生開悟。請佛飲食。時城中復有五百長者子。亦請世尊。世尊言。已受阿凡和利明日請。時諸長者子。語和利言。佛之至尊來化我國。我應先飯。汝且停供。女言。勿以豪強加於女弱。若能見惠四願當相讓也。一者令我心保善不移。二者令我命保在不亡。三者令我財物無減。四者令佛長住此國。長者曰善。汝今乃能悟於無常。諸所希願非我能辦。聽先飯佛。中有年少恥在其後。固執不已。便勅市司罷不貨易。和利遣人求索諸物。都無所得。庫中眾膳自然滿足。唯乏薪炭。油灌白疊以充代之。又內城門令不得出。啟請於佛。即遣鸚鵡往白食辦。長者射之。以佛神德箭化為花。得至佛所。飛鳴白佛眾祐及僧。足蹈城門天地震動。五百長者。阿凡和利及諸女人。見聞此事逮得法眼受持五戒(出中本起經下卷)。

蘇曼女產十卵卵成十男并其往緣三

舍衛國須達長者。末生小女。字曰蘇曼。面首最妙。其父憐愛。將至佛所。其女見佛情倍欣踊。願得好香塗佛住室。斯女手中有賓婆落。佛從女索。便以與佛。於上書香還以與之。女共其父還城推買。如佛所須持詣祇洹。躬自擣磨。日日如是。於時特叉尸利國王。遣其一兒使到舍衛廣行觀看。復至精舍見蘇曼女。便取為婦。後遂懷妊生十卵。卵後開敷有十男兒。形貌姝好勇健非凡。然喜畋獵。母教莫爾。諸子白母。射獵最樂。母令相遮將為見憎。母復告言。吾因愛汝等是以相制。若當憎汝時終無此言。殺生之罪當入地獄。無央數劫解脫何由。諸子白母。為自出心從他邊聞。母復告言。吾從佛聞。兒復問母。佛者何人。幸願具宣。母告諸子。迦維羅越國淨飯王子。厭老病死出家學道得無上果。巨身丈六三明六通遐鑒無外。諸子啟母求往覲佛。母即聽之。往至祇洹奉覲如來。佛為說法。十人俱時得法眼淨。便求出家。佛聽為道。鬚髮自墮法衣在身。精懃大業。盡得羅漢盡於苦際。過去九十一劫有毘婆尸佛。般涅槃後分布舍利起無量塔。時有一塔朽故崩壞。有一老母而修治之。有年少十人偶行覩見。歡喜相助所作已竟。誓為母子。從是已來九十一劫。天上人中恒與俱生受福快樂。時老母者今蘇曼女是。爾時十年少者今十羅漢是(出賢愚經第十三卷)。

孤母喪子遇佛慈誘厭愛得道四

佛在舍衛國給孤獨園。有一孤母而喪一子。憂惱愁憒抱屍啼走。譬如狂人。出至祇洹。聞佛大聖天人所宗。宣說經道忘憂除患。孤母見佛作禮長跪。願釋憂結。佛告孤母。汝速入城遍行街巷。有不死家者乞火持還。孤母求不能得。空手而反。佛告孤母。夫人處世有四因緣不可久保。一者常必無常。二者富貴必貧賤。三者合會必別離。四者強健必當死。汝今何為。不自憂慮。何不廣施持戒月持六齋任力堪能給施孤窮。孤母白佛。我今愛子入骨徹髓。豈惜身命。時佛欲化彼令其得悟。即化作四大火坑圍繞孤母。火氣逼身以兒自障。佛語孤母。汝向自陳愛子情重入骨徹髓。寧自喪身不使子亡。火氣逼已酸痛難堪。但當自受以子障乎。人間微火蓋不足言。地獄火燃疾痛無量。畜生懷癡苦。餓鬼飢渴苦。能自利者當修布施持戒忍辱。不生地獄及餓鬼等。受天人福漸近泥洹。時彼孤母內心自責厭患恩愛。即於佛前盡諸塵垢。成須陀洹(出曜經所明)。

婦人喪失眷屬心發狂癡五

天竺有一人。往詣舍衛國。婦生兩子。太子七歲。次子孩抱。母復懷妊。欲向在產。天竺國俗。婦人臨月歸父母家。時此夫婦共乘一車載其二子。詣舍衛城。中路放牛。時有毒蛇纏繞牛脚。牛遂離圈。其夫取牛蛇即捨牛殺夫。婦見怖懅啼哭。日已欲冥。去家不遠。隔一河水。冥懼抄賊。即棄其車携將二子。到於水畔。而留大兒水邊。抱小而度涉水始半。狼噉其子叫呼其母。母聞其聲轉顧見之。驚懼不覺抱兒墮河。隨流而逝。母益懊惱迷惑失志。頓躓水中墮所懷胎。遂便渡水問道行人。我家父母為安隱不。答曰。昨日失火皆燒死盡。又問行人。聞我夫家姑姒安隱不。答曰。遇賊傷害姑姒皆死。愁懅迷悶不識東西。裸形狂走。行人見者怪之。謂得邪病。馳走見佛。佛大會說法。時婦見佛意即得定。不復愁憂。自視裸形慚愧伏地。佛呼阿難取衣與之。婦著衣致敬。佛即說經為現罪福。即發無上道心。立不退轉地。愁憂除散如日無雲。發無上心(出婦人遇辜經賢愚經大同小異)。

提韋婆羅門女無子自焚遇辯才沙門聞法悟解六

裴扇閣國。有一女人。名曰提韋。婆羅門種。其家大富喪婿無兒。守寡孤窮無所恃怙。婆羅門法。若不如意便生自燒。諸婆羅門往教共化。令其願生那羅延天。請婆羅門足一百人。施設大會食畢。各襯牸牛。并從犢者家中。所有諸物。施五百婆羅門。於恒水邊積薪自燒。婆羅門為汝呪願。令汝輕重諸罪一時滅盡。後世生時六親眷屬壽命無量快樂無窮。提韋從之。即伐蘙薪。欲擬自燒。國內沙門名鉢底婆(梁言辯才)。精進持戒多聞智惠。常以慈心教化天下。令改邪就正捨惡修善。往問提韋言何用薪火。答曰。自欲燒身滅除殃罪。辯才曰。夫先身罪業隨逐精神。不

與身合。徒自焚燒安能滅罪禍隨心生。心念善法受報亦善。心念惡法受報亦惡。餘報亦然。云何於苦惱中。求欲滅罪望善報也。幸爾不須於理不通。如困病人為苦所逼。復遭惡人呵罵聳搏。時此病人寧有善心無忿惱不。提韋曰。但生忿惱。辯才曰。汝今如是。先身罪故今若燒身。猛炎起時身體燋爛氣息未絕。心未壞故。當爾之時身心被煮。識神未離故受苦毒煩悶心惱。從是命終生地獄中。苦惱尤劇千百萬倍。又如車牛厭患於車。欲使車壞前車若壞後車復柂。罪業未盡假令燒壞。百千萬身罪業因緣相續不絕。猶如阿鼻一日之中八萬過死八萬過生。終過一劫其罪方畢。況復如汝一過燒身欲求滅罪。問曰。願聞滅罪方法。辯才答曰。前心作惡如雲覆月。後心起善如炬消闇。起罪之源由身三口四意地業行。今當一心丹誠懺悔改邪就正。捨身受身至成佛道。辯才授十善禁。提韋歡喜。設種種飲食及諸珍寶。請留教化。辯才曰。汝受十善法即為法器。復以化人則為報効。汝已得度。我不宜留。復化餘處。物無所受。於是而去(出未曾有經下卷)。

女人懷妊願得出家母子為道皆得成立七

有一女人。妊身數月。見佛及僧。願我生子以後出家為沙門。及生子後愛念既隆不遂宿心。子年七歲意忽還悟作二人食及三法衣。持瓶將子行詣佛所。白佛言。願哀我子使為沙門。令後得道身形如佛。佛即聽之。母以水灌前洗其兒。應時九龍從瓶中出。吐水灌兒。澡訖殘水散兒頭上。於頭上下變成花蓋。寶帳交絡。并師子座上有諸佛。佛時微笑。出五色光照十億剎。還繞佛身從兒頂入。母即前行以飯上佛并食其子。子發無上平等道意。十億佛剎六反震動。眾剎諸佛皆自然現。佛以母分飯飽爾所。佛及諸比丘皆等飽足。其飯如故。母即歡喜。及諸天人得阿惟越致。時兒髮墮成為沙門。立不退轉。我身是也(出過世佛分衛經)。

難陀燃燈聲聞神力共不能滅八

佛遊在給孤獨精舍。波斯匿王供養於佛及諸大眾眷屬。祇洹縱廣百六十里。波斯匿王周遍燃燈民人競看。貧女難陀居無舍宅。問行路者知。波斯匿王以油千斛為佛燃燈。難陀自責。我以何故獨貧如此。即入街里。家家乞匄得少雜飯。心自念言。我當賣之以為燈直。賣得一錢齎詣油家。油家問女持一錢油作何福德。難陀答言。欲為佛燃燈。油主聞之。助其喜踴持一燈油。即施與之。貧女歡喜受到祇[垣-土+示]。佛告阿難言。有大長者興無上福。不能自到開門使前。波斯匿王聞佛此教。尋自思惟。吾於舍衛一國之尊。興起道供豈殊我者。佛何以故。不讚於我復稱長者。須臾貧女來到佛所。燃所齎燈當佛之前。今發大願。並為一切。求佛知見。令此光明徹於十方。幽冥惡道悉皆休息。如是便退至明晨朝。賢者目連歷撿諸燈。難陀所燈光獨如故。目連即吹。吹不能滅。便以神力持五恒水澆亦復不滅。吹以隨藍大風漂不能滅。盡其神力竟不能滅。心懷恐懼。佛告目連。燃此燈者有慇重心。以是之故燈為常明。

設羅漢舍利弗等及辟支佛。神化功德共滅此燈不能滅也。令金翅王搏大海水。若師子王振吼犇騰共滅此燈。燈不可滅。難陀女人以日出時。自往案行昨所燃燈。燈亦不滅。光不缺滅。即大歡喜稽首佛足。佛知女心求無上道。放五色光從口中出。佛每說法三乘之業授聲聞別。光從頂入。授辟支佛別。光從兩眉間入。授菩薩別光從口入。佛之洪光上至三十三天。皆悉通達。已便迴還。繞佛三匝從口入。時阿難起問。佛言。阿難。汝見昨夜燃燈女不。此女壽終因是功德。轉女人身當作男子。却後二十劫不墮惡道。即生諸天及金輪王。二十劫後。當得作佛。號三曼陀優訶(出賢愚經又云比丘出貧女難陀經)。

善信女少悟無常秉志清白為天帝所試九

佛在舍衛國。時有長者女。名曰善信。年始十五。為人慈孝。智慧博達。少小常有大願。不樂世俗之事。坐自思念。萬物無常當歸於死。年壽萬歲亦皆當死。天地當壞敗何況人身。念我當受如是咎責。苦痛難言。死後魂神當入惡道。酷毒懟苦獨當受之。本從何出。忽有瞋恚恐怖愁憂。或時歡喜。有此無常之事。不見來時。去至何所。是輩往來無休無息。念我父母諸家兄弟中外五種親屬。不知罪福貪欲無厭。我年三五以許他男。諸家兄弟飯食酒肉受取匹帛。念我身當往受患難。拘質縛結不可得離。當如之何。為此生老不如及我。今日清淨當發上願。求覓安隱長樂宮殿可以自娛。不宜踊濁沒於三塗。不覩光明長與苦俱。便正一心自誓。持我身命自歸。有神有靈知我心誠。爾時天神現於虛空。語善信言若當自歸西方安隱清淨法國。且當先向十方禮拜。慈心敬意念必達也。已便不現。爾時善信踊躍歡喜。便自澡洗燒香散華向十方禮叉手。自思念。一切人即有天神於空中言。汝當正心向於西方。說此一頌。以是讚歎阿彌陀佛。善信即向西方。如神所勅。天地大動。諸有困厄皆得解脫。疾病即除毒痛安隱愁憂歡喜。盲聾得差瘖瘂能言。不善皆善不信皆信。人非人等各得所願。善信燒香散花而說頌言。正心閉目數息思惟身中之事。帝釋化作端正男子。年十八九。手把黃金住善信前。以頌調之。善信正心以正頌答。訶男女過。帝釋踴躍叉手勞之。欲何求索。普世無雙功德洋洋不可稱量。願相告語。於是善信聞釋讚歎。信心歡喜地為大動。即為說偈。願奉佛法。釋大歡喜。便爾化滅。善信燒香自歸諸佛。佛與大眾俱即飛行到善信家。父母兄弟見佛飛空。莫不歡喜。善信前禮繞佛百匝。佛便微笑無數光出。語以戒法。繞身百匝還從頂入。即授二十四戒。佛言。是為我優婆夷高行三八二十四戒。善信歡喜而得七住。便於佛前化身為男。父母兄弟皆受五戒(出善信磨祝經卷上)。

經律異相卷第三十八

經律異相卷第三十九(外道仙人部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 外道立異見原由一
- 六師共誓伺欲降佛累遣覘觀皆從佛化二
- 六師與佛弟子挍道力三
- 以鑷鑷腹頭上戴火自顯雄異四
- 智幻國人事烏與孔雀五
- 富蘭迦葉與佛挍道不如自盡六
- 羼提仙人修忍行慈為迦利王所割截七
- 螺文仙人造書風雨不能飄侵八
- 四仙人得道緣九
- 仙人失通生惡道十
- 仙人見聞女人聲色失其神通十一
- 化足手著王女生愛後興惡念墮墜阿鼻十二
- 提波延那聞舍芝聲起愛十三
- 雪山仙人與虎行欲生十二子十四
- 撥劫仙人見王女發欲失通十五
- 獨角仙人情染世欲為婬女所騎十六

外道立異見原由一

佛告文殊。汝欲聞世間建立外道不。過去時世有佛。名拘孫陀跋陀羅。出興于世。時彼世界無諸沙礫。無外道名。唯一大乘。佛涅槃後法欲滅時。有一阿蘭若比丘。名曰佛慧。有一善人施無價衣。比丘受之。有諸獵師生劫盜心。夜將比丘至深山中。壞身裸形懸首繫樹。時有採花婆羅門至阿蘭若處。見虎恐怖向山馳走。見彼比丘。壞身裸形懸首繫樹。驚歎嗚呼。沙門先著袈裟。而今裸形。必知袈裟非解脫因。自懸苦行是真學道。彼人豈當捨離善法。正當分明知。此是解脫道因壞正法。即捨衣拔髮作裸形沙門。裸形外道從是而起也。時比丘自得解縛。即取樹皮。赤石塗染。以自障蔽。結草拂蚊。又有採花婆羅門見之。念言。是比丘捨先好衣。著如是衣。捉如是拂。豈當捨離善法。正當分明知。此是解脫道。即學是法。出家婆羅門從是而起也。時彼比丘暮入水浴。因洗頭瘡。即取水衣以覆瘡上。取牧牛人所棄弊衣以自覆身。時有樵者見已念言。是比丘先著袈裟。而今悉捨。必知袈裟非解脫因。故被髮弊衣日夜三浴修習苦行。豈當捨離善法。正當分明知。此是解脫道。即學彼法。苦行婆羅門復從是起也。比丘浴已身體多瘡蠅蜂唼食。即以白灰處處塗瘡。以水衣覆身。時有見者謂言。是道即學彼法。灰塗婆羅門從是而起也。比丘燃火炙瘡。瘡轉苦痛不能堪忍。投巖自害。時有見者言。是比丘先著好衣。今乃如是。豈當捨離善法。正知投巖是解脫道。投巖事火

從是而起也。如是次第九十六種。皆因是比丘種種形類。起諸妄想。各自生見。譬如有國一一相視。而起麁想。麁想既生。各各相殺。外道生異亦復如是(出殃掘魔羅經第四卷)。

六師共誓伺欲降佛累遣覘觀皆從佛化二

昔六師在世。貪著利養自稱獨尊。聞佛出世神德過人。集共結誓。我等宜可齊心同議。語不相違乃得勝之。即遣一人往觀如來。為如人不。視無厭足。還白六師。瞿曇顏貌世之希有威神光明踰於日月。如我所見無可譬喻。六人復念。其人出於王種。理應端正。何足復怪。今且更遣一人往觀。為無為為躁疾。還告六師。瞿曇在眾如獸中王。無所畏難。六人復念。愚人希更事。貪彼光明。此是常儀。何足復怪。出自王宮六萬采女晝夜相娛未更師學。更遣往聽。頗有經理為如凡夫。即遣明達一人觀佛所說。還白六人。彼所道說達古知今。前知無極却覩無窮。判義析理事不煩重。六師復作是念。世多有人辯辭捷疾悅可人心。然理不在不可尋究。復遣往觀。眾人聞說為寂然聽受為憒亂耶。還白六師。瞿曇所顯味如甘露。眾人渴仰聽無厭足。六人復念。人集從初久必退散。更遣高勝一人往瞻。為義理深邃為淺薄耶。還白六師。瞿曇所顯如海無涯。我等所見如牛蹄水。今我一人。且欲就彼求為弟子。前後使人各共相將詣如來所。復有無數眾生相競而到。佛說偈曰。

自得最正覺　不染一切法　一切智無畏　自然無師保

六師弟子聞佛說偈。心堅固者即求為道。心猶豫者還以白師言。三界獨尊典領十方。實無等倫。宜各馳散自求所安。

我既無師保　亦獨無伴侶　積一得作佛　自然通聖道(出六師結誓經)

六師與佛弟子挍道力三

有王名多福。太子字增福。王奉六師。子事佛道。所遵不同。時世無沙門。唯一白衣以為師首。其外道五百人嫉師名德。即白王言。國事兩法令人不專一。願與佛道師各現奇德。要不如者沒屬為奴。王即可之。外道與此師剋日。要結。王前各試功藝共相然可。梵志皆善射馭。即行入山。五百人各射射一鹿。皆貫左目來角伎術。賢者亦入山精思念佛求威神佐助以彰大道。即有五色鹿子忽從地出。歡喜持歸。外道知之。伺賢者出行。往詣其家。詭語其婦曰。卿夫欲捨家作道人。但坐此鹿當破汝家。婦聞恚怒。以鹿乞之。賢者來歸不見其鹿。問婦曰。不祥之物今已失之。夫甚愁憂。復還山中至誠懺悔。即有明月神珠忽從地出。便持此珠齎現梵志。往詣至門行賣奇物。梵志婦曰。吾家亦有異物可共相方。即出鹿子。賢者便白王。使吾掌此鹿子。汝今盜之其罪不測。婦慚還之。至其試曰。梵志各送死鹿皆傷左目既穢且臭。王甚惡之。賢者前牽

神鹿。齎明珠來上王殿。二物飛騰嬉戲星流電曜。舉宮奇之。婆羅門五百人自知術藝不競。即沒為奴。婦皆為婢(出十卷譬喻經第八卷)。

以鏁鏁腹頭上戴火自顯雄異四

南天竺有論議師。以銅鏁鏁腹。頭上燃火。來入舍衛國。時人問言。汝何因爾。答言。我智多恐腹裂。著火欲照闇。時人語言。癡婆羅門。日照天下何以言闇。答言。汝不知。闇有二種。一者無日月火燭。二者愚癡無智慧明。諸人又言。汝未見訶哆釋子比丘。何敢作是語答。若見共語者闇夜見日出。時城內人民即喚訶哆釋子比丘。欲令共論。時訶哆聞之。心愁入城。道中見二羝羊共鬪。即日取相。一羊是婆羅門。一羊是我。我者不如。轉更愁憂。前行又見二牛共鬪。復作是念。一牛是婆羅門。一牛是我。即復不如。又至前門。復見二人相撲。又作是念。亦復不如。欲入論處。見一人持滿瓶水。水瓶即破。復作是念。我見諸不吉相。不得已入舍。見是婆羅門。眼口相貌自知不如。就坐須臾。諸人便言。可共論議。答言。我今小不安隱。須待明日便還宿處(出十誦律二誦第三卷)。

智幻國人事烏與孔雀五

過去世時。有一大國。在于北方邊地。號曰智幻。智幻人齎持烏來。至波遮梨國。而其國界無有此烏。亦無異類奇妙之鳥。時人見烏。歡喜踊躍。供養奉事飲食果瓜。而消息之。遠方之烏皆來集會不可稱數。一國普事尊敬無量。於後異時有一賈人復從他國齎孔雀來。眾見羽翼殊傑行步弘雅所未曾有。聽其音聲心懷踊躍。皆捨烏而愛孔雀。前養烏之具皆供孔雀。尊敬自歸。諸烏皆沒不知處所。時有天頌曰。

未見日光時　燭火獨為明　本見事諸烏　水飲及果瓜　美音既具足
如日出樹間　諸烏失供養　見事見尊卑

阿難頌曰。

如佛不興出　梵志得供事　今佛具足音　異學失供養

孔雀者我身是也。烏者諸外異學是。天者阿難也(出孔雀經)。

富蘭迦葉與佛挍道不如自盡六

昔舍衛國有婆羅門師。名富蘭迦葉。與五百弟子相隨。國王人民莫不奉事。佛初得道。與諸弟子從羅閱祇至舍衛國。身相顯赫道教清美。國王中宮率土人民莫不奉敬。迦葉嫉妬欲毀世尊。謂波斯匿王曰。吾等長老先學國之舊師。沙門瞿曇。後出求道實無神聖。而王捨我今欲與佛挍

試。道德勝者王奉。王言大善。王以白佛。佛言甚佳。結期七日當角變化。王於城東平廣好地。立二高座。國王群臣大眾雲集。欲觀二人角道。迦葉與諸弟子先到座所登梯而上。般師神王。見其虛妄嫉妬。即起大風。吹坐具顛倒幢幡。飛揚雨沙礫石。眼不得視。世尊高座儼然不動。佛與大眾庠序而來。方向高座忽然已上。眾僧一切寂然次坐。王及群臣加敬稽首白言。願垂神化壓伏邪見。并令國人明信正真。世尊於座燿然不現。即昇虛空奮大光明。東沒西現四方亦爾。身出水火上下交易。坐臥空中十二變化。沒身不現還在座上。天龍鬼神華香供養。讚善之聲震動天地。富蘭迦葉自知無道。低頭慚怖不敢舉目。金剛力士捉金剛杵。杵頭火出以擬迦葉。問何以不現變化。迦葉惶怖投下而走。五百弟子奔波迸散。世尊威容都無欣慼。還到祇園。國王群臣歡喜辭退。於是迦葉與諸弟子受辱而去。去至道中逢一老優婆夷。字摩尼。逆罵之曰。卿等群愚不自忖度。而欲與佛比挍道術。狂愚欺誑不知羞恥。亦可不須持此面目行於世間也。迦葉羞諸弟子。往江水邊誑諸弟子。我今投水必生梵天。若我不還則有樂。彼諸弟子待之不還。自共議言。師必上天。我何宜住。一一投水冀當隨師。不知罪牽皆墮地獄。後日國王聞其如此。甚驚怪之往到佛所白佛言。迦葉師徒何緣乃爾。佛告王曰。迦葉師徒重罪有二。一者三毒熾盛自稱得道。二者謗毀如來欲望敬事。以此二罪應墮地獄。殃咎催逼使其沒河。身死神去受苦無量。往昔有二獼猴王。各主五百獼猴。一王起嫉妬意。欲殺一王規圖獨治。便往共鬪。鬪數不如。羞慚退去。到大海邊海曲之中。有大聚沫。風吹積聚高數百丈。獼猴王愚癡謂是雪山。語群輩言。久聞海中有雪山。其中快樂甘果恣口。今日乃見吾當先往行視。若審樂者不能復還。若不樂者當還語汝。於是上樹盡力跳騰。投聚沫中溺死海底。餘者怪之不出。謂必大樂。一一投中斷群溺死。嫉妬獼猴王者富蘭迦葉是也。群輩者今富蘭弟子五百人是也(出法句喻經第四卷賢愚出事廣略同不取)。

羼提仙人修忍行慈為迦利王所割截七

羼提仙人在大林中。修忍行慈。時迦利王將諸婇女入林遊戲。飯食既訖。王小睡息。諸婇女輩採華林間。見此仙人。加敬禮拜在一面立。仙人爾時為諸婇女說諸慈忍。其言美妙聽者無厭。久而不去。迦利王覺不見婇女。拔劍追蹤。見在仙人前。憍妬隆盛瞋目奮劍。而問仙人。汝作何物。仙人答言。我今在此修忍行慈。王言。我今試汝。當以利劍截汝耳鼻斬汝手足。若不瞋者知汝修忍。仙人言任意。王即拔劍截其耳鼻斷其手足。而問之言。汝心動不。答言。我修慈忍心不動也。王言。汝一身在此無有勢力。雖口言不動誰當信者。是時仙人即作誓言。若我實修慈忍。血當為乳。即時血變為乳。王大驚喜。將諸女去。是時林中龍神為此仙人雷電礕礰。王被毒害沒不還宮(出智論第四卷)。

螺文仙人造書風雨不能飄侵八

昔有仙人。名曰螺文精進純備。而處居家不有梵行者。或作是說。如彼螺文有清淨行。然在居家不善清淨。螺文造書。風雨不能沮壞。處俗修梵行。如阿那含。在家眷屬圍繞。此非清淨行耶。神足境界不可思議(出婆須蜜經第六卷)。

四仙人得道緣九

佛在羅閱祇。宣說正法。諸尼揵等心皆愁惱。梨夷山有五百仙人。尼揵遣使云。此間有佛。自謂得道神變第一。皆不及我等而自高大。願大師等。自屈見佐。論道至要毀滅其道。遂令諸師功名益顯。答言大善。我等且遣四人往難瞿曇。尼揵宣令國內。却後七日當有四佛入國度人。及至其日。四人現視神變。從空中來各從城一面入。眾人覩見謂為真佛。尼揵遣使白佛。可來講道。佛言。食時當往。尼揵喜曰。瞿曇恐不如。詐不前來。眾皆謂然。佛令空中火起。從西面來。四人南飛火復南來。四面熱氣四人惶懅。頓臥在地。佛現在涼處。即時尋涼來至佛前。佛為說法。皆作沙門得應真道。佛入城。城中人言。旦有四佛在虛空中。佛言。即指左右。此四羅漢是也(出十卷譬喻經第五卷)。

仙人失通生惡道十

如鬱陀羅伽仙人。得五神通。飛到國王宮中食。王大夫人如其國法。接足而禮。夫人手觸即失神通。從王求車。乘駕而出還其本處。入林樹間更求五通。一心專至垂得。而樹上有鳥急鳴以亂其意。捨樹至水邊求定。復聞魚鬪動水之聲。此人求禪不得。即生瞋恚。我當盡殺魚鳥。此人久後思惟得定。生非有想非無想處。於彼壽盡。下生作飛狸。殺諸魚鳥。作無量罪墮惡道(出大智論第十七卷)。

諸仙人見聞女人色聲皆失神通十一

優陀延王。將諸宮人婇女。詣鬱毒波陀山林。除却男子純與女人五樂自娛。其音清妙燒眾名香。時諸婇女。或有裸形而起舞者。時有五百仙人經過彼處。時諸仙人見色聞聲嗅香便失神足。猶無翼鳥墮彼林中。王問。汝等是誰。諸仙人答言。我是仙人。王復問。汝得非想非非想處定耶。答言不得。又問。汝得初禪耶。答言。曾得而今已失。時王瞋言。有欲之人見我宮人殊非所以。便拔利劍斷五百仙人手足(出抄毘曇毘婆沙第三十三卷)。

化足手著王女生愛後興惡念墮墜阿鼻十二

優陀羅摩子。有王。常施其食。若食時至。以神足力飛騰虛空詣於王宮。王即迎抱坐金床上。以諸仙人所食之味而供養之。時彼仙人飯食已竟。除器澡漱說偈呪願飛空而去。是王後時。以國事故應詣餘處。無人給事仙人。仙人性躁。或起瞋恚而呪咀我。或失王位或斷我命。便問其

女。仙人若來如我常法汝能供養不。女答言能。時王重約勅女盡心奉養。然後乃行。營理國事。後日食時仙人飛來。王女如王法。躬身迎抱坐金床上。王女身體細軟。仙人觸女退失神足。飲食訖。除器澡漱說偈呪願。欲飛不能。時王宮中有後園林。即入其中欲修神足。聞象馬車乘之聲而不得修。時城中人恒作是念。若令大仙在地行者。我等當得親近禮足。仙人聰明黠慧善知方便。語王女言。汝今宣告城中人民。今日大仙當從王宮步行而出。汝等人民所應作者皆悉作之。時彼王女如其所勅。即便宣告。街陌清淨無瓦礫糞穢。懸幡燒香散種種花。嚴飾鮮潔。仙人步出去城不遠。入林樹間欲修神足。聞眾鳥聲修不能得。便捨林樹復詣河邊。以其本法欲修神足。復聞水中魚鼈迴轉之聲。而不得修。便上山上作是思惟。我今所以退失善法皆由眾生。凡我所有善法淨行。使我當作如是眾生。能害世間所見地行飛行水性眾生。無免我者。發是惡誓願見。離八地欲生非想非非想有頂處。開甘露門寂靜園田。八萬劫中處閑靜樂。業報盡已乃還此間。答波樹林曇摩阿蘭若處。作著翅狸。身廣五十由旬。兩翅各廣五十由旬。其身量百五十由旬。以此大身殺害空行水陸眾生。無得免者。身壞命終生阿鼻地獄(出抄毘曇毘婆沙第三十三卷)。

提波延那聞舍芝聲起愛十三

佛未出世時。天帝釋常往詣提波延那仙人所聽法。後一時乘寶飾車欲詣仙人。而舍芝念言。今者帝釋棄我欲詣餘婇女。即隱其形上車上。帝釋不知垂到仙人所。顧視見之。而問言。汝等何故來。仙人不欲眼見女人。汝可還宮。舍芝不欲去。帝釋以蓮華莖打之。舍芝以女人軟美之音而謝帝釋。仙人聞之。而起欲愛。螺髮即落耳識而退(出抄毘曇毘婆沙第三十三卷)。

雪山仙人與虎行欲生十二子十四

往昔雪山有一仙人。名跋伽婆。食果草根修習慈心。而不能除諸煩惱結。時住彼處有一雌虎。與共行欲遂便懷妊。日月滿足來仙人所產十二子。仙人憐愍即取洗浴而哺養之。虎母愛念隨時乳養。仙人各為立名。一名竭伽。二名跋婆伽。三名為虎。四名師子。五名擔重。六名婆羅墮閣。七名步行。八名婆羅奴。九名健食。十名惡性。十一名師子擔。十二名健行。年始七歲能食根華果。父母俱亡子心愁惱。仰天號哭無所歸依。樹神言。且莫號哭。汝等應當晝夜六時淨自洗浴向於虛空至心禮拜求哀梵天。梵天聞之。當至汝所壞汝癡暗。施汝慧明當供養汝。依教而行經十二歲。時梵天帝釋三十三天。與無數眷屬皆來供養。告童子曰。汝等何故十二年中精懃苦行。供養於我欲何所求。僉曰。唯願大士施我智慧。今我識知善惡等業苦受樂事(出大集經第二十四卷)。

撥劫仙人見王女發欲失通十五

昔過去久遠世時。有一仙人。名曰撥劫。得五神通。時為國王之所奉

事。神足飛行往反王宮。時王供養一切施安。王手捧仙人布髮與行。手自斟酌百種飲食。積有年歲。時王緣務。王有一女。端正姝好於世希有。王甚敬重。女未出門。王告女曰。吾奉事仙人不敢失意。今吾遠行汝供養之。當如我在。時彼仙人從空飛下至宮內。王女見來。以手擎之坐著座上。觸女體柔軟即起欲意。愛欲興盛尋失神足。思惟經行欲復神足故不能獲。步行出宮。時無央數人皆來集看。王行畢還聞墮恩愛不能飛行。王夜至宮獨竊自行。往見仙人稽首足下。以偈頌曰。

吾聞大梵志　本異皆食飲　為從何所教　何因習色欲

撥劫答曰。

吾實爾大王　如聖之所聞

王曰。

不審惠所在　乃善德所念　假使發欲心　不能伏本事

撥劫答曰。

愛欲失義利　婬心鬱然熾　今日聞王語　便當捨愛欲

仙人羞慚剋心自責。宿夜精懃還復神通。時仙人者今舍利弗是。時國王者吾身是也(出仙人撥劫經)。

獨角仙人情染世欲為婬女所騎十六

時波羅奈國山中有仙人。以仲秋之月。於澡槃中小便。見鹿合會婬心即發。精流槃中鹿飲之。即時有身。滿月生子大類如人。頭有一角其足似鹿。鹿當產時往仙人舍前生子。付仙人而去。仙人出時見此鹿子。自念本緣知是己兒。取已養育。及其年大。懃教學習。通十八種大經。又學坐禪。行四無量心得五神通。一時上山。值大雨泥滑。其脚不便蹙傷其足。便大瞋恚。呪令不雨。仙人福德諸龍鬼神皆為不雨。不雨故穀果不生。人民窮乏無復生路。波羅奈王憂愁懊惱。命諸大官集議雨事。明者議言。我聞有一角仙人。上山傷足瞋呪令十二年不雨。王即開募。若有能令仙人失五通屬我為民者。當與分國半治。是波羅奈國有婬女。名曰扇陀。端正巨富。來應王募。婬女言。若是人者我能壞之作是語已。取金槃盛好寶物。語王言。我當騎此仙人來。婬女即時求五百乘車。載五百美女。五百鹿車載種種歡喜丸。皆以眾藥草和之。及持種種大力美酒。色味如水服樹皮衣行林樹間。以像仙人。於仙人舍邊作草庵住。一角仙人遊行見之。諸女皆出好華妙香供養仙人。仙人歡喜。諸女以美言

敬辭問訊仙人。將入房中坐好床褥。與好淨酒以為淨水。與歡喜丸以為果瓜。食飲飽已。語諸女言。我從生來初未得如此果水。諸女言。我一心行善故天與我願得此果水。仙人問女。汝那膚色肥盛。答曰。我常食此好果飲此美水。仙言。汝何不在此住。答曰。亦可住耳。女呼共澡洗。女手柔軟觸之。心動遂成婬欲。即失神通。天為大雨七日七夜。令得歡樂飲食七日。酒食皆盡。繼以水木果。其味不美。更索前者。答言已盡。今當共取。去此不遠有可得處。仙人言。隨意。共出去城不遠。女便臥地言。我極不復能行。仙人言。汝不能行者騎我項上。我當擔汝。女先遣信報王。王可暫出觀我智能。王見問言。何由得爾。女曰以方便力無所復能。令住城中好供養恭敬之。足其所欲拜為大臣。住城少日身轉羸瘦。念禪定心厭此世欲。王問仙人。汝何不樂。答曰。雖得五欲常念林間。王曰。本除旱患何為強奪其志。即便遣之。既還山中精進不久還得五通。一角仙人我身是也。婬女者耶輸陀羅是也(出大智論第十七卷)。

經律異相卷第三十九

經律異相卷第四十(梵志部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 超術師又從定光佛請記一
- 寶海梵志述其所夢二
- 須頂梵志蒙佛憂解三
- 摩因提梵志將女妻佛四
- 梵志喪兒從閻羅乞活兒不親從詣佛得道五
- 梵志諂施比丘立說一偈能消六
- 梵志奉佛鉢蜜眾食不減施水中眾生七
- 梵志遠學值五無反復八
- 梵志兄弟四人同日命終九
- 梵志棄端正婦於樹上愛著鄙婢後悔無益十
- 梵志夫婦採花失命佛為說其往事十一
- 梵志失利養殺女人謗佛十二

超術師又從定光佛請記一

過去定光眾祐出現。鉢摩大國。與四部之眾不可稱計。皆來供養給其所須。時有梵志。名耶若達。在雪山側。看諸祕讖天文地理靡不貫綜。書疏文字亦悉了知。耶若達梵志有弟子。名曰雷雲。聰明博見靡事不通。恒為耶若達所見愛教不去須臾。雷雲梵志念言。我今應學者悉皆已備。宜報師恩。然復貧弊。宜當往詣國界求所須者。師念。我之所愛。設吾死者尚不能別。何況今日欲捨吾去。作五百言與之令誦。未經幾日悉皆流利。是時耶若達婆羅門。告五百弟子曰。此雷雲梵志伎術悉通。即以立名。名曰超術。超術梵志復經數日。又白師曰。所學已知。然書籍所載諸有學術過者當報師恩。師曰。汝知是知。超術作禮而去。爾時鉢摩大國。去城不遠有眾梵志。並集一家欲共大祠。并欲論議。有八萬四千梵志共集。第一上座諷誦書疏莫不能知。以五百兩金及金杖金澡罐各一牧牛千頭。用奉上師。與第一上座先試其術。過者便與。超術梵志自念。我今何故家家乞求。不如詣彼大眾共挍伎術。超術往。眾多梵志遙各喚曰。善哉祠主今獲大利。乃使梵天躬自下降。時八萬四千諸梵志等。各起共迎。異口同音而作是語。善來大梵神天。超術梵志曰。吾非梵天。止止諸賢。汝等豈不聞。雪山北有大梵志眾師。名耶若達。我其弟子。名曰超術。便向上座曰。設知伎術者向吾說之。爾時彼眾第一上座。即誦三藏伎術無有漏失。時超術語上座曰。一句五百言。今可說之。上座曰。我不解也。超術便誦三藏及一句五百言大人之相。爾時八萬四千梵志。歎未曾有甚奇甚特。我初不聞大人之相。今尊宜在上座。超術移坐上座便在第一。時彼眾上座極懷瞋恚。發此誓願。今此人奪我坐處。此人所生之處所欲作事。我恒當壞敗其功。時彼施主即依法施上

座。告主人曰。我今還以金錢銀錢以相施。吾但各取五百枚。以金罐用供養女人。及牛千頭還施主人。吾不習欲亦不積財。已便往詣鉢摩大國。其王名曰光明。於城東門見五百梵志耆年宿德。時彼國王請定光如來日曝火炙。即以五百金錢各與一文及比丘眾。衣食供養掃灑令淨。勿使作倡有土沙穢惡。懸繒幡蓋香汁塗地。伎樂不可稱計。見一女人。名曰善味。持七莖華以瓶取水。即問此女。吾欲買華。女言。持用上佛。即以銀錢五百請五莖華。女貪銀錢與五莖華。行數十步女自念言。此人形貌端正不惜銀錢。追呼男子問用何為。答曰上佛。女曰。請二莖華并以上佛。願我後生常為夫妻。超術曰。菩薩無所愛惜。設為我妻必壞我心。梵志女曰。我終不相壞。正使持我施與。終必忍行。定光佛曰。菩薩所行無所愛惜。梵志偈答。

父母諸佛尊　日月周行世　不可持施人　餘者決無難

又說偈曰。

當忍億劫苦　施頭身耳目　妻子國財寶　車馬僕從人

摩納。復以偈答。

大山熾如火　億劫堪頂戴　不能壞道意　唯願時授決

即解髮布地。而說偈言。

破愛憍慢心　能滅欲怒癡　第一光相足　惟佛照我心　昔我所求願
今日得見佛　今散五莖花　願得不退轉　餘二非我華　王女寄上佛
無上大導師　見愍蹈我髮

佛又偈答。

摩納發大心　曠濟無量數　弘誓不自為　殖眾功德本　却後無數劫
五鼎五濁世　成佛度眾生　號字釋迦文　光明三十二　奇特人中尊

佛以脚足蹈髮而過。又以神力接五莖華。及得我身在虛空中。餘有二華住佛兩肩。自從破梵志祠天帝火以後。行正見用平等法。不復墮三塗及在八難。時超術我是。賣花女瞿夷是也(出修行本起經)。

寶海梵志述其所夢二

有寶海梵志。白佛。願如來及比丘僧。滿七歲中受我四事供養。如來許可。梵志後時作如是念。我今已令百千億那由他眾生發菩提心。然我不

知轉輪聖王所願何等為願。人王天王聲聞緣覺。為求無上菩提。若我來世必成佛道。我於夜臥當有諸天魔梵諸佛世尊為我現夢。於睡眠中見有光明。即見十方恒沙世界諸佛世尊。各各遙授蓮華與之。其花微妙各於華臺見日輪像。於日輪上有七寶蓋。一一日輪各出六十億光。皆悉來入梵志口中。自見其光滿千由旬。淨如明鏡見其腹內。六十億那由他百千菩薩。在蓮華上結跏趺坐三昧正受。復見日鬚圍繞其身。於諸華中出諸伎樂。又見其王。血出污身四方馳走。面首似猪噉種種蟲。坐伊蘭樹下。有無量眾生來食其身。唯餘骨瑣。數數受身亦復如是。復見諸王子。或作猪象或水牛師子狐狼虎豹獼猴等面。以血污身皆噉眾生。坐伊蘭樹下。復有無量眾生。來食其身。骨瑣已離。數數受身亦復如是。或見王子。須曼那花以作瓔珞。載小弊車駕以水牛。從不正道南向馳走。復見四天大王釋提桓因大梵天王來至其所。告梵志言。汝今四邊所有蓮華。應先取一華與轉輪王。一一王子各與一華。其餘諸花與諸小王。次與汝子。并及餘人即皆賦之。忽然而寤。憶念夢中所見諸事。得知聖王所願卑下愛樂生死。復知諸王子發心。求聲聞乘者故我夢見須曼那花以作瓔珞。載水牛車於不正道南向馳走。我何緣故夢見於此。諸佛世尊。以我先教勸閻浮提內無量眾生。悉令安住三福處故發菩提心。請佛及僧。滿足七歲奉諸所安耳(出寶梵志請如來經)。

須項梵志聞法憂解三

舍衛國有梵志。於祇樹間大營田種。往看歡喜。自謂得願。即於其夜天雨大雹。禾稼皆死。女復喪亡。愁憒憂煩哭無能止。時諸比丘入城分衛。見其二相還具白佛。須項梵志躬到佛所。頭面禮畢。佛知其念。謂梵志曰。世有五事不可避脫。一當耗減。二當亡棄。三當病瘦。四當老朽。五當死去。唯有道諦得離。布施持戒。梵志意軟便見四諦。從今已後歸依佛法僧。為清信士。比丘白佛。世尊。解梵志意喜笑而去。佛言。不但是反解憂。過去閻浮利地有五主。其一主名曰桀貪。治國不正。大臣人民。出兵拔白皆到王前。共謂王曰。寧自知不貪害萬姓。急出國去。不者相害。王大戰慄。以車騎出國。自織草薪賣以自給。大臣人民便拜王弟作王。治不枉民。故王上書自陳。從王乞一聚可以自給。王即與之。既得一聚便已治正。復乞兩聚。乃至半國。王皆與之。如是久遠。桀貪生念。興半國兵攻弟即勝便得故國。復興一國兵攻第二。轉倍興兵攻第五國。往往得勝。時四海皆屬改號大勝。帝釋試之。寧知足不。化作少童梵志。姓駒夷氏。被髮金杖持金瓶住宮門通王。王便前坐相勞問畢。却謂王言。我從海邊來。見一大國。人民熾盛多有珍寶。可往攻之。不審已足。復欲得是。王言欲得。天王謂言。可益莊船興兵相待。却後七日當將王往言便化去。王到其日興兵莊船。梵志不來愁憂不樂。時一國人民迴坐向王。王啼亦啼。王憂亦憂。王便生意曰。

增念隨欲　已有復願　日盛為喜　從得自在

有能解者賞金錢一千。時有少年名曰欝多。言能解假七日來對。到第七日白母言。我欲解王憂。母謂子。子且止。勿行。帝王難事。子言。我力能淹。到王所言。今來對義。即乃說偈。大勝王便上金錢一千。大勝者即種種梵志是。時童子欝多者則我身是也(出義足經上卷)。

摩因提梵志將女妻佛四

昔摩因提梵志。生女端正。國王太子大臣長者來求不得。見佛金色三十二相。便自念言。如此人比我女便與。還家謂婦言。今得女婿踰於我女。即莊飾女眾寶瓔珞。將女出城。母見佛跡文現分明。謂父言曰。寧知空出終不得婿。婦說偈言。

婬人曳踵行　恚者斂指步　癡人足蹶地　是跡天人尊

父言。癡人為女作患。即將女到佛所。左手持臂右手持瓶。因白佛言。今以此女相惠為妻。女見佛形婬意繫著。其心火燃。佛即說偈言。

我見邪三女　尚不欲邪婬　今寧抱屎尿　足觸尚不可(出義足經上卷)

梵志喪兒從閻羅乞活詣佛得道五

昔有婆羅門少出家學。至年六十不能得道。法應歸家。取婦為居士。生得一男。端正可愛。至年七歲卒得重病。一宿命終梵志憐惜。伏其屍上絕而復蘇。親族諫喻強奪殯殮埋著城外。梵志自念。我今啼哭計無所益。不如往至閻羅王所乞索兒命。沐浴齋戒齎持花香。發舍而去。所在問人。閻羅王所治為在何許。前行數千里至深山中。見諸梵志復問如前。答曰。卿問閻羅王所治處欲求何等。答言。我有一子近日卒亡。欲至閻羅王所乞索兒命。梵志愍其愚癡。即告之曰。閻羅王治處非生人所得到也。當示卿方。宜從此西行四百餘里。有大川其中有城。此是天神案行世間停息之城。閻羅王常以月四日案行必過此城卿持齋戒往必見之。歡喜而去。到其川中見好城郭宮殿屋宇。如忉利天。梵志詣門。燒香翹脚呪願求兒。閻羅王勅門見之。梵志啟言。晚生一男欲以備老。養育七歲近日命終。唯願大王垂恩布施還我兒命。王言大善。卿兒今在東園中戲。自往將去。即往見兒。與諸小兒共戲。前抱啼泣曰。我晝夜念汝食寐不甘。汝寧念父母辛苦以不。小兒喚逆呵之曰。癡騃老翁不達道理。寄住須臾名人為子。勿妄多言。不如早去。今我此間自有父母。梵志悵然涕泣而去。即自念言。我聞瞿曇沙門知人魂神變化之道。當往問之。即還佛所稽首作禮。具以本末向佛陳之。實是我兒不肯復反。謂我為癡騃老公。寄住須臾名他為子。永無父子之情。何緣乃爾。佛告梵志。汝實愚癡。人死神去便更受形。父母妻子因緣會居。譬如寄客起則離散。梵志聞之燿然意解稽首委質。願為沙門。佛言善哉。鬚髮自落法衣在身。即成比丘。即於座上得羅漢道(出道行品法句經第四卷)。

梵志諂施比丘說一偈能消六

昔有梵志。財富學問不信正道。數與沙門論不如。每聞沙門食人信施不能精進。死後當作牛馬還償施家。便密作計設食。後世取之。使令其治生。素性慳貪欻至寺中。寺中有五百道人便盡請之。加敬設食豐好勝他。必當圖得五百牛馬。上座一人已得四道羅漢。以知其念。便呼維那勅諸比丘。皆當專心人說一偈即共善加敬。上座語曰。已償債畢。不復得牛馬矣。梵志驚曰。道人神聖逆知我意。上座於是具告諸比丘。汝得食已。慈心念道誦一法言。迺可吞須彌山尚能消之。況此小食。梵志甚慚愧。因為說法廣陳要義。心開受道即悟道迹(出諸經中要事)。

梵志奉佛鉢蜜眾食不減施水中眾生七

昔有梵志。要不覩佛竊入他舍。大聖愍之到其目前。欲避馳走不能自致。來詣佛所。彼時世尊。為說經法喜心生焉。歸命法僧奉受戒禁繞佛而去。即取應器盛滿中蜜。兩手擎之欲奉上佛。佛告諸比丘。取是鉢蜜布與眾僧。時一鉢蜜佛及眾僧皆得滿足。鉢滿如故。即復授佛。佛告梵志。著大水無量之流。梵志又問何故。佛言。具足水中蟲蠡黿鼉魚鼈悉蒙其味。梵志受教。世尊欣笑出五色光。上至梵天普照五道。還繞身三匝。授菩薩決光從頂入。授緣覺決光從口入。授聲聞決光從臂入。說上天福光從臍入。說授人身光從膝入。說地獄餓鬼畜生光從足入。阿難從座起叉手白佛言。佛不妄笑。笑會有意。佛告阿難。汝見梵志以蜜奉佛。對曰唯然。今此梵志然後來世。歷二十劫不墮惡趣。過二十劫當得緣覺。名曰蜜具。諸比丘言。於此梵志以一鉢蜜多所饒益而得緣覺。佛告比丘。於是梵志非但今世。前世宿命亦復如是。過去有婆羅門閑居寂寞。見有神仙。有人說言。今此仙人佳吉難及。當往啟受。有人報言。用為見此養身之種。有一五通仙。見心所念。即於樹間踊在空中。住其人前。見之喜躍。即盛滿鉢蜜而奉授之。仙人受已飛在虛空。緣是施德後作國王。名曰蜜具。正法治國壽終生天。佛告比丘。欲知爾時五通仙人。則我身是。爾時梵志今梵志是。爾時施蜜授天人福。緣是今世亦復施佛。後致緣覺(出蜜具經)。

梵志遠學值五無反復八

有梵志。在羅悅祇。聞舍衛國人多孝養奉經修道供事三尊。欲得學問即往諮受。去國不遠。見父子二人耕地下種。時毒蛇出齧殺其子。父耕種不輟又不顧視。梵志問之。耕種者又問。何來也。梵志答言。我從羅悅祇來。聞此國人多孝養奉事三寶故來學問。向者是何人子。曰我之子。曰是卿子者何故不憂而反耕種。其人答言。人生有死物成有敗。非愁憂啼哭所可如何。設不飲食何益於死者耶。卿入城者過語我家。吾子已死。無復持二人食具來。梵志竊念。人無反復。兒死在地。靜不愁憂而反索食。入舍衛城詣耕家。見死兒母語言。卿子已死。父言。但持一人

食具來。兒母曰。如客來寄止。來不難去不留。此兒如是。生生是自來死亦獨去。非我力所能進退。隨其本行追命所生。又語其姊。姊亦說無常喻。梵志語婦。卿夫已死。婦為梵志說譬喻。又語奴子。大家已死。奴子亦說譬喻。梵志聞之。心感目冥不識東西。聞此國孝養奉事三寶故來學問。未有善意。見五無反復唐勞身心。又問行人佛在何所。答言。近在祇樹給孤獨園。梵志即到佛所。稽首佛足却坐一面。愁憂不樂。低頭默無所說。佛知其意。謂梵志言。何為不樂。梵志答言。違我本願故愁憂耳。佛又問。云何。具以事答。佛言不然。不如卿語。此之五人最有反復。知命無常非愁憂可如。還以自定故無有愁憂。世俗人不識無常。懊惱啼哭不能自割。譬如人身得熱病。不自覺知慌忽妄語。良醫與藥。熱即除愈不復妄語。俗人愁憂愚癡醉熱不能自解。若自曉無常不復愁憂也。如熱得愈。此五人皆可道證。梵志聞語即自剋責。我為愚冥不知大義。今聞佛語。如盲得目冥中見明。即受五戒稽首而退(出五無反復經)。

梵志兄弟四人同日命終九

梵志兄弟四人。各得五通。却後七日皆當命盡。自共議言。五通之力反覆天地。手捫日月移山住流。靡所不能。寧當不能避此死對。一人言。吾入大海。上不出現下不至底。正據其中。無常殺鬼安知我處。一人言。吾入須彌山中。還合其表令無際現。無常殺鬼安知吾處。一人言。吾當輕舉隱虛空中。無常殺鬼安知吾處。一人言。吾當藏入大市之中。無常殺鬼趣得一人何必求吾。四人議訖。相將辭王。吾等壽算餘有七日。今欲逃命。冀當得脫還乃親省。唯願進德。於是別去。七日期滿各各命終。猶果熟落。市監白王。有一梵志卒死市中。王乃瘖曰。四人避對一人已死。其餘三人豈得獨免。王即嚴駕往至佛所。作禮却坐白言。近有梵志。兄弟四人各獲五通。自知命盡皆共避之。不審今者能得脫不。佛告大王。人有四事不可得離。一者在中陰不得不受生。二者生不得不受老。三者老不得不受病。四者病不得不受死(出法句經第三卷)。

梵志棄端正婦於樹上愛著鄙婢後悔無益十

有清信士。其婦端正威德無倫。言語辯才眾人所敬。夫婿不重亦不喜見。反愛僕使。婦見婿心。謂夫言。卿不喜我。願聽出家。婿便聽之。即時出家為比丘尼。晝夜精進。行道未久證得羅漢。然後清信士所敬女人死。清信士呼比丘尼歸。尼了不肯。比丘尼白佛。說其本末。佛言。是清信士前世已毀辱此有德之人。此女有殊特志。此人常為壞亂。已入大路復欲毀之。不能得也。佛言。過去世時有一梵志婦。名蓮華。端正絕世。梵志不喜。所愛者婢。用其婢語。捨婦山間。上優鉢曇樹擇取熟果。棄生與婦。婦問。君獨噉熟果。而棄生者與人。夫曰。汝可上樹。婦即上樹。夫取荊棘四匝遮樹。欲使死不得下。時國王遊獵。見女端正。即問女言。卿是何人。婦自具本末。王念梵志。愚騃無知非是丈

夫。即除荊棘。車載還宮內立為王后。多諸伎藝智辯無雙。又能擇博。遠近女人來共博戲。王后輒勝無能當者。梵志善於博弈。遙聞后勝。念言。是我前婦非是異人。乃欲詣王現其伎術。后聞一梵志形像知是前夫。啟王現之。遙試博戲。后偈答曰。梵志心懷愧恨。即自刻責悔無所及。時梵志者今清信士是。時婦者即今婦是。彼國王者吾身是也(出夫婦經)。

梵志夫婦採花失命佛為說其往事十一

有一梵志財富無數。正有一子年始二十。新為取婦。未滿七日。以上春三月。夫婦相將至後園戲。有一柰樹高大好華。婦欲得之無人與取。夫知婦意即便上樹。正取一華。復欲得二。上樹枝折墮地而死。大小奔波往趣兒所。呼天號哭斷絕復蘇。宗族無數皆共悲痛。聞之傷心見之哀痛。父母怨天謂為不護。棺斂事畢。還家涕泣不能自止。於是世尊。愍傷其愚往問訊之。大小見佛。悲感具陳辛苦。佛語長者。止息聽法萬物無常不可久保。生則有死罪福相追。此兒三處為其哭泣。懊惱斷絕亦復難勝。竟為誰兒。何者為親。於是世尊即說偈言。

命如華果熟　常恐會零落　已生皆有苦　孰能致不死　從初樂愛欲
可婬入脆景　受形命如電　晝夜流難止　是身為死物　精神無形法
作令死復生　罪福不敗止　終始非一世　從癡愛久長　自作受苦樂
身死神不喪

長者聞偈意解忘憂。長跪白佛。此兒宿命作何罪釁。盛美之壽而便中夭。唯願解說本所行罪。佛言。昔時有一小兒。持弓箭入神樹中戲。邊有三人看樹上雀。小兒欲射。三人勸言。若能中者世稱健兒。小兒意美引弓射之。中雀即死。三人共笑助之歡喜而各自去。經歷生死無數劫中。所在相遭共會受罪。其三人者一人有福今在天上。一人生海中為化生龍王。一人今日長者身是。此小兒者前生天上為天作子。命終來下為長者作子。墮樹命絕即生海中為化生龍子。即生之日金翅鳥王取而食之。今日三處懊惱涕哭寧可言也。以其前世助之喜故。此三人者報以涕哭(出法句譬喻經第五卷)。

梵志失利養殺女人謗佛十二

舍衛國王大臣人民。奉敬世尊四事供養。棄捨梵志。梵志共議。當求好女殺埋樹間。令瞿曇眾惡名遠聞。遇待我者。即共逼教好首女人言。汝從今以後朝暮詣佛令萬姓見知。小女承教。便殺之埋著樹間。梵志便聚到王宮門。稱怨喚言。我當學中有一女人。獨最端正。華色無雙生死不知處。王謂言曰。常至何所。對言。往瞿曇間。王言。當於彼求。使到祇樹。掘出女屍著於床上。遍巷稱怨言。沙門瞿曇常稱戒德弘普無上。如何私與女人通情。復殺藏之。有何法戒。時諸比丘入城乞食。人民罵

言。是曹沙門所犯若此。當得衣食。比丘便持空器出城。還以白佛。佛告比丘。我被是謗不過七日耳。時惟闍女於城中聞。比丘求食悉空器還。到佛所頭面作禮。叉手白佛言。願佛及僧從我家飯七日。佛默然受之。佛告阿難。汝與眾僧入城里巷。說偈言曰。

常欺倒邪冥　說作身不犯　重冥行當具　必自受憂苦

惟闍是時即飯佛僧(出義足經上卷)。

經律異相卷第四十

經律異相卷第四十一(婆羅門部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 檀膩羈身獲諸罪一
- 阿耆尼達多在胎令母能論議二
- 鷄頭以身質錢欲飯佛僧帝釋所助乃及於王三
- 老乞婆羅門誦佛一偈兒子還相供養四
- 散若學射得妻五
- 婆羅門以納施佛得聞記別六
- 婆羅門以餅奉佛聞法得道七
- 拔抵婆羅門瞋失弟子生惡龍中為佛所降八
- 婆羅門入定三百餘年九
- 婆羅門兒婦信向見其後報十
- 婆羅門從佛意解十一
- 婆羅門持一齋不全生為樹神能出飲食施諸餓者十二
- 婆羅門夫婦吞金錢為糧身壞人取為福即得道迹十三
- 婆羅門生美女佛言不好十四
- 大鬘與瓦師子為善知識共相勸信十五
- 婆羅門婦事佛為婿所患投河水竭婿方醒悟十六

檀膩羈身獲諸罪一

舍衛國內。有婆羅門賓頭盧埵闍。其婦醜惡兩眼洞青。七女無男。己貧女窮婦弊好罵。女來求須瞋目涕泣。田有熟穀從他借牛。將往踐之於澤亡失。時婆羅門坐自思惟。我種何罪。婦女所切復失他牛。推覓形疲偶到林中。值見如來。觀之生念。瞿曇沙門今最安樂。無我諸惱。佛知其心。便語之曰。如汝所念。佛告之曰。欲出家不。即白佛言。世尊。聽者甚適鄙願佛曰。善來比丘。鬚髮自墮。身所著衣變成袈裟。佛為說法。成阿羅漢。佛告阿難。過去有國王。名阿波羅提目佉(梁言端正)。以道化物。時有婆羅門。名檀膩羈。家裏空貧有少熟穀。借牛踐治驅還其主。忘不囑付。牛主雖見謂用未竟。復不收攝二家詳棄。牛主將檀膩羈詣王決了。出值王家馬走。喚檀膩羈為我遮馬。下手得石持用擲之。值脚即折。次行到水不知渡處。值一木工。口銜斲斤褰衣垂越。時檀膩羈問彼人曰。何處可渡。應聲答處。其口已開斲斤墮水。債主所摧加復飢渴。從沽酒家乞少白酒。上床飲之。不意被下有小兒臥。押兒腹潰。往一牆邊。思惟懼罪。自擲跳牆。下有織工。墮上即死。時織工兒復捉得之。便與眾人共將詣王。公殺我父。時諸債主將至王前。爾時牛主前白王言。此人從我借牛。不還見付。失去不償。王問何緣。檀膩羈言。我實借牛用訖馳還。主亦見之。雖不口付牛在其門。王語彼人。俱為不是。由檀膩羈口不付汝。當截其舌。由卿見牛不自收攝。當挑汝眼。彼

人白王。請棄此牛不樂剜眼截他舌也。即聽和解。馬吏復言。彼之無道折我馬脚。王便問言。此王家馬汝輒折脚。跪白王言。債主將我從道而來。彼人喚我令遮王馬。下手得石擲之。誤折馬脚。王言。由汝喚他當截汝舌。由彼打馬當截其手。馬吏白王。乞各和解。木工前云。檀膩羯失我斲斤。王語木工。由喚汝故當截其舌。擔物之法禮當用手。由卿口銜。當折兩齒。木工白王。寧棄斲斤莫行此罰。時沽酒母復牽白王枉殺我兒。跪白王言。我飢渴逼。乞少酒飲。不意被下有臥小兒。王當見察。王告母人。汝舍沽酒眾客猥多。何以臥兒置於坐處。二俱有過。汝兒已死。以檀膩羯與汝作婿。令還有兒乃放使去。母人叩頭曰。聽各和解。我不用夫。時織工兒復前。此人狂暴躡殺我父。王問言曰。汝殺他父。檀膩羯曰。眾逼責我。惶怖跳牆偶墮其上。實非所樂。王語彼人。二俱不是。卿父已死。以檀膩羯與汝作父。其人白王。父今已死。我終不用此婆羅門以為父也。聽各共和。王便聽之。時檀膩羯身事都了故在王前。見二母人共諍一兒。時王明黠以智權計。今唯一兒。二母爭之。聽汝二人各挽一手。誰能得者。其非母者於兒無慈盡力頓牽。所生母者於兒慈深。不忍拽挽。王鑒真偽。詰出非者強摸他兒。即向王首兒還其母。各爾放去。時檀膩羯便白王言。我時於彼道邊。有一毒蛇請我白王。不知何故從穴出時柔軟變易。還入穴時妨礙苦痛。王答之言。從穴出時無有眾惱。心情和柔身亦如之。在外鳥獸諸事觸嬈。瞋恚隆盛身便麁大。卿可語之。持心不瞋則無此患。

次見女人。請我白王。我在夫家念父母舍。在父母舍復念夫家。王言。卿可語之。由汝邪心。於父母舍更畜傍婿。汝在夫家念彼傍人。至彼小厭還念正婿。是以爾耳。持心捨邪則無此患。次復樹上見有一雉。請我白王。我在餘樹鳴聲不好。若在此樹鳴聲哀和。不知其故。王告彼人。由彼樹下有大釜金。是以於上鳴聲哀好。餘處無金。音聲不好。王告檀膩羯。卿之多過吾已釋汝。窮困苦持樹下釜金。我用與卿。奉受王教掘地取金。貿易所須快樂無乏。時大王我身是。檀膩羯者。今婆羅門賓頭盧墮闍是(出賢愚經第十一卷)。

阿耆尼達多在胎令母能論議二

巴連弗國有婆羅門。名曰阿耆尼達多。通達經論。納妻之後少時懷妊。懷妊大欲論議。夫問相師。相師答曰。胎中之子善能論議。日月既滿遂產一男。達諸經論。為婆羅門師。兼授人醫術(出雜阿含經第二十五卷)。

鷄頭以身質錢欲飯佛僧帝釋所助乃及於王三

爾時羅閱城人民。隨其種族請佛及僧。時諸婆羅門。四面雲集自作制限。各出一百錢為佛及僧。爾時鷄頭婆羅門知義貧無錢財。不能得物以供彼眾。眾人語言。汝無有錢。鷄頭便還婦所語言。諸人驅我出眾。我無錢故。時婦答曰。汝可入城賒貸一百錢。遍求不得。還向婦說。婦復

語言。至弗賒蜜多羅長者舍。從其假貸。便往求告七日當償。若不還者我身及婦當為奴婢。長者便貸金錢一百枚得還語婦。婦報言曰。持詣眾中言。已得錢聽我在次。眾語鷄頭言。已辦不須卿錢。鷄頭便還。夫婦二人往詣世尊。共相問訊。時鷄頭婦禮世尊足。具以白佛。佛告鷄頭言。汝便請世尊及比丘僧。爾時鷄頭婦語夫言。君隨佛教。爾時鷄頭即從坐起偏露右肩。叉手白佛言。願世尊當受我請。及比丘僧。世尊默然。釋提桓因語毘沙門天王曰。拘鞞羅汝佐此婆羅門。辦第三食。答曰受教。時毘沙門天王自隱其形。化作人身勅五百羅剎曰。汝速至栴檀林中。取香薪來。當竹園中飯佛僧。化作鐵厨。五百羅剎各負牛頭栴檀香薪至鐵厨內。爾時鷄頭於鐵厨中以用熟食。遍十二由延皆悉聞香。時釋提桓因語毘濕波伽摩天子。汝可化作高廣講堂。使佛及僧得坐飯食。對曰受教。譬如力人屈申臂頃。從三十三天沒至竹園中。在鐵厨側化作講堂。以七寶成。化作千二百五十座。文繡所成。手執香鑪燒眾名香。令多羅樹七寶相成。微風吹動鈴聲遠聞。爾時摩竭國頻毘娑羅王聞之。問於群臣。群臣答言曰。是鷄頭婆羅門。於鐵厨中以牛頭栴檀為佛及僧熟食。有此之香。王即至佛所。告群臣曰。古昔無此講堂。今誰所作。臣白王曰。我等不知。世尊為王廣說如上。王便墮淚不能自勝。念當眾生福少壽短。不識此寶之名況當見耶。今蒙佛恩見此講堂。未曾出現。世尊告曰。當來眾生不聞七寶。況當目見。今蒙佛恩覩如是事。世尊為王說微妙法。使心歡喜。王言。鷄頭婆羅門快得善利。王曰。我欲還宮。佛曰。今正是時。佛告鷄頭曰。汝可請王供一日食。答曰如是。即至王所舉右手。白王曰。願天王。明日受請集此講堂。時王默然。時毘沙門天王明日清旦沐浴。鷄頭與妙衣裳。手執香鑪。向世尊所。頭面著地便作是念。今正是時。飯食已辦。願垂臨赴。佛僧圍繞往詣講堂。即就其座僧次第坐。時王嚴駕群臣圍繞詣鷄頭所。甘饌飲食味各百種。勸助鷄頭飯佛及比丘僧(出羅閱城人民請佛經)。

老乞婆羅門誦佛一偈兒子還相供養四

爾時世尊入舍衛城。時有異婆羅門。年老根熟。執杖持鉢家家乞食。世尊告曰。汝何以爾。答言。瞿曇。我有財物悉已付子。為其取妻然後捨是。持鉢乞食。佛復告曰。汝能於我法受誦一偈。還為兒說。答佛能受。爾時世尊即說偈言。

生子心歡喜　為子聚財物　復為娉娶妻　而自捨出家　邊鄙田宅兒
違負於其父　人形羅剎心　棄捨於尊老　老馬無復用　則奪其麪麥
子少而父老　家家行乞食　其杖為最勝　非子離恩愛　為我防惡牛
危險地得安　能却凶暴狗　扶我暗處行　避深坑空井　草木棘刺林
憑杖威力故　跱立不墮落

時婆羅門從佛受偈。還家至門。先白大眾。聽我所說。然後誦偈如上。其子愧怖。即抱其父還將入家。摩身洗浴覆以衣被。立為家主。時婆羅

門作是念。我今得勝族姓是沙門恩。我經所說。若為師者如師供養。我今持上妙衣。至世尊所面前問訊白佛言。願受此衣。哀愍我故。世尊即受。更說種種法。示教照喜(出佛為老婆羅門說偈經)。

散若學射得妻五

過去世時。有少婆羅門。名散若。往詣射師求學射術。師曰可學。散若於七年中常學此業。後問師曰。何時可罷。答曰。即索弓著箭。我暫入村待還後放。師即入村。散若待師良久而由不反。射前大樹箭經傷蛇。師還問曰。汝未放箭耶。答曰已放。師曰。汝若不放。於閻浮提為第一大師。既已放箭。若我死後次當汝。時師即莊嚴其女。以五百竿箭并一馬車與之。時散若受之。當度曠野。時有五百賊。於曠野中食。散若遣婦從賊乞食。賊曰。觀其所使非是常人。宜其與食。一賊曰。我曹猶活而聽此人將婦乘車而去耶。散若射之。應一箭而死。隨起隨射莫不皆殞。唯賊師在語於婦言。汝脫衣置地。即脫衣。見復射之應箭而死。五百賊者即五百比丘。散若舍利弗也(出四分律三分第九卷)。

婆羅門以納施佛得聞記六

佛入舍衛城分衛。身衣有少穿壞。有一婆羅門。見佛衣壞。即其家中得少白氎。持用施佛。唯願如來當持此納以用補衣。佛即受之。佛與授記。便於當來世。兩阿僧祇百劫之中當得作佛。歡喜而去。國中豪賢長者居士曰。云何世尊小施大報。各為如來破損好氎作種種衣。過去有佛。名毘鉢尸。時王名曰槃頭。有一大臣。請佛及僧三月供養。佛即許可。時槃頭王白佛言。貪得佛僧三月供養。佛告槃頭。吾先已受彼大臣請。王告臣曰。佛處我國。云卿已請今可讓我。臣答王言。若使大王保我身命。復保如來常住於此。國土常安隱者我乃息意。王更曉曰。卿請一日我復一日。臣便可之。各滿所願。王為如來辦具三衣。復為九萬比丘各作七條衣。時大臣以衣食施佛及僧。則我身是(出賢愚經第十三卷)。

婆羅門以餅奉佛聞法得道七

有婆羅門。問婦言。家中有餅具。不欲隨伴供養瞿曇沙門。婦言有。即作持往。遇國王大臣剎利婆羅門十八大聚落主在座。婆羅門不敢前。念言。佛是一切智者應知我心。佛遙喚來問。器中何等。答曰是餅。佛言。可行與眾僧。答少不能遍。佛言。但與人行。一番猶故不減。乃至三遍尚不損耗。佛知其心。隨從說法得須陀洹道(出僧祇律第二十九卷又出第六卷)。

拔抵婆羅門瞋失弟子生惡龍中為佛所降八

昔有龍王。名曰拔抵。志性暴虐。數為風雨霹靂雹殺人民。鳥獸蠕動死無央數。有尊羅漢萬人共議。若殺一人墮地獄一劫罪猶不畢。今者此龍

殘害眾生。前後不呰。轉恐難度。幸當共往諫止之耳。時佛知之。讚言善哉。時諸羅漢萬人俱行。龍放風雨雷電霹靂。萬人驚怖頓伏來還。是時佛在耆闍崛山。與萬菩薩萬羅漢俱到龍所。龍便瞋恚。暴風疾雨雷雹霹靂。其放一雹令壁。方四十丈。若至地者入地四尺。欲以害佛及菩薩僧。時諸羅漢見龍災變。各懷恐怖前依近佛。龍自見雹石化為華蓋。復自念言。我當以身堅自盤結令四十丈。欲以撲佛及眾僧上。即時自撲無所能中。舉頭開目諦視見佛。疑是尊妙無上神人。於是小龍而皆自撲無所動搖。龍王是時即便命盡上生為天。諸餘小龍亦皆併命得作天子。皆悉來下住於佛邊。佛告阿難。汝知是天所從生不。對曰不及。佛言。屬者諸龍興惡意者。自撲在地發一善心知佛為尊。命盡為天此者是也。天聞佛言。及諸天子皆發無上平等度意。佛言。昔龍王拔抵與釋迦文佛共為婆羅門。拔抵弟子。時有萬人。捨其師事釋迦文。拔抵懷恚為龍。佛德既成多度一切。弟子萬人皆得羅漢。龍懷毒惡故欲為害。萬人四道雖備。猶受其辱。若為菩薩龍不敢也(出舊雜譬喻經下卷)。

婆羅門入定三百餘年九

昔有婆羅門。不樂世務。潛隱山間一心思道。即入禪定三百餘年。塵土沒身草木生其體上。山下有諸畜養妻子婆羅門數百家。大小相共採薪上樹。折取枯枝樹根。連婆羅門額樹既動搖。覺婆羅門禪從地中出。見採薪者問之。汝是何人。答曰。是婆羅門。餘人是誰。答曰。是妻子。婆羅門笑曰。我入禪三百餘歲。尚未敢稱婆羅門。汝等何忍自稱婆羅門乎(出十卷譬喻經第五卷)。

婆羅門兒婦信向見其後報十

昔者舍衛城東。有一婆羅門大富。其子娶妻。得事佛家女。奉五戒持六齋。常好布施沙門道士。勸夫修施。夫即開解。白其父母。父母大恚。謂破吾門戶。婦持錢絹與夫。夫持與守閤婢。婢持與守門奴。奴持往佛寺中。布施沙門燒香燃燈。夫婦共誓言。假令布施無福自己。又假令有福者。當使天下人皆共見之。時國俗三月三日。舉國人民皆至水上作樂歌戲。時東南角有一天人。騎一白馬乘空而過。眾人仰問是何神靈。答曰。問後來者。須臾復有七寶殿舍。有玉女獨坐其上。四大天神接殿飛行。眾人又問。君何功德。玉女亦云。問後來者。俄而後有四柱寶殿。有一天人有一玉女共坐其中。前後左右四部妓樂。十二天神共接其殿。眾人又問。有何功德。亦答。問後來者。須臾復有二薜荔鬼。身長三丈。黑瘦醜陋飢渴苦痛。身中燋然。各捉大棒更相撾打。眾人又問。答曰。諸君聞舍衛城東大富婆羅門不。騎白馬者是守門奴。小殿玉女者是守閤婢。大殿二人是我兒我兒婦。二鬼是婆羅門夫婦。前世愚癡不信正法。今當厄禍可復奈何(出十卷譬喻經第一卷)。

婆羅門從佛意解十一

佛遊婆羅門城。諸婆羅門王。知如來神德能感動群心。一食其化誰受我語。因共立制。若與佛食聽佛語者罰金錢五百。時佛入城乞食。人皆閉門空鉢而出。有一使人。以破瓦器盛臭潘淀出門棄之。見佛空鉢信心清淨。欲興供養無由如願。云今此弊食須者可取。佛知其意即受其施而說。女人施食十五劫。天上人間受福快樂不墮惡道。後得男身出家學道成辟支佛。邊有一婆羅門。以偈說佛為食妄語。如此臭食果報乃重。佛即出舌覆面上至髮際。語婆羅門。汝見經書頗有此舌而作妄語者不。婆羅門言。如此舌者必不妄言。未解小施而獲大報耳。佛曰。汝曾見尼拘陀樹蔭覆賈客五百乘車猶不盡不。答曰見。又問。此樹種子大小。答曰。如芥子三分之一。又問。誰當信此。答曰。眼所現見。又問。我亦如是。此老女人得大果報。如來福田良美所致。時婆羅門心開意解五體投地向佛悔過。佛為說法得初道果。即發大聲告眾人曰。甘露門開如何不出。諸婆羅門乞輸金錢。迎佛供養。婆羅門王亦共臣民歸命佛法。城中男女皆得淨信(出普曜經第五卷)。

婆羅門持一齋不全生為樹神能出飲食施諸餓者十二

昔有長者名須達。請佛及僧廣設大會。道逢一人奉酪一瓶。見一婆羅門請令提歸。既到見佛及僧歡喜便住。聽經持齋至暮乃還。其家婦甚怪之。亦不食至暮踧迫令食。不終齋法後命盡。其神乃在欝多羅國作大澤樹神。時有五百學士。欲至三祠神池澡浴望仙。資糧乏盡又無水漿。遂已困乏。遙望彼樹想為泉水。皆到樹下了無水泉。將成大困。便共舉聲求哀樹神救我等命。樹神即現半身。舉右手指頭。自然出百味之食。手奉蜜漿種種具足。皆得盈飽。時五百人自共議曰。我等欲至神池澡浴望仙。此之巍巍仙道豈能勝乎。復問樹神。作何功德聖德如此。樹神答言。吾昔見佛在舍衛精舍。持八關齋。為婦所敗不終齋法。神應生天。時五百人即共奉持齋法戒。後得須陀洹道(出諸經中要事)。

婆羅門夫婦吞金錢為糧身壞人取為福即得道迹十三

昔有婆羅門。夫婦二人無有兒子。財富無數。臨壽終時自相謂言。各當吞錢以為資糧。其國俗法。死者不埋但著樹下。各吞五十金錢死。身爛錢出。國中有一賢者行見之。愍然流淚傷其慳貪。取為設福。請佛及僧盡心供辦。擎飯佛前稱名呪願。時慳人夫婦。受餓鬼苦即生天上。為設福廣請四輩。時生天者即得天眼知為作福。從天來下化作年少佐助檀越。佛言。此厨間年少是真檀越。至便說法即得道迹。賢者亦得道迹。眾會歡喜皆得生天(出宿願果報經)。

婆羅門生美女佛言不好十四

佛在世時有一婆羅門。生兩女皆端正。乃故懸金。九十日內募索有能訶女醜者。便當與金。竟無應募者。將至佛所。佛便訶言。此女皆醜無有一好。阿難白佛言。此女好而佛言惡。有何不好。佛言。人眼不視色是

為好。眼耳鼻口亦爾。身不著細滑是為好。身手不盜他財是為好手。不犯此事是乃為好。眼視色耳聽音鼻嗅香。身喜細滑。手喜盜他財。如此者皆非好也(出雜譬喻經)。

大鬘與瓦師子為善知識共相勸信十五

往昔多狩邑。有婆羅門。為王太史。國中第一。有一子。頭上有自然大鬘。因以為名。姿首端正有三十相。有一瓦師子。名難提婆羅。與大鬘少小親交心相敬念。瓦師子精進勇猛慈仁孝從。其父母俱盲供養無乏。雖為瓦師手不掘地。唯取破牆崩岸及以鼠壤和用為器。若有買者。以穀麥麻豆置地取器。初不爭價。亦復不取金銀財帛。唯取穀米供養而已。迦葉如來所住精舍。去多狩邑不遠。與大比丘有二萬人。皆是羅漢。護喜語大鬘曰。共見迦葉如來。大鬘答曰。用見此道人。為直是髡頭人耳。有何道哉。佛道難得。如是至三。護喜復語大鬘。共至水上澡浴乎。大鬘答曰可爾。便共詣水澡浴。護喜舉右手遙指示曰。迦葉精舍去是不遠。可共暫見。大鬘答曰。用見此為。護喜便捉大鬘衣牽。大鬘脫衣捨走。護喜便捉頭牽曰。為一過共見佛去來。國俗諱捉人頭法皆斬刑。大鬘代其驚怖心念曰。瓦師子分死捉我頭耶。護喜曰。我死。死終不相置。要當使卿見佛。大鬘心念。必當有好事耳。乃使此人分死相捉。大鬘曰。放我頭我隨子去。便還結頭著衣。相隨詣迦葉佛。護喜白佛言。此大鬘者是我少小親友。然其不識信三尊。願世尊開化。大鬘童子覩佛相好。心念曰。書記所載相好盡有。唯無二事。時迦葉如來。便出廣長舌以覆面上。及肉髻并覆兩耳七過。舐頭縮舌入口。光色出照大千世界。蔽日月明乃至阿迦膩吒天。光還繞身七匝從頂上入。以神足力現陰馬藏。令大鬘獨見。餘人不覩。大鬘童子具足見佛三十二相。踊躍歡喜不能自勝。迦葉如來。為大鬘童子說菩薩斷功德。何等為斷菩薩功德。法身不可行而行。口不可言而言。意不可念而念。是為菩薩三惡行。於是大鬘前禮佛足言。我今懺悔願佛許受。從今已往不復敢犯。如此至三。迦葉如來默然受之。大鬘童子護喜童子。俱禮佛足辭退而還。大鬘曰。卿為失利不為得利。我不喜見卿面。不喜聞卿名。護喜答曰。何以故爾。大鬘曰。卿早從佛聞深法。何能在家。護喜答曰。我父母年老又復俱盲。供養二親何由出家。若我出家父母便終。以是故不得出家耳。大鬘語護喜曰。我從迦葉佛聞菩薩行三惡緣對。不復樂在家。我欲從此還至佛所求為比丘。護喜報曰。善哉大鬘。得思惟力耶。便可時還。所以然者佛世難值。大鬘童子即抱護喜。便繞三匝叉手謝曰。我設有身口意過於卿者。願見原恕。若卿指授正真大道。於是大鬘說頌讚曰。

仁為我善友　法友無所貪　導我以正道　是友佛所譽

說是偈已。繞護喜三匝還詣精舍。而白佛言。寧可入道受具戒不。即度大鬘受具足戒。佛語舍利弗。時大鬘童子則我身是。大鬘父者今父王真

淨是。護喜者頻勸我出家。則是作道善知識也。我前向護喜惡語道。迦葉佛禿頭沙門有何道。故六年受日食一麻一米大豆小豆如是(出興起行經下卷)。

婆羅門婦事佛為婿所患投河水竭婿方醒悟十六

昔有婆羅門。奉事外道。其婦事佛。語其婿言。聽我與佛作婢。懸幡蓋燒香然燈。婿不聽之。便作一幡懸於屋內。晨夕向禮。婿殺牛羊呼師解事。師到其門語言。卿舍有佛幡蓋。我不敢進。即入問婦。推覓得幡。婿瞋打婦。婦即投河。心至感神河水為竭。自然有七寶華蓋其上。婿見斯瑞知佛可尊。即捨外道奉事大法(出譬喻經)。

經律異相卷第四十一

經律異相卷第四十二(居士部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 瑳荼財食自長聞法悟解一
- 郁伽見佛其醉自醒受戒以妻施人二
- 魚身得富緣三
- 闍梨兄弟以法獲財終不散失四
- 居士子大意以求明珠五

瑳荼財食自長聞法悟解一

跋提城有大居士。字曰瑳荼(彌沙塞律作文荼)饒富珍寶有大威力。隨意所欲周給人物。倉中有孔大如車軸。穀米自出。婦以八斗作飯。飴四部兵及四方來者。食故不盡。其兒以千兩金與四部兵及四方乞者。隨意不盡。兒婦以一裹香塗。四部兵并四方來乞者隨意令足。香故不盡。奴以一犁日耕七壟。出米滋多。其婢以八斗穀。與四部兵飯馬。馬食不盡。家中共爭各言。我是福力。瑳荼詣佛頭面作禮(出四分律分第四卷)。

曰。誰力。佛言。汝等共有。昔王舍城有一織師。織師有婦又有一兒兒又有婦。有一奴一婢。一時共食。有辟支佛來就乞食。各欲當分捨與。辟支佛言。汝等善心皆各已捨。可人減少許。於汝不少。在我得足。即共從之。辟支食已於虛空中現諸神變。然後方去。織師眷屬捨於壽命。生四天王天至于他化。展轉七反餘福生此。瑳荼聞之。即請佛僧修無限施。若有所須隨時多少皆從我取。諸比丘不敢受。白佛。佛言。聽隨意受。後諸比丘行從索資糧。遣使齎金銀隨逐行處。多有所長齎還長者。長者言。我已捨竟不應將還(出彌沙塞律。四分。十誦皆有其文)。

郁伽見佛其醉自醒受戒以妻施人二

郁伽醉婇女圍繞。在毘舍離大林中。遙見世尊在樹間坐。端正殊妙根意息定。光如金聚。見已醉解。至世尊所却坐一面。佛為分別四諦。得無畏法。頭面禮足。我歸三寶。作優婆塞受持五戒。還至本處告眷屬曰。汝今當知。我從世尊受戒。若欲樂者行施作福。若不樂者各還親里。我當放汝。時最大夫人曰。子從世尊盡命受戒。有某人當以我與彼作婦。彼時居士便呼彼人。以左手持夫人右手。執金澡罐語彼人曰。我以此最大夫人與汝作婦。彼人驚怖毛竪。語郁伽曰。居士不欲殺我耶。答言不也。我從佛盡命行梵行。故以大婦用與汝。終不變悔(出中阿含第九卷)。

魚身得富緣三

昔有大姓。常好惠施。後生一男。無有手足。形體似魚。名曰魚身。父

母終亡襲持家業。寢臥室內又無見者。時有力士。仰王厨食。恒懷飢乏。獨牽十六車樵。賣以自給。又常不供。詣此四姓求所不足。魚身請與相見。示其形體。力士自惟。我力乃爾。不如無手足人。往到佛所問其所疑。佛言。昔迦葉佛時。魚身與此王行飯佛。汝時貧窮助其驅使。魚身所具與王行之。而謂王言。今日有務不得俱行。若行無異斷我手足。時行者今王是也。不行言者魚身是也。時佐助者汝身是也。力士意悟。即作沙門。得阿羅漢道(出舊譬喻經上卷)。

闍利兄弟以法獲財終不散失四

昔石室城內有三居士。一名闍利。二名晡陀滿。三名婆波那。此三人親兄弟也。多財寶象馬七珍。有一婆羅門。持伊羅鉢龍齋。冀望富貴。龍現身語婆羅門。汝今何為勤苦。斷穀除味在此持齋。為何所求。婆羅門曰。冀望大富。龍曰。吾有二號。一名伊羅鉢。二名財無厭。既名無厭。復從吾求耶。婆羅門曰。設不惠者便即命終。龍出紫磨好金以報之。城門有豪富長者。出自天竺。汝以金與從求財物。長者見之告語。藏隱勿令人見。告其五親。飲食歡娛藏金庫內。庫內雜物盡復入地。還彼龍庫。左右七家財物如是。三居士聞之。自相謂言。我等三家以法所獲財致不枉。濫五家所奪。國人聞之謂為誇談。共集三家。問居士曰。卿以法獻財致不濫失。何以為證。時三居士各出十斤金。分為六段。將諸人民及七家失物主。往至龍泉以金投水。水皆涌沸猶如鑊湯。龍王驚懼。即遣龍女出金還之。報謝使還。從法得者以理成辦。終不為五家所侵。欺非法藏財者如彼七家(出比方世利經)。

居士子大意求明月珠五

昔有國。名歡樂無憂。王號廣慈哀。國有居士。名摩訶檀。妻名旃陀。生一子。姿容端正世間少雙。墮地便語。發誓願言。我當布施天下救濟人民其有孤獨貧窮者。我當給護令得安隱。父母因名為大意。見其異姿不與人同。恐是天龍鬼神。欲行卜問。大意知之。便報言。我自是人非天龍鬼神也。但念天下人民窮厄者。欲護視之耳。說此意。便不復語。至年十七乃報父母言。我欲布施苦人令得安隱。父母念言。子初生時已有是願。便告子言。吾財無數恣意施與不相禁制。大意報言。父母財物雖多猶不足我用。唯當入海採寶以給施天下人民耳。數言如是。父母乃聽。大意入海道經他國。國中有婆羅門。財富無量。見大意光顏端正。甚悅樂之告言。我相敬重。今有小女欲以相上。願留止此。大意報言。我辭家入海欲採七寶。未敢相許。且須來還。於是遂進採寶。即遣人持寶還其本國。轉復到海際求索異物。忽見一大樹。高廣八十由延。大意便上樹遙見一銀城。宮闕殿舍皆是白銀。天女侍側伎樂自然。有一毒蛇繞城三匝。見大意便舉頭大意自念言。人為毒所害者皆由無善意耳。便坐自思惟。須臾蛇即低頭睡臥。大意欲入城。守門者便入白王言。外有賢者欲見於王。王身自出迎之。歡喜而言。唯願仁者留住此。一時三月

得展供養。答言我行採寶不宜久留。王報言。我不視國事。唯願留住。大意便止。王即供設衣服飲食伎樂。床臥之具。乃竟九十日。大意辭王欲去。王便取珍琦七寶欲以送之。大意言。我不多用是七寶。聞王有一明月珠。意欲求之。王言。我不惜是珠。但恐道路艱嶮難以自隨。大意言。夫福之將人不畏艱嶮。王言。此珠有二十里寶自隨願。我為弟子得給供養。踰於今日也。大意便受珠而去。於是大意轉前行見一金城。宮闕殿舍皆黃金。七寶之樹自然音樂。天女侍從轉倍於前。亦有毒蛇繞城六匝。蛇見大意舉頭視之。復坐定意。蛇復低臥。大意欲入城。守門者即入白王。王即出與相見請前。語言留。一時三月展於供養。大意便止。王待遇如前。經六十日辭去。白王。聞王有一明月珠。願以見惠。王答如前。四十里中珍寶追之。便以貢上。仁者後得道時。願為弟子。神足無比。得展供養過於今日。受珠而去。大意轉復前行。又見一水精城。宮闕殿舍事事如前。亦有一毒蛇。繞城九匝低頭睡臥。王出迎之。願留三月。大意即住。王復盡意供養。施設飲食衣服伎樂。乃歷四十日辭去。白王。聞王有一明月珠。願以見惠。王便報言。此珠有六十里寶。自然追之。便以上。仁者若後得道。願為弟子。智慧無比。當復供養過於今日。便受珠而去。前行復見一瑠璃城。亦見一毒蛇。繞城十二匝低頭睡臥。王迎請乞留三月。大意即留。王身自供養飲食衣服伎樂以娛之。乃歷二十日辭去。白王。我聞王有一明月珠。可以見惠。王言。此珠有八十里珍寶追之。便以上。於仁者後得道時。願我為弟子。淨意供養過於今日。令長得智慧。大意受珠而去。念言。吾本來求寶。今已如志當從是還。便尋故道欲還本國。經歷大海中。諸神王因共議言。我海中雖多眾珍名寶。無有如此輩珠。便勅使海神要奪其珠。神便化作人與大意相見。問言。聞卿得奇異之物。寧可借視之乎。大意舒手示其四珠。海神便搖其手使珠墮水。大意自念。王與我言道。此珠難保我幸已得之。今為此子所奪非趣也。即謂海神言。我自勤苦經涉嶮阻得此珠來。汝反奪我。今不相還。我當抒盡海水耳海神知之問言。卿志奇高。海深三百三十六萬由延。其廣無涯。奈何竭之。如日終不墮地。如大風不可攬束。日尚可使墮地。風尚可攬束。大海水不可抒令竭也。大意笑答之言。我自念。前後受身生死壞敗。積骨過放須彌山。其血流五河。四海未足以喻。吾尚欲斷是生死之根本。但此小海何足不抒。我昔供養諸佛誓願言。令我志行勇於道決所向無難。當移須彌山竭大海水終不退。意便一心以器抒海水。精誠之感。四天王來助大意。抒水三分已二。於是海中諸神王。皆大振怖共議言。今不還其珠者非小故也。水盡泥出壞我宮室。海神便出眾寶以與大意。大意不取。告言。不用是輩。但欲得我珠耳。從還我珠終不相置也。海神知其意盛便出珠還之。大意得珠過娶婆羅門女。還其本國恣意大布施。自是以後境界無復飢寒窮乏者。四方士民皆去其舊上。繈負歸仁。如是布施歷載恩逮。蜎飛蚊行蠕動靡不受潤。其後壽終上為帝釋。或下為飛行皇帝。積累功德自致成佛。三界特尊皆由宿行。非自然也。佛告諸比丘。大意者我身是。時居士摩訶檀者今現悅頭檀是。時母旃陀者今現夫人摩耶是。時歡樂無憂國王者即摩訶迦葉是。時婆羅門女者裘夷是。時女父者彌勒是。時銀城中

王者阿難是。時金城中王者目揵連是。時水精城中王者舍利弗是。時瑠璃城中王者須陀是也。時第四天王助大意抒海水者即優陀是也。時奪其珠者即調達是也。時四城門守者即須颰磐特蘇曷披拘留是。時繞四城毒蛇者即是共剎酸陀利四臣是也。阿難白佛。以何功德致四明月珠眾寶隨之。佛言。乃昔維衛佛時。大意嘗以四寶為佛起塔。供養三尊持齋七日。是時有五百人。同時共起寺。或懸繒然燈者。或燒香散華者。或供養比丘僧者。或誦經講道者。今皆來會(出大意經)。

經律異相卷第四十二

經律異相卷第四十三(估客部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 波利得海神瓔珞上王王及夫人共以獻佛一
- 善求惡求採寶經飢樹出所須二
- 師子有智免羅剎女三
- 彌蓮持齋得樂蹋母燒頭四
- 優波斯納兄妻後悔為道兄射殺弟矢反自害五
- 薩薄然臂濟諸賈客六
- 薩薄欲買取五戒羅剎不能侵七
- 商人共鵠生子子皆得道八
- 眾賈飢渴天人指間降八味水九
- 商人驅牛以贖龍女得金奉親十
- 賈客為羅剎所縛十一
- 賈客採寶救將死人十二
- 二賈客採寶貪者沒命廉者安全十三
- 賈人害侶獨取珍寶大哀殺此凶人十四
- 五百賈人值摩竭魚稱佛獲免十五
- 賈人為友逼飲酒犯戒父母擯出遠國尚為鬼所畏十六

波利得海神瓔珞上王王及夫人共以獻佛一

昔有賈客。名曰波利。與五百人入海求寶。時海神出掬水。問波利言。海水為多掬水為多。波利答言。掬水為多。所以者何。海水雖多無益時用。不能救彼飢渴之人。掬水雖少值彼渴者持用與之以濟其命。世世受福不可訾計。海神歡喜讚言善哉。即脫身上八種香瓔挍以七寶。以與波利。海神送之。安善往還到舍衛國。持此香瓔上波斯匿王。具陳所由願蒙納受。王得香瓔以為琦異。即呼諸夫人羅列前住。若最好者以香瓔與之。六萬夫人盡嚴來出。王問。末利夫人何以不出。侍人答言。今十五日持佛法齋素服不嚴。是以不出。王便瞋恚遣人呼曰。如今持齋不應王命。如是三反。末利夫人素服而出。在眾人中明如日月。倍好於常。王意竦然加敬問曰。有何道德炳然有異。夫人白王。自念少福。稟斯女形情態垢穢。日夜山積人命促短。懼墜三途。是以月月奉佛法齋。割愛從道世世蒙福。王聞歡喜。便以香瓔與之。末利夫人答言。我今持齋不應著此。可與餘人。王曰。我本發意欲與勝者。卿今最勝。又奉法齋道志殊高。是以相與。若卿不受吾將安置。夫人答言。大王勿憂。願王屈意共到佛所。以此香瓔珞奉上世尊。并采聖訓。累劫之福矣。王即許焉。即勑嚴駕往至佛所。稽首于地却就王位。白佛言。海神香瓔波利所上。六萬夫人莫不貪得。末利夫人與而不取。持佛法齋心無貪欲。謹以上佛。願垂受納。世尊弟子執心難。直信如此。豈有福乎。唯願世尊為受

香瓔。佛說偈言。

多作寶花　結步搖綺　廣積德香　所生轉好　琦草芳華　不逆風熏
近道聞教　德人遍香　雖曰是真　不如戒香(出法句譬喻經第二卷)

善求惡求採寶經飢樹出所須二

往昔閻浮。有國名波羅奈。時有薩薄。名摩訶夜移。其婦懷妊。自然仁善意性柔和。月滿生男。形體端正。父母愛念。施設美饍。延請親戚。并諸相師共相娛樂。抱兒示眾為其立字。相師問言。此兒受胎有何瑞應。父言。受胎母自和善。相師名為善求。乳哺長大好積諸德慈愍眾生。次後懷妊。期滿生男。形體醜陋。相師問言。此兒懷妊有何感應。答言。懷兒母自弊惡。相師名曰惡求。乳哺長大好為惡事。恒生貪心懷嫉妬意。年各長大。共行入海求索寶物。各有五百侍從。塗路懸遠中道乏糧。經於七日去死不遠。是時善求及諸賈人。咸共誠心禱諸神祇欲濟飢險。於空澤中遙見一樹。枝條鬱茂。便即趣之。有一泉水。善求及眾悉共求哀。樹神現身語之。斫去一枝所須當出。諸人歡喜。便斫一枝美飲流出。斫第二枝種種食出百味具足。咸共承接各得飽滿。斫第三枝出諸妙衣種種備具。斫第四枝種種寶物悉皆具足。裝馱悉滿所須盡辦。惡求後到。眾人如前盡得充足。便自念言。今此樹枝能出是種種好物。況復其根。今當伐之。足得極妙佳好物。令人伐之。善求語惡求言。我等飢乏蒙此樹恩得濟餘命。云何而欲伐之。惡求即掘其根。善求感佩不忍見之。領眾歸家。伐樹已竟。有五百羅剎取此惡求及眾賈人悉皆噉之。財物喪失。佛告阿難。善求者今我身是。父者今淨飯王是。母者今摩耶是。惡求者提婆達多是。我於往昔常與相值恒教善法。而不用之。返更以我為怨(出賢愚經第九卷)。

師子有智免羅剎女三

閻浮利地有眾多賈客。共相率合入海採寶。正值迴波惡風吹壞大船。復有諸人。乘弊壞船隨風流迸墮羅剎界。羅剎女輩顏貌端正前迎賈客云。此間多寶。明珠無價恣意取之。我等無夫汝無妻妾。可止此間共相娛樂。後得善風良伴歸家。諸君當知。若見左。面有道者。慎莫隨從。時商客中有一智者言。諸女所說此不可從。即進左道行數里。中聞一城裏數千萬人稱怨喚呼。云何捨閻浮提就此命終。賈客前詣城下周匝觀察。見城鑄鐵垣牆亦無門戶出入處所。去城不遠有尸梨師樹。即往攀樹見城裏數千萬人。遙問城裏人曰。何為。稱喚父母兄弟耶。城裏人報曰。我等入海採致寶物為風所漂。又為羅剎女所誑閉在牢城。前有五百人漸漸取殺。今有二百五十人在。君莫呼此女謂為是人。皆是羅剎鬼耳。其人下樹以語同伴。勸我還家善求方計。卿等今日意欲云何。眾人答曰。卿昨夜何不重問。彼人頗有權宜方計。眾人及我身得安隱歸家不乎。智人即報曰。我今暮起往更問之。須女睡眠竊起上樹。問城裏人頗有方計。

卿等諸人復及我身。得還閻浮地不耶。城裏人答。我等生念欲還。此鐵城便化數重不可敗壞。死者日次無由得免。唯卿外人少有權宜。可得度脫還至本土。十五日清旦有一馬王。從欝單曰來至此界。住高山頂。王自喚呼。誰欲還歸閻浮利地。卿等若聞馬聲。皆往禮敬求還本鄉。其人向伴具陳情狀。眾人報曰。今可去不。答曰。須十五日至馬王。當來乃得去耳。未經數日馬王便至。商客聞已往馬王所。白言。我等咸欲求還本鄉。願見將接。馬王告曰。卿等慧意聽我所說。各欲歸家還本鄉者。心意專正便得歸家。心不專正不得歸也。此諸婦女抱男女。追逐卿後啼哭喚呼。其中諸人興戀著心。正使在我脊上猶不得去。若能捨恩愛。正心一意無所戀著。至心捉我一毛便得歸家。時諸婦女各語夫曰。誠可捨我賤身。何為捐棄兒女。先教兒女往抱父頸。啼哭喚呼。捨我等為欲何處去。心意戀著者便不得還。唯有大智師子一人。安隱還歸。時羅刹婦。抱其男女往逐師子。告語村落。師子身者是我夫主。共生男女。捨我逃走不知所趣。諸人聞已問師子曰。觀卿婦女。體性容貌人中英妙。兒女可愍何為捨之。師子報曰。此亦非人是羅刹鬼耳。往海渚中殺噉商賈不可稱數。吾伴數百閉在鐵城。唯我一人幸得免濟。今此鬼女復逐我後。規欲害我恐不免濟。轉復前行。還至本國。鬼猶逐後到其國土。鬼往白王。我與師子共為夫婦。生此男女。後望得力非圖今日永已見捨。王召師子問其情實。師子具以上事白王。王告師子。設卿不用可持與我。師子報曰。此實非人是羅刹鬼。備有愆咎後莫見怨。復語左右諸臣。斯鬼至此必有傷害。王今不信欲內深宮。如是不久王及內宮盡當灰滅。王復瞋恚語師子曰。女中姿容如天玉女。何緣復稱為羅刹鬼耶。速出在外吾自觀之。王將鬼女入宮一宿。明日食時宮門不開。諸臣共議。王新納妻意相貪樂故不開耳。師子說曰。不如來議。王及夫人并諸婇女。必為羅刹所食噉盡故門不開耳。即施高梯踰牆入內。見死人骸骨滿數間舍。諸臣責師子曰。正坐汝身將羅刹鬼。殺王喪國宮殿滅亡。卿欲云何。師子答曰。吾先有契後莫見怨。卿等何為復見責數。諸臣人民前白師子。王今已死更無胤嗣。唯願師子當登王位領理人民。師子告曰。若欲舉我為王者。當隨我教異形同響咸皆稱善。王告諸臣。當共集兵入海攻擊。殺羅刹男女無有遺在。後破鐵城出其中人。土俗常法。若一人不事佛者當送山西付鬼噉之。自爾已來佛法熾盛得道無數。是故說。諸有信佛者如此眾生安隱得還皆由馬王。又彼國常儀。國王生子。若十若百若至無數。盡出作道誦習佛經。三藏備舉。還復罷道。登陟王位。凡諸不通經籍不舉則不得陟王位也(出承事勝已經)。

彌蓮持齋得樂蹋母燒頭四

昔五百賈人。一字彌蓮。是最尊老也。五百人共船入海。為摩竭魚觸破其船。五百皆死。彌蓮騎板得活。在鼻摩地。為防魚故東西行走。見一小徑。入見銀城。樹木參天。間有浴池。其城方正地周匝渠水。有四女人從城中出。端正如玉。女共迎彌蓮言。甚獨勞苦。多賀來到。貪欲相見久矣。當侍仁者。今是銀城是仁者有也。城中幸樂樹木參天。有渠水

浴池戲觀廬舍。城中有七寶殿。名曰羅縵。以金銀水精瑠璃珊瑚虎珀車璩為殿。我等四人當供給使。晚臥早起心存教勅。便可止此。不須到他面。彌蓮即與四女人入城。上七寶殿上日日極意。在此城中千有餘歲。後彌蓮自念。是四女人不欲令我去行到他面。何等意耶。彌蓮伺四女人寢臥。竊起下殿出城前行。遙見金城。樹木浴池事事如前。有八女人。端正要說辭皆如前。彌蓮與八女人相樂極意經數千歲。後彌蓮思惟。疑是八女人。不欲令我更到他面。何等意耶。彌蓮伺八女晝臥。竊起前行。遙見水精城。樹木浴池事事如前。有十六女人從城出迎辭說如前。彌蓮即與十六女。共樂極意經數千歲。彌蓮復去乃見瑠璃城。事亦如前。三十二女從城出迎。彌蓮與女共樂極意經數千歲。後出城前行。遙見鐵城。中了無迎者。彌蓮入城門。有鬼問之。彌蓮為行道。城中目見一男子。字俱引。燒鐵輪走其頭上。由入諸城坐不厭足。故使燒鐵輪走我頭上。彌蓮念。羅縵殿屑末殿羅摩殿氾鬱單殿。淚出言。我何事入是中耶。彌蓮語灌鐵城鬼言。入燒鐵輪走我頭上何時當脫耶。鬼報言。有人如卿來乃得脫耳。佛言。鐵輪走彌蓮頭上。却後六十億萬歲乃得脫耳。彌蓮者我身是。未求道時。愚癡沐浴著新衣脚蹋母頭。是故燒頭一日。八關齋四月心猶歡喜。故得四寶城金銀水精瑠璃。壽數千萬歲。是故世間人至死不厭五欲。所思欲人。不孝父母師。車輪踐之。當如彌蓮矣(出彌蓮經又出福報經)。

優波斯納兄妻後悔為道兄射殺弟矢反自害五

羅閱祇國有賈客。兄弟二人共住一處。兄求長者女欲以為婦。其女年小未任出適。兄與眾賈遠至他國。經歷多年滯不時還。女年向大而語其弟。卿兄遠行沒彼不還。汝今宜可取我女。其弟答言。何有是事。長者數說。其弟意堅未曾迴轉長者詐作遠書。託諸賈客說兄死亡。復告之曰。卿兄已死。汝當云何。弟娶其女經歷數時。女已懷妊。兄從遠還。弟心懷懼逃至舍衛。如是展轉到於佛前。求索出家。佛即聽許。便成沙門名優波斯。奉持律行得阿羅漢。兄知忿恨。欲殺之至舍衛國。即出重募賞金五百兩。應募者相將俱進。見弟坐禪欻生慈念。云何殺此比丘。吾設不殺當奪我金。欲射比丘乃中其兄。其兄懷恚憤命忽而終。受毒蛇形。生此道人戶樞之中。戶數開閉。撽身而死。還願更作小形毒虫。依道人屋。從屋下墮比丘頂上。惡毒猛熾即便命終。告舍利弗。乃往過去有辟支佛。出現於世處在山林。時有獵師恒捕禽獸。施設方計望伺苟得。辟支佛驚其禽獸伺捕不得。便懷瞋恚以毒箭。射辟支佛。時辟支佛。心愍此人欲令改悔。為現神足。於時獵師心懷敬仰。恐怖自愧歸誠謝過。時辟支佛受其悔懺。毒攻而死。其人命終便墮地獄。既出地獄。五百世中常被毒死。至于今日得羅漢道。猶為毒虫所螫而死(出賢愚經第十卷)。

薩薄然臂濟諸賈客六

昔閻浮提。五百賈客。共行曠野經由嶮路。大山孔中極為黑闇。時諸商人迷悶愁憂。恐失財物。此處多賊而復怖畏。咸共同心。向于天地日月山海一切神祇。啼哭求哀。時薩薄。愍諸商客。告言莫怖。吾當為汝作大明照。是時薩薄即以白氎自纏兩臂。蘇油灌之。然用當炬。將諸商人。經於七日乃越此闇。時諸賈客感戴其恩慈敬無量。各獲安隱喜不自勝。時薩薄我身是。諸賈客者今五百比丘是(出賢愚經第六卷)。

薩薄欲買取五戒羅剎不能得侵七

昔有薩薄。聞於外國更有異寶。欲往治生。而二國中間有羅剎難。不可得過。薩薄遊行見市西門。有一道人空床上坐云賣五戒。薩薄問云五戒云何。答曰。無形直。口受心持。後得生天。見世能却羅剎鬼難。薩薄欲買。問索幾錢。答金錢一千。即就授與受五戒竟。語言。卿向外國到界畔上。羅剎若來卿但語言。我是釋迦五戒弟子。薩薄少時到二國中間。見羅剎。身長一丈三尺。頭黃如蘘。眼如赤丁。舉體鱗甲。更互開口如魚鼓鰓。仰接飛鷰踏地沒膝。口熱血流。群眾數千直捉薩薄。語言。我是釋迦五戒弟子。羅剎聞此永不肯放。薩薄聊以兩拳扠之。拳入鱗甲拔不得出。又以脚踏頭。撞拔復不出。五體沒鱗甲中。唯背得動。羅剎謂言。

汝身及手足　一時悉被羈　但當去就死　跳踉復何為

薩薄志意猶固。語羅剎曰。

我身及手足　一時雖被繫　攝心如金石　終不為汝斃

羅剎又語薩薄曰。

吾是鬼中王　為人多力膂　從來食汝輩　不可得稱數　但當去就死　何為自寬語

薩薄冒欲罵怒。自念。此身輪迴三界。未曾乞人。我今當以乞。此羅剎作一頓飽。即曰。

我此腥臊身　久欲相去離　羅剎得我便　悉持以布施　志求摩訶乘　果成一切智

羅剎聰明。解薩薄語。便生愧心。放薩薄去。長跪合掌向其謝曰。

君是度人師　三界之希有　志求摩訶乘　成佛當不久　是故自歸命　頭面禮稽首

羅剎悔過。竟送薩薄至外國。大得珍寶。又送還家。大修功德。遂成道跡(出雜譬喻經與前多同意向小異故復兩存)。

商人共鵠生子子皆得道八

畜生及人一切四生。問曰。云何知人中有卵生。答曰。如所說。閻浮利地。多有商人入海採寶。得二鵠。隨意所化失一一在。與共遊戲。寢臥一室共彼合會。遂生二卵。卵漸溫熟。便生二童。後大出家學道。得阿羅漢果。一名尸披羅。二名優鉢尸婆羅。問曰。云何知人中有濕生。答曰。如經所說。有頂生王。尊者遮羅。尊者優婆遮。羅利女。問曰。云何知人中有化生。答曰。劫初人是也。已得聖法者不復卵生濕生。問曰。何故不復卵生濕生耶。答曰。卵生濕生畜生趣所攝(出鞞婆沙經第十四卷)。

眾賈飢渴天人指間降八味水九

昔有導師。與五百賈人共行作賈到。大曠野絕無水漿。飢渴困極四方求索。登高遠望見有樹木。謂當有水。俱共馳往。至見樹下。周匝生草其地清潔。咸共穿鑿。時有天人遙見導師。如申臂頃來到其所。住于樹上申其右手。從五指間流出八味甘美之水。而無窮盡。皆得飽滿(出十卷譬喻經第三卷)。

商人驅牛以贖龍女得金奉親十

佛住舍衛城南有大林邑。商人驅八牛。到北方俱哆國。復有一商人。共在澤中放牛。時離車捕得一龍女。穿鼻牽行。商人見之。即起慈心。問離車言。汝牽此欲作何等。答言。我欲殺噉。商人言勿殺。我與汝一牛。貿取放之捕者不肯。乃至八牛。方言。今為汝故我當放之。即取八牛放去龍女。時商人復念。此是惡人恐復追逐更還捕取。即自隨逐看其所向。到一池邊。龍變為人身。語商人言。天施我命今欲報恩。可共我入宮。當報天恩。商人答言。汝等龍性卒暴瞋恚無常。或能殺我。答言。前人繫我。我力能殺。彼但以受布薩法故。都無殺心。何況天今施我壽命。而當加害。小住此中。我先入摒擋。是龍門邊見二龍繫在一處。問言。汝為何事。答言。此龍女半月中三日受齋法。我兄弟守護此龍女。不堅固為離車所得。以是故被繫。唯願天慈語令放我。此龍女若問欲食何等食者。當索閻浮提人間食。龍女摒擋已。便即呼入。坐寶床褥上。龍女白言。天今欲食何等食。答言。欲須閻浮提人間食。即下種種食。問龍女言。此人何故被繫。龍女言。此有過我欲殺之。商人言。汝莫殺。不爾要當殺之。商人言。汝放彼者我當食耳。白言。不得直爾放之。當罰六月擯置人間。商人問言。汝有如是莊嚴用受布薩為。答言。我龍法有五事苦。何等五。生時龍。眠時龍。婬時龍。瞋時龍。一日之半三過。皮肉落地熱沙燖身。復問。汝欲求何等。答言。我欲求人道中生。問我已得人身應求何等。答言。出家難得。又問。當就誰出

家。答言。如來應供正遍知今在舍衛城。未脫者脫。汝可就出家。便言。我欲還歸。龍女即與八餅金語言。此是龍金。足汝父母。眷屬終身用不盡語言。汝合眼。即以神變持著本國。行伴先至。語其家言。入龍宮去。父母謂兒已死。眷屬宗親聚在一處悲號啼哭。時放牧者及取薪草人。見已先還語其家言。某甲來歸。家人聞已即大歡喜。出迎入家已為作生會。作生會時以八餅金持與父母。此是龍金。截已更生。盡壽用之(出僧祇律第三十三卷)。

賈客為羅剎所縛十一

有一賈客主。將諸賈人入嶮難處。遇羅剎鬼。以手遮之言。汝住莫動不聽汝去。賈客主即以右拳擊之。拳即著鬼挽不可離。復以左拳擊之。亦不可離。以右足蹴之。亦復如是。以頭衝之。頭即復著。鬼問言。汝今如是欲作何等。心休息未。答言雖復五事被繫。心終不息。當以精進力與汝相擊。鬼時念。此人膽力極大。即曰。汝精進力大必不休息。今放汝去(出大智論第十六卷)。

賈客採寶救將死人十二

有賈客主。名為吉利。入海取大珍寶。安隱而出。凡有八十億摩尼珠。一一皆直百億兩金。以多寶物與一乞人。不入其家復還至海。採取珍寶。入海之後倍得寶物。經八十歲還到本國。欲入城時見犯罪人。殺者執縛打惡聲鼓。街巷唱令將至殺處。加以刑戮。時應死者逢見吉利。作是言。賈客主。救我死罪。施我壽命。是大檀越賢善好人。吉利聞已語應死者。咄人。我今施汝無畏。救汝死罪。即至殺者所。人人皆與之摩尼珠價直一億兩金。汝今小住待。我今者至王邊還。爾時吉利疾至王所。白言。大王。我欲以好珍寶買此人命。王答。吉利。是人罪不可恕不可得買若必欲買。汝所有物盡以與我。并自代死乃可得脫。吉利歡喜。我得大利得滿所願。能救此人得稱我意。即以居家所有財物及於大海所得珍寶。無量千億金銀寶物。皆送與王白大王言。可放此人。我所有物盡現在此。語殺者言。將吉利殺。即縛吉利將至殺處。右手舉刀欲斫吉利。手直不下。驚怪恐怖即以告王。自看。王聞此語。即自執刀欲殺吉利。舉刀兩手落地得大衰惱發聲而死。時吉利即我身是。時王者調達是(出菩薩藏經下卷)。

二賈客採寶貪者沒命廉者安全十三

昔無數阿僧祇劫前。有兩部賈客各五百人。在波羅奈。撰合資財嚴船渡海。解繫張帆乘風徑往。即至寶渚。上妙婇女無物不有。一部賈客主曰。我等以資財故勤苦至此。當住自娛。第二薩薄言。此間雖饒眾寶不當久住。時有天女慈愍此輩。便於空中語眾人曰。此間雖樂不足久住。却後七日此地當沒。語訖化去。復有魔女欲使賈客於此沒盡。空中告曰。卿等不須嚴駕還去。此地無水設當有水。此之眾寶眾女五樂何由而

有。前天所說皆是虛妄。說已化去。第一薩薄勅其部眾。卿等勿去莫信前天。第二薩薄還告其眾。卿等莫貪速裝治船。前天所說至誠不虛。水不至者於此自娛然後徐歸。若水審來治嚴已去。佛語舍利弗。却後七日如前天言。水滿其地。第二薩薄將其部眾即得上船。第一薩薄先不治嚴。水至之日便著鎧仗共相挌戰。第二薩薄於船上以鋑牟鋑第一薩薄脚。徹過即便命終。佛語舍利弗。汝知第一薩薄者不則提婆達兜是。第二薩薄者則我身是。時第一賈客眾五百人者則今提婆達兜五百弟子是。時第二賈客五百眾者則今五百羅漢是。時第一天女則舍利弗是。時第二天女則今名滿月比丘婆羅門弟子是(出興起行經上卷)。

賈人害侶獨取珍寶大哀殺此凶人十四

定光佛時。有五百賈人入海求寶。有異心者念言。我今悉害賈人獨取珍寶。時閻浮提有大導師。名曰大哀。時寐夢中海神語之。賈眾之中有一賊。欲殺五百伴獨取寶物。假令事逮墮墜地獄中。今仁導師當行權變。令賈人不死賊不獲罪。導師思惟七日。無餘方便。唯當殺此凶人耳。語眾賈者必皆興怒當共殺之。俱墮惡趣。設我獨殺。我當受罪。吾寧自忍百千劫苦。不令賈人普被危害。復令一賊墮地獄中。先為說法。令心欣然踊躍臥寐。佛言。大哀導師猶眾賈人興于大哀以權方便害此一賊。命終之後生第十二光音天上。時大哀者則吾身也。以斯方便超千劫生死。同船五百賈客。斯賢劫中五百佛興者是(出慧上菩薩經一卷)。

五百賈人值摩竭魚稱佛獲免十五

昔有五百賈客。乘船入海。值摩竭魚出頭張口欲食眾生。時日少風而船去如箭。薩薄主語眾人言。船去太疾可捨帆。如言捨下。船去轉駃不可得止。薩薄主問樓上人言。汝見何等。我見上有兩日出。下有白山。中有黑山。薩薄主驚言。此是大魚當奈何哉。我與汝等今遭困厄。入此魚腹無有活理。汝等各隨所事一心求之。於是眾人各隨所奉。一心歸命求脫此厄。所求逾篤船去逾疾。須臾不止當入魚口。於是薩薄主告諸人言。我有大神號名為佛。汝等各捨本所奉神一心稱之。時五百人俱發大聲稱南無佛。魚聞佛名。自思惟言。今日世間乃復有佛。我當何忍傷害眾生。即便閉口。水皆倒流轉得遠魚。五百賈人善心生。皆得解脫(出雜譬喻經第六卷)。

賈人為友逼飲酒犯戒父母擯出遠國尚為鬼所畏十六

有一縣人。皆奉行五戒十善。縣界無釀酒者。中有大姓家子。欲遠賈販。臨途父母語曰。汝勤持五戒奉行十善。慎莫飲酒犯佛重戒。行到他國見故同學。歡喜歸家出蒲陶酒欲共飲之。辭曰。吾國奉佛戒無敢犯者。且辭親近父母又戒相別久會同心雖喜悅。不宜使吾犯戒違親教也。主人言。吾與卿同師恩則兄弟。吾親則是子親。父母相飲豈可違之。若吾在卿家必從子親。事不獲已乃從飲之。事訖還家具白於親。父母報

言。汝違吾教加復犯戒。亂法之漸非孝子也。無得說之。便以所得物逐令出國。子以犯戒為親所驅。乃到他國住客舍家。主人事三鬼神。能作人形。對人飲食與人語言。事之積年居財空盡。而家疾病死喪不絕。私共論之。鬼知人意。鬼共議言。此人財產空訖。正為吾等未曾有益。今相厭患。宜求珍寶以與之。便行盜他國王庫藏好寶積置園中。報言。汝事吾歷年勤苦甚久。今欲福汝使得饒富。主人言。受大神恩。鬼曰。汝園中有金銀可往取之。主人欣然。入園見物負揵歸舍。辭謝受恩。明日欲設飯食。願屈顧下。施設皆辦。鬼神詣門。見舍衛國人在主人舍。便奔走而去。主人追呼。既已顧下。委去何為。神曰。卿舍尊客吾焉得前。重復驚走。主人思惟。吾宅之中無有異人。正有此人耳。即出言語恭設已竟。因問之曰。卿有何功德吾所事神畏子而走。客具說佛功德五戒十善。實犯酒戒為親所逐。尚餘四戒故為天神所護。卿神不敢當之。主人語言。欲奉持五戒。因從客受三自歸五戒。一心精進不敢懈怠。問佛在處可得見不。客曰。在舍衛國給孤獨園。主人一心到彼經歷一亭。中有一女。正是噉人鬼婦。行路迴遠時日逼暮。從女寄宿。女即報言。慎勿留此。宜急前去。男子問曰。用何等故將有意乎。女人報言。吾已語卿用復問為。男子自念。前舍衛國人完佛四戒我神尚為畏之。我已受三歸五戒。心不懈怠。何畏懼乎。遂自留宿。時噉人鬼見護戒威神去亭四十里。一宿不歸。明日進見鬼所噉人骨骸狼藉。心怖而悔退。自思惟。我在本國衣食足用。空為此人所化。言佛在舍衛國。未覩奇妙乃見骸骨縱橫。不如携此女人將歸本土共居如故。即時迴還。因從女人復求留宿。女人謂男子。何復還耶。答曰。行計不成故迴還耳。復寄一宿。女言卿死矣。吾夫是噉人鬼。方來不久。卿急去此。男子不信遂止不去。便迷惑婬意復生。不復信佛三歸五戒。天神即去鬼得來還。女人恐鬼食此男子。藏之甕中。鬼聞人氣謂婦言。爾得肉耶。吾欲噉之。婦言。我不行何從得肉。婦問鬼。卿昨何以不歸。鬼言。坐汝所為而舍宿尊客。令吾被逐。甕中男子踰益恐怖。不復識三自歸。婦言。何以不得肉乎。鬼言。正為汝舍佛弟子。天神逐我出四十里外。露宿震怖于今不安故不得肉。婦因問夫。佛戒云何。鬼言。我大飢極急以肉來不須問此。此是無上正真之戒。非吾所敢說也。婦言。為說之。我當與卿肉。鬼類貪殘食欲食無止。婦迫問之。因便為說三歸五戒。鬼初說一戒時婦輒受之。至第五戒心執口誦。男子於甕中識五戒隨受之。天帝釋知此二人心自歸佛。即遣善神五十人擁護兩人。鬼遂走去。到明日。婦問男子。怖乎。答曰大怖。蒙仁者恩。心悟識佛。婦言男子。昨何以迴還。答曰。吾見新久死人骸骨縱橫恐畏故還耳。婦言。骨是吾所棄者也。吾本良家之女。為鬼所略取吾作妻。悲窮無計。今蒙仁恩。得聞佛戒離於此鬼。又言。賢者欲到何所。男子報言。吾欲到舍衛國見佛。婦曰善哉。吾隨賢者見佛。便俱前行逢四百九十八人。因相問訊。諸賢者從何所來欲到何所。答曰。吾等從佛所來。問言。卿等已得見佛何為復去。報言。佛口說經意中罔罔故尚不解令還本國。兩賢者具說本末。以鬼畏戒高行之人。意乃開解俱還見佛。佛遙見之則笑。口中五色光出。阿難長跪。佛不妄笑將有所說。佛語阿難。汝見是四百九十八人還不。此諸

人等今得其本師。來見佛者皆當得道。時五百人來至佛所一心聽經。心開意解皆作沙門。得阿羅漢道。然此二人是四百九十八人前世之師也。人求道要。當得其本師及其善友。爾乃解耳(出戒消災經)。

經律異相卷第四十三

經律異相卷第四十四(男庶人部上)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 颰陀以化城請佛及見佛欲滅化不能一
- 阿難邠坻井出珍寶二
- 賢直竊珠不欺獲賜三
- 慈羅放鼈後遇大水還濟其命四
- 千那傭畫得金設會為婦所訟五
- 神識還摩娑故身之骨六
- 木巧師與畫師相誑七
- 醫治王病差獲報殊常八
- 破齋猶得生天九
- 耕夫施僧一訶梨勒果後生為兩國太子十
- 供養沙門心有善惡獲報不同十一
- 舅甥共盜甥黠慧後得王女為妻十二
- 羅閱國男子與耆闍崛國女人宿世有緣十三
- 夫婦約不先語見偷取物夫能不言十四
- 婦人鼻醜夫割他好者以易之十五
- 賃人善解鳥語十六
- 溺人憑鳳獲全附鸕鷀殞命十七
- 有人買智慧得免大罪十八
- 有人張鬼免害十九
- 有人為兩婦所惡以至於死二十
- 有人遠求仙水主人惡心使登樹得仙二十一
- 有人使鬼得富後害其兒二十二
- 有人富王責條疏已用物王乃覺悟二十三
- 有人為罪王令割肉五斤二十四
- 有二人共誓以胎中兒共為婚姻二十五
- 大姓二兒大子失財被念小子得財獲罪二十六
- 三人共施僧一錢後身獲自然之金二十七
- 貧人供僧僧報致富二十八
- 貧人得伏藏為王所治二十九
- 貧人買斧不識是寶三十
- 貧老夫妻三時懈怠三十一
- 窮人違樹神誓還為樹枝所殺三十二
- 人遇象逐墮深谷際天降甘露遂得昇天三十三
- 五百幼童聚沙興塔命終生天三十四
- 童子施佛豆生天後作轉輪王三十五
- 牧牛小兒取花上佛牛觸而死即生天上三十六
- 小兒先身以三錢施今解鳥語遂得為王三十七

- 諸劫分物不識好者三十八

颰陀以化城請佛及見佛欲滅化不能一

王舍城中。有一幻士。名曰颰陀(梁言仁賢)。明解經典曉了伎術所作巧黠多能喜悅名聞高遠。摩竭人民皆所不及。國內大小從其受學。颰陀遇覩世尊身色嚴妙。念欲相試。便示請佛。設知我意當不受請。若不知者必受無疑。佛知其意意欲度之。默然而受。颰陀謂。佛無通慧不見我意。入王舍城。於淨處化作講堂。懸繒華蓋。一一樹下。為諸比丘鋪師子座。於講堂中。特為如來設師子座。高四丈九尺。作百味之饌。時四天王及天帝釋。與三萬二千天人謂仁賢曰。真得善利。乃請如來講堂供養。吾助給所乏。即化作館殿如忉利宮。佛與菩薩及諸比丘往其講堂。見佛坐已所造之座。帝釋亦見如來坐其所造莊嚴之座。仁賢聽佛所說。蠲除自大投首佛足。白佛言。唯願如來原我罪過。欲沒其所化。佛令不變。復為說一切諸法皆如幻化(出幻士仁賢經)。

阿難邠坻井出珍寶二

阿難邠坻。在兒連山下居。大富珍寶。四遠賈客舉貸。乞丐者往無不得。時有五百賈客。行海船壞珍寶皆沒。死者不少或依板得活。咸詣阿難邠坻。主人設食。主人汲井得寶篋簏。各有題疏其姓字。賈客食訖皆悲。主人問故。答言。我等伴侶五百人。共行海中船舶翻沒。死者不少。挾持小板劣得生活。亡失珍寶悲念伴侶耳。屬覩井中所得寶篋。皆是我許不知那爾。主人言。卿曹行治生賈販。若至心者不失也。但不至心故失耳。我從無數劫以來。未嘗不至心初不欺侵。諸失寶者皆趣我井。卿曹各自案姓字取去(出譬喻經)。

賢直竊珠不欵獲賜三

昔人名賢直。曾三預八關聞讀經言。天眼不瞬誦念不忘。然此賢直。善偷他物眼前不覺。國王失珠。召臣量議。臣答王言。聞有賢直極能作偷。王勑錄來考問望得其言不偷。王既有道何由枉人。又召諸臣共議。有臣言曰。當作方便令其首伏。當重枷鎖載市唱令殺之。與酒令醉然後脫鎖舉置堂上妓女作樂。王勑伎女。賢直醉問。汝可答言。此是天堂我是天女。應為侍側。君前身時偷國王珠故得生此。王便依之。賢直聞已默念而去。我聞經言。天眼不瞬此女悉瞬。且我偷珠應入地獄。將非國王張我令首。即便發言。我得生天由不偷珠。妓女報王。道賢直言。王便大笑。小子定不偷我珠也。即放令去。重賜金寶。此實偷珠。誦念一偈免罪得賜(出雜譬喻經也)。

慈羅放鼈後遇大水還濟其命四

昔有一人名慈羅。見人賣鼈心中憐之。向鼈啼泣。賣鼈者言。汝何故向

鼈啼乎。慈羅答言。我不忍見之。窮賣鼈者大笑。汝癡狂耳。答言。我念此鼈從君請買。主言。鼈直百萬。慈羅便將之歸家。傾舉子息得八十萬。慈羅言。我錢盡此假求無處。賣鼈者言。汝錢既盡可為作田以畢錢直。慈羅言諾。以車載鼈投著池中。鼈便能言語。方有大水君當上樹相呼。後日洪水大起人民死盡。慈羅上樹呼鼈。鼈便來至。慈羅坐鼈背上。前去數里。見一女人在流槎上沮息欲死。便向慈羅乞匄求載。慈羅啟鼈。此人可怜乞得載之。鼈言。往便復載之。前行十里。見賣鼈子流被槎上。從慈羅欲求載之。鼈言我已重。恐必疲極不能自度。慎勿載之。慈羅言。可哀今是非當載之。慈羅復載之。前行數十里。見數升蛾流被槎上。慈羅復報鼈載之。前至那竭國。女子便以金謝慈羅。賣鼈人言。此鼈本是我賣之。汝今得金當持還我。慈羅不與。賣鼈子便到那竭國王所云。慈羅偷人婦將之販。今持金銀來在此國中。那竭國王即召慈羅使吏斬之。吏上言其事欲下筆書。蛾輒緣筆不成字。王聞之便問慈羅。汝有何功德乎。慈羅具答。王誅賣鼈者(出阿難現變經)。

千那傭畫得金設會為婦所訟五

大月氏弗迦羅城。有一畫師。名曰千那。往來東方多剎施羅國。客畫經十二年。得三十兩金持還本國。遇見眾僧信心清淨。即問維那。此眾幾物得作一日食。答曰。可用三十兩金。畫師併付維那。乞營一食。我明日當來。空手歸家。婦問。十二年作得何等物。答曰。得三十兩金。已種福田。付僧設會。婦縛夫以送付官。具陳上事。官問。不給婦兒而以乞他。畫師答曰。我先世無福貧窮常辛苦。遭遇眾僧是良福田。若復不種善後世復貧。貧苦相續無得脫時。是故併施眾僧。其斷事人是優婆塞。即脫瓔珞及所乘馬并聚落以施畫師。謂之曰。汝施眾僧。眾僧未食。是為穀子未種而牙已生。而大果在後(出大智論第十一卷)。

神識還摩娑故身之骨六

昔有人。死後魂神還摩娑其故骨邊。人問之。汝已死。何故為復用摩娑枯骨為。神言。此是我故身。不殺生不盜竊不他婬不兩舌惡罵妄言綺語不嫉妒不瞋恚不癡。死後得生天上。所願自然快樂無極。是故愛重之也(出舊雜譬喻經下卷)。

木巧師與畫師相誑七

昔北天竺。有一巧師。作一木女。端正無雙衣帶嚴飾世女無異。亦來亦去能行酒看客。唯不能語耳。時南天竺有一畫師。亦善能畫。巧師聞之。作好飲食即請畫師。便使木女行酒擎食。從旦至夜。畫師不知謂是真女。欲心極盛念之不忘。時日已暮。木師入宿。留畫師住。以此木女立侍其側。便語客言。故留此女可共宿也。主人已入。木女立在燈邊。客即呼之。而女不來。客便前牽之。乃知是木。便自慚愧。主人誑我。我當報之。於是畫師復作方便。即於壁上畫作己像。所著被服與身不

異。以繩繫頸狀似絞死畫作繩像著其口喙。作已閉戶自入床下。天明主人出見戶未開。即向中觀。唯見壁上絞死客像。主人大怖便謂實死。即破戶入以刀斷繩。於是畫師從床下出。木師大羞。畫師即言。汝能誑我。我能誑汝。客主情畢不相負也。二人信知狂惑。各捨親愛出家修道(出雜譬喻經第四卷)。

醫治王病差獲王報殊常八

有一國王。身得重病。十二年不差。一切大醫無能治者。時邊方小國攝屬大王。有一醫師善能治病。王即招來令治己疾。未久之間即蒙除降。王便念欲報此師恩。屬遣使者宣令彼國。此師見差宜應償賚。象馬車乘牛羊田宅青衣直人嚴飾之具皆給與之。彼小國王奉宣上命。師在王邊無有語者。師便思惟。我治王病大有功夫。未知王當報我與不。復經數日王轉平復。其師請辭欲還本國。王便聽之。給一羸馬乘具亦弊。師大笑恨我治王病。大有功夫。而王不識恩分。不相料理。令我空去。隨道愁歎以為永恨。適至本國見有群象。問象子曰。此誰家象。象子答曰。此是某甲師象。復問象子曰。某甲師何從得此象子。答曰。某甲師治大王病差。功報所得也。小復前行。見有群馬牛羊。問曰。此誰家物。羊子答曰。某甲師許。小復前行。見其本舍高堂重閣殊異本宅。問門人曰。此是誰舍。門人答曰。此是某甲師舍。便入其閤內。見其婦形色豐悅身服寶衣。怪而問曰。此誰夫人。直人答言。此是某甲師夫人。從見象馬。及入舍內。皆知是治王病功報所得。便自追恨本。治王病功夫少(出雜譬喻經第四卷)。

破齋猶得生天九

昔有迦羅越。興設大壇請佛及僧。時有一人賣酪。主人留食。勸令持齋聽經。至暝乃歸。婦語之言。我朝來不食相待至今。敗壞夫齋。半齋之福猶生天上七世。生人間常得自然。一日持齋六十萬歲自然之糧。又有五福。一者少病。二者身意安隱。三者少婬。四者少睡臥。五者命終之後神得生天常識宿命(出諸經中要事)。

耕夫施僧一訶梨勒果後生為兩國太子十

昔有一人在田耕蒔。日已垂中。家餉未至。道人失路至其田所。從乞中食。耕人曰諾。小願須留。家餉遲晚。道人曰。食既不至仍欲漱口。耕人解其衣帶一訶梨勒果以與。道人即受而食。又有一錢以嚫道人。道人曰。若心可感無以相報。欲授五戒。君能受不。答曰。弟子在俗五戒難全。但受不殺。耕人命盡生國王家。皇后導從到流水邊。歌舞作樂抱兒臨水。失手墮水魚即吞之。在腹七日不飢不渴。隨流下逝遂千餘里。入下國界人捕得魚於市貨易。時下國主遣人市魚。將還城內用刀治魚。兒在腹中唱曰。徐徐勿傷我也。即破魚腸見一小兒。端正無雙舉國歡喜。上國主聞之曰。此必我兒。遣信索之。下國主答。魚腹中得天所賜。我

不肯與之。二國共諍遂徹大國。大王判云。若上國不生此兒墮水下國何由而得。若下國不得此兒。上國何處求覓。此兩有緣。汝二國。中間可作宮殿共安此兒。號曰兩國太子。即從此旨在於其中。依太子儀法。佛語弟子。昔日耕人。一果一錢布施道人。便得兩國太子(出雜譬喻經)。

供養沙門心有善惡獲報不同十一

昔有跛脚道人。持戒乞食遇至一家。信大法久見其患脚。心悲愍一年供養。道人辭去。主人言曰。願數垂顧。分離之際客主悲淚。道人去後。主人發床唯見金寶。因此至富。隣比一家見其大富。問何因緣。其人實答。隣人惡念希覓珍寶。便覓一跛人欲供養之。遍求無有。會一道人身體完具。縛還折脚供養少時。強驅令去。去後發床。惡心所感。毒蛇蜂蝎來螫合家。現世惡報後入地獄。得珍寶者其心貞吉。被螫毒者其心不仁(出雜譬喻經也)。

舅甥共盜甥黠慧後得王女為妻十二

過去時姊弟二人。姊有一子。與舅俱給官府。織金縷錦及綾羅穀珍妙異衣藏中綺寶。即共議言。吾織作勤苦不懈。知諸藏物好醜多少。寧可共取用解貧乏乎。夜鑿地為孔穿盜取物。明監藏者覺物減少。以事啟王。王詔勿廣宣之。令盜者謂王多事不能覺察。至于後日必復重來。且嚴警守得者收捉無令放逸。藏監受語。即加守備。其人久久果重來盜。外甥教舅。年尊體羸力少。若為守者所得不能自脫。更從地穴却行而入。如令見得。我力強盛當濟免舅。舅這入穴為守者所執。執者喚呼。甥畏人識。截取舅頭而去。晨曉藏監具以啟聞。王又詔曰。輿出其尸置四交露。其有對哭取死屍者則知是賊。如是積日。有遠方賈客來。人馬塞路奔突猥逼。其人載兩車薪置其屍上。具以啟王。王詔。若有燒者收縛送來。外甥將教童竪執炬舞戲。人眾總集以火投薪。熾然而盛。守者不覺。具以啟王。王又詔曰。更增守者。嚴伺其骨。甥又釀純酒。特令濃厚。詣守備。者微而沽之。守者連昔飢渴。見酒共飲。飲酒過多皆共醉寐。因以酒瓶受骨。而去。守者不覺。明復啟王。王又詔曰。前後警守竟不級獲。斯賊狡黠更當設謀。王即出女莊嚴瓔珞珠璣寶飾。安立房室於大水傍。眾人侍衛伺察非妄。必有利色來趣女者。素教誡女得抱捉喚人收執。他日異夜甥尋竊來。因水放株令從流下。唱叫犇隱。守者驚趣謂有異人。但見株机。如是連昔數數不變。守者睡眠。甥即乘株到女室。女則執衣。甥告女曰。可捉我臂。甥預持死人臂以授與。女便放衣捉臂大叫。守者覺甥得脫走。明具啟王。王又詔曰。此人方便獨百無雙。久捕不得。當奈之何。女即懷妊。十月生男。大端正。使乳母抱行周遍國中。有人嗚噦者便縛送來。抱兒終日。甥為餅師住餅爐下。小兒飢啼。乳母抱兒趣餅爐下。市餅哺兒。甥見嗚兒。即以還白王曰。兒行終日無來近者。飢過餅爐。賣餅者授餅乃嗚。王又詔曰。何不縛之。乳母答曰。小兒飢啼餅師授餅而嗚之不應是賊。王使乳母更抱兒出及諸伺

候。見近兒者便縛將來。甥沽美酒。呼請乳母及伺者就于酒家勸酒。大醉眠臥便盜兒去。醒悟失兒。具以啟王。王又詔曰。卿等頑駭貪嗜狂水既不得賊復亡失兒。甥時得兒抱至他國。前見國王。占謝答對引經說義。王大歡喜。輒賜祿位以為大臣。而謂之曰。吾之一國智慧方便無逮卿者。欲以臣女若吾女當以相配自恣所欲。對曰不敢。若王見哀欲索某國王女。王曰善哉。從所志願。王以之為子。遣使者往求彼王女。王即可之。王續念言。或是盜魅前後狡猾。即遣使者。欲迎吾女。遣其太子五百騎乘皆使嚴整。甥懷恐懼。恐到彼國。王必執之。便啟其王。若王見遣。當令人馬五百騎具衣服鞍勒一無差異。乃可迎婦。王然言。即往迎婦。王令女飲食待客。二百五十騎在前。二百五十騎在後。甥在其中跨馬不下。女父自出入騎中。執甥曰。爾為是非前後方便捕不可得。為是爾非。稽首答曰。是也。王曰。卿之聰哲天下無雙。隨卿所願以女配之得為夫婦。外甥吾是。女父王者舍利弗是。舅者調達是。國王父輸頭檀是。母摩耶是。婦拘夷是。子羅云是(出生經第一卷)。

羅閱國男子與耆闍崛國女人宿世有緣十三

昔有耆闍崛國。有一少女。姿形美妙才智絕倫。性情寬和初不瞋怒。家門九族及諸疎近莫不愛敬。諸國氷索有百千人。竟未成嫁。時羅閱國一少男。天姿英秀心意高邁。國中百姓莫不畏敬。雖有妓妾夫人初不幸近。每念。耆闍崛國有女。本是我對。未及至耳。即日。滿堂皆是勢利所得非我偶也。一時遣逐肅然都盡。乃乘白象從僕二人往造彼國。經山涉草行千萬里。五年方至。女處深宮無故心動。因出逍遙。試闚外閤。忽見此男。且悲且喜不可抑忍。此是吾夫。前後見求非我宿匹。便自親著夫情依依。女之父母憂惱無計云。養女長大不悟如此。急加防錄不得通問。女子懊惱不知何計。男子悲惶同懷愁惘。於是女子精苦齋戒晝夜行道。棄散資財施佛及僧。心勞形枯經涉五載。音問不達彼此懷情。竟無所感。乃以四月八日。親自束身往到佛塔。燒香禮拜發此志願。割刻肌肉供養世尊。不敢自惜。唯願此志一得申果。佛令比丘尼為其作緣。便得和偶。佛告阿難。所以者何。皆從阿僧祇劫已來。久結願約故得爾耳(出情離有罪經)。

夫婦約不先語見偷取物夫能不言十四

昔有夫婦。共食三餅。人各一枚。餘一欲破分。婦言。莫分。與君共賭。各自不語。先語者失。後語者得。於是閉口至于中夜。竇土偷入。見其二人坐而不語。謂是大怖不敢作聲。收斂其物擔將出戶。婦大喚曰。汝是丈夫那置物去。夫言。我勝我勝。今得大餅。眾人責笑謂大顛癡(出百句譬喻經第二卷)。

婦人鼻醜夫割他好者以易之十五

昔有一人。見他婦鼻端正。心自念言。我婦面貌第一。唯恨鼻醜。今取

此鼻代我婦鼻。即引女屏處。割鼻將還。又割其婦鼻安此女鼻。彼此失鼻兩不相著。眾人怪罵真大癡狂(出百句譬喻經第一卷)。

賃人善解鳥語十六

昔有一極貧人。善曉鳥語。為賈客賃擔。過水邊飲。烏鳴。賈客怖。作人反笑。到家問言。我在彼飲。時聞烏鳴。我大怖而君反笑何耶。答曰。烏向語我。賈人身上有好白珠。汝可殺之取珠。我欲食其肉。是故我笑耳。曰汝何不殺也。答曰。我坐前世貪人財物故貧為賃擔。若復殺人取物後世受苦。何時當已。我今至死不為此事(出譬喻經)。

溺人憑鳳獲全附鸕鷀殞命十七

大水卒淹。有命之類依丘避之。復垂欲沒。忽有鳳凰。到智者所依附其翅。遂上高原免水厄。餘未去者。忽見鸕鷀便託其羽。而此鸕鷀遂入深水。一時溺喪(出雜譬喻經)。

有人買智慧得免大罪十八

昔有一人。貧窮無用。治生入海採寶還國。遇善知識言。我素貧窮今得此物。足以自諧。若母不可。我意當捨母居去。若婦不可。我意我當更索。知識答曰。近此間大智慧人滿城中。可往就買智慧。不過千兩金。自當語卿智慧之法。其人如其言。入事佛聚落。具以問人。答曰。夫所疑事。前行七步却行七步。如是至三智慧自生。其人夜歸家。見母伴婦眠。謂是他男。拔刀欲殺。意中不掩。然大燈火遙照思惟。朝買智慧。如是前却三反。母便覺悟。此人欺言。真為智慧。何但堪千兩金。即復與三千兩金(出十卷譬喻經第四卷)。

有人張鬼免害十九

昔有一人行於山中。逢一噉人鬼。撮欲食之。其人求哀。假令須臾請問一事。却乃見噉為不恨也。鬼信其人謂是誠事。聽其所欲。即問鬼言。何故面白脚膝腹白。其餘處盡黑。鬼即答言。我之為物性惡日精。背日得行不得向日。以是故爾。其人向日而走。鬼但空恨不能得也(出十卷譬喻經第四卷)。

有人為兩婦所惡以至於死二十

昔有一人於兩業。有二婦適詣小婦。小婦語言。我年少。婿年老。我不樂住。可往大婦處作居。其婿拔去白髮。適至大婦處。大婦語言。我年老頭已白。婿頭黑宜去。於是拔黑作白。如是不止。頭遂禿盡。二婦惡之。便各捨去。坐愁致死。過去世時作寺中狗。水東一寺水西一寺。聞揵搥鳴狗便往得食。後日二寺同時鳴磬。狗浮水欲渡。適欲至西復恐東

寺食好。向東復恐西寺食好。如是猶豫溺死水中(出十卷譬喻經)。

有人遠求仙水主人惡心使登樹得仙二十一

昔有一人。聞外國有仙水入中得仙。便向外國寄他宿止。主人問客。君欲何去。答曰學仙。主人懷惡。語客言曰。我有仙樹。君能與我一年苦作。便與君仙何煩遠去。客言甚善。一年苦作恒無慍色。一年既滿。其主人公本心相欺。既無仙樹。將至山中指臨巖樹云是仙樹。君上其頭。我喚若飛應聲飛擲。客人心至。即於此樹飛騰虛空。遂得仙道。主人公見我令其死。何悟得仙。深重此樹情言是聖。復經少時。父子相與共到樹下。讓父先上。兒便喚言阿耶可飛。父即欲飛。墮巖石上。身體粉碎(出雜譬喻經)。

有人使鬼得富後害其兒二十二

昔有一人。於市賣毘耶鬼。欲買鬼者問索幾許。鬼主言。二百兩金。曰。此鬼有何奇異。乃索爾所金耶。曰。此鬼其功無物不為。計一日作當百人。唯有一病。宜先防護之。問為何等病。曰。此鬼欲使作時。晝夜使之。莫令停息。若無作者便還害主。主人顧金將歸。令作田種。作田種竟便使木作。木作竟復使治地。作屋舂磨炊爨初不寧息。數年之中乃致大富。主人有事當行作客。忘不處分而鬼復欲作無有次第。取主人兒內釜中然火煮之。比主人還子已爛熟。傷切懊惱知復何言(出譬喻經)。

有人富王責條疏已用物王乃覺悟二十三

昔有富人。王令條物。其即疏。某年用若干千萬造佛。用若干作齋會經書。又以若干供恤貧老。今現有八十九千萬。以疏呈王。王大瞋怒問。汝現物忽條已用。富人答曰。已用者最為寶藏。資人神明是以奉呈。未用之財五家共有。非獨臣許。是敢條疏。王便覺悟。功德可恃(出譬喻經)。

有人為罪王令割肉五斤二十四

昔有一人犯罪於王。王大瞋忿。使人割其背膂五斤肉。置之下屋。此人痛苦叫喚徹王。王問何意不分。答曰。實非我罪。王思愧之。勅以一百斤肉乞。其猶故呻喚。王曰。頓補百斤云何大喚。諸臣答言。不見此法。與千斤何益其痛。若人一兒已死。他人以百與之。此人能不念其兒不(出百句譬喻經第三卷)。

有二人共誓以胎中兒共為婚姻二十五

有二人共為知識。婦各懷妊。便相誓約。若生有男女共為婚姻。別後一家生男一家生女。男父早死長大未娶。行賣雜物偶至女家。女家公問子

從何來。居止所在父母姓字。男具以答。公聞大驚。乃語男曰。卿父在時與我胎婚。我常相求不相知。處女未敢嫁。男言。我都不知女。公曰。卿問親近。男還問乳母信然。男到女家。道見溝水流。入一髑髏中無有滿時。兒恐前行復見樹果熟。欲取噉之。果便言。取我取我。兒大怖懅疾走躄地。前到女家。狗逆長跪呫其兩足。狗腹中子哮呼來前。欲傷嚙之。便復頓地久乃蘇息。女公來出兒具陳說。公甚怪之入語其女。女答公曰道見溝水流入髑髏無有滿時者。後世當有斂取天下財物珍寶。供給一人無有滿足。見樹果熟欲取噉之。而果言取我取我者。後世之人自求大女。而小女言。何不索我何不索我。狗逆長跪呫其兩足。狗腹中子哮呼來前欲嚙之者。後世之人相與言語。口如脂膏心如錐刀。口相飽滿內相謀圖。皆為後世不為今也。即嫁女與男。遂其本志(出十卷譬喻經第八卷)。

大姓二兒大子失財被念小子得財獲罪二十六

昔大姓有兩兒。各以二百萬與行賈。大子盡用椵蒲。衣被敗壞還以啟父。父言。得汝而已。用財何為。為作衣被飲食。善安慰之。小子來歸啟父。得二百萬利。父曰。取疏來。與共校計不合數千。便縛捶之。如是三行。收利六百萬。還輒得捶。大子三行失六百萬。止他國不歸。與無賴人相隨。語彼人言。我父有金銀白珠各一笥。在大床頭。汝歸白父道。我不愚失財物。未敢還。汝得便殺我父取物將來。可得共用。此人至其家與父相見。述其兒言。父聞啼泣曰。用物財為。我子何不來。食息悲咽。客言。君子不孝用錢作惡。一時都盡。令我來殺君取君金銀。我見君念子待遇我厚。令我心感。父言。小子尚癡便使迎之。謂子。汝去錢早歸。何因作癡語。更作衣被與之。師曰。小子償債。大子索債(出十卷譬喻經第六卷)。

三人共施僧一錢後身獲自然之金二十七

昔有三人共賈行。各分得五百萬餘。有一錢欲與一人。則為不平。欲破分之。事為不然。時沙門分衛。三人共言布施沙門各言大佳。手共持與。沙門呪願。令汝今世後世並得其福。共生羅閱國中各得豪富。一人主山中採金。一人主耕田取金。一人主水中汲取金。為受前世布施之福。國王聞之。念我國人物皆我許。便將人兵詣山採之。金化作石。復至一家地。耕取金。金化為土。復至一家井中汲取金。金化作瓦。都不能得。王問佛言。此三人金計為我許。往取皆化不得是金。此人前世有何功德今致此福。佛具言之。非是王物。王不應取(出雜譬喻經第三卷)。

貧人供僧報致富二十八

昔有貧家供養道人。一年便去。用一銅瓶乞主人言。此瓶是神打。此瓶口所索皆得。莫請國王。別後打瓶。家遂巨富。忘道人囑。遂請國王。王問富因。實而答王。王即奪瓶。家轉窮弊。方憶道人四出覓見。依實

白言。道人曰。故須此瓶。乞君一堰盛以林石。齎詣王門求索瓶也。直到王門高聲索瓶。王聞大怒。遣數十人欲來捉之。開出林石風吹橫空。王使人身為此木石打破頭額頃出千人。風勢所破死尸塞門。王大怖悸。求還其瓶。其人得瓶。家復大富。廣作功德。死得生天(出雜譬喻經)。

貧人得伏藏為王所治二十九

佛與阿難入王舍城。時天大雨。水沃伏藏出諸寶物。佛言毒蛇。阿難云惡毒蛇。山下有刈麥人聞之念言。我未曾見沙門毒蛇。即往見物。以車與衣囊取著家內。現富貴相新作大舍。有嫉妬人白王。先有貧窮賤人卒見富相。是人必當得大寶藏。王即喚問。答言不得。即勅考治。是人憶佛與阿難名之為惡毒蛇也。誰得寶藏不語。一心念佛。王者作如是言。佛言毒蛇。阿難言惡毒蛇。王即喚問。是人答言。大王。若施無畏者我當說實。王許。其具陳上事。今於我身能作何等。必噉我命。王賞金錢五百。能於急中說於佛語及阿難語(出十誦律三誦第三卷)。

貧人買斧不識是寶三十

昔有貧寒孤獨老公。家無自業。遇市一斧。是眾寶之英。而不識之。持斫株賣之以供微命。用斧欲盡。會見外國治生大賈客。名曰薩薄。見斧識之。便問老公。賣此斧不。老公言。我仰此斧活不賣。薩薄復言。與公絹百匹何以不賣。公不應和。薩薄復言。與公二百匹。公便悵然不樂。薩薄復言。嫌少當益。公何以不樂。與五百匹。公便大哭。薩薄復云。絹少當益。何以啼哭。公言。我不恨絹少恨我愚癡。此斧本長尺半。破地以盡餘有五寸。猶得五百匹絹。以為恨耳。薩薄復言。勿有遺恨。今與公千匹絹。即便破券持去。薪火燒之盡成貴寶(出諸經中要事)。

貧老夫妻三時懈怠三十一

世尊晨朝入舍衛城。尊者阿難從。有二老夫婦。年耆根熟僂背如鉤。詣里巷頭燒糞掃處。俱蹲向火猶如老鵠。欲心相視。佛告阿難。見彼夫婦不。阿難曰。如是。佛曰。此二老夫婦。若於年少盛壯之時。勤求財物者得為舍衛城中第一富者。若出家學道精勤修習者得阿羅漢。於第二分盛壯之時。若勤求財物得為舍衛城中第二富者。若出家學道者得阿那含果。中年之時若勤求財物。得為舍衛城中第三富者。若出家學道得斯陀含果。乃於今日年耆根熟。無有錢財無有方便。不復堪能。苦覓錢財。亦不能得勝過人法。復為說偈言。

不修梵行故　不得年少財　思惟古昔事　眠地如曲弓　不修於梵行
不得年少財　猶如老鵠鳥　守死於空池

(出雜阿含第五卷第四十二卷又出三時過經)。

窮人違樹神誓還為樹枝所殺三十二

維耶梨國有迦羅越。奉佛供養呪願畢。請聞法義。佛笑口光繞身三匝還從頂入。阿難問故。佛言。彼國有五百人。入海採寶置船步還。經歷深山日暮止宿。預嚴早發。四百九十九人皆去。一人臥熟。失輩。仍遇天雨雪。失去徑路。窮厄山中啼哭呼天。有旃檀樹神。謂窮人言。可止留此。自相給衣食。到春可去。窮人便留至于三月。啟樹神言。受恩得全身命。未有微報。顧有二親今在本土。實思得見。願垂發遣。樹神言善。以金餅施之。去此不遠。當得國邑。可得遷還至汝鄉里。窮人臨去問樹神言。此樹香潔世所希有。今當委遠願知其名。神言。不須問也。窮人復言。依蔭此樹積歷三月。今當遠離情懷恨恨。若到本國當宣揚樹恩。神便言。樹名栴檀。根莖枝葉治人百病。其香遠聞人所貪求不須道也。窮人至國。中外親戚喜相慶慰。後國王病頭痛。禱祀天地山水諸神不能消差。名醫省視唯得栴檀香病可得愈。王即募求民間無有。便宣令國中。得旃檀香者。拜封為侯妻以小女。時窮人聞償祿重。便言。我知栴檀香處。王便令近臣將窮人而往伐取。徑到樹所。使者見樹洪直。枝條茂盛華果煌煌。人所希見心不忍伐。不伐者則違王命。病不消愈。伐之者中心隱隱。踟躕徘徊不知云何。樹神於空中言。便伐之。但置其根耳。伐竟以人血塗之。肝腸覆其上。樹自當生。還復如故。使者聞神言如此。便令人伐之。窮人住在樹邊。樹彈地枝摽殺之。使者共議。屠割窮人取其肝血。如神所勅樹即更生。車載所伐樹以還國中。醫即進藥。王病得愈。舉國歡喜。王命國中人民。其有病者皆詣宮門。王出香藥給之。病皆得愈。王身康豫黎民無病。舉國欣慶遂致太平(出栴檀樹經也)。

人遇象逐墮深谷際天降甘露遂得昇天三十三

昔有人行空澤中。見一黑象。人念。此象必來害我。我當殺之。象亦念言。人必殺我。我當厄之。人便捨去。象從後逐。前走數里墮一深谷。谷絕無底。即於岸邊捉持樹根。其形如指。尋根而下。懸在岸邊。象於谷上以鼻撈之。欲及不及。下向見底但是矛[金*戟]復有兩鼠共嚙樹根。又三黑蛇出頭欲囓。復有蚊虻來螫其眼。其人念曰。今日死矣。仰天求救。聲哀情至。天降甘露滴其口。始得一滴二鼠去。得二滴毒蛇捨之。得三滴黑象自還。得四滴蚊虻除。得五滴深谷自平出在平地。天為化導將還天上(出譬喻經第七卷)。

五百幼童聚沙興塔命終生天三十四

五百幼童相結為伴。日日遊戲俱至江水。聚沙興塔各言塔好。雖有善心宿命福薄。時天卒雨江水暴漲漂流溺死。佛告眾人。五百童子生兜術天。皆同發心為菩薩行。佛放光明令其父母見子所在。佛遙呼五百幼子來。尋時皆至住於虛空中。散華於佛下稽首禮言。蒙世尊恩。雖身喪亡得見彌勒。佛言善哉。卿等決計知道至真興立塔寺。因是生天見於彌勒

諮受法誨。佛為說經咸然歡喜立不退轉。各白父母勿復愁苦。努力精進以法自修。父母皆發道意。稽首足下遶佛三匝。忽然不現還兜術天(出生經第四卷)。

童子施佛豆生天後作轉輪王三十五

昔有童子數人。共戲道中遇佛。一人作禮。手中有五粒豆上佛。四粒入鉢一粒墮地。佛言。令汝世世得福。童子命終即生天上。後八十世為轉輪王(出十卷譬喻經第一卷)。

牧牛小兒取華上佛牛觸而死即生天三十六

佛泥洹後百年。山中田澤草木茂盛。山外不遠有居人村牛馬入池。生五色蓮華。牧牛小兒入池採取。滿器蓮華持出山際欲以上佛。未至於寺。道逢群牛觸殺小兒。其神即生忉利天上。自然宮殿五色蓮華。始生天中而自念言。吾宮獨有異色蓮華。但諸天法。先觀宿命因緣後乃食福。即見前天。相謂此天新來共相娛樂云何惶怖不安。便往問之。答曰。吾本是牧牛小兒。採蓮華欲散佛塔。中道無常。緣是之福來生此耳。是以今擿華復欲詣先塔散佛禮拜卒我本願。時五百天人執持蓮華。相隨散佛塔。緣是之福彌勒下時當共得道(出譬喻經第五卷)。

小兒先身以三錢施今解鳥語遂得為王三十七

昔有一人。用三錢布施。乞求三願。一者將來得作國王。二者解眾生語。三者多諸智慧。其人命終生庶人家。形色端正。王募為左右。此兒投募得侍王側。見燕在巢。仰首看而笑。王問何笑。答曰。燕言。我得龍女髮長十丈喚伴看之。王曰。審爾者好。無此者殺。遣看即得。王欲取女為婦。語小兒言。汝解鳥語必應多策。給汝食糧。覓此女人。得者重報。若不得殺汝及家口。小兒冐死向東海邊。見二人共諍隱形帽履水靴殺活杖。小兒曰。何須云云。我放一箭君二人逐。先前得者與三種物。答曰善。引弓放箭。二人爭走。小兒取帽著靴捉杖。直入海中至龍所。脫隱形帽令龍女見。女人多欲。遂與小兒持一餅金還至外國。其王遣迎。勅女獨入。女便前進。小兒戴隱形帽隨女而入。女見王醜。以金擲王額破命終。小兒脫帽。共女上殿。高聲唱言。我應為王女為皇后。霸王天下(出雜譬喻經)。

諸劫分物不識好者三十八

昔者眾商人。經由嶮道值劫。大失衣物。中有一衣。是鹿胎毛細軟滑澤織持作衣。其價百倍。而色紫黑不悅人眼。劫不賞別用持作帊。以盛麁衣他處共分。各取雜物謂是奇好。餘此一帊未展分張。劫群中有困弱人。獨不與分。苦論共以帊乞。即自賣之。時大貴人知是好物。依限雇直。比於餘劫所得等分。諸劫聞之大生恥惱(出百句譬喻經第一卷)。

經律異相卷第四十四

經律異相卷第四十五(女庶人部下)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 長髮女人捨髮供養佛一
- 獨母見沙門神足願後生百兒二
- 母人懷妊遇佛願以兒為道三
- 老母慳病時見地獄婢行善覩有天堂四
- 母人為比丘起屋壽終生天手出眾物五
- 母二兒溺死哭知浮者六
- 婦人化婿戶上懸鈴使聞聲稱佛後免地獄七
- 瞻婆女人身死闍維於火中生子八
- 摩那祇女懷杅謗佛地即震裂身陷地獄九
- 婬盪婦人苦一沙門沙門心至火變為水十
- 童女火氣入身懷妊生端正子十一
- 女人懷妊口常誦經生兒多智為眾人所宗十二
- 女人懷妊生四種異物十三
- 女人心緣丈夫誤繫兒入井十四
- 換貸自取多還少命終為犢十五
- 青衣割食施辟支佛立改醜顏得為夫人十六
- 醜婦臨水見他影謂其端正十七

長髮女人捨髮供養佛一

昔有一女。端正紺髮髮與身等。國王夫人請頭髮與千兩金而不肯與。見佛歡喜願設供養。請其父母乞為呼之。父母言。家貧無以飯之。女言。取髮直以用供養。父母白佛願佛明日暫顧微飯。女割髮與王夫人。夫人知其懸急但與五百兩金。女取金買食歡喜無量。悔昔慳貪今世貧窮。願令我後莫值此苦。女見世尊。金光五色照其門內。頭面著地遶佛三匝。頭髮還復如故。佛言。此女上世貧無可施。常持頭面著地作禮。後八十一劫常生人中。此福已盡今生貧家。猶識功德見我歡喜福祐無量。命終當生第二忉利天上。盡天。福壽當發菩薩道心。女父母兄弟莫不歡喜命盡生天(出十卷譬喻經第三卷)。

獨母見沙門神足願後生百兒二

昔有獨母。賃守田園。主人有事餉過食時。食至欲食。沙門從乞。以所食分盡著鉢中。一莖蓮華又以貢奉。道人即現神足。母喜歎曰。真聖人乎。願我後生百子若茲。母終為梵志嗣。其神靈集梵志小便之處。鹿舐小便即感有身。時滿生女。梵志育焉。年至十餘。守居護火。女與鹿戲不覺火滅。父令索火。女至人陬步一蓮華。火主曰。爾繞吾居三匝以火與爾。女即從命。華生陸土圍屋三重。國王聞之。召問相師。師曰。必

有聖嗣傳化無窮。王命賢臣。娉迎還宮。懷妊月滿乃生百卵。后妃逮妾靡不嫉焉。以囊盛卵密覆其口。投江流中。天帝釋下以印封口。諸天翼衛從流停止。由柱植地下流之國。其王於臺遙覩水中。有囊流下。輝晃光耀似有乾靈。取而觀焉。覩帝釋印。發百卵懷育溫煖。時滿體成產為百男。生有聖智不啟自明。相好希有力勢兼百。王具白象百頭以供聖嗣。征伐隣國莫不降伏。又伐所生父王之國。王曰。孰有能却斯敵者乎。母曰。大王無懼。為王降之。即登樓觀揚聲謂曰。夫逆之大其有三矣。一不遠群邪招二世苦。二生不識親而逆孝行。三恃勢殺親毒向三尊。懷此三逆者其惡無盡。爾等張口信現乎。今母旋其乳。天命湩射遍百子口。精誠之感飲湩情哀。僉然俱曰。斯吾母矣。叩頭悔過。親嗣如會靡不哀慟。二國和睦靡不稱善。諸子覩世無常。辭親學道遠世穢垢。九十九子皆得緣覺。一子理國父崩為王。大赦眾罪開藏布施。民人無乏。化以十善正善治國。興立塔寺供奉沙門。誦經論道口無四惡。天帝養護由親育子。留為王者即吾身是。父者今白淨王是。母者舍妙是(出度無極集第二卷)。

母人懷妊遇佛願以兒為道三

有一母人懷妊數月。見佛及僧心自計言。我生子如此。使作沙門為佛弟子。月滿生男姝好異眾。及年七歲。家貧但作二人食及三法衣。手持澡瓶將兒詣佛曰。願哀我子使作沙門。佛即聽之。令以瓶洗兒手。應時九龍從瓶口出。吐水灌兒。殘水散兒頭上。化成華蓋。中有師子座。座上有佛。佛笑出五色光。照千億佛剎。還繞佛身從兒頂入。母以飯具上佛。并食其子。發無上道心。十億佛剎六反震動。諸佛自現。以母飯施爾所諸佛及比丘僧。皆得飽足初不損減。兒髮自墮成為沙門。即得立於不退轉地(出十卷譬喻經第三卷)。

老母慳病時見地獄婢行善覩有天堂四

昔王舍城東有一老母。慳貪不信。其婢精進常行慈心。念用二事利益群生。一者不持熱湯泼地。二者洗器殘粒常施人。老母得病有氣息。魂神將之入地獄中。見火車鑪炭鑊湯涌沸刀山劍樹苦楚萬端。老母見問訊是何物。獄卒答曰。此是地獄。王舍城東有慳貪老母。應入其中。老母自知悚然愁悸。小復前行。七寶宮舍妓女百千種種珍異。問此何物。答言。天宮。王舍城東慳貪老母有婢精進命盡生中。老母忽活憶了向事。而語婢言。汝應生天。汝是我婢。豈得獨受汝當共我。婢答之言。脫有此理轉當奉命。但恐善惡隨形不得共受耳。母即不慳貪。大作功德(出雜譬喻經)。

母人為比丘起屋壽終生天手出眾物五

昔維衛佛。從諸比丘六萬二千。初從山出還父王國。國王於城外割地立精舍。諸比丘各得地分。有比丘語左右家。欲請作屋。男子不許。其家

老母手自為之屋得成。十指皆穿。比丘坐中禪定。一定入火光三昧舍現大火。母遙望見。念我作屋尋便已燒何薄福乎。入屋故在。但於火光中見比丘。甚大歡喜。壽終生天。釋迦成佛天命未盡。來下白佛。明日飯佛及聖眾。佛默然受之。波斯匿王又遣請佛。佛曰。已受天請。王曰。未嘗見天人下施。何緣有此。明日遣人候之不見施辦。乃至禺中亦復寂然。王勅備餚饌。若無人為吾當供之。日中天至了不齎食。但將諸天玉女。鼓諸音樂禮佛而住。白曰時到。即舉手巾眾事皆辦。行水既訖。復更舉手。出厨百味甘露在地。手自斟酌眾會皆足。王見驚欣。澡畢白佛。不審此天。宿有何福手出百味福德乃爾。佛為王說。前世手為比丘作屋。從是生天九十一劫。手出眾物福尚未終(出雜譬喻經第一卷)。

母二兒溺死哭知浮者六

母生二子。一不知浮。墮水而終。母都不哭。一知浮亦墮水亡。母悲哭之。人言。前子不哭。後子而哭何耶。母言。前不知浮故其宜也。後者工浮其為枉也(出十卷譬喻經第八卷)。

婦人化婿戶上懸鈴使聞聲稱佛後免地獄七

昔有人不信。婦甚事佛。婦白婿曰。人命無常可修福德。婿無心懶墮。婦恐將來入地獄中。即復白婿。欲懸一鈴安著戶上。君出入時。振鈴作聲稱南無佛。婿曰甚善。如是經久。其婿命終。獄卒扠之擲鑊湯中。扠振鑊作音聲。謂是鈴聲。稱南無佛。獄官聞之。此人奉佛。放令出去。得生人中(出雜譬喻經也)。

瞻婆女人身死闍維於火中生子八

瞻婆國人事六師。初未曾聞佛法僧名。作極惡業。佛於爾時。為眾生故往瞻婆城。時彼城中有大長者。無有繼嗣。共事六師以求子息。於後不久其婦懷妊。長者知已往六師所。歡喜問言。為男為女。六師答言。生必是女。長者愁惱。復有知識來謂長者。先不聞優樓頻螺迦葉兄弟。為誰弟子。六師若是一切智者。迦葉何故捨之從佛。又舍利弗目揵連等。及諸國王頻婆娑羅等諸王夫人。末利夫人。諸國長者須達等。如是諸人皆佛弟子。如來世尊於一切法知見無礙。故名為佛。如來今者近在此住。若欲實知當詣佛所。爾時長者即詣我所。以事問佛。佛言長者。汝婦懷妊是男無疑。福德無比。長者歡喜。六師心嫉以菴羅果和合毒藥持與長者。快哉瞿曇善說其相。汝婦臨月可服此藥。兒則端正產者無患。長者受之與婦令服。服已尋死。六師歡喜。周遍城市唱言。沙門瞿曇記。彼長者婦當生男。今兒未生母已喪命。爾時長者復於我所生不信心。即便殯斂棺蓋焚之。我見此事已顧命阿難。取我衣來吾欲往彼摧滅邪見。爾時六師遙見佛往各相謂言。瞿曇沙門至此塚間欲噉肉耶。未得法眼諸優婆塞各懷愧懼。而白佛言。彼婦已死願不須往。爾時阿難語諸人言。且待須臾。如來不久當廣開闡諸佛境界。佛到。長者難言。所言

無二。兒母已終云何生子。我言長者。卿於爾時都不見問母命脩短。但問所懷為是男女。諸佛如來發言無二。是故當知定必得子。是時死屍火燒腹裂子從中出。端坐火中如蓮華臺。六師見已謂為幻術。長者見已心復歡喜。呵責六師。若言幻者汝何不作。我於爾時尋告耆婆。汝往火中抱是兒來。耆婆前入火聚猶入清涼大河。抱持是兒還詣我所。授兒與我。我受兒已告長者言。一切眾生壽命不定。如水上泡。眾生若有重業果報。火及毒螫並不能害。非我所作。時長者言。善哉世尊。是兒若得盡天命。唯願如來為立名字。佛言。長者。是兒生於猛火中。火名樹提。因名樹提(出大涅槃經第二十八卷)。

摩那祇女懷杅謗佛地即震裂身陷地獄九

佛在舍衛國。無數大眾為說法要。時有外道弟子摩那祇女。宿罪深重身帶木杅以衣覆之。出舍衛城至祇洹寺。遙見世尊與無數眾而為說法。歡喜踊躍不能自勝。今日要當在此眾中毀辱瞿曇。令我師得致供養。乃至眾中而說偈言。此說法人使我此身懷妊有兒。時大眾中多諸外道裸形梵志。信佛者少習邪者眾。聞此女語皆共信用。其信佛者內自思惟。昔佛在宮。捨王重位捐棄婇女。出家學道成最正覺。豈有心與此穢陋之女與從事乎。時釋提桓因在如來後執扇而扇內自思惟。此弊梵女云何乃興此意誹佛。化為白鼠。嚙木杅系斷聲震大。眾無不見者。其中不篤信者皆喤然。此為何聲乃震四遠。其中信佛之人聞此音聲歡喜踊躍。僉然同悅。尋有一人從坐而起。手執木杅語彼女曰。此是汝兒耶。時地自開全身即入阿鼻地獄。時女宗族追慕啼泣不能捨離。不信佛者即起懺悔。其中信者共相告曰。誹謗之報其罪如是。現驗如茲。豈云後世(出摩那祇全身入地獄經)。

婬蕩婦人苦一沙門沙門心至火變為水十

有大迦羅越。財富無數。其子端正黠慧大好經道。出家從師奉行經法。師先令分衛七日。國中有婬蕩家婦。呼令其入。入便閉門前牽沙門。沙門不從。婦大恚。呼婢來鑿作火坑深一丈。使四婢急捉身不得動。臨火坑上。沙門言。且止。我當計校。沙門自念。我入火中為一死耳。此持戒死可得生天。若犯戒死當入泥犁無有出時便入坑中。火化作水至沙門腰。安徐而出(出十卷譬喻經第五卷)。

童女火氣入身懷妊生端正子十一

昔有長者名曰善施。家有未出門女。在家向火。暖氣入身遂便有軀。父母驚怪詰其由狀。其女實對不知所以。父母重問。加諸杖楚其辭不改。遂上聞王。王復詰責辭亦不異。許之以死。女即稱怨曰。天下乃當有無道之君枉殺無辜。我若不良自可保試。見枉如是。王即檢保。如女所言無他增減。語其父母。我欲取之。母對曰。隨意取之。用此死女為。王即內之宮裏。隨時瞻養日月遂滿。產得一男端正姝妙。年遂長大。出家

學道聰明博達。精進不久得羅漢道。還度父母(出分別功德經第五卷)。

女人懷妊口常誦經生兒多智為眾人所宗十二

昔有比丘精進守法。少持禁戒初不毀犯。所可諷誦是般若波羅蜜。其有聞此比丘音聲莫不歡喜。有一小兒厥年七歲城外牧牛遙聞比丘諷誦經聲。即詣精舍禮拜比丘。聽其經言。時說色空。卒聞即解。兒大歡喜。便問比丘。比丘應答不可兒意。是時小兒反為比丘解說其義。昔所希聞比丘歡喜。怪此小兒智慧非凡。時兒即去還至牛所。所牧牛犢散走入山。兒尋其迹追逐求索。時值一虎害此小兒。小兒命終生長者家。夫人懷妊。口便能說般若波羅蜜。從朝至暮初不懈息。其長者家怪。此夫人口為妄語謂呼鬼病。卜問譴祟無能知者。是時比丘入城分衛詣長者門。遙聞其聲心甚喜悅。即問長者。內中誰有說此深經。長者報言。我婦鬼病晝夜妄語口初不息。比丘報言。此非鬼病。但說尊經佛之大道。願得入內與共相見。長者言善。即至婦所。比丘難問反覆披解。即留比丘與作飲食。展轉相謂。夫人懷妊口誦尊經。其音妙好。後日長者復請比丘。悉令詣舍辦飯食具。時夫人出禮眾比丘復為說法。諸有疑難不能及者盡為解說。眾僧歡喜。日月滿足產得男兒。適生叉手長跪說波羅蜜。夫人產已還復如本。長者問言。此為何等。比丘答曰。真佛弟子好養護之。此兒後大當為一切眾人作師。吾等悉當從其啟受。時兒七歲道法悉備。舉眾超絕智度無極。經中誤脫。有所短少。皆為刪定足其所乏。兒母所至輒開化人。長者室家內外大小五百人眾皆從兒學。所開發者八萬四千人。皆發無上正真道。五百比丘聞兒所說盡漏意解志求大乘得法眼淨。是時兒者則吾身是。比丘者迦葉佛是(出度無極集第六卷)。

女人懷妊生四種異物十三

有夫妻二人無子。祠祀天神以求係胤。神即許之。遂便懷妊。生四種物。一者旃檀斗盛米。二者甘露瓶。三者寶囊。四者七節神杖。其人歎曰。吾求兒子更生餘物。便到神所重求所願。神即語言。汝欲得子何物稱益。答曰。子當使令給養吾等。神云。今此米斗用之無盡。甘露蜜瓶食之無減。而消百疾珍寶之囊見無損減。七節神杖以備凶暴。兒子豈能辦此。其人大喜。還家試驗如言不虛。遂成大富不可訾計。國王聞之。即遣眾兵欲往攻奪。其人擎杖飛遊擊敵摧破。強眾皆悉退散。其人歡喜無復憂患(出譬喻經第十卷)。

女人心緣丈夫誤繫兒入井十四

明婬荒之士。寧喪其親族。無息心於婬事。舍衛城邊有一婦人。抱兒持瓶詣井汲水。有一男子顏貌端正。坐井右邊彈瑟自娛。婦女人多欲耽著男子。男子亦樂女人女人迷荒。索繫兒頸懸於井中。尋還挽出。兒時已死。愁憂傷結呼天墮淚。而自說頌。佛集大眾告諸比丘。婬火熾盛能燒善本。婬荒之士不識善惡不別清白不知縛解。斯輩之人遂無慚愧。寧喪

親族分受刑辱。或因姦婬殺害父母兄弟六親。王者所戮死受惡報。生生無極。昔有一人。篤好姦婬。父母所生唯此一子。夜非人時。天陰雷電帶刀持箭欲往婬女村。時母覺知。即捉曉喻。夜既陰闇為人所害。吾宿尠德唯有一子。會遇惡者吾無所恃。子報母曰。去不得復住。母知意正。便向兒處至。即拔刀刺殺其母。即打婬女門。女人應曰。汝是何人以誦答曰。

婬恚諸根羸　為想所謬誤　不慮眾事業　為愚闇覆蓋　今我取母害
折伏猶奴婢　翹立在門外　如客待使役

女人以頌報曰。

咄嗟背恩養　害母種罪災　何忍見汝顏　宜速遠吾家　父母抱育養
為子歷眾苦　害母行地上　地不陷汝殺

男子復報女曰。為汝害母造無邊罪。小見寬恕。為開門暫得言談。便復還家。女人報曰。

寧入投炭爐　從山投幽谷　生犯七步蛇　不與愚從事

男子還家。道逢惡寇為寇所害。入阿鼻獄受罪(出出曜經)。

換貸自取多還少命終為犢十五

昔有長者居富無限。唯有一妹嫁得貧婿。兄數數餉遺。轉欲厭妹來。從兄貸麵。兄言。自往取之。妹便案捺而取。持灑如還。兄亦不覺數數非一。妹命終為兄家作犢子。兄甚愛之養食令肥。當殺祠神。時五百賈客欲從主人舉錢頓息。在外展轉自相問言。卿取幾錢各各說其多少。最後一人言。但益取之。後同不還多少何在。時犢子在邊。便作人語。諸人何以乃生此意。我是主人妹。坐貸麵欺兄。今作牛身來償兄債。時五百賈人。聞其言莫不戰慄。皆不復舉錢而去(出諸經中要事)。

青衣割食施辟支佛立改醜顏得為夫人十六

辟支佛至長者舍乞食。夫人見其形相端正。語辟支佛。若隨我情當設供養。辟支佛言。不得。如夫人所請既不從心。即懷慚忿發遣令去。長者青衣嫌夫人言。何故告人不當之事。取己食分與辟支佛。食竟還房寢息乃覺。垢黑之皮自然脫落。顏容端正殊絕人中。如天玉女。長者驚怪問其本末。即拜為第一夫人(出雜譬喻經第一卷)。

醜婢臨水見他影謂其端正十七

舍衛國內。有富長者。名晨居。家有一婢。字弗尼持。大頭禿髮眼目正青。口鼻丁戾略不類人。常給外役收刈樵草。去家數里有一泉源。既香且甘。婢持瓶取水。時左右舍有一婦。自絞樹上影臨泉中。婢見面像謂是己形。即大瞋罵。我端正乃爾。驅役田園困苦如是。即撲瓶破歸家昇堂。坐於夫人七寶座上流蘇帳中。家大驚怪謂婢狂疾。問之何為。答曰。我於水中自見端正。大家不別獨見賤遇。即與鏡照之。乃見醜形猶生不信。送臨水上見死人影。婢意方解慚愧自分(出十卷譬喻經第七卷)。

經律異相卷第四十五

經律異相卷第四十六(鬼神部)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 阿修羅一
- 乾闥婆二
- 緊那羅三
- 雜鬼四

阿修羅第一

- 羅呵王瞋忉利諸天行其頭上興兵大戰一
- 毘摩質多有女以妻帝釋為女嫉興兵二
- 往昔阿修羅與天戰見帝釋迴車而散三
- 羅睺羅有女帝釋強求起兵攻戰四
- 阿修羅先身厭為水漂願得長大形五

羅呵王瞋忉利諸天行其頭上興兵大戰一

大阿修羅王(長阿鋡經云阿須輪)名曰羅呵。住須彌山北大海之底。水懸在宮上為四風所持(樓炭經云隨風所持)城郭縱廣八萬由旬。內外七重高三千由旬金城銀門園池清涼眾鳥和鳴。去須彌山一萬由旬。身長二萬八千里(餘須輪實形長一由旬衣長二由旬廣一由旬重六銖)亦食揣食洗浴衣服為細滑食。月十五日。入海中央。化其形體。下水著臍上[門@視]須彌指覆日月。日月天子。見其醜形皆大恐懼。無復光明。遊矚之時有自然風。吹門開閉吹地令淨。吹華分散。有五大臣。一名捉持。二名雄力。三名武夷。四名頭首。五名摧伏。侍衛左右。忽自念言。我有威德神力如是。而置忉利王及日月諸天行我頭上。誓取日月以為耳璫。漸大瞋忿加欲捶之。即念。舍摩黎毘摩質多二阿須輪王。及諸大臣各辦兵仗往與天戰。時難陀跋難陀二大龍王。身遶須彌周圍七匝。山動雲布以尾打水。大海湧波上冠須彌。忉利天曰。須輪欲戰矣。海中諸龍迦樓羅鬼持華常樂。二鬼神等各持兵眾從次交鬪。若不如皆奔。四天王宮嚴駕攻伐。先白帝釋。帝釋告上諸天。時炎摩以上遠至他化。無數天眾及諸龍鬼前後圍遶。帝釋命曰。我軍若勝以五繫縛。縛毘摩質多。將還善法堂。我欲觀之。須輪亦曰。我眾若勝以五繫縛。縛帝釋還七葉堂。我欲觀之。一時大戰兵刃交接兩不相傷。但觸身體生於痛惱。帝釋現身乃有千眼。執金剛杵頭出煙焰。須輪見之眾乃退敗。即擒毘摩質多係縛將還。遙見帝釋便肆惡口。帝釋答曰。我欲共汝講說道義耳。壽天千歲少出多減。惡心好鬪而不破戒。大修布施故受此身(出長阿含第二十卷樓炭華嚴大智論略同)。

毘摩質多有女以妻帝釋為女嫉興兵二

毘摩質多者。昔在劫初。諸天入水身生觸樂。精流其中自然成卵。卵生一女其形青黑。入大海中拍水自樂。水精入體即覺有身。乃生一男。九頭頭有千眼口中出火。有九百九十九手八脚。踞于海中食噉淤藍及藕根。取香山乾闥婆神女為妻。容姿美妙色踰白玉。後生一女。端正挺特天地無比。憍尸迦遣使求索。阿修羅言。若能使我乘七寶宮當以相與。帝釋即脫寶冠擬十善報。使阿修羅得坐勝殿。乘六種寶臺而往迎之。置於善法堂上。更為立名曰悅意。諸天輔臣莫不歡喜。後帝釋遊歡喜園。共諸婇女入池遊戲。悅意嫉妬。遣五夜叉還啟其父。父即大瞋。興四種兵往攻帝釋。立大海中踞須彌頂。九百九十九手同時俱作。[打-丁+感]喜見城搖動須彌。四大海水一時波浪。釋提桓因驚怖惶恐靡知所趣。時宮有神。白天王言。過去佛說。般若波羅蜜呪王當誦持。鬼兵自碎。時天帝釋於善法殿集眾燒名香發大誓願。般若波羅蜜是大明呪是無上呪是無等等呪審實不虛。我持此法當成佛道。令阿修羅自然退散。作是語時。虛空中有四大刀輪。自然而下當阿修羅。耳鼻手足一時墮落。令大海水赤如絳珠。時阿修羅即大驚怖。遁走無處入藕孔中(出觀佛三昧經第一卷)。

往昔阿修羅與天戰見帝釋迴車而散三

昔者阿修羅。興兵與天帝共戰。釋提桓因不如。乘千輻寶車怖懼而退。中路見脞娑羅樹。鳥巢有兩子。即勅御者。此樹有二鳥。汝可迴車避之。寧使來害我。勿傷此也。即便迴車。須輪遙見即相謂言。帝釋迴車必欲還戰。不可當也。即便退散天乃得勝(雜阿含經云叢林有金翅鳥巢謂是來戰大怖而走)須輪三事過閻浮提。一者宮殿高廣。二者宮殿莊嚴。三者宮殿清淨(出長阿含經第二十一卷)。

羅睺羅有女帝釋強求起兵攻戰四

過去世時。有阿修羅王。名羅睺羅。生於一女。殊特端正。女德六十四種。無不具足。口吐言氣如優鉢羅華。身出牛頭旃檀之香。面色紅白見者愛樂。時釋提桓因作是念言。此宮諸女多有端正。比須輪女而皆不及。今我集兵往伐取之給我驅使。即召諸天具言此事。諸天啟曰。行可遣執樂神等。手執九十一絃琉璃之琴(胎經云九十九絃)歌我天人受福快樂。即勅執樂天子般遮翼等。嚴駕樂器到婆私呵前彈琴。現意言曰。欲得婆私呵與我給使。若不與者當以兵取。須輪大瞋。我亦有力足相擬逆。般遮翼等即報帝釋。時須輪集兵到須彌山側。壞曲脚天宮。次壞風天宮馬宮莊嚴等諸天宮。乃至四門。帝釋憶本所誦而呪之。須輪兵眾漸漸却退。引四種軍入拘鄰羅池藕莖孔中。有一士夫見之。自念。我狂失性謬覩異事。佛告比丘。此真實也。時釋提桓因集諸天眾從四門出。但見刀鎧弓箭在地。不見須輪眾。轉前進直入阿須輪宮殿。見婆私呵女數千萬眾。不見阿須輪。將諸女眾歸詣忉利宮。時諸阿須輪等求哀歸命。向釋提桓因言。我等愚惑不識佛弟子神力巍巍。我等先祖信奉如來。聞佛有

戒不取他物。今天王釋將我眷屬盡填天宮。非佛弟子之所應行。帝釋聞之悵然不樂。我寧當奉禁不犯偷盜。即還諸女。時阿須輪王以最可愛女奉上帝釋。帝釋即以甘露為報。須輪與天和好。共持如來三歸八戒(出胎經及出譬喻經下卷)。

阿修羅先身厭為水漂願得長大形五

阿修羅前世時。曾為貧人。居近河邊常渡河擔薪。時河水深流復駛疾。此人數為水所漂。既亡所持。身又沒溺。隨流殆死得出。時有辟支佛。作沙門形詣舍乞食。貧人歡喜即施飯食。食訖擲鉢空中飛軒而去。貧人見之因以發願。願我後生身形長大。一切深水無過膝者。以是因緣得極大身。四大海水不能過膝。立大海中身過須彌。手據山頂下觀忉利天(出雜譬喻經第四卷)。

乾闥婆第二

乾闥婆王。住雪山右城。名毘舍離。世界初成有風輪起。名曰莊嚴。造此宮城。城北有七黑山。山北復有香山。在十寶山間。常有伎樂之聲(大智論云是天樂神)山有二窟。一名晝。二名善晝。七寶所成柔軟香潔。猶如天衣。乾闥婆王。從五百乾闥婆止住其中。佛在毘陀山(出在摩竭國北)。釋提桓因告執樂神。般遮翼持瑠璃琴於佛前歌。佛曰。汝能以琴歌稱讚如來。悲和哀婉感動人心。於此聲中云。欲縛淨行沙門涅槃眾義備有。帝釋顧語之曰。當以汝補汝父位。於其類中為最上。以女妻之(出長阿含經大智論)。

緊那羅三

緊那羅(亦云甄那羅也)住須彌山北。過小鐵圍有大黑山。亦在十寶山間。無有佛法日月星辰。由昔布施之力。今居七寶宮殿。壽命甚長。此王本在人中。有大長者興造佛塔。此緊那羅施一剎柱成辦寺廟。復以淨食施於工匠。壽盡作胸臆神。在兩山間。先在人中為大長者居財無量。有一沙門乞食。婦擎飯施之。乃大瞋怒云。此何乞人瞻視我婦。當令此人手脚斷壞。壽終以後受此醜形。八十四劫常無手足。諸天宴會皆悉與乾闥婆分番上下。天欲奏樂。而其腋下污流。便自上天也。有一緊那羅。名頭婁磨琴。歌諸法實相以讚世尊。時須彌山及諸林樹皆悉振動。迦葉在座不能自安。五百仙人心生狂醉。失其神足一時墮地(出菩薩胎經及大智論)。

雜鬼神四

- 鬼神皆依所止為名一
- 餓鬼果報二
- 鬼沽酒語主人令湖中取死人金銀三
- 金床女裸形著衣火然四

- 二鬼負屍拔出手足頭脅從人易之形改心存遇佛得道五
- 金色神指流為甘露并資生物以給行人六
- 毘沙惡鬼食噉人民遇佛悟解七
- 鬼子母先食人民佛藏其子然後受化八
- 屈摩夜叉請佛設房及燈明九
- 魔王嬈目連為說先身為魔事十
- 鬼得他心害怨女人十一
- 波旬嬈固文殊十二
- 餓鬼請問目連所因得苦十三
- 惡鬼見帝釋形稍醜減十四
- 鬼還鞭其故屍十五

鬼神皆依所止為名一

有四大天神一者地。二者水。三者風。四者火。地神自念云。地無水火風。佛曰。地中有水火風。但地大多故得名耳。水火風神皆各同然。佛為說法。皆受五戒為優婆夷。一切人民所居舍宅。皆有鬼神無有空者。街巷道陌屠會市肆及諸山塚。皆有鬼神無有空處。凡諸鬼神皆隨所依即以為名(樓炭經云樹高七尺圍一尺有鬼神)若人初生皆有鬼神隨逐擁護。若人欲死鬼收精氣。行十惡人若百若千共一神護。猶如國王以百千人侍衛一臣(出長阿合經第二十卷)。

餓鬼果報二

若有眾生生餓鬼中。常飢渴故目陷髮長。東西亂走或食嘔吐脂肉膿血屎尿涕唾盪滌餘汁。壽命無量百千萬歲。初不曾聞醬水之名。設復眼見急往趣之。變成猛火膿血。或時不變多人執仗不令得前。或夏降雨至身成火名惡果報。恒河水邊有諸餓鬼。其數五百。於無量歲初不見水。雖至河邊純見流火。飢渴所逼發聲號哭。餓鬼白佛。我等飢渴命將不久。佛言。恒河流水。鬼言。如來見水我常見火。佛言。除汝顛倒令得見水。廣說慳貪過。鬼言。我今渴久雖聞法言都不入心。先可入河恣意飲之。以佛力故即得飲水。佛為說法悉發菩提心。捨諸鬼形。或有餓鬼常被火燒。如劫盡時諸山出火。或有羸瘦狂走毛髮蓬亂以覆其身。或立廁溷邊伺求不淨。或有常求產婦餘血飲之。形如燒樹咽孔如針。若與水飲千歲不飽。或有自破其頭取腦而舐。或有形如黑山鐵鎖鎖頸。叩頭求哀歸命獄卒。或有先世惡口好以麁言加他眾人憎惡見之如讐。以此罪故墮餓鬼中。如是罪報受苦無量(出涅槃大智論)。

鬼沽酒語主人令湖中取死人金銀三

有人以沽酒為業。鬼現來飲酒未雇錢。而告主人言。明日當有一人持花上下白衣帶青縢。縢中有金銀千斤。當於湖中浴卒死不出。汝往取金銀保後無憂。明日主人伺候。見人來入水洗浴上岸著衣洗足却躃地而死。

酒師往取得金銀如數。後日鬼來。主人作食出酒白神言。我見人著衣欲去乃死。何不於水中殺之使得上岸乎。鬼言。我不能殺人病人。我知人壽命衰耗時耳。師曰。天上天下鬼神。知人壽命罪福當至未至。不能活人不能殺人。不能使人富貴貧賤。但欲使人作惡犯殺。因人衰耗而往亂之。語其禍福令人向之設祠祀耳(出十卷譬喻經第六卷)。

金床女裸形著衣火然四

迦夷國王名梵摩達。時出遊獵於曠野。見有一屋(福報經云山邊樹下)即往趣之。中有一女。從求飲食無索不得。王請相見。女都裸形。王解衣與之著體便然。如是至三。王以問女。女答。昔為王妻。王飯沙門又施衣。時諫。但施飯足不復須衣(福報經云割施沙門)故受此罪。王欲令我得著衣者。為我作衣先施沙門及明經者。王求沙門又不能得。可施五戒賢者。賢者呪願云。願令金床女得福無量得著王衣。王問女言。女是何神。答曰。我勝於人。小不及天。故在鬼神道中。捨此命後當生第一天上(出譬喻經出福報經)。

二鬼負屍拔出手足頭脅從人易之形改心存遇佛得道五

昔人遠行獨宿空舍。夜中有鬼擔一死人來著其前。復有一鬼逐來瞋罵。死人我物汝忽擔來。先鬼言。是我物我自持來後鬼言。是死人實我擔來。二鬼各捉一足一手爭之。前鬼言。此有人可問。後鬼即問。是死人誰擔來。是人思惟。此二鬼力大。若實若妄俱不免死。語言。前鬼擔來。後鬼大瞋。捉其人手拔出著地。前鬼取死人一臂柎之。即著如是。兩臂兩脚頭脅舉身皆易。於是二鬼共食所易人身。拭口而去。其人思惟。我父母生身。眼見二鬼食盡。今我此身悉是他肉。我今定有身耶為無身耶。行到佛塔問諸比丘。廣說上事。諸比丘言。從本已來恒自無我。但以四大和合故計為我身。如汝本身與今。無異。諸比丘度之為道。得阿羅漢(出大智論第十二卷)。

金色神指流為甘露并資生物以給行人六

有一鬼神。身體極大有金色手。五指常流甘露。若有行人所須。飲食資生之具。盡從指出恣而與之。目連問言。汝是何天。福報功德奇特乃爾。我非天王梵天王。我是鬼神。乃依某國大城住。為遊行觀看故來至此。目連問言。汝作何善得如此報。答言。彼國大城名曰羅樓。我昔在中作貧女人。又織毛縷囊賣以自活。居計轉貧屋舍壞盡。遂至陌頭。近一大富好施長者家織縷自活。日欲中時。若有沙門婆羅門。持鉢乞食。問我言。某長者家為在何處。我心真實無有虛妄。歡喜舉手指示其家言。往彼處去。日時欲過勿復餘求(出雜藏經)。

毘沙惡鬼食噉人民遇佛悟解七

跋祇國界有鬼。名為毘沙(承事勝已經云阿羅婆)極為兇暴。殺民無量。日恒數十人。皆共集而作是說。可避此國遠至他界。鬼知人心便語彼人曰。汝等莫離此處至他邦土。終不免吾手。卿日日持一人祠吾便不擾汝。時跋祇人日取一人祠。彼惡鬼。是鬼噉人骨滿溪谷。時有長者子名曰善覺。在彼住止饒財多寶。兒名那優羅。唯有一子。有此限制。兒那優羅應祠是鬼。父母沐浴此小兒竟。與著好衣至彼鬼所。啼哭喚呼不可稱計。並作是說。諸鬼地神皆共證明。我此一子願擁此兒使得免濟。釋提桓因及梵天王。諸如來弟子漏盡阿羅漢及辟支佛。乃至如來最尊最上良祐福田。無有出如來上者。當鑒察之。願如來當照此至心。以兒付鬼便退而去。爾時世尊以天眼耳徹聽聞見。以神足力至雪山北。入鬼住處結跏趺坐。是時小兒至鬼住處。遙見如來光色炳然。三十二相八十種好莊嚴其身。發歡喜心向於如來。謂是惡鬼隨意食之。是時世尊告曰。那優羅如汝所言。我今是如來至真等正覺。故來救汝及降此鬼。那優羅歡喜頭面禮足。時世尊與說妙義。即於座上諸塵垢盡得法眼淨。彼已見法歸佛法聖眾而受五戒。惡鬼還本處遙見世尊端坐不動。便興恚怒。雨雷電霹靂或雨刀劍。未墮地頃。如來化作優鉢蓮華。復雨種種神力如來隨而降之。沙門衣毛不動我今當往問其深義。設不能報我者當持汝兩脚擲著海南。佛言。若人非人無能持我兩脚擲海南者。欲問便問。時鬼問曰。何等是故行新行及行滅。世尊告曰。當知眼是故行。曩時所造緣病成行。耳鼻口身意此是故行。今身所造身三口四意三此是新行當知故行滅盡。更不興起復不造行。能取此行永已不生永盡無餘。是謂行滅。鬼白佛言。我今極飢歸我小兒。世尊告曰。昔我為菩薩時。有鴿投我我尚不惜身命救彼鴿厄。況今已成如來。能捨此兒令汝食噉。汝迦葉佛時曾作沙門。修持梵行後復犯戒。生此惡鬼。爾時惡鬼承佛威神。便憶曩昔所造諸行。即至世尊所。頭面禮足。我今愚惑不別真偽。乃生此心向於如來。唯願世尊受我懺悔。如是三四。世尊告曰。聽汝悔過。為說妙法。時彼惡鬼手擎數千兩金奉上世尊。我今以此山谷。施招提僧。唯願世尊與我受之。世尊即受。便說此偈。

園果施清淨　及作木橋梁　設能造大船　及諸養生具　晝夜無懈怠
獲福不可量　法義戒成就　終後生天上

鬼曰更有何教。世尊告曰。捨汝本形著三法衣而作沙門。入跋祇城處處教令。如來出世不度者度。令得解脫。最尊最上良祐福田。今度那優羅小兒。及降毘沙惡鬼。汝等可往至彼受化。時毘沙鬼於跋祇國。唱如是言。是時長者善覺。聞此語已喜躍不勝。將八萬四千人民之眾。至世尊所(出增一阿含第八卷)。

鬼子母先食人民佛藏其子然後受化八

昔有一母人。甚多子息。性惡無慈。喜盜人子殺而噉之。亡子家不知誰取。行巷涕哭如是非一。阿難出行輒見涕哭。還已共議。傷亡子家。佛

知故問。眾何等議。阿難白佛言。向行分衛見人涕哭。問之皆云。生亡我子不知屍處。佛便為阿難說。是國中盜人子者非凡人。是鬼子母。今生作人喜盜人子。是母有千子。五百子在天上。五百子在人間。千子皆為鬼王。一王者從數萬鬼。如是五百鬼王在天上嬈諸天。五百鬼王在世間嬈帝王人民。如是五百鬼王天亦無奈何。阿難言。鬼子母在是國中。寧可勅令不盜人子耶。佛言大善。阿難言。用何方便。佛語阿難。到是母所伺其出已。斂取其子著精舍中。即往伺斂得十數子逃精舍中。母來不見便捨他子不敢復殺。行索其子遍不知處。行道啼哭如是十日。母便自擗自撲仰天大呼不復飲食。佛遣沙門往問。即報沙門言。亡多子故哭耳。沙門又言。汝欲得子不。報言欲得。沙門言。汝審欲得者可往問佛可得汝子。母聞是語。歡喜意解便到佛所。為佛作禮。佛即問母。何為啼哭。母報言。亡我子故。佛問。汝捨汝子。至何所而亡汝子。母即默然。如是至三。母知盜人子為惡。即起作禮。我愚癡故。佛復問言。汝有子愛之不母言。我有子坐起常欲著我傍。佛復問曰。汝有子知愛之。何以日行盜他人子。他人有子亦如汝愛之。亡子之家亦行道啼哭如汝。汝反盜人子殺噉之。死後當入太山地獄。汝寧欲得汝子不。母即頭面著地。願佛哀我。佛言。汝子若在汝寧能自悔不。若能自悔當還汝子。母言。我能自悔。佛言。汝能自悔當作何等自悔。母言。聽佛教戒當隨佛語。佛還我子佛言。審如汝語。授以五戒。汝有千子皆為說名。五百子在天上。五百子在世間。嬈諸天人。汝子作鬼王將數萬鬼。如是不可勝數。或稱樹木神地神水神及船車。舍宅闇冥夢寤恐怖怪異種種之神。如是矯稱令人祠祀。烹殺飲食不能護活人命。但增益罪。是愚癡人不知坐思貧窮。鬼子母聞佛說。一心自悔。即得須陀洹道。長跪白佛言。願佛哀我。欲止佛精舍傍。我欲呼千子。我欲使與佛結要。我欲報彼天上天下人恩。佛言善哉。如汝有是意大善。佛言。便止佛精舍邊。其國中人民無子者。來求子當與之子自在所願。我當勅子往使隨護人。不得復妄嬈之。欲從鬼子母求願者。名浮陀摩尼鉢。姊名炙匿。天上天下鬼屬是摩尼鉢主。四海內船車治生有財產皆屬摩尼鉢。摩尼鉢與佛結要受戒。主護人財物。炙匿主人若有產生當往救之(出鬼子母經)。

屈摩夜叉請佛設房及燈明九

時屈摩夜叉鬼。來詣佛所稽首佛足退住一面。時屈摩鬼白佛言。世尊。今請世尊與諸大眾。於此夜宿。世尊默然。是時屈摩化作五百重閣房舍臥具坐床踞床。俱執褥枕各五百具。又化作五百燈明。無諸烟焰(出雜阿含第四十九卷)。

魔王嬈目連為說先身為魔事十

爾時目連夜冥經行。弊魔自化徹影入目連腹。目連入三昧觀察其原。即語弊魔。且出且出。莫嬈佛弟子。長夜獲苦。魔心念言。今此沙門未會見我。橫造妄語。正使其師尚不知吾。況其弟子。目連報曰。吾復知卿

即心所念。魔即恐懼已覺我矣。即化徹身出住其前。目連告魔。過去之世拘樓秦佛時。我曾為魔。號曰瞑恨。吾有一姊。名曰黵黑。汝為作子。以是知之是吾姊子。時佛出世。有二弟子。一曰洪音。二曰知想。何故名曰洪音。住於梵天磬咳出聲。聞于三千。知想者獨處閑居坐山樹下。三昧正受牧牛羊人擔薪負草。各相謂言。此已命過共闍維之。知想從三昧起入城分衛(出弊魔試目連經又出中阿含經第二十七卷)。

鬼得他心害怨女人十一

曾有一女人。為餓鬼所持。即以呪術而問鬼言。何以惱他女人。鬼答之言。此女人者是我怨家。五百世中而常殺我。我亦五百世中。斷其命根。若彼能捨舊怨之心。我亦能捨。爾時女人作如是言。我今已捨怨心。鬼觀女人雖口言捨。而心不放。即斷其命(出抄毘婆沙經第八卷)。

波旬嬈固文殊十二

魔設供饍。化作四萬比丘。著垢弊敗衣執持破鉢。胸背悉露面貌醜惡。跛蹇痤僂心懷遑懅。受種種食。文殊令諸化人鉢食常滿。揣食在口饎不得納。身體不安自然躃地問於魔言。比丘何故不食。魔曰。是欲死矣。文殊曰。無毒之人豈復行垢毒耶。有婬怒癡人是則為毒。因為說法我無是毒。五百諸天從魔來者。發菩提心(出文殊現寶藏經下卷)。

餓鬼請問目連所因得苦十三

目連至恒河邊。見五百餓鬼群來趣水有守水鬼。鐵杖驅逐令不得近。於是諸鬼逕詣目連。禮目連足各問其罪。一鬼曰。我受此身常患熱渴。先聞恒河水清且涼。歡喜趣之沸熱壞身。試飲一口。五藏燋爛臭不可當。何因緣故受如此罪。目連曰。汝先世時作相師。相人吉凶。少實多虛。或毀或譽。自稱審諦以動人心。詐惑欺誑以求財利。迷惑眾生失如意事。

復有一鬼言。我常為大狗利牙赤白來噉我肉遺有骨在。風來吹起。肉續復生。狗復來噉。此苦何因。目連答言。汝前世時作天祠主。常教眾生殺羊以血祠天。汝自食肉。是故今日以肉償之。

復有一鬼言。我常身上有糞周遍塗漫。亦復噉之。是罪何因。目連答曰。汝前世時作婆羅門。惡邪不信。道人乞食取鉢盛滿糞以飯著上持與道人。道人持還以手食飯。糞污其手。是故今日受如此罪。

復有一鬼言。我腹極大如甕。咽喉手脚其細如針。不得飲食。何因此苦。目連答言。汝前世時作聚落主。自恃豪貴。飲食縱橫輕欺餘人。奪其飲食飢困眾生。

復有一鬼言。我常趣溷欲噉食糞。有大群鬼捉杖驅我不得近廁。中爛臭飢困無賴。何因如此。目連答言。汝前世時作佛圖主。有諸白衣供養眾僧供辦食具。汝以麁供設客僧。細者自食。

復有一鬼言。我身上遍滿生舌。斧來斫舌。斷續復生如此不已。何因故爾。目連答言。汝前世時作道人。眾僧差作蜜漿。石蜜塊大難消。以斧斫之。盜心噉一口。以是因緣故還斫舌也。

復有一鬼言。我常有七枚熱鐵丸直入我口。入腹五藏燋爛。出還復入。何因故受此罪。目連答言。汝前世時作沙彌。行果瓜子到其師所。敬其師故偏心多與實長七枚。

復有一鬼言。常有二熱鐵輪。在我兩腋下。轉身體燋爛。何因故爾。目連答曰。汝前世時。與眾僧作餅。盜心取兩幡俠兩腋底。

復有一餓鬼言。我丸極大如甕。行時擔著肩上。住則坐上進止患苦。何因故爾。目連答曰。汝前世時作市令。常以輕秤小斗與。重秤大斗取。常自欲得大利於己侵剋餘人。

復有一鬼言。我常兩肩有眼。胸有口鼻。常無有頭。何因故爾。目連答言。汝前世時恒作魁膾。弟子若殺罪人時。汝常有歡喜心。以繩著結挽之。

復有一鬼言。我常有熱鐵針。入出我身受苦無賴。何因故爾。目連答言。汝前世時作調馬師。或作調象。馬難制。汝以鐵針刺脚。又時牛遲亦以針刺。復有一鬼言。我身常有火出燃懊惱。何因故爾。目連答言。汝前世時作國王夫人。更一夫人王甚幸愛。常生妬心伺欲危害。值王臥起去。時所愛夫人眠猶未起著衣。即生惡心正值作餅。有熱麻油即以灌其腹。腹爛即死。

復有一鬼言。常有旋風迴轉我身。不得自在隨意東西。心常惱悶。何因故爾。目連答言。汝前世時常作卜師。或時實語或時妄語。迷惑人心不得隨意。

復有一鬼言。我身常如塊肉。無有脚眼耳鼻等。恒為蟲鳥所食。罪苦難堪。何因緣故。答言。汝前世時常與他藥墮他兒胎。

復有一鬼言。常有熱鐵籠。籠絡我身。燋熱懊惱。何因受此。目連答言。汝前世時常以羅網掩捕魚鳥。

復有一鬼言。我以物自蒙籠頭。亦常畏人來殺我。心常怖懼不可堪忍。何因故爾。答言。汝前世時婬犯外色常畏人見。或畏其夫捉縛打殺。或畏官法戮之都市。恐怖相續。

復有一鬼問曰。我受此身。肩上常有銅瓶滿中洋銅。手捉一杓取自灌頭。舉體燋爛。如是受苦無數無量。有何罪咎。答言。汝前世時出家為道。僧典飲食。以一蘇瓶私著餘處。有客道人來者不與之。去已出蘇行與舊僧。此蘇是招提僧物一切有分。此人藏隱雖與不等。由是緣故受此罪也(出雜藏經)。

惡鬼見帝釋形稍醜滅十四

釋提桓因在普集講堂。與玉女共相娛樂。是時有天子白帝釋言。瞿翼當知。今有惡鬼在尊座上。今三十三天極懷恚怒鬼轉端正顏貌勝常。釋提桓因便作是念。此鬼必是神妙之鬼。往至鬼所相去不遠。自稱姓名。吾是釋提桓因諸天之主。惡鬼轉醜可惡。稍稍滅(出增一阿含經第二十七卷)。

鬼還鞭其故屍十五

昔外國有人死。魂還自鞭其屍。傍人問曰。是人已死何以復鞭。報曰。此是我故身。為我作惡。見經戒不讀。偷盜欺詐犯人婦女。不孝父母兄弟。惜財不肯布施。今死令我墮惡道中。勤苦毒痛不可復言。是故來鞭之耳(出譬喻經)。

經律異相卷第四十六

經律異相卷第四十七(雜獸畜生部上)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 師子一(七事)
- 象二(四事)
- 馬三(一事)
- 牛四(四事)
- 驢五(二事)
- 狗六(四事)
- 鹿七(二事)
- 銘陀八(一事)
- 狐九(一事)
- 狼十(一事)
- 獼猴十一(六事)
- 兔十二(一事)
- 猫狸十三(二事)
- 鼠十四(一事)

師子第一

- 師子王為獼猴欲捨命一
- 師子王有十一勝事二
- 師子食象哽死木雀為拔得蘇後遂忘恩三
- 師子有二子為獵者所殺同生長者家得道四
- 師子王墮井為野干所救五
- 師子虎為善友野干兩舌分身喪命六
- 師子等十二獸更次教化七

師子王為獼猴欲捨命一

過去世有一師子王。在深山窟。常作是念。我是一切獸中之王。力能視護一切諸獸。山中有二獼猴。共生二子。時二獼猴問師子王。王若能護一切獸者。我今二子以相委付。我欲餘行求覓飲食。時師子王即便許之。獼猴留寄二子即捨而行。是時山中有一鷲鳥王。厥名利見。師子王睡。即便搏取獼猴二子處嶮而住。師子王即寤。即白鷲言。

我今固請　見為放之　莫令失信　生我慚愧

鷲王答曰。

我能飛行空　無畏過汝界　若欲護二子　為我應捨身

師子又曰。

我今護二子　捨身如枯草　護身而妄語　云何得稱行

說是偈已。即至高處欲捨其身。鷲王復曰。

為他能捨身　則受無上樂　施汝獼猴子　願王莫自害(出大集經第三卷)

師子王有十一勝事二

師子王生住深。山大谷。方頰巨骨身肉肥滿。頭大眼長眉高而廣。口鼻淵方齒齊而利。吐赤白舌雙耳高上。脩脊細腰其腹不現。六牙長尾髦髮光潤。自知氣力牙爪鋒芒。四足據地安住巖穴振尾出聲。若有能具如是相者。當知真師子王。晨朝出穴嚬申欠呿。四向顧視發聲震吼。為十一事。一壞實非師子詐作師子。二自試身力。三令住處淨。四使子知處。五群輩無怖心。六睡者得覺。七諸獸不敢放逸。八諸獸得來依附。九調大香象。十告諸子息。十一莊嚴眷屬。凡聞師子吼。水住深潛。陸行藏穴。高飛墮落。厩中香象振鎖斷絕失糞怖走。猶如野干。雖學師子至百千年。終不能作師子之吼。若師子子生始三歲則能哮吼。香山徑有師子。飛鳥走獸絕跡不闚。一切畜生。師子為最(出涅槃經第二十五卷又大智論)。

師子食象哽死木雀為拔得蘇後忘恩三

佛告目連。勇智菩薩。昔光明佛時作師子王。吾為梵志修於淨行。時師子王晨朝踑立八處不動。奮迅身體便大雷吼。走獸伏住飛者墮落。然後乃起。曠野山澤案行屬界求覓群獸。逢一象王殺而食之。脾骨哽咽死而復蘇時告木雀。與吾挽骨。後若得食當相報恩。木雀聞之入口盡力拔骨乃得去之。時師子王後日求食大殺群獸。木雀在側少多求恩師子不報。佛告目連。時師子王。以此偈報木雀曰。

吾為師子王　以殺為家業　噉肉飲其血　以此為常饍　汝既不自量
脫吾牙出難　還得出吾口　此恩何可忘

爾時木雀。復以此偈。報師子曰。

我雖是小鳥　識恩不惜死　但王不念恩　自負言誓重　若能小寬弘
少多見惠者　沒命終不恨　不敢有譏論

時師子王竟不報恩。捨之而去。木雀自念。吾恩極重反見輕賤。今當追逐要伺子便。不報恩者終不行世。在在處處終不相離。時師子王復殺群獸恣意食之。飽便睡眠無所畏懼。時彼木雀飛趣師子。當立額上盡其力

勢喙一眼壞。師子驚起左右顧視不見餘獸。唯見木雀獨在樹上。時師子王語木雀曰。汝今何為乃壞吾目。時彼木雀以偈報之。

重恩不知報　乃復生害心　今留汝一目　此恩何可忘　汝雖獸中王
所行無反復　從是各自休　莫復作緣對

師子王者今勇智菩薩是。時木雀者今目揵連是(出菩薩瓔珞經第九卷)。

師子有二子為獵者所殺同生長者家得道四

昔者山中有兩比丘。閑居行道逮得神通。去之不遠有一師子。產生二子養之稍大。欲行所索。持子寄二道人。窟邊求食。或五日一還見。與道人相近附。遂復捨行。日月轉久。後日道人各行不在。獵師遇之意欲射之。狩迸入林。獵師意念。此數與道人相依附。吾作道人被服。爾乃得之。巖窟中有留袈裟法衣。獵師著往師子所。師子謂是道人。喜共赴之。獵師打殺剝取其皮作裘賣之。道人行還不見師子子求之不得。定意觀之知為獵客所殺。便以神足追而奪之。以為坐褥恒摩娑呪願欲令解脫。未久復坐禪。觀知趣何道。而為中國大長者家作雙生子。始入胞胎其母未覺。道人問。長者何所渴乏。曰吾家大富唯乏兒子。道人語之。吾能使有兒。長者大喜爾為蒙恩。道人語曰。若必得子何以報恩。曰長大便當給道人為弟子。道人呪願而去。從是遂覺有身。後生二男相似如一。年轉八歲復來到其家。兒有宿緣自然愛敬。道人語長者。識昔約不。長者以本誓不得已。便以二兒各施道人。道人將作沙彌。精進未久亦皆得道。亦恒自坐皮上試共坐禪。觀此皮神所生。便知是己身故皮。展轉相照便共至師前。禮足謝曰。實蒙大恩(出譬喻經第五卷)。

師子王墮井為野干所救五

過去世近雪山下。有師子獸王。作五百師子主。是師子王後時老病瘦眼闇。在諸師子前行墮空井中。五百師子皆捨離去。爾時有一野干見師子王。作是念言。我所以得此林住安樂飽滿肉者由師子王。今墮急處云何當報。時此井邊有渠水流。野干即曰。以脚通水。水入滿井師子浮出。時此林神而說。偈言。

身雖自雄健　應以弱為友　小野干能救　師子王井難

佛言師子王者我身是。五百師子者諸比丘是。野干者阿難是(出十誦律雜誦卷第一)。

師子虎為善友野干兩舌分身喪命六

過去世雪山下有二獸。一名好毛師子。二名好牙虎。共為善知識閉目相

舐。是二獸恒得濡好肉噉。去是不遠有兩舌野干。作是念。我至二獸邊言。我與汝作第三伴。汝聽我入。師子虎言。隨意兩舌野干噉二獸殘肉身體肥大。作是念。是好毛師子好牙虎。共為善知識更相親愛。閉目相舐恒噉好肉。或時不得必當噉我。我先方便令心別離。語師子言。虎有惡心於汝師子。食噉皆是我力。師子言。云何得知。兩舌野干答言。虎明日見汝時閉目舐汝毛者當知惡相。往語虎言。師子於汝有惡心言。有所食噉皆是我力。虎言。云何得知。答言。明日見汝時閉目舐汝毛者當知惡相。是二知識中。虎生畏想。是故先往師子所言。汝於我生惡心耶。師子言。誰作是語。答言。兩舌野干。好毛復問言。汝於我亦生惡心耶。虎言不也。虎語師子言。汝若有是惡語者不得共作善知識。好毛言。是兩舌野干有如此言。云何不喜共我住耶。即說偈言。

若信是惡人　則速別離去　當懷其愁憂　瞋恨不離心　凡為善知識
不以他語難　不信欲除者　若信他別離　則為其所食　不信兩舌者
還共作和合　所懷相向說　心淨言柔濡　應作善知識　和合如水乳
今此弊小蟲　生來性自惡　一頭而兩舌

虎與師子驗事實已。共捉野干破作二分(出十誦律二誦第三分又出四第九分文同又出彌沙塞律第六卷又出野干兩舌經略同)。

師子等十二獸更次教化七

閻浮提外東方海中。有琉璃山名之為潮。高二十由旬具種種寶。其山有窟名種種色。是昔菩薩所住之處。縱廣一由旬高六由旬。有一毒蛇在中而住修聲聞慈。復有一窟名曰無死。高廣亦爾。是昔菩薩所住之處。中有一馬修聲聞慈。復有一窟名曰善住。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一羊修聲聞慈。其山樹神名曰無勝。有羅剎女名曰善行。各有五百眷屬圍繞是二女人常共供養如是三獸。

閻浮提外南方海中。有頗梨山高二十由旬。有窟名曰上色。縱廣高下亦復如是。亦是菩薩昔所住處。有一獼猴修聲聞慈。復有窟名口誓願。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一鷄修聲聞慈。復有一窟名曰法林。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一犬修聲聞慈。中有火神。有羅剎女名曰眼見。各有五百眷屬圍遶。是二女人常共供養是三鳥獸。

閻浮提外西方海中。有一銀山名菩提月。高二十由旬。中有一窟名曰金剛。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一猪修聲聞慈。復有一窟名香功德。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一鼠修聲聞慈。復有一窟名高功德。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一牛修聲聞慈。山有風神名曰動風。有羅剎女名曰無護。各有五百眷屬圍遶。是二女人常共供養如是三獸。

閻浮提外北方海中。有一金山名功德相。高二十由旬。中有一窟名為明

星。廣一由旬。高六由旬。昔菩薩處中。有一師子修聲聞慈。復有一窟名曰淨道。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一兔修聲聞慈。復有一窟名曰喜樂。高廣亦爾。昔菩薩處中。有一龍修聲聞慈。山有水神名曰水天。有羅刹女名修慚愧。各有五百眷屬。是二女人常共供養如是三獸。是十二獸晝夜常行閻浮提內。人天恭敬功德成就。已於諸佛發深重願。一日一夜常令一獸遊行教化。餘十一獸安住修慈。周而復始。七月一日鼠初遊行。以聲聞乘教化一切鼠身眾生。令離惡業勸修善事。如是次第至十三日。鼠復還行。乃至盡十二月至十二歲亦復如是。故此土多有功德。乃至畜獸亦能教化。是故他方菩薩。常應恭敬此佛世界。若有比丘比丘尼優婆塞優婆夷。欲得覩見是十二獸。欲得大智大定大神通力。欲受一切所有典籍。欲增善法。是人當以白土作山。縱廣七尺高十二尺。種種香塗金薄。薄之四邊周匝二十尺。所散瞻婆華當以銅器盛。諸種種非時之漿置之四面。清淨持戒日三洗浴。敬信三寶。離山三丈正東而立。誦如是呪住十五日。當於山上見初月像。爾時則知見十二獸。見已所願隨意即得。若能修行苦行即得。眼見是十二獸諸菩薩等。或作天像或作鬼像鳥獸之像。遊閻浮提教化如是種種眾生。若為人天調伏眾生。是不為難。若為畜生調伏眾生乃是為難(出大集經第二十四卷)。

象第二

- 象王供養佛一
- 善住象王為轉輪王寶二
- 象子生而失母為仙人所養三
- 象獼猴鷄相敬四

象王供養佛一

佛獨遊行欲求靜寂。到憍薩羅國波利羅耶娑羅林寶樹下住。時五百群象。象行王恒在後。常得濁水殘草。厭其群眾獨來樹下。遙見佛。以鼻拔草蹈地令平。以鼻盛水灑塵草鋪為座。屈膝請佛令坐。三月供養。佛知象意。即受其請。而說頌曰。

獨善無憂　如空野象　樂戒學行　奚用伴為

時象王。取好藕根淨洗。授與世尊。如是三月(出僧祇律第十一卷)。

善住象王為轉輪王寶二

有一象王名曰善住。身體純白七處平住。力能飛行。赤首身毛雜色。六牙纖傭。與八千象王以為眷屬。住香山娑羅樹下。娑羅樹王有八千浴池。縱廣五十由旬。其水清涼以七寶為塹。五色雜華集間池內。象王念欲入池八千象應念而至。有持蓋扇者。有唱讚前導者。或有象王洗尾背

髀足者。有拔華根與王食者。有採華散王上者。八千象亦復洗浴共相娛樂。大小便利。諸夜叉鬼。移山林外(十誦律云阿耨達池有善住象王宮殿。增一阿含云。香積山側有八萬四千白象)釋提桓因所乘最下象。轉輪聖王乘之名曰象寶。金壁山中有八萬巖窟。八萬象止憩其中。身色純白。頭有雜色。口有大牙。齒間金填(出長阿含經第十八卷又出增一阿含樓炭經)。

象子生而失母為仙人所養三

往古世時。有閑居一象。生一子。墮地未久。其母終亡。去彼不遠仙人所處。有威神。功德具足志懷大哀。遙見象子。其母命終纔能舉足。東西遊洋不能自活。即時扶還所止。飲食之以水果。彼時象子。仁和賢善功德姝妙。樂于義理。既得安隱無有憂患。於時仙人臥起同處。身形轉長衣毛鮮澤。則以水漿供養仙人其好果菰。然後自食。仙人愍哀觀其德行愛念如子視之無厭。時天帝釋即時發念。今此仙人志在象子倚念無厭。今我寧可別令愁感。時帝釋示現試之化使象子忽然死地而血流離。仙人見象子死愁憂涕泣。餘仙人聞來諫曉之。不能除憂。時天帝釋住在虛空。為仙人說偈。時天帝釋令象子活。仙人大喜。仙人者和尚身是。象子死者弟子是也。天帝釋者則我身也(出佛說弟子過命經)。

象獼猴鷄共為親友四

過去世時有三親友。象獼猴鷄鳥(僧祇律第二十七今云巔多鳥)依一尼拘律樹止。共相謂言。既同依此木宜相恭敬。獼猴鷄鳥共問象言。汝憶事近遠。象言。我憶小時行此樹齊畫我腹。象與鷄問獼猴。獼猴答言。我憶小時此樹舉手及頭(僧祇律云尿此樹上)象語獼猴。汝生年多我。象與獼猴共問鷄。鷄言。我憶雪山右面有大尼拘律樹。我食果子來此便轉即生此樹。共相謂言。鷄生年多。象以獼猴置其頭上獼猴。以鷄置其肩上。共遊人間。從村至村。從邑至邑。常說偈言。

若人能懷法　必敬諸長老　現世有名譽　將來生善道

時鷄說如是法。人皆隨從法訓流布。汝等於我法中出家。應更相恭敬。如是佛法流布。自今已去聽隨長幼恭敬禮拜迎逆問訊。時諸比丘聞佛教。諸比丘長幼相次恭敬禮拜(出四分律四分第三卷又出十誦律七法第六卷)。

馬第三

婆羅醯馬王為轉輪王寶一

馬王名婆羅醯。宮殿住在大海洲內明月山。有八千馬以為眷屬。若轉輪聖王出世。取最小者以為馬寶。給王乘御(出增一阿含經)。

牛第四

- 大牛被賣走趣如來佛說往緣死得生天一
- 水牛王忍獼猴辱二
- 二牛挽力牽載三
- 迦羅越牛自說前身負一千錢三反作牛不了四

大牛被賣走趣如來佛說往緣死得生天一

有遠方民。將一大牛。肥盛有力。賣與舍衛城人。城人買欲以殺之。在城門中與佛相遇。牛遙覩佛。心中悲喜。絕鎖馳走人不能制。直趣如來屈前兩脚。悲鳴淚出口自說言。大聖難遭億世時有。唯垂弘慈一見濟拔。佛言甚可。久遠世時有轉輪王。王四天下千子七寶。治以正法人民安寧。又有四德。視民如子民奉猶父。沙門梵志長者人民身未曾病。四域宣德徹于十方。王出遊四方還欲向宮。逢見親舊為債主所拘云。負五十兩金繫縛著樹。王七寶侍從停住不進。怪之所以。報云。解之令去當倍卿百兩。即解還家。其人數數詣王宮門求金不得。債主已避不知處所。遂在生死。周旋往來無數之劫。不償所負至于今生。墮此牛中。債主所賣數千兩金。時轉輪王則我身是。其債主者此牛是也。佛為聖王保之為償。竟不與之故來求救。佛告牛主。佛為卿分衛倍償牛直。牛主不肯還欲得牛。佛復重告。吾稱牛身斤兩輕重與若干金。故不肯與矣。時釋梵天悉俱來下。白佛。萬千億兩吾等致之。將牛到祇洹中。七日命盡忽生天上。尋自憶識念佛功德。來還人間散華供養報佛恩德。佛為說經。即得立不退地無生法忍。乃還天上(出生經第四卷)。

水牛王忍獼猴辱二

過去世有異曠野。水牛王頓止其中。遊行食草而飲泉水。時水牛王與眾眷屬。有所至湊獨在其前。顏貌姝好威神巍巍名德超異忍辱和雅行止安詳。有一獼猴住在道邊。見水牛王與眷屬俱。心懷忿怒興于嫉妬。便即揚塵瓦石。而坌擲之輕慢毀辱。水牛默然受之不報。行過未久。更有一部水牛王尋從後來。獼猴見之亦復罵詈揚塵打擲。後一部眾。見前牛王默然不校效之。忍辱不以為恨。是等眷屬過去。未久有一水牛犢。尋從後來。隨逐群牛。於是獼猴逐之罵詈毀辱輕易。水犢懷恨不喜。見前等類忍辱不恨。亦復學效。去道不遠大叢樹間。時有樹神遊居其中。問水牛王。卿等何故覩此獼猴猥見罵詈。而反忍辱默聲不應。水牛報曰。

彼輕辱毀我　又當加施人　彼人當加報　爾乃得扞患

諸水牛過去。未久有諸梵志。大眾群輩仙人之等從道而來。時彼獼猴亦復毀辱。諸梵志等。即時捕捉脚蹋殺之。於是樹神即復頌曰。

罪惡不腐朽　殃熟乃遭患　罪惡今已滿　諸殃不爛壞

佛言。水牛王即我是。為菩薩時墮罪為水牛中王。常行忍辱修四等心。慈悲喜護自致得佛(出生經第四分)。

二牛挽力牽載三

過去有人有一黑牛。復一牛主為財物故唱言。誰牛力勝我牛者。若勝我輸物。若不如者輸我物。時黑牛主答言可爾。時載重物繫牛車左。共相輕笑謂。黑曲角。以杖擊之牽是車去。牛聞之即失色力不能挽重上坂。時黑牛主大輸財物。是得物人後復更唱令。黑牛聞聲即語其主。可答言爾。主言不能。所以然者。汝弊黑牛大輸我物。今復作者輸我物盡牛語主言。先在眾前形相輕我。聞惡名故即失色力。是故不能挽重上坂。今授主語莫出惡言。在他前時便語我言。汝是好黑大牛生來良吉角廣且直。主受牛語。即便洗刷塗角著好華鬘。繫車右邊柔濡愛語。大吉黑牛廣角大力。牽是車去。是牛聞是柔濡愛語故即得色力。牽重上坂。時黑牛主先所失物更再三倍得之。是牛主得大利己心甚歡喜。即說偈曰。

載重入深轍　隨我語能去　是故應濡語　不應生惡言　濡語有色力
是牛能牽重　我獲大財物　身心得喜樂

佛語諸比丘。畜生聞形相語。尚失色力。何況於人(出十誦律二誦第三卷出四分律初分第七卷略同)。

迦羅越牛自說前身負一千錢三反作牛不了四

昔大迦羅越出錢為業。有二人舉錢一萬。至時還之。後日二人復相謂言。我曹更各舉十萬。後不還之。有牛繫在籬裏。語二人言。我先世時坐負主人一千錢不還債。三反作牛猶故不了。況君欲取十萬罪無畢時。二人驚怪會天已曉。主人出。二人說牛之語。主人即便放著群中不復取用。呪願。此牛自今已後莫復受此畜生身。若有餘錢一以布施。牛後命過得生人中(出譬喻經)。

驢第五

有驢挽車日行五百里一

昔人有驢以用挽車。日行數百里。語其弟言。莫放驢使與驢相見。弟怪之自思念云。夫智者相得其則歡喜。諛諂相得其亦歡喜。物類相得無不歡喜。弟故放驢令得相見。亦不嗚咽相嚊不食。兄後駕之便臥不行。兄便大瞋截其毛耳。驢得苦痛復行如前。驢語大家。君弟放我見惡知識。我問何肥。答曰。給陶家公邊負土。得惡道便臥不行。公便步擔土去。放我道邊食。得食好草歸得薟穀。是以得肥。問何瘦。答曰。挽車日行五百里。飲食轗軻是以瘦耳。我瘦取謂放得肥。反見髡剃不敢復臥。乞

得生活。主愍之放令解脫(出十卷譬喻經第八卷)。

驢効群牛為牛所殺二

群牛志性調良。所至到處。擇軟美草食。選清涼水飲。時有一驢。便作是念。我亦効其飲食。即入群牛。前脚把地觸嬈彼牛。效其鳴吼而不能改。其聲自稱我亦是牛。牛角觝殺捨之而去(出增一阿含第二十卷)。

狗第六

- 狗乞食不得詣官訟主人一
- 狗子被殺時見沙門命終生豪貴家二
- 白狗生前世兒家被好供給浮出先身所藏之物三
- 弊狗因一比丘得生善心四

狗乞食不得詣官訟主人一

佛在舍衛國。過去世有狗。捨自家至他家乞食。入他家時身在門內尾在門外。時主人居士打不與食。狗詣眾官言。是居士。我至其家乞食。不與我食反打我。我不破狗法。眾官問言狗有何法。答言。我在自家隨意坐臥。至他家時身入門內尾著門外。眾官言。喚居士來。問言。汝實打狗不與食耶。答言實爾。眾官問狗言。此人應云何治。狗言。與此舍衛城大居士職。何以故答。我昔在此舍衛城中作大居士。以身口作惡故受是狗身。是人惡甚於我若令是人得力勢者。當大作惡令入地獄。極受苦惱(出十誦律第三誦第一卷)。

狗子被殺時見沙門命終生豪貴家二

昔有一國。穀米踊貴人民飢餓。時有沙門入城分衛。無所一獲。次至長者大豪貴門。得麁惡飯。這欲出城。逢一屠兒抱一狗子持歸欲殺。見沙門歡喜前為作禮。沙門呪願。老壽長生知有狗子。而欲殺之。故問其人何所齎持。答曰空行。又問。吾以見之願持示我。食貿狗子令命得濟。其人答曰。不能相與。如是至三慇懃喻請。其人抵突不肯隨言。又言可以示我。其人即出以示沙門。舉飯飴狗子摩捋呪願。狗子淚出。卿罪所致不得自在。使爾世世罪滅福生。離狗子身得生為人。值遇三寶。狗子得食善心生焉。命過即生豪貴大長者家。這生墮地便有慈心。時彼沙門次到長者門裏分衛。時長者子年以七歲。見彼沙門憶識本緣。便前稽首禮沙門足請前供養。還白父母。今我欲逐此大和尚奉受經戒。為作弟子。父母愛重不肯聽之。小兒啼泣不肯飲食。不欲聽去我便就死。父母便聽。隨師學道。除去鬚髮被三法衣。便得三昧立不退轉。開化一切發大道意(出迦葉詰阿難經)。

白狗生前世兒家被好供給浮出先身所藏之物三

佛詣舍衛城遊行分衛。時到鸚鵡摩牢兜羅子家。遇其不在家。有白狗名具。坐好蓐上以金鉢食粳米肉。白狗遙見世尊從遠而來。見已便吠。世尊言。止白狗。不須作是聲。汝本吟哦(梵志乞食音)於是作白狗。白狗極大瞋恚。下床蓐已至門閾下伏寂然而住。後摩牢兜羅見問邊人曰。誰觸我狗而令憂慼。今日有沙門瞿曇來詣家乞食。狗吠之。瞿曇言。止白狗。汝不應作是聲。汝本吟哦。狗恚不樂。鸚鵡摩牢兜羅子遙罵世尊。誹謗瞋恚詣孤獨園。遙見鸚鵡摩牢兜羅子來。告諸比丘。此人瞋恚身壞生泥犁中。彼時鸚鵡摩牢兜羅子白世尊曰。沙門瞿曇今至我家乞食。白狗於汝有何咎而令不樂。佛言。白狗見我而吠。我言。白狗汝不應作是聲。汝本吟哦。而白狗瞋恚。瞿曇此白狗本是我何等親屬。佛止摩牢不須問。汝或能憂慼不樂。如是再三。世尊曰。此摩牢白狗前所生。是汝父名兜羅。倍增瞋恚。我父兜羅。常行施與常事於火。身壞死已生梵天上。何故當生狗中。此摩牢以汝增上慢。我父兜羅後亦復爾。生弊惡狗中。而說偈曰。

梵志增上慢　此終生六趣　鷄猪狗野狐　驢卵地獄中

佛言。若不信我說者。便可還家語白狗言。汝本生時是我父兜羅者。還上床蓐當於金鉢中食粳米肉。當示我父遺財。汝本藏舉我不知處。於是鸚鵡摩牢兜羅子聞世尊所說。善思惟念。還至家已具語白狗。彼時白狗便還上床蓐坐。於金鉢中食粳米肉。至本臥處床四脚下。以口足捋地。於是鸚鵡摩牢兜羅子大得錢財。歡喜心生。以右膝著地向祇樹園。自稱姓字。真實沙門語實不妄。三自稱已。出舍衛城往詣祇樹。世尊遙見告諸比丘。汝見彼鸚鵡摩牢兜羅子來不。唯然世尊。若以此時。兜羅子命終者生於善處。於我有善心故。眾生因善心故。身壞死時生善處天上。彼時鸚鵡摩牢兜羅子往世尊所。面相慰勞竟云。佛言無有異(出中阿鋡經第三十九卷鸚鵡章中)。

弊狗因一比丘得生善心四

有一長者財富無數。有一弊狗常喜嚙人。凡人不得妄入其門。有一比丘。聰明善慧聖達難當逮。入其門乞。值狗出臥不覺入時。長者設食狗覺方見。念出臥不覺沙門得入。今既已坐當奈之何。若獨食者出必嚙殺。噉其腹中所食美膳。若分我食乃原之耳。沙門知其心念。自食一揣與狗一揣。善生慈向於沙門。前舐其足。後出門臥。曾被其嚙人劍斫其頭。其狗即生長者夫人腹中。生後短命尋復終亡。復生彼國餘長者家。年十餘歲。見一沙門前迎為禮。啟其父母請為我師。施設供養尋受經戒。再化家中一切大小誦經念道。因報二親求為沙門。不受具足。供養和尚日夜不懈。和尚滅後乃受戒德(出十卷譬喻經第六卷)。

鹿第七

鹿母落弶乞與子別還來就死一

昔者有鹿數百為群。隨逐美草侵近人邑。國王出獵遂各分迸。有一母鹿。懷妊獨遊被逐。飢疲失侶。時生二子捨行求食。殑悸失厝墮獵弶中。悲鳴欲出不能得脫。獵師聞聲便往視之。見鹿心喜即前欲殺。鹿乃叩頭求哀自陳。向生二子尚小無知。始視曚曚未曉東西。乞假須臾暫還視子。將示水草使得生活。旋來就死不違信誓。獵者驚怪。即答鹿曰。一切世人尚無至誠。況鹿身從死得脫豈有還期。鹿復報言。聽則子存。留則子亡。說偈曰。

我身為畜狩　遊處於林藪　賤生貪軀命　不能故逆死　今來入君弶
分當就刀机　不惜腥臊身　但憐二子耳

獵者甚奇甚異。意猶有貪。又答鹿曰。夫巧偽無實姦詐難信。虛華萬端狡猾非一。愛身重死尠能效命。人之無良由難為期。而況禽狩將去豈復還。固不放汝。鹿復垂淚。以偈報言。

雖身為賤畜　不識仁義方　奈何受慈恩　一去不復還　寧就分裂痛
無為虛偽存　哀傷二子窮　乞假須臾間　世若有惡人　鬪亂比丘僧
破塔壞佛寺　及殺阿羅漢　返逆害父母　妻子及奴婢　設我不來還
罪大過於是

獵者重聞鹿言。心益悚然。乃却歎曰。惟我處世得生為人。愚惑癡冥背恩薄義。殘害眾生殺獵為業。詐偽苟得貪求無厭。不知非常識別三尊。鹿之所言有殊於人。信誓叩至情見盡忠。便前解弶放之令去。於是鹿還至其子所。低頭嗚吟舐子身體。一悲一喜。並說偈言。

一切恩愛會　皆由因緣合　合會有別離　無常難得久　今我為爾母
恒恐不自保　生世多畏懼　命急於晨露

於是鹿母將其二子。示好水草。垂淚交流。說偈別言。

吾朝行不遇　誤墮獵者手　即時當屠割　碎身化糜朽　念汝求哀來
今當還就死　憐爾小早孤　努力自活已

鹿母說已便捨而去。二子嗚呼悲淚戀慕。從後追尋頓仆復起。母顧命曰。爾還勿來。無得母子併命俱死。吾沒心甘傷。汝未識世間無常皆有離別。我自薄命爾生無祐。何為悲懷徒益憂患。但當建志畢命。於是母復為子說此偈言。

吾前生貪愛　今來愛持身　世生皆有死　不脫不終患　制意一離貪

然後乃大安　寧就說信死　終不欺殆生

子猶悲戀鳴啼。相尋至于弶所。東西求索。乃見獵者臥於樹下。鹿母住立。說偈覺言。

前所可放鹿　今來還就死　恩流惠賤畜　得見辭二子　將行示水草
為說非常苦　萬沒無遺恨　念恩不敢負

獵者於是忽覺驚起。鹿復跪向。重說偈言。

君前見放去　德重過天地　賤狩被慈覆　赴信來就死　感仁恩難忘
不敢違命旨　雖還于反報　猶不畢恩紀

獵者見鹿篤信死義。志節丹誠慈行發忠。放應徵驗捨生赴誓。母子悲戀相尋而至。慈感愍傷。稽首謝曰。

為天是神祇　信義妙乃爾　恐懼情悚然　豈敢加逆害　寧自殺鄙身
害及其妻子　何忍向靈神　起想如毛髮

獵者即放鹿使去。母子悲喜鳴聲呦呦。偈謝獵者。

賤畜生處世　當應充厨宰　即時分烹殂　寬惠辭二子　天仁重愛物
復蒙放赦原　德祐積無量　非口所能陳

獵者具以聞王。國人咸知。普感慈信。狩之仁行有踰於義。莫不肅嘆。為止殺獵。鹿還鳴群嘯侶遊集各寧其所。佛言。時鹿者我身是。二子者羅云朱利母是也。時國王者舍利弗是。射獵者阿難是(出鹿子經)。

鹿王遭捕殺身以濟群眾二

昔國王遊獵。作於場塹以捕群鹿。時有鹿王將鹿數億。次食美草入其場內。守者閉門。往白於王。王大歡喜。鹿王即知。自念。群鹿所以來者由我一身耳。當作方計以濟眾命。即以身橫伏塹上。使群鹿蹈背而出。足傷其背皮肉了盡。唯有骨在。忍痛濟之皆已得出。勢自上岸四向顧視。唯有一鹿不知求出。鹿王命呼乃來得出。於是鹿王命絕墮塹(出十卷譬喻經第八卷)。

銘陀第八

銘陀獸剝皮濟獵師命一

佛在羅閱耆闍崛山。身有風患。耆域醫王為合蘇藥。用三十二種。日日服三十二兩。時提婆達常懷嫉妬。心自高大望與佛齊。効佛亦服注諸脈理。身力微弱苦惱呻喚。世尊怜愍手摩其頭。藥消病除看識佛手。曰。悉達餘術世不承用復學醫道。佛言。提婆達懷不善心不但今日。昔閻浮提城名波羅奈。王名梵摩達。凶暴無慈。夢見一獸。身毛金色毛端金光。即召獵師。我夢具以告之。汝等求捕。若得其皮當重賞汝。若不得者誅滅汝族。時諸獵師憂愁憒憒聚會議計。共募一人令行求之。若汝不吉還亦當以物與汝妻子。其人自念。分棄身命即可當行。涉嶮而去。經久身弊。天時暑熱欝蒸欲死。悲悴而言。誰有慈悲拯我身命。有一野獸名曰銘陀。身毛金色聞甚怜愍。身入冷泉來就裹抱。小還有力將至水所。為其洗浴拾果食之。體既平復。而自念言。今覩此獸王正求之。然我垂死賴其濟命。感恩未詶何心當害。若復不獲。彼諸獵師必被誅戮。念是而悲。銘陀問言以何不樂。答心所懷。銘陀語言。此事莫憂我皮易得。捨身無數未曾為福。今以身皮濟彼眾命。如有所獲。但剝取皮莫便絕命。我以施汝終無悔恨。獵師剝皮。銘陀即自立願。今我以皮用施此人。救彼愛命。持此功德施彼眾生。用成佛道普度一切。作此願已三千國土六反震動。剝皮去後身肉赤裸血出流離。復有八萬蠅蟻之屬。集其身上同時啖食。時欲趣穴復恐傷害。忍痛自持身不動搖。死於彼中。時諸蠅蟻食者命終生天。獵師擔皮上王。王見奇之常敷用臥。身心安隱快樂。獸銘陀者今我身是。梵摩達王今提婆達是。八萬諸蟲我初成佛始轉法輪。上八萬諸天得道者是(出賢愚經第三卷)。

野狐第九

野狐從師子乞食得肥後為師子所食一

有野狐往從師子乞食。每得殘餘往遂不息。正值師子飢未得食。便呼野狐鼻嗅便取吞之。未死咽中呼言。大家活我。師子心念。養汝肥毳當持備之耳。汝復何云(出十卷譬喻經)。

狼第十(第八分)

狼得他心害怨女嬰兒

有女置其嬰兒在於一處。狼擔兒而走。時人捕躡而語之言。汝今何故擔他兒去。狼答之言。此小兒母是我怨家。五百世中常食我兒。我亦五百世常殺其子。若彼能捨舊怨之心。我亦能捨。時人語其兒母。可捨怨心。兒母答言。我今已捨。狼觀兒母。雖口言捨而心不放。害之而去(出抄毘曇第二十八卷)。

獼猴第十一

- 獼猴等四獸與梵志結緣一

- 獼猴奉佛鉢蜜二
- 獼猴為五百仙人師三
- 五百獼猴效羅漢起佛圖四
- 獼猴學禪墮樹死得生天上五
- 獼猴與婢共戲六

獼猴等四獸與梵志結緣一

昔有梵志年百二十。少不娶妻無有淫泆。靜處深山以茅為廬。蓬蒿為席以水果菰充為食。不積財寶。王娉不往端然無為。數千餘歲與禽獸相娛。有四種獸。一名狐。二者獼猴。三者獺。四者兔。此四獸於道人所聽經說戒。如是積久。食諸果菰皆悉訖盡。後道人意欲去。此四大獸愁憂不樂。共議言。我曹各求供養。獼猴取甘果來以上道人。狐亦求食得一囊飯麨來以上道人。獺入水取大魚來以上道人。兔自思念。我當用何等供養道人耶。自念。當持身供養耳。便行取薪以燃火作炭。往白道人言。今我小薄。請作炭入火中。以身上道人。火為不然。道人感其仁義。哀之遂止。時梵志者提和竭佛是。兔者我身是。獼猴者舍利弗是。狐者阿難是。獺者目揵連是(出舊譬喻經下卷)。

獼猴奉佛鉢蜜二

佛與諸比丘。受師質婆羅門請。還於耆闍。河邊洗器。安羅樹林有獼猴。行見一樹無蜂而有熟蜜。來就阿難求鉢。阿難不與。佛言但與。獼猴得鉢(彌沙塞律云求佛鉢)盛滿蜜以奉世尊。世尊不受令其水淨。獼猴不解。謂呼有蟲。將至水邊洗鉢。水漾蜜中捧還上佛(賢愚經云洗却赤蟲彌沙塞律。見蟲捨去。更取)佛分布眾僧皆悉周遍。獼猴歡喜騰躍却舞墮坑而死。為師質婦胎。後生男子形貌端正(彌沙塞律云。生三十三天。後生人間。得阿羅漢道)佛言。過去迦葉佛時。有一年少沙門。見阿羅漢跳渡涇水。謂凡比丘云。汝飄疾如獼猴。後五百世中常為獼猴(出賢愚經第十二卷。又出彌沙塞律第十卷。又出僧祇律第二十九卷)。

獼猴為五百仙人師三

如來於摩偷羅國涅槃。百年後優婁漫陀山。一邊有五百緣覺。一邊有五百仙人。一邊有五百獼猴。獼猴主往緣覺間見諸緣覺。生歡喜心。取樹華果供養緣覺。作禮坐於僧末。日日如是。後諸緣覺皆入涅槃。獼猴供養如本。見諸緣覺不受。便牽衣捉足亦復不動。獼猴思惟。皆已死矣。啼泣懊惱。復至五百仙人所。皆到棘刺中。獼猴亦到。仙復到灰土上。獼猴亦到灰土上。仙人五熱炙身。獼猴亦復如是。仙手攀樹自懸獼猴。撥其手令墮地。常教化諸仙以四威儀。既教化已。於諸仙所端坐修定。語仙人言。汝等一切當如是坐。時五百仙隨其坐禪。諸仙無師說法。於三十七品助菩提法。思惟取證得緣覺道。皆作是念。我得聖道由此獼猴。即以香華飲食供養獼猴。獼猴命終以香木燒其身。佛語阿難。是獼

猴者即優波笈多。於惡道中為多眾生作饒益。我涅槃後百餘年。當有上事(出阿育王經第六卷)。

五百獼猴効羅漢起佛圖四

昔佛在羅閱祇國。遣一羅漢名須漫。持佛髮爪至罽賓國南山作佛圖。寺五百羅漢常止其中。旦夕燒香繞塔禮拜。時彼山中有五百獼猴。見道人供養塔寺。即便相將至深澗邊。負輦泥石効作佛圖。竪木立剎弊幡繫頭。旦夕禮拜亦如道人。時山水暴漲。五百獼猴一時漂沒。魂神即生第二忉利天上。七寶殿舍衣食自然。各自念言。從何所來得生天上。即以天眼自見本形。獼猴之身。効諸道人戲作塔寺。雖身漂沒神得生天。今當下報故屍之恩。各將侍從華香伎樂臨故尸上。散華燒香繞之七匝。時山中有五百婆羅門。外學邪見不信罪福。見諸天人散華作樂繞獼猴屍。怪而問曰。諸天光影巍巍乃爾。何故屈意供養此尸。諸天人言。此屍是吾等故身。具述本事。等以此微福得生天上。今故散華以報故身之恩。戲為塔寺獲福如此。若當至心奉佛。其德難喻。卿等邪見不信正真。百劫勤苦無所一得。不如共至耆闍崛山禮事供養得福無限。即皆欣然共至佛所。五體作禮散華供養。諸天人白佛。我等近世獼猴之身。蒙世尊之恩。得生天上。恨不見佛今故自歸。重白佛言。我等前世有何罪行受獼猴身。雖作塔寺身被漂沒。佛告天人。不從空生。往昔世時有五百年少婆羅門共行入山欲求仙道。時山上有一沙門。欲於山上泥治精舍。下谷取水身輕若飛。五百婆羅門興嫉妬意同聲笑之。今此沙門上下飄疾甚如獼猴。何足為奇。如是取水不止。山水一來溺死不久。佛告諸天人。時上下沙門我身是也。五百年少婆羅門者五百獼猴身是。戲笑作罪身受其報。佛說偈言。

戲笑為惡　號泣受報

五百天人聞佛語已即得道跡。五百婆羅門聞罪福之報。而自歎曰。吾等學仙積有年數。未蒙果報。不如獼猴戲笑為福得生天上。佛德實妙。稽首佛足願為弟子。佛言。善來比丘。即成沙門精進得道(出法句經第一卷)。

獼猴學禪墮樹死得生天上五

昔有道人。樹下坐禪誦經。有一獼猴在樹上效之。不覺墮樹而死。得生天上(出雜譬喻經)。

獼猴與婢共戲六

昔有國王有一獼猴。與婢共戲數數不止。有一梵志謂王。當別此婢與獼猴。王曰。何所能諧而令別離乎。後婢持飯器并大杖從外來。獼猴走來牽婢。婢瞋以足排杖撾。獼猴墮火燒其毛衣。奔走入[廾/積]薪中。燃及

屋舍宮殿。寶藏悉成灰燼。王方悟梵志之言也(出獼猴與婢共戲致變經)。

兔第十二

兔王依附道人投身火聚生兜率天一

昔有兔王遊在山中。與群輩俱食果飲水。行四等心慈悲喜護。教諸眷屬悉令仁和勿為眾惡。畢脫此身得為人形。可受道教。時諸眷屬歡喜。從教不敢違命。有一仙人處在林樹。食果飲水獨修道行。未曾遊放建四梵行。慈悲喜護誦經念道。音聲通利其音和雅聞莫不欣。於時兔王往附近之。聽其誦經意中欣踊不以為厭。與諸眷屬共齎果菰供養道人。如是積日經歷年月。時冬寒至。仙人欲還到於人間。兔王見之愁憂不樂。心懷戀恨不欲令捨。問何所趣。在此日日相見以為娛樂。飢渴忘食如依父母。願留莫去。仙人報曰。吾有四大當慎將護。今冬寒至果菰已盡。山水氷凍又無巖窟可以居止。故欲捨去依處人間。分衛求食頓止精舍。過此冬寒當復相就。勿以悒悒。兔王答曰。吾等眷屬當行求果。遠近募索當相給足。願一屈意愍傷見濟。假使捨去憂慼之戀或不自全。設使今日無有供具。便以我身供上道人。道人見之感惟哀念。愍之至心當奈之何。仙人事火前有生炭。兔王心念。道人為我是以默然便自舉身投於火中。火大熾盛道人欲救。尋已命過生兜術天。於菩薩身功德特尊威神巍巍。仙人見之。為道德故不惜身命。愍傷憐之亦自剋責。絕穀不食。尋時遷神處兜率天。佛言。時兔王者則我是。仙人者定光佛是(出生經第三第四卷又出兔王經)。

猫狸第十三

猫狸吞鼠食其藏一

過去世時有一猫狸。飢渴羸瘦。於孔穴中伺求鼠子。時鼠子出疾取吞之。鼠子身小生入腹中。食其內藏。猫狸迷悶東西狂走。遂至於死。愚癡乞士不善。護身心見諸女人。而取色相(出雜阿含經第四十七卷)。

鼠第十四

鼠濟毘舍離命一

佛言。迦蘭陀者是山鼠名。時毘舍離王。將諸伎女入山遊戲。王時疲倦眠一樹下。伎女左右四散走戲。時樹下窟中有大毒蛇。聞王酒氣出欲螫王。樹上有鼠從上來下鳴喚覺王。蛇即還縮。王覺已復眠。蛇又更出。鼠復鳴喚下來覺王。王起見大毒蛇。即生驚怖。求諸伎女又復不見。王自念言。我今得活。由鼠之恩。思惟欲報。時山邊有村。即命村中。自今以後我之祿限悉迴供鼠。因此鼠故即號此村迦蘭陀也。是時村中有一長者。有金錢四十億。王即賜長者位。因此村名故號迦蘭陀長者(出善見律

毘婆沙第六卷)。

鼠偷蘇身長器中二

昔有長者家持蘇瓶。高樓上覆蓋不固。鼠入蘇瓶晝夜食噉。身體遂長蘇既賜盡。鼠滿瓶裏狀似蘇色。有人買蘇。是時長者取蘇著於火上。鼠在瓶裏便於瓶中命終。復化為蘇。賣與買人。量取升斗骨沈在下。髏脚骨各自離解(出甘露道經)。

經律異相卷第四十七

經律異相卷第四十八(禽畜生部中蟲畜生部下)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 金翅一(二事)
- 千秋二(一事)
- 雁三(三事)
- 鶴四(一事)
- 鴿五(二事)
- 雉六(一事)
- 烏七(四事)

金翅第一

- 生住所資一
- 正音王死相二

生住所資一

金翅鳥有四種。一者卵生。二者胎生。三者濕生。四者化生。皆先大布施心高凌虛。苦惱眾生心多瞋慢。生此鳥中。有如意寶珠以為瓔珞。變化萬端無事不辦。身高四十里。衣廣八十里。長四十里。重二兩半。食黿鼉魚鼈以為揣食(涅槃經云能食能消。一切龍魚金銀等寶唯除金剛耳)洗浴衣服為細滑食。亦有婚姻。兩身相觸以成陰陽。壽一劫或有減者。大海北岸一樹名究羅瞋摩高百由旬。蔭五十由旬(樓炭經略同)樹東有卵生龍宮卵生金翅鳥宮。樹南有胎生龍宮胎生金翅鳥宮。樹西有濕生龍宮濕生金翅鳥宮。樹北有化生龍宮化生金翅鳥宮。各各縱廣六千由旬。莊飾如上。若卵生金翅鳥飛下海中以翅搏水。水即兩披深二百由旬。取卵生龍隨意而食之(華嚴經云。此鳥食龍。所扇之風若入眼人眼失明故不來人間)胎濕化亦復如是(涅槃經云唯不能食受三歸者)有化生龍子三齋日受齋八禁。時金翅鳥欲取食之。銜上須彌山北大鐵樹上。高十六萬里。求覓其尾了不可得。鳥聞亦受五戒(出長阿含經第十九卷。又出增一阿含第十五卷。大智論華嚴經。亦見也)。

正音王死相二

金翅鳥王。名曰正音。於眾羽族快樂自在。於閻浮提日食一龍王及五百小龍。於四天下更食。一日數亦如上。周而復始。經八千歲死相既現。諸龍吐毒不能得食。飢逼惶惶永不得安。至金剛山。從金剛山直下從大水際。至風輪際為風所吹還金剛山。如是七反然後命終。以其毒故令十寶山同時火起。難陀龍王懼燒此山。即降大雨滂如車輪。鳥肉消盡唯餘心存。心又直下七反如前住金剛山。難陀龍王取為明珠。轉輪聖王得為如意珠。若人念佛心亦如是(出觀佛三昧經第一卷)。

千秋第二

千秋生必害母

千秋。人面鳥身。生子還害其母。復學得羅漢果。畜生無有是智及有尊卑想。不受五逆罪(出婆須蜜經第八卷)。

雁第三

金羽雁猶愛前生妻子日與一毛一

毘舍離獼猴江側有蒜園。偷羅難陀比丘尼。去園不遠。園主問言。阿姨欲須蒜耶。比丘尼即與沙彌尼式叉摩那尼。數數往索蒜。遂都盡。其主委園而去。佛說本生。昔有一婆羅門。年百二十形體羸瘦。其婦端正無比。多生男女。此婆羅門繫心其婦及諸男女。初不捨離。以此愛著情篤。遂至命終便生雁中。其身毛羽盡為金色。以前福因緣故自識宿命。我以何方便養活此男女使不貧苦。日日來還日落一羽而去。兒見如是不知因緣。即共議言。我等寧可伺其來時。方便捉之盡取金羽。如其所計盡拔金羽。羽盡更生白羽。佛告諸比丘。欲知爾時婆羅門死為雁者。豈異人乎。即園主是。其端正婦者即比丘尼是。男女者即式叉摩那沙彌尼等是(出四分律二分第三卷)。

五百雁為獵所殺以聞佛法生天得道二

佛在波羅奈國。於林澤中。為諸天人四輩之類顯說妙法。時虛空中有五百雁為群。聞佛音聲深心愛樂迴翔欲下。獵師張羅雁墮其中。為獵師所殺生忉利天。處父母膝上若八歲兒。端嚴無比光若金山。便自念言。我何因生此。即識宿命愛法果報。即共持華下閻浮提。至世尊所禮足白言。我蒙法音生在妙天。願重開示。佛說四諦。得須陀洹。即還天上(出賢愚經第十三卷)。

雁遇王羅不食得出三

國王夫人昇在樓上。見雁飛空中欲得其肉。便以白王。王遣獵工。持網行羅分布求索。即得數十以籠養之。中有不食者。諸雁謂言。今已得活不食何益。不食者日。憂不能食。七日瘠瘦於籠孔中得出飛去。遙語肥者曰。卿等貪食害痛在後(出十卷譬喻經第六卷)。

鶴第四

常吐根力八道之音一

彌陀佛國。常有種種奇妙雜色之鳥。白鵠孔雀鸚鵡舍利迦陵頻伽共命之

鳥。晝夜六時出和雅音。其音所說。五根。五力。七菩提分。八聖道分。如是等法。其土眾生聞是音聲。皆悉念三寶(出彌陀經)。

鴿第五

- 鴿捨命施飢窮人一
- 鴿被鷹逐遇佛影則安弟子影猶戰二

鴿鳥捨命施飢窮人一

昔雪山上有一鴿鳥。時大雨雪。有人失道窮厄辛苦。飢寒兼至命在須臾。鴿飛求火。為其聚薪然之。既然身投火中。施此飢人(出大智論第十一卷)。

鴿被鷹逐遇佛影則安弟子影猶戰二

佛在祇洹林晡時經行。舍利弗從。時有鷹逐鴿。鴿飛來佛邊。佛行影覆之。鴿身安隱怖畏即除不復作聲。後舍利弗影到。鴿便作聲戰怖如初。舍利弗白佛言。佛及我身俱無三毒。佛影覆鴿鴿不恐怖。我影覆鴿戰慄如初。佛言。汝有三毒習故。汝觀此鴿宿世因緣幾世作鴿。舍利弗即時入宿命智三昧。觀見此鴿。已八萬大劫常作鴿身。過是已往我不能見。佛言。汝若不能盡知過去。試觀此鴿何時當脫。舍利弗即入願智三昧。觀見此鴿。八萬大劫未脫鴿身。過是不知。於恒河沙等大劫中常作鴿身(出大智論第十一卷)。

雉第六

雉救林火一

昔野火燒林。林有一雉。勤身自力飛來入林。以水灑林往反疲乏不以為苦。時天帝釋來問之言。汝作何等。答曰。我救此林愍眾生故。此林蔭育處廣清涼快樂。我諸種類及諸宗親皆悉依仰。我有身力云何懈怠而不救之。天帝問言。汝乃精勤當至幾時。雉言。以死為期。天帝言。誰為汝證。即自立誓。我心至誠信不虛者火即自滅。是時淨居天知雉弘誓。即為滅火。始終常茂不為火燒(出大智論第十六卷)。

烏第七

- 烏王甘蔗所領四烏使至沙竭國一
- 赤[口*(隹/乃)]烏與獼猴為親友二
- 烏與鷄合共生一子三
- 烏與蟲狐迭相讚嘆四

烏王甘蔗所領四烏使至沙竭國一

波斯匿王有四大臣。拜為將。合四部兵欲伐小國。四臣見佛稽首足下。世尊問之。仁等何去。具以事答。我等之身為此國王多所興立常畏危命今當攻伐。世尊讚曰。善哉諸賢。是為報恩而有反復。不但今世為此國王。過去世時沙竭之國。有諸烏眾而來集會止頓其國。烏王名曰甘蔗。主八萬烏。烏王有婦名舊黎尼。懷軀惡食至誠白王。我身小發欲得善柔。鹿王肉食乃活不爾者死。於是烏王聞其音聲合會烏眾。汝等當往沙竭國。沙竭國王有大鹿王。名曰須具。欲得其肉。四烏應募。吾等堪任。不惜身命當辦此事。於時四烏數至會所。時國王子見烏恐懼。馳還白王。我見四烏色像若斯。數來鹿苑。王即勅人令捕。烏師造立方便張羅捕烏。輒以獲之生上國王。王問四烏而呵罵之。汝等何故數來至此。犯吾境界。烏言曰。唯然天王非我所樂。有王名曰安住。其婦受胎。欲得須具善柔鹿肉。彼王遣來。受其君教。時國王愕然怪之。自受王教作此方計。投棄軀命誠非所及。欲求俗人有此反復。受君父教尚不可得。況鳥獸乎。王告諸烏。今赦汝罪(出蜜具經又名俱薩國烏王經)。

赤[口*(隹/乃)]烏與獼猴為親友二

昔有烏名曰拘耆(梁言赤嘴烏也)遊在叢樹產乳諸子在於樹上。時拘耆與一獼猴共為親厚。時叢樹間有一毒蛇。伺行不在。噉拘耆子無復遺餘。拘耆失子悲鳴啼呼不知所在。熟自思惟。知蛇所噉。獼猴歸見問之何為。答曰。蛇噉我子了盡無餘。獼猴曰。我當報之。時毒蛇行。獼猴前遶之。蛇怒纏獼猴。獼猴捉得頭曳。至石上磨破而死。棄擲而還。拘耆踊躍(出赤嘴烏喻經)。

烏與鷄合共生一子三

過去世時。有一群鷄依榛林住。有狸侵食唯餘一鴡。烏來覆之共生一子。子作聲時烏說偈言。

此兒非我有　野父聚落母　共合生兒子　非烏復非鷄　若欲學公聲
復是鷄所生　若欲學母鳴　其父復是烏　學烏似鷄鳴　學鷄作烏聲
烏鷄若兼學　是二俱不成

(出僧祇律第二十四卷)。

久遠世時。有黃門命過。棄樗樹間。蠱狐及烏。共來食肉。更相讚歎。烏曰。

君體如師子　其頭如仙人　胎由鹿中王　美哉如好華

狐曰。

誰尊在樹上　其慧最第一　其明照十方　如積紫磨金

時大仙人處於閑居。淨修為道。聞之說偈問曰。

所作吾久見　其事為兩舌　自藏於樹間　食死黃門肉　汝輩下賤物　自稱如上人

烏曰。

師子及孔雀　其食於禽肉　何謝髡減頭　次第而求乞(出蟲狐烏經)

蟲畜生部下

- 龍一(五事)
- 蛇二(三事)
- 龜三(一事)
- 魚四(二事)
- 蛤五(一事)
- 穀賊六(一事)
- [泳-永+狂]中虫七(一事)
- 虱八(一事)

龍第一

- 生住資待一
- 娑竭龍王為五百鬼神所護二
- 眷屬先少後多三
- 龍持一日戒為人所剝生忉利天四
- 四大龍王患金翅請佛五

生住資待一

龍有四種。一者卵生。二者胎生。三者濕生。四者化生。皆先多瞋恚心曲不端。大行布施今受此形。以七寶為宮(宮之所在乃現金翅鳥部)身高四十里。衣長四十里。廣八十里。重二兩半。神力自在百味飲食。最後一口變為蝦蟇。若自化眷屬發於道心。施乞皂衣能使諸龍各興供養者。沙不雨身及離眾患(又云。變身為蛇虺等不遭蝦蟇及金翅鳥)食黿鼉魚鼈。以為揣食(樓炭經云龍食魚鼈及提違提歷大魚也)洗浴衣服為細滑食。亦有婚姻。身相觸以成陰陽。壽命一劫。或有減者。免金翅鳥食。唯有十六王。一娑竭。二難陀。三跋難陀。四伊那婆羅。五提頭賴吒。六善見。七阿虛。八伽句

羅。九伽毘羅。十阿波羅。十一伽兔。十二瞿伽兔。十三阿耨達。十四善住。十五優睒伽波頭。十六得叉迦(樓炭經六十三出長阿含樓炭大智論)。

娑竭龍王為五百鬼神所護二

娑竭龍王。住須彌山北大海底。宮宅縱廣八萬由旬。七寶所成牆壁七重。欄楯羅網嚴飾其上。園林浴池眾鳥和鳴。金壁銀門。門高二千四百里。廣二千二百里。綵畫姝好。常有五百鬼神之所守護。能隨心降雨。群龍所不能及。所住之淵涌流入海。青琉璃色(出樓炭華嚴經)。

眷屬先少後多三

龍王白佛言。我從劫初止住大海。從拘樓秦佛時。大海之中妻子甚少。今者海龍眷屬繁多。佛告龍王。其於佛法出家。違戒犯行不捨破戒者多生龍中。

直見不墮地獄。如斯之類壽終已後皆生龍中。佛告龍王。拘樓秦佛時。九十八億居家出家。違其禁戒皆生龍中。拘那含牟尼佛時。八十億居家出家。毀戒恣心。壽終之後皆生龍中。迦葉佛時。六十四億居家出家。犯戒皆生龍中。於我世中。九百九十億居家。鬪諍誹謗經戒死生龍中。今已有生者。以是之故。在大海中諸龍妻子眷屬不可稱計。我泥洹後多有惡優婆塞。違失禁戒當生龍中。或墮地獄(出海龍王經第二卷)。

龍持戒至死不破四

大力毒龍。以眼視人弱者即死。以氣噓人強者亦死。時龍受一日戒。出家入林樹間思惟。坐久疲懈而睡。龍法眠時形如蛇狀。七寶雜色。獵者見之驚喜言曰。以希有難得之皮。獻上國王。以為船飾不亦宜乎。便以杖案其頭刀剝其皮。龍自念言。我力能傾國。此一小物豈能困我。我今以持戒故不計此身。當從佛語自忍。閉目不視閉氣不息。憐愍此人。為持戒故一心受剝不生悔意。既以失皮赤肉在地。時日大熱宛轉土中。欲趣大水見諸小蟲來食其身。為持戒故不復敢動。自思惟言。今我此身以施諸蟲。為佛道故。今以肉施以充其身。後以法施以益其心。身乾命絕即生忉利天上(出大智論第十四卷)。

四大龍王患金翅請佛五

有龍王。一名嗡氣。二名大嗡氣。三名能羅。四名無量色。白世尊曰。於此海中無數種龍。有四種金翅鳥常食海中諸龍。願佛擁護令得安隱不懷愁恐。世尊脫身皂衣告海龍王曰。汝當取是如來皂衣。分與諸龍皆令周遍。在大海中有值一縷者。金翅鳥王不能觸犯。佛所建立不可思議巍巍之德其如斯矣。時海龍王即取佛衣而分與諸龍王。隨其所乏廣狹大小自然給與。其衣如故終不可盡。於時海龍王告諸龍王。當敬此衣如敬世

尊。泥洹後供養舍利。一切眾具而以奉事世尊。四金翅鳥王聞佛所建惶懅。速疾往詣佛所前稽首足。何故世尊奪吾等食。佛言。都有四食。坐趣三處。何等四。一曰網獵禽獸殘害群畜殺生枉命以為飲食。二曰執帶兵仗刀矛斫刺逼迫格射劫奪他財以用飲食。三曰慳貪諛諂亂犯禁邪見欺巧而以得食。四曰非師稱師。非世尊稱世尊。隨邪稱正。非寂志稱寂志。非清淨稱清淨。非梵行稱梵行。自稱詐求而以得食。是為四食。坐趣地獄餓鬼畜生三惡之處。吾所說法除此四食。不當以養身害於眾生。欲自護身當護他人。所不當作慎勿為也。爾時四金翅鳥王。各與千眷屬俱而白佛言。今日吾等自歸命佛及法眾僧。自首悔過前所犯殃。奉持禁戒從今日始。以無畏施一切龍王。擁護正法至佛法住將。從道法至于滅盡不違佛教(出海龍王經第四卷)。

蛇第二

- 毒蛇捨金設會生忉利天一
- 一蛇首尾兩諍從尾則亡二
- 蛇龜蝦蟇遭飢相語三

毒蛇捨金設會生忉利天一

昔閻浮提有國名波羅奈。中有一人。特愛黃金。苦身營覓得七瓶金。埋內土中終不衣食。遇疾而亡。貪愛既重。轉身作一毒蛇。纏遶金瓶死已更生經數萬歲。後自思惟忽能醒悟。正當為金受此惡報。當捨施福田求覓善處。時出路邊見婆羅門。便言。我有一瓶金託君飯諸眾僧。若不為我我當殺君。婆羅門言。我能相為。蛇出金與之。即持詣於伽藍。具以白僧。稱蛇欲設供意。僧許。持金付維那。維那經營設食日近。婆羅門以小阿翰提往至蛇所。蛇見歡喜。即盤阿翰提上。婆羅門以氈覆之擔向寺所。路人見之多與財物送其家中。別剋一日。請諸賢聖僧設飯食。會竟。前至僧伽藍著眾僧前住街而立。令婆羅門次第行看。自以信心觀受食者。熟視不移。事訖蛇益懷敬心無厭足。僧食畢重為說法。蛇并捨七瓶金將維那取以為供養。即離惡形生忉利天(出賢愚經第四卷)。

一蛇首尾兩諍從尾則亡二

昔有一蛇頭尾自諍。頭語尾曰。我應為大。尾語頭曰。我應為大。頭曰。我有耳能聽。有目能視。有口能食。行時在前。故可為大。汝無此術。尾曰。我令汝去。故得去耳。若我以身遶木三匝。三日不已不得求食。飢餓垂死。頭語尾曰。汝可放之聽汝為大。尾聞其言即時放之。復語尾曰。汝既為大聽汝前行。尾在前行。未經數步墜火坑而死。

蛇龜蝦蟇遭飢相語三

昔有一蛇。與一蝦蟇一龜在一池中共作親友。其後池水竭盡。飢窮困乏

無所控告。時蛇遣龜以呼蝦蟇言。

若遭貧窮失本心　不惟本義食為先

蝦蟇曰。

汝持我聲以語蛇　蝦蟇終不到汝邊(出大智論第十二卷)

龜第三

盲龜值浮木孔一

告諸比丘。如大海中有一盲龜。壽無量劫。百年一遇出頭。復有浮木正有一孔。漂流海浪隨風東西。盲龜百年一出得遇此孔至海東。浮木或至海西違繞亦爾。雖復差違或復相得。凡夫漂流五趣之海。還復人身甚難於此(出雜阿含經第十六卷)。

魚第四

- 百頭魚為捕者所得聞其往緣漁人悟道一
- 三魚隨濤流入小涇二強得反一羸被縶二

百頭魚為捕者所得聞其往緣漁人悟道一

佛與諸比丘。向毘舍離。到黎越河。河邊有五百牧牛人五百捕魚人。佛去河不遠而坐止息。時捕魚人網得一魚。五百人挽不能使出。復喚牧牛之眾。千人併力得一大魚。身有百頭若干種類。驢馬駱駝虎狼猪狗猿猴狐狸如斯之屬。眾人甚怪競集看之。世尊尋時往至魚所。而問魚言。汝是迦毘梨不。如是三問皆答言是。復問。教化汝黨今在何處。答言。墮阿鼻地獄中。阿難曰。今者何故喚百頭魚為迦毘梨。佛言。迦葉佛時有婆羅門。生一男兒。字迦毘梨(梁言黃頭)。聰明博達。於種類中多聞第一。唯不如諸沙門輩。其父臨終慇懃約勅。汝慎莫與迦葉沙門講論道理。所以者何。沙門智深汝必不如。父沒之後其母問曰。汝本高明今頗更有勝汝者不。答言。沙門殊勝於我。母復問言。云何為勝。答有疑往問佛能開解。彼若問我我不能答。母復告言。何以不學習其法。答言。敬學其法當作沙門。我是白衣何緣得學。母復告曰。偽作沙門學習已達還來在家。奉其母教而作比丘。經少時間讀誦三藏綜達義理。母問之曰。今得勝未。答言。學問中勝不如坐禪。何以知之。我問彼人悉能分別。彼人問我我不能知。因是事故未與他等。母復告曰。自今已往若共談論。儻不如時便可罵辱。迦毘梨言。出家沙門無復過罪。云何罵之。答曰。但罵卿當得勝。時迦毘梨不忍違母。後日更論理。若短屈即便罵言。汝等愚騃無所識別劇於畜生。諸百獸頭皆用比之。如是非一。以是

果報今受魚身而有百頭。阿難問佛。何時當脫此魚身。佛告阿難。此賢劫中千佛過去猶故不脫。爾時阿難及於眾人。聞佛所說。咸共同聲而作是言。身口意行不可不慎。時捕魚人及牧牛人等。一時俱共合掌向佛。求索出家淨修梵行。佛言善來。鬚髮自落法衣在體。為說妙法成阿羅漢(出賢愚經第十卷)。

三魚隨濤流入小涇二強得反一羸被縶二

南海卒涌驚濤浸灌。有三大魚流入小洲涇。自相謂言。我等厄此及曼水未減。宜可逆上還歸大海。復礙水洲不得越過。第一魚者盡力跳洲得度。次魚復憑草獲過。其第三魚氣力消竭。為獵者得之。佛見而說頌曰。

是日已過　命則隨減　如少水魚　斯有何樂(出出曜經第十八卷)

蛤第五

蛤聞甘露死生天上見佛得道一

迦羅池中有一蛤。聞佛說法。即從池出入草根下。是時有一牧牛人。見大眾圍遶聽佛說法。往到佛所。欲聞法故以杖刺地。誤著蛤頭。蛤即命終生忉利天。見諸妓女娛樂音聲。尋即思惟。我先為畜生。何因緣故生此天宮。即以天眼觀。先於池邊聽佛說法。以此功德得此果報。時蛤天人即乘宮殿。往至佛所頭頂禮足。佛為說法得須陀洹果(出善見毘婆沙第四卷)。

穀賊第六

穀賊天金藏以報穀主一

昔有大家收穀千斛。埋著地中。前至春溫開之取種。了不見穀。而有一蟲大如牛筥。無有手足亦無頭目如頑鈍肉。主人大小莫不怪之。出著平地。即問。汝是何等。終無所道。便以鐵錐刺一處。語曰。欲知我名者持我著大道旁。自當有名我者。於是舉著道邊。三日之中無能名者。次有數百乘黃馬車。衣服侍從皆黃。駐車而呼。穀賊汝何為在是間。答曰。吾食人穀故持我著此。語極久便辭別去。主人問穀賊。向者是誰也。答言。是金寶之精。居在此西三百餘步大樹下。有百石甕滿中金。主人即將數十人往掘即得甕金。家室歡喜輦載將歸。叩頭向穀賊。今日得金是大神恩。寧可留神共歸更設供養。穀賊曰。前食君穀不語姓字者。欲令君得是金報。今當轉行福於天下。不得復住。言竟忽然不見(出譬喻經第二卷)。

蟲第七

[泳-永+狂]中大蟲先世業緣一

王舍城東南嵎有一[泳-永+狂]水。城內溝瀆污穢。屎尿盡趣其中。臭不可近。有一大蟲生[泳-永+狂]水內。身長數丈無有手足。而宛轉低仰戲[泳-永+狂]水中。觀者數千。阿難分衛見而往視。蟲即跳梁波浪動涌。具以啟佛。佛與諸比丘共詣池所。眾人見佛。各各念言。今日如來。當為眾會說蟲本末以釋眾疑不當快乎。佛言。維衛佛泥洹後。時有塔寺。有五百比丘經過寺中。寺主見大歡喜。請留供養三月眾皆受請。寺主盡心供饌無有所遺。後五百商人入海採寶還過塔寺。見五百比丘精勤行道。並各發心。欣然共議。福田難遇當設薄供。便白寺主。寺主報言。我請三月更五日滿。乃得廣設。賈人言。吾等當去不得待竟。五百商人各捨一珠。得五百摩尼珠。以寄寺主。囑寺主言。日足以吾等珠供於僧眾。比丘言諾。即皆受之。後生不善心。圖欲獨取。卒不為供。眾僧問言。主前賈客施珠應當設供。而發遣耶。寺主言。是施我耳。若欲奪吾糞可施汝。若不時去。劓汝手足投於糞坑。眾愍其癡默然各去(出十卷譬喻經第四卷)。

虱第八

虱依坐禪人約飲血有時節一

過去久遠。應現如來滅度以後。像法之中有一坐禪比丘。獨在林中常患蟣虱。即便共約。我若坐禪汝宜默然。身隱寂住虱甚如法。於後一時。有一土蚤來至虱邊。問言。汝今云何身體肥盛。虱言。所依主人常修禪定。教我飲食時節。我如法行所以鮮肥。蚤言。我亦欲修習其法。虱言隨意。蚤聞血肉香即便食噉。比丘苦惱。即便脫衣以火燒之。坐禪比丘迦葉佛是。土蚤者提婆達多是。虱者我是(出報恩經第四卷)。

經律異相卷第四十八

經律異相卷第四十九(地獄部上)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 閻羅王等為獄司往緣一
- 閻羅王三時受苦二
- 閻羅王問罪人三
- 十八地獄及獄主名字四
- 三十地獄及獄主名字五
- 五官禁人作罪六
- 始受地獄生七
- 應生天墮地獄臨終有迎見善惡處八
- 八王使者於六齋日簡閱善惡九
- 寒熱邊地地獄十
- 金剛山間八大地獄各有十六小獄十一
- 金剛山間別有十地獄十二

閻羅王等為獄司往緣一

閻羅王者。昔為毘沙國王。緣與維陀始王共戰。兵力不敵。因立誓願。願為地獄主。臣佐十八人領百萬之眾頭有角耳皆悉忿懟。同立誓曰。後當奉助治此罪人。毘沙王者今閻羅是。十八人者諸小王是。百萬之眾諸阿傍是。隸北方毘沙門天王(出問地獄經淨度三昧經云總治一百三十四地獄)。

閻羅王三時受苦二

閻浮提南有大金剛山。內有閻羅王宮。縱廣六千由旬(問地獄經云。住地獄間。城縱廣三萬里金銀所成)晝夜三時有大銅鑊自然在前。若鑊入宮內。王見怖畏。捨出宮外。若鑊出宮外王入宮內。有大獄卒。臥王熱鑊上。鐵鉤擘口。洋銅灌之。從咽徹下無不燋爛。事竟還與婇人共相娛樂。彼諸大臣同受福者亦復如是(出長阿含經十九卷)。

閻羅王問罪人三

有三使。一老。二病。三死。若有眾生三業行惡。身壞命終應墮地獄。王問言。汝是天使所召耶。王曰。汝見第一使者不。汝在人中。見頭白齒落目視矇矇。皮緩肌皺僂脊拄杖呻吟而行見此人不。罪人言見。王曰。汝何不自念。我亦當爾。罪人言。我時放逸不自覺知。王曰。今當令汝知放逸苦。非父母兄弟天帝先祖知識僮僕沙門等過。汝自作惡今當自受。又問汝見第二使不。汝本為人。頗見疾病困篤屎尿臭處身臥其上。飲食須人百節酸疼流淚呻吟不能語言不。答曰見。王問曰。何不自念(往反如第一使)又問覺第三使不。頗見人死身壞命終諸根永滅。身體挺直

猶如枯木捐棄塚間鳥獸所食不。答曰見(往反如前)語已付獄卒(有眾生三世治惡經云。遣五使。五問。謂生老病死先身惡業)詣大地獄(出長阿含經第十九卷婁炭經大同小異)。

十八地獄及獄主名字四

十八小王者。一迦延典泥犁。二屈遵典刀山。三沸[這-言+(大/隹)]壽典沸沙。四沸典典沸屎。五迦世典黑耳。六[山*蓋]傞典火車。七湯謂典鑊湯。八鐵迦然典鐵床。九惡生典[山*蓋]山。十寒氷(經闕王名)十一毘迦典剝皮。十二逕頭典畜。十三提薄典刀兵。十四夷大典鐵磨。十五悅頭典氷地獄。十六鐵笳(經闕王名)十七身典蛆蟲。十八觀身典[金*羊]銅(出問地獄經)。

三十地獄及獄主名字五

一曰平潮王。典主阿鼻大泥犁。二曰晉平王。典治黑繩重獄。三曰荼都王。典治[金*戟]臼獄。四曰輔天王。典治合會獄。五曰聖都王。典治大山獄。六曰玄都王。典治火城獄。七曰廣武王。主治劍樹獄。八曰武陽王。典主嚾吼獄。九曰平陽王。主治八路獄。十曰都陽王。典治刺樹獄。十一消陽王。主治沸灰獄。十二挺慰王。典治大噉獄小噉獄。十三廣進王。主大阿鼻獄。十四高都王。主治鐵車獄。十五公陽王。主治鐵火獄。十六平解王。主治沸屎獄。十七柱陽王。主治燒地獄。十八平丘王。典治彌離獄。十九磽石王。主治山石獄。二十琅耶王。主治多洹獄。二十一都官王。主治泥犁獄。二十二玄錫王。主治飛蟲獄。二十三太一王。主治陽阿獄。二十四合石王。主治大磨獄。二十五涼無王。主治寒雪獄。二十六無原王。主治鐵杵獄。二十七政治王。主治鐵柱獄。二十八高遠王。主治膿血獄。二十九都進王。主治燒石獄三十原都王。主治鐵輪獄。是為三十大苦劇泥犁。神明聽察疏記罪福不問尊卑。一月六奏一歲四覆。四覆之日皆用八王。八王日者天王案行以比諸天民隸之屬。有福增壽有罪減算。制命長短毛分不差。人民盲冥了自不知。不預作善收付地獄(出淨度三昧經)。

五官禁人作罪六

五官者。一鮮官禁殺。二水官禁盜。三鐵官禁婬。四土官禁兩舌。五天官禁酒(出淨度三昧經)。

始受地獄生十

閻羅王城之東西南面列諸地獄。有日月光而不明淨。唯黑耳獄光所不照。人命終時神生中陰。中陰者已捨死陰未及生陰。其罪人者乘中陰身。入泥犁城。泥犁城者(梁言寄係城又云閉城也)是諸罪人。未受罪之間共聚是處。巧風所吹隨業輕重受大小身。臭風所吹成就罪人麁醜之形。香風

所吹成就福人微細之體(出問地獄經)。

應生天墮地獄臨終有迎見善惡處八

生天墮地獄。各有迎人。人病欲死時。眼自見來迎。應生天上者天人持天衣伎樂來迎。應生他方者眼見尊人為說妙言。應墮地獄者眼見兵士持刀楯矛戟索圍遶之。所見不同。口不能言。各隨所作得其果報。天無枉濫。平直無二。隨其所作天網治之(出淨度三昧經。華嚴經云。人欲終時見中陰相。行惡業者見三惡受苦。或見閻羅持諸兵仗囚執將去。或聞苦聲。若行善者見諸天宮殿伎女莊嚴遊戲快樂如是等勝事)。

八王使者於六齋日簡閱善惡九

八王曰。謂天帝釋鎮臣三十二人。四鎮大王司命司錄。五羅大王八王使者。盡出四布覆行。復值四王十五日三十日所奏。案校人民立行善惡。地獄王亦遣輔臣小王。同時俱出有罪即記。前齋八王日。犯過福強有救安隱無他用福原赦。到後齋日重犯。罪數多者減壽條名剋死。歲月日時關下地獄。地獄承文書即遣獄鬼持名錄召。獄鬼無慈死日未到。強推作惡令命促盡。福多者增壽益算。天遣善神營護其身。移下地獄拔除罪名。除死定生。後生天上(出淨度三昧經)。

寒熱邊地地獄十

云何地獄。答謂寒熱邊地也。有無量種。今當略說。寒地獄者。了叫喚。不了叫喚。不叫喚。有是三相極惡喚呼。了叫喚者有三。一阿浮陀。二泥羅浮陀。三阿波跛。阿浮陀地獄者由寒身中生似癰。泥羅浮陀地獄者風吹脹滿。阿波跛者極寒風吹剝其身皮肉盡落。皆急戰喚聲。此三可了。

不了叫喚者。一阿吒儞吒儞。二優鉢羅。阿吒儞吒儞者亦是極寒風所吹。皮肉剝落喚阿吒儞吒儞。優鉢羅者極大風寒吹剝身皮肉體中自鐵葉還自纏身。如優鉢羅華。以謗賢聖墮此獄中。不叫喚者。一拘牟陀。二須揵提。三伽分陀犁。四伽波曇摩。極寒風吹身脹滿。如四種相受苦呻吟。以謗賢聖故墮彼四種地獄。於一切時受無量苦。是一切大寒地獄。處在四洲間。著鐵圍山底。仰向居止在闇冥中。寒風壞身。大火所燒。如燒竹林。聲咳相觸。亦有餘眾生於中受苦。皆謗毀賢聖受如是苦。如世尊說偈。

泥羅浮有百千　阿浮陀三十五　毀聖惡趣獄　口及意惡願

是謂寒地獄。問云何熱地獄。答一有主治。二少主治。三無主治。此三相治者是考掠也。有主。一者治活。二行。三黑繩。活地獄者。獄卒以利刀斧解剝剉斬罪眾生如斬剉草頭。皮肉解散罪緣未盡。以冷風吹還生

如故。復因罪惡手生鐵爪鋒利猶刀。各生怨結更相摑截。如刈竹葦。彼此相聞結恨心死故生此中。黑繩地獄者。抴罪人著地。以黑繩拼[(巳/廾)*夂][(巳/廾)*夂]斫截。以斫眾生故生彼地獄。

復次以熱赤銅。鏁纏身骨破碎髓血流。以鞭杖加眾生及出家。不精進受著信施衣故生彼中。極大闇冥苦於煙熏。倒懸其身使歙煙熏。煙熏穴居眾生故也。行地獄者。行列罪眾生如屠肆者。截手足耳鼻及頭。本為屠兒故受此苦。復次熱鐵地駕鐵火車。獄卒乘之張眼喊喚叱叱。使走以乘象馬驅使疲勞故墮此中。婬犯他妻驅上劍樹自然火燒受如此苦。謂有主治地獄獄卒者。以行緣故不被火燒。少主治地獄者。一眾合二大哭三鐵鑑。眾合地獄者。罪眾生畏地獄卒。無量百千走入山間。前後自然生火。兩山自合如磨。血流如河骨肉爛盡。以喜磨眾生故也。復次火燒大鐵臼以杵擣之。經歷百年彼以罪緣而命不盡。以臼擣殺蚤虱及[分*函]殺故也。

大哭地獄者。大鐵山周遍火燃四絕無行處。惡獄卒無慈。瞋恚言。欲何所趣。以火燒鐵杵擊破其頭。以困苦萬民故生此中也。炙地獄者。大鐵山火焰相博。以鐵鏟鏟之。周匝猗炙一面適熟。鏟自然轉反覆顛倒。以貫刺殺人故生此中也。無缺地獄者。鐵地周匝火然縱廣百由旬。四門如城以銅薄覆上焰焰相續。諸罪眾生積聚如薪。焰無罣礙燋爛其身受苦無缺。以殺父母真人。惡意向佛使血流出。鬪亂僧眾。及作增上十不善業故生此中也。邊地獄者。所在家水間山間及曠野。獨受惡業報是謂邊地獄(出衣品第三卷)。

金剛山間八大地獄各有十六小獄十一

四天下外有八萬天下而圍遶之。八萬天下外復有大海。海外復有大金剛山。山外復有山亦名金剛(樓炭經云大鐵圍山)二山中間日月神天威光不照。有八大地獄。一曰想。二曰黑繩。三曰椎[石*甲]。四曰叫喚。五曰大叫喚。六曰燒炙。七曰大燒炙。八曰無間(樓炭經云有不同文多不載也)其一地獄。各有十六小地獄(問地獄經云。地獄者地上有也)。

想地獄十六者。一曰黑沙。二曰沸屎。三曰五百釘。四曰飢。五曰渴。六曰一銅釜。七曰多銅釜。八曰石磨。九曰膿血。十曰量火。十一曰灰河。十二曰鐵丸。十三曰釿斧。十四曰豺狼。十五曰劍樹。十六曰寒氷。

其中眾生。手生鐵抓迭相瞋忿。以爪相攫應手肉墮。想以為死。復次其中眾生懷毒害想。手執刀劍迭相斫刺。剝臠割身碎在地。相謂為死。冷風來吹尋復活起。彼自相言我今已活。久受罪已出想地獄。惶惶求救不覺忽到黑沙地獄。熱風暴起吹熱黑沙來著其身。燒皮徹骨身中焰起。迴旋還身燒炙燋爛。其罪未畢故使不死。久受苦已出黑沙獄到沸屎獄。有沸屎鐵丸自然滿前。驅迫罪人使抱鐵丸燒其身手。復使撮著口中。從咽

至腹通徹下過無不燋爛。有鐵[口*(佳/乃)]蟲啖肉達髓苦毒無量。受罪未畢復不肯死。久受苦已出沸屎獄附到鐵釘獄。卒撲之偃熱鐵上。舒展其身以釘釘手足。周遍身體盡五百釘。苦毒號吟猶復不死。久受苦已出鐵釘獄到飢餓獄。即撲熱鐵上銷銅灌口。從咽至腹通徹下過無不燋爛。餘罪未盡猶復不死。久受苦已出飢地獄到渴地獄。即撲熱鐵上以熱鐵丸著其口中。燒其唇舌通徹下過無不燋爛苦毒啼哭。久受苦已出渴地獄到一銅鍑地獄獄卒怒目捉罪人足倒投鍑中。隨湯涌沸上下迴旋。身壞爛熟萬毒並至故令不死。久受苦已出一銅鍑至多銅鍑地獄。捉罪人足倒投鍑中。隨湯涌沸上下迴旋舉身壞爛。以鐵鉤取置餘鍑中。悲叫苦毒故使不死。久受苦已出多銅鍑至石磨地獄。捉彼罪人撲熱石上。舒展手足以大熱石[石*甲]其身上。迴轉揩磨骨肉糜碎。苦毒切痛故使不死。久受苦已出石磨獄至膿血地獄。膿血沸涌罪人於中東西馳走。湯其身體頭面爛壞。又取膿血食之。通徹下過苦毒難忍故令不死。久受苦已乃出膿血至量火地獄。有大火聚其火炎熾驅迫罪人。手執鐵升以量火聚。遍燒身體苦毒熱痛。吟呻號哭故令不死。久受苦已出量火獄到灰河地獄。縱廣深淺各五百由旬。灰湯涌沸惡氣潒渤迴波相搏聲響可畏。從底至上鐵刺縱橫。其河岸上有劍樹林。枝葉華實皆是刀劍。罪人入河隨波上下。迴覆沈沒鐵刺刺身。內外通徹膿血流出。苦痛萬端故令不死。乃出灰河至彼岸上。利劍割刺身體傷破。復有豺狼來嚙罪人生食其肉。走上劍樹劍刃下向。下劍樹時劍刃上向。手攀手絕足蹋足斷。皮肉墮落唯有白骨筋脈相連。時劍樹上有鐵嘴烏。啄頭食腦苦毒號叫故令不死。還入灰河隨波沈沒。鐵刺刺身苦毒萬端。皮肉爛壞膿血流出。唯有白骨浮漂於外。冷風來吹尋便起立。宿對所牽不覺忽至鐵丸地獄。有熱鐵丸獄鬼驅投之。手足爛壞舉身火然。萬毒並至故令不死。久受苦已乃出鐵丸至鈇斧地獄。捉此罪人撲熱鐵上。以熱鐵鈇斧斫其手足耳鼻身體。苦毒號叫猶復不死。久受罪已出鈇斧獄至豺狼地獄。有群豺狼競來齮齕。肉墮骨傷膿血流出。苦痛萬端故令不死。久受苦已乃出豺狼至劍樹獄。入彼劍林有暴風起。吹劍樹葉墮其身上。頭面身體無不傷壞。有鐵嘴烏啄其兩目。苦痛悲號故使不死。久受苦已乃出劍樹至寒氷獄。有大寒風吹其身上。舉體凍傷皮肉墮落。苦毒叫喚然後命終。身為不善口意亦然。斯墮想地獄怖懼毛竪。

黑繩大地獄。有十六小獄周匝圍遶。各縱廣五百由旬。何故名黑繩。其諸獄卒捉彼罪人撲熱鐵上。舒展其身以熱鐵繩絣之使直。以熱鐵斧逐繩道斫罪人作百千段。復次以鐵繩絣鋸之。復次懸熱鐵繩交橫無數。驅迫罪人使行繩間。惡風暴起吹諸鐵繩歷絡其身。燒皮徹肉燋骨沸髓苦毒萬端。餘罪未畢故使不死。故名黑繩。久受苦已乃出黑繩至黑沙地獄。乃至寒氷地獄然後命終。惡意向父母佛及聲聞。則墮黑繩獄苦痛不可稱。

推[石*甲]大地獄。有十六小獄圍遶。各縱廣五百由旬。何故名推[石*甲]。有大石山兩山相對。人入此中。山自然合推[石*甲]其身。骨肉糜碎山還故處。苦毒萬端故使不死。復有大鐵象舉身火然哮呼而來。蹴蹋

罪人婉轉其上。身體糜碎膿血流出。號咷悲叫故使不死。復捉罪人臥大石上以大石[石*甲]。復取罪人臥地鐵杵擣之。從足至頭皮肉糜碎。膿血流出萬毒並至。餘罪未畢故令不死故名推[石*甲]。久受苦已乃出推[石*甲]到黑沙地獄。乃至寒氷然後命終。但造三惡業不修三善行。墮推[石*甲]地獄苦痛不可稱。

叫喚大地獄。有十六小地獄。各縱廣五百由旬。何故名叫喚獄。獄卒捉罪人擲大鑊中。又置大鐵鍑中。熱湯涌沸煮彼罪人。號咷叫喚苦痛辛酸。又取彼罪人擲不鏊上。反覆煎熬號咷叫喚。餘罪未畢故使不死故名叫喚。久受苦已乃出叫喚至黑沙地獄。乃至寒水爾乃命終。瞋恚懷毒造諸惡行。墮叫喚地獄。

大叫喚大地獄。有十六小獄。何名大叫喚。取彼罪人著大鐵釜中。又置鐵鑊中。熱湯涌沸煮彼罪人。又擲大鏊上。反覆煎熬號咷大叫苦痛辛酸。餘罪未畢故使不死名大叫喚。久受苦已出大叫喚至寒氷獄。爾乃命終。習眾邪見。為愛網所牽。造卑陋行。墮大叫喚獄。

燒炙地獄。有十六小地獄。何故名燒炙。將諸罪人置鐵城中。其城火然內外俱赤燒炙罪人。又著鐵樓上。其樓火然內外俱赤。又擲著大鐵陶中。其陶火然內外俱赤。燒炙罪人皮肉燋爛萬毒並至。餘罪未畢故使不死。故名為燒炙。久受苦已出燒炙獄至黑沙獄。乃至寒氷然後命終。為燒炙行墮燒炙地獄。長夜受燒炙苦。

大燒炙地獄。有十六小地獄。縱廣五百由旬。將諸罪人置鐵城中。其城火然內外俱赤。燒炙罪人皮肉燋爛萬毒並至。有大火坑火焰熾盛。其坑兩岸有大火山。捉彼罪人貫鐵叉上竪著火中重火燒炙皮肉燋爛。餘罪未畢故使不死。久受苦已出大燒炙至黑沙地獄。乃至寒氷爾乃命終。捨善果業為眾惡行。墮大燒炙獄。

無間大地獄。有十六小獄。各縱廣五百由旬。捉彼罪人剝取其皮從足至頂。即以其皮纏罪人身。著火車輪蹍熱鐵地。周行反覆身體碎爛。皮肉墮落萬毒並至故使不死。又有鐵城四面火起。東焰至西西焰至東。南北上下亦復如是。焰熾迴遑間無空處。東西馳走燒炙其身皮肉燋爛。苦痛辛酸萬毒並至。罪人在中久乃門開。其諸罪人奔走往趣。身諸枝節皆火焰出。走欲至門門自然閉。餘罪未畢故使不死。又其中罪人舉目所見但見惡色。耳聞惡聲鼻聞臭氣。身觸苦痛意念惡法。彈指之頃無不苦時。故名無間地獄。久受苦已命終。為重罪行生惡趣。乃至寒氷地獄。爾乃命終。為重罪行生惡趣業。墮無間獄罪不可稱名。八大地獄各有十六小地獄。

金剛山間別有十地獄十二

二大金剛山間。有大風起名為僧佉。若使風來至四天下及八萬天下。大

地諸山去地十里。或至百里飛颺空中皆悉糜碎。如壯士手把輕糠散於空中。由二大山遮止此風。若使風至四天下者。其中眾生溪河江海皆當焦枯。又山間風臭處不淨腥穢酷烈。若使來至四天下者。燻諸眾生皆當失目。又此二山多所饒益。亦是眾生行報所致。

又二山間有十地獄。一名厚雲。二名無雲。三名呵呵。四名奈何。五名羊鳴。六名須乾提。七名優鉢羅。八名拘物頭。九名分陀利。十名鉢頭摩。云何名厚雲。地獄罪人自然生身。譬如厚雲故名厚雲。云何名無雲。眾生生身猶如段肉故名無雲。云何名呵呵。苦痛切身皆稱呵呵故名呵呵。云何名奈何。受罪眾生苦痛酸切無所歸依皆稱奈何。云何名羊鳴。受罪眾生苦痛切身欲舉聲語舌不能轉直如羊鳴。云何名須乾提華。獄皆黑如須乾提華色。云何名優鉢羅華。獄皆青如優鉢羅華。云何名拘物頭華。獄皆紅如拘物頭色。云何名分陀利華。獄皆白如分陀利華。云何名鉢頭摩華。獄皆赤如鉢頭摩華色。喻如有簞受六十四斛滿中胡麻。有人百歲持一麻去。如是至盡。厚雲地獄受罪未竟。如二十厚雲地獄壽。與一無雲地獄壽等。如二十無雲地獄壽。與一呵呵地獄壽等。如二十呵呵地獄壽。與一奈何地獄壽等。如二十奈何地獄壽。與一羊鳴地獄壽等。如二十羊鳴地獄壽。與一須乾提地獄壽等。如二十須乾提地獄壽。與一優鉢羅地獄壽等。如二十優鉢羅地獄壽。與一拘物頭地獄壽等。如二十拘物頭地獄壽。與一分陀利地獄壽等。如二十分陀利地獄壽。與一鉢頭摩地獄壽等。如二十鉢頭摩壽名一中劫。如二十中劫名一大劫。鉢頭摩地獄中火焰熾盛。罪人去火一百由旬。火已燒炙去六十由旬。兩耳已聾無所聞知。去五十由旬兩目已盲無所復見。瞿波利比丘已懷惡心。謗舍利弗目揵連。身壞命終墮此鉢頭摩地獄中(出長阿含經樓炭大同小異也)。

經律異相卷第四十九

經律異相卷第五十(地獄部下)

梁沙門僧旻寶唱等集

- 阿鼻地獄受諸苦相一
- 十八小地獄各有十八獄圍繞阿鼻二
- 六十四地獄舉因示苦相三
- 五大地獄示受苦相四

阿鼻地獄受諸苦相一

阿鼻地獄者(梁言無遮。又言無間。又言猛火入心)縱廣正等八千由旬。七重鐵城七層鐵網。下有十八隔。周匝七重。皆是刀林。復有七重劍林。四角有四大銅狗。廣長四十由旬。眼如掣電。牙如劍樹。齒如刀山。舌如鐵刺。一切身毛皆然猛火。其烟臭惡。有十八獄卒。口如夜叉。六十四眼散迸鐵丸。狗牙上出高四由旬。牙端火流燒煎鐵車。輪網出火。鋒刃劍戟燒阿鼻城赤如融銅。獄卒八頭六十角。角抄火然。火化成銅復成刀輪。相次在火焰間。滿阿鼻城。城內有七鐵幢。火涌如沸鐵流融迸涌出四門。上有十八釜。沸銅涌漫滿於城中。二隔間有八萬四千鐵蟒大蛇。吐毒火中身滿城內。其蛇哮吼如天震雷。雨大鐵丸五百。又五百億蟲。八萬四千嘴頭火流如雨而下。滿阿鼻城。此蟲若下猛火大熾照八萬四千由旬獄上。衝大海沃燋山下貫大海底滌如車軸。若有殺父害母罵辱六親。命終之時銅狗化十八車。狀如寶蓋。一切火焰化為玉女。罪人遙見心喜欲往。風刀解時寒急失聲。寧得好火安在車上然火自爆。即便命終。坐金車瞻玉女。皆捉鐵斧斬截其身。屈伸臂頃直落阿鼻。從上隔如旋火輪至於下隔。身遍隔內。銅狗大吼嚙骨唼髓。獄卒羅剎捉大斧截以叉叉頸令起遍體火焰滿阿鼻獄。閻羅王大聲告勅。癡人獄種。汝在世時。不孝父母邪慢無道。汝今生處名阿鼻獄。獄卒復從下隔更上上隔。經歷八萬四千隔挂身而過至鐵網際。一日一夜即閻浮提六十小劫。盡一大劫。作五逆罪。臨命終時。十八風刀如鐵火車解截其身。以熱逼故便作是言。得好色華清涼大樹於下遊戲不亦樂乎。作此念時八萬四千諸惡劍林。化作寶樹華果茂盛行列在前。大熱火焰化為蓮華。罪人疾於暴雨坐蓮華上。鐵嘴諸蟲從火華起穿骨入體躁動。一切劍枝。削於肉骨。無量刀林當上而下。火車鑪炭十八苦事一時來迎。此相現時陷墜地下。從下隔上身如華敷遍滿下隔下火熾然。至於上隔身滿其中。熱惱急故張眼吐舌。萬億融銅百千刀輪。從空中下頸入足出。一切苦事過於上說百千萬倍。具五逆者受罪五劫。復有眾生。犯四重禁虛食信施誹謗邪見不識因果。斷學般若毀十方佛。偷僧祇物婬妖無道。逼淨戒尼姊妹親慼。造眾惡事。此人罪報。臨命終時。風刀解身偃臥不定如被楚撻。其心荒越發狂癡想。見己室宅男女大小。一切皆是不淨之物。屎尿臭處盈流于外。獄卒羅剎以大鐵叉擎。阿鼻獄及諸刀林。化作寶樹及清涼池。火焰

化作金葉蓮華諸鐵嘴蟲化為梟雁。苦痛之聲猶如歌詠。罪人聞此吾當遊中。坐火蓮華。眾物競分。狗食其心。俄爾之間。身如鐵華滿十八隔。此等罪人經八萬四千大劫。復入東方十八隔中。如前受苦。南西北方亦復如是。謗方等經。具五逆罪。破壞僧祇。污比丘尼。斷諸善根。具眾罪者身滿阿鼻獄。四支復滿十八隔中。此阿鼻獄但燒如此獄種眾生。劫欲盡時東門即開。見東門外。清泉流水華果林樹一切俱現。是諸罪人從下隔見明火暫歇。從下隔起婉轉腹行。[打-丁+聿]身上走到上隔中。手攀刀輪。時虛空中雨熱鐵丸。走於東門既至門闔。獄卒羅剎手捉鐵叉逆刺其眼。鐵狗嚙心悶絕而死。南西北門亦復如是。經歷半劫。

十八小地獄各有十八獄圍繞阿鼻二

阿鼻地獄。有十八小地獄。小地獄。各有十八寒地獄。十八黑闇地獄。十八小熱地獄。十八刀輪地獄。十八釰輪地獄。十八火車地獄。十八沸屎地獄。十八鑊湯地獄。十八灰河地獄。五百億釰林地獄。五百億刺林地獄。五百億銅柱地獄。五百億鐵蹉地獄。五百億鐵輞地獄。十八鐵窟地獄。十八鐵丸地獄。十八尖石地獄。十八飲銅地獄。如是等眾多地獄。阿鼻地獄。死生寒氷中。寒氷獄死生黑闇處。八千萬歲目無所見。受大蟲身婉轉腹行。諸情闇塞為狐狼食之。後生畜生。五千萬身受鳥獸形。還生人中。六根不具貧窮下賤。經五百身後生餓鬼。後遇善知識發菩提心。

十八寒地獄者。八方氷山。山十八隔。復有十八諸小氷山。寒氷山間如瓦蓮華。高十八由旬。上有氷輪。縱廣正等十二由旬。如天雨雹從空而下。劫奪抄盜剝脫凍殺眾生。此人罪報欲命終時。一切刀風化為熱火。罪人作念我今云何不臥氷上。作是念時。獄卒羅剎手執氷輪躡虛而至。罪人見已心便愛念。氣絕命終生氷山上。既生之後。十八氷山如以扇扇。一切寒氷從毛孔入。十八隔中遍滿一隔。剖裂擗拆如赤蓮華。氷輪上下遍覆其身。八方氷山一時俱合。更無餘辭但言阿羅。爾時罪人即彼作是念。我於何時當免寒氷生熱火中。爾時空中有鐵嘴鳥。吐火破氷啄腦。罪人即死。獄卒復以鐵叉打地喊言活活。應聲即蘇。身火猛熾願得前氷以滅此火。獄卒復以氷輪迎接置與獄中。如是十八隔中無不經歷。此寒地獄壽命歲數。如四天王天日月八千萬歲。罪畢下生賤貧鄙陋。五十世中為人奴婢。衣不蔽形食不充口。此罪畢已。遇善知識發菩提心。

黑闇地獄者。十八重黑山。十八重黑網。十八重鐵床。十八重鐵縵。一山高八萬四千由旬。一一縵亦厚八萬四千由旬。一一縵間十八重鐵圍山羅剎如林。此山陰闇。偷佛僧燈明。偷盜父母師長。謗說法者。亦毀世俗論義師等。不忌尊卑不知慚愧。以此罪故命欲終時。眼有電光睒迅不停。即作是念。我有何罪常見是火。即閉兩目不願欲見。命欲終時。獄卒羅剎擎大鐵床張大鐵輪。如大隊雲乘。空而至。無形有聲。罪人欲往命終。坐鐵床上落黑闇處。刀輪上下斬斷其身。有大鐵烏嘴距長利。從

山飛下來撲罪人。痛急疾走求明不得。足下蒺梨穿骨徹髓。如是憧惶經五百萬億歲日月如前。彼人頭打諸黑闇山。腦流眼出。獄卒羅剎以鐵叉叉安眼眶。罪畢乃出。為貧窮人。眼目角睞盲冥無見。或被癩病人所驅逐。如是罪報經五百身。過是以後遇善知識發菩提心。

十八小熱地獄者。如阿鼻獄。亦七重城七重鐵網。無量諸惡以為莊嚴。以不從師教興惡逆心。不知恩養盜師害師。污師淨食坐師床坐捉師鉢盂藏去不淨。作種種惡毒藥飲師。若沙門婆羅門。作諸非法無有慚愧。剝像破塔劫法寶物。殺伯叔父母兄弟姊妹。命欲終時。十八獄卒各以鐵叉擎置一隔獄。如大寶蓋雨微細雨。雨滴如華熱惱入心。見雨清涼即作念言。願我得坐蔭蓋之下。涼雨灑我不亦樂耶。氣絕命終。如一瞬頃即坐劍林上。百億劍刃。刃皆出火燒刺其身。空中寶蓋化為火輪。從上而下直劈其頂。身體碎裂為數千段。上雨銅丸從毛孔入。獄卒羅剎以大鐵叉刺罪人眼。或以鐵箭貫射其心悶絕而死。須臾還活坐劍床上。旋嵐猛風吹墮地獄。時閻羅王告言。獄種汝作眾惡。殺師謗師。汝今生處名拔舌阿鼻。汝在此獄當經三劫。作是語已即滅不現。

刀輪地獄者。四面刀山。於眾山間積刀如輪。有八百萬億極大刀輪。隨次而下猶如雨滴。以樂苦惱他殺害眾生。命終之時。患逆氣病心堅如石。即作是願。得一利刀削此諸患不亦快乎。是時獄卒頂戴刀輪翳令不現。至罪人所卑言遜辭。我有利刀能割重病。罪人歡喜即自念言。唯此為快。氣絕命終生刀輪上。如醉象走墮刀山間。是時四山一時俱合。四種刀山割切其身。不自勝持悶絕而死。獄卒羅剎驅蹙罪人。令登刀山來至山頂。刀傷足下乃至于心。畏獄卒故匍匐而上。既至山頂。獄卒手執一切樹揲。未死之間鐵狗嚙心楚毒百端。鐵蟲唼食肉皆都盡。尋復唱活。脚著鐵輪從空而下。一日一夜六十億生六十億死。如是眾多如四天王壽八千萬歲。罪畢乃出墮在畜生。五百世中有供眾口。復五百世受卑賤形。後遇善知識發菩提心。

劍輪地獄者。縱廣正等五十由旬。滿中劍樹其樹多少。如稻麻竹葦。一一劍樹高四十由旬。八萬四千劍輪為葉。八萬四千劍輪為華。八萬四千劍輪為果。八萬四千沸銅為枝。以樂殺無厭。如此罪人臨命終時。遇大熱病即作念言。我今身體時熱時寒。舉身堅強猶如鐵碪。即作願言。得金剛劍割却此患樂不可言。是時獄卒即自化身。如己父母親友之形。在其人前而告之言。我有祕法如卿所念當用相遺。罪人云急急欲得。氣絕命終如馬奔走生劍華中。無量劍刀削骨破肉碎落如空。復有鐵烏。從樹上下挑眼啄耳。有大羅剎。手捉鐵斧破頭出腦。鐵狗來舐死已唱活。驅令上樹。未至樹端身碎如塵。一日一夜殺身如塵不可稱數。殺人罪故受如此殃經八萬億歲生畜生中。身常負重死復剝皮。經五百世還生人中。貧窮短命多病消瘦。過是已後遇善知識發菩提心。

火車地獄者。一一銅鑊。縱廣正等四十由旬。滿中火。下有十二輪。上

有九千四火輪。自有眾生為佛弟子。及事梵天九十六種。及在家者誑惑邪命諂曲作惡。如此罪人欲命終時。風大先動身冷如氷。即作是念。何時當得大猛火聚。入中坐者永除冷病。作是念已。獄卒羅剎化作火車如金蓮華。獄卒在上如童男像。手執白拂鼓舞而至。罪人愛著。若坐此上快不可言。氣絕命終載火車上。支節火然身體燋散。獄卒唱活應聲還活。火車轢身凡十八反碎身如塵。天雨沸銅遍灑身體即便還活。如是往反上至湯際下墮鑊中。火車所轢一日一夜九十億死九十億生。此人罪畢生貧賤家為人所使。繫屬於他不得自在。償利養畢久乃得脫。由前出家善心功德。遇善知識為其說法。心開意解成阿羅漢。

沸屎地獄者。八十由旬十八鐵城。一一鐵城有十八隔。一一隔中四壁皆有百億萬劍樹。地如刀刃。刃厚三尺。於其刃上百千蒺梨不可稱計。一一蒺梨及劍樹間。生諸鐵蟲其數無量。一一鐵蟲有百千頭。一一頭有百千嘴。嘴頭皆有百千蚖蟲。此諸蚖蟲口吐熱屎。沸如融銅滿鐵郭內。上有鐵網鐵烏。以破八戒齋。污沙彌尼式叉摩尼。污比丘戒比丘尼戒。污優婆塞戒優婆夷戒。如是七眾及餘一切。污僧淨飯污父母食。偷竊先噉不淨手捉。及僧知事以自恃故污僧淨食。四部弟子以不淨身坐僧祇床。犯偷蘭遮久不懺悔。虛食僧食坐僧眾中與僧布薩。如是眾多無量不淨惡業罪人。臨命終時舉身皆香。如麝香子不可堪處。即作是念。當於何處不聞此香。獄卒化身猶如畫瓶中盛糞穢。至罪人所以手摩觸。令彼罪人心生愛著。氣絕命終墮沸屎中。身體糜爛眾蟲唼食削骨徹髓。以渴逼故飲熱沸屎。蚖蟲蛆蟲唼其舌根。一日一夜九十億生九十億死。罪畢乃出生貧賤家不得自在。設生世時恒值惡王屬邪見主。種種惡事逼切其身。癭瘇惡創以為衣服。宿世聞法善因緣故。遇善知識出家學道成阿羅漢。

十八鑊湯地獄者。有十八鑊。縱廣正等各四十由旬。七重鐵網滿中沸鐵。五百羅剎鼓大石炭。燒其銅鑊焰焰相次。經六十日火不可滅。閻浮提日滿十二萬歲。鑊湯上涌化成火輪。還入鑊中。以毀佛禁戒殺生祠祀。為噉肉故焚燒山野傷害眾生。生噉眾生以火焚燒。如此罪人命欲終時。身心煩悶失大小便不自禁制。或熱如湯或冷如氷。即作是念。得大溫水入中沐浴不亦樂乎。獄卒羅剎化作僮僕。手擎湯盆至罪人所。心生愛樂。氣絕命終生鑊湯中。速疾消爛唯餘骨在。鐵叉掠出鐵狗啀之。嘔吐在地尋復還活。獄卒驅蹙還令入鑊。鐵鑊熱故攀劍樹上。骨肉斷壞落鑊湯中。一日一夜恒沙死生。罪畢生為猪羊鷄狗。短命之處無不經歷。如是受身八千萬歲。命終之後還生人中。受二種報。一者多病。二者短命。過算數劫遇善知識。受持五戒行六波羅蜜。

灰河地獄者。長二百由旬。廣十二由旬。下有利刀岸上劍樹。滿中猛火廣十二丈。復有融灰以覆火上。厚四十丈。以偷盜父母師長善友兄弟姊妹。如是癡人無有慚愧。不識恩養不從師教。此人罪報命欲終時。氣滿心腹喘息不續。即作是念。我心如泥氣滿胸中。得一微火爆我身者不亦快乎。獄卒應念化作妻子。手擎火鑪微灰覆上。至罪人所。罪人歡喜。

氣絕命終生灰河中。諸劍樹間有一羅剎。手執利劍欲來傷害是人恐怖走入灰河。舉足下足刀傷其脚。劍樹雨刀從毛孔入。羅剎以叉叉出其心。躃地悶死尋復還活。一日一夜五百億生五百億死。飢渴逼故張口欲食。劍樹雨刀從舌頭入。擗腹裂胸悶絕而死。由前世聞法僧名故。罪畢之後得生人中。貧窮下賤。覺世非常出家學道。時世無佛成辟支佛。世若有佛成阿羅漢。

劍林地獄者。八千由旬滿中劍樹。有熱鐵丸以為其果。樹高二十四由旬。以不孝父母不敬師長。作惡口業無慈愛心刀杖加人。臨欲終時心如糊膠處處生著。即作此念。我心縛著觸事不捨。耽酒嗜色雖遇苦患心猶不息。得一利刀以割截此愛。獄卒應聲化為侍者。執鏡語言。汝心多著可觀此鏡。見利劍像。

以即作是念。我體羸弱以不堪欲事。得此利劍。割斷我心不亦快乎。作此念時氣絕命終受餓鬼身。諸劍樹間化生鐵丸。從頂入口出腸胃燋爛。獄卒打撲驅令上樹。鐵[口*(隹/乃)]蟲噉以怖上樹。如是展轉悉經劍林。一日一夜八萬生死。罪畢之後生飢饉世及疾病劫。為人卑賤口氣恒臭人所惡見。後遇善知識發菩提心。

刺林地獄者。八千由旬滿中鐵刺。一一刺端有十二劍。樹上復有大熱鐵鉤。以惡口兩舌綺語不義語。調戲無節誑說是非。說經典過毀論議師。如此罪報命欲終時咽燥舌乾。即作此念。得一利刺刺頸出血。令眾脈間流注眾水不亦快乎。獄卒羅剎化作父母手執明珠。珠頭生刺持用擬口如水欲漬。罪人歡喜氣絕命終。如雷電頃生刺林間。獄卒羅剎手執鐵鉤拔舌令出。八千鐵牛有大鐵犁耕破其舌。一日一夜六百生死。過是已後得生人中。肩狹面皺語言[口*騫]吃。如此罪人體生諸瘡。膿血盈流經五百世人所惡見。過是已後雖有言說人不信受。遇善知識發菩提心。

銅柱地獄者。有一銅柱林如火山。高六百由旬。下有猛火火上鐵床上有刀輪。間有鐵[口*(隹/乃)]蟲鐵口烏。以貪惑滋多染愛不淨。非處非時行不淨業。設有比丘尼婆羅門等諸梵行者。若非時於非處犯不淨法。乃至一切犯邪行者。如此罪人臨命終時。舉身反強振掉不定。即作是念。得一堅大銅鐵柱者。縛此身體令不動搖。獄卒應時化作僮僕。手執鐵杖至罪人所。白言長者。汝今身強餘物皆弱可捉此杖。心即歡喜氣絕命終。如抖杖頃生銅柱頭。猛火焰熾焚燒其身。驚怖下視見鐵床上。有端正女。若是女人見端正男。心生愛著從銅柱上下投于地。銅柱貫身鐵網絡頸鐵[口*(隹/乃)]諸蟲啖食其軀。落鐵床上。男女俱時六根火起。有鐵[口*(隹/乃)]蟲從眼而入從男女根出。若污戒者別有九億諸小蟲輩。如[虫*巢]蛆蟲有十二[口*(隹/乃)]。[口*(隹/乃)]頭出火啖食其體。一日一夜九百億生九百億死。出生鳩鴿身經五百世。復生龍中經五百身。後生人中無根二根。及不定根黃門之身經五百世。設得為人。妻不貞良子不慈孝奴婢不從。過是已後遇善知識發菩提心。

鐵機地獄者有一鐵床。縱廣正等四百由旬。上安諸[撼-咸+巳]。[撼-咸+巳]間皆有萬億鐵弩。鐵弩鑊頭百億鋒刃。以為貪欲故不孝父母。不敬師長。不從善教殺害眾生。此人命終身體戰動六竅汁流。見自己床如兜羅綿。得堅冷處臥不亦快耶。獄卒羅剎。以叉擎床銷火駓氈至罪人所。歡喜欲臥。氣絕命終生鐵機上。萬億鐵[撼-咸+巳]關從下動鐵[撼-咸+巳]昂無量。鐵弩同時皆張二鐵。箭射罪人心。一日一夜六百億生死。後生畜生中經五百世。還生人間。貧窮下賤為人所使。多墮刑獄恒受鞭撻。後遇善知識發菩提心。

鐵網地獄者。八十九重諸鐵羅網。一一網間百億鐵針。一一鐵針施五關[撼-咸+巳]。以邪心諂曲妖媚惑人。心懷讒賊晝夜惡念。臨命終時身體搔痒。即作此念。得一束針攙刺不亦快乎。作是念時獄卒化為良醫。手執利針唱言。治病。罪人心喜氣絕命終生鐵網間。[打-丁+聿]身下過眾[撼-咸+巳]皆動。無量諸針射入毛孔。如是婉轉諸鐵網間。如剎那頃死生。罪畢乃出生於邊地無佛法處。亦不聞說世間善語何況正法。雖生人中三惡道攝。後遇善知識雖得聞法心不解了。

鐵窟地獄者。餓鬼道中最上苦法。有一鐵山。縱廣正等二十五由旬。山上復有五百萬億大熱鐵丸。一一鐵丸團圓正等十三由旬。山間復有百千刀劍。是時彼山東開小孔。如摩伽陀升但出黑煙。以慳貪縛著心如金剛。但樂求索無有厭足。父母妻子悉不給與。師長教授視如糞穢。奴婢親友不施衣食。如是慳人不慮無常。護惜財物猶如眼目。命欲終時諸情閉塞。口噤不語心中默念。我死之後是諸惡人。食我財物如噉鐵丸。處我窟宅如處闇室。作是念已。獄卒化為慳人。多收財物以火焚之。罪人心喜氣絕命終生火山上。猶如融銅鑄鐵窟中。劍蟲刀蟲唼食其軀。煙熏其眼不見火焰。東西馳走頭打鐵山。鐵丸從頂徹足。一念頃死生。罪畢乃出生餓鬼中。其身長大數十由旬。咽如針筒腹如大山。東西求食融銅灌咽。經八千歲。生食膿唾血鬼中。復生廁神猪狗等中。罪畢乃生貧窮卑賤無衣食處。遇善知識發菩提心。

鐵丸地獄者。八十由旬滿中鐵城。八十八隔。一一隔中有五刀山。持用覆上。下有十八大惡鐵蛇。皆吐鐵劍劍頭火然。以毀辱布施言施無報。勸人藏積。向國王大臣沙門婆羅門及一切眾。說施無因亦無果報。此人臨終頸強脈縮。迴轉不語不喜見人。低視而臥心中但念。我積財寶。得與我俱快不可言。獄卒化作其妻捉熱鐵丸。化作寶器在其人前。語言。我隨汝死婉轉相著終不相離。氣絕命終生鐵城中東西馳走。鐵蛇出毒纏繞其身節頭火然。即作是念。願天愛我降注甘雨。應念即雨大熱鐵丸項入足出。罪畢乃為貧窮孤獨喑啞之人。歲數如鐵窟說。遇善知識發菩提心。

尖石地獄者。有二十五石山。一一石山有八水池。一一水池有五毒龍。比丘比丘尼。沙彌沙彌尼。式叉摩尼。優婆塞優婆夷。九十五種梵志等

法。或犯輕戒。久不懺悔心無慚愧。命欲終時。心下氣滿腹脹如鼓。飲食噎吐水漿不下。即作是念。得一尖石塞我咽喉不亦快乎。是時獄卒化作良醫。拗捉尖石作大藥丸著其口中。告言閉口。心生歡喜。氣絕命終生石山間。無量尖石從背入胸出。獄卒復以鐵叉叉口以石內中。一日一夜六十億生。此是生報。從此命終墮黑繩地獄。黑繩地獄者。八百鐵鎖八百鐵山。竪大鐵幢兩頭繫鎖。獄卒馳踧令貪鐵繩上走。不勝下落墮鑊湯中。馳起渴急飲鐵吞石而走。一日一夜經歷是苦凡十萬遍。罪畢生世為人僮僕。遇善知識為說實法。得阿羅漢。

飲銅地獄者。千二百種雜色銅車。一銅車上六千銅丸。以慳貪嫉妬邪見惡說。不施父母妻子眷屬及與一切。心生慳嫉見他得利如箭入心。如是罪人欲命終時。多病消瘦昏言囈語。是時獄卒化以銅車載果至罪人所。得已歡喜。即作念言。得此美果甚適我願。氣絕命終生銅車上。不久即往生銅山間。銅車轉頸。獄卒以鉗拆口飲以烊銅。迷悶躃地唱言飢飢。尋時獄卒擘口令開。以銅鐵丸置其口中。吞十八丸。節節火然東西馳走。經於七日爾乃命終。獄卒唱言。汝前身時。諛諂邪見慳貪嫉妬。以是因緣受鐵丸報。或曾出家毀犯輕戒。久不悔過虛食信施。以此因緣食諸鐵丸。此人罪報億千萬歲不識水穀。受罪既畢還生人中。五百世中言語[口*騫]吃不自辯了。以宿習故食後噉土塊。過是以後遇善知識發菩提心(出觀佛三昧法經第五卷)。

六十四地獄舉因示苦相三

一曰脚蹋。先蹋殺人今為獄鬼所噉。經二百歲。

二曰刀山。先殺眾生今受罪二百歲。三曰審諦。瞋心罵人以為鳥獸。五百歲中鐵杵撞口。罪畢受生人頭鳥身。口常言罪。

四曰抱刀劍。自犯婬戒。又犯持戒人。五曰沸沙。先以熱灰覆眾生上。

六曰沸井。井水常沸。以惡心用不淨物致井中。罪畢百歲為井中蝦蟇。七曰竈窓獄卒。以人倒內竈窓中。此女生時。以顧影衣裔他男子。八曰啞鬼。獄常燒鐵鉾烙其舌。生時父母及師喚之不應。經二百歲後生為啞人。九曰熱灰。七百里滿中熱灰。此人生時起婬欲心。就貞女宿終不果遂。受罪二百歲。後生患瘡及恐怖。十曰沸屎。三萬里滿中屎尿。驅人入中。昔賜人好食。瞋言如食不淨。受罪五百歲為猪。

十一曰膖臭。縱廣二千五百里。滿中膿血。此人生時以不善心入聖人室失氣泄穢。受罪二百四十歲。後生貧賤人中身體常臭。十二曰不淨。縱廣千里滿中涕唾。慢心不淨手捻香供養大聖。後生人中常慢。十三曰不淨。六百里膿。生時食正中。有鼠屎狗食不淨。投淨食中。受罪二百歲出生作狗。十四曰黑耳常闇。生時以不善心障佛光明。受罪七百歲。十五曰縱廣四萬里。恒被斫射打剔推[石*甲]。此人生時作五逆業。受罪動

經數劫。若展轉諸獄。故亦有劫數也一萬歲。十六曰相殺。婦殺夫夫殺婦。母殺兒兒殺母。其人昔時殺他人父母。并殺眾生父母及兒。及生人中。父母子孫皆悉早死。十七曰斫身。恒為獄鬼所斫。先斫眾生故。後生憙遭縣官。十八曰火車。此人猶燒殺眾生。後生被燒。十九曰不識法。滿中癡人聞揵搥聲。慢心而臥。後生邊地。二十曰鐵熬。熬蝦蟹故。後生短壽。

二十一曰餓鬼。身長四十里。腹如萬斛簞。頸長十里。恒苦飢渴口氣恒臭。見食化成炭。飲成膿血。猶食齋食不持齋。後生八百世常作羅剎。二十二曰剛炭。盜心取他物手捧剛炭。後生貧賤為人所使。二十三曰鑊湯。生時惡心以熱湯澆地蟲。二十四曰鐵床。婬他婦女逼犯持戒女人。男抱銅柱女臥鐵床。二十五曰鐵丸。猶炮煮鷄鴨子。後生常苦迷荒。二十六曰貢高坐地獄。生時貢高食他信施。自恃有德起心貢高。二十七曰黑耳。獄鬼以刀節節支解。淫比丘。後生下賤女人之中。五百歲作黃門。二十八曰寒氷獄。生時擲眾生致寒凍處。後生貧賤常無衣服。二十九曰石窟。滿中煙火。惡心熏殺眾生。三十曰權收。鬼獄收之以瞋心滅屑殺蟣虱。

三十一曰[打-丁+(恚-心+皿)]。山以[打-丁+(恚-心+皿)]殺蟣虱。後生短壽。三十二曰熱湯澆身。披著好衣誘他婦女。罪畢為鳥獸。三十三曰餓鬼。身長三十里。咽下有癭決膿食之。或見好食。眾鬼競奪不得食之。得他好食不先上上座食。後生貧窮。三十四曰餓鬼。身長十里或五里。身毛剛利。慳不施食實有言無。後生貧賤多無飲食。三十五曰惡狗。多諸惡狗牙利如劍。獄鬼喚狗競共嚙之。生時喚狗嚙殺眾生。後得為人喜被狗嚙。三十六曰鐵杙。驅人履之。生時含毒看父母師長。後生毒蛇中。三十七曰剝皮。鬼恒利刀剝其皮。生惡心剝人衣被。及剝眾生皮。後生人中常為人所剝奪。三十八曰倒懸。獄卒悉取人倒懸。生時倒懸眾生。三十九曰畜生。獄鬼洋銅灌其口。負債抵而不還。後五百歲中。為人牛馬奴婢。喜得鞭打。四十曰耕身。獄鬼以鐵犁耕身。生時耕地傷眾生。惡心稱愴。四十一曰鏃眼。獄鬼常以鐵鏃鏃其眼。生時惡心惡眼看其父母。後生人中眼常通睛。四十二曰刀兵。獄鬼斫射。此人生時瞋心相殺。後生人中喜得斫射。四十三曰割刺。獄鬼生割其肉。此人生時惡心割人肉。罪畢為人喜得割刺。四十四曰鐵磨。獄鬼以鐵磨磨人。此人生時以惡心磨殺磨此中蟲。四十五曰摧弄。滿中鐵磨。獄鬼驅人入磨磨之。四十六曰摧弄。此人生時。見眾生入摧弄中。生惡心我誓不救。後生人中身體黃熟。四十七曰石臼。卒驅入臼中擣之。此人生時惡心擣殺眾生。罪畢為螺蜂。四十八曰憍慢。人頭蛇身。此人生時臥地誦經。四十九曰水地獄。水停住不流。此人生時抑人水中沒溺而死。五十曰[仁-二+屬]儒。獄鬼石[石*甲]人頭。此人生時慢心。使父母師長倚。令其兒生言不恭敬。

五十一曰鐵棒。獄鬼常使其身棒鐵此人生時以惡心殺蟣虱。五十二曰恐

怖。常為牛頭阿旁所恐。此人生時常恐人故。五十三曰鐵杙。水底布鐵杙。獄鬼驅人入水中刺身流血。生時嫉妬布杙傷人。五十四曰飲洋銅。生時慢心學父母師長語。後常蹇吃。五十五曰鐵鏃。獄鬼以鐵鏃鏃其眼。此人生時惡心生刺眾生瞳子。罪畢為盲人。五十六曰鐵扠獄。獄鬼以鐵扠扠人。此人生時惡心扠魚及餘眾生。五十七曰蛆蟲。唼食人身。此人生時蛆妬傷人。及六畜財物。罪畢為人身患惡瘡。五十八曰刀解手。獄鬼以利刀解其兩手。此人生時以慢心。用不淨手捉經。五十九曰啼哭。獄鬼護來恐怖令其啼哭。此人生時常憂錢財以營婬欲。後生為人恒苦少財。六十曰鐵拘。獄鬼常以鐵拘拘其身體。此人生時拘殺眾生。六十一曰洋銅。獄鬼洋銅灌其口。此人生時惡心。妄語兩舌惡罵綺語。罪畢為人口氣常臭。六十二曰洋銅灌手。此人生時心不敬道。以不淨手捉沙門衣。六十三曰射身。獄鬼以箭射之。此人生時惡心射殺眾生。

六十四曰無擇(梁言生終)凡有五王者。一曰隨王。二曰劫王。三曰丑王。四曰自然王。五曰眾生王。皆發信心大乘誓願度地獄眾生。諸地獄罪畢者來入此中。斷其昔行作罪多少。捨地獄身受中陰形如三歲小兒。更隨行業從父母受生(出問地獄經)。

五大地獄示受苦相四

活大地獄。惡心瞋爭以稍相刺。鐵抓相攫血相塗漫。痛毒逼切悶無所覺。冷風來吹。獄卒喚活罪人還活。是故名為活獄。此中眾生前世好殺物命牛羊禽獸。為田宅國土錢財等利而相殺害。受此罪報。合會大地獄。羅剎獄卒。作種種形諸惡獸頭。而來吞噉齩齧罪人。兩山相合熱鐵輪轢。熱鐵臼擣亦如押油。聚肉成積血流成池。鵰鷲虎狼各來牽掣。此人前世多殺眾生還受此形獄。又以力勢相凌拄押羸弱。受兩山相合罪。慳貪瞋恚愚癡怖畏。斷事輕重不以正理。或破正道。受熱鐵輪轢鐵臼擣。

第四第五名叫喚大叫喚。此大地獄其中罪人。羅剎獄卒頸黃眼赤火從中出。著朱色衣身肉堅勁。走射罪人。罪人狂怖叩頭求哀。呼大將軍小見憐愍。將入熱鐵地獄。縱廣百由旬。驅打驅走足皆燋然。脂髓流出如笮蘇油。鐵棒頭額其腦流出如破酪瓶。復將入鐵閣屋間。黑煙來燻。互相堆押意欲求出。其門已閉大喚嗥呼聲常不絕。此人前世斗秤欺誑。非法斷事受寄不還。侵凌下劣惱諸貧窮令其號哭。破他城邑壞人聚落。傷害劫奪舉城叫呼。詐誘令出而復害之。今受叫喚地獄。燻殺穴居之類幽閉囹圄。或闇煙窟中而燻殺之。或投井中劫奪他財。皆受大叫喚地獄罪報。

第六第七熱大熱地獄。中有二大銅鑊。鹹沸水滿中。羅剎獄卒以罪人投中。脚上頭下骨節解零。以釵釵出冷風吹活復投炭坑中。或著沸灰中。從灰中出放熱沙中。又以膿血而自煎熬。從炭坑出投之焰床強驅令坐。

眼耳鼻口及諸毛孔一切火出。此人宿世惱亂父母師長沙門婆羅門諸善好人。惱令心熱今受熱地獄報。或有前世煮殺生繭。或生爛猪羊。或以木貫人腹而生炙之。或焚山野及諸聚落佛圖精舍及天祠。或推眾生著火坑中。故生此地獄。阿毘地獄縱廣四千里。其處最深。獄卒羅剎從頭剝皮乃至其足。以五百釘釘其身體如挌牛皮。熱鐵火車蹂其身。驅入火坑令抱炭出。利刀劍稍飛入身中迷悶萎熟。或顛匐墮落。此人宿行多造大惡。五逆重罪斷善根。法言非法非法言法。破因破果憎嫉善人。入此地獄受罪最劇(出大智論略其小同取其尤異)。

經律異相卷第五十

CBETA 贊助資訊 (http://www.cbeta.org/donation/index.php)

自 2001 年 2 月 1 日起，CBETA 帳務由「財團法人西蓮教育基金會」承辦，並成立「財團法人西蓮教育基金會」- CBETA 專戶，所有捐款至 CBETA 專戶皆為專款專用，歡迎各界捐款贊助。

您的捐款本協會皆會開立收據，此收據可在年度中申報個人或企業的綜合所得稅減免。感恩諸位大德的善心善行，以及您為佛典電子化所做的一切貢獻。

信用卡線上捐款

本線上捐款與聯合信用卡中心合作，資料傳送採用 SSL (Secure Socket Layer) 傳輸加密，讓您能夠安全安心地進行線上捐款動作。

前往捐款

信用卡 **(**單次 / 定期定額**)** 捐款

本授權書可提供單次捐款或定期定額捐款之用途。
請於下載並填妥捐款授權書後，請傳真至 02-2383-0649 ，並請來電 02-2383-2182 確認。
或掛號寄至 10044 台灣台北市中正區延平南路 77 號 8 樓 R812 財團法人西蓮教育基金會收。

請在此下載 授權書 (MS Word 格式)

劃撥捐款

郵政劃撥帳號：１９５３８８１１
戶名：財團法人西蓮教育基金會

欲指定特殊用途者，請特別註明，我們會專款專用。

線上信用卡 **/ PayPal** 捐款

PayPal 是一個跨國線上付款機制的公司，CBETA 引用其服務，提供網友能在線上使用信用卡或 PayPal 帳戶贊助 CBETA 。

PayPal is an online system of a global payment solution. CBETA uses its service to provide the uses to donate by using the credit cards or PayPal account to support the CBETA project.

相關收據開立事宜，由於付款幣別為美元，我們除了會依您所贊助之美元金額開立收據外，另我們會依捐款當日公告匯率開立台幣收據，此收據為國內正式合法報稅憑證。

Since the donation made is in US currency, hence all the receipts will be issued in the US dollars consequently. However for the domestic donators, a Chinese official receipt will also be made according to the foreign exchange rate for the purpose of tax deduction.

線上信用卡 / PayPal 贊助

支票捐款

支票抬頭請填寫「財團法人西蓮教育基金會」。

CBETA is part of Seeland Educational projects, any donation (ex- cheques, remittance, etc.,) please entitle to "The Seeland Education Foundation".